









S-Class

取扱説明書



Mercedes-Benz

表記と記載内容について

マーク	内容
	警告 重大事故や命にかかわるけがを未然に防ぐために必ず守っていただきたいことです。
	環境 環境保護のためのアドバイスや守っていただきたいことです。
	注意 けがや事故、車の損傷を未然に防ぐため、必ず守っていただきたいことです。
	知識 知っていると便利なことや、知っておいていただきたいことです。
	操作手順などを示しています。
 ページ)	関連する内容が他のページにもあることを示しています。

メルセデス・ベンツ車をお買い上げいただきありがとうございます。

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、特に安全面と警告事項についてのご理解を深めてください。お客様自身と周りの人々を危険から守り、お車を最大限に楽しんでいただくことができます。

お客様の車両の装備や名称はオプションや仕様により異なる場合があります。

記載されているすべての機能がお客様の車両には装備されていない場合があることにご留意ください。

表紙の画像はイメージであり、日本仕様とは異なる場合があります。

この取扱説明書のイラストは主に左ハンドル車両のものを使用しています。右ハンドル車両では、車両の部品の配置や位置、そして操作方法が異なる場合がありますので、ご注意ください。

取扱説明書には 100km/h を上回る車両速度での性能データおよび車両状況も記載されています。ただし、公道を走行するときは常に、その場所で適用される法定速度または制限速度に従ってください。

メルセデス・ベンツは常に車両を最高水準にするための改良を行なっています。

メルセデス・ベンツでは、デザインや装備の分野の変更を行なう権利を有しています。そのため、本取扱説明書の記述やイラストが異なる場合があります。

以下のものは、車両の一部です。常に車両に搭載してください。

- 取扱説明書
- 整備手帳
- 装備に応じた補足版

また次のオーナーに車両をお譲りになる場合は、必ずすべての書類をお渡しください。

スマートフォンアプリの S-Class ガイドアプリを使用することもできます。



Apple® iOS



Android™

メルセデス・ベンツのガイドアプリはお客様の国ではまだ使用できないことがあることに留意してください。

Daimler AG の技術文献チームはお客様が安全で快適な運転をされることを望んでいます。

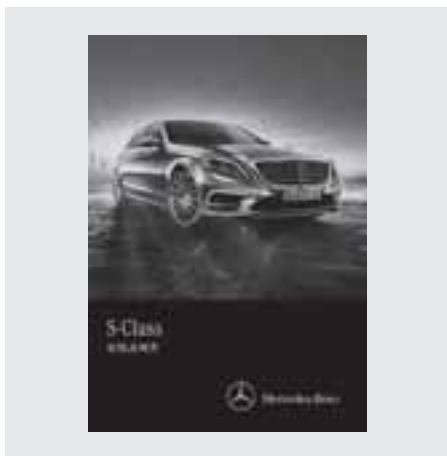
メルセデス・ベンツ日本株式会社

車両に搭載されている取扱説明書について

本車両には、以下の取扱説明書が搭載されています。

- 印刷版取扱説明書（本書）
- デジタル版取扱説明書（COMAND システムに収録）

印刷版取扱説明書



印刷版取扱説明書には、車両の取り扱い方法をはじめ、機能を十分に発揮させるための情報や危険な状況を回避するための情報、万一のときの処置など車両の取り扱いに関する全ての情報が記載されています。

デジタル版取扱説明書



デジタル版取扱説明書には、車両および COMAND システムの取り扱いに関する情報が記載されています。

ただし、本国仕様の内容など、お車と異なる記載が含まれています。

デジタル版取扱説明書の操作方法は 3 ページをご覧ください。

デジタル版取扱説明書の内容に関する訂正事項は 605 ページ以降に記載しています。

i デジタル版取扱説明書のご利用にあたり、お客様には一切費用はかかりません。デジタル版取扱説明書はインターネットに接続せずに作動します。

デジタル版取扱説明書の項目にアクセスするためには、3つの方法があります。

• イメージ検索

イメージ検索により、車両を"システム上で"調べることができます。車外イメージあるいは車内イメージのいずれかから開始し、デジタル版取扱説明書に記載されているさまざまな項目にアクセスすることができます。車両のインテリアの項目にアクセスするためには、"車両のインテリア"の画像を選択します。

• キーワード検索

キーワード検索は、文字入力によりキーワードの検索ができます。さらなる情報は、デジタル版取扱説明書の"COMAND システム"の項目における、キーワード"文字入力"にあります。


• 目次

目次の個別の項目を選択できます。



i 安全上の理由のため、走行中はデジタル版取扱説明書は作動しません。


操作

デジタル版取扱説明書の呼び出し

▶ センターコンソールの  スイッチを押します。

車両に関連した概要が開きます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして 、メニュー項目の"取扱説明書"を選択します。

▶ 警告および安全上の注意事項についてのメッセージを確認します 。

デジタル版取扱説明書の基本メニューが開きます。

デジタル版取扱説明書の操作







全体的な注意事項

COMAND コントローラーの操作についての情報に従ってください (▷481 ページ)。

コンテンツページ

イメージ検索、キーワード検索により、または目次を使用してコンテンツページにアクセスすることができます。



- ▶ 前 / 後にスクロールする：COMAND コントローラーをまわします【↶↷】。
- ▶ 拡大表示する：画像がある場合は、COMAND コントローラーを左 ① にスライドします ←①。
- ▶ 情報メッセージを選択する / ブックマークを保存する：COMAND コントローラーを右にスライドします ②→。
- ▶ リンクを選択する：COMAND コントローラーを下にスライドします ③↓。
- ▶ コンテンツページを終了する： マーク ④ を選択します。
- ▶ デジタル版取扱説明書の基本メニューを呼び出す： マーク ⑤ を選択します。
- ▶ センターコンソールのスイッチを使用して、機能を COMAND システムに切り替える：、、 または  スイッチを押します。

選択されたメニューが開きます。デジタル版取扱説明書は、バックグラウンドで開いたままになります。

車両に搭載されている 取扱説明書について……………	2	各部の名称……………	41
さくいん……………	6	安全性……………	55
はじめに……………	28	開閉……………	119
取扱説明書に記載されている装備・機能 ……………	37	シート、ステアリングとミラー ……	153
		ライトおよびフロントワイパー……………	189
		エアコンディショナー……………	205
		走行と駐車……………	231
		マルチファンクションディスプレイと表示 ……	379
		COMAND システム……………	475
		収納と機能……………	489
		メンテナンスおよび手入れ……………	511
		万一のとき……………	537
		ホイールとタイヤ……………	565
		サービスデータ……………	595
		デジタル版取扱説明書の訂正事項…	605

あ

アームレスト	
小物入れ	492
アクティブ・ボディ・コントロール (ABC)	
機能 / 注意事項	303
ディスプレイメッセージ	442
アクティブパーキングアシスト	
機能 / 注意事項	312
重要な安全上の注意	312
駐車	315
駐車スペースからの退出	316
駐車スペースの検知	313
ディスプレイメッセージ	445
アクティブブラインドスポットアシスト	
機能 / 注意事項	335
設定 / 解除 (マルチファンクションディスプレイ)	399
ディスプレイメッセージ	445
アクティブベルトバックル	
機能 / 注意事項	67
ディスプレイメッセージ	423
アクティブライトシステム	
ディスプレイメッセージ	433
アクティブレーンキーピングアシスト	
機能 / 注意事項	338
ディスプレイメッセージ	444
アシスト画面 (マルチファンクションディスプレイ)	396
アシストメニュー (マルチファンクションディスプレイ)	398
アダプティブハイビームアシスト・プラス	
機能 / 注意事項	195
ディスプレイメッセージ	433
アダプティブブレーキ	113
アダプティブブレーキアシスト	
機能 / 注意事項	108
アダプティブブレーキライト	109
アテンションアシスト	
機能 / 注意事項	329
設定 / 解除	399
ディスプレイメッセージ	441

アドレス帳

デジタル版取扱説明書をご覧ください・476

安全

助手席エアバッグ自動解除システム… 62

安全上の注意事項

ハイブリッド車両… 56

安全性

参照 操作安全性

アンチロック・ブレーキング・システム

参照 ABS (アンチロック・ブレーキング・システム)

い

イージーエントリー機能

機能 / 注意事項… 179
クラッシュセンサー連動… 180

イグニッションロック

参照 キーの位置

イモビライザー… 116

インジケーター

参照 方向指示灯

インテリアライト

参照 ルームライト

インテリジェントライトシステム

オン / オフ… 403
概要… 194
ディスプレイメッセージ… 433
ロービームヘッドライトの
左側 / 右側通行の設定… 404

う

ウィンタータイヤ

ウィンタータイヤ… 570
速度制限 (マルチファンクションディスプレイ)… 405

ウインドウ

清掃… 529
デフロスター… 217
参照 サイドウインドウ

ウインドウウォッシャー

注意… 603

補給	522
ウインドウウォッシャー液	
参照 ウインドウウォッシャー	
ウインドウバッグ	
機能	72
ウォッシャー液	
ディスプレイメッセージ	456
ウットリム (清掃の説明)	534
運転席	
概要	42
運転席 / 助手席シート	
小物入れ	493
運転席ドア	
参照 ドア	
運転のヒント	
新しいブレーキディスク	278
一般	275
オートマチックトランスミッション	249
下り坂の傾斜	277
最初の 1,500km	232
新品のブレーキパッド / ライニング	278
スノーチェーン	570
ディストロニック・プラス	296
冬季の走行	280
凍結した路面	280
凍結防止剤等が撒かれた路面での ブレーキ性能の制限	278
慣らし運転について注意事項	232
濡れた路面の走行	279
ハイドロブレーキング現象	279
ブレーキ	277
AMG セラミックブレーキ	278

え

エアコンディショナー

イオン発生	223
ウインドウの曇りを取る	218
エアコンディショナーモードの設定	214
オートエアコンディショナー	209
オートエアコンディショナーの 使用に関する注意事項	209
オン / オフ	210

温度の設定	214
キーを使用したプレントリーエアコン ディショニング	223
コンビニエンスオープニング / クロージング (内気循環モード)	219
システムの概要	206
プレントリー エアコンディショニング	223
出発時刻時での プレントリーエアコンディショニング (REMOTE CLIMATE CONTROL)	226
全体的な注意事項	206
送風口の調整	228
送風配分の選択	216
送風量の調整	216
同調機能のオンおよびオフの切り替え	217
内気循環モードの作動 / 解除	219
ハイブリッド車両	209
パフュームアトマイザー	222
表示灯	212
フロントウインドウの霜を取る	217
余熱ヒーターのオン / オフ	221
リア操作パネル	207
リアデフォグガーの作動 / 解除	218
リアデフォグガーの不具合	219
AC モード	211
AC モードの不具合	212
AUTO モード	212
ECO スタートストップ機能	209

エアコンディショナーシステム

参照 エアコンディショナー

エアバッグ

ウインドウバッグ	72
概要	68
格納場所	70
クッションエアバッグ	72
サイドバッグ	71
作動	80
重要な安全上の注意	69
助手席エアバッグオフ表示灯	62
ディスプレイメッセージ	425
フロントエアバッグ (運転席、助手席)	71
ベルトバッグ	66

エキゾースト

参照 エキゾーストパイプ

エキゾーストパイプ	
清掃	532
エナジーフロー表示	347
エマージェンシーキー	
運転席ドアの解錠	132
機能 / 注意事項	124
車両の施錠	132
挿入	125
取り外し	124
エンジン	
エンジン番号	597
オーバーヒート	521
キーレスゴースイッチで停止する	272
キーレスゴースイッチでの始動	237
警告灯（エンジン診断）	468
けん引始動（車両）	561
作動不良	243
始動時のトラブル	243
車両のキーで停止する	272
ジャンプスタート	553
停止	271
ディスプレイメッセージ	434
ECO スタートストップ機能	239
エンジンオイル	
エンジンオイル量の点検	515
オイルグレードについての注意	600
温度（マルチファンクションディスプレイ）	406
充填容量	601
定期交換	519
ディスプレイメッセージ	437
添加剤	601
粘度	601
補給	518
マルチファンクションディスプレイを使用したオイル量の点検	516
油量および消費についての注意	514
レベルゲージを使用してオイル量を点検する	515
エンジン自動始動（ECO スタートストップ機能）	240
エンジンの始動	
キー操作	237

エンジンの電子制御部品	
故障（誤作動）	243

お

オイル

参照 エンジンオイル

応急用スペアタイヤ

サービスデータ	594
重要な安全上の注意	592
全体的な注意事項	592

オートマチックトランスミッション

アクセルペダルのポジション	249
運転のヒント	249
エマージェンシーモード	255
エンジンの始動	236
オートマチック走行モード	251
概要	245
ギアシフト操作	249
キックダウン	249
シフトポジション	248
シフトポジション表示	248
ステアリングパドルシフト	251
走行モード選択スイッチ	249
ディスプレイメッセージ	452
ドライブポジションの選択	247
トラブル（不具合）	255
ニュートラルの選択	246
パーキングポジション P の選択	245
パーキングポジションの自動選択	246
発進	238
マニュアル走行モード	251
マニュアル走行モード（AMG 車両）	253
リバースギアの選択	246
DIRECT SELECT レバー	245

オートマチックトランスミッションの

エマージェンシーモード	255
オートマチックヘッドライトモード	191
オートライト	
ディスプレイメッセージ	433
参照 ライト	
オーバーヘッドコントロールユニット	52
オドメーター	386

音楽ファイル

デジタル版取扱説明書をご覧ください 476

音声認識機能

参照 別冊取扱説明書

温度

エンジンオイル（マルチファンクション
ディスプレイ）……………406
外気温度……………381
設定（エアコン）……………214
冷却水……………381
冷却水（マルチファンクション
ディスプレイ）……………397

か**外気温度表示……………381****解錠**

車内から（セントラルロック
スイッチ）……………130
非常時の解錠……………132
回生ディスプレイ……………387

回生ブレーキシステム

重要な安全上の注意事項……………59
走行安全システム……………59

懐中電灯……………538**拡大惰走モード……………356****格納式テーブル……………495****ガソリン……………599****カップホルダー**

温度制御式……………500
重要な安全上の注意……………498
センターコンソール……………498
リア……………498

可変スピードリミッター

可変機能……………286
可変機能の解除……………287
機能 / 注意事項……………284
現在の速度を記憶する……………285
重要な安全上の注意……………284
選択……………285
LIM 表示灯……………284

カメラ

参照 360° カメラシステム

環境保護

全体的な注意事項……………28

完全な放電（高電圧バッテリー）……………556**寒冷時の走行**

重要な安全上の注意事項……………569
スノーチェーン……………570
滑りやすい路面……………279

き**キー**

位置（エンジンスイッチ）……………234
エマージェンシーキー……………124
エンジンの始動……………237
概要……………120
キーレスゴースタート機能……………123
コンビニエンスオープニング機能……………141
コンビニエンスクローキング機能……………142
重要な安全上の注意……………120
設定変更……………123
セントラルロックによる施錠 / 解錠……………121
ディスプレイメッセージ……………456
電池交換……………125
電池点検……………125
不具合（異常）……………127
紛失……………129

キーの位置

キー……………234
キーレスゴースイッチ……………234

キーレスゴー

解錠……………122
コンビニエンスクローキング機能……………143
施錠……………122

キーレスゴースイッチ

エンジンの始動……………237
取り外し……………236

キックダウン

運転のヒント……………249

機能……………498**救急セット……………539****給油**

給油のしかた……………257
重要な安全上の注意……………256

燃料計	46
参照 燃料	
緊急	
事故後の自動措置	84
緊急時点灯機能	199
<	
拡大惰走モード	355
クーリングボックス	507
クッションエアバッグ	72
クルーズコントロール	
解除	283
機能 / 注意事項	281
クルーズコントロールレバー	281
現在の速度を記憶および維持する	282
重要な安全上の注意	281
選択	282
走行装備	280
速度の設定	283
ディスプレイメッセージ	450
LIM 表示灯	281
クロージングサポーター	131
グローブボックス	491
クロスウインドアシスト (マジックボディコントロール装備車両)	303
け	
警告	
ステッカー	56
警告および表示灯	
ステアリング	473
パーキングブレーキ	466
ハイブリッドシステム	471
RBS (回生ブレーキシステム)	471
警告灯 / 表示灯	
エンジン診断	468
各部の名称	47
シートベルト	458
車間距離警告	472
乗員保護装置	467

燃料残量	468
燃料タンク	598
ブレーキ	459
冷却水	468
ABS	461
ESP®	464
ESP® オフ	466
LIM (可変スピードリミッター)	284
LIM (クルーズコントロール)	281
LIM (ディストロニック・プラス)	289
SRS	378

警告灯と表示灯

助手席エアバッグオフ	62
------------	----

携帯電話

メニュー (マルチファンクションディスプレイ)	394
-------------------------	-----

警報

オフにする (ATA)	116
機能のオン / オフを切り替える (ATA)	116
ATA (盗難防止警報システム)	116

けん引

けん引フックの取り付け	559
けん引フックの取り外し	559
重要な安全上の注意	557
フロントおよびリアが接地した状態で	559
リアをつり上げて	560
4MATIC 車両に関する注意事項	561

けん引始動

エンジンエマージェンシースタート	561
重要な安全上の注意	557

けん引フック

けん引防止

オフにする	117
解除	117
機能	117
待機状態	117

言語の設定

デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
-------------------	-----

こ

高圧式スプレーガンの使用	527
---------------------	------------

後席

エアコンディショナーの作動 / 停止	221
温度の設定	215
小物入れ	493
送風口の設定	229

後席のセンターコンソール

小物入れ	494
------	-----

高電圧バッテリー

エネルギー消費	262
外気温度	262
車両火災	58
充電	260
充電（充電ステーション）	269
充電（マルチファンクション ディスプレイ）	348
充電ケーブルにより発生する熱	263
充電状態	347
充電処理のトラブル	270
充電する（充電ボックス）	267
充電する（電源ソケット）	264
全体的な注意事項	58
走行可能距離	262
操作	262
バッテリーの手入れ	263
保護機器	263
利用規約	263

高電圧バッテリーの充電

（重要な安全上の注意事項）	260
---------------	-----

高電圧バッテリーの充電状態 347**コーナリングライト**

機能 / 注意事項	194
ディスプレイメッセージ	431

故障

参照 けん引	
参照 パンクしたタイヤ	

故障メッセージ

参照 ディスプレイメッセージ	
----------------	--

故障メッセージを表示させる

参照 ディスプレイメッセージ	
----------------	--

子供

乗員保護装置	86
乗せるとき	85

小物入れ

アームレスト下	492
運転席および助手席シート下部	493
カップホルダー	498
グローブボックス	491
後席	493
後席のセンターコンソール	494
サングラスケース	492
重要な安全上の注意	491
センターコンソール	492
ドア	493
ラゲッジネット	495

コラプシブル応急用スペアタイヤ

空気注入	593
参照 応急用スペアタイヤ	

コンビエンスオープニング /**クロージング（内気循環モード）** 219**コンビエンスオープニング機能** 141**コンビエンスクロージング機能** 142**コンビネーションスイッチ** 192**さ****サービス**

参照 メンテナンスインジケーター	
------------------	--

サービスセンター

参照 メルセデス・ベンツ指定サービス工場	
----------------------	--

サービスデータ

応急用スペアタイヤ	594
車両データ	604
タイヤ / ホイール	584
容量	597

サービスプロダクト

燃料	598
ブレーキ液	602

最大充電電流

設定する（マルチファンクション ディスプレイ）	400
----------------------------	-----

最大電荷電流

設定する（充電ケーブル）	265
--------------	-----

サイドウィンドウ

開閉	140
コンビエンスオープニング機能	141

コンビニエンススクローリング機能	142
重要な安全上の注意	140
不具合（異常）	144
リセット	143
サイドバッグ	71
サスペンション	
モードセットアップ画面（マルチ ファンクションディスプレイ）	407
サスペンション制御	
ABC（アクティブ・ボディ・ コントロール）	303
サスペンションの制御	
AIR マテックサスペンション	306
作動モード	
停車車両	354
サマータイヤ	
冬季	569
サングラスケース	492
サンバイザー	501

し

シート

イージーエントリー機能	179
運転席のシートポジション	154
後席のマルチコントロールシートバック	173
シートヒーター	173
シートヒーターのトラブル	175
シートヒーターを使用する	173
シートベンチレーター	175
シートベンチレーターの使用	175
シートベンチレーターのトラブル	177
重要な安全上の注意	155
ショーファーモード	163
調整（後席）	157
調整（電動式）	156
ディスプレイメッセージ	454
電動ランバーサポートを調整する	173
表面の手入れ	534
ヘッドレストの調整	169
マルチコントロールシートバック	173

アクティブマルチコントロール シートバック	173
メモリー機能（設定の記憶）	184

シートベルト

アクティブベルトバックル	67
運転席および助手席シートベルト	66
解除	67
概要	62
警告灯	458
警告灯（機能）	68
シートベルトテンショナー	80
重要な安全上の注意	63
高さ調整	67
正しい着用方法	65
着用	66
手入れ	535

シートベルトテンショナー

作動	80
----	----

事故

事故後の自動措置	84
----------	----

時刻の設定

デジタル版取扱説明書をご覧 ください	476
-----------------------	-----

事故のとき

プレエントリーエアコンディショニング
(キーを使用して)

トラブル（故障）	225
----------	-----

自宅住所

デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
-------------------	-----

室内センサー

解除	118
機能	118
待機状態	118

指定サービス工場

参照 メルセデス・ベンツ指定サービス工場	
----------------------	--

始動（エンジン）

シフトインジケーター（マルチファンク
ションディスプレイ）

	406
--	-----

車外ライト

清掃	530
参照 ライト	

車間距離警告機能	
機能 / 注意事項	107
車間距離警告信号 (警告灯)	472
車高	
アクティブ・ボディ・コントロール (ABC)	303
ディスプレイメッセージ	441
遮光フィルム	509
車載工具	539
車台番号	597
ジャッキ	
収納場所	540
使用方法	580
車幅灯	
オン / オフの切り替え	192
車両	
運搬	560
解錠 (キー)	121
各種の設定	397
けん引	557
ジャッキアップ	577
ジャッキダウン	582
車両が動き出さないよう固定する	577
車両データ	604
施錠 (キー)	121
操作安全性	29
装備	29
正しい使用	32
駐車	271
ディスプレイメッセージ	452
データ取得	32
電子制御部品	596
発進	238
非常時の解錠	132
非常時の施錠	132
車両データ	
トランクの積載量 (最大)	604
ルーフの積載量 (最大)	604
車両を運搬する	560
ジャンプスタート (エンジン)	553
住所の入力	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
充電ケーブル	
収納する	264
重要な安全上の注意事項	264
接続する	266
操作	264
取り外す	267
熱の発生	263
表示灯	266
充電電流を設定する (マルチ ファンクションディスプレイ)	400
収納スペース	
ウッドテールブル	495
荷物の固定	495
ラゲッジネット固定部	495
リアシートバックレスト	495
出発時刻の設定 (マルチ ファンクションディスプレイ)	401
乗員安全性	
子供を乗せるとき	85
事故後の自動措置	84
重要な安全上の注意	60
PRE-SAFE® (予期乗員保護装置)	82
乗員の安全性	
ペットを乗せるとき	102
乗員保護装置	
概要	59
警告灯	467
警告灯 (機能)	61
ディスプレイメッセージ	425
照明コントローラー (メーターパネル照明)	40
ショーファーモード	
助手席シートのショーファー ポジションへの移動	163
助手席シートの通常位置への移動	167
全体的な注意事項	163
ディスプレイメッセージ	454
フルリクライニングポジション	169
ヘッドレストの取り付け	167
ヘッドレストの取り外し	167
ヘッドレストを起こす / 倒す	165
助手席エアバッグオフ	
表示灯	62

助手席エアバッグ解除 ディスプレイメッセージ……………	427	ステアリングアシスト (ディストロ ニック・プラス) ディスプレイメッセージ……………	449
助手席エアバッグ解除システム 作動……………	62	ステアリングコラムのスイッチ……………	381
システム自己診断……………	77	ステアリングヒーター 作動 / 解除……………	178
トラブル……………	79	不具合 (誤作動)……………	178
助手席エアバッグ自動解除 ディスプレイメッセージ……………	427	スノーチェーン……………	570
助手席エアバッグ自動解除システム 作動……………	62	スピードメーター デジタル……………	388
システム自己診断……………	77	表示単位の設定……………	404
トラブル……………	79	補助スピードメーターのオン / オフ	405
助手席エアバッグ表示灯 問題 (誤作動)……………	427	メーターパネル内……………	46
助手席シート 運転席からの調整……………	159	参照 メーターパネル	
後席からの調整……………	159	スピードリミッター スノータイヤ……………	287
助手席のヘッドレスト 起こす / 倒す……………	165	ディスプレイメッセージ……………	450
診断機の接続部……………	31	スライディングルーフ 参照 パノラミックスライディングルーフ	

す

スイッチおよびコントローラー……………	480	生成された電気エネルギー (COMAND システム)……………	351
スタートストップ機能 参照 ECO スタートストップ機能		清掃 ドアミラー方向指示灯……………	530
ステアコントロール……………	116	施錠 参照 セントラルロックシステム	
ステアリング イージーエントリー機能……………	179	施錠 (ドア) 車内から (セントラルロック スイッチ)……………	130
警告灯……………	473	非常時の施錠……………	132
スイッチ (マルチファンクション ディスプレイ)……………	381	設定 初期化 (マルチファンクション ディスプレイ)……………	406
スイッチの概要……………	48	マルチファンクションディスプレイ……………	397
ステアリングヒーター……………	178	設定変更 (キー)……………	123
清掃……………	534	セットアップ画面 (マルチファンク ションディスプレイ)……………	407
調整 (電動)……………	177	セレクターレバー 清掃……………	534
パドルシフト……………	251	参照 オートマチックトランスミッション	
メモリー機能 (シート位置の記憶)……………	184		
ステアリング (ディスプレイ メッセージ)……………	455		

せ

センサー（日常の手入れ）……………530
 洗車（手入れ）……………525
センターコンソール
 概要……………50
 収納スペース……………492
セントラルロックシステム
 施錠 / 解錠（キー使用）……………121
セントラルロック
 参照 セントラルロックシステム

そ

走行安全システム
 回生ブレーキシステム……………59
 EBD（エレクトロニック・ブレーキパワー・
 ディストリビューション）……………113
走行安全装備
 アダプティブブレーキ……………113
 アダプティブブレーキアシスト……………108
 アダプティブブレーキライト……………109
 概要……………102
 車間距離警告機能……………107
 重要な安全上の注意……………103
 ステアコントロール……………116
 飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・
 プラス……………104
 ABS（アンチロック・ブレーキング・シス
 テム）……………103
 BAS（ブレーキアシスト）……………104
 CPA プラス（衝突警告システム）……………106
 ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・
 プログラム）……………110
 ETS（エレクトロニック・トラクション・
 システム）……………110
 PRE-SAFE® ブレーキ……………113
走行距離記録……………386
走行システム
 ステアリングアシスト機能付
 ディストロニック・プラス……………298
 ABC（アクティブ・ボディ・
 コントロール）……………303
走行時の注意
 冠水路の走行（オンロード）……………279

濡れた路面……………279
走行装備
 アクティブパーキングアシスト……………312
 アクティブブラインドスポット
 アシスト……………335
 アクティブレーンキーピングアシスト……………338
 アテンションアシスト……………329
 可変スピードリミッター……………284
 クルーズコントロール……………281
 ディストロニック・プラス……………287
 ディスプレイメッセージ……………441
 ナイトビューアシストプラス……………331
 パークトロニック……………309
 ホールド機能……………301
 リアビューカメラ……………318
 360° カメラシステム……………323
 AIR マティックサスペンション……………306
走行モード
 オートマチック……………251
 セットアップ画面（マルチファンク
 ションディスプレイ）……………407
 マニュアル……………251
 マニュアル（AMG 車両）……………253
走行モード選択スイッチ……………249
操作安全性
 重要な安全上の注意……………29
操作システム
 参照 マルチファンクションディスプレイ
送風口
 グローブボックス……………229
 サイド送風口の調整……………229
 重要な安全上の注意……………228
 送風の設定……………228
 中央送風口の調整……………228
 リア……………229
速度制限の設定
 参照 可変スピードリミッター
速度の制御
 参照 クルーズコントロール

た

タイヤ

応急用スベアタイヤ	592
回転方向	575
交換	575
重要な安全上の注意	566
新品の車輪の取り付け	581
タイヤサイズ（データ）	584
タイヤの交換	568
タイヤの取り付け	576
タイヤの取り外し	580
タイヤのトレッド	568
耐用年数	568
ディスプレイメッセージ	451
点検	567
冬季のサマータイヤ	569
ホイールとタイヤの組み合わせ	582
保管	575
参照 パンク	
MOExtended タイヤ	569

タイヤ空気圧

基準値	571
達している（タイヤフィット）	545
達しない（タイヤフィット）	544
ディスプレイメッセージ	451

タイヤ空気圧警告システム

再起動	574
重要な安全上の注意	573
全体的な注意事項	573

タイヤの取り付け

ジャッキアップ	577
ジャッキダウン	582
車両が動き出さないよう固定する	577
車両の準備	576
車輪の装着	581
車輪の取り外し	580

タイヤフィット

タコメーター

惰走モード

ち

チャイルドセーフティシート

後ろ向き乗員保護装置	92
純正	97
助手席に装着	93
適切な位置	92
テザーアンカー	89
前向き乗員保護補助装置	92
ISOFIX	88

チャイルドブルーフロック

重要な安全上の注意	100
リアサイドウインドウ	101
リアドア	101

駐車

重要な安全上の注意	271
助手席側ドアミラーの位置	183
ハイブリッド車両	356
リアビューカメラ	318
参照 パークトロック	
参照 駐車	

著作権

て

停止車両

停止表示板

ディストロニック・プラス

運転のヒント	296
解除	293
機能 / 注意事項	287
クルーズコントロールレバー	289
作動	290
作動条件	290
指定最低距離の設定	294
重要な安全上の注意	288
選択する	290
ディスプレイメッセージ	447
マルチファンクション	
ディスプレイの表示	294

ディスプレイ

参照 ディスプレイメッセージ	
参照 警告および表示灯	

ディスプレイメッセージ	
安全装備	410
エンジン	434
キー	456
車両	452
全体的な注意事項	408
走行装備	441
タイヤ	451
ハイブリッドシステム	439
はじめに	408
非表示 (マルチファンクション ディスプレイ)	408
メンテナンスインジケーター	523
呼び出し (マルチファンクション ディスプレイ)	408
ライト	431
デイトタイムドライビングライト	
機能 / 注意事項	191
ディスプレイメッセージ	433
点灯 / 消灯 (マルチファンクション ディスプレイ)	403
手入れ	
ウィンドウ	529
ウッドトリム	534
カーペット	535
ギア / セレクターレバー	534
高圧式スプレーガン	527
シート表皮	534
シートベルト	535
自動洗車機	525
車外ライト	530
車内	532
ステアリング	534
センサー	530
洗車	525
注意	524
ディスプレイ	532
塗装面	528
トリム部品	534
ナイトビューアシストプラス	532
プラスチックトリム	533
ホイール	529
マットペイント	528
マフラー	532
リアビューカメラ	531
ルーフライニング	535
ワイパーブレード	530
360° カメラシステム	531
データ	
参照 サービスデータ	
テールライト	
ディスプレイメッセージ	432
参照 ライト	
テザーアンカー	89
デジタルスピードメーター	388
デジタル版取扱説明書	
概要	2
操作方法	3
訂正事項	605
テレビ	
操作 (マルチファンクション ディスプレイ)	394
添加剤 (エンジンオイル)	601
電気モーター	
パワーディスプレイ	346
参照 ハイブリッド作動	
電球の交換	
一般的な注意事項	199
電源ソケット	
センターコンソール	505
全体的な注意	505
トランク	506
リア	506
電子制御部品	
注意	596
電池 (キー)	
交換	125
重要な安全上の注意	125
点検	125
電動ブラインド	
パノラミックスライディングルーフ	148
リアウインドウ	502
リアサイドウインドウ	501
電話	
通話の拒否 / 終了	395
ディスプレイメッセージ	455

デジタル版取扱説明書をご覧 ください	476
電話帳からの番号	395
電話を受ける（マルチファンクション ステアリング）	395
メニュー（マルチファンクション ディスプレイ）	394
リダイヤル	396
電話帳	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	476

と

ドア

クロー징ングサポーター	131
車速感応ドアロック（スイッチ）	131
重要な安全上の注意	130
セントラルロックによる施錠 / 解錠（キー使用）	121
操作パネル	53
ディスプレイメッセージ	454
非常時の解錠	132
非常時の施錠	132
開く（車内から）	130

ドアミラー

格納 / 展開（自動）	182
格納 / 展開（電動）	181
外側に曲げられたとき	182
調整	181
防眩（自動）	182
メモリー機能（設定の記憶）	184
リセット	181
リバースポジションの記憶	183

ドアミラー方向指示灯

清掃	530
----	-----

ドアロック

車速感応	131
------	-----

冬季の使用

サマータイヤ	569
--------	-----

盗難防止システム

イモビライザー	116
けん引防止機能	117
室内センサー	118
ATA（盗難防止警報システム）	116

読書灯	198
塗装面（日常の手入れ）	528
飛び出し検知機能付 BAS プラス （ブレーキアシスト・プラス）	
機能 / 注意事項	104

トランク

開閉（車外からの自動）	135
開閉（車外からの手動）	134
開閉（車外からのハンズフリーアクセス）	136
開閉（車内からの自動）	138
クロー징ングサポーター	131
重要な安全上の注意	133
独立施錠	138
非常時の解錠	139

トランクの積載量（最大）

トランクフロアボード下の収納

スペース

トランクリッド

開閉	134
障害物検知	134
ディスプレイメッセージ	453
開いたときの寸法	604

トランスミッション

参照 オートマチックトランスミッション

取扱説明書

概要	2
車両装備	29

トリップコンピューター（マルチファンク
ションディスプレイ）

トリップメーター

初期化（マルチファンクション ディスプレイ）	388
呼び出し	386

トリム部品（清掃の説明）

な

内気循環モードの作動および解除

ナイトビューアシストプラス

機能 / 注意事項	331
作動 / 停止	333

自動作動のオン / オフの切り替え	398
清掃	532
ディスプレイメッセージ	446
不具合 (故障)	334
内燃エンジン	
故障	357
ナビゲーション	
デジタル版取扱説明書をご覧 ください	476
メニュー (マルチファンクション ディスプレイ)	389
慣らし運転	232

に

荷物の積み方	490
---------------	------------

ね

燃費 (マルチファンクション ディスプレイ)	386
燃料	
給油	256
グレード (ガソリン)	599
重要な安全上の注意	598
消費に関する情報	600
走行可能距離の表示	386
タンク容量 / 予備燃料	598
添加剤	600
燃料計	46
燃料消費の表示	386
平均燃費	386
問題があるとき	259
AMG 車	599
燃料および油脂	
ウォッシュャー液	603
エンジンオイル	600
重要な安全上の注意	597
冷却水 (エンジン)	602
燃料キャップ	
参照 燃料給油口フラップ	
燃料給油口フラップ	
開く	257

燃料残量	
警告灯	468
走行可能距離の呼び出し (マルチ ファンクションディスプレイ)	386
ディスプレイメッセージ	438
燃料消費 (COMAND システム)	351
燃料タンク	
不具合	259
容量	598
燃料容量	
燃料計	46

は

パーキング	
パーキングブレーキ	273
パーキングアシスト	
参照 パークトロニック	
パーキングブレーキ	
警告灯	466
ディスプレイメッセージ	414
パーキングブレーキ	273
パーキングヘルプ	
アクティブパーキングアシスト	312
参照 ドアミラー	
参照 パークトロニック	
パーキングランプ	
ディスプレイメッセージ	432
点灯 / 消灯	192
パークトロニック	
インジケーター	310
解除 / 作動	311
機能 / 注意事項	309
重要な安全上の注意	309
センサーの感知範囲	309
走行装備	309
不具合 (故障)	312
ハイウェイモード	195
灰皿	503
ハイドロプレーニング現象	279

ハイビームヘッドライト	
アダプティブハイビームアシスト・	
プラスのオン / オフの切り替え	196
アダプティブハイビームアシスト・	
プラス	195
ディスプレイメッセージ	432
点灯 / 消灯	192
ハイブリッド作動	
運転のヒント	353
回生ブレーキシステムのトラブル	357
概要 (メーターパネル)	345
拡大空走モード	356
空走モード	355
自動エンジン始動 (ECO スタート	
ストップ機能)	355
自動エンジン停止 (ECO スタート	
ストップ機能)	355
重要な安全上の注意	342
全体的な注意事項	342
走行モード選択スイッチ	352
発進	352
パワーディスプレイ (電気モーター)	346
マニュアル走行モード	353
無音始動	352
問題	357
ECO スタートストップスイッチ	355
ハイブリッドシステム	
概要	344
感電の危険	56
警告灯	471
高電圧バッテリー	58
自動解除	57
重要な安全上の注意事項	56
手動解除	57
ディスプレイメッセージ	439
トラブル (不具合)	357
ボンネットを開く	59
READY 表示灯	352
ハイブリッド車両	
エアコンディショナー	209
重要な安全上の注意事項	56
ハイブリッド走行	
生成された電気エネルギー	351
走行可能距離の表示	350
ハイブリッドメニュー (マルチ	
ファンクションディスプレイ)	400
ハイブリッド操作	
エナジーフロー表示	347
エンジン始動	346
数値のリセット	
(COMAND システム)	351
操作 (マルチファンクション	
ディスプレイ)	346
燃料消費	351
ハイブリッドの作動	
回生ブレーキシステム	342
バックランプ (ディスプレイメッセージ)	
	432
発進	
オートマチックトランスミッション	238
ハイブリッド作動	352
ヒルスタートアシスト	238
パッシングランプ	193
発進する	
全体的な注意事項	238
バッテリー (高電圧)	
参照 高電圧バッテリー	
バッテリー (車両)	
ジャンプスタート	553
充電	550
重要な安全上の注意事項	546
ディスプレイメッセージ	436
電圧	604
容量	604
パドルシフト	251
パニティミラー (サンバイザー内)	501
パノラミックスライディングルーフ	
開閉	146
重要な安全上の注意	145
不具合 (故障)	151
リセット	149
レインクローズ機能	147
パノラミックスライディングルーフの	
電動ブラインド	
操作 (電動フロントブラインド)	148
操作 (電動リアブラインド)	149

パフュームアトマイザー	
香水ビン	222
作動	222
トラブル (不具合)	223
パワーウィンドウ	
参照 サイドウィンドウ	
パンクしたタイヤ	
車両の準備	541
タイヤの交換 / スペアタイヤの装着	575
タイヤフィット	543
MOExtended	541
ハンズフリーアクセス	136

ひ

ビークルプレート	596
ヒーター	
参照 エアコンディショナー	
非常時の解錠	
運転席ドア	132
車両	132
非常時の車両の施錠	132
非常点滅灯	193
日付 / 時刻形式の設定	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
ビデオ	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	
ください	476
DVD の操作	393
ヒューズ	
エンジンルーム内のヒューズボックス	563
交換の前に	565
重要な安全上の注意	561
ダッシュボードのヒューズボックス	562
トランク内のヒューズボックスの位置	564
配置表	564
ヒューズボックス	
助手席足元のヒューズボックス	562

表示

高電圧バッテリーの充電状態	347
---------------	-----

表示および警告灯

CPA プラス (衝突警告システム)	472
--------------------	-----

表示灯

参照 警告灯 / 表示灯	
--------------	--

ヒルスタートアシスト	238
-------------------	------------

ふ

フォグランプ (強化機能)	195
----------------------	------------

ブラインドスポットアシスト

参照 アクティブブラインドスポットアシスト	
-----------------------	--

プラグインハイブリッドの作動

一般的な情報	359
運転のヒント	373
エナジーフローディスプレイ	365
エンジン自動始動 (ECO スタートストップ機能)	375
エンジン自動停止 (ECO スタートストップ機能)	375
概要、ハイブリッドシステム	361
概要、メーターパネル	362
感応式アクセルペダル	372
高電圧バッテリー (充電状況)	365
高電圧バッテリーの充電	366
車両の始動	371
充電状況、高電圧バッテリー	365
重要な安全上の注意事項	359
数値のリセット (COMAND システム)	370
生成された電気エネルギー	370
生成された電気エネルギー (COMAND システム)	370
走行モード選択スイッチ	371
操作 (マルチファンクションディスプレイ)	365
操作モード	363
総走行可能距離および電気での走行可能距離の表示	369
惰走モード	375
駐車	376
停止している車両	373

電気モーター（電力表示）	363	ブレーキペダル	
電力表示、電気モーター	363	ペダルの抵抗 / ペダルのストローク	59
内燃エンジンのトラブル	377	ブレーキランプ	
燃料消費	370	アダプティブ	109
燃料消費（COMAND システム）	370	ディスプレイメッセージ	431
ハイブリッドシステムのトラブル	378	フロアマット	508
発進	371	フロントウィンドウ	
マニュアル走行モード	372	赤外線反射	509
無音始動	371	フロントワイパー	
メーターパネル（電力表示）	363	不具合	204
ECO スタートストップ機能	374		
RBS（回生ブレーキシステム）	359		
RBS（回生ブレーキシステム）			
のトラブル	377		
READY 表示灯	371		
SRS（乗員保護補助装置）			
のトラブル	378		
プラスチックトリム（清掃の説明）	533		
ブレーキ			
アダプティブブレーキアシスト	108	ヘッドアップディスプレイ	
運転のヒント	277	明るさの調整	402
回生ブレーキシステム	59	位置の設定	402
強化ブレーキシステム	278	オン / オフを切り替える	384
警告灯	459	機能 / 注意事項	383
重要な安全上の注意	277	重要な安全上の注意事項	384
ディスプレイメッセージ	419	ディスプレイの	
飛び出し検知機能付き		オン / オフを切り替える	401
BAS プラス	104	ヘッドバッグ	
パーキングブレーキ	273	ディスプレイメッセージ	426
ヒルスタートアシスト	238	ヘッドライト	
ブレーキ液（注意）	602	くもり	197
ホールド機能	301	参照 オートマチックヘッドライトモード	
ABS	103	ヘッドレスト	
BAS	104	イージーアジャストラグジュアリー	
EBD（エレクトロニック・ブレーキ		ヘッドレスト	170
パワー・ディストリビューション）	113	起こす / 倒す	165
RBS 警告灯	471	調整	169
		調整（リア）	171
		補助クッション	172
		ラグジュアリー	170
		ペットを乗せるとき	102
		ベルト	
		参照 シートベルト	
ブレーキアシスト		ベルトバッグ	66
参照 BAS（ブレーキアシスト）			
ブレーキ液			
注意	602		
ディスプレイメッセージ	419		
ブレーキ液量	522		

ほ

ホイール

交換 / ローテーション	575
締め付けトルク	582
重要な安全上の注意	566
清掃	529
タイヤの交換	575
点検	567
ホイールサイズ / タイヤサイズ	584
保管	575

ホイールとタイヤの組み合わせ

参照 タイヤ

ホイールボルトの締め付けトルク 582

方向指示灯

ディスプレイメッセージ	431
点灯 / 消灯	192

ホールド機能

解除	302
機能 / 注意事項	301
作動	302
ディスプレイメッセージ	447

ホーン 42

歩行者保護

アクティブボンネット (歩行者保護)	513
--------------------	-----

補充

AMG 車についての注意	599
--------------	-----

補助スピードメーター 405

ボンネット

アクティブボンネット (歩行者保護)	513
重要な安全上の注意	512
ディスプレイメッセージ	454
閉じる	514
開く	514

ま

マジックボディコントロール 303

マッサージ機能 173

マットペイント (日常の手入れ) 528

マルチコントロールシートバック 173

マルチファンクションステアリング

概要	48
マルチファンクションディスプレイの 操作	381

マルチファンクションディスプレイ

アシスト一覧メニュー	396
アシストメニュー	398
安全に関する重要事項	380
機能 / 注意事項	380
基本画面	386
車両メニュー	405
設定初期化	406
設定メニュー	397
操作	381
ディストロニック・プラス	295
テレビの操作	394
点検メッセージの表示	523
トリップメニュー	386
ナビゲーションメニュー	389
ビデオ DVD の操作	393
ヘッドアップディスプレイ	383
メーターパネルメニュー	404
メッセージの記憶	408
メディアメニュー	392
メニューの概要	386
メンテナンスメニュー	397
ライトメニュー	403
ラジオメニュー	391
AMG メニュー	406
TEL メニュー	394

み

ミラー

参照 ドアミラー
参照 バニティミラー (サンバイザー内)
参照 ルームミラー

む

無線機

取り付け	596
------	-----

め

メーターパネル

各部の名称	46
警告灯 / 表示灯	47
パワーディスプレイ	346

メーターパネル照明 48

メッセージ

参照 ディスプレイメッセージ	
参照 警告および表示灯	

メッセージの記憶（マルチファンクションディスプレイ） 408

メディアインターフェース

デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
-------------------	-----

メモリーカード（オーディオ） 392

メモリー機能

後席	185
シート、ステアリング、ドアミラー	184
設定の保存（後席）	186

メルセデス・ベンツ・インテリジェント

ドライブ

アクティブパーキングアシスト	312
アクティブブラインドスポットアシスト	335
アクティブレーンキーピングアシスト	338
アテンションアシスト	329
可変スピードリミッター	284
クルーズコントロール	281
クロスウインドアシスト（マジックボディコントロール装備車両）	303
クロスウインドアシスト（マジックボディコントロール非装備車両）	112
ステアリングアシスト機能付ディストロニック・プラス	298
一般的な注意事項	280
ディストロニック・プラス	287
飛び出し検知機能付 BAS プラス（ブレーキアシスト・プラス）	104
ナイトビューアシストプラス	331
パーキングアシストリアビューカメラ	318
パークトロニック	309
マジックボディコントロール	303

路面スキャン	305
360° カメラシステム	323
ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）	103
BAS（ブレーキアシスト）	104
ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）	110
PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）	82
PRE-SAFE® プラス（予期乗員保護措置プラス）	83
PRE-SAFE® ブレーキ	113

メルセデス・ベンツ指定サービス工場 32

メルセデス・ベンツ純正部品 28

メンテナンスインジケーター

注意	523
特別な点検が必要なとき	524
メンテナンスインジケーターのリセット	524
メンテナンスメッセージ	523
メンテナンスメッセージの非表示	523
メンテナンスメッセージの表示	524

メンテナンスメニュー（マルチファンクションディスプレイ） 397

も

モーター：パワーディスプレイ 346

よ

容量（サービスデータ） 597

余熱ヒーター（エアコンディショナー） 221

予備（燃料タンク）

参照 燃料	
-------	--

ら

ライセンスランプ（ディスプレイメッセージ） 432

ライター 504

ライト

アクティブライトシステム	194
--------------	-----

アダプティブハイビームアシスト・ プラス	195
インテリジェントライトシステム (機能)	194
インテリジェントライトシステムの オン / オフ	403
コーナリングライト	194
車外ライトの設定	190
車幅灯	192
デイトタイムドライビングライトの 点灯 / 消灯 (マルチファンクション ディスプレイ)	403
パーキングランプ	192
ハイウェイモード	195
ハイビームヘッドライト	192
非常点滅灯	193
フォグランプ (強化機能)	195
ヘッドライトのオートモード	191
ヘッドライトの曇り	197
ヘッドライトのパッシング	193
方向指示灯	192
ライトスイッチ	190
リアフォグランプ	191
ロービームヘッドライト	191
参照 ルームライト 参照 電球の交換	
ライトセンサー	433
ラグジュアリーヘッドレスト	170
ラゲッジネット	495
ラゲッジネットフック	495
ラゲッジルーム	490
ラジオ	
放送局の選択	391
デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
ラジオモード	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
ランパーサポート	
電動ランパーサポートの調整	173
ランプ	
参照 警告灯 / 表示灯	

り

リア

送風口の調整	229
送風量の調整	217

リアウインドウの電動ブラインド

リアシート

概要	54
調整	157
リアクライニングシートの調整	158
リアクライニングポジションの設定	158

リアデフォッガー

機能のオン / オフ	218
トラブル (故障)	219

リアビューカメラ

オン / オフ	319
機能 / 注意事項	318
清掃の説明	531

リアフォグランプ

ディスプレイメッセージ	432
点灯 / 消灯	191

リアランプ

参照 ライト

リターンスイッチ

リバース機能

サイドウインドウ	140
電動ブラインド	148
トランクリッド	134
パノラミックスライディングルーフ	146

る

ルート案内 (ナビゲーション)

ルーフの積載量 (最大)

ルーフライニングとカーペット

(清掃の説明)

ルーフラック

ルームミラー

防眩 (自動)

ルームライト

概要	197
緊急時点灯機能	199

操作	198
読書灯	198

れ

冷却水 (エンジン)

温度計	381
温度の表示 (マルチファンクション ディスプレイ)	381
警告灯	468
重要な安全上の注意	602
定期交換	521
ディスプレイメッセージ	434
補給	520
量の点検	519

冷房

参照 エアコンディショナー

レインクローズ機能

パノラミックスライディングルーフ	147
------------------	-----

レーンキーピングアシスト

設定 / 解除 (マルチファンクション ディスプレイ)	400
参照 アクティブレーンキーピングアシスト	

ろ

ロービームヘッドライト

ディスプレイメッセージ	431
点灯 / 消灯	191
左側 / 右側通行の設定	404

路面スキャン	305
--------	-----

わ

ワークショップ

参照 メルセデス・ベンツ指定サービス工場

ワイパー

ワイパーの操作	199
ワイパーブレードの交換	200

ワイパーブレード

交換	200
重要な安全上の注意	200
清掃	530

輪止め	577
-----	-----

英字

4MATIC (フルタイム 4 輪駆動)	308
----------------------	-----

12V ソケット

参照 電源ソケット

360° カメラシステム

機能 / 注意事項	323
清掃	531

ABS (アンチロック・ブレーキング・システム)

機能 / 注意事項	103
警告灯	461
重要な安全上の注意	103
ディスプレイメッセージ	410

AC モードのオン / オフ	211
----------------	-----

ADS (アダプティブ・ダンピング・システム)

AIR マティックサスペンション

機能 / 注意事項	306
ディスプレイメッセージ	442

ATA (盗難防止警報システム)

機能	116
警報の解除	116
作動 / 解除	116

BAS (ブレーキアシスト)	104
----------------	-----

Bluetooth®

デジタル版取扱説明書をご覧ください 476

CD

デジタル版取扱説明書をご覧ください 476

CD プレーヤー / CD チェンジャー (マルチファンクションディスプレイ)	392
--	-----

COMAND オンライン

ディスプレイ	477
--------	-----

COMAND システム

コントローラー	481
---------	-----

COMAND ディスプレイ

清掃	532
----	-----

CPA プラス

作動 / 解除	107
操作 / 注意事項	106

ディスプレイメッセージ……………	420	LIM 表示灯	
DIRECT SELECT レバー		可変スピードリミッター……………	284
オートマチックトランスミッション…	245	クルーズコントロール……………	281
DVD ビデオ		ディストロニック・プラス……………	289
操作 (マルチファンクション		M+S タイヤ ……………	570
ディスプレイ) ……………	393	MOExtended タイヤ ……………	541
デジタル版取扱説明書をご覧ください	476	MP3	
EBD (エレクトロニック・ブレーキ		操作……………	392
パワー・ディストリビューション)		PRE-SAFE® (予期乗員保護措置)	
機能 / 注意事項 ……………	113	機能の仕方……………	82
ディスプレイメッセージ……………	414	ディスプレイメッセージ……………	419
ECO スタートストップ機能		PRE-SAFE® プラス (予期乗員保護措置	
一般的な注意……………	239	プラス)	
エアコンディショナー……………	209	機能……………	83
エンジン自動始動……………	240	PRE-SAFE® ブレーキ (歩行者検知機能付)	
エンジン自動停止……………	239	機能 / 注意事項 ……………	113
概要……………	239	警告灯……………	472
重要な安全上の注意……………	239	設定 / 解除……………	399
ECO 表示		ディスプレイメッセージ……………	421
機能 / 注意事項 ……………	275	RBS (回生ブレーキシステム)	
マルチファンクションディスプレイ…	387	警告灯……………	471
ESP® (エレクトロニック・スタビリティ・		READY 表示灯 ……………	352
プログラム)		SD メモリーカード	
解除 / 設定……………	111	デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
機能 / 注意事項 ……………	110	SRS (乗員保護補助装置)	
警告灯……………	464	警告灯……………	467
作動 / 解除……………	398	USB 機器の接続	
重要な安全上の注意……………	110	デジタル版取扱説明書をご覧ください	476
全体的な注意事項……………	110		
ディスプレイメッセージ……………	412		
特性……………	111		
AMG メニュー (マルチファンクション			
ディスプレイ) ……………	406		
ETS/4ETS……………	110		
ETS (エレクトロニック・トラクション・			
サポート) ……………	110		
Google™ ローカル検索			
デジタル版取扱説明書をご覧ください	476		
iPod			
デジタル版取扱説明書をご覧ください	476		
ISOFIX 対応チャイルドセーフティ			
シート ……………	88		

環境保護

全体的な注意事項

🌀 環境に関する注意事項

Daimler は、包括的な環境保護の一つとしての対策を明確にしています。

それは、地球上で少しずつ使われ、自然と人間双方の要求に注意を促す、我々の存在の源となる自然資源のためです。

環境的に配慮のある方法で車両を操作することも、環境を保護する一助になります。

燃費やエンジン回転、トランスミッション、ブレーキ、タイヤの摩耗具合は、以下の要因に左右されます。

- お客様の車両の使用状況
- お客様の個人的な運転スタイル

お客様は、いずれの要因にも影響を及ぼしています。以下のことにご留意ください。

使用状況

- 短距離の走行は燃料消費を増やす原因となります。
- タイヤの空気圧が常に適正であることを確認してください。
- 不要な重量物は積載しないでください。
- 必要でないときは、ルーフラックを取り外してください。
- 定期的な車両の整備は、環境保護に貢献します。整備の間隔を守ってください。
- 点検整備は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

個人的な運転スタイル

- エンジンを始動するときは、アクセルペダルを踏まないでください。
- 車両を停止したままのエンジン暖機は行わないでください。
- 注意して運転し、前方の車両との適切な距離を保持してください。
- 頻繁な、または急な加速やブレーキ操作は避けてください。
- 適切なタイミングでギアを変え、それぞれのギアの使用は、エンジン最高回転数の 2/3 までにとどめてください。
- 渋滞しているときは、エンジンを停止してください。
- 車両の燃費に注意してください。

🌀 環境に関する注意

不具合のある高電圧バッテリーの廃棄は、環境に配慮した方法で行ってください。必要な専門知識と専用ツールを備えたメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。この目的のためメルセデス・ベンツは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に作業を依頼することをお勧めします。

メルセデス・ベンツ純正部品

🌀 環境

Daimler AG では、新品同様の品質を持つ、リサイクルしたアッセンブリーやパーツも供給しています。新品と同様の保証が適用されます。

! 以下の部位の周辺には、エアバッグやシートベルトテンショナー、また乗員保護装置のコントロールユニットやセンサー類が取り付けられています。

- ドア
- ドアピラー
- サイドシル
- シート
- ダッシュボード
- メーターパネル
- センターコンソール

これらの部位にオーディオなどのアクセサリーを取り付けしないでください。修理や板金作業を行なわないでください。乗員保護装置の作動効果が損なわれるおそれがあります。

アクセサリーを装着するときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に作業を依頼してください。

メルセデス・ベンツにより承認されていない安全性に関わる部品、タイヤおよびホイール、ならびにアクセサリーなどを使用した場合は、車両の走行安全性を損なうおそれがあります。ブレーキシステムなどの安全に関連したシステムが故障するおそれがあります。メルセデス・ベンツ純正部品または同等の品質の部品を必ず使用してください。タイヤやホイール、アクセサリーなどは必ず、車両用に明確に承認された製品のみを使用してください。

メルセデス・ベンツでは、純正部品や交換部品、アクセサリーに対して、それらの信頼性や安全性、適合性が明確に車両に適しているかをテストしています。継続的な市場調査に関わらず、メルセデス・ベンツはすべての部品を入手できるわけではありません。そのため、公的に承認されている、またはテストセンターによって独自に承認されている場合でも、メルセデス・ベンツ車でのそのような部品の使用については、メルセデス・ベンツは責任は負い兼ねます。

メルセデス・ベンツ純正部品を注文するときは、常に車台番号 (▷597 ページ) を確認する必要があります。

取扱説明書

車両の装備

装備や操作について不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

取扱説明書と整備手帳は重要な書類ですので、車内に保管してください。

操作安全性

重要な安全上の注意事項

警告

規定の点検整備または必要な修理を行っていないと、故障やシステム故障を引き起こすおそれがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 警告

排気システムの熱くなった部品に触れた場合は、葉、草または小枝のような可燃性の物質が発火するおそれがあります。火災の危険性があります。

オフロードまたは舗装されていない道路を走行するときは、車両の下側を定期的に点検してください。特に、挟まった植物や他の可燃物を取り除いてください。車両の下側が損傷している場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

⚠ 警告

電子部品、ソフトウェア配線への改造は、それらの機能およびその他のネットワークでつながっているその他の構成部品の機能を損なうことがあります。特に、安全にかかわるシステムに影響が生じるおそれがあります。結果として、車両の機能が適切に作動しなくなったり、あるいは走行安全性が危険にさらされることがあります。けがや事故の危険が高まります。

また、決して配線、電子制御部品やソフトウェアを改造しないでください。電気装備および電子機器に関するすべての作業および改造はメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですべて行なってください。

車両の電子制御部品に変更を行なった場合は、一般使用許可は無効になります。

! 以下のときは、車両が損傷することがあります：

- 高い縁石や舗装されていない道路で車両が立ち往生した
- 縁石や道路のくぼみなどの障害物の上を速すぎる速度で走行した
- 重量のある障害物がボディ下部やシャーシの部品にぶつかった

このような状況では、目に見える損傷はなくても、ボディ、ボディ下部、シャーシ部品、ホイール、タイヤが損傷しているおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあり、事故の場合には、設計されている負荷に耐えることができなくなるおそれがあります。

ボディ下部のパネルが損傷しているときは、葉、草または小枝のような可燃性の素材がボディ下部とボディ下部パネルの間に堆積することがあります。これらの素材が排気システムの高温の部品に触れた場合は、発火するおそれがあります。

そのような場合には、すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でご点検および修理を受けてください。走行している場合に、走行安全性が損なわれていると感じた場合は、道路や交通状況に注意しながらすみやかに移動し、停車してください。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ハイブリッド車両には、内燃エンジンと電気モーターが装備されています。車両を電氣的に作動させるときの電圧供給は、車両の高電圧電気システムによって行なわれます。

 **危険**

車両の高電圧電気システムには高電圧下にあります。車両の高電圧電気システムの構成部品を改造したり、損傷した構成部品に触れた場合は、感電するおそれがあります。事故の際は、損傷が目に見えなかったとしても車両の高電圧電気システムの構成部品が損傷していることがあります。致命的なけがををするおそれがあります。

事故の後、いかなる高電圧構成部品にも触れず、車両の高電圧電子システムの改造を決して行なわないでください。事故の後には車両をけん引し、車両の高電圧電気システムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場 で点検してください。

車両の高電圧電気システムの構成部品には、黄色の警告ステッカーが貼付されています。車両の高電圧電気システムのケーブルはオレンジ色です。

電気モーター装備車両は、内燃エンジンのみを装備している車両と比較した場合、非常に小さい音しか発生しません。その結果、特定の状況で車両が他の道路使用者に音が聞こえない可能性があります。これは、駐車時など、お客様の車両が他の道路使用者から視認されていないときに起こる可能性があります。他の道路使用者が予期せぬ行動をとる可能性を考慮し、予測運転を心がける必要があります。

診断器接続部

診断器接続部は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場 で診断機器のみを接続するように想定されています。

 **警告**

機器を診断器の接続部に接続すると、車両システムの操作に影響を与える場合があります。車両の走行安全性が損なわれることがあります。事故の危険性があります。

いかなる機器も車両の診断器の接続部に接続しないでください。

 **警告**

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルを妨害することがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。フロアマットは指示にしたがって必ず確実に固定し、ペダル操作の妨げにならないようにペダルとの間に十分な空間があることを確認してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

! エンジンが停止しているときに診断器の接続部の装備品を使用すると、スターターバッテリーが放電することがあります。

診断機器を診断器接続部に接続すると、例えば排気ガスモニター情報のリセットにつながります。これにより、次の主要な点検の際の排出ガス試験の要件に適合しなくなる場合があります。

日常点検および定期点検

お客様自身の責任において日常点検と定期検査を行なうことが法律で定められています。それぞれの検査手順についての詳細情報は、整備手帳をご覧ください。

オートマチックトランスミッションの操作

全体的な注意事項

適切にご使用いただくために、オートマチックトランスミッションを使用する前に、特徴や操作に関連する事項についての理解を深めてください。

"走行および駐車"の指示もご覧ください (>245 ページ)。

オートマチックトランスミッションの特徴

クリープ現象

エンジンがかかっている状態でトランスミッションがポジション **D** または **R** のときは、駆動輪に動力が伝達されています。その結果、アクセルペダルを踏んでいなくても、車両が動き出します。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場

メルセデス・ベンツ指定サービス工場には、車両に必要な作業を適切に行なうため、専門的な知識、ツールおよび資格を有しています。これは特に安全に関する作業を行なう際に適応されます。

整備手帳にある注意事項に従ってください。

以下の作業については、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

- 安全に関する作業
- 整備およびメンテナンス作業
- 修理作業
- 改造、取り付け、交換
- 電子部品の作業
- ハイブリッドシステムの作業

メルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。

正しく使用するために

警告ステッカーをはがすと、お客様や他の方々々が危険を認識できないことがあります。警告ステッカーをはがさないでください。

車両を運転しているときは以下の情報に従ってください。

- 本説明書の安全に対する注意点
- 本説明書のサービスデータ
- 道路交通法
- 自動車に関する法律と安全基準

車両に記憶されているデータ

車両の数多くの電子部品には、データメモリーが装備されています。

これらのデータメモリーは、以下に関する技術情報を一時的または恒常的に保存します：

- 車両の作動状態
- 発生した事象
- 故障

一般的に、この技術情報は構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態について記録します。

例えば、以下を含みます：

- 油脂類のレベルなどのシステム構成部品の作動状況
- 車両の状況メッセージ、およびホイール回転数 / 速度、車両の減速度、横方向の加速度、アクセルペダルの位置などの車両の作動内容および個別の構成部品の状況メッセージ
- ライト、ブレーキなどの重要なシステム構成部品の故障および異常
- エアバッグの作動、走行安全システムの介入などの特殊な走行状態での車両の反応および作動条件
- 外気温度などの外気条件

このデータは以下の技術的なことにのみ使用されます：

- 故障或不具合の検知および改良の支援
- 事故後などの車両機能の解析
- 車両機能の最適化

データを使用して、車両の動きをたどることはできません。

お客様の車両が整備を受けたときは、この技術情報が発生事象データメモリーおよび故障データメモリーから読み出されます。

例えば以下の整備が含まれます：

- 修理整備
- 整備処理
- 保証の事象
- 品質保証

この情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場の認定された従業員（メーカーを含む）が特別な診断器を使用して読み出します。必要に応じて、より詳細な情報を取得します。

故障が解決されたあと、情報は故障メモリーから消去されるか、絶えず上書きされます。

車両を操作する場合、その他の情報と併せて（必要に応じて、該当機関に相談し）、この技術データから個人を特定することができます。

以下の例が含まれます：

- 事故情報
- 車両への損傷
- 目撃者証言

お客様と合意したその他の追加機能によっても、同様に特定の車両データを車両から取得することがあります。追加機能は、非常時の車両位置などを含んでいます。

著作権の情報

全体的な注意事項

車両およびその電子部品に使用されているフリーおよびオープンソースのソフトウェアのライセンスに関する情報は、下記のウェブサイトから入手できます。

<http://www.mercedes-benz.com/opensource>

お車をご使用いただく際の注意事項

保証の適用

! 車両の操作を行なうときや車両に損傷が発生したときは、必ず本書に記載されている指示に従ってください。指示に従わないで発生した車両の損傷については、保証の対象外になります。

走行する前に

夏季の取り扱い

- 夏を迎える前にエアコンディショナーの冷媒に不足がないか、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
- オーバーヒートの予防策として、いつもより頻繁に冷却水レベルを点検してください。

エアコンディショナーの臭いについて

車室内外のさまざまな汚れやほこりがエアコンディショナー内に取り込まれることにより、エアコンディショナーからの送風に臭いがする場合があります。

日ごろの状態と異なるとき

エンジンを始動したとき、いつもと異なる音やにおいを感じたり、駐車していた場所に水やオイルの跡が残っているときは、すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ドアを開くと

ドアを開くと、一部の装置が自動的に動き始め、作動音などが聞こえることがありますが、異常ではありません。

燃えるものは積まない

燃料を入れた容器や可燃性のスプレー缶などを積まないでください。万一のときに引火や爆発のおそれがあります。

子供を乗せるとき

子供には操作させない

思わぬけがの原因となりますので、子供にドアやトランク、サイドウィンドウやパノラミックスライディングルーフなどを開閉させないでください。

必要に応じて、チャイルドブルーフロックを使用してください。

開口部から身体を出さない

子供がサイドウィンドウやパノラミックスライディングルーフなどの開口部から身体を出さないように注意してください。

走行時の注意事項

エンジンの始動前

ブレーキペダルは必ず右足で操作してください。不慣れな左足で操作すると、事故を起こすおそれがあります。

停車

停車中はエンジンの空ぶかしをしないでください。万一、トランスミッションのポジションが走行位置になると、車が急発進して事故を起こすおそれがあります。

駐車

- 後退したあとは、すぐにシフトポジションを **P** か **N** にするように心がけてください。**R** になっていることを忘れてアクセルペダルを踏み込み、車が後退して事故を起こすおそれがあります。

- ・ 駐車時や車から離れるときは、必ずシフトポジションをPにして、パーキングブレーキを確実に効かせて、エンジンを停止してください。

寒冷時の取り扱い

積雪

ボディやウインドウに雪が積もったときはすべて取り除いてください。走行中に雪が落ちて視界を妨げるおそれがあります。

ドアやトランクの凍結

- ・ ドアやトランクが凍結して開かないときは、開口部周囲にぬるま湯をかけ、解凍してから開いてください。また、キーシリンダーにはぬるま湯がかからないようにしてください。
- ・ 再凍結を防止するため、余分な水分はきれいに拭き取ってください。
- ・ 凍結したまま無理にドアやトランクを開こうとすると、周囲の防水シールやウェザーストリップを損傷するおそれがあります。

ワイパーなどの凍結

ワイパーやドアミラー、サイドウインドウ、パノラミックスライディングルーフなどが凍結しているときに、無理に動かすとモーターを損傷するおそれがあります。

周囲にぬるま湯をかけるなどして、必ず解凍してから操作してください。

ボディ下側の着氷

- ・ 走行前にボディ下部やフェンダーの内側を点検してください。ブレーキ関連部品やステアリング関連部品、サスペンションなどに雪や氷塊が付着していたり凍結していると、ボディを損傷したり、ステアリング操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。
- ・ 雪や氷塊が付着しているときは、ぬるま湯をかけるなどして、部品やボディを損傷しないように注意しながら、雪や氷塊を取り除いてください。
- ・ 走行中にも、はね上げた雪や水しぶきが凍結し、氷となってボディ下部やフェンダーの内側に付着し、ステアリング操作ができなくなるおそれがあります。休憩時などにこまめに点検し、雪や氷塊が付着しているときは、大きくなる前に取り除いてください。

乗車前に

靴底などに付着した雪や氷を落としてから乗車してください。ペダルを操作するときに滑ったり、車内の湿度が高くなってウインドウの内側が曇りやすくなります。

スタッドレスタイヤについて

スタッドレスタイヤを装着した場合、正しい空気圧に調整してあっても、マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧警告システムに関する警告メッセージが表示されることがあります。

空気圧を点検して必要に応じて調整した上で、取扱説明書を参照してタイヤ空気圧警告システムを再起動してください。

駐車するとき

寒冷時や積雪地での駐車時は以下の点に注意してください。

- パーキングブレーキが凍結するおそれがある場合は、パーキングブレーキを使用せず、シフトポジションを **P** にして、確実に輪止めをしてください。
- できるだけ風下や建物の壁、日光の当たる方向にエンジンルームを向けて駐車し、エンジンが冷えすぎないようにしてください。
- 軒下や樹木の陰には駐車しないでください。雪やつららが落ちてきてボディを損傷するおそれがあります。
- エンジンを毛布でカバーしたり、フロントグリルの内側にダンボールや新聞紙などを挟まないでください。放置したままエンジンを始動すると、火災や故障の原因になります。

全体的な注意事項

運転するときの注意事項

服用後の運転が禁止されている薬や、酒類を飲んだ後は絶対に運転しないでください。

日射に関する注意事項

- ウインドウなどに吸盤を貼り付けしないでください。吸盤がレンズの働きをして、火災が発生するおそれがあります。
- メガネやサングラスを車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温になるため、レンズやフレームが変形したり、ひび割れるおそれがあります。

ライターに関する注意事項

ライターをグローブボックスや小物入れなどに入れたままにしたり、車内に落としたままにしないでください。

荷物を押し込んだときやシートを操作したときにライターの操作部に触れてライターが誤作動し、火災の危険性があります。

キーに関する注意事項

キーをポケットやバッグなどに入れたときに意図せずにスイッチが押され、トランクが開くことがあります。キーを携帯する際は十分注意してください。

自動車電話、携帯電話の使用

運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。道路交通法違反になります。なお、ハンズフリー機能は使用できますが、注意力が散漫になり事故の原因になります。安全な場所に停車してから使用してください。

きびしい条件下での運転

発進、停止を繰り返す市街地走行、山間部や路面の悪い道路などきびしい条件下での走行が多いときは、タイヤやエアクリナー、エンジンオイル、エンジンオイルフィルター類の点検整備や交換を、定期的な交換時期よりも早く行なうことが必要になります。

取扱説明書に記載されている装備・機能

お客様の車両の装備や機能はオプションや仕様により異なる場合があります。
オプションや仕様により異なる装備・機能については、以下の表をご覧ください。

安全性

ハイブリッドシステム
ベルトバッグ（後席）
アクティブベルトバックル（後席）
クッションエアバッグ

開閉

クロー징ングサポーター（ドア）
パノラミックスライディングルーフ（電動ブラインド（後席）を含む）

シート、ステアリングとミラー

リアリクライニングシート
イージーアジャストラグジュアリーヘッドレスト
リアからの助手席シートの調整
ショーファーモード
ラグジュアリーヘッドレスト
マルチコントロールシートバック
ドライビングダイナミックシート
後席のマルチコントロールシートバック
シートヒーター（リアシート）
シートヒータープラス
アームレストヒーター
シートベンチレーター
ステアリングヒーター
後席のメモリー機能

ライトおよびフロントワイパー

マジックビジョンコントロール

エアコンディショナー

後席エアコンディショナー（後席のサイド送風口を含む）

パフュームアトマイザー

イオン発生（空気清浄機能）

出発時刻でのプレエントリーエアコンディショニング

キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング

走行と駐車

マニュアル走行モード M

ECO 表示

AMG 強化ブレーキシステム

AMG カーボンセラミックブレーキ

マジックボディコントロール

AMG スポーツサスペンション

AMG RIDE CONTROL スポーツサスペンション

AIR マテックサスペンション

4MATIC（フルタイム 4 輪駆動システム）

360° カメラシステム（サラウンドビュー）

ナイトビューアシストプラス

マルチファンクションディスプレイと表示

ヘッドアップディスプレイ

概算の走行可能距離の表示

現在の燃料消費の表示

回生ディスプレイ

AMG メニュー

COMAND システム

スプリットビュー

リアエンターテインメントシステム（リモコンを含む）
デジタルコードレスヘッドホン

収納と機能

左右独立シート
ウッドテーブル
後席の温度制御式カップホルダー
電動ブラインド（後席左右）
電動ブラインド（リアウインドウ）
後席のライター
後席のクーリングボックス
フロアマット
赤外線反射フロントウインドウ

万一のとき

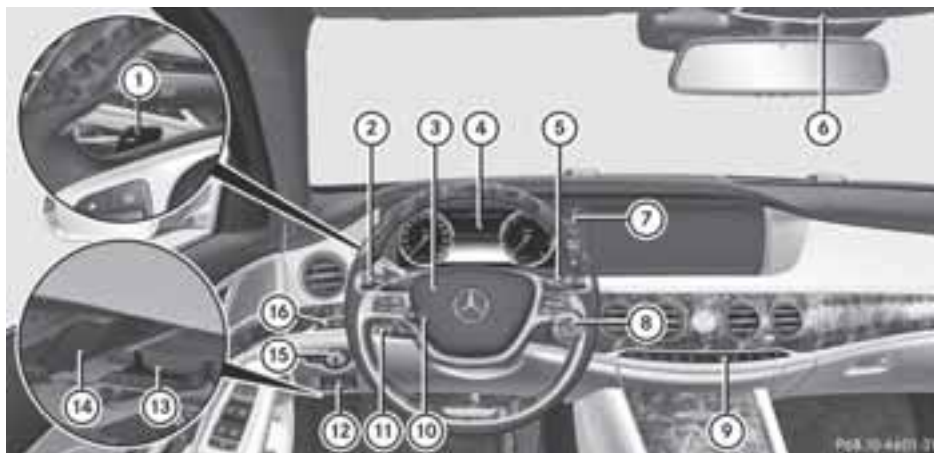
MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）
タイヤフィットキット




ホイールとタイヤ

ハブキャップ
ジャッキポイントカバー
応急用スペアタイヤ

運転席	42
メーターパネル	46
マルチファンクションディスプレイ / COMAND システム	48
センターコンソール	50
オーバーヘッドコントロールパネル	52
ドアコントロールパネル	53
リアシート	54

運転席



機能	ページ
① ステアリングのギアシフトパドル	251
② コンビネーションスイッチ	192
③ ホーン	
④ メーターパネル	46
⑤ DIRECT SELECT レバー	245
⑥ オーバーヘッドコントロールパネル	52
⑦ 以下のコントロールパネル：	
 リアシートのヘッドレストの上昇 / 下降	171
 電動ブラインド（リアウインドウ）の展開 / 格納	502
 助手席エアバッグオン / オフ表示灯	62
メーターパネル照明および COMAND ディスプレイの明るさの調整	
⑧ エンジンスイッチ	234
キーレスゴースイッチ	234

機能	ページ
⑨ クライメートコントロール	207
⑩ ステアリングの調整	177
ステアリングヒーター	178
⑪ クルーズコントロールレバー	281 284 289
⑫ 電気式パーキングブレーキ	273
⑬ 診断器接続部	31
⑭ ボンネットを開く	514
⑮ ライトスイッチ	190




機能	ページ
⑯ 以下のコントロールパネル：	
ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットの作動	298
アクティブレーンキーピングアシストの作動	338
パークトロニックの解除	311
360° カメラシステムの作動	323
ナイトビューアシストの作動	331
ヘッドアップディスプレイの作動	383

※ ステアリングのデザインは仕様により異なります。



機能	ページ
① オーバーヘッドコントロールパネル	52
② コンビネーションスイッチ	192
③ ホーン	
④ メーターパネル	46
⑤ DIRECT SELECT レバー	245
⑥ ステアリングのギアシフトパドル	251
⑦ ボンネットを開く	514
⑧ 診断器接続部	31

機能	ページ
⑨ 以下のコントロールパネル： ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットの作動 アクティブレーンキーピングアシストの作動 パークトロニックの解除 360° カメラシステムの作動 ナイトビューアシストの作動 ヘッドアップディスプレイの作動	298 338 311 323 331 383
⑩ ライトスイッチ	190
⑪ 電気式パーキングブレーキ	273
⑫ エンジンスイッチ キーレスゴースイッチ	234 234
⑬ ステアリングの調整 ステアリングヒーター	177 178
⑭ クルーズコントロールレバー	281 284 289

機能	ページ
⑮ クライメートコントロール	207
⑯ 以下のコントロールパネル：	
 リアシートのヘッドレストの上昇 / 下降	171
 電動ブラインド（リアウインドウ）の展開 / 格納	502
 助手席エアバッグオン / オフ表示灯 メーターパネル照明および COMAND ディスプレイの明るさの調整	62

※ ステアリングのデザインは仕様により異なります。

メーターパネル

ディスプレイ



	機能	ページ
①	スピードメーター	
②	外気温度表示付きマルチファンクションディスプレイ	383

	機能	ページ
③	タコメーター	381
④	冷却水温度	381
⑤	燃料計および燃料給油口フラップ位置表示	

燃料給油口フラップ位置表示 ：燃料給油口キャップは右側にあります。

① ハイブリッド車両の追加ディスプレイについての情報は、"ハイブリッド走行"の項目にあります (▷352 ページ)。

① プラグインハイブリッド車両の追加ディスプレイについての情報は、"プラグインハイブリッド走行"の項目にあります (▷371 ページ)。

警告および表示灯



機能	ページ
① ABS	461
② ESP® 解除	466
ESP®	464
③ 方向指示灯、左	192
④ ロービームヘッドライト	191
⑤ ハイビームヘッドライト	192
⑥ リアフォグランプ	191
⑦ このランプには機能はありません。	
⑧ 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明	192
⑨ 方向指示灯、右	192

機能	ページ
⑩ 車間距離警告	472
⑪ 電気式パーキングブレーキ (黄色)	466
⑫ 電気式パーキングブレーキ (赤色)	466
⑬ エンジン診断	468
⑭ パワーステアリング	473
⑮ ブレーキ (赤色)	471
⑯ ブレーキ (黄色)	471
⑰ シートベルト	458
⑱ 乗員保護装置	467
⑲ このランプには機能はありません。	






i ハイブリッド車両の追加ディスプレイについての情報は、"ハイブリッド走行"の項目にあります (▷352 ページ)。








i プラグインハイブリッド車両の追加ディスプレイについての情報は、"プラグインハイブリッド走行"の項目にあります (▷371 ページ)。

マルチファンクションディスプレイ /COMAND システム



名称	ページ
① マルチファンクションディスプレイ	383
② メーターパネル照明とCOMANDディスプレイの照度の調整	
③ COMANDディスプレイ デジタル版取扱説明書をご覧ください	
④ CDおよびDVDプレーヤー/チェンジャー デジタル版取扱説明書をご覧ください	
⑤ COMANDコントローラーおよびスイッチ デジタル版取扱説明書をご覧ください	

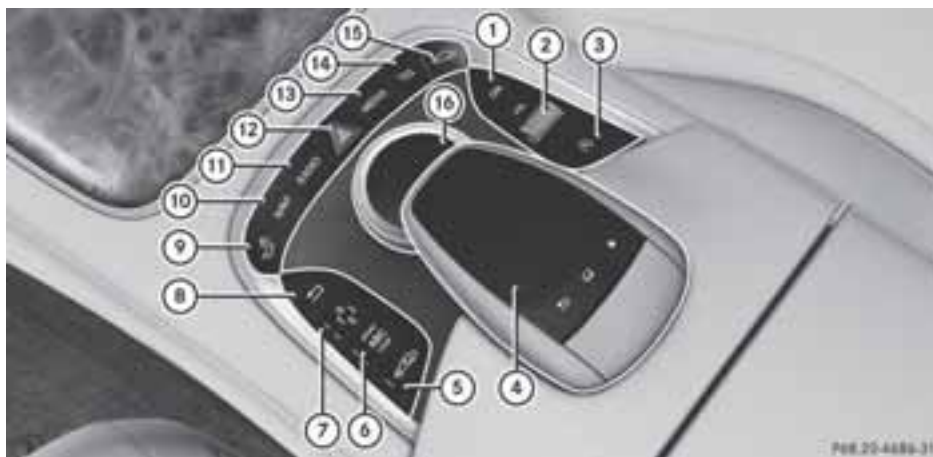
名称	ページ
⑥  通話の拒否、または終了 電話帳 / 発信履歴の終了	382
 発信、または受話 発信履歴への切り替え	382
 音量の調整	382
 ミュート	382
 音声認識機能の作動 別冊の取扱説明書をご覧ください	383



名称	ページ
⑦  メインメニューの呼び出し	382
  メニュー / サブメニュー の選択またはリストのス クロール	382
 選択の確定	382
 ディスプレイメッセージ の非表示	382
 戻る	382
 音声認識機能の停止	382
別冊の取扱説明書をご覧 ください	





※ ステアリングのデザインは仕様により
異なります。


センターコンソール

センターコンソール



機能	ページ
① COMAND システムのオン / オフの切り替え デジタル版取扱説明書をご覧ください	
② 音量の調整 / ミュート デジタル版取扱説明書をご覧ください	
③  ECO スタートストップ機能  車高を調整する（プラグインハイブリッド車両）	239
④ タッチパッド デジタル版取扱説明書をご覧ください	

機能	ページ
⑤  車高を調整する（プラグインハイブリッド車両を除く車両） ハイブリッド作動モードの選択（プラグインハイブリッド車両）	303 306
⑥ サスペンション制御を調整する	304 307
⑦  走行モードを選択する / 走行モード選択スイッチ  走行モードを選択する / 走行モード選択スイッチ（AMG 車両）  走行モードを選択する / 走行モード選択スイッチ（ハイブリッド車両）	





機能	ページ
⑦ オートマチック走行モード E、S および E+ の選択 (プラグインハイブリッド車両)	371 371
⑧ リターンスイッチ デジタル版取扱説明書をご覧ください	
⑨ シート調整メニュー呼び出しスイッチ デジタル版取扱説明書をご覧ください	
⑩ ナビゲーションスイッチ デジタル版取扱説明書をご覧ください	
⑪ ラジオスイッチ デジタル版取扱説明書をご覧ください	
⑫  非常点滅灯	193
⑬ メディアスイッチ デジタル版取扱説明書をご覧ください	
⑭ 電話、アドレス帳およびインターネットのスイッチ デジタル版取扱説明書をご覧ください	
⑮ 車両およびシステム設定スイッチ デジタル版取扱説明書をご覧ください	
⑯ COMAND コントローラー デジタル版取扱説明書をご覧ください	



① ハイブリッド車両の ECO スタートストップ機能に関する情報は、"ハイブリッド走行" の項目にあります (▷355 ページ)。

① プラグインハイブリッド車両の ECO スタートストップ機能に関する情報は、"プラグインハイブリッド走行" の項目にあります (▷374 ページ)。

オーバーヘッドコントロールパネル



	機能	ページ
①	 左側読書灯の点灯 / 消灯の切り替え	197
②	 ルームライト自動点灯のオン / オフの切り替え	197
③	 フロントルームライトの点灯 / 消灯の切り替え	197
④	 リアルームライトの点灯 / 消灯の切り替え	197

	機能	ページ
⑤	 右側読書灯の点灯 / 消灯の切り替え	197
⑥	サングラスケース	492
⑦	リア電動ブラインドの開閉	149
⑧	 パノラミックスライディングルーフの開閉	145
	フロント電動ブラインドの開閉	148

ドアコントロールパネル



機能	ページ
① シートベンチレーター	175
② シートヒーター	173
③ 運転席からの助手席シートの調整	159
④ 1 2 3 シート、ドアミラー、ステアリング位置の設定登録	184
⑤ シートの電動調整	156
⑥ ドアミラーの電動調整および格納 / 展開	181
⑦ 右フロントサイドウインドウの開閉	141

機能	ページ
⑧ 右リアサイドウインドウの開閉	141
⑨ トランクリッドの開閉	133
⑩ 後席操作のチャイルドブルーロック	100
⑪ ドアを開く	130
⑫ 車両の解錠 / 施錠	130
⑬ 左リアサイドウインドウの開閉	141
⑭ 左フロントサイドウインドウの開閉	141

リアシート



例：リアエンターテインメントシステム装備車両

機能	ページ
① DVD プレーヤー デジタル版取扱説明書をご覧ください	
② ライター 12V 電源ソケット	504 505
③ カップホルダー	498

機能	ページ
④ リアシートアームレスト内の小物入れ	493
⑤ シートバックレスト内の収納ボックス クーリングボックス	494 507

※ 仕様により装備は異なります。

役に立つ情報	56
ハイブリッドシステム装備車両	56
乗員の安全性	59
子供を乗せるとき	85
ペットを乗せるとき	102
走行安全システム	102
盗難防止警報システム	116

役に立つ情報

① この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

① メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

ハイブリッドシステム装備車両

全体的な注意事項

ハイブリッドテクノロジーは、燃料効率に優れた内燃エンジンと強力な電気モーターを組み合わせています。

ハイブリッドシステムに関する記載において、ハイブリッドシステム装備車両とは、ハイブリッド車両とプラグインハイブリッド車両を意味します。

重要な安全上の注意事項

感電の危険

⚠ 危険

車両の高電圧電気システムは高電圧下にあります。車両の高電圧電気システムの構成部品を改造したり、損傷した構成部品に触れた場合は、感電するおそれがあります。事故の際は、損傷が目に見えなかったとしても車両の高電圧電気システムの構成部品が損傷していることがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

事故の後は、いかなる高電圧構成部品にも触れず、また車両の高電圧電子システムの改造を決して行なわないでください。事故の後は車両をけん引し、車両の高電圧電気システムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場でご確認ください。

事故後に車両をけん引するときは、以下の項目に従ってください。

- 車両の運搬 (▷560 ページ)
- リアアクスルを上げての車両のけん引 (▷560 ページ)
- 両アクスルを接地させての車両のけん引 (▷559 ページ)

けん引およびけん引始動に関する安全上の説明をお読みください (▷557 ページ)。



POB.DD.2054-31

ハイブリッドシステムのすべての構成部品は、高電圧の危険を警告する黄色の警告ステッカーでマークされています。車両の高電圧電気システムのケーブルはオレンジ色です。

ウインドウウォッシャーの補給または冷却水レベルの点検のような、一般的な作業を実施するときは、イグニッションがオフでなければなりません。

ハイブリッドシステムの自動解除

危険

乗員保護装置が故障している場合、保護システムの構成部品が不意に作動したり、または車両の減速度が高い事故の際にまったく作動しないことがあります。そのため、例えば、シートベルトテンショナーまたはエアバッグが機能しない場合があります。さらに、事故の際に、車両の高電圧電気システムが意図したように解除されないことがあります。車両の高電圧電気システムの損傷した構成部品に触れると感電することがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場乗員保護装置の点検および修理を受けてください。事故の後、ただちにイグニッションをオフにするか、エンジンスイッチからキーを抜いてください。

事故の間に乗員保護装置の構成部品が作動した場合は、ハイブリッドシステムは自動的に解除されます。

車両が始動したときに以下の場合は、ハイブリッドシステムは作動しません：


- 事故の際に乗員保護装置の構成部品が作動した。
- ハイブリッドシステムでショートが検知された。
- ハイブリッドシステムの電気接続が切断された。

これにより、高電圧に接触しないようにします。

ハイブリッドシステムの手動解除

高電圧解除装置を使用して、ハイブリッドシステムを手動で解除することができます。

! ハイブリッドシステムの損傷を防ぐために、以下の指示に従ってください。

- 以下の状況でのみハイブリッドシステムを手動で解除してください。
- 手動で解除したときでも、ハイブリッドシステムの作業はメルセデス・ベンツ指定サービス工場でのみ行なってください。
- 事故後にメーターパネルの乗員保護装置警告灯  が点灯している場合。
- 事故後のように車両が著しく損傷していて、乗員保護装置の構成部品が作動しない場合。
- 車両が著しく損傷していて、けん引または運搬しなければならぬ場合。

▶ **可能な場合は、車両を危険な範囲から移動させます**：オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトします。

▶ 電気式パーキングブレーキを解除します。

▶ 車両を安全な場所まで移動し、安全に駐車します。

必要な場合は、他の人に救援を求めてください。

i イグニッションがオンで車輪が回転しているときは、車両は自動的に施錠されます。そのため、車両を押すときやダイナモメーターでテストを行なう場合は、閉め出される危険性があります。

▶ イグニッションをオフにします。

- ▶ オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** にシフトします (▷245 ページ)。

電気式パーキングブレーキを効かせます (▷273 ページ)。

車両が動き出さないように固定してください (▷577 ページ)。

- ▶ **高電圧解除装置を使用する**：トランクリッドを開きます。
- ▶ トランクフロアボードを上方に持ち上げます (▷496 ページ)。
- ▶ 右側のトランクカバーを取り外します。



- ▶ ロック解除クリップ ① を矢印の方向に押し、引き出します。
- ▶ 停止位置に固定されるまで、高電圧解除装置 ② を引き離します。

上記の理由によりハイブリッドシステムが解除された場合は、再始動の前にメルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検してください。

高電圧バッテリー

⚠ 警告

車両火災の場合は、高電圧バッテリーの内部電圧が限界値を超えることがあります。この場合は、車両のアンダーボディの排気弁から可燃性ガスが漏れます。ガスは発火するおそれがあります。けがの危険性があります。

ただちに危険なエリアから離れてください。法規制に従いながら、危険なエリアとの適切な距離を確保してください。

⚠ 警告

高電圧バッテリーのケースが損傷した場合は、電解液およびガスが漏れ出すことがあります。これらは毒性および腐食性があります。けがの危険性があります。

皮膚、眼または衣服への付着を防止してください。ただちに電解液のはねを水で洗い流し、すぐに治療を受けてください。

! 車両を長期間使用しないことにより引き起こされるバッテリーの放電は、高電圧バッテリーを損傷することがあります。

車両を長期間使用しない場合は、6週間ごとに数分間作動させて高電圧バッテリーを充電してください。

充電処理中は、オートエアコンディショナーまたはシートヒーターなどのすべての電気装備を停止してください。

ハイブリッドシステム装備車両：駐車時の高電圧バッテリーの充電に関する情報は (▷260 ページ) をご覧ください。

エンジンルーム

ボンネットを開く前に：

- ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** にシフトします。
- ▶ イグニッションをオフにします。
- ▶ エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します (▷236 ページ)。

または

- ▶ **エンジンスイッチにキーを差し込んでいる場合**：エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 感電の危険性に関する警告の注意事項に注意してください (▷56 ページ)。
- ▶ ボンネットに関する警告の注意事項に注意してください (▷512 ページ)。

RBS 走行安全システム (回生ブレーキシステム)

回生ブレーキシステムは、電子制御ブレーキのブーストモードでのブレーキ時に運転者を支援し、運動エネルギーの回収を可能にします (回生)。

⚠ 警告

回生ブレーキシステムが故障している場合は、ブレーキの踏み応えが減少し、ブレーキペダルのストロークが通常より長くなることがあります。通常のように続けてブレーキペダルを踏んだ場合は、ブレーキの効果が十分でなくなることがあります。

事故の危険性があります。故障している場合は、ブレーキペダルをさらに踏んでください。交通状況に従って車両を停止してください。必要な場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

回生ブレーキシステムに関するさらなる情報は (▷342、359 ページ) をご覧ください。

乗員の安全性

乗員保護装置をご使用になる前に

乗員保護装置は、事故の際に車両乗員が車内部品にぶつかる危険性を低減します。乗員保護装置は、事故の間に車両乗員が受ける衝撃を低減することもできます。

乗員保護装置には以下が含まれます：

- シートベルトシステム
- エアバッグ
- チャイルドセーフティシート
- チャイルドセーフティシート固定装置

乗員保護装置の構成部品は補完的なものです。すべての乗員が以下のときに、最大の保護を行ないます。

- シートベルトを正しく着用している (▷62 ページ)
- シートおよびヘッドレストが正しく調整されている (▷154 ページ)

運転者は、ステアリングが正しく調整されていることも確認しなければなりません。運転席シートの正しい位置についての情報に従ってください(▷154 ページ)。

さらに、作動した場合に、エアバッグが妨げられることなく膨らむようにしなければなりません(▷68 ページ)。

エアバッグは、正しく着用されたシートベルトの補助的なものです。補助的な安全装置として、エアバッグは事故の状況で車両乗員により大きな保護を行いません。例えば事故の際にシートベルトが十分な保護を行なう場合は、エアバッグは作動しません。また、対応する事故の状況で保護を行なうことができると想定されるエアバッグのみが作動します。ただし一般的に、シートベルトとエアバッグは外側から車両を入り込む物に対しての保護は行ないません。

乗員保護装置の作動内容についての情報は、"シートベルトテンショナーおよびエアバッグの作動"にあります(▷80 ページ)。

乳幼児および子供を車両に乗せての走行、またはチャイルドセーフティシートについてのさらなる情報は、"子供を乗せるとき"をご覧ください(▷85 ページ)。

重要な安全上の注意事項

警告


改造が行なわれた後は、乗員保護装置が正しく機能しなくなることがあります。例えば、事故のときに作動しなかったり、または予期せず作動することにより、乗員保護装置が意図した保護機能を発揮しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。


乗員保護装置の部品を改造しないでください。また、配線、電子部品やソフトウェアを決して改造しないでください。

障害のある方に合わせてエアバッグシステムを改造する必要がある場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

乗員保護装置警告灯

乗員保護装置の機能は、イグニッションをオンにした後、そしてエンジンがかかっている間は定期的に点検されます。そのため、不具合を適時検出することができます。

メーターパネルの乗員保護装置警告灯  は、イグニッションをオンにしたときに点灯します。車両が始動した後、数秒以内に消灯します。乗員保護装置の構成部品は、作動準備が整っています。

乗員保護装置警告灯  が以下の場合、不具合が発生しています。

- イグニッションをオンにした後に点灯しない
- エンジンを始動して数秒後に消灯しない
- エンジンがかかっている間に再度点灯する

ハイブリッドシステム装備車両を除く全車両：

 警告

乗員保護装置が故障している場合は、車両の減速度が大きい事故の際に、乗員保護装置の構成部品が不意に作動したり、またはまったく作動しないことがあります。これは、たとえばシートベルトテンショナーあるいはエアバッグに影響を与えることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で乗員保護装置の点検を受けて修理してください。

ハイブリッドシステム装備車両：

 警告

乗員保護装置が故障している場合、保護システムの構成部品が不意に作動したり、または車両の減速度が高い事故の際にまったく作動しないことがあります。そのため、例えば、シートベルトテンショナーまたはエアバッグが機能しない場合があります。さらに、事故の際に、車両の高電圧電気システムが意図したように解除されないことがあります。車両の高電圧電気システムの損傷した構成部品に触れると感電することがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で乗員保護装置の点検および修理を受けてください。事故の後、ただちにイグニッションをオフにして、エンジンスイッチからキーを外してください。

助手席エアバッグ表示灯



助手席エアバッグオフ表示灯①および助手席エアバッグオン表示灯②は、助手席エアバッグ自動解除システムの一部です。

表示灯は助手席エアバッグの状況を示しています。

- 助手席エアバッグオフ①が点灯：助手席エアバッグが無効です。その場合は、事故のときには作動しません。
- 助手席エアバッグオン②が点灯：助手席エアバッグが有効です。事故のときにすべての作動基準が満たされている場合は、助手席エアバッグが作動します。

助手席シートの乗員によって、助手席エアバッグは有効または無効のいずれかになります。以下の点をご覧ください。走行前および走行中のいずれのときも、確認しなければなりません。

- **後ろ向きチャイルドセーフティシートの子供**：助手席エアバッグオフ表示灯が点灯しなければなりません。助手席エアバッグは無効になります。"助手席エアバッグ自動解除システム"(▷73ページ)および"子供を乗せるとき"(▷85ページ)にある注意事項に必ず従ってください。

- **前向きチャイルドセーフティシートの子供**：取り付けられているチャイルドセーフティシートおよび子供の年齢および体格によって、助手席エアバッグは有効または無効になります。そのため、"助手席エアバッグ自動解除システム"(▷73ページ)および"子供を乗せるとき"(▷85ページ)にある注意事項に必ず従ってください。
- **他のすべての乗員**：助手席エアバッグオン表示灯が点灯している必要があります。助手席エアバッグは有効になります。助手席の乗員の体格によって、助手席エアバッグオフ表示灯が点灯することがあります。助手席エアバッグが無効になります。その場合は、事故のときには作動しません。この場合は、助手席シートを使用しないでください。"助手席エアバッグ自動解除システム"(▷73ページ)ならびに"シートベルト"(▷62ページ)および"エアバッグ"(▷68ページ)にある注意事項に必ず従ってください。そこには、適切なシート位置についての情報もあります。

シートベルト

はじめに

正しく装着されたシートベルトは、衝突あるいは車両が横転したときに乗員の動きを抑える最も効果的な手段です。これにより、乗員が車内の部品にぶつかったり、車両から投げ出されることを防ぎます。シートベルトを着用することで、乗員と作動するエアバッグの距離を最適に保つこともできます。

シートベルトシステムは以下で構成されています。

- シートベルト

- フロントシートベルト用およびリアの外側シートベルト用シートベルトテンショナー
- フロントシートベルトおよびリアの外側シートベルト用のベルトフォースリミッター
- 車両装備により、リア外側シートベルト用ベルトバッグ。

シートベルトが急に、あるいは激しくシートベルトの引き出し口から引き出されると、ベルトアンカーがロックされます。シートベルトはそれ以上引き出すことはできません。

ベルトテンショナーは、衝突が起これると、乗員の身体にぴったり合うようにシートベルトを締めます。しかし、シートバックレストの方向に乗員を引き戻すことはしません。

しかし、ベルトテンショナーは、正しくないシート位置を正しくしたり、着用の仕方が正しくないシートベルトの取回しを正しくすることはありません。

シートベルトにベルトフォースリミッターも装備されていて作動した場合は、シートベルトによって乗員にかかる力は低減されます。

フロントシートのベルトフォースリミッターは、減速力の一部となるフロントエアバッグと連動しています。これにより、事故の際に乗員が受ける衝撃が緩和されます。

! 助手席に乗車していない場合は、助手席シートベルトのプレートをバックルに差し込まないでください。衝突の際にシートベルトテンショナーが作動することがあります。

重要な安全上の注意事項

警告

正しく装着されないと、シートベルトは意図された保護機能を果たすことができません。間違ったシートベルトの装着は、たとえば事故のとき、ブレーキを掛けた時や急な方向転換のときに、けがの危険を増やします。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

すべての乗員が適切に着席して、シートベルトを正しく着用していることを確認してください。

警告

バックレストをほぼ垂直の位置に動かしていない場合は、シートベルトは意図された保護性能を発揮しません。ブレーキ時または事故の場合に、シートベルトの下側にもぐり込み、腹部または頸部などがけがを負うおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

走行を開始する前に、シートを正しい位置に調整してください。バックレストがほぼ垂直の位置にあり、シートベルトのショルダー部分が肩の中央にかかっていることを常に確認してください。

⚠ 警告

フロントシートのベルトバックル、またはベルトアンカーの移動を妨げる物は、ベルトテンショナーの機能を損なうことがあります。ベルトテンショナーが意図したように機能せず、シートベルトが意図した保護を発揮しなくなることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

走行を開始する前に、ベルトバックルの周囲またはフロントシートとドアの間に物が無いことを確認してください。

⚠ 警告

身長が約 150cm 未満の乗員は、追加の適切な乗員保護装置を使用しないとシートベルトを正しく装着できません。正しく装着しないと、シートベルトは意図された保護機能を果たすことができません。誤ったシートベルトの装着により、事故のときやブレーキを効かせたとき、急な方向転換のときなどの、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

そのため身長約 150cm 未満の乗員は、必ず適切な乗員保護装置を使用してください。

年齢が 12 歳以下で、身長が 150cm 以下の子供が乗車する場合：

- 子供は常に、メルセデス・ベンツの車両に適したチャイルドセーフティシートに固定してください。チャイルドセーフティシートは子供の年齢、体重および体格に適合していません。

- 後席の外側シートベルトのベルトバッグに関する指示および安全上の注意事項に必ず従ってください（▷67 ページ）。
- 助手席エアバッグ自動解除システムの指示および安全上の注意事項に従っていることを確認してください。（▷73 ページ）。
- チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明に加えて、本取扱説明書の "子供を乗せるとき" の説明および安全上の注意事項（▷85 ページ）に常に従ってください。

⚠ 警告

以下の場合、シートベルトは意図された保護機能を発揮しないことがあります：

- 損傷している、改造されている、極端に汚れている、漂白されている、または着色されている
- シートベルトのバックルが損傷している、または極端に汚れている
- シートベルトテンショナー、ベルトアンカーまたはリトラクターが改造されている

事故が起こった際は目には見えない場合でも、例えばガラスの破片によってシートベルトが損傷しているおそれがあります。改造または損傷したシートベルトは事故のときなどに裂けたり、または作動しないおそれがあります。改造されたシートベルトテンショナーは不意に作動したり、または必要なときに作動しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

シートベルト、シートベルトテンショナー、ベルトアンカーまたはリトラクターを改造しないでください。シートベルトが損傷していない、擦り切れていない、そして汚れていないことを確認してください。事故後はただちに、シートベルトをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。

お客様の車両用にメルセデス・ベンツにより特別に承認されたシートベルトのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します。さもないと、車両の一般使用許可が無効になるおそれがあります。

シートベルトの正しい使用方法

シートベルトの安全上の注意事項に従ってください (▷63 ページ)。

走行を開始する前に、すべての乗員はシートベルトを正しく着用する必要があります。車両が動いている間も、すべての乗員は、シートベルトを正しく着用するようにしてください。

シートベルトを着用しているときは、必ず以下のことを確認してください。

- シートベルトのプレートが必ずそのシートのベルトバックルに差し込まれている。
- シートベルトが乗員の身体に密着している。
冬用コートなどの厚手の衣類の着用は避ける。
- シートベルトにねじれがない。
そのときにのみ、発生した力をベルト周囲に分散させることができます。
- シートベルトの肩部分が常に肩の中央にかかっている。

シートベルトの肩部分が首に接触していたり、腕の下を通ってはいけません。可能な場合は、シートベルトを適切な高さに調整します。

- 腰ベルトができるだけ締め、低い位置で腰部分にかかっている。

腰ベルトは常に腰骨にかかるように、そして腹部にかからないようにしなければなりません。これは特に妊娠中の女性にあてはまります。必要な場合は腰ベルトを腰骨に押し下げ、ベルトの肩部分を使用して強く引きます。

- 鋭利な、先の尖った、または壊れやすい物の上にシートベルトがかかっている。

ペン、キー、めがねなどのようなものが衣服に入っている場合は、それらを適切な場所に収納してください。

- それぞれのシートベルトは、必ず1人の乗員のみが使用してください。

乳児や子供を他の車両乗員の膝の上に座らせて走行しないでください。事故の際に、車両乗員とシートベルトの間でつぶされるおそれがあります。

- シートベルトがいずれかの車両乗員により使用されている場合は、そのシートベルトで物を固定しないでください。

シートベルトは、乗員を固定して抑えるためのものです。物、手荷物または積載物を固定するためには常に、"積載のガイドライン"に従ってください (▷490 ページ)。

リアベルトバッグ

❶ "重要な安全上の注意事項"に従ってください (▷63 ページ)。

車両の装備によって、外側リアシートベルトにはベルトバッグが装備されています。これはリアシートベルトのBELTBAG 識別で確認できます。

⚠ 警告

事故のときに、ベルトバッグが未承認のチャイルドセーフティシートを損傷することがあります。結果として、チャイルドセーフティシートが意図した保護性能をもたらさないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

安全性の理由のため、メルセデス・ベンツによりテストおよび承認されたチャイルドセーフティシートのみを、ベルトバッグと組み合わせて使用することをメルセデス・ベンツは推奨します。

チャイルドセーフティシートについてのさらなる情報は、(▷86 ページ)をご覧ください。



ベルトバッグが作動するときは、乗員の胸部の保護エリアを増やすようにベルトバッグ❶が開きます。それらは、事故の種類と大きさに応じて作動します。

シートベルトの着用および調整

シートベルトに関する安全上の注意事項 (▷63 ページ)、およびシートベルトの正しい使用についての情報 (▷65 ページ) に注意してください。



- ▶ シートを調整します (▷156 ページ)。シートバックレストはほぼ垂直の位置になければなりません。
- ▶ ベルトの引き出し口❸からシートベルトをゆっくりと引き出して、ベルトのプレート❷をシートベルトバックル❶に固定します。

運転席および助手席のシートベルトは、自動的に締まる場合があります。"シートベルト調整"をご覧ください (▷68 ページ)。

- ▶ 必要な場合は、肩ベルトを上方に引いて、シートベルトを身体に密着させます。



シートベルトの肩部分は、常に肩の中央を通ってかかっている必要があります。必要な場合は、ベルトの引き出し口を調整してください。

- ▶ **上げる**：ベルトの引き出し口を上方にスライドします。ベルトの引き出し口はさまざまな位置でロックできます。
- ▶ **下げる**：ベルトの引き出し口のロック解除①を持ち、ベルトガイドを下方にスライドします。
- ▶ 希望の位置でベルトの引き出し口のロック解除①を放し、ベルトガイドがロックされていることを確認します。

リアアクティブベルトバックル

アクティブベルトバックルは、PRE-SAFE® コンビニエンス機能の一部です。外側リアシートで作動します。

シートベルトバックルを自由に動かすことができることを常に確認してください。荷物は常に、車内に正しく収納してください。

シートベルトバックルを見つけ、シートベルトの着用を補助するために：

- ベルトバックルは容易な位置に前方に動きます

- ベルトバックルが点灯します

シートベルトを着用した後は、シートベルトバックルは通常的位置に戻ります。その後に、シートベルトは腰部や胸部周囲で締め付けられます。

PRE-SAFE® システムとの組み合わせ：特定の危険な状況ではシートベルトバックルが素早く下がります。これによりシートベルトの張力が上がります。

事故後の自動措置との組み合わせ：この状況では、リアドアが開いた後にシートベルトバックルが点灯し、引き出されます。

シートベルトの解除

! シートベルトが完全に巻き取られていることを確認してください。ベルトが完全に収納されていないと、シートベルトやプレートがドアに挟まれたりシート機構に引っかかることがあります。その結果、ドアやドアトリムパネル、シートベルトを損傷するおそれがあります。損傷したシートベルトは保護機能を果たすことができなくなるため、必ず新品と交換してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。



- ▶ ロック解除スイッチ ① を押して、シートベルトのプレート ② をしっかり持ち、ベルト引き出し口 ③ の方向に戻します。

シートベルトの調整


シートベルト調整は、PRE-SAFE® コンビニエンス機能の一部です。この機能は、運転席および助手席のシートベルトを乗員の上半身に適合させます。


以下のときに、シートベルトを少し引き込みます。


- シートベルトのプレートがベルトバックルに固定されている、そして
- イグニッションがオンである

車両乗員とシートベルトの間たるみを検知した場合は、シートベルト調整は特定の締め付け力を加えます。調整している間は、シートベルトを強くつかまないでください。COMAND システムを使用して、シートベルト調整の設定および解除を切り替えることができます。ベルト調整機能の設定および解除に関する情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

運転者および助手席乗員のシートベルト警告

メーターパネルのシートベルト警告灯  は、すべての車両乗員がシートベルトを着用しなければならないことを促します。点灯し続けるか、または点滅します。さらに、警告音が鳴ることがあります。

運転者と助手席乗員がシートベルトを着用したときは、シートベルト警告灯  が消灯し、警告音が停止します。

i シートベルト警告灯  についてのさらなる情報は、"メーターパネルの警告および表示灯、シートベルト" (▷458 ページ) を参照ください

エアバッグ

はじめに

エアバッグの取り付け位置は、AIRBAG のマークで示されています。

エアバッグは適切に装着されているシートベルトを補助するものです。シートベルトの代わりになるものではありません。エアバッグは、事故の状況下で補助的な保護を行ないます。

事故の際に、すべてのエアバッグが作動するわけではありません。各エアバッグシステムは、それぞれ独立して作動します。

ただし、現在装備されているどのシステムも、けがや死亡の危険性を完全になくすことはできません。

エアバッグは高速で作動する必要があるため、エアバッグを原因とするけがの危険性を完全に排除することもできません。

重要な安全上の注意事項

警告

正しいシート位置から外れている場合、エアバッグは本来の保護機能を発揮できず、作動によりさらに負傷の原因となるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

危険な状態を防ぐために、すべての乗員は以下の項目について確認してください。

- シートベルトを正しく着用していること（妊娠中の女性を含む）
- 正しい位置に座り、エアバッグからできるだけ離れていること
- 以下の注意事項に従っていること

エアバッグと乗員との間に何も物が置かれていないことを必ず確認してください。

- 走行を開始する前にシートを正しく調整してください。必ずシートが垂直に近い位置であることを常に確認してください。ヘッドレストの中央は、ほぼ目の高さで頭部をサポートしていなければなりません。
- 運転席および助手席シートをできるだけ後方に動かします。運転席シートの位置は、車両を安全に運転できるものでなければなりません。
- ステアリングは外側のみを握ってください。それにより、エアバッグを十分に作動させることができます。

- 運転中は、常にシートバックレストにもたれかかるようにしてください。前方に倒れたり、ドアまたはサイドウィンドウにもたれかからないでください。さもないと、エアバッグの作動範囲内に入る可能性があります。
- 両足は、常にシート前方のフロアに置いてください。ダッシュボードの上に足をのせないでください。さもないと、エアバッグの作動範囲内に入る可能性があります。
- 身長が 150cm 以下の人は適切な乗員保護装置に常に固定してください。この身長に満たない場合、シートベルトを正しく着用することができません。

お子様を車両に乗せて走行する場合は、以下の注意事項にも注意してください：

- 年齢 12 歳以下で、身長が 150cm 以下の子供は、適切なチャイルドセーフティシートに固定し、安全を確保してください。
- チャイルドセーフティシートはリアシートに装着してください。
- 助手席エアバッグが無効になっており、後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用する場合に限り、子供を助手席シートに固定できます。助手席エアバッグオフ表示灯が常に点灯している場合は、助手席エアバッグは無効になっています（▷73 ページ）。
- チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明に加えて、助手席エアバッグ自動解除システム（▷73 ページ）、および "子供を乗せるとき"（▷85 ページ）の説明および安全上の注意事項に常に従ってください。

車内に置いている物がエアバッグの正常な機能を妨げる場合があります。運転を開始する前に、エアバッグが作動する際
の速度により生じる危険を防ぐために、以下のことを確認してください：

- 乗員とエアバッグとの間に、人、動物、物が無い。
- シート、ドア、Bピラーの間に物が無い。
- コートハンガーなどの固い物がグリップハンドルまたはコートフックにかかっていない。
- カップホルダーなどのアクセサリーがドア、サイドウインドウ、リアサイドトリムやサイドウォールなどの、エアバッグの作動範囲内に取り付けられていない。
- 衣服のポケットに重い物やとがった物を入れていない。このような物は適切な場所に収納してください。

警告

エアバッグのカバーを改造したり、ステッカーのような物を貼付している場合は、エアバッグが正しく機能しなくなるおそれがあります。けがの危険性が高まります。

エアバッグのカバーを改造したり、物を貼付しないでください。

警告

エアバッグを制御するセンサーがドアの内部にあります。ドアまたはドアパネルに改造が行なわれていたり、損傷したドアの作業が正しく行なわれていないと、センサーの機能が損なわれることがあります。したがって、エアバッグは正しく機能しなくなることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。けがをするおそれが高まります。

ドアまたはドアの部品を改造しないでください。ドアまたはドアパネルの作業は常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

エアバッグと装着位置

エアバッグ	装着位置
運転席エアバッグ	ステアリング中央のパッド
助手席エアバッグ	グローブボックス上部のダッシュボード
サイドバッグ	運転席および助手席シートのバックレストの外側シートクッションおよびリアシートの外側部分
ウインドウバッグ	Aピラー側方からCピラーのルーフレーム
クッションエアバッグ	リアリクライニングシート

運転席 / 助手席エアバッグ

! 助手席シートには重い物を置かないでください。助手席シートに同乗者がいるとシステムが誤って判断する原因になります。衝突の際に助手席側の乗員保護装置が作動して交換する必要があるおそれがあります。



運転席エアバッグ①はステアリング前面で作動します。助手席エアバッグ②は、グローブボックスの前面および上部で作動します。

作動するときは、フロントエアバッグは前席乗員の頭部や胸部の補助的な保護を行ないます。

助手席エアバッグオフ表示灯および助手席エアバッグオン表示灯は、助手席エアバッグの状況を示しています（▷73ページ）。

助手席エアバッグ②は、以下の場合にのみ作動します：

- 助手席シートに乗車していることを助手席エアバッグ自動解除システムが検知した（▷73ページ）。助手席エアバッグオン表示灯が点灯している（▷73ページ）
- 乗員保護装置のコントロールユニットが重大な事故を予見した

サイドバッグ

⚠ 警告

シートカバーによって、シートに内蔵されているエアバッグの作動を遮る、または妨げることがあります。その結果、設計されているようにエアバッグが車両乗員を保護できません。さらに、助手席エアバッグ自動解除システム機能が制限されることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントシートには、シートカバーを使用しないでください。



フロントサイドバッグ①およびリアサイドバッグ②は、シートバックレストの外側クッション脇で作動します。

作動するときは、サイドバッグは胸部の補助的な保護を行ないます。前席シート乗員の骨盤の補助的な保護も行ないません。

- 頭部
- 頸部
- 腕部

側面衝突の際は、サイドバッグは衝撃が発生した側で作動します。

助手席エアバッグ自動解除システム装備車両：助手席（フロント）サイドバッグは以下の条件で作動します：

- 助手席シートで乗員が検知された、または
- シートベルトのプレートが助手席シートのシートベルトバックルに固定されている

ベルトのプレートがベルトバックルに固定されている場合は、対応する状況の事故が発生した場合に助手席側のサイドバッグが作動します。この場合は、助手席シートに乗車しているかどうかとは関係なく作動します。

ウインドウバッグ



ウインドウバッグ①はルーフレーム側面に内蔵され、AピラーからCピラーまでの範囲で作動します。

作動すると、ウインドウバッグは頭部に対する保護レベルを向上させます。ただし、胸部または腕部は保護しません。

側面衝突の際、ウインドウバッグは衝撃が発生した側で作動します。

シートベルトによる乗員保護機能を高めるとシステムが判断した場合は、ウインドウバッグは他の事故状況下で作動する場合があります。

クッションエアバッグ

① "重要な安全上の注意事項" に従ってください (▷69 ページ)。

リアリクライニングシートにはクッションエアバッグが装備されています。シートバックレストがリクライニングしている場合は、正面衝突の状況でクッションエアバッグによって乗員を補助的に保護できます。作動したときは、クッションエアバッグはシートクッションの下で作動します。このようにして、乗員がシートクッションから滑り出すことを防ぎます。

警告

チャイルドセーフティシートが装着されていて、シートのバックレストが後方いっぱい倒されている場合は、事故のときにクッションエアバッグが誤って作動することがあります。けがをするおそれが高まります。

チャイルドセーフティシートを使用するときは、シートが正しく調整されていて、バックレストがほぼ垂直であることを常に確認してください。

リアリクライニングシートにチャイルドセーフティシートを装着している場合は、常に以下に従ってください。

- "子供を乗せるとき"にある説明と安全上の注意事項 (▷87 ページ)
- チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明

助手席エアバッグ自動解除

はじめに

助手席シートのチャイルドセーフティシートを検知するために、助手席エアバッグ自動解除システムは助手席シートの乗員の分類を行いません。その結果に応じて、助手席エアバッグは有効または無効のいずれかになります。後ろ向きチャイルドセーフティシートが助手席シートに装着されている場合、助手席エアバッグオフ表示灯はシステムの自己診断の後に点灯し、そのまま点灯し続けます。助手席エアバッグは無効になります。システムは、以下を無効にしません。

- サイドバッグ
- ウィンドウバッグ
- シートベルトテンショナー

お客様の車両に、助手席エアバッグ自動解除システムが装備されていることを確認してください (▷91 ページ)。そうでない場合は、チャイルドセーフティシートは常に適切なリアシートに取り付けてください (▷92 ページ)。

やむを得ずチャイルドセーフティシートを助手席シートに取り付ける必要がある場合は、チャイルドセーフティシートの正しい配置に従っていることを確認してください。チャイルドセーフティシートの下や背面にクッションなどの物を置かないでください。シートクッションの長さをいっぱいまで短くします。チャイルドセーフティシートの底面全体が常に助手席シートクッションに接触していなければなりません。前向きチャイルドセーフティシートのバックレストは、できるだけ助手席シートのバックレストに接していなければなりません。

チャイルドセーフティシートがルーフに触れたり、ヘッドレストにより負荷がかかっているはいけません。それに応じて、シートバックレストの角度およびヘッドレストの位置を調整してください。そうするときのみ、助手席エアバッグ自動解除システムの正しい機能が保証されます。チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明に加えて、チャイルドセーフティシートの適切な位置に関する情報 (▷92 ページ) に常に従ってください。

助手席エアバッグ自動解除システムの作動



- ① 助手席エアバッグオフ表示灯
- ② 助手席エアバッグオン表示灯

表示灯は、助手席エアバッグが無効か有効かを示しています。

- ▶ キーレスゴースイッチを1回または2回押す、またはエンジンスイッチのキーを1または2の位置にまわします。

システムは自己診断を実行します。

助手席エアバッグオフ表示灯および助手席エアバッグオン表示灯は同時に約6秒間点灯しなければなりません。

表示灯は助手席エアバッグの状況を示しています。

- 助手席エアバッグオフ ① が点灯：助手席エアバッグは無効です。その場合は、事故のときには作動しません。
- 助手席エアバッグオン ② が点灯：助手席エアバッグは有効です。事故のときにすべての作動基準が満たされている場合は、助手席エアバッグが作動します。

車両が動いている間に助手席エアバッグの状態が変化した場合は、メーターパネルにエアバッグのディスプレイメッセージが表示されます（▶427 ページ）。助手席シートに乗りしているときは常に、助手席エアバッグオンまたは助手席エアバッグオフ表示灯に注意してください。走行前および走行中のいずれのときも、助手席エアバッグの状況に注意してください。

助手席シートにチャイルドセーフティシートが装着されていない場合、助手席乗員は以下のように座る必要があります：

- シートベルトを正しく着用する
- シートのバックレストに背中を付け、ほぼ垂直の位置で
- 可能であれば、フロアに足を置いて

助手席乗員がこれらの条件に従わない場合は、助手席乗員が以下を行なうことにより、助手席エアバッグ自動解除システムが影響を受けることがあります：

- 車両のアームレストで自分自身を支えることで体重を移動する
- シートクッションから体重を浮かせるように着座する

助手席エアバッグは上記のような動作の結果、誤って無効になる場合があります。この場合は、助手席エアバッグオフ表示灯が点灯したままになります。その場合、事故の際に助手席エアバッグは作動しません。

警告

助手席エアバッグオフ表示灯が点灯している場合は、助手席フロントエアバッグは無効になります。事故のときに作動せず、意図した保護機能を発揮できません。そして、特にダッシュボードのすぐ近くに乗員が着座している場合は、助手席にいる人が車両のインテリアに接触するなどのおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

助手席に乗りしているときは、常に以下を確認してください。

- 助手席乗員の分類が適切であり、助手席乗員に応じて助手席フロントエアバッグが有効または無効になっている
- 助手席ができるだけ後方に移動している
- 乗員が正しく着座している

走行前および走行中のいずれのときも、助手席の状況が正しいことを確認してください。

 警告

助手席に子供を後ろ向きのチャイルドセーフティシートに固定し、助手席エアバッグオン表示灯が点灯している場合は、事故のときに助手席エアバッグが作動します。エアバッグにより、子供が衝撃を受けるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

助手席エアバッグが無効になっていることを確認してください。助手席エアバッグオフ表示灯が点灯していなければなりません。

助手席エアバッグオフ表示灯が消灯したままの場合、および / または助手席エアバッグオン表示灯が点灯している場合は、後ろ向きのチャイルドセーフティシートを助手席シートに取り付けずにしてください。さらなる情報は、"助手席エアバッグ自動解除システムのトラブル"にあります (▷79 ページ)。

 警告

子供を助手席の前向きチャイルドセーフティシートに固定していて、助手席位置をダッシュボードのすぐ近くにしている場合は、事故のときに、子供は以下になることがあります。


- 例えば助手席エアバッグオフ表示灯が点灯している場合に、車室内に接触する
- 助手席エアバッグオン表示灯が点灯している場合は、エアバッグにより衝撃を受ける

これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

常に助手席シートをできるだけ後方に動かし、シートクッションの長さをいっぱいまで短くします。車両のベルト引き出し口から肩部分のシートベルトストラップがチャイルドセーフティシートの肩部分のベルトガイドに正しくかかっていることを必ず確認してください。シートベルトの肩部分のストラップは、車両のベルト引き出し口から前方および下方に取り回されていなければなりません。必要に応じて、車両のベルト引き出し口と助手席シートを適切に調整します。本取扱説明書のチャイルドセーフティシートの適切な位置に関する情報、ならびにチャイルドセーフティシートメーカーの装着説明に常に従ってください。

助手席エアバッグ自動解除システムが以下を検知した場合：

- 助手席に乗車していなく、システムの自己診断後に助手席エアバッグオフ表示灯が点灯し、点灯したままである。これは助手席エアバッグが無効であることを示しています。

- 後ろ向きチャイルドセーフティシートで子供が助手席シートに乗車していて、システムの自己診断後に助手席エアバッグオフ表示灯が点灯し、点灯したままである。これは助手席エアバッグが無効であることを示しています。ただし、後ろ向きチャイルドセーフティシートの場合、システムの自己診断の後に助手席エアバッグオン表示灯が点灯し、点灯したままになることがあります。これは助手席エアバッグが有効であることを示しています。検知の結果は、他の要因や、チャイルドセーフティシートおよび子供の体格によって異なります。チャイルドセーフティシートは適切なリアシートに装着することを推奨します。
 - 助手席シートに前向きチャイルドセーフティシートを使用して子供が座っている場合、システムの自己診断後、検知の結果に応じて助手席エアバッグオン表示灯または助手席エアバッグオフ表示灯のいずれかが点灯し、点灯したままになります。検知の結果は、他の要因や、チャイルドセーフティシートおよび子供の体格によって異なります。助手席シートはできるだけ後方に移動してください。"助手席のチャイルドセーフティシート" (▷91 ページ) および "チャイルドセーフティシートの適切な位置" (▷92 ページ) の情報に常に従ってください。可能であれば、チャイルドセーフティシートは適切なリアシートに装着してください。
 - 助手席シートに小柄な体格の方（10代の若者または小柄な大人）が乗車していて、システムの自己診断後、どのように検知したかによって助手席エアバッグオン表示灯または助手席エアバッグオフ表示灯のいずれかが点灯し、点灯したままになります。
 - 助手席エアバッグオン表示灯が点灯している場合、助手席シートをできるだけ後ろに移動してください。あるいは、小柄な体格の乗員はリアシートに着座してください。
 - 助手席エアバッグオフ表示灯が点灯している場合は、小柄な体格の人は助手席を使用しないでください。
 - 助手席シートに大人または大人に相当する体格の方が乗車していて、システムの自己診断後に助手席エアバッグオン表示灯が点灯し、点灯したままになる。これは、助手席エアバッグが有効であることを示しています。
- 子供が車両に乗車する場合は、"子供を乗せるとき"にある注意事項に従ってください (▷85 ページ)。
- 助手席エアバッグ自動解除システムに不具合がある場合は、メーターパネルの赤色の乗員保護装置警告灯  および助手席エアバッグオフ表示灯が同時に点灯します。この場合は、助手席エアバッグは無効になり、事故の際に作動しません。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。助手席シートは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのみ修理してください。
- 助手席シート、シート表皮またはシートクッションが損傷している場合は、必要な修理作業をメルセデス・ベンツ指定サービス工場で実施してください。
- 安全上の理由から、メルセデス・ベンツによりテストされ承認されたチャイルドセーフティシートのみを、助手席エアバッグ自動解除システムと組み合わせて使用することをお勧めします。

システム自己診断

 警告

システムの自己診断中に助手席エアバッグオフ表示灯および助手席エアバッグオン表示灯が点灯しない場合は、システムに不具合があります。助手席エアバッグが意図せずに作動したり、高い減速度を伴う事故の際に全く作動しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

この場合は、助手席シートを使用しないでください。助手席シートにチャイルドセーフティシートを取り付けしないでください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですべての助手席エアバッグ自動解除システムの点検および修理を受けてください。

 警告

システムの自己診断後に助手席エアバッグオフ表示灯が点灯したままの場合は、助手席エアバッグは無効になっています。事故のときには作動しません。この場合は、助手席に乗員が着座しているときなどに、助手席エアバッグは意図した保護機能を発揮できません。

特にダッシュボードの非常に近くに乗員が着座している場合などは、車両のインテリアに接触するおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

助手席に乗車しているときは、常に以下を確認してください。

- 助手席シートの人の分類が適正であり、助手席シートにいる乗員に応じて助手席エアバッグが有効または無効になっている
- 乗員が正しくシートベルトを着用して正しく着座している
- 助手席をできるだけ後方に移動している

助手席エアバッグオフ表示灯が点灯してはいけないうちに点灯したままの場合は、助手席シートを使用しないでください。助手席シートにチャイルドセーフティシートを取り付けしないでください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですべての助手席エアバッグ自動解除システムの点検および修理を受けてください。

 **警告**

シート表面とチャイルドセーフティシートとの間の物は、助手席エアバッグ自動解除システムの機能に影響を与えるおそれがあります。これにより、事故のときに助手席エアバッグが意図された機能を果たさなくなるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

シート表面とチャイルドセーフティシートとの間に物を置かないでください。チャイルドセーフティシートの底面全体を助手席シートクッションに接触させる必要があります。前向きチャイルドセーフティシートのバックレストは、できるだけ助手席シートのバックレストに接触させる必要があります。常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。

システムの自己診断後に、助手席エアバッグオフ表示灯または助手席エアバッグオン表示灯は助手席エアバッグの状況を示します (▷73 ページ)。

詳細な情報は "助手席エアバッグ自動解除システムのトラブル" をご覧ください (▷79 ページ)。

チャイルドセーフティシート自動検知システムのトラブル

"システムの自己診断"の注意事項に従っていることを確認してください (▷77 ページ)。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
大人または大人に相当する体格の方が助手席シートに乗車していても、助手席エアバッグオフ表示灯が点灯し、点灯したままになる。	助手席シート乗員の検知が適切でない。 ▶ 助手席シート乗員の検知の適切な条件が満たされていることを確認します (▷427 ページ)。 ▶ 助手席エアバッグオフ表示灯が点灯したままの場合は、助手席シートは使用できません。 ▶ すみやかに助手席エアバッグ自動解除システムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。
助手席エアバッグオフ表示灯が点灯しない、および / または点灯したままにならない。 助手席シートの状態： ・乗車していない ・後ろ向きチャイルドセーフティシートが取り付けられている	助手席エアバッグ自動解除システムに不具合がある。 ▶ シートとチャイルドセーフティシートの間は何も挟まれていないことを確認してください。 ▶ チャイルドセーフティシートの底面全体が助手席シートのシートクッションに接触していることを確認してください。 ▶ シートクッションの長さがいっぱいまで短くなっていることを確認してください。 ▶ チャイルドセーフティシートを取り付けるときは、シートベルトが締まっていることを確認します。助手席シートを調整して引くことにより、シートベルトを締めないでください。これにより、シートベルトおよびチャイルドセーフティシートが強く締めすぎるおそれがあります。 ▶ チャイルドセーフティシートが正しく取り付けられていることを点検します。 ▶ シートに余分な重量をかけている物がないことを確認してください。 ▶ 助手席エアバッグオフ表示灯が消灯したままの場合、および / または助手席エアバッグオン表示灯が点灯している場合は、後ろ向きチャイルドセーフティシートを助手席シートに取り付けずにください。チャイルドセーフティシートは適切なリアシートに装着することを推奨します。 ▶ すみやかに助手席エアバッグ自動解除システムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。

シートベルトテンショナーおよびエアバッグの作動

重要な安全上の注意事項

 警告

エアバッグの作動後は、エアバッグの部品が熱くなっています。火傷の危険性があります。

エアバッグの部品に触れないでください。できるだけすみやかに、作動したエアバッグをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。


 警告

作動した火薬式シートベルトテンショナーは作動しなくなり、意図した保護機能を発揮できなくなります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

そのため、作動した火薬式シートベルトテンショナーは、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。

事故後は車両をメルセデス・ベンツ指定サービス工場までけん引することを、メルセデス・ベンツは推奨します。特にシートベルトテンショナーまたはエアバッグが作動した場合は、このことを考慮してください。

PRE-SAFE® で使用されている電気モーターは、危険な状況でシートベルトの締め付けを行いません。この作動は何回でも行なわれます。

シートベルトテンショナーまたはエアバッグが作動した場合は、作動音が聞こえ、少量の粉末が放出されることもあります。乗員保護装置警告灯  が点灯します。

作動音は、ごくまれに聴力に影響を与えることがあります。一般に、放出される粉末は健康に害はありませんが、ぜんそくや肺疾患のある方は、この粉末により一時的に呼吸障害を起こすおそれがあります。もし安全であるなら、呼吸障害を防止するため、すぐに車両から離れるか、窓を開けてください。

作動

衝突の初期段階の間、乗員保護装置のコントロールユニットは、車両の減速度または加速度に関する以下のような重要な物理的データの評価を行いません。

- 時間
- 方向
- 強さ

このデータの評価に基づいて、乗員保護装置のコントロールユニットは正面衝突または追突の際にシートベルトテンショナーを作動させます。

シートベルトテンショナーは以下の場合にのみ作動します：

- イグニッションがオンである
- 乗員保護装置の構成部品が作動可能である。"乗員保護装置警告灯"をご覧ください (>61 ページ)。
- シートベルトのプレートがフロントシートのそれぞれのベルトバックルに固定されている

後席のシートベルトテンショナーは、シートベルトの固定状態とは独立して作動します。

ベルトバッグ装備車両：事故の種類および重大さによっては、ベルトバッグも作動します。

リアクライニングシート装備車両：シートベルトのプレートがシートのベルトバックルに固定されている場合のみ、シートベルトテンショナーは作動します。

シートバックレストがリクライニングしている場合は、事故の種類および重大さによってクッションエアバッグも作動することがあります。

乗員保護装置のコントロールユニットが特定の正面衝突など、非常に重大な事故を検知すると、以下の乗員保護装置の補助的構成部品が互いに独立して作動します。

- 運転席 / 助手席エアバッグ
- ウィンドウバッグ、シートベルトによるものに補助的な保護を行なうことができるシステムが判断した場合

助手席エアバッグ自動解除システム装備車両の場合：助手席シートの乗員によって、助手席エアバッグは有効または無効のいずれかになります。助手席エアバッグは、助手席エアバッグオン表示灯が点灯している場合のみ、事故の際に作動します。助手席エアバッグ表示灯に関する情報に従ってください（p.73 ページ）。

お客様の車両には 2 段階式の運転席エアバッグが装備されています。最初の作動段階では、けがの危険性を減少させるために十分な火薬ガスで運転席エアバッグが充填されます。数ミリ秒以内に第 2 段階の作動基準に達すると、フロントエアバッグは最大限に膨らみます。

シートベルトテンショナーおよびエアバッグの作動規定値は、車両のさまざまなポイントでの車両の減速度または加速度の評価に基づいて判断されます。この処理は事前に行われます。作動 / 展開決定処理は、衝突の初期段階に適切なタイミングで行なわれる必要があります。

車両の減速度や加速度、衝撃の方向は、基本的に以下の要素によって決まります：

- 衝突時の衝撃エネルギーの分散度
- 衝突の角度
- 車両の変形特性
- 車両と衝突した物体の特性

衝突の発生後に検知される要素は、エアバッグの作動条件とは必ずしも一致しません。また、エアバッグを作動させる基準とはなりません。

エアバッグが作動せずに車両が著しく変形することがあります。変形しやすい衝撃吸収部品のみが衝突の影響を受け、エアバッグを作動させるのに十分な減速度に達していない場合です。反対に車両が軽度のみ変形したにも関わらず、エアバッグが作動することがあります。縦方向のボディメンバーなどの高剛性の部品が衝撃を受けたため、結果として大きな減速度が発生した場合などです。

乗員保護装置のコントロールユニットが側面衝突を検知するか、あるいは車両が横転した場合は、乗員保護装置の適切な構成部品が、事故の形態に応じて相互に独立して作動します。この状況で、作動により乗員保護機能が高まるとシステムが判断した場合は、シートベルトテンショナーも作動します。

- シートベルトの使用およびシートベルトテンショナーとは関係なく、衝撃が発生した側のサイドバッグ

チャイルドセーフティシート自動検知システム装備車両：助手席側のサイドバッグは以下の条件下で作動します。

- 助手席シートで乗員が検知された、または
- シートベルトのプレートが助手席シートのシートベルトバックルに固定されている
- シートベルトの使用および助手席に乗員がいるかどうかに関係なく、衝撃が発生した側のウインドウバッグ
- 特定の状況で車両が横転して、作動がシートベルトの乗員保護機能を高めるとシステムが判断したときの運転席側および助手席側のウインドウバッグ

i 事故の際に、すべてのエアバッグが作動するわけではありません。各エアバッグシステムは、それぞれ独立して作動します。

エアバッグシステムの作動は、検知された事故の大きさ、特に車両の減速度または加速度、および以下のような事故の形態により決定されます：

- 正面衝突
- 側面衝突
- 横転

PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）

はじめに

特定の危険な状況で、PRE-SAFE® は車両乗員を保護するために予防的な措置を行いません。

重要な安全上の注意事項

! シートの前後位置を調整するときは、足元やシートの下または後方に物が無いことを確認してください。シートや物を損傷するおそれがあります。

車両に PRE-SAFE® システムが装備されていても、事故のときのけがの可能性をなくすることはできません。常に実際の道路や天候状況に適するように運転スタイルを合わせ、先行車両との間に十分な安全な距離を保ってください。注意して運転してください。

機能

PRE-SAFE® は以下のときに作動します。

- BAS が作動しているときなど、緊急ブレーキ状態のとき
- 物理的な限界を超えて車両が著しいアンダーステアやオーバーステアになるなど、危機的な走行状況になったとき
- レーダーセーフティシステムの各システムが強力に介入した、または特定の状況でレーダーセンサーシステムが切迫した衝突の危険を検知したとき

PRE-SAFE® は検知した危険な状態に応じて、以下のように作動します。

- フロントシートベルトの張力があらかじめ高まります。
- 車両が横滑りすると、パノラミックスライディングルーフが完全に閉じて、サイドウィンドウが少しの隙間を残して閉じます。
- 助手席シートが好ましくない位置にある場合は調整されます。
- 後席パワーシート装備車両：好ましくない位置にある場合は、外側のリアシートが調整されます。

- マルチコントロールシートバック装備車：バックレストのサイドサポートの空気圧が上がります。
- アクティブベルトバックル装備車両：外側リアシートのシートベルトの張力があらかじめ上がります。

事故につながることなく危険な状況が過ぎた場合は、PRE-SAFE® がシートベルトの張力を緩めます。マルチコントロールシートバック装備車両では、サイドサポートの空気圧が再び低下します。PRE-SAFE® により行なわれたすべての設定が元に戻ります。

シートベルトの張力が緩まない場合

- ▶ 車両が停止しているときに、シートバックレストまたはシートを後方に少し動かします。あらかじめ高められていたシートベルトの張力が緩み、ロック機構が解除されます。

シートベルト調整は、PRE-SAFE® コンビニエンス機能の一部です。コンビニエンス機能に関する情報は "シートベルト調整" にあります (▷68 ページ)。

PRE-SAFE® プラス (予期乗員保護措置プラス)

※ 日本での装備名称は、「リア CPA (被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム)」です。

はじめに

レーダーセンサーシステムを使用して、PRE-SAFE® プラスは正面衝突または追突が差し迫っていることを検知します。特定の危険な状況では、PRE-SAFE® プラスは乗員を保護するために予防的な措置を行ないます。

重要な安全上の注意事項

PRE-SAFE® プラスの介入により、切迫した衝突を避けることはできません。

PRE-SAFE® プラスが介入しているときは、運転者に警告は行なわれません。

後退するときは、PRE-SAFE® プラスは介入しません。

PRE-SAFE® プラスは、車両が動いているとき、またはアクティブパーキングアシストが作動しているときは、ブレーキ操作を行ないません。

機能

切迫した正面衝突または追突をレーダーセンサーシステムが検知した場合は、PRE-SAFE® プラスは特定の状況で介入します。

PRE-SAFE® プラスは、検知された危険な状況によって以下の措置を行ないます。

- 正面衝突が差し迫っていることをレーダーセンサーシステムが検知した場合は、シートベルトの張力が事前に上がります。
- 追突が差し迫っているとレーダーセンサーシステムが検知した場合
 - リアの非常点滅灯が作動し、高い頻度で点滅します。
 - 車両が停止しているときに運転者がブレーキを効かせた場合は、ブレーキ圧が増加します。
 - シートベルトの張力が事前に上がります。

PRE-SAFE® プラスのブレーキの適用は以下の状況では中止されます。

- ギアが入っているときにアクセルペダルが踏まれた場合
- 衝突の危険性が過ぎた、または検知されなくなった場合
- ディストロニック・プラスにより発進する意図が示された場合

事故につながることなく危険な状態が過ぎた場合は、元の設定に戻ります。

事故後の自動措置

衝突の種類および大きさによって、事故の後にはただちに以下の措置が行なわれます。

- 非常点滅灯が作動します
- 緊急時点灯機能が作動します
- 車両のドアが解錠されます
- フロントサイドウィンドウが下がります
- 電動調整式ステアリングが上がります
- エンジンが停止して、燃料供給が中断します
- **アクティブベルトバックル装備車両：**外側リアシートのシートベルトバックルが点灯し、前方に出ます。
- **ハイブリッドシステム装備車両：**ハイブリッドシステムおよび高電圧電気システムが解除されます。

事故の後で

事故の後で

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 非常点滅灯を作動させます。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを手動で効かせてください。
- ▶ 車両から出るときは乗員が危険にさらされていないことを確認してください。
- ▶ 危険な場所の近くに誰もいないことを確認してください。フェンスなどで区切られた安全な場所に乗員を退避させます。
- ▶ 適切な場所に停止表示板を置いてください。

自動車専用道路や高速道路では、停止表示板を使用することにより後続車両に警告を発することが法律で義務付けられています。

車両が動かなくなったとき

- ▶ オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトします。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを手動で解除してください。
- ▶ 安全な場所まで車両を押ししてください。必要な場合は、他の人に救援を求めてください。

オートマチックトランスミッションをポジション **N** にできない場合、運転者と乗員は危険な範囲からただちに離れてください。

i イグニッションがオンで車輪が回転したときは、車両は自動的に施錠されます。そのため、車両を押すときやダイナモメーターでテストを行なう場合は、閉め出される危険性があります。

i 踏切内で車両が動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。緊急な状況では、非常信号用具も使用してください。

子供を乗せるとき

重要な安全上の注意事項

事故の統計では、リアシートに固定されている子供は助手席シートに固定されている子供より安全であることが示されています。この理由のため、チャイルドセーフティシートをリアシートに取り付けることを、メルセデス・ベンツは強く推奨します。一般的に、子供はリアシートのほうがより良く保護されます。

12歳未満および150cm以下の子供を車両に乗せて走行する場合：

- メルセデス・ベンツ車用に推奨されているチャイルドセーフティシートを使用していることを常に確認してください。チャイルドセーフティシートは子供の年齢、体重および身長に適していなければなりません。
- チャイルドセーフティシートメーカーの取扱説明に加えて、この項目にある説明および安全上の注意事項に常に従ってください。
- 助手席エアバッグ自動解除システムの説明および安全上の注意事項に常に従ってください (▷73 ページ)。

警告

付き添いのない状態で子供を車内に残すと、たとえば以下のようにして車両を動かすように設定できることがあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジションPからシフトする
- エンジンを始動する

加えて、車両装備を操作し、挟まれる場合があります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが直射日光または熱にさらされている場合は、部品が高温になることがあります。子供がこれらの部品、特にチャイルドセーフティシートの金属部品で火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。

運転者および子供が車両から離れる場合は、チャイルドセーフティシートを直射日光にさらさないように気をつけてください。毛布などで覆ってください。チャイルドセーフティシートが直射日光にさらされた場合は、子供を固定する前に冷ましてください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

車両乗員全員がシートベルトを着用していて、正しく着座していることを常に確認してください。これは特に子供に重要です。

シートベルトについての安全上の注意事項（▷63 ページ）およびシートベルトの正しい使用についての注意事項（▷65 ページ）に従ってください。

チャイルドセーフティシート

チャイルドセーフティシートの正しい使用方法に常に従ってください。

安全上の理由のため、メルセデス・ベンツにより推奨されたチャイルドセーフティシートのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します（▷97 ページ）。

⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが適切なシート位置に正しく取り付けられていない場合は、意図した保護機能を発揮することができません。事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに子供を保護することができません。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

チャイルドセーフティシートメーカーの装着指示およびチャイルドセーフティシートの正しい使用に常に従ってください。チャイルドセーフティシートの底面全体が常にシートクッションに接触していることを確認してください。チャイルドセーフティシートの下または背面にクッションなどの物を置かないでください。チャイルドセーフティシートには、必ずこのシート専用の純正シートカバーを使用してください。損傷したカバーを取り替えるときは、必ず純正品を使用してください。

⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが正しく取り付けられていない、または固定されていない場合は、事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに外れるおそれがあります。チャイルドセーフティシートが投げ出されて、乗員にぶつかるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

着座していないチャイルドセーフティシートも常に正しく取り付けてください。常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。

荷物の正しい積載についてのさらなる情報は"積載のガイドライン"にあります(▷490 ページ)。

警告

事故で負荷を受けたチャイルドセーフティシートやその固定装置は、意図した保護機能を発揮できないことがあります。事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに、子供が保護されません。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

事故で損傷したり、または負荷を受けたチャイルドセーフティシートはただちに交換してください。チャイルドセーフティシートを再度取り付ける前に、チャイルドセーフティシートの固定装置をメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。

チャイルドセーフティシートの固定システムは、以下のものです：

- シートベルトシステム
- ISOFIX 固定リング
- テザーアンカー

どうしても子供を助手席シートに乗車させる必要がある場合は、"助手席シートのチャイルドセーフティシート"にある情報に従っていることを確認してください(▷91 ページ)。

車内およびチャイルドセーフティシートに貼付されている警告ラベルに注意してください。

アクティブベルトバックル装備車両：リアシートのチャイルドセーフティシートに子供を固定するときは、以下の指示に従ってください。

- チャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従って、チャイルドセーフティシートのシートベルトが締められていることを確認します。
- ベルトクランプ付チャイルドセーフティシート：ベルトクランプを使用してシートベルトを締める前に、シートベルトのプレートバックルに固定します。

リアリクライニングシート装備車両：チャイルドセーフティシートを装着するときは、後席リクライニングシートのバックレストをほぼ起きた位置に動かします。後席リクライニングシートのバックレストがチャイルドセーフティシートに接していなければなりません。クッションエアバッグについての注意事項に従ってください(▷72 ページ)。

ベルトバッグ装備車両：メルセデス・ベンツによって承認されたチャイルドセーフティシートのみを使用してください。"推奨チャイルドセーフティシート"にある注意事項に常に注意してください(▷97 ページ)。

i メルセデス・ベンツの手入れ用品を使用して、チャイルドセーフティシートを清掃してください。これについての情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置

⚠ 警告

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートは、体重が 22kg 以上でチャイルドセーフティシートに内蔵されたセーフティベルトを使用して固定されている子供には十分な保護効果をもたらしません。例えば、事故のときに子供が正しく固定されないなどのおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

子供の体重が 22kg 以上の場合は、必ず子供が車両のシートベルトでも固定される ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを使用してください。使用可能であれば、チャイルドセーフティシートをテザーアンカーベルトでも固定してください。

チャイルドセーフティシートを装着するときは、メーカーの装着および操作指示、およびチャイルドセーフティシートの正しい使用に関する指示に従っていることを確認してください。

各走行前に、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートが両方の ISOFIX 固定リングに正しく固定されていることを確認します。

! チャイルドセーフティシートを装着するときは、中央リアシートのシートベルトを挟み込まないように注意してください。シートベルトが損傷するおそれがあります。



リアシートの ISOFIX 固定リング ② は、ベルクロファスナーのある固定された内装ライニング ① によって覆われています。

▶ **リアリクライニングシート装備車両：** ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを取り付ける前に、リアリクライニングシートのバックレストを少し下に調整します。

▶ **リアリクライニングシート非装備車両：** 内装ライニング ① を上方に起こします。

▶ **リアリクライニングシート装備車両：** 内装ライニング ① を取り外します。

▶ **リアリクライニングシート非装備車両：** 内装ライニング ① の裏側の支柱を 90° まわします。

内装ライニング ① は、上方に起きたままになります。

▶ ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを左右の ISOFIX 固定リング ② に取り付けます。

▶ **リアリクライニングシート装備車両：** 後席リクライニングシートのバックレストを再度起こした位置に動かします。後席リクライニングシートのバックレストがチャイルドセーフティシートに接していなければなりません。

⚠ 警告

後席パワーシート装備車両：チャイルドセーフティシートを装着した後にシートを調整する場合：

- シートベルトが緩む、または非常にきつくなることがあります。
- チャイルドセーフティシートが緩む、正しく位置しなくなる、または損傷するおそれがあります。

結果として、チャイルドセーフティシートが意図した保護レベルをもたらさないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

チャイルドセーフティシートを装着した後にシートを調整しないでください。

リアクライニングシート非装備車両：

ISOFIX チャイルドセーフティシートを取り外した後に、内装ライニング①の支柱を再度 90° まわします。その後内装ライニング①を下に倒します。

ISOFIX は、専用設計されたチャイルドセーフティシートのリアシートへの規格化された固定システムです。ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート用の 2 つの ISOFIX 固定リング②は、リアシートの左および右に取り付けられています。

リアシートアームレスト装備車両：

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート用 ISOFIX 固定リング②に手が届くようにリアシートアームレストを調整します。

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置に対応していないチャイルドセーフティシートは、車両のシートベルトで固定してください。チャイルドセーフティシートを装着するときは、メーカーの装着および操作指示、およびチャイルドセーフティシートの正しい使用に関する指示に従っていることを確認してください。

テザーアンカー

はじめに

テザーアンカーは、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートと車両の間を補助的に接続します。これにより、けがの危険性をさらに低減する補助を行ないます。チャイルドセーフティシートにテザーアンカーベルトが装備されている場合は、常に使用してください。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

後席パワーシート装備車両：チャイルドセーフティシートを装着した後にシートを調整する場合：

- シートベルトが緩む、または非常にきつくなることがあります。
- チャイルドセーフティシートが緩む、正しく位置しなくなる、または損傷するおそれがあります。

結果として、チャイルドセーフティシートが意図した保護レベルをもたらさないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

チャイルドセーフティシートを装着した後にシートを調整しないでください。

テザーアンカー



テザーアンカーは後席外側ヘッドレスト後方のパーセルシェルフに取り付けられています。



- ▶ ヘッドレストを上方に動かします。
- ▶ テザーアンカーのカバー①を起こします。
- ▶ テザーアンカーを装備した ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを装着します。その場合は、常にチャイルドセーフティシートメーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ ヘッドレストの下の 2 本のヘッドレストの支柱の間にテザーアンカーベルト④を通します。
- ▶ テザーアンカーベルト④のテザーアンカーフック③をテザーアンカー②に掛けます。
テザーアンカーベルト④にねじれがないことを確認します。
- ▶ テザーアンカーベルト④を張ります。そうするときは常に、チャイルドセーフティシートメーカーの取扱方法に従ってください。
- ▶ テザーアンカーのカバー①を倒します。
- ▶ 必要に応じて、ヘッドレストを再度下方に少し動かして戻します (>169 ページ)。テザーアンカーベルト④の正しい取り回しを妨げていないことを確認してください。

助手席のチャイルドセーフティシート

全体的な注意事項

事故の統計では、リアシートに固定された子供は助手席に固定された子供よりも安全であることが示されています。この理由のため、チャイルドセーフティシートはリアシートに取り付けることを、メルセデス・ベンツは強く推奨します。

助手席チャイルドセーフティシート自動検知システム装備車両：どうしても助手席シートにチャイルドセーフティシートを取り付けなければならない場合は常に、"助手席チャイルドセーフティシート自動検知システム"にある情報に従ってください（▷73 ページ）。

これにより、以下のために発生するおそれのある危険性を防ぐことができます。

- チャイルドセーフティシート自動検知システムのセンサーによって検知されないチャイルドセーフティシート
- 助手席エアバッグの意図しない無効化
- ダッシュボードのすぐ近くなど、チャイルドセーフティシートの不適切な位置



助手席側サンバイザーの警告ステッカーに従ってください。イラストを参照してください。

⚠ 警告

助手席の後ろ向きチャイルドセーフティシートに子供を固定し、助手席エアバッグオン表示灯が点灯している場合は、事故のときに助手席エアバッグが作動します。エアバッグにより、子供が衝撃を受けるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

助手席エアバッグが無効になっていることを確認してください。助手席エアバッグオフ表示灯が点灯してなければなりません。

有効になっているフロントエアバッグで保護されているシートでは、後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用しないでください。子供に致命的な、または重大なけがを引き起こすことがあります。

助手席エアバッグオン表示灯が点灯している場合は、助手席エアバッグは有効になっています（▷73 ページ）。

助手席チャイルドセーフティシート自動検知システム非装備車両



車両の助手席にチャイルドセーフティシート自動検知システムが装備されていない場合は、専用のステッカーによって示されます。ステッカーは、助手席側ダッシュボードの側面に貼付されています。助手席ドアを開いたときに、このステッカーが見えます。

この場合は常に、後ろ向きチャイルドセーフティシートは適切なリアシートに取り付けてください (▷92 ページ)。

"後ろ向きチャイルドセーフティシート" および "前向きチャイルドセーフティシート" にある情報、ならびにチャイルドセーフティシートの適切な位置に関する情報に従ってください (▷92 ページ)。

後ろ向きチャイルドセーフティシート

どうしても助手席シートに後ろ向きチャイルドセーフティシートを取り付けなければならない場合は、助手席エアバッグが無効になっていることを確認してください。助手席エアバッグオフ表示灯が点灯し続けている場合のみ (▷73 ページ)、助手席エアバッグは無効になっています。

チャイルドセーフティシートメーカーの装着および取扱の説明に加えて、チャイルドセーフティシートの適切な位置に関する情報に常に従ってください (▷ 92 ページ)。

前向きチャイルドセーフティシート

どうしても前向きチャイルドセーフティシートを助手席シートに取り付けなければならない場合は、助手席シートをできるだけ後方の位置に動かしてください。シートクッションの長さをいっぱいまで短くします。チャイルドセーフティシートの底面全体が常に助手席シートクッションに接触していなければなりません。チャイルドセーフティシートのバックレストは、助手席バックレストにできるだけ均一に接触していなければなりません。チャイルドセーフティシートがルーフに触れたり、ヘッドレストにより負荷がかかっているはいけません。それに応じて、シートバックレストの角度およびヘッドレストの位置を調整してください。肩部分のシートベルトが、車両のベルト引き出し口からチャイルドセーフティシートの肩ベルトのガイドに向けて正しく取り回されていることを必ず確認してください。肩部分のシートベルトは、車両のベルトガイドから前方および下方に取り回されていないなければなりません。必要に応じて、車両のベルトガイドと助手席シートを適切に調整します。

チャイルドセーフティシートメーカーの装着および取扱指示に加えて、チャイルドセーフティシートの適切な位置についての情報に常に従ってください (▷92 ページ)。

チャイルドセーフティシートの適切な装着位置

はじめに

車両には、欧州経済共同体基準 ECE R44 により承認されたチャイルドセーフティシートのみを装着してください。

体重カテゴリー II または III のいくつかのチャイルドセーフティシートでは、このことにより使用範囲が制限されることがあります。ルーフへの接触の可能性により、チャイルドセーフティシートを最大サイズに設定することができません。

"ユニバーサル" カテゴリーのチャイルドセーフティシートは、オレンジ色の認証ラベルと "universal" の文字で判別できます。



例：チャイルドセーフティシートの認証ラベル

ユニバーサル" カテゴリーのチャイルドセーフティシートは、"ベルト付きチャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性"または"ISOFIX対応チャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性"の表に従って、U、UF または IUF と表示されたシートで使用できます。

セミユニバーサルチャイルドセーフティシートは、認可ラベルの "semi universal" の文字で示されています。これらは、車両およびシートがチャイルドセーフティシートメーカーの車両モデルリストに載っている場合に使用できます。さらなる情報は、チャイルドセーフティシートメーカーにご連絡いただくか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。

助手席シートのチャイルドセーフティシート - やむを得ず助手席シートのチャイルドセーフティシートに子供を固定する必要がある場合：

- ▶ "助手席でのチャイルドセーフティシート"にある指示に常に注意してください (▷91 ページ)。

指示には、肩部分のシートベルトを車両のベルトガイドからチャイルドセーフティシートの肩ベルトのガイドに向けて正しく取り回す方法についての説明があります (▷92 ページ)。

- ▶ 助手席シートをできるだけ後方に動かし、シートクッションの長さをいっぱいまで短くします。

助手席シートの前向きチャイルドセーフティシートに子供を固定する場合は、助手席シートも最も低い位置に動かします。

- ▶ バックレストをほぼ垂直の位置に動かします。

チャイルドセーフティシートの底面全体が、常に助手席シートクッションに接していなければなりません。前向きチャイルドセーフティシートのバックレストは、できるだけ助手席シートのバックレストに接していなければなりません。チャイルドセーフティシートがルーフに触れたり、ヘッドレストにより負荷がかかっているはいけません。それに応じて、シートバックレストの角度およびヘッドレストの位置を調整してください。チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明にも注意してください。

- ▶ シートクッションの角度を最も高く、および最も垂直の位置に動かします。

ベルト付きチャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性

リアシートでカテゴリ 0 または 0+ のベビーカーシート、または後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用する場合は、シートがチャイルドセーフティシートに接触しないように、運転席および助手席シートを調整しなければなりません。

カテゴリ I の前向きチャイルドセーフティシートを使用する場合は、可能であれば、それぞれのシートのヘッドレストを取り外してください (▶167 ページ)。チャイルドセーフティシートのバックレストは、シートのバックレストにできるだけ接していません。

"チャイルドセーフティシート" の項目 (▶86 ページ) およびチャイルドセーフティシートメーカーの装着説明にある注意事項に常に従ってください。

チャイルドセーフティシートを取り外したときは、ただちにヘッドレストを再度取り付けなければなりません。走行を開始する前に、すべての乗員がヘッドレストを正しく調整しなければなりません (▶169 ページ)。

表の凡例

- X この体重カテゴリの子供に適合していないシート。
- U この体重カテゴリでの使用が承認された "ユニバーサル" カテゴリのチャイルドセーフティシートに適合。
- UF この体重カテゴリでの使用が承認された "ユニバーサル" カテゴリに属する前向きチャイルドセーフティシートに適合。
- L 推奨チャイルドセーフティシートに適合。"推奨チャイルドセーフティシート" の表をご覧ください (▶97 ページ)。車両およびシートがチャイルドセーフティシートメーカーの車両モデルリストに掲載されている場合、セミユニバーサルチャイルドセーフティシートに適合。

助手席シート

体重カテゴリ		助手席エアバッグが有効	助手席エアバッグが無効 ¹
0	10kg 以下	X	U、L
0+	13kg 以下	X	U、L
I	9kg ~ 18kg	UF、L	U、L
II	15kg ~ 25kg	UF、L	U、L
III	22kg ~ 36kg	UF、L	U、L

¹ 車両は助手席エアバッグ自動解除システムを装備しています。助手席エアバッグオフ表示灯が点灯します。

ベルトバッグ非装備リアシート

体重カテゴリー		左、右	センター ²
0	10kg 以下	U	U
0+	13kg 以下	U	U
I	9kg ~ 18kg	U	U
II	15kg ~ 25kg	U	U
III	22kg ~ 36kg	U	U

ベルトバッグ装備リアシート

体重カテゴリー		左、右
0	10kg 以下	L ³
0+	13kg 以下	L ³
I	9kg ~ 18kg	L ³
II	15kg ~ 25kg	L ⁴
III	22kg ~ 36kg	L ⁴

ベルトバッグ装備リアシート：外側リアシートのチャイルドセーフティシートに子供を固定するときは、以下の指示に常に注意してください：

- メルセデス・ベンツにより承認されたチャイルドセーフティシートのみを使用してください。"推奨チャイルドセーフティシート"にある注意事項に常に注意してください (D97 ページ)。
- 後ろ向きチャイルドセーフティシートは、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置によって固定してください。
- 前向きチャイルドセーフティシートは、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置および、ある場合はテザーアンカーで固定してください。

リアクライニングシート装備車両：前向きチャイルドセーフティシートの底面と背面がリアクライニングシートのクッションおよびバックレストに完全に接していなければなりません。チャイルドセーフティシートがルーフに接触しないようにしてください。それに応じて、バックレストの角度を調整します。チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明にも注意してください。

- 2 サポートブラケット付きのチャイルドセーフティシートはこのシートには適していません。
- 3 ベルトバック付きリアシート：ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置に装着された、メルセデス・ベンツにより承認されたチャイルドセーフティシートのみを使用してください。
- 4 ベルトバック付きリアシート：承認された KIDFIX チャイルドシートのみを使用してください。

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性

リアシートでカテゴリ 0 または 0+ のベビーカーシート、または後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用する場合は、シートがチャイルドセーフティシートに接触しないように、運転席および助手席シートを調整しなければなりません。

カテゴリ 1 の前向きチャイルドセーフティシートを使用する場合は、可能であれば、それぞれのシートのヘッドレストを取り外してください (▶167 ページ)。チャイルドセーフティシートのバックレストは、シートのバックレストにできるだけ接していません。

"チャイルドセーフティシート" の項目 (▶86 ページ) およびチャイルドセーフティシートメーカーの装着説明にある注意事項に常に従ってください。

チャイルドセーフティシートを取り外したときは、ただちにヘッドレストを再度取り付けなければなりません。走行を開始する前に、すべての乗員がヘッドレストを正しく調整しなければなりません (▶169 ページ)。

表の凡例

X この体重カテゴリおよび / またはサイズカテゴリで、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適合していない ISOFIX の位置。

IUF この体重カテゴリでの使用に適合する "ユニバーサル" カテゴリに属する前向き ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置に適合。

IL 推奨しているような ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適合。以下の表 "推奨チャイルドセーフティシート" (▶97 ページ) をご覧ください。メーカーは、適合している ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートも推奨しています。そのためには、お客様の車両とシートがチャイルドセーフティシートメーカーのモデルリストに掲載されていなければなりません。さらなる情報は、チャイルドセーフティシートメーカーにご連絡いただくか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。

体重カテゴリ		サイズカテゴリ	装備	リアシート 左 / 右
キャリコット		F	ISO/L1	X
		G	ISO/L2	X
0	10kg 以下 約 6 ヶ月以下	E	ISO/R1	IL
0+	13kg 以下 15 ヶ月以下	E	ISO/R1	IL
		D	ISO/R2	IL
		C	ISO/R3	IL ⁵

1 サイズカテゴリ C (ISO/R3) のチャイルドセーフティシートを使用している場合は、フロントシートを最も高い位置に動かして、バックレストを直立位置に動かします。フロントシートバックレストがチャイルドセーフティシートに負荷をかけていないことを確認してください。

体重カテゴリー	サイズカテゴリー	装備	リアシート 左 / 右
I 9kg ~ 18kg 約 9 ヶ月 ~ 4 歳	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL ⁵
	B	ISO/F2	IUF
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF

チャイルドセーフティシートがルーフに触れたり、ヘッドレストにより負荷がかかっているはいけません。可能であれば、それに応じてヘッドレスト位置およびシートバックレストの角度を調整してください。チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明にも従ってください。

リアクライニングシート装備車両："ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置" にある指示に常に注意してください (▷88 ページ)。リアクライニングシートのバックレストがチャイルドセーフティシートに接していなければなりません。

推奨チャイルドセーフティシート

全体的な注意事項

"助手席のチャイルドセーフティシート" (▷91 ページ) および "チャイルドセーフティシートの適切な位置" (▷92 ページ) の情報に常に注意してください。

適切なチャイルドセーフティシートについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

ベルトバッグ装備リアシート：外側リアシートのチャイルドセーフティシートに子供を固定するときは、以下の指示に常に注意してください：

- メルセデス・ベンツにより承認されたチャイルドセーフティシートのみを使用してください。
 - 体重カテゴリー 0、0+ または I:チャイルドセーフティシートは ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置に取り付けなければなりません。
 - 体重カテゴリー II/III: 承認された KIDFIX チャイルドシートのみを使用してください。
- 後ろ向きチャイルドセーフティシートは、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置によって固定してください。

1 サイズカテゴリー C (ISO/R3) のチャイルドセーフティシートを使用している場合は、フロントシートを最も高い位置に動かして、バックレストを直立位置に動かします。フロントシートバックレストがチャイルドセーフティシートに負荷をかけていないことを確認してください。

- 前向きチャイルドセーフティシートは、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート 固定装置および、ある場合はテザーアンカーで固定してください。
- "リアアクティブベルトバッグ"にある説明に常に注意してください(▷67ページ)。

車両のシートベルトに装着する推奨チャイルドセーフティシート

体重カテゴリー	メーカー	タイプ	認証番号 (E1...)	注文番号 (A000...) ⁶
カテゴリー 0 : 10kg 以下 約 6 ヶ月以下	Britax Römer	ベビーセーフ	03 301146	970 10 00
		プラス	04 301146	
		ベビーセーフ プラス II	04 301146	970 20 00
カテゴリー 0+ : 13kg 以下 15 ヶ月以下	Britax Römer	ベビーセーフ	03 301146	970 10 00
		プラス	04 301146	
		ベビーセーフ プラス II	04 301146	970 20 00
カテゴリー I : 9kg ~ 18kg 以下 約 9 ヶ月 ~ 4 歳	Britax Römer	デュオプラス	03 301133 04 301133	970 16 00
カテゴリー II/III : 15kg ~ 36kg 以下 約 4 歳から 12 歳	Britax Römer	KIDFIX ⁷	04 301198	970 19 00

推奨される "ユニバーサル" / "セミユニバーサル" カテゴリーの ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート

体重カテゴリー	サイズカテゴリー	メーカー	タイプ	認証番号 (E1...)	注文番号 ⁶
キャリコット	F	-	-	-	-
	G	-	-	-	-
カテゴリー 0 : 10kg 以下	F	-	-	-	-

⁶ カラーコード 9H95。

⁷ KIDFIX チャイルドセーフティシートを車両に装着する前に、必ずチャイルドセーフティシートメーカーの装着説明に従ってください。これには装着オプションについての注意事項も含まれます。

体重カテゴリー	サイズカテゴリー	メーカー	タイプ	認証番号 (E1...)	注文番号 ⁶
カテゴリー 0+ : 13kg 以下	E	Britax Römer	ベビー セーフプ ラス	03 301146 04 301146	B6 6 86 8224
	D	-	-	-	-
	C	-	-	-	-
カテゴリー I : 9kg ~ 18kg	D	-	-	-	-
	C	-	-	-	-
	B	-	-	-	-
	B1	Britax Römer	デュオブ ラス	03 301133 04 301133	A000 970 16 00
	A	-	-	-	-

⁶ カラーコード 9H95。

チャイルドブルーロック

重要な安全上の注意事項

 警告

子供を車両に乗せて走行している場合は、以下のおそれがあります。

- ドアを開き、それにより他の人または道路使用者を危険にさらす
- 車両から降りて、対向交通にぶつかる
- 例えば、車両装備を操作して挟まれる

事故やけがの危険性があります。

子供を車両に乗せて走行する場合は、使用可能なチャイルドブルーロックを常に作動させてください。車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

以下のチャイルドブルーロックを作動させることができます：

- リアドア
- リアサイドウィンドウ

 警告

保護者のいない状態で子供を車内に残すと、たとえば以下のようにして車両を動かすように設定できることがあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

加えて、車両装備を操作し、挟み込まれる場合があります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

 警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に付き添いのいない状態で子供を車両に残さないでください。

⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが直射日光または熱にさらされている場合は、部品が高温になることがあります。子供がこれらの部品、特にチャイルドセーフティシートの金属部品で火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。運転者および子供が車両から離れる場合は、チャイルドセーフティシートを直射日光にさらさないように気をつけてください。毛布などで覆ってください。チャイルドセーフティシートが直射日光にさらされた場合は、子供を固定する前に冷ましてください。保護者のいない子供を車内に残さないでください。

リアドアのチャイルドブルーロック



リアドアのチャイルドブルーロックで、各ドアを個別にロックできます。チャイルドブルーロックでロックされているドアは、車内から開くことができません。車両が解錠されているときは、車外からドアを開くことができます。

- ▶ **設定する**：チャイルドブルーロックレバーを矢印①の方向に押し上げます。

- ▶ チャイルドブルーロックが正常に設定されていることを確認します。
- ▶ **解除する**：チャイルドブルーロックレバーを矢印②の方向に押し下げます。

リアサイドウインドウのチャイルドブルーロック



- ▶ **設定 / 解除する**：スイッチ②を押します。

表示灯①が点灯している場合は、リアサイドウインドウの操作はできません。運転席ドアのスイッチを使用するのみ、操作が可能です。表示灯①が消灯しているときは、後席のスイッチを使用するの操作が可能です。

チャイルドブローフロックが設定されているときは、以下の後席の操作は無効になります。

- リアサイドウインドウ
- 後席からの助手席シートの調整
- ブラインド
 - リアサイドウインドウ
 - リアウインドウ
 - ルーフ

ペットを乗せるとき

警告

ペットを車内に放置または固定していない場合は、スイッチ類を押してしまう場合があります。

その結果：

- 車両装備を作動させて、挟まれる
- システムを作動または停止して、他の道路交通者を危険にさらす

さらに、事故の際やステアリングを切ったとき、急ブレーキをかけたときに、ペットが投げ飛ばされ、乗員が負傷するおそれもあります。事故やけがの危険性があります。

けっしてペットを車内に放置しないでください。走行中は、適切なキャリーなどを使用して、ペットを必ず正しく固定してください。

走行安全システム

走行安全システムの概要

この項目には、以下の走行安全システムについての情報があります

- ABS (Anti-lock Braking System : アンチロック・ブレーキング・システム) (▷103 ページ)
- BAS (Brake Assist System : ブレーキアシスト) (▷104 ページ)
- BAS (Brake Assist System) プラス : BAS プラス (飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス) (▷104 ページ)
- CPA プラス (緊急ブレーキ機能) (▷106 ページ)
- アダプティブブレーキライト (▷109 ページ)
- ESP® (Electronic Stability Program : エレクトロニック・スタビリティ・プログラム) (▷110 ページ)
- EBD (Electronic Brake force Distribution : エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション) (▷113 ページ)
- アダプティブブレーキ (▷113 ページ)
- PRE-SAFE® ブレーキ (▷113 ページ)
- ステアコントロール (▷116 ページ)

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせなかったり、注意が散漫になった場合は走行安全システムは事故の危険性を低減することができません。物理的限界を超えることはできません。走行安全システムは、運転の補助のために設計された単なる支援に過ぎません。運転者は、先行車両との距離の維持、車両速度、適時のブレーキ操作および車線の維持に対する責任があります。常に実際の道路や天候状況に適するように運転スタイルを合わせ、先行車両との間に十分に安全な距離を保ってください。注意して運転してください。


記載されている走行安全システムは、タイヤと路面との間に十分な接触があるときにのみ、可能な限り効果的に作動します。タイヤ、および推奨されるタイヤのトレッドの最小深さなどの注意事項に特に注意してください (▷568 ページ)。

冬の走行状況では、常にウィンタータイヤ (M+S タイヤ) を、必要であればスノーチェーンを使用してください。このようにすることでのみ、項目に記載されている走行安全システムが可能な限り効果的に作動します。

ABS (アンチロック・ブレーキング・システム)

全体的な注意事項

ABS は、ブレーキを効かせたときに車輪がロックしないようにブレーキ圧を制御します。これにより、ブレーキを効かせているときに、ステアリング操作を続けることができます。

メーターパネルの ABS 警告灯  は、イグニッションをオンにすると点灯します。エンジンがかかっているときは消灯します。

重要な安全上の注意事項

1 "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください (▷103 ページ)。

警告

ABS に異常があるときは、ブレーキ時に車輪がロックすることがあります。ステアリングでの操縦性およびブレーキ性能が著しく損なわれることがあります。さらに、他の走行安全システムが解除されます。横滑りや事故の危険が高まります。

注意して運転してください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場での ABS の点検を受けてください。

ABS が故障している場合は、走行安全システムを含めた他のシステムも作動しません。ABS 警告灯 (▷461 ページ) およびメーターパネルに表示されるディスプレイメッセージ (▷410 ページ) に関する情報に従ってください。

路面の状況に関わらず、ABS は約 8km/h 以上の速度で作動します。滑りやすい路面では、軽くブレーキを効かせただけでも ABS は作動します。

ブレーキ操作

- ▶ **ABS が作動した場合**：ブレーキ操作の状況が終わるまで、ブレーキペダルをいっぱい力で踏み続けてください。
- ▶ **最大限のブレーキを効かせる**：ブレーキペダルをいっぱい力で踏んでください。

ブレーキ時に ABS が作動した場合は、ブレーキペダルに振動を感じます。

ブレーキペダルの振動は、危険な道路状況を知らせることができ、走行中に特別な注意を喚起させるものとして機能します。

BAS (ブレーキアシスト)

全体的な注意事項

BAS は、緊急ブレーキの状況で作動します。ブレーキペダルを素早く踏んだ場合は、BAS が自動的に制動力を高めて制動距離を短縮します。

重要な安全上の注意事項

i "重要な安全上の注意" に従ってください (▷103 ページ)。

警告

BAS が故障している場合は、緊急ブレーキの状況での制動距離が長くなります。事故の危険性があります。

緊急ブレーキの状況では、ブレーキペダルを思いっきり踏んでください。ABS が車輪のロックを防ぎます。

ブレーキ操作

▶ 緊急ブレーキ状態から脱するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。ABS が車輪のロックを防ぎます。

ブレーキペダルから足を放すと、ブレーキは通常の作動状態に戻ります。BAS は解除されます。

BAS プラス (飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス)

全体的な注意事項

i "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください (▷103 ページ)。

走行しているときに BAS プラスが運転者を支援するためには、レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムが作動可能でなければなりません。

センサーシステムおよびカメラシステムの支援で、BAS プラスは以下の障害物を検知できます：

- 長時間車両の進路にある物
- 車両の進路を横切る物

加えて、車両の進路にいる歩行者を検知することができます。

BAS プラスは、身体の輪郭および直立している人の姿勢のような特有な特徴を使用して歩行者を検知します。

レーダーセンサーシステムまたはカメラシステムが故障している場合は、BAS プラスの機能は制限されるか、または使用できなくなります。その場合もブレーキシステムは使用でき、ブレーキ倍力装置および BAS は十分に機能します。

i "重要な安全上の注意事項" の項目に記載されている制限に従ってください (▷105 ページ)。

BAS プラスは、車両および歩行者との衝突の危険性を最小限にし、そのような衝突の影響を減少させることができます。BAS プラスが衝突の危険を検知した場合は、ブレーキ操作時に支援されます。

重要な安全上の注意事項

 警告

BAS プラスは、障害物や複雑な交通状況を明確に認識できるとは限りません。そのような場合は、BAS プラスは以下のようになります：

- 不必要に介入する
- 介入しない

事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

 警告

BAS プラスは、以下では反応しません。

- 子供などの小柄な人
- 動物
- 対向車
- カーブを走行するとき

そのため、BAS プラスはすべての危険な状況下で作動するとは限りません。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

降雪または激しい雨のときは、検知は困難になるおそれがあります。

レーダーセンサーシステムによる検知は、以下のときも困難になります：

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 他のレーダー発生源による干渉がある

- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起きている

- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している

- 先行車両が他の車線を走行している

- レーダーセンサーシステムの検知範囲内に急に車両が入り込んだ

カメラシステムによる検知は以下のときも困難になります。

- カメラが汚れている、またはカメラが覆われている

- 空の低いところにある太陽からなどの、カメラシステムへの眩惑がある

- 周囲が暗い

- 以下の場合

- 例えば、車両の進路入り込むなど、歩行者が急に動いた

- 特殊な衣服または他の物により、カメラシステムが歩行者を人として認識しなくなった

- 歩行者が他の障害物により隠れている

- 人特有の輪郭が背景と区別できない

車両のフロント部分が損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を行なってください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。フロントウインドウが損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラシステムの設定と作動の点検を行なってください。

機能

衝突を避けるために、BAS プラスは以下の場合に必要な制動力を計算します：

- 障害物に接近している
- BAS プラスが衝突の危険を検知している

30km/h 以下の速度で走行しているとき：ブレーキペダルを踏んだ場合は、BAS プラスが作動します。BAS プラスからのブレーキ操作の支援は、できる限り最後の瞬間に行なわれます。

30km/h 以上の速度で走行しているとき：ブレーキペダルを急に踏んだ場合は、BAS プラスは交通状況に適した度合いにブレーキ圧を自動的に高めます。

BAS プラスは、7km/h ~ 250km/h の間の速度域で、先行車両との危険な状態のときにブレーキ操作の支援を行ないます。

約 70km/h までの速度では、BAS プラスは以下に反応します。

- 停止している、または駐車している車両など、車両の進路にある静止している障害物
- 車両の進路にいる歩行者
- センサーの検知範囲に移動し、検知された、進路を横切る障害物

i BAS プラスが特に強力な制動力を要求している場合は、PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）が同時に作動します。

▶ 緊急ブレーキの状況が終わるまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。ABS が車輪のロックを防ぎます。

BAS プラスは以下の状況では解除され、ブレーキは通常通り再度作動します。

- ブレーキペダルを放した

- 衝突の危険性がなくなった
- 車両前方に検知される障害物がなくなった
- アクセルペダルを踏んだ
- キックダウンを作動させた

CPA プラス（緊急ブレーキ機能）

全体的な注意事項

CPA プラス（緊急ブレーキ機能）は、自動緊急ブレーキ機能を備えた車間距離警告機能およびアダプティブブレーキアシストから構成されます。

CPA プラス（緊急ブレーキ機能）は、先行車両との追突事故の危険性を最小限にする、またはそのような衝突の影響を低減する支援をします。

CPA プラス（緊急ブレーキ機能）が衝突の危険があることを検知した場合は、視覚的および聴覚的に警告が発せられます。運転者が視覚的および聴覚的な衝突警告に反応しなかった場合、危険な状況になると自動ブレーキが作動します。危険な状況で運転者自身がブレーキを効かせた場合は、CPA プラス（緊急ブレーキ機能）のアダプティブブレーキアシストが運転者を支援します。

重要な安全上の注意事項

特に以下のときは、障害物の検知が困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雪または激しい雨が降っている
- 他のレーダー発生源による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起こっている
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している

- 先行車両が他の車線を走行している
- 新しい車両で、または CPA プラス（緊急ブレーキ機能）点検整備後である
慣らし運転の項目にある注意事項に注意してください（▷232 ページ）。

車両のフロント部分が損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を受けてください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

距離警告機能

重要な安全上の注意事項

i 走行安全システムの " 重要な安全上の注意事項 " の項目に従ってください（▷103 ページ）。

警告

車間距離警告機能は、以下のものには反応しません。

- 歩行者や動物
- 対向車
- 交差する交通
- カーブを走行するとき

そのため、車間距離警告機能はすべての危険な状況で警告を行うとは限りません。事故の危険性があります。常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

警告

車間距離警告機能は、常に障害物および複雑な交通状況を明確に識別できるわけではありません。

そのような場合は、距離警告機能は以下のようになることがあります。


- 不必要な警告を発する
- 警告を発しない

事故の危険性があります。

常に交通状況に十分注意を払い、距離警告機能のみに頼らないでください。

機能


▶ **設定 / 解除する**：マルチファンクションディスプレイで距離警告機能を設定または解除します。


距離警告機能が解除された場合は、アシスト一覧表示に  マークが表示されます。

距離警告機能は、先行車両と衝突する危険性を最小限にし、またはそのような衝突の影響を低減させるために運転者を補助することができます。距離警告機能が衝突の危険を検知した場合は、視覚的および聴覚的に警告が発せられます。距離警告機能は、以下の速度で警告を発します。

距離警告機能は、以下の速度で警告を発します。

- 約 30km/h またはそれ以上で、数秒間にわたり前方を走行している車両との間に保たれている距離が不十分な場合

メーターパネルの距離警告灯  が点灯します。

- 約 7km/h またはそれ以上で、先行車両に急激に接近した場合断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの距離警告灯  が点灯します。

▶ 先行車両との車間距離を広げるためにただちにブレーキを効かせてください。

または

▶ 安全確認のうえ、危険回避の操作を行なってください。

システムの特性により、危険ではなくとも、特に複雑な走行状況がシステムが警告を表示する原因になることがあります。

レーダーセンサーシステムの支援で、距離警告機能は車両の進路に長時間ある障害物を検知することができます。

約 70km/h 以下の速度では、距離警告機能は停止している、または駐車している車両のような静止物にも反応できます。

障害物に接近し、距離警告機能が衝突の危険を検知した場合は、視覚的および聴覚的両方で運転者に警告を行ないます。

自動ブレーキ機能

危険な状況で運転者が車間距離警告信号に反応しなかった場合、CPA プラス（緊急ブレーキ機能）が自動ブレーキ機能により運転者を支援します。

自動ブレーキ機能

- 危険な運転状況において運転者が反応できるさらなる時間を確保します。
- 運転者の衝突回避を支援します、または
- 事故の被害を低減します。

自動ブレーキ機能は、次の速度範囲で作動します。

- 動いているものに対しては、7 ~ 105 km/h のとき
- 静止しているものに対しては、7 ~ 50 km/h のとき

自動ブレーキ機能が特に強力な制動力を要求している場合は、PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）が同時に作動します。

アダプティブブレーキアシスト

 "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください (▷103 ページ)。

アダプティブブレーキアシストは、7 km/h 以上の速度での危険な状況で、ブレーキ操作の支援を行ないます。レーダーセンサー技術を利用して交通状況进行评估します。

警告

アダプティブブレーキアシストは、障害物や複雑な交通状況を常に明確に識別できるとは限りません。

そのような場合は、アダプティブブレーキアシストは以下のようになることがあります。

- 不必要に介入する
- 介入しない

事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

 警告

アダプティブブレーキアシストは、以下には反応しません。

- 歩行者や動物
- 対向車
- 交差する交通
- 静止している障害物
- カーブを走行するとき

そのため、アダプティブブレーキアシストはすべての危機的な状況では作動しない場合があります。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

システムの特性により、危険ではないけれど、特に複雑な走行状況もブレーキアシストが介入する原因になることがあります。

レーダーセンサーシステムの故障によりアダプティブブレーキアシストが作動しない場合は、ブレーキシステムは完全なブレーキ倍力効果およびBASとともに作動可能なままになります。

アダプティブブレーキアシストは、7 km/h 以上で走行中に危険な状況に達すると、ブレーキ操作をアシストします。システムは、レーダーセンサー技術を利用して交通状況を認識します。

レーダーセンサーシステムの支援で、アダプティブブレーキアシストは車両の進路に長時間ある障害物を検知することができます。

アダプティブブレーキアシストが先行車両との衝突の危険性を検知した場合は、衝突を避けるために必要な制動力を算出します。ブレーキを強く効かせた場合は、アダプティブブレーキアシストは交通状況に適したレベルまで制動力を自動的に増加させます。

▶ 緊急ブレーキの状況が終わるまで、ブレーキペダルを踏み続けてください。

ABS が車輪のロックを防ぎます。

以下の場合、ブレーキは再度通常通り作動します。

- ブレーキペダルを放した
- 衝突の危険がなくなった
- 車両前方に検知される障害物がなくなった

その後、アダプティブブレーキアシストは解除されます。

アダプティブブレーキアシストが特に高い制動力を必要とする場合は、PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）が同時に作動します。

約 250km/h の速度までは、検知期間の間に 1 度は検知された動いている障害物にも、アダプティブブレーキアシストは反応することができます。

約 70km/h の速度までは、アダプティブブレーキアシストは静止している障害物に反応します。

アダプティブブレーキライト

アダプティブブレーキライトは緊急ブレーキ状況で以下のように後続の車両に警告します。

- ブレーキライトの点滅
- 非常点滅灯が作動

約 50km/h 以上の速度から車両に急ブレーキを効かせた場合や、ブレーキアシストまたは BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）によりブレーキ操作が支援された場合は、ブレーキライトが素早く点滅します。このようにして、より注意を引きやすい方法で後方の車両に警告を行ないます。

約 70km/h 以上の速度で停止するまで急ブレーキを効かせた場合は、非常点滅灯が自動で作動します。再度ブレーキを効かせると、ブレーキライトが点灯し続けます。非常点滅灯は、約 10km/h 以上で走行すると自動的に消灯します。非常点滅灯スイッチ（▷193 ページ）を押して、消灯させることもできます。

ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）

全体的な注意事項

1 "重要な安全上の注意" に従ってください（▷103 ページ）。

ESP® は走行安定性およびトラクション（タイヤおよび路面の間の動力伝達）をモニターします。

ESP® は、車の走行ラインが運転者の望む進行方向から外れていると判断すると、1本または複数のタイヤにブレーキを効かせ、車の走行姿勢を安定させます。また、エンジン出力を調整して、物理的限界内で運転者の意志に沿った方向に車の向きを保つように作動します。

ESP® は、濡れた路面や滑りやすい路面での発進操作を支援します。また、ESP® はブレーキ時の車両の姿勢も安定させることができます。

ETS/4ETS（エレクトロニック・トラクション・サポート）

1 "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください（▷103 ページ）。

ETS トラクションコントロールは、ESP® の一部です。

トラクションコントロールは、駆動輪が空転したときに、駆動輪に個別にブレーキを効かせます。これにより、片側が滑りやすい路面などの滑りやすい路面での発進や加速を可能にします。さらに、駆動力のかかる車輪にさらなる走行トルクが伝達されます。


ESP® を解除した場合でも、トラクションコントロールは設定されたままになります。

重要な安全上の注意事項

警告

ESP® が故障している場合は、ESP® は車両を安定させることはできません。さらに、他の走行安全システムは解除されます。これにより、横滑りや事故の危険性が高くなります。注意して運転してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場では ESP® の点検を受けてください。

4MATIC 非装備車両：リアアクスルを上げて車両をけん引するときは、ESP® に関する注意事項に注意することが重要です（▷560 ページ）。

ESP® が解除されると、ESP® 解除警告灯  が点灯し続けます。



ESP® 警告灯  が点灯し続けている場合は、故障のため ESP® は作動しません。

警告灯 (▷463 ページ) およびメーターパネルに表示されるディスプレイメッセージ (▷410 ページ) に関する情報に従ってください。

以下の場合、マルチファンクションディスプレイに故障および警告のメッセージが表示されることがあります。

- 立体駐車場などのターンテーブルで車両を回転させた、そして
 - 車両が動いている
 - ECO スタートストップ機能が作動している
- 立体駐車場に進入するときなど、長く狭いらせん状の走行路を走行した

以下のような警告灯も点灯することがあります。


- ESP® 警告灯  または
- ABS 警告灯 
- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、車両を停止します。
- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ イグニッションをオフにします。
- ▶ エンジンを再始動してください。しばらくすると、メッセージが消え、警告灯が消灯します。消灯しない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場 で原因を調査してください。

推奨されたタイヤサイズの車輪のみを使用してください。そのときにのみ、ESP® は正しく機能します。

ESP® の特性

全体的な注意事項

走行を開始する前に ESP® 警告灯  が消灯した場合は、ESP® は自動的に設定されています。

ESP® が作動した場合は、メーターパネルの ESP® 警告灯  が点滅します。

ESP® が作動した場合

- ▶ どのような状況でも ESP® を解除しないでください。
- ▶ 発進するときは、アクセルペダルを必要な分だけ踏んでください。
- ▶ 実際の道路や天候の状況に適するように運転スタイルを合わせてください。

ECO スタートストップ機能

ECO スタートストップ機能は、車両が停止すると、自動的にエンジンを停止します。再び発進するときに、自動的にエンジンが始動します。ESP® は、以前の設定状況のままになります。**例：**エンジンを停止する前に ESP® が解除されていた場合は、エンジンを再度始動したときに ESP® は解除されたままになります。

ESP® の解除 / 設定

重要な安全上の注意事項

1 " 重要な安全上の注意事項 " に従ってください (▷103 ページ)。以下の ESP® の状態を選択することができます：

- ESP® を設定する
- ESP® を解除する

⚠ 警告

ESP® を解除すると、ESP® は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。

以下に記載された状況でのみ ESP® を解除してください。

以下の状況では、ESP® を解除したほうが良いことがあります。


- スノーチェーンを使用しているとき
- 深い雪道で
- 砂地または砂利道で

i 上記に記載されている状況でなくなったら、ただちに ESP® を設定してください。さもないと、車両が横滑りしたり車輪が空転し始めたときに、ESP® が車両を安定させることができません。


ESP® の解除 / 設定

マルチファンクションディスプレイで ESP® を解除または設定させることができます。


▶ 解除する：(▷398 ページ)

メーターパネルの ESP® 解除警告灯  が点灯します。

▶ 設定する：(▷398 ページ)

メーターパネルの ESP® 解除警告灯  が消灯します。

ESP® が解除されているときの特性

ESP® が解除されている場合、1 本または複数の車輪が空転し始めると、メーターパネルの ESP® 警告灯  が点滅します。このような状況では、ESP® は車両を安定させることができません。

ESP® を解除した場合は：

- ESP® は走行安全性を向上させなくなります。
- エンジントルクは制限されなくなり、駆動輪が空転することがあります。
やわらかい路面では、車輪の空転で路面を掘る動作により、より良い駆動力につながります。
- トラクションコントロールは作動したままになります。
- ブレーキを効かせたときは、ESP® は支援を行いません。

クロスウインドアシスト (マジックボディコントロール非装備車両)**全体的な注意事項**

マジックボディコントロール装備車両：横風の際の車両を安定させるための情報は (▷303 ページ) をご覧ください。

直進走行時は、強い横風の突風により車両の走行安定性を損なうおそれがあります。ESP® に内蔵されているクロスウインドアシスト機能は、これらの影響を顕著に減少させます。

横風の方向と強さに応じて、ESP® が自動的に作動します。

安定させるためのブレーキにより ESP® が介入し、車両を車線内にとどめる支援を行いません。

クロスウインドアシストは、まっすぐ走行している、または緩やかなカーブを走行しているときに約 80km/h 以上の車両速度で作動します。

重要な安全上の注意事項

ESP® が解除されていたり、故障により無効になっている場合は、クロスウインドアシストは作動しません。

EBD (エレクトロニック・ブレーキ パワー・ディストリビューション)

全体的な注意事項

EBD は、後輪のブレーキ圧をモニターしてコントロールを行ない、ブレーキ時の走行安全性を高めます。

重要な安全上の注意

i "重要な安全上の注意事項" の項目に注意してください (▷103 ページ)。

警告

EBD が故障した場合には、急ブレーキ時などには後輪がロックすることがあります。これにより、横滑りして事故が起きる危険性が高くなります。操縦性の変化に応じて慎重に運転してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではブレーキシステムの点検を受けてください。

表示および警告灯 (▷414 ページ)、およびディスプレイメッセージ (▷462 ページ) に関する情報に注意してください。

アダプティブブレーキ

アダプティブブレーキは、ブレーキ時の安全性を高めるとともに、さらに快適なブレーキ操作をもたらします。ブレーキ機能に加えて、アダプティブブレーキはホールド機能 (▷301 ページ) およびヒルスタートアシスト機能 (▷238 ページ) も備えています。

PRE-SAFE® ブレーキ (歩行者検知機能付)

全体的な注意事項

i "走行安全システム" の項目の重要な安全上の注意事項に注意してください (▷103 ページ)。

走行時に PRE-SAFE® ブレーキが運転者を支援するためには、レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムが設定されていて、作動可能でなければなりません。

レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムの支援で、PRE-SAFE® ブレーキは車両の前方に長時間ある障害物を検知することができます。

加えて、車両の進路にいる歩行者を検知することができます。

PRE-SAFE® ブレーキは、身体の輪郭および直立している人の姿勢のような特徴により歩行者を検知します。

"重要な安全上の注意事項" の項目に記載されている制限に従ってください。

PRE-SAFE® ブレーキは先行車両または歩行者との衝突の危険性を最小限にし、そのような衝突の影響を低減させることで運転者を支援します。PRE-SAFE® ブレーキが衝突の危険を検知した場合は、自動的にブレーキを効かせるとともに、視覚的および聴覚的な警告を行ないません。

重要な安全上の注意事項

 警告

衝突の危険を検知すると、PRE-SAFE® ブレーキはまず部分的にブレーキを効かせて車両を制動します。運転者がブレーキを効かせない場合は衝突することがあります。続いてブレーキをいっぱいに加えた後であっても、特に非常に速い速度で接近しているときは、必ずしも衝突を避けられるとは限りません。事故の危険性があります。

常にブレーキをご自身で効かせ、安全確認をしながら、危険回避の操作を行なってください。

 警告

PRE-SAFE® ブレーキは、障害物や複雑な交通状況を明確に認識できるとは限りません。

その場合、PRE-SAFE® ブレーキは以下のように作動することがあります。

- 不必要な警告を行ない、車両にブレーキを効かせる
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる

事故の危険性があります。

PRE-SAFE® ブレーキが警告を行なったときは、必ず交通状況に十分注意を払いながら、ブレーキを効かせる準備をしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

先行車両との車間距離を十分に維持して衝突を防ぐためには、適切にブレーキ操作を行なう必要があります。

PRE-SAFE® ブレーキは以下の条件下で車両に自動的にブレーキを効かせることができます。

- 運転者および助手席乗員がシートベルトを着用している

および

- 車両速度が約 7km/h および 200km/h の間である

約 70km/h 以下の速度では、PRE-SAFE® ブレーキは以下を検知することもできます。

- 停止している、または駐車している車両など、車両の進路にある静止している障害物
- 車両の進路にいる歩行者

 警告

PRE-SAFE® ブレーキは、以下のものには反応しません。

- 子供などの小柄な人
- 動物
- 対向車
- 交差交通
- カーブを走行するとき

この結果、すべての危険な状況で、PRE-SAFE® ブレーキは警告や作動を行なわない場合があります。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

降雪または激しい雨のときは、検知は困難になるおそれがあります。

レーダーセンサーシステムによる検知は、以下のときも困難になります：

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている

- 他のレーダー送信機による干渉がある
 - 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起こっている
 - オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
 - 先行車両が他の車線を走行している
- カメラシステムによる検知は以下のときも困難になります：
- カメラが汚れている、またはカメラが覆われている
 - 空の低いところにある太陽からなどの、カメラシステムへの眩惑がある
 - 周囲が暗い
 - 以下の場合


- 車両の進路に入り込むなど、歩行者が急に動いた
- 特殊な衣服または他の物により、カメラシステムが歩行者を人として認識しなくなった
- 歩行者が他の障害物により隠れている
- 人特有の輪郭が背景と区別できない

車両のフロント部分が損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を行なってください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

フロントウインドウが損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラシステムの設定と作動の点検を行なってください。


機能

- ▶ **設定 / 解除する**：マルチファンクションディスプレイで PRE-SAFE® ブレーキを設定または解除します (>399 ページ)。

PRE-SAFE® ブレーキが設定されていない場合は、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧に  マークが表示されます。

この機能は、以下の場合に警告を発します。

- 約 30km/h またはそれ以上の速度で、数秒間に渡り、前方を走行している車両との間に保たれている距離が不十分である。

メーターパネルの距離警告灯  が点灯します。

- 約 7km/h またはそれ以上の速度で、先行車両または歩行者に急に接近している。

断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの距離警告灯  が点灯します。

- ▶ **ただちにブレーキを効かせ、状況を回避してください。**

または

- ▶ **安全確認のうえ、危険回避の操作を行なってください。**

i 衝突の危険性が高まった場合は、PRE-SAFE® (予期乗員保護措置) が作動します。

先行車両との衝突の危険性がある状態で、運転者がブレーキを効かせる、回避操作をとる、または著しく加速することを運転者が行なわなかった場合は、急ブレーキの適用レベルまで、車両が自動緊急ブレーキを効かせることがあります。自動緊急ブレーキは、切迫した事故の直前までは作動しません。

PRE-SAFE® ブレーキの介入は、以下によりいつでも解除することができます。

- アクセルペダルをさらに踏む
- キックダウンを作動させる
- ブレーキペダルを放す

以下では、PRE-SAFE® ブレーキのブレーキ操作は自動的に解除されます。

- 障害物を回避する操作を行なった
- 衝突の危険性がなくなった
- 車両前方に検知されている障害物がなくなった

ステアコントロール

全体的な注意事項

ステアコントロールは、車両を安定させるために必要な向きの操舵力をステアリングに伝達することにより運転者を支援します。

操舵支援は、特に以下の場合に行なわれません。

- ブレーキ時に、両方の右側車輪または両方の左側車輪が濡れた、または滑りやすい路面にある。
- 車が横滑りを始めた。

重要な安全上の注意事項

i "重要な安全上の注意事項" の項目に注意してください (p.103 ページ)。

以下の場合、ステアコントロールからの操舵支援は行なわれません。

- ESP® が故障している
- ステアリングが故障している

ただし、パワーステアリングは作動し続けます。

盗難防止警報システム

イモビライザー

イモビライザーにより、正規のキー以外で車両を始動することを防止します。

- ▶ **キー操作で待機状態にする**：エンジンスイッチからキーを取り外します。
- ▶ **キーレスゴー操作で待機状態にする**：イグニッションをオフにして、運転席ドアを開きます。
- ▶ **解除する**：エンジンを始動します。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。有効なキーが車内に残されている場合は、誰でもエンジンを始動することができます。

i エンジンを始動したときは常に、イモビライザーは解除されます。

ATA (盗難防止警報システム)





- ▶ **待機状態にする**：キーまたはキーレスゴー操作で車両を施錠します。
表示灯 **①** が点滅します。警報システムが約 15 秒後に待機状態になります。
- ▶ **解除する**：キーまたはキーレスゴー操作で車両を解錠します。

または

- ▶ エンジンスイッチにキーを差し込みます。

システムが待機状態のときに以下を開いた場合は、視覚的および聴覚的な警報が発せられます。

- ドア
- エマージェンシーキーでの車両
- トランクリッド
- ボンネット

▶ **キーを操作して警報を停止する**：キーの  または  スイッチを押します。

警報が停止します。

または

- ▶ エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します。
- ▶ エンジンスイッチにキーを差し込みます。

警報が停止します。

▶ **キーレスゴー操作で警報を停止させる**：車外のドアハンドルを握ります。キーは車外にある必要があります。

警報が停止します。

または

- ▶ ダッシュボードのキーレスゴースイッチを押します。キーは車内にある必要があります。

警報が停止します。

例えば、警告を作動させた開いたドアを閉じた場合でも、警報は停止しません。

けん引防止機能

機能

けん引防止機能が待機状態のときに車両の傾きが変化した場合は、聴覚的および視覚的な警報が発せられます。例えば、車両の片側がジャッキアップされた場合に、このことが起こります。

待機状態にする

▶ 以下のことを確認してください。

- ドアが閉じている
- トランクリッドが閉じている

この後にのみ、けん引防止機能が待機状態になります。

▶ キーまたはキーレスゴーで車両を施錠します。

約 60 秒後に、けん引防止機能は待機状態になります。

解除する

▶ キーまたはキーレスゴーで車両を解錠します。

または

▶ エンジンスイッチにキーを差し込みます。

けん引防止機能は自動的に解除されます。

待機状態を解除する

COMAND システムを使用して、けん引防止機能を解除することができます。けん引防止機能の解除に関する情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

室内センサー

機能

室内センサーが待機状態のときに車内で動きが検知された場合は、視覚のおよび聴覚的な警報が発せられます。例えば、誰かが車内に手を伸ばした場合などに起こります。

待機状態にする

- ▶ 以下のことを確認してください。
 - サイドウィンドウが閉じている
 - パノラミックスライディングルーフが閉じている
 - ルームミラーやルーフトリムのグリップハンドルにマスコットなどの物が掛かっていない

このことは、警報の誤作動を防ぎます。

- ▶ 以下のことを確認してください。
 - ドアが閉じている
 - パノラミックスライディングルーフが閉じている
 - トランクリッドが閉じている

この場合にのみ、室内センサーは待機状態になります。

- ▶ キーまたはキーレスゴーで車両を施錠します。

約 30 秒後に、室内センサーが待機状態になります。

解除する

- ▶ キーまたはキーレスゴーで車両を解錠します。

または

- ▶ エンジンスイッチにキーを差し込みます。

室内センサーが自動的に解除されます。

待機状態を解除する

COMAND システムを使用して、けん引防止機能を解除することができます。けん引防止機能の解除に関する情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

役に立つ情報	120
キー	120
ドア	130
トランク	133
サイドウインドウ	140
パノラミックスライディングルーフ	145

役に立つ情報

1 この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

1 メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

キー

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行ない、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを開始する

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ 警告

キーに、重い物や大きなアクセサリ等を付けていると、エンジンスイッチのキーが不意にまわるおそれがあります。そのため、エンジンが停止するおそれがあります。事故の危険性があります。

キーには重い物や大きなアクセサリ等を付けしないでください。操作の邪魔になるアクセサリ等は、エンジンスイッチにキーを差し込む前に取り外してください。

! 強い磁場を発生する物の近くにキーを保管しないでください。磁場の影響で、リモコン機能が正常に機能しなくなるおそれがあります。

強い磁場は、強力な電気設備の近くで発生します。

以下にはキーを近づけないでください。

- 携帯電話や他のキーなどの電子機器
- 硬貨や金属片などの金属物
- 金属ケースなどの金属物の内部

キーの機能に影響を与えるおそれがあります。




温度制御式カップホルダー (▷500 ページ) にキーを保管しないでください。また、パーセルシェルフの上またはトランク内に保管しないでください。さもないと、キーレスゴースイッチを使用しているエンジン始動時などに、キーが検知されないことがあります。

車両とキーとの間で定期的に行なわれる無線通信によるチェックにより、車内に有効なキーがあるかどうかを確認します。以下のときなどに行なわれます：

- エンジン始動時
- 走行時
- ハンズフリーアクセスを使用するとき
- 車外のドアハンドルに触れたとき
- コンビニエンスクロージング機能の作動時

キーの機能



- ①  車両の施錠
- ②  トランクリッドを開く
- ③  車両の解錠

▶ **集中解錠する**：スイッチ ③ を押します。

解錠して約 40 秒以内に車両を開かなかった場合：

- 車両が再度施錠される
- 盗難防止警報システムが再度待機状態になる

▶ **集中施錠する**：スイッチ ① を押します。

キーにより、以下が集中施錠 / 解錠されます：

- ドア
- トランクリッド
- 燃料給油口フラップ

解錠したときは、方向指示灯が 1 回点滅します。施錠したときは、3 回点滅します。

① 車両が施錠されたことを確認できる、確認音を設定することもできます。COMAND システムを使用して、確認音を設定および解除することができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

① COMAND システムでロケイターライティングを設定しているときは、暗いときにリモコンを使用して車両を解錠した後に、一部の車外ライトが点灯します。ロケイターライティングの設定および解除に関する情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

▶ **車外からトランクリッドを自動的に開く**：トランクリッドが開くまで、スイッチ ② を押して保持します。

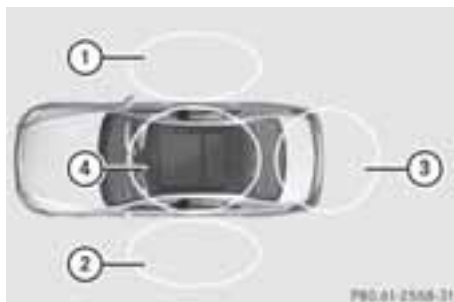
キーレスゴー

重要な安全上の注意事項

⚠ 危険

ペースメーカーまたは除細動器などの医療用電子機器を使用されている方：キーレスゴーを使用するときは、キーと車両の間で電波の通信が行なわれます。電磁波が医療機器の機能に影響を与えるおそれがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

車両を操作する前に、医師や医療用電子機器メーカーにキーレスゴーの電波の影響を確認してください。




キーレスゴーアンテナの検知範囲

- ① 右側外部アンテナの検知範囲
- ② 左側外部アンテナの検知範囲
- ③ リアアンテナの検知範囲
- ④ 車内アンテナの検知範囲

キーが車内にある場合は、乗員の誰もがエンジンを始動できることに留意してください。

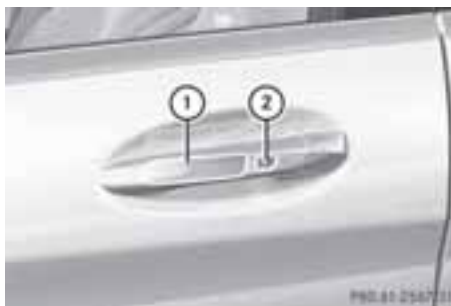
集中施錠および解錠

キーレスゴーを使用して、車両の始動、施錠または解錠ができます。このために必要なのはキーを携帯することのみです。キーレスゴー機能と従来のキーの機能を組み合わせることができます。たとえば、キーレスゴー操作で車両を解錠し、キーの  スイッチで施錠することができます。

運転席ドアおよび、使用するハンドルがあるドアが両方も閉じている必要があります。キーは車外にある必要があります。キーレスゴーで施錠または解錠するときは、キーと対応するドアハンドルの間の距離が 1 m 以上になってはいけません。

車両とキーとの間で定期的に行なわれる無線通信によるチェックにより、車内に有効なキーがあるかどうかを確認します。以下のときなどに行なわれます：

- エンジン始動時
- 走行時
- ハンズフリーアクセスを使用するとき
- 車外のドアハンドルに触れたとき
- コンビニエンスクローリング機能の作動時



- ▶ 車両を解錠する：ドアハンドルの内側に触れます。

- ▶ **車両を施錠する**：センサー面 ① または ② に触れます。

ドアハンドルの内側面に触れていないことを確認してください。


- ▶ **コンビエンスクロージング機能**：センサー面の凹部 ② に一定時間触れます。

コンビエンスクロージング機能に関するさらなる情報は (▶142 ページ) をご覧ください。

- ▶ **トランクリッドを解錠する**：トランクリッドのハンドルを引きます。

解除する

長期間車両を使用しない場合は、キーレスゴーを解除することができます。キーはごくわずかな電力のみを使用し、それによりバッテリーの電力を節約できます。作動 / 解除時には、近くに車両がなくても構いません。

- ▶ **解除する**：素早く 2 回続けてキーの  スイッチを押します。

キーのバッテリーチェックランプが短時間 2 回点灯して、キーレスゴーが解除されます。

- ▶ **作動させる**：キーのいずれかのスイッチを押すか、あるいはエンジンスイッチにキーを差し込みます。

キーレスゴーおよびその関連のすべての機能が、再度使用できるようになります。

キーレスゴースタート機能

⚠ 危険

ペースメーカーまたは除細動器などの医療用電子機器を使用されている方：キーレスゴースイッチを操作するときは、キーと車両の間で電波の交信が行なわれます。電磁波が医療機器の機能に影響を与えるおそれがあります。致命的なけがををするおそれがあります。

車両を操作する前に、そのようなシステムからの放射により起こりうる影響について、医師や医療機器メーカーにお問い合わせください。





キーレスゴーアンテナの検知範囲



① 車内アンテナの検知範囲

キーが車内にある場合は、乗員の誰もがエンジンを始動できることに留意してください。

ロックシステムの設定変更




ロックシステムの設定を変更することができます。車両を解錠したときは、運転席ドアと燃料給油口フラップのみが解錠されるようになります。一人で走行することが多い場合は、これが便利です。

- ▶ **設定を変更する**：バッテリーチェックランプが2度点滅するまで  および  スイッチを同時に約6秒間押しして保持します (▷121 ページ)。



i 車両の信号範囲内でロックシステムの設定を変更したときは、 または  スイッチを押すと、以下になります。

- 施錠されます、または
- 車両が解錠されます

このとき、キーは以下のように作動します。

- ▶ **運転席ドアを解錠する**： スイッチを1回押します。
- ▶ **集中解錠する**： スイッチを2回押します。
- ▶ **集中施錠する**： スイッチを押します。

キーレスゴー機能は以下のように切り替わります。

- ▶ **運転席ドアを解錠する**：運転席ドアのドアハンドルの内側面に触れます。
- ▶ **集中解錠する**：助手席ドアまたはリアドアのドアハンドルの内側面に触れます。
- ▶ **集中施錠する**：いずれかのドアのドアハンドル外側のセンサー表面に触れます。
- ▶ **工場出荷時の設定に戻す**：バッテリーチェックランプが2回点滅するまで、 および  スイッチを同時に約6秒間押しして保持します (▷121 ページ)。

エマージェンシーキー

全体的な注意事項

キーまたはキーレスゴーで車両を施錠または解錠できなくなったときは、エマージェンシーキーを使用してください。

エマージェンシーキーで運転席ドアを解錠して開くと、盗難防止警報システムが作動します。警報を停止してください (▷116 ページ)。

エマージェンシーキーで車両を解錠しても、燃料給油口フラップは自動的に解錠されません。

- ▶ **燃料給油口フラップを解錠する**：エンジンスイッチにキーを差し込みます。

エマージェンシーキーの取り外し



- ▶ ロック解除キャッチ ① を矢印の方向に押しながら、エマージェンシーキー ② をキーから取り外します。

詳しい情報は、以下をご覧ください。

- 運転席ドアの解錠 (▷132 ページ)
- トランクの解錠 (▷139 ページ)
- 車両の施錠 (▷132 ページ)

エマージェンシーキーの挿入

- ▶ 固定されて、ロック解除キャッチ ① が基本位置に戻るまで、エマージェンシーキー ② をキーに完全に押し込みます。

キーの電池

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

電池には毒性および腐食性を持つ物質が含まれています。電池を飲み込んでしまうと、深刻な健康上の問題を引き起こすことがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

電池は子供の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

♻ 環境保護に関する注意事項



電池には汚染物質が含まれています。家庭ごみと一緒に廃棄することは法律で禁止されています。使用済みの電池は個別に回収し、環境に適合するリサイクル方法で処分してください。



電池は環境保護の観点から責任を持って適切に廃棄してください。使用済みのバッテリーはメルセデス・ベンツ指定サービス工場または使用済み電池の収集場までお持ちください。

電池の交換は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことをお勧めします。

電池の点検



- ▶ または スイッチを押します。バッテリーチェックランプ ① が短時間点灯した場合は、電池は正常です。バッテリーチェックランプ ① が短時間点灯しない場合は、電池が消費しています。
- ▶ 電池を交換してください (▷125 ページ)。

i 車両の信号受信範囲内で または スイッチを押してキーの電池を点検したときは以下ようになります：

- 車両が施錠されます、または
- 車両が解錠されます

i 電池はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手することができます。

電池の交換

CR2025 3V の電池が必要です。

- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▷124 ページ)。



- ▶ 電池収納部カバー①が開くまで、キーの開口部にエマージェンシーキー②を押し込みます。このときは、電池収納部カバー①を押さえて閉じないようにしてください。
- ▶ 電池収納部カバー①を取り外します。



- ▶ 電池③が落ちるまで、手のひらでキーを繰り返したたきます。
- ▶ プラス面が上になるようにして、新しい電池を差し込みます。このときは、毛羽立ちのない布を使用してください。
- ▶ 電池の表面に糸くず、脂分、汚れがないことを確認してください。
- ▶ 電池収納部カバー①の前側にある凸部を本体に差し込み、押しつけて閉じます。
- ▶ エマージェンシーキー②をキーに差し込みます。
- ▶ 車両で、キーのすべてのスイッチが正常に機能することを確認します。

キーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>キーを使用して車両を施錠または解錠できなくなった。</p>	<p>キーの電池が放電している、またはほぼ放電している。</p> <p>▶ キーの電池 (▷125 ページ) を点検し、必要であれば交換してください (▷125 ページ)。</p> <p>作動しない場合：</p> <p>▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を解錠 (▷132 ページ) または施錠 (▷132 ページ) してください。</p> <p>強い電波源からの干渉を受けている。</p> <p>▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を解錠 (▷132 ページ) または施錠 (▷132 ページ) してください。</p> <p>キーが故障している。</p> <p>▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を解錠 (▷132 ページ) または施錠 (▷132 ページ) してください。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのキーの点検を受けてください。</p>
<p>キーレスゴーを使用して施錠または解錠できなくなった。</p>	<p>キーレスゴーが解除された。</p> <p>▶ キーレスゴーを再作動してください (▷123 ページ)。</p> <p>キーの電池が放電している、またはほぼ放電している。</p> <p>▶ キーの電池 (▷125 ページ) を点検し、必要であれば交換してください (▷125 ページ)。</p> <p>作動しない場合：</p> <p>▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を解錠 (▷132 ページ) または施錠 (▷132 ページ) してください。</p> <p>強い電波源からの干渉を受けている。</p> <p>▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を解錠 (▷132 ページ) または施錠 (▷132 ページ) してください。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>キーレスゴーを使用して施錠 / 解錠できない</p>	<p>キーレスゴーが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーのリモコン機能を使用して車両を施錠 / 解錠してください。 ▶ 車両およびキーをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で見直ししてください。 <p>リモコン機能を使用しても車両を施錠 / 解錠できない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を解錠（▷132 ページ）または施錠（▷132 ページ）してください。 ▶ 車両およびキーをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で見直ししてください。
<p>キーを使用してエンジンを始動することができない。</p>	<p>バッテリーの電圧が低すぎる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ シートヒーター、ルームライトなどの必要としない電気装備を停止してから、再度エンジン始動操作を行ってください。 <p>作動しない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スターターバッテリーを点検し、必要な場合は充電してください（▷550 ページ）。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両のジャンプスタートを行ってください（▷553 ページ）。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。
<p>キーレスゴースイッチを使用して、エンジンを始動することができない。キーが車内にある。</p>	<p>車両が施錠されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を解錠して、再度車両を始動するよう試みてください。 <p>キーの電池が放電している、またはほぼ放電している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの電池（▷125 ページ）を点検し、必要であれば交換してください（▷125 ページ）。 <p>作動しない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジンスイッチのキーで、車両を始動してください。 <p>強い電波源からの干渉を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジンスイッチのキーで、車両を始動してください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
キーを紛失した。	<ul style="list-style-type: none">▶メルセデス・ベンツ指定サービス工場でキーを無効にしてください。▶ただちに自動車保険会社へ紛失を報告してください。▶必要な場合は、ロックも交換してください。
エマージェンシーキーを紛失した。	<ul style="list-style-type: none">▶ただちに自動車保険会社へ紛失を報告してください。▶必要な場合は、ロックも交換してください。

ドア

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行ない、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

手荷物や積載物はなるべくトランクに収納してください。積載のガイドライン (>490 ページ) に従ってください。

車内からドアを解錠して開く

施錠されている場合でも、車内からドアを開くことができます。チャイルドブルーロックによってロックされていない場合のみ、車内からリアドアを開くことができます (>100 ページ)。キーまたはキーレスゴーで車両が施錠されている場合は、車内からドアを開くと盗難防止警報システムが作動します。警報を停止してください (>116 ページ)。



- ▶ ドアハンドル ② を引きます。

ドアが施錠されているときは、ロックノブ ① が上がります。ドアが解錠され開きます。

車内からの車両の集中施錠および解錠

車内から車両を集中して施錠および解錠できます。スイッチは両方のフロントドアにあります。



▶ **解錠する**：スイッチ ① を押します。

▶ **施錠する**：スイッチ ② を押します。

運転席ドアおよび助手席ドアが閉じているときは、車両が施錠されます。

燃料給油口フラップは施錠または解錠されません。

キーまたはキーレスゴーで車両が施錠されている場合は、車内から集中解錠することはできません。

ドアは車内から開くことができます。チャイルドブルーフロックによってロックされていない場合のみ、車内からリアドアを開くことができます (▷100 ページ)。

キーまたはキーレスゴーで車両が施錠されている場合は、車内からドアを開くと盗難防止警報システムが作動します。警報を停止してください (▷116 ページ)。

❶ 施錠されているドアを車内より開く際、車両が以下で施錠されていた場合には、解錠プロセスが可能です。

- 集中施錠のスイッチを使用して車両が施錠された
- 自動的に施錠された

車速感応ドアロック



▶ **解除する**：音が鳴るまで、スイッチ ① を約 5 秒間押して保持します。

▶ **設定する**：音が鳴るまで、スイッチ ② を約 5 秒間押して保持します。

❶ 2つのスイッチのうちのいずれかを押し確認音が聞こえない場合は、その設定がすでに選択されています。

イグニッションがオンで車輪が回転したときは、車両は自動的に施錠されます。

そのため、以下の場合は閉め出されるおそれがあります。

- 車両が押される
- 車両がけん引される
- ダイナモメーターで車両をテストする

❶ COMAND システムを使用して、車速感応ドアロックの設定および解除を切り替えることができます (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

クロー징グサポーター

クロー징グサポーターは、ドアやトランクリッドが完全に閉じていないときでも自動的にロックします。

▶ **クロー징グサポーターでドアを閉じる**：最初に止まる位置までドアをロックに押し込みます。

クロー징グサポーターがドアを確実に閉じます。

▶ **クロー징グサポーターでトランクリッドを閉じる**：トランクリッドを軽く押し込んで閉じます。

クロー징グサポーター機能がトランクリッドを引いて閉じます。

運転席ドアの解錠（エマージェンシーキー）

キーまたはキーレスゴーで車両を施錠または解錠できなくなった場合は、エマージェンシーキーを使用してください。

- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します（▷124 ページ）。



- ▶ エマージェンシーキーを保護キャップの開口部 ① に差し込みます。
- ▶ ドアハンドルを引いて保持します。
- ▶ 外れるまで、エマージェンシーキー上の保護キャップを車両からできるだけまっすぐに引きます。
- ▶ ドアハンドルを放します。



- ▶ 運転席ドアのキーシリンダーに、エマージェンシーキーをいっぱいまで差し込みます。

- ▶ ① の位置まで、エマージェンシーキーを時計回りにいっぱいまでまわします。

ロックノブが上がり、ドアが解錠されます。

- ① 左ハンドル車両では、エマージェンシーキーを反時計回りにまわします。

- ▶ エマージェンシーキーを元の位置にまわして戻し、抜きます。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに差し込みます。
- ▶ 固定され、確実ににはまるまで、保護キャップをロックシリンダーに慎重に押し込みます。このときは、ドアハンドルを引かないでください。

エマージェンシーキーを使用して運転席ドアを解錠して開いた場合は、盗難防止警報システムが作動します。警報を停止してください（▷116 ページ）。

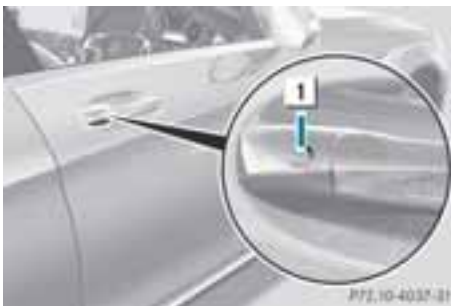
車両の施錠（エマージェンシーキー）

キーまたはキーレスゴーで車両を施錠できなくなった場合は、エマージェンシーキーを使用してください。

- ▶ 運転席ドアを開きます。
- ▶ 助手席ドア、リアドアおよびトランクリッドを閉じます。
- ▶ ロックスイッチ（▷121 ページ）を押します。
- ▶ 助手席ドアとリアドアのロックノブが見えていないことを確認します。必要な場合は、ロックノブを手で押し下げます。
- ▶ 運転席ドアを閉じます。
- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します（▷124 ページ）。



- ▶ エマージェンシーキーを保護キャップの開口部 ① に差し込みます。
- ▶ ドアハンドルを引いて保持します。
- ▶ 外れるまで、エマージェンシーキー上の保護キャップを車両からできるだけまっすぐに引きます。
- ▶ ドアハンドルを放します。



- ▶ 運転席ドアのキーシリンダーに、エマージェンシーキーをいっぱいまで差し込みます。
- ▶ ① の位置まで、エマージェンシーキーを反時計回りにいっぱいまでまわします。
ロックノブが下がり、運転席ドアが施錠されます。
- ▶ **i** 左ハンドル車両では、エマージェンシーキーを時計回りにまわします。

- ▶ エマージェンシーキーを元の位置にまわして戻し、抜きます。
- ▶ ドアとトランクリッドが施錠されていることを確認します。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに差し込みます。
- ▶ 固定され、確実にハマるまで、保護キャップをロックシリンダーに慎重に押し込みます。このときは、ドアハンドルを引かないでください。

i 上記のように車両を施錠した場合は、燃料給油口フラップは施錠されません。盗難防止警報システムは待機状態になりません。

トランク

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

荷物や重い荷物が固定されていない、または十分に固定されていないと、すべったり、放り出されて乗員にぶつかるおそれがあります。特にブレーキ操作時や急な進路変更時にけがをする可能性があります。

荷物は放り出されないように、必ず収納してください。走行前に、荷物や積載物などがすべったりひっくり返ったりしないように固定されていることを確認してください。

! トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

i トランクリッドの開口角度をCOMAND システムで制限することができます（別冊の取扱説明書をご覧ください）。

i トランクリッドを開いたときの寸法については、"サービスデータ"をご覧ください（▷595 ページ）。

トランク内にキーを残さないようにしてください。さもないと、閉め出されるおそれがあります。

手荷物や積載物は、なるべくトランクに収納してください。積載のガイドライン（▷490 ページ）をお守りください。

トランクリッドのリバース機能付障害物検知

トランクリッドにはリバース機能付自動障害物検知が装備されています。自動開閉時に固い障害物がトランクリッドをブロックした、または妨げた場合は、この作動は停止します。閉じている作動の間にトランクリッドが停止した場合は、再度自動的に開きます。リバース機能付障害物自動検知は単なる支援にすぎません。トランクリッド開閉時のお客様の注意の代わりになるものではありません。


警告

以下のときは、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り 8mm 以下となったとき

リバース機能は、これらの状況で挟まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉じている動作の間は、身体を閉じる部分に近づけないようにしてください。挟まれたときは以下のいずれかを行なってください：

- キーの  スイッチを押してください、または
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを押してください、または
- トランクリッドのクローザースイッチまたはロックスイッチを操作してください、または
- トランクリッドのハンドルを引いてください

手動開閉

開く



▶ キーの  スイッチを押します。


または

- ▶ ハンドル ① を引きます。
- ▶ トランクリッドが開きます。

閉じる

- ▶ トランクリッドを軽く押して閉じます。

クロー징サポーター機能がトランクリッドを引いて閉じます。

- ▶ 必要な場合は、キーの  スイッチまたはキーレスゴー (>122 ページ) で車両を施錠します。

i キーレスゴーがトランク内でキーを検知した場合は、トランクリッドは施錠されません。再度開きます。


車外からの自動開閉

重要な安全上の注意事項

警告

トランクリッドが自動で閉じている間に、身体の一部が挟まれるおそれがあります。さらに、閉じている作動中に、例えば子供など、人が閉じる範囲に立っていたり、閉じる範囲に入ることがあります。けがのおそれがあります。閉じている作動中は、閉じる範囲の周辺に誰もいないことを確認してください。

閉じている作動を停止するためには、以下の操作のいずれかを行なってください：

- キーの  スイッチを押します。
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを引く、または押します。


- トランクリッドのクローザースイッチまたはロックスイッチを押します。
- トランクリッドのハンドルを手前に引きます。

! トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

i トランクリッドを開いたときの寸法は、"車両データ"の項目にあります (>604 ページ)。

開く

キーまたはトランクリッドのハンドルを使用して、トランクリッドを自動的に開くことができます。

- ▶ トランクリッドが開くまで、キーの  スイッチを押して保持します。

または

- ▶ トランクが解錠されている場合は、トランクリッドのハンドルを引き、すぐに手を放します。


閉じる

キーまたはトランクリッドのクローザースイッチを使用して、トランクリッドを自動的に閉じることができます。




- ▶ トランクリッドのクローザースイッチ ① を押して放します。


または

- ▶ キーが車両のすぐ近くにある場合に、キーの  スイッチを押します。

トランクリッドが閉じ始めたら、すぐにスイッチを放すことができます。

▶ 閉じる作動を中止する

- キーの  スイッチを押す、または
- トランクリッドのハンドルを引く、または
- トランクリッドのクローザースイッチ ① またはロックスイッチ ② を押す、または
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを押す、または
- ハンズフリーアクセス装備車両：バンパー下のセンサー検知範囲に足を動かす。

i 閉じる作動が中止された後にキーの  スイッチを押した、またはハンズフリーアクセスを作動させた場合は、トランクリッドが開きます。

すべてのドアが閉じているときは、トランクリッドを閉じて、同時に車両を施錠することができます。キーは車両の後方になければなりません。

- ▶ トランクリッドのロックスイッチ ② を押して放します。

キーレスゴーキーが車外にあるときは、トランクリッドが閉じて車両は施錠されます。

i キーレスゴーがトランク内のキーを検知した場合は、トランクリッドは閉じた後に再度開きます。

キーレスゴーが車外に 2 番目のキーを検知した場合は、トランクリッドは閉じたままになります。

ハンズフリーアクセス

重要な安全上の注意事項

警告

車両の排気システムが非常に熱くなることがあります。ハンズフリーアクセスを使用する場合は、排気システムに触れるとやけどをするおそれがあります。けがの危険性があります。センサーの検知範囲内でのみ、足を動かす動作をしていることを常に確認してください。

! キーがキーレスゴーの後方検知範囲内にある場合は、例えば以下の状況ではトランクが不意に開くことがあります。

- 洗車機の使用
- 高圧式スプレーガンの使用

キーが車両から少なくとも 3 m 離れていることを確認してください。

全体的な注意事項

キーレスゴーとハンズフリーアクセスにより、手を使用しないでトランクリッドを開閉したり、作動を停止することができます。両手がふさがっているときなどに便利です。そのためにはバンパーの下で、足で蹴る動作を行なってください。

以下の点に注意してください。

- お客様ご自身がキーレスゴーキーを携行してください。キーレスゴーのキーが車両後方の検知範囲になければなりません。

- 足で蹴る動作を行なうときは、地面にしっかりと立ち、車両の後方に十分な空き空間があることを確認してください。さもないと、凍結した場所などでバランスを失なうおそれがあります。



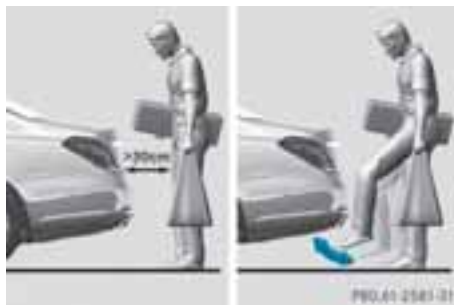
- センサー①の検知範囲内でのみ、足で蹴る動作をしていることを常に確認してください。
- この操作を行なう場合は、後方エリアから少なくとも30cm離れて立ちます。
- 足で蹴る動作を行なっている間は、バンパーと接触しないようにしてください。さもないと、センサーが正しく機能しないことがあります。
- エンジンがかかっているときは、ハンズフリーアクセスは作動しません。
- キーレスゴーキーが車両後方のキーレスゴー検知範囲にある場合、ハンズフリーアクセスが作動することがあります。例えば以下のような場合に、トランクリッドが不意に開いたり閉じたりする可能性があります。
 - トランクの端に座る
 - 車両後方で物を降ろす、または持ち上げるとき
 - センサーの検知範囲から充電ケーブルを動かす（プラグインハイブリッド車両）

- 車両後部を清掃する

上記のような状況では、キーレスゴーキーをポケット、バッグなどに入れて携行しないでください。これによってトランクが不意に開いたり閉じたりすることを防ぎます。

- 路面の塩分によるセンサー①周辺の汚れは、機能を制限することがあります。
- 義足でハンズフリーアクセスを使用した場合は、機能が制限されることがあります。

操作




- ▶ **開閉する**：バンパー下のセンサー検知範囲①内で、足で蹴る動作をします。トランクリッドの開閉時は、警告音が鳴ります。
- ▶ **数回試みた後でトランクリッドが開かない場合**：10秒間以上待ち、その後もう一度バンパーの下で足で蹴る動作を素早く繰り返します。

i バンパーの下に長時間足を入れていた場合、トランクリッドは開閉しません。この場合は、足で蹴る動作を素早く繰り返します。

開閉作動を停止する：

- バンパー下のセンサー検知範囲内①に足で蹴る動作をする、または

- トランクリッド外側のハンドルを引く、または
- トランクリッドのクローゼースイッチを押す、または
- キーの  スイッチを押す

トランクリッドの閉じる作動が停止した場合：

- バンパーの下で再度足を動かすと、トランクリッドが開きます。

トランクリッドの開く動作が停止した場合：

- バンパーの下で再度足を動かすと、トランクリッドが閉じます。


車内からの自動開閉

重要な安全上の注意事項

警告

トランクリッドが自動で閉じている間に、身体の一部が挟まれるおそれがあります。さらに、閉じている作動中に、例えば子供など、人が閉じる範囲に立っていたり、閉じる範囲に入ることがあります。けがのおそれがあります。閉じている作動中は、閉じる範囲の周辺に誰もいないことを確認してください。

閉じている作動を停止するためには、以下の操作のいずれかを行なってください：

- キーの  スイッチを押します。
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを引く、または押します。

! トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

i トランクリッドを開いたときの寸法は、"車両データ"の項目にあります (>604 ページ)。

開閉



車両が停車して解錠されているときに、運転席からトランクリッドを開閉することができます。

- ▶ **開く**：トランクリッドが開くまで、トランクリッド用のリモート操作スイッチ ① を引きます。
- ▶ **閉じる**：トランクリッドが完全に閉じるまで、トランクリッド用のリモート操作スイッチ ① を押します。

トランクの独立施錠

トランクを独立して施錠することができます。その後、車両を集中解錠しても、トランクは施錠されたままで開くことはできません。



トランクを独立して施錠する機能を作動させる

- ▶ トランクリッドを閉じてください。
- ▶ グローブボックスを開きます。
- ▶ スイッチを②の位置に押します。

車両が集中して解錠された場合は、トランクは施錠されたままです。

i グローブボックスを施錠することもできます (▷491 ページ)。

トランクを独立して施錠する機能を解除する

- ▶ グローブボックスを開きます。
- ▶ スイッチを①の位置に押します。

車両が集中して解錠された場合は、トランクも解錠されます。

トランクの解錠 (エマージェンシーキー)

! トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

以下を使用してトランクリッドが解錠できなくなった場合は、エマージェンシーリリースを使用してください：

- キーを使用して
- ハンズフリーアクセスを使用して
- ドアコントロールパネルのリモート操作スイッチを使用して

エマージェンシーキーを使用してトランクリッドを解錠して開いた場合は、盗難防止警報システムが作動します。警報を停止してください (▷116 ページ)。

- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▷124 ページ)。
- ▶ エマージェンシーキーをトランクリッドのキーシリンダーにいっぱいまで差し込みます。



- ▶ エマージェンシーキーを①の位置から②の位置まで、いっぱいまで反時計回りにまわします。

トランクが解錠されます。

- ▶ エマージェンシーキーを①の位置にまわして戻し、抜きます。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに差し込みます。

サイドウインドウ

重要な安全上の注意事項

警告

サイドウインドウを開けているときに、サイドウインドウが動くにつれて、体の一部がサイドウインドウとドアフレームの間に引き込まれて挟まるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

開いている最中は、サイドウインドウに触れないようにしてください。誰かが挟まれた場合は、スイッチを放すか、あるいはスイッチを引いてサイドウインドウを再度閉じてください。

警告

閉じる範囲に身体を近づけていると、サイドウインドウが閉じる際に挟まれるおそれがあります。けがをする危険があります。

閉じている動作の間は、閉じる範囲に身体を近づけないようにしてください。誰かが挟まれたら、スイッチを放すか、あるいはスイッチを押してサイドウインドウを再度開いてください。

警告

とくに付き添いのない状態で子供を車内に残すと、サイドウインドウを操作して挟まれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

リアサイドウインドウのチャイルドブルーロックを作動させます。車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

サイドウインドウのリバース機能

サイドウインドウには自動リバース機能が装備されています。自動で閉じている間に、固い障害物がサイドウインドウが上方に動くことをブロックした、または妨げた場合は、サイドウインドウは自動的に再度開きます。手動で閉じているときは、対応するスイッチを放した後のみ、サイドウインドウは自動的に再度開きます。自動リバース機能は単なる補助にすぎず、サイドウインドウを閉じるときの注意の代わりになるものではありません。

警告

リバース機能は以下では反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- リセットの間

これらの状況では、誰かが挟まれることをリバース機能が回避できないことを意味しています。けがの危険性があります。

閉じているときは、閉じている範囲に身体の一部がないことを確認してください。誰かが挟まれた場合は、スイッチを押して、サイドウインドウを再度開いてください。

サイドウインドウの開閉

運転席ドアには、すべてのサイドウインドウのスイッチがあります。各ドアにも対応するサイドウインドウのスイッチがあります。

運転席ドアのスイッチ操作が優先されます。



- ① 左フロント
- ② 右フロント
- ③ 右リア
- ④ 左リア

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ **手動で開く**：対応するスイッチを押して保持します。

▶ **完全に開く**：手応えがあるところを越えるまで、対応するスイッチを押して、放します。

自動で開く作動が開始します。

▶ **手動で閉じる**：対応するスイッチを引いて保持します。

▶ **完全に閉じる**：手応えがあるところを越えるまで、対応するスイッチを引きます。

自動で閉じる作動が開始します。

▶ **自動作動を中断する**：対応するスイッチを再度操作します。

i 手応えがあるところを越えるまでスイッチを操作した場合は、対応する方向で自動開閉作動が開始します。再度操作することにより、自動作動を停止できます。

i エンジンを停止するか、キーを抜いた後は、サイドウィンドウの操作を続けることができます。この機能は5分間、またはフロントドアを開くまで作動したままになります。

i サイドウィンドウのチャイルドブルーロックが作動しているときは、リアからはサイドウィンドウは操作できません（▷100 ページ）。

i 以下の場合は、サイドウィンドウを開閉する前に車内に有効なキーがあるかどうかの確認が行なわれます。

- サイドウィンドウのスイッチが押された、または引かれた
および
- エンジンスイッチのキーの代わりにキーレスゴースイッチが使用されている
および
- エンジンがかかっていない。

このことは、車両とキーの間の短時間の無線接続により行なわれます。

i リアサイドウィンドウの電動ブラインドの開閉に関する情報は（▷501 ページ）をご覧ください。

コンビニエンスオープニング機能

全体的な注意事項

走行を開始する前に、車両を換気することができます。


キーが車両のすぐ近くにある場合は、コンビニエンスオープニング機能を使用することができます。

このとき、キーを使用して以下の機能が同時に行なわれます。



- 車両を解錠する
- サイドウィンドウを開く

- パノラミックスライディングルーフおよび電動ブラインドを開く
- 電動ブラインド（リアウィンドウ、リアサイドウィンドウ）を開く
- 運転席シートのシートベンチレーターを作動させる

コンビニエンスオープニング機能

- ▶ サイドウィンドウおよびパノラミックサンルーフが希望の位置になるまで、 スイッチを押して保持します。

パノラミックスライディングルーフの電動ブラインド、または電動ブラインド（リアウィンドウ、リアサイドウィンドウ）が閉じている場合は、最初にそれらが閉じます。

- ▶ サイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが希望の位置になるまで、再度  スイッチを押して保持します。
- ▶ **コンビニエンスオープニングを中断する**： スイッチを放します。

コンビニエンスクロージング機能

重要な安全上の注意事項

警告

コンビニエンスクロージング機能が作動している場合、身体の一部がサイドウィンドウおよびスライディングルーフの閉じる範囲に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。


コンビニエンスクロージング機能を操作しているときは、最後まで閉じる動作に注意してください。閉じている間は、閉じる範囲に身体を近づけないようにしてください。

車両を施錠するときに、同時に以下を行なうことができます。

- サイドウィンドウを閉じる
- パノラミックスライディングルーフを閉じる


パノラミックスライディングルーフ装備車両では、その後に電動ブラインドを閉じることができます。

また、電動ブラインド（リアウィンドウ、リアサイドウィンドウ）を閉じることができます。



 以下の自動リバース機能に関する注意事項

- サイドウィンドウ（▷140 ページ）
- パノラミックスライディングルーフ（▷146 ページ）
- 電動ブラインド（▷148 ページ）

キーを使用して

- ▶ サイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが完全に閉じるまで、 スイッチを押して保持します。
- ▶ すべてのサイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが閉じていることを確認してください。

パノラミックスライディングルーフ装備車両：

- ▶ パノラミックスライディングルーフの電動ブラインドが閉じるまで、 スイッチを再度押して保持します。
- ▶ **コンビニエンスクロージングを中断する**： スイッチを放します。

キーレスゴーを使用して

キーは車外にある必要があります。すべてのドアが閉じている必要があります。



▶ サイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが完全に閉じるまで、ドアハンドルのセンサー表面の凹部 ① に触れます。

i センサー表面の凹部 ① のみに触れるようにしてください。

▶ すべてのサイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが閉じていることを確認してください。

▶ パノラミックスライディングルーフの電動ブラインドが閉じるまで、ドアハンドルのセンサー表面の凹部 ① に再度触れます。

▶ **コンビニエンスクロージング機能を中断する**：ドアハンドルのセンサー表面の凹部 ① を放します。

サイドウィンドウのリセット

サイドウィンドウが完全に閉じないときは、リセットしてください。

▶ すべてのドアを閉じてください。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ サイドウィンドウが完全に閉じるまで、ドアコントロールパネルの対応するスイッチを引きます (▷141 ページ)。

▶ さらに数秒間スイッチを引いたまま保持します。

サイドウィンドウが再度少し下降したら、以下の操作を行なってください。

▶ サイドウィンドウが完全に閉じるまで、ただちにドアコントロールパネルの対応するスイッチを引きます (▷141 ページ)。

▶ さらに数秒間スイッチを引いたまま保持します。

▶ スイッチを放した後サイドウィンドウが閉じたままになれば、サイドウィンドウのリセットが正しく行なわれています。そうでない場合は、上の手順を再度繰り返してください。

サイドウインドウのトラブル

 警告

サイドウインドウをブロックされたまたはリセットされた後すぐに再度閉じる場合、サイドウインドウはより大きなまたは最大の力で閉じます。リバース機能は作動しません。この手順のとき、身体の一部を閉じる部分に挟まれるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

閉じている間は、身体の一部を閉じる部分に近づけないようにしてください。閉じている動作を止めるには、スイッチを放すか、サイドウインドウを再度開くためにスイッチをもう一度押します。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ガイドレールなどに落ち葉などの障害物が挟まっているため、サイドウインドウが全閉しない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 障害物を取り除いてください。 ▶ サイドウインドウを閉じます。
サイドウインドウが全閉しない、また原因がわからない。	<p>サイドウインドウを閉じているとき、ウインドウが障害物を検知して停止し、その位置から少し下降した場合は、以下の操作を行なってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ その状態からただちに再度スイッチを引き続けて、サイドウインドウを閉じます。 <p>サイドウインドウは、より強い力で閉じます。</p> <p>サイドウインドウを閉じているときに、ウインドウが再度障害物を検知して停止し、その位置から少し下降した場合は、以下の操作を行なってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ その状態からただちに再度スイッチを引き続けて、サイドウインドウを閉じます。 <p>サイドウインドウは挟み込み防止機能が作動しない状態で閉じます。</p>

パノラミックスライディンググループ

重要な安全上の注意事項

この項目では、"スライディンググループ"という言葉はパノラミックスライディンググループに該当します。

 警告

スライディンググループを開閉するとき、ループの移動範囲に身体を近づけると、挟まれるおそれがあります。けがをしますおそれがあります。

開閉動作中は身体を近づけすぎないようにしてください。

挟まれたときは以下のように対処してください：

- ただちにスイッチを放す

または

- 自動操作中に、どの方向でもスイッチを短時間操作します。

開閉手順が中断されます。

 警告

とくに付き添いのない状態で子供を車内に残すと、スライディンググループを操作して挟まれるおそれがあります。けがをしますおそれがあります。

車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

 警告

高い速度では、上がっているスライディンググループは自動的に後部が下がります。自分自身または乗員が挟まれるおそれがあります。けがのおそれがあります。車両が動いている間は、スライディンググループの可動範囲内に誰も近づいていないことを確認してください。

誰かが挟まれた場合は、ただちにスライディンググループのスイッチを上を押すか、または後方に引きます。スライディンググループは後方で上がります。

! パノラミックスライディンググループに雪や氷が付着した状態で操作しないでください。スライディンググループが故障する原因になります。

スライディンググループの開口部から物を出さないようにしてください。スライディンググループのシール部が損傷するおそれがあります。

! スライディンググループが開いているときは、水が車内に入り、損傷の原因となることがあります。車内に水などが入ると、車両の電子制御部品を損傷するおそれがあります。スライディンググループが閉じているときにのみ清掃してください。

i スライディンググループが開いているときは、通常の風切り音に加えて共振音が発生するおそれがあります。これらは、車内の微細な圧力変動によるものです。これらのノイズを低減または除去するためには、スライディンググループの開閉位置を変更するか、サイドウィンドウを少し開けてください。

スライディンググループのリバース機能

スライディンググループには自動リバース機能が装備されています。閉じている間に障害物がスライディンググループをブロックした、または妨げた場合は、スライディンググループは自動的に再度開きます。自動リバース機能は単なる補助にすぎず、スライディンググループを閉じるときの注意に代わるものではありません。

⚠ 警告

以下のとき、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り 4mm 以下となったとき
- リセット中
- リバース機能が作動したすぐ後に再度手でスライディンググループを閉じるとき

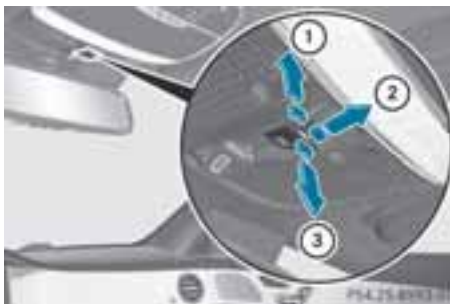
リバース機能は、これらの状況で挟まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉じている動作の間は、閉じる範囲に身体を近づけないようにしてください。挟まれたときは以下のように対処してください：

- ただちにスイッチを放す
または
- 自動で閉じている間は、いずれかの方向にスイッチを操作します。
閉じる動作が停止します。


スライディンググループの操作


開閉



- ① チルトアップ
② 開く
③ 閉じる / チルトダウン


▶ イグニッション位置のキーを **1** または **2** にします。

▶  スイッチを対応する方向へ押すか、または引きます。

i 手ごたえがある位置を越えるまで  スイッチを操作した場合は、対応する方向で自動開閉動作が開始されます。再度操作することにより自動動作を中止することができます。

i スライディンググループの後部が上がっている場合は、高速時には自動的に少し下がります。結果として、車内の騒音レベルが減少します。

低速では、自動的に再度上がります。


自動下降を一時的に解除することもできます。そのためには、 スイッチを押します。スライディンググループが再度自動的に上がります。

i エンジンを停止するか、キーを抜いた後は、スライディンググループの操作を続けることができます。この機能は 5 分間、またはフロントドアを開くまで作動したままになります。

i ルーフラックが取り付けられている場合は、スライディンググループを開くことはできません。車内を換気するために、スライディンググループをチルトアップすることができます。

メルセデス・ベンツにより承認されたルーフラックに接触した場合は、スライディンググループは少し下がり、後部が上がったままになります。

i スライディンググループを開く、上げる、または閉じる前に、以下の場合に有効なキーが車内にあるかどうかを確認するための点検を実行します。

-  スイッチが押された、または引かれたおよび
- エンジンスイッチのキーの代わりにキーレスゴースイッチが使用されたおよび
- エンジンがかかっていない。

車両とキーの間の短い無線接続により実行されます。

エンジンが停止しているときのレインクローズ機能

イグニッション位置が**0**になっているか、または取り外されている場合は、以下のときにスライディンググループが自動で閉じます。

- 雨が降り始めたとき
- 極端な外気温度のとき
- 約 6 時間経過したとき
- 電力供給に故障があるとき

車内を換気するために、スライディンググループの後部が上がったままになります。

以下の場合、スライディンググループは閉じません。


- 後部が上がっている
- ブロックされた
- 車両が橋の下などにあるときなど、レインセンサーによってモニターされているフロントウィンドウの範囲に雨が落ちないとき


i レインクローズ機能により閉じられたときにスライディンググループが妨げられた場合は、再び少し開きます。そして、レインクローズ機能が解除されます。

走行時のレインクローズ機能

走行時に雨が降り始めた場合は、上がっていたスライディンググループの後部が自動的に下がります。スライディンググループは以下に応じて下がります。

- 走行速度および
- 雨滴量

自動的に閉じる動作を手動で中止することができます。 スイッチをいずれかの方向に押すか、または引きます。

スライディンググループを再度上げるためには、 スイッチを①の方向に押しします。レインクローズ機能は作動したままになります。

スライディンググループの電動ブラインドの操作

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

電動ブラインドが開閉しているときは、身体の一部が電動ブラインドとフレームまたはスライディンググループ間に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

開閉している間は、身体を電動ブラインドの可動範囲に近づけないようにしてください。

挟まれたときは以下のように対処してください：

- ただちにスイッチを放す
- または
- 自動開閉動作中に、いずれかの方向にスイッチを操作します。

開閉動作が停止します。

電動ブラインドは日射しから車内を守ります。スライディンググループが閉じているときにのみ、フロント電動ブラインドを開閉することができます。

電動ブラインドのリバース機能

電動ブラインドには、自動リバース機能が装備されています。閉じている作動中に、かたい障害物が電動ブラインドをブロックした、または妨げた場合は、電動ブラインドは自動的に再度開きます。自動リバース機能は単なる補助にすぎず、電動ブラインドを閉じるときのお客様の注意の代わりになるものではありません。

⚠ 警告

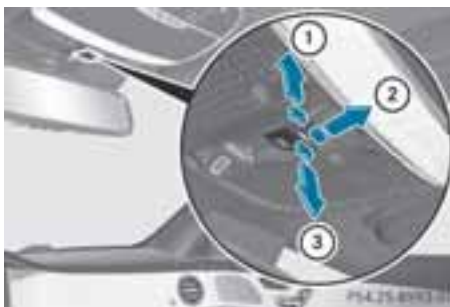
特に、リバース機能は小さな指のように柔らかい、軽いおよび薄いものには反応しません。リバース機能は、これらの状況で挟まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉じている間は、身体の一部を電動ブラインドの可動範囲内に近づけないようにしてください。

挟まれたときは以下のように対処してください：

- ただちにスイッチを放す
- または
- 自動閉動作中に、どの方向でもスイッチを操作します。
- 閉じる動作が停止します。




フロント電動ブラインドの開閉




- ① 開く
- ② 開く
- ③ 閉じる

i スライディンググループを閉じているときにのみ、フロント電動ブラインドを閉じることができます。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** のにします。

- ▶ スイッチ  を①の方向に押しします。フロント電動ブラインドが開き、スライディングルーフが上がります。
- ▶  スイッチを②の方向に引きます。フロント電動ブラインドが開きます。
- ▶  スイッチを③の方向に引きます。スライディングルーフが閉じている場合は、フロント電動ブラインドが閉じます。

i 手応えがあるところを越えるまで  スイッチを押すか、引いた場合は、対応する方向で自動作動が開始します。再度押すか、または引くことにより自動作動を中止することができます。

リア電動ブラインドの開閉

フロントからの操作



フロントからリア電動ブラインドを操作できます。

- ▶ **開閉する**：スイッチ ① を押しします。
リア電動ブラインドが完全に開く、または閉じます。
 - ▶ **停止する**：スイッチ ① を再度押しします。
- i** 反対の方向に動かす前に、まずリア電動ブラインドを完全に開く、または閉じてください。

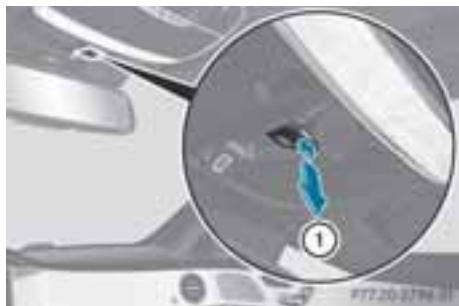
リアからの操作







- ▶ **手動で開閉する**：リア電動ブラインドが希望の位置になるまで、手応えがあるところまでスイッチ ① を押すか、または引いて保持します。
- ▶ **完全に開閉する**：手応えがあるところを越えるまで、スイッチ ① を押すか、または引いて、放します。

スライディングルーフと電動ブラインドのリセット

スライディングルーフまたはフロント電動ブラインドのリセット



スライディングルーフまたはフロント電動ブラインドが滑らかに動かない場合は、スライディングルーフまたはフロント電動ブラインドをリセットしてください。

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ スライディングルーフが完全に閉じるまで、 スイッチを矢印 ① の方向に抵抗があるところまで繰り返し引きます。
- ▶  スイッチを引いたまま数秒間保持します。
- ▶ フロント電動ブラインドが閉じるまで、 スイッチを矢印 ① の方向に繰り返し引きます。
- ▶  スイッチを引いたまま数秒間保持します。
- ▶ スライディングルーフ (▷145 ページ) およびフロント電動ブラインド (▷148 ページ) が再度完全に開くことを確認してください。
- ▶ そうでない場合は、上の手順を再度繰り返し返してください。
- ▶ リア電動ブラインドが再度完全に開くことを確認してください (▷149 ページ)。
- ▶ そうでない場合は、上の手順を再度繰り返し返してください。

リアブラインドのリセット



- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ リア電動ブラインドが完全に閉じるまで、スイッチ ① を繰り返し引きます。
- ▶ さらに 1 秒間スイッチ ① を引いたままにします。

スライディンググループのトラブル

 警告

スライディンググループをブロックされたまたはリセットされた後すぐに再度閉じる場合、スライディンググループはより大きなまたは最大の力で閉じます。リバース機能は作動しません。この手順のとき、身体を閉じる部分に挟まれるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。



閉じている動作の間は、身体を閉じる部分に近づけないようにしてください。

挟まれたときは以下のように対処してください：

- ただちにスイッチを放す

または

- 自動開閉動作中に、どの方向でもよいのでスイッチを押します。閉じている動作が停止します。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
スライディンググループを閉じることができず、原因が分からない。	<p>閉じている間にスライディンググループが妨げられ、再度少し開いた場合：</p> <p>▶ 妨げられた後ただちに、スライディンググループが閉じるまで、手応えがあるところまで  スwitchを再度引き下げます。</p> <p>スライディンググループは、より強い力で閉じます。</p> <p>閉じている間にスライディンググループが再度妨げられ、再度少し開いた場合：</p> <p>▶ 妨げられた後ただちに、スライディンググループが閉じるまで、手応えがあるところまで  スwitchを再度引き下げます。</p> <p>挟み込み防止機能なしで、スライディンググループが閉じます。</p>

役に立つ情報	154
運転席の適切なシートポジション	154
シート	155
ステアリング	177
ミラー	180
メモリー機能	184
後席のメモリー機能	185

役に立つ情報

① この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることに留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

① メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

運転席の適切なシートポジション

警告

運転中に以下を行なうと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。



- ▶ シート調整に関する安全上のガイドラインに従ってください (▷155 ページ)。
- ▶ シート ③ が正しく調整されていることを確認してください (▷156 ページ)。

シートを調整するときは、以下を確認してください：

- 運転席エアバッグから十分に離れている。
- 通常の起きた姿勢状態で座っている。
- シートベルトを正しく装着できる。
- ほぼ垂直の位置になるようにバックレストを調整している。
- 大腿部が軽く支えられるようにシートの角度を調整している。
- ペダルを正しく踏むことができる。
- ▶ ヘッドレストが適切に調整されていることを確認してください。

その際、ヘッドレストの中央が目の高さに調整され、後頭部がヘッドレストに支えられていることを確認してください。

- ▶ ステアリング調整に関する安全上のガイドラインに従ってください (▷177 ページ)。
- ▶ ステアリング ① が正しく調整されていることを確認してください (▷177 ページ)。

ステアリングを調整するときは、以下を確認してください。

- 腕を軽く曲げた状態で、ステアリングを握ることができる。
- 足を自由に動かすことができる。
- メーターパネル内のすべての表示が確実に確認できる。

- ▶ シートベルトに関する安全上のガイドラインに従ってください (▷62 ページ)。
- ▶ シートベルト ② を正しく着用しているかどうかを確認します (▷66 ページ)。
シートベルトは以下の状態でなければなりません。
 - 身体に密着している。
 - 肩の中央にかかるように通っている。
 - 腰の骨盤部分にかかるように通っている。
- ▶ 走行する前に、ルームミラーおよびドアミラーを道路と交通状況がよく見える角度に調整してください (▷181 ページ)。
- ▶ メモリー機能を使用してシート、ステアリング、ドアミラーの設定を保存します (▷184 ページ)。

シート

重要な安全上の注意事項

警告

付き添いのない状態で、お子様がシートを調整すると、挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

エンジンスイッチにキーがないときでも、シートを調整することができます。

警告

運転中に以下を行なうと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

警告

シートの高さは慎重に調整しないと、挟み込まれて負傷するおそれがあります。とくに子供は、電動シート調整スイッチを誤って押ししまい、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートが動いている間は、シート調整システムのレバー部品の下に手や身体などを入れないでください。

警告

シートを調整するとき、シートガイドレールなどに挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートを調整する場合、身体がシートの動いている部分に触れていないことを確認してください。

エンジンスイッチにキーがないときでも、シートを調整することができます。

⚠ 警告

ヘッドレストが合っておらず、正しく調整されていない場合、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および首周りにけがをする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さにあることを確認してください。

⚠ 警告

バックレストをほぼ垂直の位置に動かしていない場合は、シートベルトは意図された保護レベルを発揮しません。ブレーキ時または事故の場合に、シートベルトの下側にもぐり込み、腹部または頸部などがけがをするおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

走行を開始する前に、シートを正しい位置に調整してください。バックレストがほぼ垂直の位置にあり、シートベルトのショルダー部分が肩の中央にかかっていることを常に確認してください。

! シートとシートヒーターの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

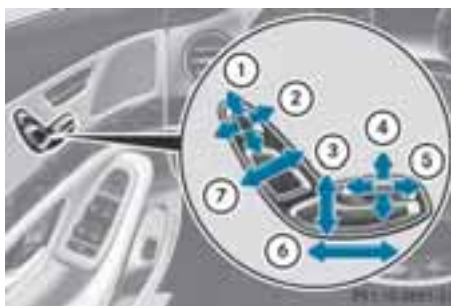
- シートに液体をこぼさないでください。シートに液体をこぼしたときは、すみやかに乾燥させてください。
- シートカバーが濡れたときは、シートヒーターを使用しないでください。シートを乾燥させるためにシートヒーターを使用しないでください。

- シートカバーを清掃してください。"日常の手入れ"をご覧ください。
- シートの上に重い物を載せないでください。また、シートクッションの上にナイフやくぎ、工具などの鋭利な物を置かないでください。シートはできるだけ人を乗せるためだけに使用してください。
- シートヒーターの使用中は、ブランケットやコート、バッグ、シートカバー、チャイルドセーフティシート、ジュニアシートなどにより、シートを覆わないでください。

! シートの前後位置を調整するときは、足元やシートの下または後方に物が無いことを確認してください。シートや物を損傷するおそれがあります。

シートの調整

標準ヘッドレストまたはラグジュアリーヘッドレスト装備車両



- ① ヘッドレストの高さ
- ② ヘッドレストの前後位置
- ③ シートの高さ
- ④ シートクッションの角度
- ⑤ シートクッションの長さ
- ⑥ シートの前後位置
- ⑦ バックレストの角度

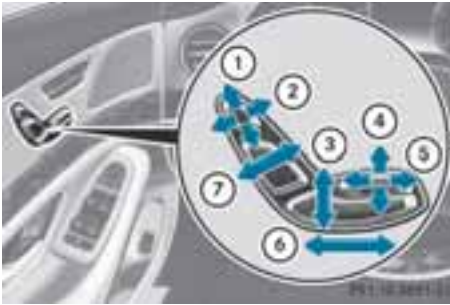
i PRE-SAFE® が作動した場合、望ましくない位置にあった場合は、助手席シートがより良い位置に移動します (▷83 ページ)。

i メモリー機能を使用して、シート設定を保存することができます (▷184 ページ)。

i シートを最大限に設定できるようにするため、一部のシート調整機能により、自動的に他のシート調整機能が作動することがあります。

i シートの高さ、またはシートの前後位置を調整したときは、ヘッドレストの高さが自動的に調整されます。

イーザーアジャストラグジュアリーヘッドレスト装備車両



- ① ヘッドレストの高さ
- ② ヘッドレストの前後位置
- ③ シートの高さ
- ④ シートクッションの角度
- ⑤ シートクッションの長さ
- ⑥ シートの前後位置
- ⑦ バックレストの角度

i PRE-SAFE® が作動した場合、望ましくない位置にあった場合は、助手席シートがより良い位置に移動します (▷83 ページ)。

i メモリー機能を使用して、シート設定を保存することができます (▷184 ページ)。

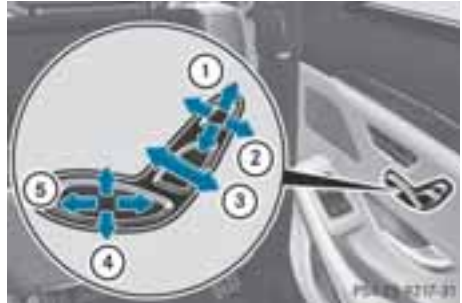
i シートを最大限に設定できるようにするため、一部のシート調整機能により、自動的に他のシート調整機能が作動することがあります。

i シートの高さ、またはシートの前後位置を調整したときは、ヘッドレストの高さが自動的に調整されます。

i バックレストを調整したときは、ヘッドレストの前後位置が自動的に調整されます。

リアシートの調整

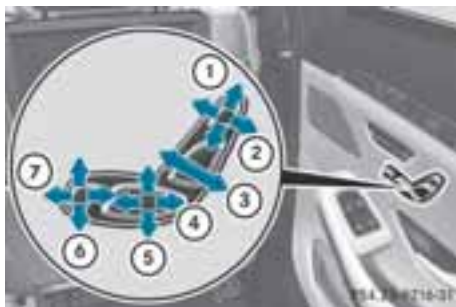
リアシートの調整



- ① ヘッドレストの高さ
- ② ヘッドレストの前後位置
- ③ バックレストの角度
- ④ シートクッションの角度および長さ
- ⑤ シートクッションの角度および長さ

リアでは、外側シートのみを電動で調整することができます。

リアリクライニングシートの調整



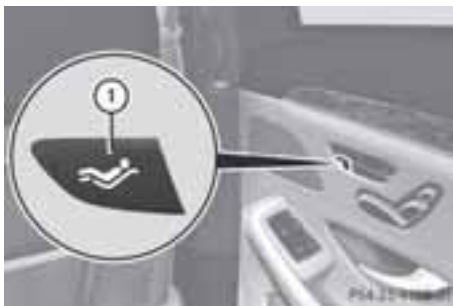
- ① ヘッドレストの高さ
- ② ヘッドレストの前後位置
- ③ バックレストの角度
- ④ シートクッションの角度および長さ
- ⑤ シートクッションの角度および長さ
- ⑥ レッグレストの角度
- ⑦ レッグレストの長さ

リアリクライニングシートは、ロングホイールベース車両もしくはエグゼクティブリアシート装備車両で使用することができます。リアリクライニングシート非装備車両では、レッグレスト角度および長さの設定のためのスイッチには機能がありません。

ロングホイールベースかつショーファーパッケージ装備車両にはフットレストもあります。これは、助手席シートのバックレスト下部にあります(▷162 ページ)。

荷重がかかりすぎている場合は、レッグレストは下に倒れます。このような場合は、レッグレストを上に戻し、ロックさせます。

リクライニングポジションの設定



この機能はロングホイールベース車両で使用することができます。

後席のチャイルドブルーロックスイッチを使用して、この機能を無効にすることができます(▷101 ページ)。

▶ シートがリクライニングポジションになるまで、スイッチ①を押して保持します。

リアシートはリクライニングポジションに動き、助手席シートはショーファーモードの位置に動きません(▷163 ページ)。助手席シートの下から、フットレストが動いて出てきます。

以下により、リクライニングポジションを終了し、シート位置を調整することができます

- メモリースイッチ **1** または **2** を使用して保存した位置を呼び出す(▷186 ページ)
- 希望の位置へのシートの手動調整(▷156 ページ)

i リクライニングポジションへの設定手順は、常に同時には実行されません。

荷重がかかりすぎている場合は、レッグレストは下に倒れます。このような場合は、レッグレストを上に戻し、ロックさせます。

運転席シートからの助手席シートの調整

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

フロントシートがダッシュボードまたはステアリングに非常に近い位置にある場合は、フロントエアバッグにより前席乗員がけがをするおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントエアバッグからできるだけ離れるように、フロントシートを常に調整します。シートの正しい調整に関する注意事項に従ってください。

⚠ 警告

付き添いのない状態で、お子様がシートを調整すると、挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

⚠ 警告

シートを調整するとき、シートガイドレールなどに挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートを調整する場合、身体がシートの動いている部分に触れていないことを確認してください。

! 助手席足元のラゲッジネットに物が入っているときは、助手席を完全に前に出さないでください。その物を損傷する原因になります。

助手席シートの調整



▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ①を繰り返し押します。

スイッチ①の表示灯が点灯しているときに、助手席シートでは以下を調整することができます：

- シート調整 (▷156 ページ)
- シートヒーター (▷173 ページ)
- シートベンチレーター (▷175 ページ)
- メモリー機能での設定の呼び出し、または保存 (▷184 ページ)

リアからの助手席シートの調整

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

付き添いのない状態で、お子様がシートを調整すると、挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

エンジンスイッチにキーがないときでも、シートを調整することができます。

⚠ 警告

シートを調整するとき、シートガイドレールなどに挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートを調整する場合、身体がシートの動いている部分に触れていないことを確認してください。

"エアバッグ" (▷68 ページ) および "子供をのせるとき" (▷85 ページ) に関する注意事項に従ってください。

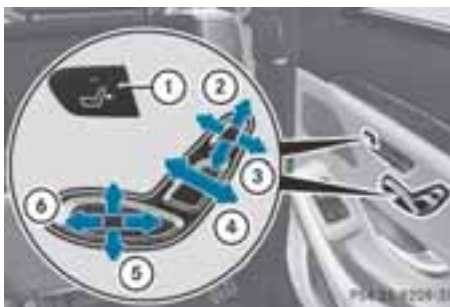
⚠ 警告

フロントシートがダッシュボードまたはステアリングに非常に近い位置にある場合は、フロントエアバッグによりフロント乗員がけがをすることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントエアバッグからできるだけ離れるように、フロントシートを常に調整します。シートの正しい調整に関する注意事項に従ってください。

! 助手席足元のラゲッジネットに物が入っているときは、助手席を完全に前に出さないでください。その物を損傷する原因になります。

i 後席のチャイルドブルーフロックスイッチを使用して、リアからの助手席シートの設定を無効にすることができません (▷101 ページ)。

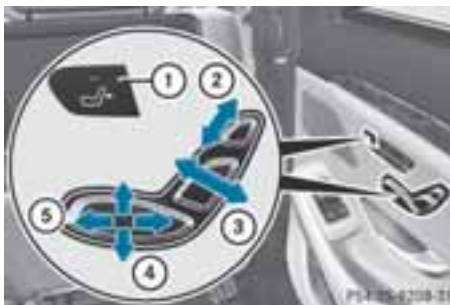
リアシートの調整

- ① リアシートの選択
- ② ヘッドレストの高さ
- ③ ヘッドレストの前後位置
- ④ バックレストの角度
- ⑤ シートクッションの角度および長さ
- ⑥ シートクッションの角度および長さ

▶ **リアシートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯しなくなるまで、スイッチ①を繰り返し押しします。

スイッチの表示灯が点灯していない場合は、リアシートが選択されています。

▶ スイッチ②～⑥でリアシートを調整します。

助手席シートの調整

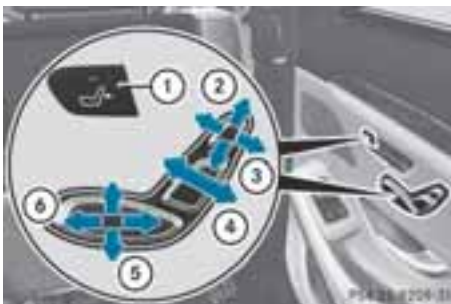
- ① 助手席シートの選択
- ② ヘッドレストの高さ
- ③ バックレストの角度
- ④ シートの高さ
- ⑤ シートの前後位置

- ▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ①を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

- ▶ スイッチ②～⑤で助手席シートを調整します。

イージーアジャストラグジュアリーヘッドレスト装備車両のリアシートの調整



- ① 助手席シートの選択
- ② ヘッドレストの高さ
- ③ ヘッドレストの前後位置
- ④ バックレストの角度
- ⑤ シートクッションの高さ
- ⑥ シートクッションの前後位置

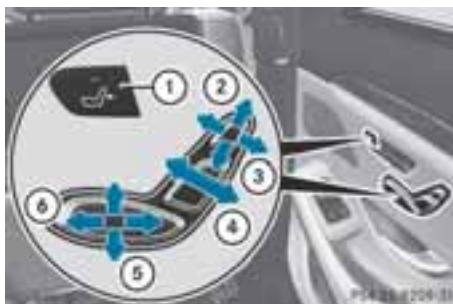
- ▶ **リアシートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯しなくなるまで、スイッチ①を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯していない場合は、リアシートが選択されています。

- ▶ スイッチ②～⑥でリアシートを調整します。

イージーアジャストラグジュアリーヘッドレストは、後席ショーファー/メモリーパッケージが装着されている車両で使用可能です。

イージーアジャストラグジュアリーヘッドレスト装備車両の助手席シートの調整



- ① 助手席シートの選択
- ② ヘッドレストの高さ
- ③ ヘッドレストの前後位置
- ④ バックレストの角度
- ⑤ シートの高さ
- ⑥ シートの前後位置

- ▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ①を繰り返し押します。

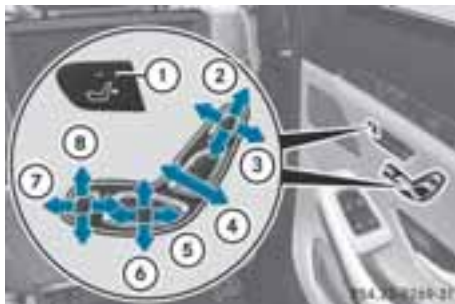
スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

- ▶ スイッチ②～⑥で助手席シートを調整します。

イージーアジャストラグジュアリーヘッドレストはオプション装備です。

ショーファーモードのシートおよびロングホイールベース装備車両

リアシートの調整



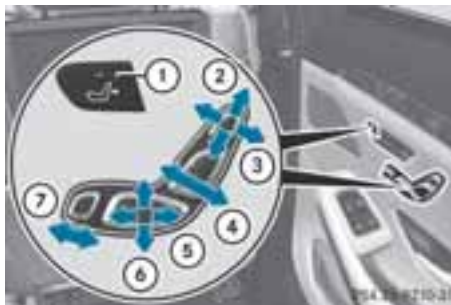
- ① リアシートの選択
- ② ヘッドレストの高さ
- ③ ヘッドレストの前後位置
- ④ バックレストの角度
- ⑤ シートクッションの角度および長さ
- ⑥ シートクッションの角度および長さ
- ⑦ リアクライニングシートが装着されている場合のレッグレストの前後方向
- ⑧ リアクライニングシートが装着されている場合のレッグレストの角度

- ▶ **リアシートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯しなくなるまで、スイッチ①を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯していない場合は、リアシートが選択されています。

- ▶ スイッチ②～⑧でリアシートを調整します。

助手席シートの調整



- ① 助手席シートの選択
- ② ヘッドレストの高さ
- ③ ヘッドレストの前後位置
- ④ バックレストの角度
- ⑤ シートの前後位置
- ⑥ シートの高さ
- ⑦ フットレスト

- ▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ①を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

- ▶ スイッチ②～⑦で助手席シートを調整します。

フットレストは以下の場合にのみ調整できます。

- 助手席シートをいっぱいまで前方に動かした
- 助手席シートがショーファーモードの位置にある (▶163 ページ)。

ショーファーモード

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

ヘッドレストが合っており、正しく調整されていない場合、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および首周りにけがをする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さにあることを確認してください。

⚠ 警告

助手席シートがショーファーモードにあり、助手席のヘッドレストが格納されている場合は、助手席側のドアミラーの視界が損なわれることがあります。事故の危険性があります。

ドアミラーの視界を確保するためには、助手席のヘッドレストを取り外します。

! シートの前後位置を調整するときは、足元やシートの下または後方に物が無いことを確認してください。シートや物を損傷するおそれがあります。

全体的な注意事項

ショーファーモードでは：

- 助手席シートは前方に動きます
- バックレストは前方に傾きます
- ヘッドレストは前方に倒れます

以下の場合、助手席シートはショーファーポジションから通常の位置へ自動的に動いて戻ります。

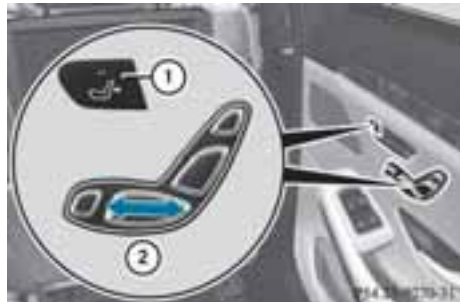
- 助手席ドアのシート調整スイッチを使用して助手席シートが調整された
- 助手席シートベルトが着用された
- 助手席シートで乗員が検知された
- 助手席シートのヘッドレストが差し込まれ、イグニッションがオンになった
- リアシートまたは運転席シートから助手席のヘッドレストが後方に起こされた (▷167 ページ)

ショーファーモードの助手席シートの位置合わせ

全体的な注意事項

重要な安全上の注意事項に注意してください (▷163 ページ)。走行前にシートをショーファーモードに調整してください (▷163 ページ)。走行中に助手席シートのヘッドレストを取り外さないでください。

後席からの調整



後席のチャイルドブルーロックスイッチを使用して、この機能を無効にすることができます (▷101 ページ)。

助手席シートをショーファーモードの位置にするためには：

- イグニッション位置が **1** または **2** ではない
- 助手席シートに乗車していない
- 助手席のシートベルトがバックルに差し込まれていない

▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

▶ スイッチ ② を前方に押し、この位置で保持します。

シートが前方に動きます。

ショーファーモードが開始する位置でシートが停止します。

▶ スイッチ ② を放します。

▶ 助手席シートがショーファーモードの位置になるまで、スイッチ ② を再度前方に押しして保持します。

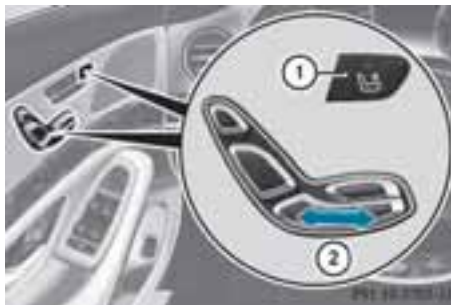
助手席シートのヘッドレストが前方に倒れます。シートが前方に動きます。

マルチファンクションディスプレイに「**ドアミラーが見にくい場合は、助手席を移動させるか、ヘッドレストをはずしてください**」(▷454 ページ) というメッセージが表示されます。

i 助手席シートがショーファーモードの開始位置にすでにある場合は、ただちにショーファーモードの位置が設定されます。

i ショーファーモードの位置は、リアシートのメモリー機能を使用して保存または設定することができます(▷185 ページ)。このためには、スイッチ ① の表示灯が点灯していなければなりません。

運転席シートからの調整



助手席シートをショーファーモードの位置にするためには：

- 助手席ドアが閉じていなければならない
- イグニッション位置が **1** または **2** ではない
- 助手席シートに乗車していない
- 助手席のシートベルトがバックルに差し込まれていない

▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

▶ スイッチ ② を前方に押しして保持します。シートが前方に動きます。

ショーファーモードが開始する位置でシートが停止します。

▶ スイッチ ② を放します。

▶ 助手席シートがショーファーモードの位置になるまで、スイッチ ② を再度押しして保持します。

助手席シートのヘッドレストが前方に倒れます。シートが前方に動きます。

マルチファンクションディスプレイにドアミラーが見にくい場合は、助手席を移動させるか、ヘッドレストをはずしてください（▷454 ページ）というメッセージが表示されます。

i 助手席シートがショーファーモードの開始位置にすでにある場合は、ただちにショーファーモードの位置が設定されます。

i 運転席シートのメモリー機能でショーファーモードの位置を保存または設定することはできません。

助手席のヘッドレストを前方に倒す

リアシートから前方に倒す



後席のチャイルドブルーロックスイッチを使用して、この機能を無効にすることができます（▷101 ページ）。

助手席のヘッドレストを前方に倒すためには：

- 助手席ドアが閉じていなければならない
- イグニッション位置が 1 または 2 でなければならない
- 助手席シートに乗車していない
- 助手席のシートベルトがバックルに差し込まれていない

▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押しします。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

▶ スイッチ ② を前方に押し、この位置で保持します。

ヘッドレストが前方に少し動き、停止します。

▶ スイッチ ② を放します。

▶ スイッチ ② を再度前方に押しします。

助手席シートのヘッドレストが前方に倒れます。

i 助手席のヘッドレストがすでに最も前方の位置にある場合は、ただちに前方に倒れます。

運転席シートから前方に倒す



助手席のヘッドレストを前方に倒すためには：

- 助手席ドアが閉じていなければならない
- イグニッション位置が 1 または 2 でなければならない
- 助手席シートに乗車していない

- ▶ 助手席のシートベルトがバックルに差し込まれていない

- ▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

- ▶ スイッチ ② を前方に押し、この位置で保持します。

ヘッドレストが前方に少し動き、停止します。

- ▶ スイッチ ② を放します。
- ▶ スイッチ ② を再度前方に押します。
助手席シートのヘッドレストが前方に倒れます。

- ① 助手席のヘッドレストがすでに最も前方の位置にある場合は、ただちに前方に倒れます。

助手席のヘッドレストを所定の位置に起こす

リアシートから所定の位置に起こす



後席のチャイルドブルーロックスイッチを使用して、この機能を無効にすることができます (▷101 ページ)。

- ▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

- ▶ スイッチ ② を後方に少し押します。
ヘッドレストが所定の位置に起きます。

運転席シートから所定の位置に起こす



- ▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

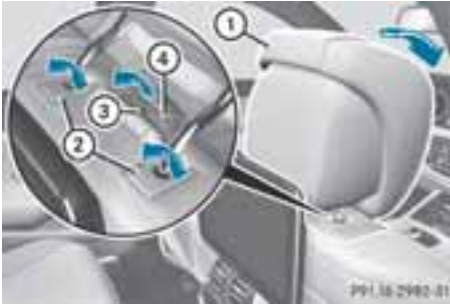
- ▶ スイッチ ② を後方に軽く押します。
ヘッドレストが所定の位置に起きます。

助手席シートからの調整

- ▶ いずれかのシート調整スイッチを押します。
ヘッドレストが所定の位置に起きます。

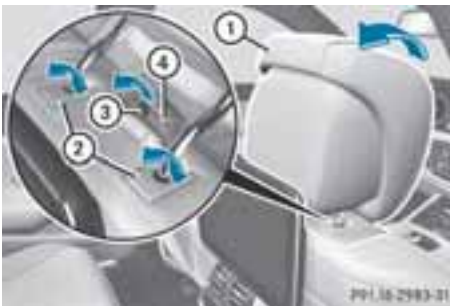
ヘッドレストの取り付け / 取り外し

取り外す



- ▶ ヘッドレストを前方に倒します (▷165 ページ)。
- ▶ ヘッドレストの支柱のカバー②を後方に倒します。
- ▶ 調整レバー④を後方に引き、この位置で保持します。そうしている間はヘッドレスト①をおさえます。
- ▶ ヘッドレスト①を取り外します。
- ▶ 調整レバー④を放します。
赤色のピン③が調整レバーから突き出てきます。
- ▶ 赤色のピン③を下に押しします。
- ▶ カバー②を前方に倒して閉じます。

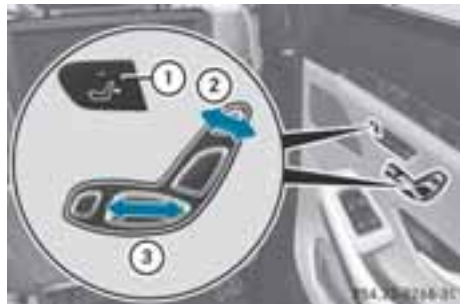
取り付ける



- ▶ カバー②を後方に倒します。
- ▶ ハンドル④を後方に引きます。
赤色のピン③が調整レバーから突き出てきます。
- ▶ ヘッドレスト①をブラケットに差し込みます。ヘッドレストが両側で固定されていなければなりません。
- ▶ 調整レバー④を放します。
- ▶ 赤色のピン③を下に押しします。
ピンが押し下げられ、見えなくなった場合は、ヘッドレストが正しく固定されています。
- ▶ カバー②を前方に倒して閉じます。
所定の位置にヘッドレストが自動的に起きます。

助手席シートの通常位置への移動

後席からの調整



後席のチャイルドブルーロックスイッチを使用して、この機能を無効にすることができます (▷101 ページ)。

助手席シートが通常位置に動くためには、ヘッドレストが装着されていなければなりません (▷167 ページ)。

- ▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ①を繰り返し押しします。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

- ▶ スイッチ ③ を後方に押し、この位置で保持します。

助手席シートがショーファーモード開始位置の通常調整範囲に動きます。ヘッドレストが所定の位置に起きます。

スイッチ ③ を後方に保持し続けた場合は、シートが後方に動き続けます。

または

- ▶ スイッチ ② を後方に軽く押します。

助手席シートがショーファーモード開始エリアの通常調整範囲に動きます。ヘッドレストが所定の位置に起きます。

① 以下の場合、メモリー調整スイッチでさらなる調整を行なうことができます。

- 通常設定での位置がすでに保存されている
- スイッチ ① で助手席シートが選択されている

運転席シートからの調整



助手席シートが通常位置に動くためには、ヘッドレストが装着されていなければなりません (▷167 ページ)。

- ▶ **助手席シートを選択する**：スイッチの表示灯が点灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。

- ▶ スイッチ ③ を後方に押し、この位置で保持します。

助手席シートがショーファーモード開始位置の通常調整範囲に動きます。ヘッドレストが所定の位置に起きます。

スイッチ ③ を後方に保持し続けた場合は、シートが後方に動き続けます。

または

- ▶ スイッチ ② を後方に少し押します。

助手席シートがショーファーモード開始エリアの通常調整範囲に動きます。ヘッドレストが所定の位置に起きます。

- ①** 助手席シートがスイッチ ① で選択されている場合は、メモリー調整スイッチでさらなる調整を行なうことができます。

助手席シートからの調整

- ▶ いずれかのシート調整スイッチを押します。

助手席シートがショーファーモード開始エリアの通常調整範囲に動きます。ヘッドレストが所定の位置に起きます。

助手席シートのフルリクライニングポジション

リアエンターテインメントシステム装備車両では、助手席シートをフルリクライニングにすることはできません。

フルリクライニングポジションに調整する

この機能は後席パワーシート装備車両でのみ使用可能です。

助手席シートをフルリクライニングポジションまで動かすことができます。リアシートおよび助手席シートが連続した平面になります。

そうするためには：

- リアシートのシートクッションを前後方向にできるだけ後方に動かします (▷158 ページ)。
- 助手席シートをショーファーモードの位置に動かします (▷163 ページ)。
- 助手席シートのヘッドレストを取り外します (▷167 ページ)。
- バックレストがフルリクライニングポジションになるように助手席シートを動かします (▷158 ページ)。

フルリクライニングポジションを終了する

以下のように操作します：

- バックレストを適切な位置に起こします。
- ヘッドレストを取り付けます (▷167 ページ)。

ヘッドレストの調整

フロントヘッドレストの調整

重要な安全上の注意事項

警告

運転中に以下を行なうと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

警告

ヘッドレストが合っておらず、正しく調整されていない場合、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および首周りにけがをする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さにあることを確認してください。

全体的な注意事項

重要な安全上の注意事項に注意してください (▷169 ページ)。

フロントとリアシートのヘッドレストを入れ替えないでください。さもないと、ヘッドレストの高さ、および角度を正しい位置に調整することができなくなります。

ヘッドレストの調整



この機能を使用して、ヘッドレストと後頭部との間の距離を調整できます。

- ▶ **前方に移動する**：希望の位置で固定されるまで、ヘッドレストを矢印の方向に前方に引きます。
- ▶ **後方に移動する**：ロック解除スイッチ①を押して保持します。
- ▶ ヘッドレストを後方に押します。
- ▶ ヘッドレストが希望の位置になったら、ロック解除スイッチを放します。
- ▶ ヘッドレストが正しく固定されていることを確認します。

ラグジュアリーヘッドレストの調整



- ▶ **ヘッドレストのサイドサポートを調整する**：右側および / または左側のサイドサポート①を希望の位置に押すか、または引きます。

- ▶ **前後位置を前方に移動する**：希望の位置に固定されるまで、ヘッドレストを矢印②の方向に前方に引きます。
- ▶ **前後位置を後方に調整する**：ロック解除スイッチ③を押して保持します。
- ▶ ヘッドレストを矢印②の方向に後方に倒します。
- ▶ ヘッドレストが希望の位置になったら、ロック解除スイッチ③を放します。
- ▶ ヘッドレストが正しく固定されていることを確認します。

イージーアジャストラグジュアリーヘッドレストの手動調整



このヘッドレストはショーファーパッケージ装備車両で使用可能です。

- ▶ **ヘッドレストのサイドサポートを調整する**：右側および / または左側のサイドサポート①を希望の位置に押すか、または引きます。
- ▶ **前後位置を調整する**：ヘッドレスト前後調整用スイッチを矢印の方向に前方または後方にスライドします（▷157ページ）。
- ▶ ヘッドレストの高さはシート調整スイッチを使用して調整することができます（▷157ページ）。

i シートスイッチを使用してシートのバックレストの角度を調整するとき、ヘッドレストの前後位置は自動的に調整されます。

フロントヘッドレストの電動調整

シート調整スイッチで、フロントヘッドレストの高さ、および前後位置はシート調整スイッチで調整することができます (▷157 ページ)。

リアシートのヘッドレストを調整する

フロントからリアシートのヘッドレストを電動で下げる



この機能は後席パワーシート装備車両で使用することができます。

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ スイッチ ① を軽く押します。ヘッドレストが下がります。

i すべてのリアシートのヘッドレストを下げて、スイッチ ① が再度押された場合は、外側のリアヘッドレストが最後に保存された位置に動きます。

外側リアシートのヘッドレストをフロントから電動で上げる

この機能は後席パワーシート装備車両で使用することができます。

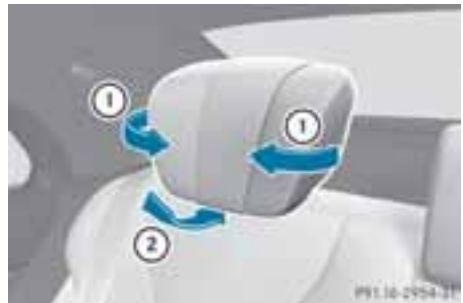
- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ ヘッドレストが上方に上がるまで、スイッチ ① を押して保持します。

最後に保存した位置に外側のヘッドレストを上げる

この機能は後席パワーシート装備車両で使用することができます。

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします (▷234 ページ)。
- ▶ スイッチ ① を軽く押します。ヘッドレストが下がります。
- ▶ スイッチ ① を再度軽く押します。最後に保存した位置にヘッドレストが動きます。

後席のラグジュアリーヘッドレストの手動調整



- ▶ **ヘッドレストのサイドサポートを調整する**：右側および / または左側のサイドサポート ① を希望の位置に押すか、または引きます。
- ▶ **ヘッドレストの角度を調整する**：ヘッドレストを矢印 ② の方向に押すか、引きます。

① リアヘッドレストの高さ、および前後位置は、シート調整スイッチで調整できます (▷158 ページ)。

リアヘッドレストの電動調整

リアヘッドレストの高さ、および前後位置は、シート調整スイッチで調整できます (▷158 ページ)。

ラグジュアリーヘッドレストの補助クッション

補助クッションは後席パワーシート装備車両で使用することができます。



補助クッションは3つのフックによってヘッドレストに固定されています。

補助クッションを取り外す：

- ▶ ヘッドレストをできるだけ前方にします (▷158 ページ)。
- ▶ フック **①** を外し、補助クッション **②** を取り外します。

補助クッションを取り付ける：

- ▶ ヘッドレストをできるだけ前方にします (▷158 ページ)。
- ▶ 補助クッション **②** をヘッドレストに押し付け、フック **①** を留め具に押し込みます。

リア中央のヘッドレストの調整

電動で下げる、または上げる



この機能は後席パワーシート装備車両で使用することができます。

- ▶ ヘッドレストが完全に上がるか、下がるまで、スイッチ **①** を押して保持します。

所定の位置へ手動で倒す



この機能はリアベンチシート装備車両で使用することができます。

- ▶ 固定されるまでヘッドレストを引き上げます。

マルチコントロールシートバックの調整

マルチコントロールシートバックは、COMAND システムを使用して調整することができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

アクティブマルチコントロールシートバックの調整

アクティブマルチコントロールシートバックは、COMAND システムを使って調整することができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

後席のマルチコントロールシートバックの調整

リアエンターテインメントシステムを使用して外側シートのマルチコントロールシートバックを調整することができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

電動ランバーサポートの調整

電動ランバーサポートは、COMAND システムで調整できます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

シートヒーターの作動 / 停止の切り替え

作動 / 停止

警告

シートヒーターを連続して使用すると、シートクッションおよびバックレストが異常に過熱する原因となります。高温により、温度変化を感知できにくい乗員や、異常な高温に対処できない乗員の健康に悪影響を与えたり、低温火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。

したがって、シートヒーターを連続して使用しないでください。

アームレストヒーター装備車両：いずれかのシートヒーターを作動させたときは、ドアとセンターコンソールのアームレストも暖められます。このことをCOMAND システムで設定することができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

スイッチの3つの赤い表示灯は、選択したヒーターレベルを表します。

約8分後に、レベル3からレベル2へ、システムが自動的に切り替えます。

約10分後に、レベル2（中）からレベル1（弱）へ、システムが自動的に切り替わります。

レベル1に設定した約20分後に、システムが自動的に停止します。

シートヒーター・プラス装備車両：COMAND システムで、シートクッションとバックレストの暖房部分の配分を設定できます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

リアエンターテインメントシステムおよびパワーシート装備車両：リアエンターテインメントシステムで、リアシートクッションおよびバックレストの暖房部分の配分を設定できます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

フロントシート



- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
 - ▶ **作動させる**：希望のヒーターレベルが設定されるまで、スイッチ ① を繰り返し押しします。
 - ▶ **停止する**：すべての表示灯が消灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押しします。
- i** バッテリー電圧が非常に低下した場合は、シートヒーターが停止することがあります。

リアシート



- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
 - ▶ **作動させる**：希望のヒーターレベルが設定されるまで、スイッチ ① を繰り返し押しします。
 - ▶ **停止する**：すべての表示灯が消灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押しします。
- i** バッテリー電圧が非常に低下した場合は、シートヒーターが停止することがあります。

シートヒーターのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
シートヒーターが短時間で停止したり、作動しない。	<p>多くの電気装備が作動しているため、バッテリー電圧が非常に低下している。</p> <p>▶ リアデフォグガーやルームライトのような、必要のない電気装備を停止してください。</p> <p>バッテリーが十分に充電されると、シートヒーターを手動で再度作動させることができます。</p>

シートベンチレーターの作動 / 停止の切り替え

フロントシート



スイッチの3つの青色の表示灯は、選択した送風設定を示しています。

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ **作動させる**：希望の送風設定が設定されるまで、スイッチ ① を繰り返し押しします。
- ▶ **停止する**：表示灯がすべて消灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押しします。

i バッテリー電圧が非常に低下した場合は、シートベンチレーターが停止することがあります。

i コンビニエンスオープニング機能を使用して、サイドウィンドウやスライディングルーフを開くことができます (▷141 ページ)。運転席シートのシートベンチレーターが最も強いレベルで自動的に作動します。

i 車両が停止しているときは、ファンの回転速度が自動的に減少することがあります。これにより、シートベンチレーターのノイズが減少します。

リアシート



後席のシートベンチレーターの作動 / 停止の切り替え

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

- ▶ **作動させる**：希望の送風設定が設定されるまで、スイッチ ① を繰り返し押します。
- ▶ **停止する**：すべての表示灯が消灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

i バッテリー電圧が非常に低下した場合は、シートベンチレーターが停止することがあります。

i 車両が停止しているときは、ファンの回転速度が自動的に減少することがあります。これにより、シートベンチレーターのノイズが減少します。

シートベンチレーターの問題

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
シートベンチレーターが短時間で停止したり、作動しない。	<p>多くの電気装備が作動しているため、バッテリー電圧が非常に低下している。</p> <p>▶ リアデフォグやルームライトのような、必要のない電気装備を停止してください。</p> <p>バッテリーが十分に充電されると、シートベンチレーターを再度作動させることができます。</p>

ステアリング

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

運転中に以下を行なうと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

子供がステアリングを調整するとステアリングに挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

ステアリングは、エンジンスイッチからキーを抜いても位置の調整ができます。

ステアリングの調整



- ① ステアリングの前後位置の調整
- ② ステアリングの上下位置の調整

i その他の関連事項：

- イージーエントリー機能 (▷179 ページ)
- メモリー機能の設定 (▷184 ページ)
- マルチファンクションディスプレイの操作 (▷381 ページ)

ステアリングヒーター

作動 / 停止



- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ **作動 / 停止の切り替え**：レバーを矢印①または②の方向にまわします。表示灯③が点灯または消灯します。

キーレスゴーを使用していないとき：エンジンスイッチからキーを抜いたときは、ステアリングヒーターは停止します。

キーレスゴーを使用しているとき：イグニッションをオフにして運転席ドアを開いたときは、ステアリングヒーターは停止します。

ステアリングヒーターのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ステアリングヒーターが短時間で停止したり、作動しない	<p>多くの電気装備が作動しているため、バッテリー電圧が非常に低下している。</p> <p>▶ リアデフォグガーやルームライトのような、必要のない電気装備を停止してください。</p>

イージーエントリー機能

重要な安全上の注意事項

警告

イージーエントリー機能によりステアリングおよび運転席が調整されているときは、お客様および乗員、特にお子様が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

イージーエントリー機能により調整が行なわれている間は、シートおよびステアリングの可動範囲内に身体の一部が入っている人がいないことを確認してください。

以下により、挟まれる危険性がある場合には：

- ステアリング：ステアリング調整レバーを動かします。
- シート：シート調整用スイッチを押します。

調整動作が停止します。

メモリー機能スイッチの1つを押します。調整動作が停止します。この機能は、メモリー機能装備車両でのみ作動します。

警告

付き添いのない状態で、お子様がイージーエントリー機能を作動させた場合、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

警告

イージーエントリー機能で調整されている間に、発進すると、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

発進する前に、調整プロセスが終了するまで必ずお待ちください。

イージーエントリー機能により、運転席への乗り降りが容易になります。

COMAND システムを使用して、イージーエントリー機能を設定、および解除することができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

イージーエントリー機能が設定されているときのステアリングおよび運転席シートの位置

以下の場合にステアリングは上方に動き、運転席シートが後方に動きます。

- エンジンスイッチからキーを抜いた
- **キーレスゴー**で：運転席ドアを開いた。
キーレスゴーは **1** の位置になければなりません。
- **キー**で：運転席ドアを開いた。エンジンスイッチのキーは **0** または **1** の位置になければなりません（▷234 ページ）。
- イグニッションがオフのときに運転席ドアを開いた

1 シートまたはステアリングの調整後にドライビングポジションが保存された場合にのみ、ステアリングは上方に傾き、運転席シートは後方に動きます（▷184 ページ）。

以下の場合は、ステアリングまたはシート最後の位置が記憶されます。

- イグニッションをオフにした。
- メモリー機能を使用して設定が保存された (▷184 ページ)。

i いっぱいまで上がっていない場合にのみ、ステアリングは上方に動きます。最後方の位置になっていない場合にのみ、運転席シートは後方に動きます。

運転する際のステアリングおよび運転席シートの位置

以下の場合は、ステアリングおよび運転席シートが以前に設定した位置に動きます。

- 運転席ドアを閉じた状態で、エンジンスイッチにキーを差し込んだ
- 運転席ドアを閉じて、イグニッション位置を **0** から **1**、または **1** から **2** にした

i シートまたはステアリングの調整後にドライビングポジションが保存されたときにのみ、ステアリングと運転席シートは最後の設定位置に戻ります (▷184 ページ)。

以下の場合は、ステアリングまたはシート最後の位置が記憶されます。

- イグニッションをオフにした。
- メモリー機能を使用して設定が保存された (▷184 ページ)。

クラッシュセンサー連動式イージーエグジット機能

事故のときにクラッシュセンサー連動式イージーエグジット機能が作動した場合は、運転席ドアを開くか、エンジンスイッチからキーを取り外したときに、ステアリングコラムが上方に動きます。これにより、車両の外への脱出や乗員の救出を容易にします。

クラッシュセンサー連動式イージーエグジット機能は、COMAND システムでイージーエントリー機能が設定されている場合にのみ作動します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

ミラー

ドアミラー

重要な安全上の注意事項

警告

運転中に以下を行なうと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

ドアミラーに写る像は実際よりも小さく見えます。実際には、ドアミラーで見るよりも近くにありますが、これは、車線を変更する際など、後続の道路使用者との距離感を見誤る可能性があるということです。事故の危険性があります。

そのため、肩越しに直接斜め後方を見て、実際の距離を確認してください。

ドアミラーの調整



- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ 右側ドアミラー用スイッチ **②** または左側ドアミラー用スイッチ **③** を押しします。

押したスイッチの表示灯が点灯します。

しばらくすると、表示灯は再度消灯します。表示灯が点灯しているときに、調整スイッチ **①** を使用して選択されているドアミラーを調整できます。

- ▶ 調整スイッチ **①** を上下、または左右に押して、ドアミラーを正しい位置に調整します。交通状況が良く視認できなければなりません。

凸面のドアミラーにより、より広い視界を確保しています。

エンジンを始動した後、リアデフォッガーを作動させ、外気温度が低い場合は、ドアミラーが自動的に温められます。

ドアミラーを電動で格納 / 展開する



- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ スイッチ **①** を軽く押しします。
左右のドアミラーが格納または展開します。

① 走行中は常に、ドアミラーが完全に展開していることを確認してください。さもないと、ドアミラーが振動することがあります。

① 47km/h 以上で走行している場合は、ドアミラーを格納することはできなくなります。

ドアミラーのリセット

バッテリーの接続が外されたり、完全に放電した場合は、ドアミラーをリセットする必要があります。さもないと、マルチファンクションディスプレイで " 施錠時のドアミラー格納 " 機能が選択されているときに、ドアミラーが格納されません。

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ スイッチ **①** を軽く押しします。

ドアミラーを自動で格納 / 展開する

COMAND システムで**ロック時のミラー格納**機能が設定されているとき（デジタル版取扱説明書をご覧ください）：

- 車外から車両を施錠するとただちに、ドアミラーが自動的に格納されます。
- 車両を解錠するとただちに、ドアミラーが自動的に展開します。

i 手でドアミラーを格納していた場合は、展開しません。

ドアミラーが所定の位置から押し出されたとき

ドアミラーが所定の位置から押し出された場合（前方または後方）は、以下のように進めてください。

- ▶ クリック音が聞こえ、音とともにミラーが所定の位置に固定されるまで、スイッチ **①** を押して保持します（▷181 ページ）。

ドアミラーユニットが再度固定され、通常通りドアミラーを調整できます（▷181 ページ）。

自動防眩ミラー

警告

自動防眩ミラーのガラスが壊れている場合は、電解液が漏れることがあります。電解液は有害で、炎症の原因となります。皮膚、目、呼吸器または衣服に付着したり、飲み込んだりしないでください。けがのおそれがあります。

電解液が付着した場合は、以下に従ってください。

- 電解液をただちに水で皮膚から洗い流してください。

警告

- ただちに清潔な水で電解液を目から十分に洗い流してください。
- 電解液を飲み込んだ場合は、ただちに口を十分にゆすいでください。無理に吐かせないでください。
- 電解液が皮膚または髪に付着した、または飲み込んだ場合は、ただちに医者診断を受けてください。
- 電解液に触れた衣服はただちに交換してください。
- アレルギー反応が生じたときは、ただちに医者診断を受けてください。

以下の条件が同時に満たされると、ルームミラーと運転席側のドアミラーは自動的に自動防眩モードになります。

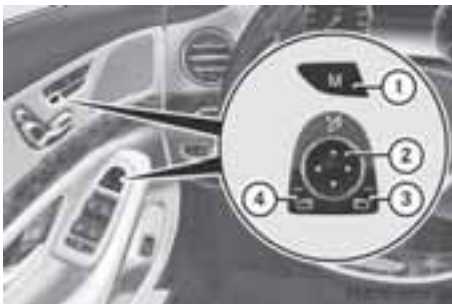
- イグニッションがオンである
- ヘッドライトからの光がルームミラーのセンサーに当たっている

リバースギアに入っている場合、またはフロントルームライトが点灯している場合は、ミラーは防眩になりません。

リバースポジション機能付ドアミラー (助手席側)

パーキングポジションの設定と記憶

リバースギアを使用して



- ① メモリースイッチ M
- ② 調整スイッチ
- ③ 助手席側ドアミラースイッチ
- ④ 運転席側ドアミラースイッチ

リバースギアに入るとすぐに助手席側の後輪が見えるように、助手席側ドアミラーを設定できます。その位置を記憶させることができます。

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ 助手席側ドアミラースイッチ **③** を押しします。
- ▶ リバースギアに入れます。
あらかじめ設定されたパーキングポジションまで、助手席側ドアミラーが動きます。
- ▶ ドアミラー調整スイッチ **②** を使用して、後輪と縁石が見える位置にドアミラーを調整します。

パーキングポジションが記憶されます。

i トランスミッションを他の位置にシフトした場合は、助手席側ドアミラーは走行時の角度に戻ります。

メモリースイッチを使用して

リバースギアに入るとすぐに助手席側の後輪が見えるように、助手席側ドアミラーを設定できます。この設定は、メモリースイッチ **M①** を使用して保存することができます。

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ 助手席側ドアミラースイッチ **③** を押しします。
- ▶ ドアミラー調整スイッチ **②** を使用して、後輪と縁石が見える位置にドアミラーを調整します。
- ▶ メモリースイッチ **M①** を押し、約 3 秒以内にドアミラー調整スイッチ **②** をいずれかの矢印の方向に押しします。ドアミラーが動かない場合は、パーキングポジションが記憶されています。
- ▶ その位置から助手席側ドアミラーが動いた場合は、手順を繰り返してください。

記憶させたパーキングポジションの設定の呼び出し

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ スイッチ **③** を使用して助手席側ドアミラーを調整します。
- ▶ リバースギアを選択します。
助手席側ドアミラーが記憶されたパーキングポジションまで動きます。

以下のときに、助手席側ドアミラーは元の位置に戻ります。

- 速度が 15km/h を超えるとすぐに
- リバースギア以外を選択して約 10 秒後
- 運転席側ドアミラースイッチ **④** を押した場合

メモリー機能

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

走行中に運転席側のメモリー機能を使用すると、調整をした結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

車両が停車しているときにのみ運転席側のメモリー機能を使用してください。

⚠ 警告

メモリー機能がシートまたはステアリングを調整するとき、ご自身だけでなく、他の乗員、特に子供が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

メモリー機能が調整を行なっている間、シートまたはステアリングの動いている箇所にだれも近づかないように注意してください。挟み込まれた場合、すぐにメモリー機能ポジションスイッチを放してください。調整プロセスが停止します。

⚠ 警告

付き添いのない状態で、子供がメモリー機能を作動させると、挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

メモリーの設定

メモリー機能で、例えば3人の方のために、3つまでの異なる設定を記憶させることができます。

以下の項目が、ひとつのメモリー設定として記憶されます。

- シート、バックレスト、ヘッドレストの位置とバックレストの腰部の形状
- マルチコントロールシートバック：バックレストのサイドサポート、バックレストの腰部と肩部の形状
- アクティブマルチコントロールシートバック：バックレストのサイドサポート、バックレストのショルダー部、バックレストの形状、ドライビングダイナミックシートのレベル
- シートヒーター：シートクッションおよびバックレストの暖房部分の配分
- 運転席側：運転席および助手席側のドアミラーの角度、ステアリングの位置



- ▶ 対応するシートを調整します (▶156 ページ)。
- ▶ 運転席側では、ステアリング (▶177 ページ) とドアミラー (▶181 ページ) を調整します。

- ▶ メモリースイッチ **M** を押し、それから3秒以内にポジションスイッチ **1**、**2**、または **3** のいずれかを押します。

選択したプリセットポジションに設定が記憶されます。設定が完了したときは、確認音が鳴ります。

記憶された位置を呼び出す

- ▶ 対応するメモリーポジションスイッチ **1**、**2** または **3** を押して保持します。
 - シート
 - ステアリング
 - ドアミラー

これらが記憶された位置にあることを確認します。

i ポジションスイッチから指を放すと、シート、ステアリング、ミラーの調整機能はただちに停止します。マルチコントロールシートバックの設定および電動ランバーサポートは実行されたままになります。

後席のメモリー機能

重要な安全上の注意事項

警告

メモリー機能がシートまたはステアリングを調整するとき、ご自身だけでなく、他の乗員、特に子供が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

メモリー機能が調整を行なっている間、シートまたはステアリングの動いている箇所にだれも近づかないように注意してください。挟み込まれた場合、すぐにメモリー機能ポジションスイッチを放してください。調整プロセスが停止します。



警告

付き添いのない状態で、子供がメモリー機能を作動させると、挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

全体的な注意事項

リアシートおよび助手席シートの設定は、後席のメモリー機能を使用して保存することができます。


-  スイッチの表示灯が点灯していない場合は、リアシートの設定を保存できます。
-  スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートおよびリアシートの設定を保存できます。助手席シートおよびリアシートの両方がこの設定で対象になります。車両の装備によって、2つまたは3つのメモリー位置を助手席およびリアシート用に保存することができます。


設定の保存

全体的な注意事項

後席のメモリー機能では、例えば異なる3人のために3つまでの異なる設定を保存することができます。

以下の項目が、ひとつのメモリー設定として記憶されます。

- シート、バックレストおよびヘッドレストの位置
- マルチコントロールシートバック：バックレストのシートクッション、ならびにバックレストの腰部および肩部の形状
- シートヒーター： スイッチの表示灯が点灯していない場合のシートクッションおよびバックレストの暖房部分の配分


 スイッチの表示灯が点灯している場合は、以下の設定がメモリー位置に保存されます。

- 可能な場合は、助手席シートのフットレストの位置
- 可能な場合は、画面の位置


リアリクライニングシート非装備車両



後席シートを選択する

- ▶ スイッチの表示灯が点灯しなくなるまで、 スイッチを繰り返し押します。スイッチの表示灯が点灯していない場合は、リアシートが選択されています。
- ▶ 対応するリアシートを調整します (▷160 ページ)。
- ▶ メモリースイッチ **M** を押し、それから3秒以内にポジションスイッチ **1**、**2**、**3** のいずれかを押します。選択したポジションスイッチに設定が記憶されます。

助手席シートを選択する

- ▶ スイッチの表示灯が点灯するまで、 スイッチを繰り返し押します。スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。
- ▶ 対応する助手席シートを調整します (▷160 ページ)。

- ▶ メモリースイッチ **M** を押し、それから 3 秒以内にポジションスイッチ **1**、**2**、**3** のいずれかを押しします。


選択したポジションスイッチに設定が記憶されます。

- ▶ メモリースイッチ **M** を押し、それから 3 秒以内にポジションスイッチ **1**、**2**、**3** のいずれかを押しします。

選択したポジションスイッチに設定が記憶されます。


リアリクライニングシート装備車両



- ▶ スイッチの表示灯が点灯しなくなるまで、 スイッチを繰り返し押しします。スイッチの表示灯が点灯していない場合は、リアシートが選択されています。
- ▶ 対応するリアシートを調整します (▷160 ページ)。
- ▶ メモリースイッチ **M** を押し、それから 3 秒以内にポジションスイッチ **1**、**2**、**3** のいずれかを押しします。

選択したポジションスイッチに設定が記憶されます。



助手席シートを選択する

- ▶ スイッチの表示灯が点灯するまで、 スイッチを繰り返し押しします。スイッチの表示灯が点灯している場合は、助手席シートが選択されています。
- ▶ 対応する助手席シートを調整します (▷160 ページ)。

記憶された位置を呼び出す

ショーファーモードエリア内のメモリー位置は、ショーファーモードの条件が満たされているときにのみ、設定することができます (▷163 ページ)。

リアリクライニングシート装備車両 / リアリクライニングシート非装備車両

- ▶ 保存したリアシートの設定を呼び出す：スイッチの表示灯が点灯しなくなるまで、 スイッチを繰り返し押しします。
- ▶ 保存した助手席シートの設定を呼び出す：スイッチの表示灯が点灯するまで、 スイッチを繰り返し押しします。
- ▶ リアシートまたは助手席シートが保存された位置になるまで、ポジションスイッチ **1** または **2** を押しして保持します。

i ポジションスイッチを放すと、ただちにシート調整処理が中断します。マルチコントロールシートバックの設定および電動ランバーサポートは実行されたままになります。

役に立つ情報	190
車外ライト	190
ルームライト	197
電球の交換	199
フロントウインドウワイパー	199

役に立つ情報

① この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

① メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

車外ライト

全体的な注意事項

日中にライトを点灯しないで走行したい場合は、マルチファンクションディスプレイで " デイタイムドライビングライト " 機能をオフにしてください (▷403 ページ)。

車外ライトの設定

設定方法

以下によって車外ライトを設定できます。

- ライトスイッチを使用して
- コンビネーションスイッチを使用して (▷192 ページ)
- マルチファンクションディスプレイを使用して (▷403 ページ)

ライトスイッチ

操作



- ① 左側パーキングランプ
- ② 右側パーキングランプ
- ③ 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
- ④ **AUTO** ヘッドライトのオートモード、ライトセンサーによる制御
- ⑤ ロービーム / ハイビームヘッドライト
- ⑥ リアフォグランプ

車両から離れるときに警告音が鳴る場合は、ライトが点灯していることがあります。

▶ ライトスイッチを **AUTO** にまわします。

ヘッドライトはエンジンを停止すると消灯します。


車幅灯は、以下の操作を行なうと消灯します。

- エンジンスイッチからキーを抜く
- キーが **0** の位置のときに運転席ドアを開く



ヘッドライトのオートモード

警告

ライトスイッチを **AUTO** に設定しているときは、霧、雪、または霧雨のような天候状態のために視界を悪くする他の原因がある場合は、ロービームヘッドライトが自動的にオンにならないことがあります。事故の危険性があります。

このような状況のときは、ライトスイッチを  にまわします。


ヘッドライトのオートモード機能は単なる支援にすぎません。車両の照明に関する責任は、常に運転者にあります。



車幅灯およびロービームヘッドライトが点灯しているときは、メーターパネルの緑色の表示灯  (車幅灯) および  (ロービームヘッドライト) が点灯します。

AUTO が推奨されるライトの設定です。ライト設定は、周囲の光の明るさに応じて以下のように自動的に選択されます (例外：霧、雪、霧雨などの天候による視界不良の場合)。

- イグニッション位置が **1** のとき：周囲の光の明るさに応じて車幅灯が自動的に点灯または消灯します。
 - エンジンがかかっているとき：マルチファンクションディスプレイでデイトタイムドライビングライト機能を設定していない場合は、車幅灯およびロービームヘッドライトが周囲の光の明るさに応じて自動的に点灯または消灯します。
- ▶ **ヘッドライトのオートモードを作動させる**：ライトスイッチを **AUTO** にまわします。






ロービームヘッドライト

イグニッションがオンで、ライトスイッチが  の位置にあるときは、周囲の明るさの状況が暗いことをライトセンサーが検知していなくても、車幅灯とロービームヘッドライトが点灯します。これは、霧や雨のときに便利です。




- ▶ **ロービームヘッドライトを点灯する**：イグニッション位置を **2** にするか、エンジンを始動します。
- ▶ ライトスイッチを  にまわします。メーターパネルの緑色の表示灯  が点灯します。



リアフォグランプ

リアフォグランプは、濃霧の中で走行する際にお客様の車両の被視認性を改善します。リアフォグランプの使用に関する、国ごとに規定された法律に従ってください。

- ▶ **リアフォグランプを点灯する**：イグニッション位置を **2** にするか、エンジンを始動します。
- ▶ ライトスイッチを  または **AUTO** にまわします。
- ▶  スイッチを押します。メーターパネルの黄色の表示灯  が点灯します。
- ▶ **リアフォグランプを消灯する**： スイッチを押します。メーターパネルの黄色の表示灯  が消灯します。



車幅灯

! バッテリーが過放電すると、次のエンジン始動を可能にするために、車幅灯またはパーキングランプが自動的に消灯します。法的基準にしたがって車両を安全で十分な明るさのところに常に駐車してください。車幅灯  を何時間も連続してご使用にならないでください。可能であれば、 右側または  左側パーキングランプを点灯してください。

- ▶ **点灯する**：ライトスイッチを  にまわします。
メーターパネルの緑色の表示灯  が点灯します。

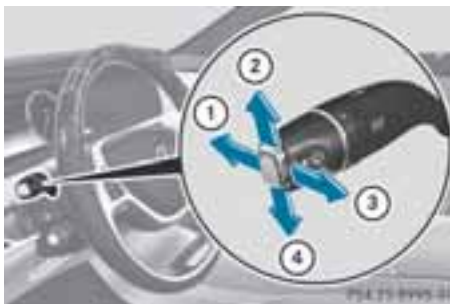
パーキングランプ

パーキングランプを点灯すると、車両の対応する側が点灯します。

- ▶ **パーキングランプを点灯する**：キーがエンジンスイッチにないか、またはイグニッション位置が **0** になっていることを確認します。
- ▶ ライトスイッチを  (車両の左側) または  (車両の右側) にまわします。

コンビネーションスイッチ


方向指示灯



- ① ハイビームヘッドライト
- ② 方向指示灯、右
- ③ パッシングライト
- ④ 方向指示灯、左


- ▶ **短時間点滅させる**：手応えのあるところまで、コンビネーションスイッチを矢印 ② または ④ の方向に軽く押します。
対応する方向指示灯が 3 回点滅します。
- ▶ **点滅させる**：手応えのあるところを越えるまで、コンビネーションスイッチを矢印 ② または ④ の方向に押します。

ハイビームヘッドライト


- ▶ **ハイビームヘッドライトを点灯する**：イグニッション位置を **2** にするか、エンジンを始動します。
- ▶ ライトスイッチを  または **AUTO** にまわします。

- ▶ 手応えのあるところを越えるまで、コンビネーションスイッチを矢印①の方向に押します。

AUTO の位置のとき、ハイビームヘッドライトは、周囲が暗くエンジンがかかっているときにのみ点灯します。

ハイビームヘッドライトを点灯させたときは、メーターパネルの青色の表示灯  が点灯します。

- ▶ **ハイビームヘッドライトを消灯する：**コンビネーションスイッチを通常的位置に戻します。

メーターパネルの青色の表示灯  が消灯します。

アダプティブハイビームアシスト・プラスが作動している場合は、ハイビームヘッドライトの作動および解除を制御します (▷195 ページ)。

パッシングライト

- ▶ **作動させる：**イグニッション位置を **1** または **2** にするか、エンジンを始動します。
- ▶ **コンビネーションスイッチを矢印③の方向に引きます。**

非常点滅灯



- ▶ **非常点滅灯を作動させる：**スイッチ①を押します。

すべての方向指示灯が点滅します。このときにコンビネーションスイッチを使用して方向指示灯を作動させた場合は、車両の対応する側の方向指示灯のみが点滅します。

- ▶ **非常点滅灯を解除する：**スイッチ①を再度押します。

非常点滅灯は、以下のときに自動的に作動します。

- エアバッグが作動した、または
- 車両が 70km/h 以上の速度から急減速して停止した

フルブレーキを効かせた後に車両が 10km/h 以上の速度に再度達した場合は、非常点滅灯は自動的に解除されます。

イグニッションをオフにした場合でも、非常点滅灯は作動し続けます。

インテリジェントライトシステム

重要な注意事項

インテリジェントライトシステムは、実際の走行や天候状況に合わせてヘッドライトを自動的に調整するシステムです。車両速度や天候状況などに応じて路面の照射を向上させる先端機能を提供します。システムには、アクティブライトシステムやコーナリングライト、ハイウェイモード、フォグランプ強化機能が含まれます。システムは周囲が暗いときのみ作動します。

マルチファンクションディスプレイを使用して"インテリジェントライトシステム"機能を作動させたり解除したりできます (▷403 ページ)。

アクティブライトシステム



アクティブライトシステムは、前輪の操舵角に応じてヘッドライトを動かすシステムです。そのため、走行中はステアリングを操作した方向が常に照射されます。このシステムにより、歩行者、自転車、動物などを容易に認識することができます。

以下のときに作動します：ライトが点灯しているとき

コーナリングライト



コーナリングライトは、コーナリング時に進行方向の路面を広く照射し、夜間の交差点などで運転者の視界を向上させます。ロービームヘッドライトが点灯しているときのみ、作動します。

以下のときに作動します：

- 40km/h 以下の速度で走行していて、方向指示灯を作動させた、またはステアリングをまわした場合
- 40km/h ~ 70km/h の間の速度で走行していて、ステアリングをまわした場合

コーナリングライトは短時間点灯し続けますが、約 3 分後に自動的に消灯します。

ハイウェイモード



以下のときに作動します：110km/h以上の速度で走行していて、少なくとも1,000m以上の間、なんらかの大きなステアリングの動きがない場合、または130km/h以上の速度で走行している場合。

上記はライトの機能の説明です。走行するときは必ず法定速度や制限速度に従ってください。

以下のときに解除されます：作動後に、80km/h以下の速度で走行した場合。

フォグランプ強化機能



フォグランプ強化機能は運転者の眩しさを軽減し、道路の端の照射を向上させます。

以下のときに作動します：

70km/h以下の速度で走行していて、リアフォグランプを点灯した場合

以下のときに解除されます：作動後に100km/h以上の速度で走行した場合、またはリアフォグランプを消灯した場合

アダプティブハイビームアシスト・プラス

全体的な注意事項



アダプティブハイビームアシスト・プラスにより、ロービーム、パーシャルハイビームおよびハイビームヘッドライトの間で自動的に切り替えることができます。

パーシャルハイビーム照明は、他の道路使用者を避けるようなハイビームの配光になっています。他の道路使用者は、ハイビームの範囲外になります。これにより眩しさを防ぎます。先行車両がある場合は、例えばハイビームヘッドライトはその右または左の範囲を照射し、先行車両はロービームヘッドライトによって照射されます。

このシステムは、他車との車間距離に応じてロービームヘッドライトの照射範囲を自動調整します。他車が検知されなくなると、システムは再びハイビームヘッドライトに切り替えます。

ハイビームまたはパーシャルハイビームヘッドライトが交通標識からの非常に強い反射の原因となっている場合は、ライトは自動的に暗くなり、反射光によって引き起こされる眩しさが避けられます。

システムの照度センサーは、フロントウインドウ裏側のオーバーヘッドコントロールパネル付近に装着されています。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

アダプティブハイビームアシスト・プラスは以下の道路使用者を認識しません。

- 歩行者などライトを持っていない人
- 自転車などライトの暗い人
- フェンスなどでライトが遮られている人

ごくまれに、アダプティブハイビームアシスト・プラスはライトを持っている道路使用者を認識しない、または認識が非常に遅れることがあります。このような場合は、他の道路使用者がいるにもかかわらず、自動ハイビームヘッドライトが解除されなかったり、作動したりします。

事故の危険性があります。

道路や交通事情に常に注意して、適切なタイミングでハイビームヘッドライトをオフにしてください。

アダプティブハイビームアシスト・プラスは、道路、天候または交通状況を考慮に入れることはできません。アダプティブハイビームアシスト・プラスは単なる支援にすぎません。運転者には、そのときの明るさ、視界および交通状況に応じて、車両のライトを調整する責任があります。

特に以下の状況では、障害物の検知が困難になります。

- 霧や激しい雨、雪などで視界が悪い
- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている


アダプティブハイビームアシスト・プラスの作動 / 停止の切り替え



- ① ハイビームヘッドライト
- ② 方向指示灯、右
- ③ パッシングライト
- ④ 方向指示灯、左

▶ **作動させる**：ライトスイッチを **AUTO** にまわします。


▶ 手応えがあるところを越えるまで、コンビネーションスイッチを矢印①の方向に押します。

周囲が暗く、ライトセンサーがロービームヘッドライトを作動させたときは、マルチファンクションディスプレイの表示灯  が点灯します。


25km/h以上の速度で走行している場合：

ヘッドライトの照射範囲は、他の車両や他の道路使用者との距離に応じて自動的に設定されます。

約30km/h以上の速度で走行していて、他の道路使用者が検知されていない場合：

自動的にハイビームヘッドライトが点灯します。メーターパネルの表示灯  も点灯します。



45km/h以上の速度で走行していて、他の道路使用者が検知されている場合：

パーシャルハイビームが自動的に選択されます。メーターパネルの表示灯  も点灯します。


約40km/h以下の速度で走行している場合：

パーシャルハイビームヘッドライトが自動的に停止します。他の道路使用者が検知されていない場合は、ハイビームヘッドライトが作動します。

約25km/h以下の速度で走行しているか、または道路が十分に照らされている場合：

自動的にハイビームヘッドライトが消灯します。メーターパネルの表示灯  が消灯します。マルチファンクションディスプレイの表示灯  は点灯したままになります。

- ▶ **停止する：**コンビネーションスイッチを通常の位置に戻す、またはライトスイッチを他の位置に動かします。

マルチファンクションディスプレイの表示灯  は消灯します。

ヘッドライト内側の曇り






特定の天候および物理的条件が、ヘッドライトにできる曇りの原因となることがあります。この曇りはヘッドライトの機能に影響を与えません。

ルームライト

ルームライトの概要

前席のオーバーヘッドコントロールパネル



- ①  左側フロント読書灯の点灯 / 消灯の切り替え
- ②  ルームライト自動コントロールのオン / オフの切り替え
- ③  フロントルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
- ④  リアルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
- ⑤  右側フロント読書灯の点灯 / 消灯の切り替え

グリップハンドルのコントロールパネル (後席)



- ▶ 対応する側の後席読書灯およびメイクアップライトを点灯する：スイッチ ② を押します。

読書灯 ① およびメイクアップライトが点灯します。

- ▶ 消灯する：スイッチ ② を押します。
1 度押す：メイクアップライトが消灯します。
2 度押す：読書灯 ① が消灯します。

- ▶ 両側の後席読書灯およびメイクアップライトを点灯する：スイッチ ③ を押します。
読書灯 ① およびメイクアップライトが点灯します。

- ▶ 消灯する：スイッチ ③ を押します。
読書灯 ① およびメイクアップライトが消灯します。

ルームライトの操作

全体的な注意事項

車両のバッテリーの放電を防止するため、イグニッション位置が 2 以外のときは、ルームライトの機能は一定時間後に自動的に解除されます。

アンビエントライトの色、明るさ、ゾーンは、COMAND システムを使用して設定できます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

ルームライトの操作はフロントのオーバーヘッドコントロールパネルを使用して操作できます。

ルームライトの自動点灯



- ① 左側フロント読書灯の点灯 / 消灯の切り替え
- ② ルームライト自動コントロールのオン / オフの切り替え
- ③ フロントルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
- ④ リアルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
- ⑤ 右側フロント読書灯の点灯 / 消灯の切り替え

- ▶ 設定 / 解除を切り替える： スイッチを押してください。

ルームライトの自動点灯が設定されているときは、スイッチはオーバーヘッドコントロールパネルと同じ高さになります。






ルームライトは以下のときに自動的に点灯します。

- 車両を解錠した
- ドアを開いた
- エンジンスイッチからキーを抜いた


エンジンスイッチからキーを抜いたときは、ルームライトが短時間点灯します。この消灯遅延は、COMAND システムを使用して調整することができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。


ルームライトの手動点灯



- ①  左側フロント読書灯の点灯 / 消灯の切り替え
- ②  ルームライト自動コントロールのオン / オフの切り替え
- ③  フロントルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
- ④  リアルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
- ⑤  右側フロント読書灯の点灯 / 消灯の切り替え

▶ **フロントルームライトを点灯 / 消灯する**： スイッチを押します。

▶ **リアルームライトを点灯 / 消灯する**： スイッチを押します。

▶ **読書灯を点灯 / 消灯する**： スイッチを押してください。

緊急時点灯機能

車両が事故に巻き込まれたときに、ルームライトが自動的に点灯します。

▶ **緊急時点灯機能をオフにする**：非常点滅灯スイッチを押します。

または

▶ キーを使用して、車両を施錠してから解錠します。

電球の交換

車両のフロントおよびリアライトクラスターには LED ライトバルブが装備されています。お客様自身でライトの交換を行わないでください。必要な専門知識と専用ツールを備えたメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

ライトは車両安全性の重要な要素です。そのため、これらの機能が正常であることを常に確認してください。ヘッドライトの設定は、定期的に点検してください。

フロントウインドウワイパー

フロントウインドウワイパーの作動 / 停止の切り替え

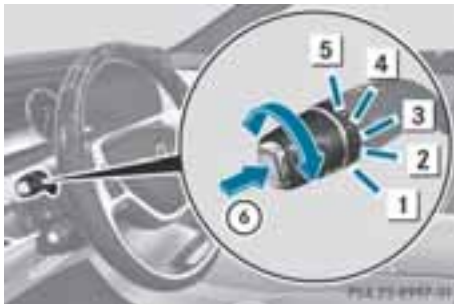
! ウィンドウが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。ワイパーブレードを損傷するおそれがあります。また、ウィンドウに付着したほこりなどでウィンドウの表面に傷が付くおそれがあります。

乾燥した気候条件でフロントワイパーをオンにする必要がある場合は、必ずウォッシャー液を噴射しながら操作してください。

! 車両を自動洗車機で洗車した後にワイパーを使用しても油膜が残るときは、ウィンドウに付着したワックスや洗剤液などが原因と考えられます。ウィンドウをウォッシャー液で洗剤してください。

! 乾燥した気候条件でフロントウインドウが汚れた場合は、レインセンサーによりフロントワイパーが不意に作動するおそれがあります。ワイパーブレードを損傷したり、ウインドウに傷が付くおそれがあります。

このため、雨が降っていないときは必ずワイパースイッチを停止の位置にしてください。



- 1 フロントウインドウワイパーの停止
- 2 低速間欠モード（レインセンサーは低感度に設定）
- 3 高速間欠モード（レインセンサーは高感度に設定）
- 4 低速連続モード
- 5 高速連続モード
- 6 1回の拭き取り /
 ウォッシャー液を使用してのフロントウインドウの拭き取り

▶ キーレスゴーススイッチまたはキーでイグニッションをオンにします。

▶ コンビネーションスイッチを対応する位置にまわします。

または の位置では、雨の強さに応じて、適切な拭き取り頻度が自動的に設定されます。 の位置では、レインセンサーは の位置よりも高感度となり、フロントウインドウワイパーはより頻繁に拭き取りを行ないます。

マジックビジョンコントロール装備車両：ウォッシャー液はワイパーブレードを通じて送られ、ウォッシャー液とともに拭き取りを行なうとき は、ウォッシャー液は直接ブレードから出ます。

マジックビジョンコントロール装備車両：手応えのあるところを越えてコンビネーションスイッチを矢印 の方向に押し、この位置で保持した場合は、手動洗浄モードが作動します。手応えのあるところを越えてコンビネーションスイッチを矢印 の方向に軽く押した場合は、自動洗浄モードが作動します。

ワイパーブレードが摩耗した場合は、フロントウインドウは十分に拭き取られなくなります。交通状況への注意を妨げるおそれがあります。

ワイパーブレードの交換

重要な安全上の注意事項

警告

ワイパーブレードを交換中にワイパーが動き出した場合、ワイパーアームに挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

ワイパーブレードを交換する前に、ワイパーおよびイグニッションのスイッチを必ずオフにしてください。

! ワイパーブレードの損傷を避けるため、ワイパーアーム以外には触れないようにしてください。

! フロントウインドウワイパーのアームを起こしているときは絶対にボンネットを開かないでください。

ワイパーブレードを交換するときは、フロントウインドウワイパーのアームを確実に持ってください。ワイパーブレードが取り付けられていない状態でフロントウインドウワイパーのアームを放すと、ぶつかった衝撃でフロントウインドウを損傷するおそれがあります。


メルセデス・ベンツはワイパーブレードの交換をメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことをお勧めします。

! ワイパーをフロントウインドウから起こす前に、必ずフロントワイパーアームを垂直の位置にしてください。そうすることで、ボンネットへの損傷を避けてください。

ワイパーブレードの交換（標準フロントウインドウワイパー）


ワイパーブレードの垂直位置への移動

キーレスゴーを使用していないとき：

- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわします（▷234 ページ）。
- ▶ フロントウインドウのワイパーを  の位置に設定します。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **1** の位置にまわします（▷234 ページ）。
- ▶ ボンネットに対してワイパーアームが垂直になったら、ただちにエンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわします（▷234 ページ）。
- ▶ キーを抜いてください。
- ▶ 所定の位置に止まった手応えがあるまで、ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。

キーレスゴーを使用しているとき：

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ ブレーキペダルから足を放します。

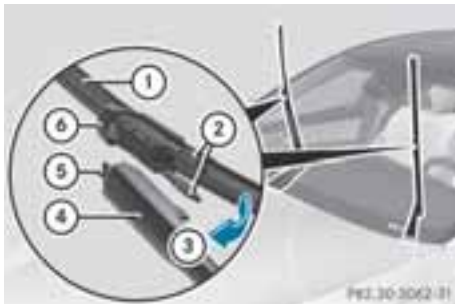
- ▶ フロントウインドウのワイパーを  の位置に設定します。
- ▶ フロントワイパーが動き出すまで、キーレスゴースイッチを繰り返し押しします。
- ▶ ワイパーアームが垂直位置に達したときに、フロントウインドウのワイパーが停止するまでキーレスゴースイッチを繰り返し押しします。
- ▶ 所定の位置に止まった手応えがあるまで、ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。

ワイパーブレードを取り外す



- ▶ 両方のロック解除クリップ **②** を押しします。
- ▶ 矢印 **③** の方向に、ワイパーブレード **①** をワイパーアーム **④** から起こします。
- ▶ 矢印 **⑤** の方向に、ワイパーブレード **①** を取り外します。

ワイパーブレードを取り付ける




- ▶ 新しいワイパーブレード①の凹部⑥をラグ⑤に合わせます。
- ▶ 固定クリップ②がブラケット④に固定されるまで、ワイパーブレード①を矢印③の方向にワイパーアームに倒します。
- ▶ ワイパーブレード①が正しく位置していることを確認します。
- ▶ ワイパーアームをフロントウインドウに倒して戻します。

ワイパーブレードの交換（マジックビジョンコントロール）


ワイパーブレードの垂直位置への移動

キーレスゴーを使用していないとき：

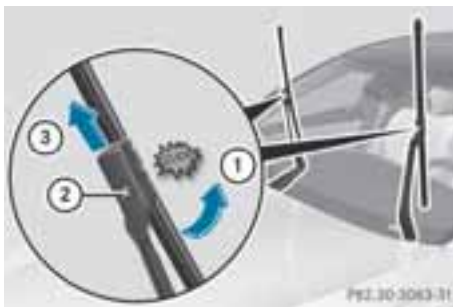
- ▶ エンジンスイッチのキーを0の位置にまわします（▷234ページ）。
- ▶ フロントウインドウのワイパーをの位置に設定します。
- ▶ エンジンスイッチのキーを1の位置にまわします（▷234ページ）。
- ▶ ボンネットに対してワイパーアームが垂直になったら、ただちにエンジンスイッチのキーを0の位置にまわします（▷234ページ）。
- ▶ キーを抜いてください。

- ▶ 所定の位置に止まった手応えがあるまで、ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。

キーレスゴーを使用しているとき：

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ ブレーキペダルから足を放します。
- ▶ フロントウインドウのワイパーをの位置に設定します。
- ▶ フロントワイパーが動き出すまで、キーレスゴースイッチを繰り返し押しします。
- ▶ ワイパーアームが垂直位置に達したときに、フロントウインドウのワイパーが停止するまでキーレスゴースイッチを繰り返し押しします。
- ▶ 所定の位置に止まった手応えがあるまで、ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。

ワイパーブレードを取り外す

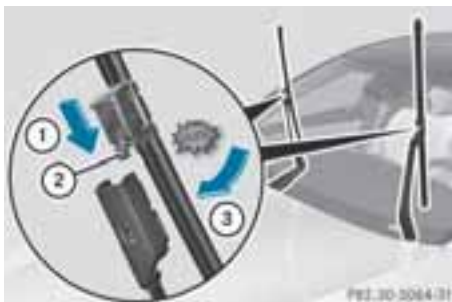


- ▶ **ワイパーブレードを取り外しの位置にする：**ワイパーアームを片方の手でしっかり持ちます。もう片方の手で、手応えがあるところを越えるまでワイパーブレードを矢印①の方向にまわします。

カチッと音がして、ワイパーブレードが取り外しの位置で固定されます。

- ▶ **ワイパーブレードを取り外す**：ロック解除ノブ②をしっかりと押して、ワイパーブレードを上方③へ引きまします。

ワイパーブレードを取り付ける



- ▶ タブ②が固定されるまで、ワイパーアーム上で新品のワイパーブレードを矢印①の方向に押しまします。
- ▶ 手応えがあるところを越えるまで、ワイパーブレードを矢印③の方向にまわしまします。
カチッという音がして、ワイパーブレードのロックが解除され、再び自由に動くようになります。
- ▶ ワイパーブレードが正しく位置していることを確認しまします。
- ▶ ワイパーアームをフロントウインドウに倒して戻しまします。

フロントウインドウワイパーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
フロントウインドウワイパーが妨げられている。	<p>葉や雪などにより、フロントウインドウワイパーの作動が妨げられていることがある。ワイパーモーターが停止している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジンスイッチのキーをまわすか、キーレスゴースイッチを使用してエンジンを停止し、運転席ドアを開いてください。 ▶ 妨げている原因を取り除いてください。 ▶ 再度、フロントウインドウワイパーを作動させてください。
フロントウインドウワイパーが全く作動しない。	<p>フロントウインドウワイパーの駆動系統が故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ コンビネーションスイッチでワイパーの他の作動を選択してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですフロントウインドウワイパーの点検を受けてください。 <p>ワイパーモーターが停止している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジンスイッチのキーをまわすか、キーレスゴースイッチを使用してエンジンを停止し、運転席ドアを開いてください。 ▶ 妨げている原因を取り除いてください。 ▶ 再度、フロントウインドウワイパーを作動させてください。
標準ワイパーシステムのみ：噴射ノズルからのフロントウインドウウォッシャー液が、フロントウインドウの中央に当たらなくなっている。	<p>噴射ノズルの角度がずれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場です噴射ノズルを調整してください。

役に立つ情報	206
エアコンディショナーシステムの概要	206
エアコンディショナーシステムの操作	210
送風口の調整	228

役に立つ情報

1 この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

1 メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

エアコンディショナーシステムの概要

全体的な注意事項

以下のページで推奨されている設定に従ってください。さもないと、ウィンドウが曇るおそれがあります。

ウィンドウを曇りから防ぐために、以下のことを行なってください：

- エアコンディショナーは短時間のみ停止してください
- 内気循環モードは短時間のみ作動させてください
- AC モードを作動させてください
- 必要な場合は、" フロントウィンドウデフロスター " 機能を短時間作動させてください

エアコンディショナーは車内の温度および空気の湿度を制御します。エアフィルターは空気を清浄し、室内の環境を改善します。

内燃エンジン装備車両では、エンジンがかかっているときにのみ AC モード機能を使用することができます。ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両では、エンジンがかかっていないときは、電気式冷却コンプレッサーで AC モード機能を使用することができます。サイドウィンドウおよびルーフが閉じているときにのみ、エアコンディショナーは最適に作動します。

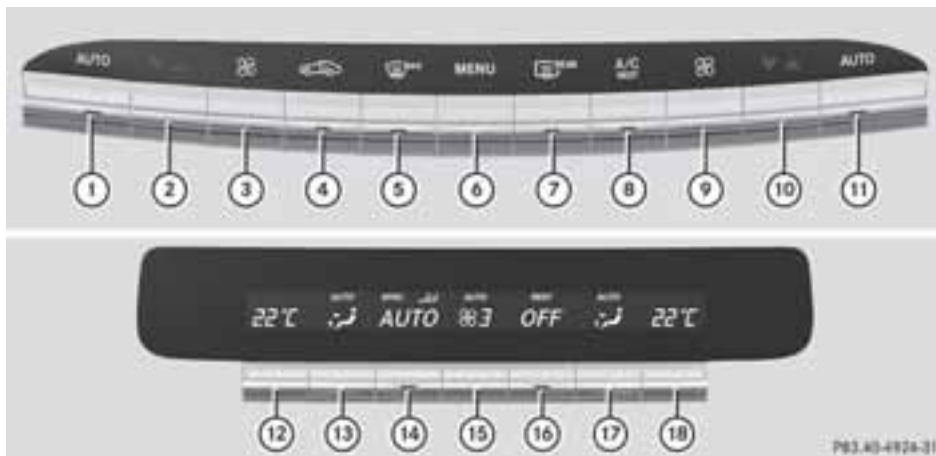
余熱ヒーター機能は、イグニッションがオフのときにのみ作動または停止することができます (▷234 ページ)。

1 暖かい天気の間は、例えばコンビニエンスオープニング機能を使用して少しの間車両を換気します (▷141 ページ)。これにより、冷却処理が速くなり、より速く希望の車内温度に達します。

1 内蔵フィルターにより、ほこりや煤煙の大部分の粒子や、花粉の大部分をろ過することができます。気体状の汚染物質および臭いも減少させます。詰まったフィルターは、車内に供給される空気の量を減らします。このため、整備手帳で規定されているフィルターの交換間隔に必ず従ってください。重度の大気汚染などの環境状況によっては、間隔は整備手帳に記載されているものより短くなる場合があります。

1 外気温度などのさまざまな要因によっては、キーを抜いた後の 60 分間は自動的に送風が作動することがあります。その後、オートエアコンディショナーを乾燥させるために、車両は 30 分間換気されます。

クライメートコントロールのコントロールパネル

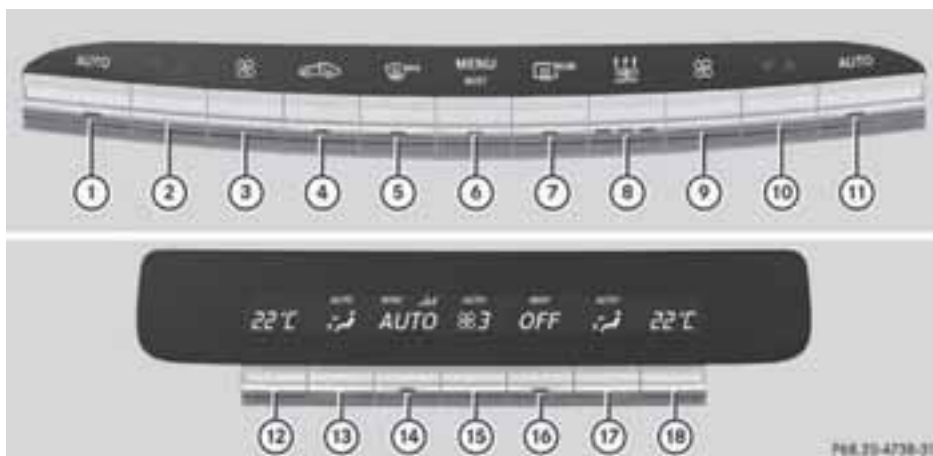


フロントコントロールパネル

- ① エアコンディショナーをオートに設定、左 (▷212 ページ)
- ② 温度の設定、左 (▷214 ページ)
- ③ 送風量の設定、左 (▷216 ページ)
- ④ 内気循環モードの作動 / 停止 (▷219 ページ)
- ⑤ フロントウインドウの曇り取り (▷218 ページ)
- ⑥ COMAND システムのエアコンディショナーメニューの呼び出し
- ⑦ リアデフォグガーの作動 / 停止の切り替え (▷218 ページ)
- ⑧ AC モードの作動 / 停止 (▷211 ページ)
余熱ヒーター機能の作動 / 停止 (▷221 ページ)
- ⑨ 送風量の設定、右 (▷216 ページ)
- ⑩ 温度の設定、右 (▷214 ページ)
- ⑪ エアコンディショナーをオートに設定、右 (▷212 ページ)

リアコントロールパネル (後席専用クライメートコントロール装備車両のみ)

- ⑫ 温度の設定、左 (▷214 ページ)
- ⑬ 送風配分の設定、左 (▷216 ページ)
- ⑭ エアコンディショナーをオートモードに設定 (▷212 ページ)
- ⑮ 送風量の設定 (▷216 ページ)
- ⑯ エアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え (▷210 ページ)
余熱ヒーター機能の作動 / 停止 (▷221 ページ)
- ⑰ 送風配分の設定、右 (▷216 ページ)
- ⑱ 温度の設定、右 (▷214 ページ)



プラグインハイブリッド車両

フロントコントロールパネル

- ① エアコンディショナーをオートに設定、左 (▷212 ページ)
- ② 温度の設定、左 (▷214 ページ)
- ③ 送風量の設定、左 (▷216 ページ)
- ④ 内気循環モードの作動 / 停止 (▷219 ページ)
- ⑤ フロントウインドウの曇り取り (▷218 ページ)
- ⑥ COMAND システムのエアコンディショナーメニューの呼び出し
余熱ヒーター機能の作動 / 停止 (▷221 ページ)
- ⑦ リアデフォグガーの作動 / 停止の切り替え (▷218 ページ)
- ⑧ "プレエントリーエアコンディショニングの作動 / 停止 (▷210 ページ)
余熱ヒーター機能の作動 / 停止 (▷221 ページ)
- ⑨ 送風量の設定、右 (▷216 ページ)
- ⑩ 温度の設定、右 (▷214 ページ)
- ⑪ エアコンディショナーをオートに設定、右 (▷212 ページ)

リアコントロールパネル (後席専用クライメートコントロール装備車両のみ)

- ⑫ 温度の設定、左 (▷214 ページ)
- ⑬ 送風配分の設定、左 (▷216 ページ)
- ⑭ エアコンディショナーをオートモードに設定 (▷212 ページ)
- ⑮ 送風量の設定 (▷216 ページ)
- ⑯ エアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え (▷210 ページ)
余熱ヒーター機能の作動 / 停止 (▷221 ページ)
- ⑰ 送風配分の設定、右 (▷216 ページ)
- ⑱ 温度の設定、右 (▷214 ページ)


**エアコンディショナーの使用に関する
注意事項**

オートエアコンディショナー

以下に、エアコンディショナーシステムを最適に使用するための参考となる、いくつかの注意事項および推奨事項があります。

- 切り替えスイッチ **AUTO** を使用して、エアコンディショナーを作動させます。
切り替えスイッチ **AUTO** の表示灯が点灯します。
- 温度を 22°C に設定します。
- フロントウインドウデフロスター機能は、フロントウインドウの曇りが取れるまで、短時間のみ使用してください。
- 内気循環モードは、不快な外気の臭いがある場合やトンネル内にいるときなど、短時間のみ作動させてください。さもないと、内気循環モードでは車内に外気が取り込まれないため、ウインドウが曇るおそれがあります。
- イグニッションをオフにした後に車内を暖房または換気したいときは、余熱ヒーター機能を使用してください。余熱ヒーター機能は、イグニッションがオフのときにのみ、作動または停止することができます。イグニッションをオンにすると、余熱ヒーター機能が停止します。

フロントコントロールパネルを使用してリアエアコンディショナーを操作する場合は、以下に注意してください：

- フロントコントロールパネルを使用して後席のエアコンディショナーを設定する場合は、 マークが後席のコントロールパネルのディスプレイに表示されます。

- フロントコントロールパネルを使用して後席のエアコンディショナーを設定する場合は、同時にリアコントロールパネルを使用して設定することはできません。フロントコントロールパネルからのリアエアコンディショナーの操作がロックされている場合は、5 秒待ちます。その後、リアコントロールパネルを使用して、リアエアコンディショナーを操作することができます。
- 後席の設定を選択した後は、約 5 秒後に自動的に再度 COMAND システムでフロントエアコンディショナーを操作できます。
または、COMAND システムのエアコンディショナー機能バーで " 後席の中止 " を選択することができます。

ECO スタートストップ機能 (ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両を除く)

エンジン自動停止中は、エアコンディショナーは限られた出力でのみ作動します。エアコンディショナーの最大出力が必要な場合は、ECO スイッチを押すことにより、ECO スタートストップ機能を解除することができます (▷239 ページ)。

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両

車両が作動可能で、緑色または黄色の READY 表示灯が点灯しているときに、AC モード機能を使用することができます (▷352、371 ページ)。

内燃エンジンが自動的に停止した場合は、設定された車内の温度が一定期間維持されます。

エアコンディショナーシステムの操作

エアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え

全体的な注意事項

エアコンディショナーを停止したときは、送風および空気の循環も停止します。ウィンドウが曇るおそれがあります。そのため、エアコンディショナーの停止は短時間のみにしてください。

最初に切り替えスイッチ **AUTO** を使用して、エアコンディショナーを作動させてください (▷212 ページ)。

フロントコントロールパネルを使用したフロントエアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ **作動させる**：切り替えスイッチ **MENU** を上または下に押します。
COMAND システムのエアコンディショナーメニューが開きます。
- ▶ COMAND システムのエアコンディショナー設定バー経由で、エアコンディショナーを作動させます (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。
- ▶ **停止する**：切り替えスイッチ **MENU** を上または下に押します。
COMAND システムのエアコンディショナーメニューが開きます。
- ▶ COMAND システムのエアコンディショナー設定バー経由で、エアコンディショナーを停止します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

フロントコントロールパネルを使用したリアエアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え

フロントコントロールパネルを使用してのリアエアコンディショナーの操作に関する注意事項に従ってください (▷209 ページ)。

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ **作動させる**：切り替えスイッチ **MENU** を上または下に押します。
COMAND システムのエアコンディショナーメニューが開きます。
- ▶ エアコンディショナー設定バーで "後席の調整" を選択します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。
フロントコントロールパネル、または COMAND システムを使用して、後席エアコンディショナーを操作することができます。
- ▶ エアコンディショナー設定バーで後席のエアコンディショナーを作動させます。
- ▶ **停止する**：切り替えスイッチ **MENU** を上または下に押します。
COMAND システムのエアコンディショナーメニューが開きます。
- ▶ エアコンディショナー設定バーで "後席の設定" を選択します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。
- ▶ エアコンディショナー設定バーで後席のエアコンディショナーを停止します。

リアパネルを使用しての後席のエアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え

- ▶ イグニッション位置を 2 にします。
- ▶ **作動させる**：切り替えスイッチ ⑩ を上または下に押します (▷207、208 ページ)。
切り替えスイッチ ⑩ の表示灯が消灯します。すべての設定が後席ディスプレイに全画面で表示されます。
- ▶ **停止する**：切り替えスイッチ ⑩ を上または下に押します (▷207、208 ページ)。
切り替えスイッチ ⑩ の表示灯が点灯します。

AC モードの作動 / 停止



全体的な注意事項

"AC モード" 機能を停止した場合は、車内の空気は冷却されません。車内の空気の除湿も行なわれません。より早くウィンドウが曇ることがあります。そのため、AC モードは短時間のみ解除してください。


内燃エンジン装備車両では、エンジンがかかっているときに AC モード機能を使用することができます。ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両では、エンジンがかかっていないときも、電気式冷却コンプレッサーで AC モード機能を使用することができます。選択されている温度に応じて、車内の空気は冷却および除湿されます。

AC モードが作動しているときは、車両の下から凝結水が落ちることがあります。これは正常なことで、故障があることの兆候ではありません。

AC モードの作動 / 停止

- ▶ **作動させる**：切り替えスイッチ  を上または下に押します。
切り替えスイッチの表示灯が点灯します。
または
- ▶ COMAND システム経由で、"AC モード" 機能を作動させます (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。
- ▶ **停止する**：切り替えスイッチ  を上または下に押します。
切り替えスイッチの表示灯が消灯します。
または
- ▶ COMAND システム経由で、"AC モード" 機能を停止します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

AC モードのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 スイッチの表示灯が 3 回点滅する、または消灯したままである。COMAND システムを使用して AC モードを作動させることができなくなった（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。	故障のため、AC モードが解除されている。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

エアコンディショナーを AUTO モードに設定する


全体的な注意事項

AUTO モードでは、自動的に一定の設定温度に保たれます。システムは、送風温度、送風量および送風配分を自動的に制御します。

AUTO モード機能は、AC モード機能が作動しているときに最適に作動します。好みにより、AC モードを解除することができます。


"AC モード" 機能を停止した場合は、車内の空気は冷却されません。車内の空気の除湿もされません。ウインドウはより早く曇ることがあります。そのため、"AC モード" 機能は短時間のみ解除してください。

フロントコントロールパネルを使用してのフロントエアコンディショナーの自動制御


- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ フロントコントロールパネルの切り替えスイッチ  を使用して、希望する温度を設定します。

または

- ▶ COMAND システムを使用して、希望の温度を設定します（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

- ▶ **作動させる**：切り替えスイッチ  を上または下に押します。

切り替えスイッチ  の表示灯が点灯します。

- ▶ **手動作動に切り替える**：切り替えスイッチ  を上または下に押します。

または

- ▶ COMAND システムを使用して、送風量を設定します（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

または

- ▶ COMAND システムを使用して、送風配分を設定します（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

切り替えスイッチ  の表示灯が消灯します。

AUTO モードで送風量または送風配分を手動で調整した場合は、切り替えスイッチ **AUTO** の表示灯が消灯します。ただし、手動で変更されなかった機能は自動で制御され続けます。手動で設定した機能が AUTO モードに切り替わったときは、切り替えスイッチ **AUTO** の表示灯が再度点灯します。

フロントコントロールパネルを使用してのリアエアコンディショナーの自動制御

フロントコントロールパネルを使用しての後席エアコンディショナーの操作についての注意事項に従ってください (▷209 ページ)。

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ 切り替えスイッチ **MENU** を上または下に押します。

COMAND システムのエアコンディショナーメニューが開きます。

- ▶ エアコンディショナー設定バーで "後席の調整" を選択します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

フロントコントロールパネル、または COMAND システムを使用して、後席エアコンディショナーを操作することができます。

- ▶ フロントコントロールパネルの切り替えスイッチ **▼▲** を使用して、希望の温度を設定します。

または

- ▶ COMAND システムを使用して、希望の温度を設定します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。
- ▶ **作動させる**：フロントコントロールパネルの切り替えスイッチ **AUTO** を上または下に押します。

または

- ▶ COMAND システムのエアコンディショナー設定バー経由で AUTO モードを作動させます (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

切り替えスイッチ **AUTO** の表示灯が点灯します。

- ① その後すぐに、温度および AUTO モードを選択します。さもないと、AUTO モードを作動させる前に、エアコンディショナー設定バーから "後席の調整" を再度選択しなければなりません。

- ▶ **手動作動に切り替える**：切り替えスイッチ **MENU** を上または下に押します。

COMAND システムのエアコンディショナーメニューが開きます。

- ▶ エアコンディショナー設定バーで "後席の調整" を選択します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

- ▶ エアコンディショナー設定バーを使用して、AUTO モードを解除します。

または

- ▶ リアコントロールパネルの切り替えスイッチ **⑬** または **⑰** を使用して、送風配分を設定します (▷207、208 ページ)。

または

- ▶ リアコントロールパネルの切り替えスイッチ **⑱** を使用して、送風量を設定します (▷207、208 ページ)。

リアディスプレイの **AUTO** 表示が消灯します。

AUTO モードのときに COMAND システムを使用してリアの送風量または送風配分を手動で調整した場合は、切り替えスイッチ **AUTO** の表示灯が消灯します。ただし、手動で変更されなかった機能は自動で制御され続けます。手動で設定した機能が AUTO モードに切り替わったときは、切り替えスイッチ **AUTO** の表示灯が再度点灯します。

リアコントロールパネルを使用するのリアエアコンディショナーの操作

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ 切り替えスイッチ **12** および **18** (▷207, 208 ページ) を使用して、希望の温度を設定します。
- ▶ **作動させる**：スイッチ **14** を上または下に押します (▷207, 208 ページ)。スイッチ **14** の表示灯が点灯します。
- ▶ **停止する**：スイッチ **14** を上または下に押します (▷207, 208 ページ)。スイッチ **14** の表示灯が消灯します。

AUTO モードのときに送風量または送風配分を手動で調整した場合は、切り替えスイッチ **AUTO** の表示灯が消灯します。ただし、手動で変更されなかった機能は自動で制御され続けます。手動で設定した機能が AUTO モードに切り替わったときは、切り替えスイッチ **AUTO** の表示灯が再度点灯します。

エアコンディショナーモードの設定

AUTO モードでは、運転席および助手席エリアの以下の送風量の設定を選択できます。

- FOCUS やや涼しく設定される強い送風
- MEDIUM 中程度の送風、標準設定
- DIFFUSE やや暖かく設定され、風の流れも弱くなる弱い送風

- ▶ **設定する**：COMAND システムを使用して、エアコンディショナーモードを設定します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

温度の設定

全体的な注意事項



後席専用クライメートコントロール装備車両では、以下のエリアの温度を個別に設定することができます。

- フロントの足元、左および右
- 運転席および助手席エリア
- 後席、左および右



後席専用クライメートコントロール非装備車両では、以下のエリアの温度を個別に設定することができます。

- フロントの足元、左および右
- 運転席および助手席エリア

フロントコントロールパネルを使用しての前席の温度設定

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ **上げる / 下げる**：切り替えスイッチ **▼▲** を上または下に押します。

または

- ▶ COMAND システムを使用して温度を設定します（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

温度設定は少しずつ変更してください。22°Cから開始してください。

フロントコントロールパネルを使用しての後席の温度の設定

フロントコントロールパネルを使用しての後席エアコンディショナーの操作についての注意事項に従ってください（▷209 ページ）。

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ 切り替えスイッチ **MENU** を上または下に押します。

COMAND システムのエアコンディショナーメニューが開きます。

- ▶ エアコンディショナー設定バーで "後席の調整" を選択します（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

フロントコントロールパネル、または COMAND システムを使用して後席エアコンディショナーを操作することができます。

- ▶ **上げる / 下げる**：フロントコントロールパネルの切り替えスイッチ **▼▲** を上または下に押します。

または

- ▶ COMAND システムを使用して温度を設定します（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

温度設定は少しずつ変更してください。22°Cから開始してください。

リアコントロールパネルを使用しての後席の温度の設定

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ **上げる / 下げる**：切り替えスイッチ **⑫** または **⑬** を上または下に押します（▷207, 208 ページ）。









温度設定は少しずつ変更してください。22°Cから開始してください。

足元の温度の設定

運転席および助手席の足元の温度は、COMAND システムを使用して個別に設定することができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

送風配分の設定

送風配分を設定する

-  曇り取り送風口からの送風にする
-  中央およびサイド送風口からの送風にする
-  足元送風口からの送風にする
-  中央、サイドおよび足元送風口からの送風にする
-  足元および曇り取り送風口からの送風にする
-  曇り取り送風口、中央およびサイド送風口、ならびに足元送風口からの送風にする
-  中央およびサイド、ならびに曇り取り送風口からの送風にする
-  送風配分のオート設定

COMAND システムを使用時のフロント / リアの送風配分の設定

フロントおよび後席の左および右側の送風配分は、COMAND システムを使用して調整できます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

リアコントロールパネルを使用時の後席の送風配分の設定

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ 希望の送風配分マークがディスプレイに表示されるまで、切り替えスイッチ **⑬** または **⑰** を上または下に繰り返し押しします（▷207、208 ページ）。


送風量の設定

全体的な注意事項

運転席および助手席側、ならびに後席で異なる送風量の設定を選択できます（後席エアコンディショナー装備車両のみ）。

フロントコントロールパネルを使用時の後席エアコンディショナーの操作についての注意事項に従ってください（▷209 ページ）。

フロントコントロールパネルを使用時の前席の送風量の設定

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ **上げる / 下げる**：切り替えスイッチ  を上または下に押しします。

または

- ▶ COMAND システムを使用して、送風量を設定します（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

フロントコントロールパネルを使用時の後席の送風量の設定


フロントコントロールパネルを使用時の後席エアコンディショナーの操作に関する注意事項に従ってください（▷209 ページ）。

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ 切り替えスイッチ **MENU** を上または下に押しします。

COMAND システムのエアコンディショナーメニューが開きます。

- ▶ エアコンディショナー設定バーで "後席の調整" を選択します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。


フロントコントロールパネル、または COMAND システムを使用して、後席エアコンディショナーを操作することができます。

- ▶ **上げる / 下げる** : フロントコントロールパネルの切り替えスイッチ  を上または下に押します。

または

- ▶ COMAND システムを使用して、送風量を設定します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

リアコントロールパネルを使用しての後席の送風量の設定

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ **上げる / 下げる** : 切り替えスイッチ  を上または下に押します (▷207, 208 ページ)。

同期機能の作動 / 解除

同期機能を使用してエアコンディショナーを集中設定することができます。運転席側の温度、送風配分および送風量の設定が助手席側および後席 (後席エアコンディショナー装備車両) に適用されます。

- ▶ **作動 / 解除する** : COMAND システムを使用して、同期機能の作動または解除を切り替えます (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

後席エアコンディショナー装備車両 : 後席ディスプレイに **SYNC** が表示されます。


以下の場合、同期機能が停止します。

- 助手席側の設定が変更された場合
- 後席エアコンディショナー装備車両 : 後席の設定が変更された。

フロントウインドウデフロスター

この機能を使用して、フロントウインドウの霜を取る、またはフロントウインドウの内側およびフロントサイドウインドウの曇りを取ることができます。


フロントウインドウの曇りが取れたら、"フロントウインドウデフロスター" 機能をすみやかに停止してください。


- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ **作動させる** : フロントコントロールパネルの切り替えスイッチ  を上または下に押します。

切り替えスイッチ  の表示灯が点灯します。

エアコンディショナーが以下のように作動します :

- 多い送風量
- 高い温度
- フロントウインドウおよびフロントサイドウインドウへの送風配分
- 内気循環モードの解除

- ▶ **解除する** : 切り替えスイッチ  を上または下に押します。

切り替えスイッチ  の表示灯が消灯します。以前の設定が再度作動します。内気循環モードは停止したままになります。

または

- ▶ 切り替えスイッチ  を上または下に操作します。

または

- ▶ 切り替えスイッチ **MENU** を使用して、COMAND システムのエアコンディショナーメニューを呼び出します。

ウインドウの曇り取り

フロントウインドウの内側が曇るとき

- ▶ 切り替えスイッチ **A/C** で、"AC モード" 機能を作動させます。

または

- ▶ COMAND システム経由で、AC モード機能を作動させます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。
- ▶ 切り替えスイッチ **AUTO** を使用して AUTO モードを作動させます。
- ▶ ウインドウが曇り続ける場合は、切り替えスイッチ **MAX** を使用して、フロントウインドウデフロスター機能を作動させます。

i この設定は、フロントウインドウから再度曇りが取れるまでのみ選択してください。

フロントウインドウの外側が曇るとき

- ▶ フロントワイパーを作動させます。
- ▶ 切り替えスイッチ **AUTO** を使用して、AUTO モードを作動させます。

i ウインドウを定期的に清掃している場合は、それほど早く曇ることはありません。

リアデフォグガー

全体的な注意事項

リアデフォグガーは大きな電力を消費します。したがって、ウインドウの曇りが取れたら、すぐに停止してください。または、数分後に自動的に停止します。

バッテリーの電圧が非常に低下したときは、リアデフォグガーが停止する場合があります。

作動 / 停止

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
 - ▶ 切り替えスイッチ **DEFROST** を上または下に操作します。
- 切り替えスイッチ **DEFROST** の表示灯が点灯または消灯します。

リアデフォグガーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
リアデフォグガーが短時間で停止したり、または作動させることができない。	バッテリーが十分に充電されていない。 ▶ 読書灯、ルームライト、シートヒーターなど、必要のない電気装備を停止してください。 バッテリーが十分に充電されたときは、リアデフォグガーを再び自動的に作動させることができます。

内気循環モードの作動 / 停止


全体的な注意事項

不快なおいが外から車両に入ってくる場合は、外気の送風を手動で一時的に解除することもできます。そして、すでに車内にある空気が循環されます。


内気循環モードを作動させている場合は、特に温度が低いときにウィンドウがより早く曇ることがあります。ウィンドウの曇りを防ぐため、内気循環モードは短時間のみ作動させてください。


作動 / 停止


▶ イグニッション位置を **2** にします。

▶ **作動させる**：切り替えスイッチ  を上または下に押します。

切り替えスイッチ  の表示灯が点灯します。

外気の汚れがひどい状態では、または高い外気温度では内気循環モードが自動的に作動します。自動的に内気循環モードが作動しているときは、切り替えスイッチ  の表示灯は点灯しません。約 30 分後に外気が追加されます。

▶ **停止する**：切り替えスイッチ  を上または下に押します。

切り替えスイッチ  の表示灯が消灯します。

以下のときは、内気循環モードが自動的に停止します：

- 約 5℃以下の外気温度では約 5 分後
- AC モードが解除されている場合は約 5 分後
- AC モード機能が作動している場合で、約 5℃以上の外気温度では約 30 分後



内気循環スイッチを使用してのコンビニエンスオープニング / クロージング


警告


コンビニエンスクロージング機能が作動している場合、身体の一部がサイドウィンドウおよびスライディングルーフの閉じる範囲に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。


コンビニエンスクロージング機能进行操作しているときは、最後まで閉じる動作に注意してください。閉じている間は、閉じる範囲に身体を近づけないようにしてください。


⚠ 警告

コンビニエンスオープニング機能が作動しているときは、身体の一部が巻き込まれたり、サイドウィンドウとウィンドウフレームの間に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。開いている最中は、サイドウィンドウに触れないようにしてください。挟まれた場合は、ドアにあるサイドウィンドウ開閉用の  スイッチを操作してください。サイドウィンドウが停止します。サイドウィンドウを閉じるためには、 スイッチを引きます。

- ▶ **コンビニエンススクローリング機能（パノラミックスライディングルーフ装備車両）**：サイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが自動的に閉じ始めるまで、切り替えスイッチ  を上または下に押しして保持します。





切り替えスイッチ  の表示灯が点灯します。内気循環モードが作動します。

- ▶ **コンビニエンススクローリング機能（パノラミックスライディングルーフ非装備車両）**：サイドウィンドウが自動的に閉じ始めるまで、切り替えスイッチ  を上または下に押しして保持します。



切り替えスイッチ  スイッチの表示灯が点灯します。内気循環モードが作動します。


コンビニエンススクローリング機能で閉じた後にサイドウィンドウまたはパノラミックスライディングルーフを手動で開いた場合、コンビニエンスオープニング機能を使用して開いたときは、それらは開いたときの位置のままになります。


コンビニエンススクローリング機能が作動している間に、身体の一部が閉じる範囲に入った場合は、以下のように入ってください：

- ▶ サイドウィンドウ開閉用の  スイッチを押します。
サイドウィンドウが停止します。
- ▶ その後にサイドウィンドウを開くためには、 スイッチを再度押します。
- ▶ **パノラミックスライディングルーフ装備車両のみ**：パノラミックスライディングルーフ開閉用の  スイッチを操作します。
パノラミックスライディングルーフが停止します。
- ▶ パノラミックスライディングルーフを開くためには、 スイッチを後方に引きます。

以下の、自動リバース機能に関する注意事項に従ってください。

- サイドウィンドウ（▷140 ページ）
- パノラミックスライディングルーフ（▷146 ページ）
- ▶ **コンビニエンスオープニング機能（パノラミックスライディングルーフ装備車両）**：サイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが自動的に開き始めるまで、切り替えスイッチ  を上または下に押しして保持します。
切り替えスイッチ  の表示灯が消灯します。内気循環モードが解除されます。

- ▶ **コンビエンスオープニング機能 (パノミックスライディングルーフ非装備車両)**：サイドウィンドウが自動的に開き始めるまで、切り替えスイッチ  を上または下に押しして保持します。

切り替えスイッチ  の表示灯が消灯します。内気循環モードが解除されます。

余熱ヒーター機能の作動 / 停止


全体的な注意事項

後席エアコンディショナー装備車両：エンジンを停止した後に、エンジンの余熱を利用して約 15 分間、車両の前後席を暖める、または換気し続けることができます。"余熱ヒーター"機能が前席のみ、または後席のみで設定されている場合は、約 30 分間暖める、または換気し続けることができます。

後席エアコンディショナー非装備車両：エンジンを停止した後に、エンジンの余熱を利用して約 30 分間、車両の前席を暖める、または換気し続けることができます。

暖める、または換気する時間は設定した温度によります。



フロントコントロールパネルでの操作

- ▶ イグニッション位置を **0** にするか、エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ **作動させる**：切り替えスイッチ  を上または下に押しします。

切り替えスイッチ  の表示灯が点灯します。

設定された送風量に関係なく、一定の少ない送風量に保たれます。


外気温度が高いときに余熱ヒーター機能を作動させた場合は、換気のみが行なわれます。このときは、中程度の送風量になります。

- ▶ **停止する**：切り替えスイッチ  を上または下に押しします。
切り替えスイッチ  の表示灯が消灯します。


リアコントロールパネルでの操作


- ▶ イグニッション位置を **0** にするか、エンジンスイッチからキーを抜きます。

後席ディスプレイに **REST** が表示されます。

- ▶ **作動させる**：切り替えスイッチ  を上または下に押しします (▶207、208 ページ)。

切り替えスイッチ  の表示灯が点灯します。

- ▶ **停止する**：切り替えスイッチ  を上または下に押しします (▶207、208 ページ)。

切り替えスイッチ  の表示灯が消灯します。後席ディスプレイの **REST** が消灯します。

i 余熱ヒーター機能を作動させない場合は、約 5 分後に後席ディスプレイの **REST** が自動的に消灯します。余熱ヒーターは、以下のように自動的に停止します：

- 余熱ヒーター機能が前席または後席で作動している場合は約 30 分後
- 余熱ヒーター機能が前席および後席で作動している場合は約 15 分後
- イグニッションをオンにしたとき
- バッテリーの電圧が低下した場合


パフュームアトマイザー

パフュームアトマイザーの操作

 警告

子供が香水のビンを開けた場合は、香水を飲んだり、または目に触れるおそれがあります。けがの危険性があります。子供だけを車内に残さないでください。

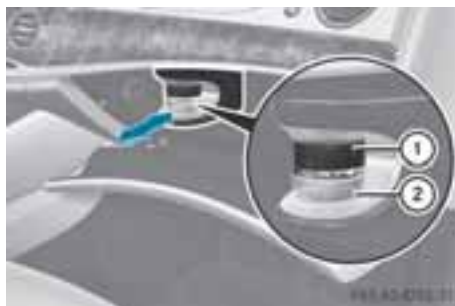
香水の液体を飲んだ場合は、医師に相談してください。香水が目または皮膚に触れた場合は、目を清潔な水で洗い流してください。問題が続く場合は、医師に相談してください。

 環境に関する注意事項

満たされている香水容器は、家庭用ゴミと一緒に廃棄しないでください。それらは個別に回収し、環境に適合するリサイクル方法で処分してください。



満たされている香水容器は環境保護の観点から責任を持って廃棄し、特別なゴミ収集場に持参してください。



- ① 香水のカバー
- ② 香水の容器

パフュームアトマイザーは、走行時の快適性を向上させる装備です。

COMAND システムを使用して以下のことができます：

- パフュームアトマイザーの作動および停止を切り替える
- 香水の強さを制御する

デジタル版取扱説明書をご覧ください。

以下の条件は、香水の強さの効果に影響を与えることがあります：

- オートエアコンディショナーの作動モード
- 室内の温度
- 年 / 日などでの時期
- 空気の湿度
- 疲労や空腹などの乗員の生理学的な状態

パフュームアトマイザーはエアコンディショナーが作動しているときにのみ作動させることができ、グローブボックスが閉じているときのみ作動します。

パフュームアトマイザーには、あらかじめ香水が詰められた容器が付属しています。

空のときは、香水容器を補充しないでください。使用後は、使用した容器を廃棄してください。

- ▶ **香水容器を差し込む：**グローブボックス (▷491 ページ) を開きます。
- ▶ 香水容器をホルダーにいっぱいまでスライドさせます。
- ▶ **香水容器を取り外す：**香水容器を引き出します。

パフュームアトマイザーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
パフュームアトマイザーが作動しているが、車内が香らない。	香水容器がホルダーにいっぱいまで押されていない。 ▶ 香水容器をホルダーにいっぱいまでスライドさせます。
	香水容器に香水がない。 ▶ 空になった香水容器を廃棄してください。 ▶ 新しい香水容器をお買い求めください。
	パフュームアトマイザーが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でパフュームアトマイザーを点検してください。

空気清浄機能

空気清浄機能を使用して、車内の空気を浄化し、車内環境を向上させることができます。

車内の空気清浄機能は無臭で、車内で直接気付くことはありません。

COMAND システムを使用して、空気清浄機能の作動および停止を切り替えることができます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

フロントオートエアコンディショナーが作動している場合にのみ、空気清浄機能を作動させることができます。助手席のサイド送風口が開いていなければなりません。

"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能

全体的な注意事項

"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能は、ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両でのみ作動します。

"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能の設定 / 解除は、COMAND システムのエアコンディショナーメニューで行ないます。

ハイブリッド車両：乗車する前に、あらかじめ運転席周辺を短時間暖める、または送風口からのあらかじめ冷却した空気で換気することができます。

プラグインハイブリッド車両：乗車する前に、あらかじめ運転席周辺を短時間暖める、または送風口からのあらかじめ冷却した空気で換気することができます。

"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能を作動させるためには、高電圧バッテリーが十分に充電されていなければなりません。

車両があらかじめ冷房されるときは、以下の機能が作動します：

- オートエアコンディショナー
- 送風
- シートベンチレーター

ハイブリッド車両：車両をあらかじめ暖める場合は、以下の機能が作動します。

- シートヒーター
- ドアミラーヒーター
- リアデフォグガー

プラグインハイブリッド車両：車両をあらかじめ暖める場合は、以下の機能が作動します：

- オートエアコンディショナー
- 送風
- シートヒーター
- ステアリングヒーター
- ドアミラーヒーター
- リアデフォグガー

COMAND システムを使用して以下の機能を設定している場合は、"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング"機能と一緒に作動します：

- アームレストヒーター
- パフュームアトマイザー
- 空気清浄機能

パフュームアトマイザー / 空気清浄機能の作動（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング"機能の設定 / 解除

"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング"機能を作動させる前に、COMAND システムで機能を設定しておく必要があります。

▶ **設定 / 解除する：**COMAND システムのエアコンディショナーメニューを呼び出します。

▶ コントローラーをまわして **REMOTE CLIMATE CONTROL** を選択し、押します。

▶ コントローラーを右側にスライドします。

▶ コントローラーをまわして、"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング"機能の設定 / 解除を選択します。

チェックマークが表示されているときは、"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング"機能が設定されています。

▶ コントローラーを押して、確定します。

"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング"機能の作動 / 停止

▶ **作動させる：**キーまたはキーレスゴー操作で車両を解錠します。

ハイブリッド車両：事前暖房または事前冷房のために、エアコンディショナー機能が最大 2 分間作動します。

プラグインハイブリッド車両：事前暖房または事前冷房のために、エアコンディショナー機能が最大 5 分間作動します。

▶ **停止する：**"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング"機能は、エンジンを停止すると自動的に停止します。

以下の機能は、エンジンを始動した後も作動したままになります：

- シートヒーター（暖房）
- シートベンチレーター（換気）
- アームレストヒーター
- パフュームアトマイザー
- 空気清浄機能

プラグインハイブリッド車両：作動している "キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能は、切り替えスイッチを使用して停止することができます（▷227 ページ）。

"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能のトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能が作動しない、または停止する。</p>	<p>高電圧バッテリーの充電状態が、規定の最低充電状態を下回っている。</p> <p>▶ 車両が停止しているときに、エンジンを始動してください。内燃エンジンが電気モーターを駆動します。電気モーターは発電機として作動します。高電圧バッテリーが充電されます。</p> <p>ハイブリッド車両：高電圧バッテリーの充電についてのさらなる情報（▷260 ページ）。</p> <p>プラグインハイブリッド車両：下記を経由しての、高電圧バッテリーの充電についてのさらなる情報：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源ソケット（▷264 ページ） • 充電ステーション（▷267 ページ） • 充電ボックス（▷267 ページ） <p>ハイブリッド車両：エンジンを停止した状態で、"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能を1回以上始動させた。</p> <p>プラグインハイブリッド車両：エンジンを停止した状態で、"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能を1回以上始動させた。</p> <p>▶ エンジンを始動して、10 秒以上そのままにしてください。</p> <p>▶ もう一度、"キーを使用したプレエントリーエアコンディショニング" 機能を作動させてください。</p> <p>ハイブリッド車両：車内温度と希望する温度との間の差が小さすぎる。</p> <p>▶ 車内温度と希望する温度の差を大きくしてください。</p>

" 出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング " 機能

重要な安全上の注意事項

警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

全体的な注意事項

" 出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング " 機能は、プラグインハイブリッド車両でのみ作動します。

エンジンが作動していない場合に、" 出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング " 機能を使用して、車内を冷房または暖房することができます。

" 出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング機能は、車両が電源に接続されているか否かに関らず、作動させることができます。ただし、高電圧バッテリーの充電状態は指定された最低充電状態より高くなければなりません。

車両が電源に接続されている場合は、高電圧バッテリーを指定された最低充電状態まで充電することが優先されます。" 出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング " 機能は、その後でのみ作動します。

以下の場合は、" 出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング " 機能の作動時間が減少することがあります：

- 車両が電源に接続されていない、そして
- 高電圧バッテリーが十分に充電されていない

充電ケーブルコネクタが接続されている場合でも、" 出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング " を作動させると、高電圧バッテリーの充電状況が減少することがあります。

車両を冷やすときは、以下の機能が作動します：

- オートエアコンディショナー
- 送風
- シートベンチレーター

車両を暖めるときは、以下の機能が作動します：

- オートエアコンディショナー
- 送風
- シートヒーター
- アームレストヒーター
- ドアミラーヒーター
- リアデフォグガー

i エアコンディショナーの他の機能とは異なり、シートヒーター / ベンチレーション、およびアームレストヒーターは、必要な場合にのみ作動します。

COMAND システムを使用してパフュームアトマイザーまたは空気清浄機能を設定している場合は、" 出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング " と一緒に作動します。

パフュームアトマイザー / 空気清浄機能の作動（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

出発時刻の設定

マルチファンクションディスプレイを使用して出発時刻を設定し、"出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング"機能の作動を、この出発時間に連動させることができます。そのときは、設定された出発時刻に間に合うように、希望する温度まで車両が冷房または暖房されます。

"出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング"機能は、出発前の最大 55 分間作動します。出発が遅れると、車両はさらに 5 分間暖房または冷房されます。

- ▶ **出発時刻を設定する**：マルチファンクションディスプレイ経由で出発時刻を設定します。
- ▶ **"出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング"機能を設定 / 解除する**：COMAND システムのエアコンディショナーメニューを呼び出します。
- ▶ コントローラーをまわして **REMOTE CLIMATE CONTROL** を選択し、押します。
- ▶ コントローラーを左側にスライドします。
- ▶ コントローラーをまわして、以下を選択します：
 - 運転席周辺のみでの"出発時刻でのプレエントリーエアコンディショニング"機能の設定
 - 車内全体での"出発時刻でのプレエントリーエアコンディショニング"機能の設定
 - "出発時刻でのプレエントリーエアコンディショニング"機能の解除
- ▶ コントローラーを押して、確定します。

車両が始動したとき、"出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング"機能は自動的に停止します。以下の機能は、作動したままになります：

- シートヒーター
- シートベンチレーター
- アームレストヒーター
- ステアリングヒーター
- パフュームアトマイザー
- 空気清浄機能

"出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング"機能を停止する：切り替えスイッチを使用して、作動している"出発時刻時でのプレエントリーエアコンディショニング"機能を停止することができます (▶227 ページ)。

切り替えスイッチを使用しての"プレエントリーエアコンディショニング"機能の作動 / 停止



車内がすでに希望の温度になっている場合でも、"プレエントリーエアコンディショニング"機能を作動させることができます。これは、たとえば走行が最大 50 分間中断されても、車内を冷暖房し続けて、車内温度を一定に保つことができるということを意味します。

切り替えスイッチの表示灯の色には、以下の意味があります：

- 青色：冷房が作動している
 - 赤色：ヒーターが作動している
 - 黄色：出発時刻があらかじめ選択されている
- ▶ "プレエントリーエアコンディショニング" 機能を作動 / 停止する：切り替えスイッチ ① を上または下に押します。

切り替えスイッチの上の青色または赤色の表示灯が点灯または消灯します。

送風口の調整

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

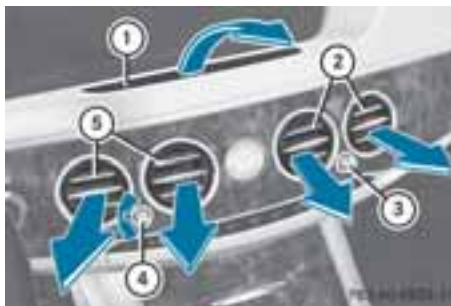
送風口から熱風や冷風が吹き出されることがあります。そのため、送風口に身体を近づけたままにしていると、火傷やしもやけなどを起こすおそれがあります。けがの危険性があります。

すべての乗員が送風口と十分な距離を確保していることを確認してください。必要に応じて、送風の向きを車内の他のエリアに変えます。

送風口から外気を直接車内に取り入れるため、以下の注意事項を守ってください。

- フロントウィンドウとボンネットの間にある吸気口に氷、雪または葉などの妨害物がないようにしてください。
- 送風口や車内の吸排気口をふさがないように注意してください。

中央送風口の調整



- ① 固定式中央送風口
- ② 中央送風口、右
- ③ 中央送風口ダイヤル、右
- ④ 中央送風口ダイヤル、左
- ⑤ 中央送風口、左

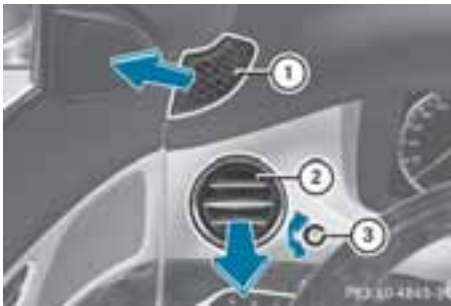
- ▶ **開く / 閉じる**：ダイヤル ③ または ④ を押します。

ダイヤルが出てきます。

- ▶ **ダイヤル ③ または ④ を時計回り、または反時計回りにまわします。**

- ▶ **送風の向きを調整する**：中央のフィンで中央送風口 ② または ⑤ を持ち、上または下に、または左または右に動かします。

サイド送風口の調整



- ① サイドウインドウの曇り取り送风口
- ② サイド送风口
- ③ 左側サイド送風口のダイヤル

▶ **開く / 閉じる**：ダイヤル③を押します。

ダイヤルが出てきます。

▶ **ダイヤル③**を時計回り、または反時計回りにまわします。

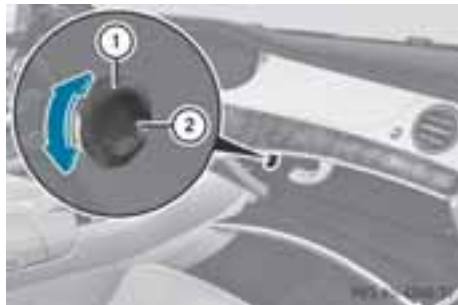
▶ **送風の向きを調整する**：中央のフィンでサイド送风口②を持ち、上または下に、または左または右に動かします。

グローブボックスの送風口の調整

! 暖房中は、グローブボックスの送风口を閉じてください。

外気温度が高いときは、グローブボックス内の送风口を開いて、エアコンをACモード（冷房・除湿）に設定してください。グローブボックス内の熱の影響を受けやすい収納物が損傷するおそれがあります。

エアコンディショナーが作動しているときは、収納物を冷やすためなどにグローブボックス内に送風することができます。送風量はエアコンディショナーの設定に連動します。



- ① 送风口開閉ダイヤル
- ② 送风口

▶ **開く / 閉じる**：ダイヤル①を時計回り、または反時計回りにまわします。

後席の送風口の調整

後席の中央送風口の調整



- ① 後席送风口、左
- ② 後席送风口、右
- ③ 後席送風口のダイヤル、右
- ④ リアコントロールパネル
- ⑤ 後席送風口のダイヤル、左

後席エアコンディショナー装備車両

▶ **開く / 閉じる**：ダイヤル③または⑤を押します。

ダイヤルが出てきます。

▶ **ダイヤル③または⑤**を時計回り、または反時計回りにまわします。

- ▶ **送風の向きを調整する**：中央のフィンで後席送風口①または②を持ち、上または下に、または左または右に動かします。



後席エアコンディショナー非装備車両

- ▶ **開く / 閉じる**：ダイヤル③を押します。
ダイヤルが出てきます。
- ▶ ダイヤル③を時計回り、または反時計回りにまわします。
- ▶ **送風の向きを調整する**：中央のフィンで、後席送風口①または②を持ち、上または下に、または左または右に動かします。

後席サイド送風口の調整



- ▶ **開閉する**：ダイヤル②を左または右にまわします。
- ▶ **送風の向きを調整する**：中央のフィンハンドルで後席サイド送風口①を持ち、上または下に、または左または右に動かします。

役に立つ情報	232
慣らし運転の注意事項	232
走行	233
オートマチックトランスミッション	245
給油	256
高電圧バッテリーの充電 (ハイブリッド車両)	260
高電圧バッテリーの充電 (プラグインハイブリッド車両)	260
駐車	271
運転のヒント	275
走行システム	280
ハイブリッドシステムの操作 (ハイブリッド車両)	342
ハイブリッドシステムの操作 (プラグインハイブリッド車両)	359

役に立つ情報

1 この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

1 メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

慣らし運転の注意事項

重要な安全上の注意事項

特定の走行および走行安全システムでは、車両が納車された後、あるいは修理後に一定距離を走行する間に、センサーシステムが自動的に調整されます。この読み込み処理が終了するまでは、完全なシステムの効果には達しません。

新しい、もしくは交換されたブレーキパッド / ライニングおよびディスクは、数百キロメートルの走行後にはのみ最適な制動効果を発揮します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少した制動効果を補ってください。

最初の 1,500 km

最初から十分な注意を払ってエンジンを取り扱った場合は、エンジンの寿命まで最大限の性能を得ることができます。

- 最初の 1,500 km では、さまざまな車両速度およびエンジン回転数で走行してください。
- フルスロットルで走行するなど、この期間は車両への大きな負担は避けてください。

- 手動でギアをシフトするときは、タコメーターの針がタコメーターのレッドゾーンの 2/3 に到達する前に適時シフトアップしてください。
- ブレーキを効かせるために、手動でギアをシフトダウンしないでください。
- 踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏む (キックダウン) ことは避けるようにしてください。
- 全車両 (AMG 車両を除く) :** 最初の 1,500km は、主に走行モード **E** で車両を走行してください。

AMG 車両の慣らし運転に関する追加の注意事項

- 最初の 1,500 km までは、140 km/h 以上の速度で走行しないでください。
- エンジンがエンジン最大回転数 4,500 rpm に達するのは、短時間のみにしてください。
- 最初の 1,500 km は、主に走行モード **C** で車両を走行してください。

1,500 km 後は、最大負荷およびエンジン回転数まで、車両を徐々に加速することができます。

車両のエンジンおよび駆動系部品の交換を行なった場合も、慣らし運転に関するこれらの注意事項に従ってください。

適用される速度制限には必ず従ってください。

走行

重要な安全上の注意事項

 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルを妨害することがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。フロアマットは指示にしたがって必ず確実に固定し、ペダル操作の妨げにならないようにペダルとの間に十分な空間があることを確認してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

 警告

以下のような適していない履物は、ペダルの正しい作動を妨げることがあります。

- 薄いソールの靴
- 高いヒールの靴
- スリッパ

事故の危険性があります。

適した履物を着用し、ペダルの正しい作動を確保してください。

 警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できないか、または全くできません。

これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。


走行中はイグニッションをオフにしないでください。

 警告

走行時にパーキングブレーキが解除されていない場合は、パーキングブレーキは以下になることがあります。

- 過熱および火災の原因
- 車両にブレーキを効かせられなくなる

火災と事故の危険性があります。発進する前に、パーキングブレーキを解除してください。

 車両が停止しているときは、エンジンを暖機しないでください。ただちに発進してください。エンジンが作動温度に達するまで、高いエンジン回転数やフルスロットルでの走行は避けてください。

車両が停止しているときにのみ、オートマチックトランスミッションを希望の走行位置にシフトしてください。

滑りやすい路面で発進するときは、可能な場所では駆動輪の空転を避けてください。ドライブトレインが損傷するおそれがあります。

! AMG 車：エンジンオイル温度が約+20℃以下のときなどエンジンが暖まっていない場合は、エンジン保護のためにエンジン回転数が制限されることがあります。エンジンを保護し、スムーズに作動させるため、エンジンが冷えているときはアクセルペダルを必要以上に踏み込まないでください。

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両の重要な安全上の注意事項に従ってください（P56 ページ）。

キーの位置

キー



- 0 キーを抜く
- 1 ワイパーのような電気装備への電力供給
- 2 イグニッション（すべての電気装備への電力供給）および走行位置
- 3 エンジンを始動する

キーがその車両のものでもなく、エンジンスイッチに差し込んでまわすことができる場合があります。ただし、イグニッションはオンになりません。エンジンの始動はできません。

キーレスゴースイッチ

重要な安全上の注意事項

危険

ペースメーカーまたは除細動器などの医療用電子機器を使用されている方：キーレスゴースイッチを操作するときは、キーと車両の間で電波の通信が行なわれます。電磁波が医療機器の機能に影響を与えるおそれがあります。健康に影響を与えるおそれがあります。

車両を操作する前に、そのようなシステムからの放射により起こりうる影響について、医師や医療機器メーカーにお問い合わせください。



① 車内アンテナの検知範囲

キーが車内にある場合は、乗員の誰もがエンジンを始動できることに留意してください。

全体的な注意事項

すべての車両には、着脱式のキーレスゴースイッチが装備されています。

エンジンスイッチにキーレスゴースイッチが差し込まれていて、キーが車内になければなりません。

キーレスゴースイッチをイグニッションスイッチに差し込んだとき、システムは2秒の認識時間を必要とします。その後、キーレスゴースイッチを使用することができます。

連続してキーレスゴースイッチを数回押すことは、エンジンスイッチのキーの位置を変更することに相当します。これは、ブレーキペダルを踏んでいない場合のみです。

ブレーキペダルを踏んでキーレスゴースイッチを押した場合は、ただちにエンジンが始動します。

車両とキーとの間で定期的に行なわれる無線通信によるチェックにより、車内に有効なキーがあるかどうかを確認します。エンジンを始動したときなどに、このことが行なわれます。

キーを操作せずに車両を始動するには：

- キーレスゴースイッチがエンジンスイッチに差し込まれていなければなりません。
- キーが車内になければなりません。
- キーまたはキーレスゴーで車両が施錠されているはいけません (▷122 ページ)。

連続してキーレスゴースイッチを数回押すことは、エンジンスイッチのキーの位置を変更することに相当します。これは、ブレーキペダルを踏んでいない場合のみです。

ブレーキペダルを踏んでキーレスゴースイッチを押した場合は、ただちにエンジンが始動します。

以下にはキーを近付けないでください。

- 携帯電話や他のキーなどの電子機器と一緒に

- 硬貨や金属片などの金属物と一緒に
- 金属ケースなどの金属物の内部に

キーの機能に影響を与えるおそれがあります。

キーのリモコンで、またはキーレスゴーで車両を施錠した場合は、しばらくすると以下ようになります。

- キーレスゴースイッチでイグニッションをオンにすることができなくなります。
- 車両が再度解錠されるまで、キーレスゴースイッチでエンジンを始動できなくなります。

フロントドアのドアロックスイッチを使用して車両を集中施錠した場合は (▷130 ページ)、続けてキーレスゴースイッチでエンジンを始動することができます。

車両が動いている間にキーレスゴースイッチを約3秒間押し続けることにより、エンジンを停止することができます。この機能は、ECO スタートストップ機能の自動エンジン停止の機能とは独立して作動します。

キーレスゴースイッチでのキーの位置



- ① キーレスゴースイッチ
- ② エンジンスイッチ

イグニッションをオンにしたときは、メーターパネルのすべての表示灯が点灯します。エンジン始動後に表示灯が消灯しない、または走行中に点灯する場合は、(▷459 ページ) をご覧ください。

キーレスゴースイッチ ① がまだ押されていない場合は、キーがエンジンスイッチから取り外されていることに相当します。

▶ **電力供給をオンにする**：キーレスゴースイッチ ① を 1 回押します。

電力供給がオンになります。これでフロントウインドウワイパーなどの電気装備を作動させることができます。

以下の場合に、電力供給は再度停止します。

- 運転席ドアを開いて、そして
- この位置のときにキーレスゴースイッチ ① を 2 回押す

▶ **イグニッションをオンにする**：キーレスゴースイッチ ① を 2 回押します。イグニッションがオンになります。

以下の場合、イグニッションがオフになります：

- 運転席ドアを開いて、そして
- この位置のときにキーレスゴースイッチ ① を 1 回押す

キーレスゴースイッチの取り外し

エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外し、通常のようにキーを使用して車両を始動することができます。

トランスミッションがポジション **P** のときにのみ、キーレスゴースイッチによる方法とキー操作との間で切り替えることができます。

▶ エンジンスイッチ ② からキーレスゴースイッチ ① を取り外します。

車から離れるときでも、エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外す必要はありません。ただし、車両を離れるときは必ずキーを携帯してください。キーが車内にある限りは、以下のことができます。

- キーレスゴースイッチを使用して車両を始動できます。
- 電気で作動する装備を操作できます。

車両の始動

重要な安全上の注意事項

警告

子供だけを車内に残した場合、以下のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行ない、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

警告

内燃エンジンは、一酸化炭素のような有毒な排気ガスを排出します。これらの排気ガスを吸い込むと中毒につながります。致命的なけがの危険性があります。従って、十分な換気がない閉じた空間でエンジンを作動させたままにしないでください。

警告

動物または環境の影響によってもたらされた可燃物が熱くなっているエンジンの部品または排気システムに接触すると、発火するおそれがあります。火災のおそれがあります。

定期的な点検を行ない、エンジンルーム、または排気システムに可燃性の異物がないことを確認してください。

! エンジンを始動するときは、アクセルペダルを踏まないでください。

全体的な注意事項

触媒コンバーターが作動温度により早く到達できるようにするために、冷間始動の間はエンジンはより高いエンジン回転数で作動します。その結果、エンジンの音が変わることがあります。

オートマチックトランスミッション

▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトします (▷245 ページ)。

マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示に **P** が表示されます (▷248 ページ)。

シフトポジション **P** および **N** でエンジンを始動できます。

キーでの始動操作

キーレスゴースイッチの代わりにキーを使用してエンジンを始動するためには、エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り出してください。

▶ エンジンスイッチのキーを **3** の位置にまわし (▷234 ページ)、エンジンが始動したらただちに放します。

キーレスゴースイッチを使用したエンジンの始動

エンジンスイッチにキーを差し込まずに、キーレスゴースイッチを使用してエンジンを始動することができます。車内にキーがあり、キーレスゴースイッチがエンジンスイッチに差し込まれていなければなりません。エンジン始動のためのこの手順は、ECO スタートストップ機能のエンジン自動始動機能とは独立して作動します。

有効なキーが車内にある場合は、エンジンを始動することができます。短時間でも車両から離れるときは、常にキーを携帯してください。"重要な安全上の注意事項" に注意してください。

▶ ブレーキペダルを踏み、踏んだままにします。

▶ キーレスゴースイッチを1度押します (▷235 ページ)。

エンジンが始動します。

発進

全体的な注意事項

 警告

エンジン回転数がアイドリング回転数以上で、トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れると、車両は突然発進することがあります。事故の危険性があります。

トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れるときは、常にブレーキペダルをしっかりと踏み、同時にアクセルペダルを踏まないでください。

発進するときにはアクセルを慎重に踏んでください。

発進すると、自動的に車両が施錠されます。ドアのロックノブが下がります。

ドアは車内からいつでも開くことができます。

車速感応ドアロックを解除することもできます (▷131 ページ)。

ブレーキペダルを踏んでいる場合のみ、トランスミッションをポジション **P** から希望のポジションにシフトすることができます。その後にのみ、パーキングロックが解除されます。ブレーキペダルが踏まれていない場合も、DIRECT SELECT レバーを動かすことができますが、パーキングロックは効いたままになります。

i 冷間始動後は、より高いエンジン回転数でシフトアップが行なわれます。これにより、排気ガスを浄化する触媒がより早く適正な作動温度に達します。

電気式パーキングブレーキの自動解除に関する情報については (▷274 ページ) をご覧ください。

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、登り坂勾配で後退または前進発進するときに運転者の支援を行いません。ブレーキペダルから足を放した後に、短時間車両を停止したままにします。これにより、車両が動き出す前にブレーキペダルからアクセルペダルへ足を動かし、アクセルペダルを踏む時間が得られます。

 警告

しばらくすると、ヒルスタートアシストは車両にブレーキを効かせなくなり、動き出すおそれがあります。事故やけがの危険性があります。

そのため、すばやくブレーキペダルからアクセルペダルに足を動かしてください。ヒルスタートアシストで車両が停止しているときは、絶対に車両から離れないでください。

以下では、ヒルスタートアシストは作動しません。

- 平坦な道路または下り坂で発進する
- トランスミッションがポジション **N** である
- 電気式パーキングブレーキを効かせた
- ESP[®] が故障している

ECO スタートストップ機能（ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両を除く全車両）

はじめに

この項目では、ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両を除くすべての車両のECO スタートストップ機能を記載しています。ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両のECO スタートストップ機能に関する情報は、以下をご覧ください。

- ハイブリッド車両（▷355 ページ）
- プラグインハイブリッド車両（▷374 ページ）

特定の条件下で車両が停止した場合は、ECO スタートストップ機能はエンジンを自動的に停止します。

再度発進するときは、エンジンは自動的に始動します。それにより、ECO スタートストップ機能は、燃料消費と排出物を低減させる支援を行いません。

重要な安全上の注意事項

警告


エンジンが自動的に停止したときに車両から出ると、エンジンは自動的に再始動します。車両が動き始めることがあります。事故やけがの危険性があります。

車両から出たい場合は、必ずイグニッションをオフにし、動き出さないように車両を固定してください。


全体的な注意事項



① ECO スタートストップ機能表示

マルチファンクションディスプレイにECO マーク  が緑色で表示された場合は、車両が停止するとECO スタートストップ機能がすぐにエンジンを自動的に停止します。


キーまたはキーレスゴースイッチを使用してエンジンを始動させるたびに、ECO スタートストップ機能が設定されます。

ECO スタートストップ機能が手動で解除されている（▷241 ページ）、または故障が原因でシステムが解除されている場合は、ECO マーク  は表示されません。


ECO スタートストップ機能は、走行モード **E**（AMG 車両では走行モード **C**）でのみ作動します。

エンジン自動停止

シフトポジションが **D** または **N** で、停止するまで車両にブレーキを効かせた場合は、ECO スタートストップ機能がエンジンを自動的に停止します。



以下の場合、ECO スタートストップ機能が作動可能で、ECO マーク  がマルチファンクションディスプレイに緑色で表示されます：

- ECO スイッチの表示灯が緑色に点灯している
- 外気温度がシステムに適した範囲にある
- エンジンが正常な作動温度である
- 車内の設定温度に到達している
- バッテリーが十分に充電されている
- エアコンディショナーシステムが作動しているときに、フロントウィンドウが曇っていないことをシステムが検知している
- ボンネットが閉じている
- 運転席ドアが閉じていて、運転席シートベルトが着用されている

エンジン自動停止の条件がすべて満たされていない場合は、ECO マーク  が黄色で表示されます。

エンジンが自動的に停止しているときは、車両のすべてのシステムは作動したままになります。

エンジンが自動停止した場合は、ホールド機能を作動させることができます。その場合、自動停止状態の間はブレーキを効かせ続ける必要はありません。アクセルペダルを踏んだときはエンジンが自動的に始動し、ホールド機能のブレーキ作用は解除されます。

すべての車両 (AMG 車両を除く) : 自動エンジン停止は最大で 4 回 (最初の停止と、それに続く 3 回の停止)、連続して作動します。4 回目にエンジンが自動的に始動した後は、ECO マーク  がマルチファンクションディスプレイに黄色で表示されます。マルチファンクションディスプレイに ECO マーク  が緑色で表示されたときは、エンジン自動停止は再度作動可能になります。


AMG 車両 : エンジン自動停止の連続回数には制限はありません。

エンジン自動始動

以下の場合に、エンジンは自動的に始動します :

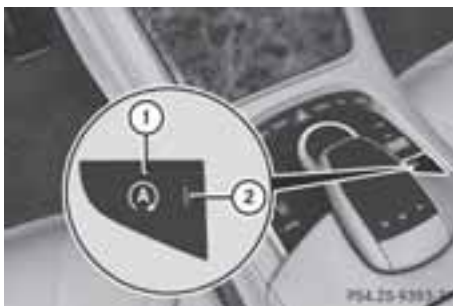
- ECO スイッチを押すことにより、ECO スタートストップ機能を解除した
- 走行モード **S** または **M** に切り替えた
- シフトポジション **D** または **N** で、ホールド機能が作動していないときにブレーキペダルを放した
- アクセルペダルを踏んだ
- リバースギア **R** に入れた
- トランスミッションをポジション **P** から動かした
- 運転席シートベルトを外したか、または運転席ドアを開いた
- 車両が動き出した
- ブレーキシステムが要求した
- 車内の温度が設定範囲から外れた
- エアコンディショナーシステムが作動しているときに、フロントウィンドウの曇りをシステムが検知した
- バッテリーの充電状態が低すぎる

トランスミッションをポジション **P** にシフトしても、エンジンは始動しません。


トランスミッションを **R** から **D** へシフトした場合は、マルチファンクションディスプレイに ECO マーク  が緑色で再表示されると、ECO スタートストップ機能は再度作動可能になります。

ECO スタートストップ機能の解除 / 設定


全車両（AMG 車両を除く）




- ▶ **解除する**：ECO スイッチ ① を押します。

表示灯 ② およびマルチファンクションディスプレイの ECO マーク  が消灯します。

- ▶ **設定する**：ECO スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が点灯します。エンジン自動停止のすべての条件（▷239 ページ）が満たされている場合は、マルチファンクションディスプレイに  マークが緑色で表示されます。

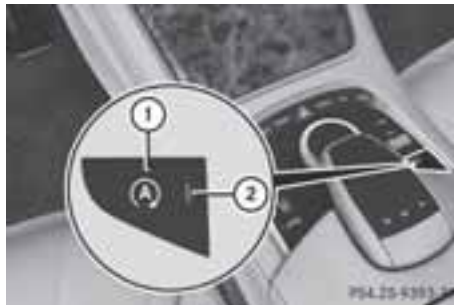
エンジン自動停止のすべての条件（▷239 ページ）が満たされていない場合は、マルチファンクションディスプレイに ECO マーク  が黄色で表示されます。この場合は、ECO スタートストップ機能は作動しません。

表示灯 ② が消灯している場合は、ECO スタートストップ機能は手動で、または故障により、解除されています。その場合は、車両が停止したときにエンジンは自動的に停止しません。

走行モード **S** または **M** が選択された場合は常に、ECO スタートストップ機能が解除されます。

走行モード **S** が選択されている間に ECO スタートストップ機能を設定した場合は、走行モードは **E** に自動的に切り替わります。


AMG 車両



- ▶ **解除する**：走行モード **C** で、ECO スイッチ ① を押します。


または


- ▶ 走行モード **S** または **M** に切り替えます（▷249 ページ）。

表示灯 ② およびマルチファンクションディスプレイの ECO マーク  が消灯します。

- ▶ **設定する**：ECO スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が点灯します。走行モード **S** または **M** が作動している場合は、オートマチックトランスミッションは走行モード **C** に切り替わります。

エンジン自動停止のすべての条件（▷239 ページ）が満たされている場合は、マルチファンクションディスプレイに  マークが緑色で表示されます。

エンジン自動停止のすべての条件 (▷239 ページ) が満たされていない場合は、マルチファンクションディスプレイに  マークが黄色で表示されます。この場合は、ECO スタートストップ機能は作動しません。

表示灯 ② が消灯している場合は、ECO スタートストップ機能は手動で、または故障により、解除されています。その場合は、車両が停止したときにエンジンは自動的に停止しません。

走行モード **S** または **M** が選択された場合は常に、ECO スタートストップ機能が解除されます。

走行モード **S** が選択されている間に ECO スタートストップ機能を設定した場合は、走行モードは **C** に自動的に切り替わります。

エンジンのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>エンジンが始動しない。スターターモーターの音はする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • エンジンの電子制御部品に異常がある。 • 燃料供給に異常がある。 <p>▶ エンジンを再始動する前に、エンジンスイッチのキーをまわして 0 の位置に戻すか、メーターパネルの表示灯が消えるまでキーレスゴースイッチを繰り返し押します。</p> <p>▶ 再度、エンジンの始動を試みてください (▷236 ページ)。バッテリーが放電するため、極端に長く、頻繁なエンジン始動の試みは避けてください。</p> <p>数回の試みの後にエンジンが始動しない場合：</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</p>
<p>エンジンが始動しない。スターターモーターの音はする。燃料残量警告が表示されたり、燃料計の表示が 0% を示している。</p>	<p>燃料タンクが空になっている。</p> <p>▶ 車両に給油してください。</p>
<p>エンジンが始動しない。スターターモーターの音がしない。</p>	<p>バッテリーが非常に弱っているか、放電しているため、バッテリーの電圧が低くなっている。</p> <p>▶ ジャンプスタートを行なってください (▷553 ページ)。ジャンプスタートを試みても、エンジンが始動しない場合：</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</p> <p>非常に高熱の負荷にスターターモーターがさらされた。</p> <p>▶ 再度、始動操作を行なってください。</p> <p>それでもエンジンが始動しない場合：</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</p>
<p>エンジンがスムーズに作動せず、ミスファイアも起きている。</p>	<p>エンジンの電子制御部品またはエンジン制御システムの機械部品に異常がある。</p> <p>▶ 少しだけアクセルペダルを踏んでください。</p> <p>さもないと、未燃焼の燃料が触媒に入り、損傷することがあります。</p> <p>▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場の原因を調べてください。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>冷却水温度の表示が 120℃ 以上を示している。マルチファクションディスプレイに ディスプレイメッセージも表示され、警告音が鳴ることがある。</p>	<p>冷却水レベルが低すぎる。冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されなくなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ すみやかに停車し、エンジンと冷却水を冷やしてください。 ▶ 冷却水レベルを点検してください (▷519 ページ)。必要であれば、警告事項に従って冷却水を補給してください。 <p>冷却水レベルが正常な場合は、ラジエターのラジエターファンが故障していることがある。冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されなくなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 冷却水温度が 120℃ 以下の場合は、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行し続けることができます。 ▶ そのときは、山道の走行や発進 / 停止を繰り返す走行など、エンジンへの大きな負荷は避けてください。

オートマチックトランスミッション

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エンジン回転数がアイドリング回転数以上で、トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れると、車両は突然発進することがあります。事故の危険性があります。

トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れるときは、常にブレーキペダルをしっかりと踏み、同時にアクセルペダルを踏まないでください。

⚠ 警告

エンジンを停止すると、オートマチックトランスミッションはニュートラルポジション **N** に切り替わります。車両が動き出すおそれがあります。事故の危険性があります。

エンジンを停止した後は、必ずパーキングポジション **P** に切り替えてください。パーキングブレーキを効かせて、駐車した車両が動き出すのを防いでください。

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両の安全上の取り扱いに従ってください (▷56 ページ)。

DIRECT SELECT レバー

シフトポジションの概要



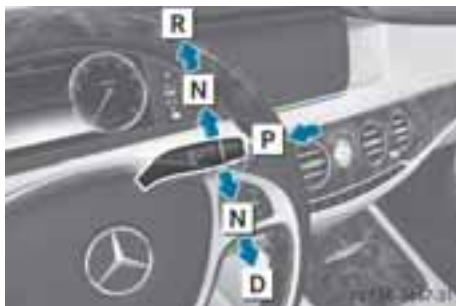
- P** パーキングロックが作動するパーキングポジション
- R** リバースギア
- N** ニュートラル
- D** ドライブ

DIRECT SELECT レバーは、ステアリングの右側にあります。

DIRECT SELECT レバーは常に元の位置に戻ります。そのときのシフトポジション **P**、**R**、**N** または **D** は、マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示 (▷248 ページ) に表示されます。

パーキングポジション **P** に入れる

! エンジン回転数が高すぎる時や走行中は、**D** から **R**、**R** から **D** または直接 **P** にシフトしないでください。オートマチックトランスミッションが損傷する原因になります。



- P** パーキングロックが作動するパーキングポジション
- R** リバースギア
- N** ニュートラル
- D** ドライブ

- ▶ DIRECT SELCT レバーを矢印 **P** の方向に押します。

パーキングポジション P の自動選択

以下の場合には、自動的にパーキングポジション **P** になります。

- キーを使用してエンジンを停止し、キーを抜いた
- キーレスゴースイッチを使用してエンジンを停止し、運転席ドアを開いた
- 車両が停止しているか、または非常に低速で走行していて、トランスミッションがポジション **D** または **R** にあるときに、運転席ドアを開いた

リバースギア R に入れる

! 必ず停車してから、シフトポジションを **R** にしてください。

- ▶ トランスミッションがポジション **D** または **N** にある場合：最初に手応えがあるところを越えて、DIRECT SELECT レバーを上を押します。

- ▶ トランスミッションがポジション **P** にある場合：ブレーキペダルを踏んで、最初に手応えがあるところを越えて、DIRECT SELECT レバーを上を押します。

リバースギアに入っているときは、ECO スタートストップ機能は作動しません。

ECO スタートストップ機能についてのさらなる情報は、(▶239 ページ) をご覧ください。

ニュートラル N にシフトする

警告

子供だけを車内に残した場合、以下のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行ない、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

- ▶ **トランスミッションがポジション D または R にある場合**：最初に手応えがあるところまで、DIRECT SELECT レバーを上または下に押しします。
- ▶ **トランスミッションがポジション P にある場合**：ブレーキペダルを踏んで、最初に手応えがあるところまで、DIRECT SELECT レバーを上または下に押しします。

エンジンを停止したときは、オートマチックトランスミッションは自動的に **N** にシフトします。

車両をけん引式の自動洗車機で洗車するときなど、オートマチックトランスミッションをニュートラル **N** のままにする場合は、以下の情報に従ってください：

キーで：

- イグニッションがオンになっていることを確認します。
- 車両が停止しているときに、ブレーキペダルを踏んで、踏んだまま保持します。
- ニュートラル **N** にシフトします。
- ブレーキペダルから足を放します。
- 電気式パーキングブレーキが効いている場合は、解除します。
- イグニッションをオフにして、エンジンスイッチにキーを残したままにします。

キーレスゴースイッチで：

- イグニッションがオンになっていることを確認します。
- 車両が停止しているときに、ブレーキペダルを踏んで、踏んだまま保持します。
- パーキングポジション **P** に入れます。
- ブレーキペダルから足を放します。
- エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します。
- エンジンスイッチにキーを差し込みます。
- イグニッションをオンにします。
- ブレーキペダルを踏んで、踏んだまま保持します。
- ニュートラル **N** にシフトします。
- ブレーキペダルから足を放します。
- 電気式パーキングブレーキが効いている場合は、解除します。
- イグニッションをオフにして、エンジンスイッチにキーを残したままにします。

ドライブポジション D に入れる

- ▶ **トランスミッションがポジション R または N にある場合**：最初に手応えがあるところを越えて、DIRECT SELECT レバーを下に押しします。
- ▶ **トランスミッションがポジション P にある場合**：ブレーキペダルを踏んで、最初に手応えがあるところを越えて、DIRECT SELECT レバーを下に押しします。

シフトポジション表示

全体的な注意事項

! マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示が作動していない場合は、希望のシフトポジションに入っているかどうかを確認するために慎重に発進してください。このために、シフトポジション **D**、およびオートマチック走行モード **E** (AMG 車両では走行モード **C**、プラグインハイブリッド車両では走行モード **E+**) または **S** を選択することを推奨します。

マルチファンクションディスプレイに現在のシフトポジションが表示されます。

シフトポジション表示の矢印は、DIRECT SELECT レバーを使用して選択できるシフトポジションとその方向を示しています。

すべての車両 (AMG 車両を除く)



- ① シフトポジション
- ② ギア
- ③ 走行モード

AMG 車両



- ① シフトポジション
- ② 走行モード

シフトポジション

P パーキングポジション

停止中に車両が動き出すのを防止します。車両が停止していない場合は、トランスミッションをポジション **P** (▶245 ページ) にシフトしないでください。

オートマチックトランスミッションは、以下のときに自動的に **P** にシフトします。

- キーを抜いた
- **R** または **D** のときにエンジンを停止し、フロントドアを開いた

R リバースギア

車両が停止しているときのみ、トランスミッションを **R** にシフトしてください。

N ニュートラル

走行中は、トランスミッションを **N** にシフトしないでください。オートマチックトランスミッションを損傷するおそれがあります。

ESP[®] が解除されている、または故障している場合：凍った道路などで車両がスリップする危険がある場合は、トランスミッションを **N** にシフトします。

キーまたはキーレスゴースイッチでエンジンを停止した場合は、オートマチックトランスミッションは自動的にニュートラル **N** にシフトします。

! ニュートラル **N** に入れたまま走行すると、駆動系部品が損傷する原因になります。

D ドライブ

オートマチックトランスミッションは自動的に変速します。すべての前進のギアを使用できます。

運転のヒント

ギアシフト操作

シフトポジションが **D** のときに、オートマチックトランスミッションは自動的にそれぞれのギアへシフトします。ギアシフトは以下によって決定されます：

- 選択されている走行モード (▷249 ページ)
- アクセルペダルの位置 (▷249 ページ)
- 走行速度

アクセルペダルの位置

お客様の運転スタイルはオートマチックトランスミッションのギアシフトに以下のような影響を与えます。

- 軽い踏み込み：早めのシフトアップ
- 深い踏み込み：遅めのシフトアップ

キックダウン

最大限の加速のためには、キックダウンを使用してください。

▶ 踏み応えがあるところを越えるまで、アクセルペダルを踏みます。

エンジン回転数に応じて、トランスミッションは低いギアにシフトします。

▶ 希望の速度に達したら、アクセルペダルを緩めます。

オートマチックトランスミッションがシフトアップして戻ります。

走行モード選択スイッチ

この項目では、ハイブリッド車両またはプラグインハイブリッド車両を除くすべての車両の走行モード選択スイッチについて記載しています。ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両のオートマチック走行モードについての情報は、以下をご覧ください。

- ハイブリッド車両 (▷352 ページ)
- プラグインハイブリッド車両 (▷371 ページ)



- ▶ **全車両（AMG 車両を除く）**：走行モード選択スイッチ ① を押して、走行モードを変更します。

マルチファンクションディスプレイに選択した走行モードが表示されます。



- ▶ **AMG 車両**：マルチファンクションディスプレイに希望の走行モードの文字が表示されるまで、走行モード選択スイッチ ① を繰り返し押します。

走行モード選択スイッチは以下に影響を与えます：

- 走行モード（▷249 ページ）
- エンジン制御

AMG 車両では、走行モード **E** は走行モード **C** と呼ばれます。

エンジンを始動したときは常に、オートマチックトランスミッションはオートマチック走行モード **E**（AMG 車両では走行モード **C**）に切り替わります。

全車両（AMG 車両を除く）

E エコノミー	快適性で経済的な走行
S スポーツ	スポーティな走行に適したモード

ステアリングギアシフトパドルを使用して、一時的なマニュアル走行モード **M** を作動させることもできます（▷251 ページ）。マニュアル走行モード **M** では、ステアリングギアシフトパドルを使用して、短時間自分自身でギアを変えることができます。

AMG 車両

C 効率的な制御	快適で経済的な走行
S スポーツ	スポーティな走行
M マニュアル	マニュアルギアシフトの作動

連続走行的なモード **M** は、AMG 車両でのみ使用することができます。

連続走行的なモード **M** についてのさらなる情報は、（▷253 ページ）をご覧ください。

ステアリングギアシフトパドルを使用して、一時的マニュアル走行モード **M** を作動させることもできます（▷251 ページ）。マニュアル走行モード **M** では、ステアリングギアシフトパドルを使用して、短時間自分自身でギアを変えることができます。

オートマチック走行モードについてのさらなる情報は、（▷251 ページ）をご覧ください。

ステアリングギアシフトパドル



ステアリングギアシフトパドル ① および ② を使用して、オートマチック走行モード **E** (AMG 車両では **C**) および **S** でマニュアル走行モード **M** を作動させることができます (▷251 ページ)。マニュアル走行モード **M** では、ステアリングギアシフトパドルを使用して、一時的にご自身でギアを変えることができます。

AMG 車両：走行モード選択スイッチでマニュアル走行モード **M** を作動させることもできます (▷253 ページ)。マニュアル走行モード **M** では、ステアリングのギアシフトパドルを使用して、連続的に自分自身でギアを変えることができます。

オートマチック走行モード

オートマチック走行モード **E** および **S**

走行モード **E** (AMG 車両では走行モード **C**) では、以下の特性になります：

- 快適性を重視したエンジン設定。
- オートマチックトランスミッションのより早めのシフトアップによる理想的な燃料消費。
- アクセルペダルをいっぱいまで踏み込まないときの、前進 / 後退ギアでのより穏やかな車両の発進。

- 感度の向上。これにより、滑りやすい路面などでの走行安定性が向上します。
- オートマチックトランスミッションのより早めのシフトアップ。その結果、車両は低いエンジン回転数で走行し、車輪の空転の可能性が低下します。

オートマチック走行モード **S**

走行モード **S** では、以下の特性になります：

- スポーティなエンジン設定。
- 1 速での発進。
- オートマチックトランスミッションのより遅めのシフトアップ。
- オートマチックトランスミッションのシフトのタイミングが遅くなるため、燃料消費が増加する可能性があります。

マニュアル走行モード **M**

全体的な注意事項

この走行モードでは、ステアリングギアシフトパドルを使用して、一時的に自分自身でギアを変えることができます。トランスミッションはポジション **D** でなければなりません。

オートマチック走行モード **E** (AMG 車両では **C**) および **S** で、マニュアル走行モード **M** を作動させることができます。

AMG 車両：一時的な走行モード **M** と同様に、連続的な走行モード **M** を作動させることもできます。連続的な走行モード **M** についてのさらなる情報は、(▷253 ページ) をご覧ください。

設定する

- ▶ トランスミッションをポジション **D** にシフトします。
- ▶ 左または右のステアリングギアシフトパドルを引きます (▷251 ページ)。マニュアル走行モード **M** が一時的に作動します。

AMG 車両を除く全車両：マルチファンクションディスプレイに **M** および選択されているギアが表示されます。

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両のマニュアル走行モード **M** の作動についての情報は、以下をご覧ください。

- ハイブリッド車両 (▷352 ページ)
- プラグインハイブリッド車両 (▷371 ページ)

ギアシフト

左または右側のステアリングギアシフトパドルを引いた場合は、限られた時間の間、オートマチック走行モードがマニュアル走行モード **M** に切り替わります。許容される場合は、いずれかのステアリングギアシフトパドルを引くことによって、ただちに次のギアにシフトダウン、またはシフトアップします。

- ▶ **シフトアップする**：右側のステアリングギアシフトパドルを引きます (▷251 ページ)。

オートマチックトランスミッションが次のギアにシフトアップします。

そのとき入っているギアでのエンジン最高回転数に到達し、加速し続けた場合は、エンジンの損傷を防ぐためにオートマチックトランスミッションは自動的にシフトアップします。

AMG 車両：エンジン回転数が非常に低いときは、オートマチックトランスミッションは次のギアにシフトアップしません。

- ▶ **シフトダウンする**：左側のステアリングギアシフトパドルを引きます (▷251 ページ)。

オートマチックトランスミッションが次のギアにシフトダウンします。

シフトダウンしたときにエンジン最高回転数を超えそうな場合は、エンジンの損傷を防ぐため、オートマチックトランスミッションはシフトダウンを行いません。

惰走時は、自動的なシフトダウンが行なわれます。

推奨ギアシフト



経済的な運転スタイルをとることができるよう、推奨ギアシフト表示は運転者を支援します。推奨ギアがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ メーターパネルのマルチファンクションディスプレイに表示されたときは、推奨ギアシフト表示 ① に従って推奨ギア ② にシフトしてください。

解除する

マニュアル走行モード **M** を作動させている場合は、一定時間の間、作動したままになります。横方向の加速度がある場合、惰走している間、または急な山道を走行しているときなど、特定の条件下では作動時間は延長されます。

マニュアル走行モード **M** が解除されたときは、オートマチックトランスミッションは最後に選択されていたオートマチック走行モードに変わります。

自分自身でマニュアル走行モード **M** を解除することもできます。

- ▶ 右側のステアリングギアシフトパドルを引いて、その位置で保持します (▷251 ページ)。

または

- ▶ DIRECT SELECT レバーを使用して、シフトポジションを切り替えます。

または

- ▶ 走行モード選択スイッチを使用して、走行モードを変更します (▷249 ページ)。

マニュアル走行モード **M** が解除されます。オートマチックトランスミッションは、以前作動していた走行モード **E** (AMG 車両では走行モード **C**) または **S** に切り替わります。

マニュアル走行モード (AMG 車両)

全体的な注意事項

この走行モードでは、ステアリングのギアシフトパドルを使用して、常に自分自身でギアを変えることができます。トランスミッションはポジション **D** でなければなりません。

マニュアル走行モード **M** は、ギア変速の発生度、応答性および滑らかさの点で走行モード **S** と異なります。

連続的な走行モード **M** に加えて、一時的な走行モード **M** も作動させることができます (▷251 ページ)。

マニュアル走行モードの作動

マニュアル走行モード **M** では、トランスミッションがポジション **D** にある場合に、ステアリングギアシフトパドルを使用して自分自身でギアを変えることができます。そのときの走行モードおよび入っているギアは、マルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ マルチファンクションディスプレイに **M** が表示されるまで、走行モード選択スイッチ (▷249 ページ) を繰り返し押します。

シフトアップ

! マニュアル走行モード **M** では、現在のギアでのエンジン許容回転数に達しても、自動的にシフトアップしません。エンジンの許容回転数に達すると、エンジンの過回転を防ぎエンジンを保護するため、燃料供給が停止します。エンジン回転数が許容回転数を超えて、タコメーターのレッドゾーンに入らないように注意してください。エンジンが損傷するおそれがあります。



- ① シフトインジケータ
- ② シフトアップインジケータ

エンジン回転数がレッドゾーンに達する前に、シフトアップインジケータ②がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ マルチファンクションディスプレイのスピードメーターの色が赤色に変わり、ディスプレイメッセージUPが表示された場合は、右側のステアリングギアシフトパドルを使用してギアをシフトアップしてください。

可能な場合は、オートマチックトランスミッションは次のギアにシフトアップします。

シフトダウン

- ▶ 左側のステアリングギアシフトパドルを引きます (▷251 ページ)。

可能な場合は、オートマチックトランスミッションが次のギアにシフトダウンします。

最大限までの加速

- ▶ トランスミッションがそのときの速度に最適なギアを選択するまで、左側のステアリングギアシフトパドルを引きます。

シフトダウンしないで減速または停止した場合は、オートマチックトランスミッションは自動的にシフトダウンします。

マニュアル走行モードの解除

- ▶ マルチファンクションディスプレイに **C** または **S** が表示されるまで、走行モード選択スイッチ (▷249 ページ) を繰り返し押します。

トランスミッションのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
トランスミッションにギアシフトのトラブルがある。	トランスミッションオイルが減っている。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でトランスミッションの点検を受けてください。
加速性能が悪化している。 トランスミッションが変速しなくなった。	トランスミッションがエマージェンシーモードになっている。 2 速ギア およびリバースギアのみにシフトできる可能性があります。 ▶ 停車してください。 ▶ トランスミッションをポジション P にシフトします。 ▶ エンジンを停止します。 ▶ エンジンを再始動する前に、少なくとも 10 秒間待ってください。 ▶ トランスミッションをポジション D または R にシフトします。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でトランスミッションの点検を受けてください。

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両の作動については、以下をご覧ください：

- ハイブリッドの作動 (▷357 ページ)
- プラグインハイブリッドの作動 (▷377 ページ)

給油

重要な安全上の注意事項

 警告

燃料は可燃性の高いものです。燃料を不適切に扱った場合は、火災および爆発の危険性があります。

火気、裸火、火花の発生および喫煙は避けてください。給油の前にはエンジンを停止してください。

 警告

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲まないようにしてください。また目や衣服に付着させないでください。気化した燃料を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹼および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。無理に吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

 警告

静電気の蓄積により、火花が発生したり、気化した燃料に引火するおそれがあります。火災および爆発の危険性があります。

燃料給油口を開いたり、給油ノズルに触れる前に、必ず車体に触ってください。蓄積されている可能性がある静電気を放電します。

給油作業中は車内に戻らないでください。さもないと、再帯電することがあります。

! ガソリンエンジン車両に給油するために軽油を使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、イグニッションをオンにしないでください。さもないと、燃料が燃料システムに入るおそれがあります。たとえ少量の誤った燃料でも、燃料システムやエンジンの損傷につながるおそれがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料システムから完全に抜き取ってください。

! 給油ノズルの自動停止後は、それ以上補給しないでください。燃料噴射システムを損傷するおそれがあります。

! 給油中に燃料を塗装面にこぼさないよう注意してください。塗装面が損傷するおそれがあります。

! 燃料携行缶から燃料を補給するときは、フィルターを使用してください。燃料携行缶に付着した微粒子によって、フューエルラインや燃料噴射システムの部品が詰まるおそれがあります。

燃料タンクに補充しすぎた場合は、給油ノズルを外すときに燃料が飛散することがあります。

燃料および燃料品質についてのさらなる情報は、(▷598 ページ) をご覧ください。

セルフサービス式のガソリンスタンド

給油に関する注意事項に従ってください (▷256 ページ)。

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは必ず以下の点を守り、安全に十分注意して作業を行なってください。

- 給油前に必ずエンジンを停止して、ドアやサイドウィンドウなどを閉じてください。
- 燃料給油口フラップを開くときから、一連の給油作業を必ずひとりで行ってください。

給油作業を行なう人以外は燃料給油口フラップに近づかないでください。


- キャップの開閉は確実に行ってください。火気を近づけないようにしてください。
- 給油ノズルは給油口の奥まで確実に差し込んでください。
- 給油が自動的に停止したら、それ以上は給油しないでください。燃料があふれるおそれがあります。
- 給油の勢いを強くしないでゆっくりと給油してください。燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項に従ってください。

給油

全体的な注意事項

重要な安全上の注意事項に従ってください (▷256 ページ)。

車外から車両を解錠 / 施錠した場合は、燃料給油口フラップも解錠 / 施錠されます。

燃料給油口フラップ  の位置はメーターパネルに表示されています。給油ポンプ横の矢印は、燃料給油口キャップのある車両側面を示しています。

燃料給油口フラップは車両の右側後方にあります。

燃料給油口フラップを開く



- 燃料給油口フラップを開く
- 燃料給油口キャップを差し込む
- タイヤ空気圧ラベル
- 給油燃料種類

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ 運転席ドアを開きます。

車両の電気システムが **0** の状態になります。これにより、キーを抜いたときと同様になります。

または、キーがエンジンスイッチに差し込まれている場合：

- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 燃料給油口フラップを矢印①の方向に押しします。
燃料給油口フラップが開きます。
- ▶ 燃料給油口キャップを反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ キャップを燃料給油口フラップの内側にあるホルダーに掛けます②。
- ▶ タンクの補給口に給油ポンプノズルを完全に差し込んで掛け、給油します。
- ▶ ポンプノズルが停止するまでのみ給油してください。

i 最初にポンプが給油を停止した後は、それ以上燃料を追加しないでください。さもないと、燃料が漏れることがあります。

燃料給油口フラップを閉じる

- ▶ キャップを給油口に取り付け、音がしてロックするまで時計回りにまわします。
- ▶ 燃料給油口フラップを閉じます。

i 車両を施錠する前に燃料給油口フラップを閉じてください。

燃料および燃料タンクのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
燃料が漏れている。	<p>⚠ 警告</p> <p>フューエルラインまたは燃料タンクに問題がある。火災または爆発の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせてください。 ▶ エンジンを停止します。 ▶ 運転席ドアを開きます。 車両の電気システムが 0 の状態になります。これにより、キーを抜いたときと同様になります。 <p>または、キーがエンジンスイッチに差し込まれている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。 ▶ 状況を問わず、エンジンを始動しないでください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
燃料給油口フラップが開かない。	<p>燃料給油口フラップが解錠されていない。</p> <p>または</p> <p>キーの電池が消耗している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を解錠してください (▷121 ページ)。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エマージェンシーキーを使用して車両を解錠してください (▷132 ページ)。 <p>燃料給油口フラップは解錠されているが、開閉機構に異常がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

高電圧バッテリーの充電（ハイブリッド車両）

ハイブリッド車両には高電圧バッテリーが装備されています。

警告

内燃エンジンは、一酸化炭素のような有毒な排気ガスを排出します。これらの排気ガスを吸い込むと中毒につながります。致命的なけがの危険性があります。従って、十分な換気がない閉じた空間でエンジンを作動させたままにしないでください。

i 高電圧バッテリーが著しく放電している場合は、高電圧バッテリーをその容量の60%以上に再充電してください。"停止時の充電" 作動モードでは、高電圧バッテリーの充電状態を最大70%までCOMAND ディスプレイおよびマルチファンクションディスプレイで確認することができます (▷347 ページ)。

高電圧バッテリーの充電（プラグインハイブリッド車両）

重要な安全上の注意事項

危険

車両の高電圧電気システムは高電圧下にあります。車両の高電圧電気システムの構成部品を改造したり、損傷した構成部品に触れた場合は、感電するおそれがあります。事故の際は、損傷が目に見えなかったとしても車両の高電圧電気システムの構成部品が損傷していることがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

事故の後には、いかなる高電圧構成部品にも触れず、車両の高電圧電子システムの改造を決して行なわないでください。事故の後には車両をけん引し、車両の高電圧電気システムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検してください。

警告

車両火災の場合は、高電圧バッテリーの内部電圧が限界値を超えることがあります。この場合は、車両のアンダーボディの排気弁から可燃性ガスが漏れます。ガスは発火するおそれがあります。けがの危険性があります。

ただちに危険なエリアから離れてください。法規制を遵守しながら、危険なエリアと適切な距離を確保してください。

 危険

正しく取り付けられていない電源ソケットまたはアダプター、延長ケーブルまたは類似したものの経由で充電ケーブルを主電源に接続すると、火事や感電のおそれがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

危険な状況避けるため、以下に従ってください。

- 充電ケーブルは、以下の電源ソケットにのみ接続してください。
 - 正しく取り付けられていて、そして
 - 資格のある電気技師によって点検された
- 安全上の理由のため、車両に適合した充電ケーブル、またはこの車両の使用に承認された充電ケーブルのみを使用してください。
- 損傷している充電ケーブルを使用しないでください。
- 以下を使用**しないでください**。
 - 延長ケーブル
 - 延長リール
 - マルチソケット
- 充電ケーブルを電源ソケットに接続するためにソケットアダプターを使用**しないでください**。電気自動車の高電圧バッテリーを充電するためのアダプターがメーカーによってテストされ承認された場合のみ例外です。
- ソケットアダプターの取扱説明書にある安全上の注意事項に従ってください。

 危険

不適切に取り付けられた充電ボックスまたはアダプター、延長ケーブルまたは類似のものを経由して充電ケーブルを充電ボックスに接続すると、火事や感電の原因となることがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

危険な状況避けるためには、以下に従ってください：

- 充電ケーブルは、以下の充電ボックスにのみ接続してください：
 - 正しく取り付けられていて、そして
 - 資格のある電気技師によって点検された
- 安全上の理由のため、電気自動車の高電圧バッテリーを充電するためにメーカーによってテストおよび承認された充電ケーブルのみを使用してください。
- 損傷している充電ケーブルを使用**しないでください**。
- 充電ケーブルを延長**しないでください**。
- アダプターを使用**しないでください**。
- 充電ボックスの取扱説明書にある安全上の注意事項に従ってください。

車両の高電圧電気システムは高電圧下にあります。

- 高電圧構成部品または車両の高電圧電気システムのオレンジ色のケーブルに触れないでください。
- 車両が事故に巻き込まれたときは、高電圧構成部品または高電圧電気システムのオレンジ色のケーブルに触れないでください。
- 損傷した構成部品または損傷した車両の高電圧電気システムのオレンジ色のケーブルには触れないでください。
- 警告ステッカーで示されている高電圧電気システムの構成部品のカバーを取り外さないでください。

全体的な注意事項

作動

プラグインハイブリッド車両には、走行用の高電圧バッテリーが装備されています。高電圧バッテリーは、電気モーターを作動させるために必要なエネルギーを保存し、再度放出します。

電気モーターは、発進したり、加速するとき、または走行中に高電圧バッテリーに保存されているエネルギーを使用します。

惰走モードでは、運動エネルギーはエネルギー回生により電気エネルギーに変換され、高電圧バッテリーに保存されます。

高電圧バッテリーは以下のようにして充電されます：

- 車両が動いている間のエネルギー回生により
- 充電作動モードで走行している間
- 車両が停止している間に電源ソケットで対応する充電ケーブルを使用して

- 車両が停止している間に充電ボックスで対応する充電ケーブルを使用して
- 車両が停止している間に充電ステーションで対応する充電ケーブルを使用して

高電圧バッテリーは、100 V ~ 240 V の定格電圧範囲で充電することができます。

高い、および低い外気温度

外気温度が低いとき

非常に低い外気温度では、高電圧バッテリーの最大性能は著しく低下します。そして、高電圧バッテリーは通常の電気出力を発生できなくなります。

外気温度が高いとき

著しい高温による高電圧バッテリーの損傷を防ぐために、車両は高電圧バッテリーの最大出力を低下させます。

エネルギー消費および電気による走行可能距離

一般的に、電気による最大走行可能距離は以下により減少します：

- 高い、および低い外気温度
- エアコンディショナーまたはヒーターの使用
- 電気装備の作動

バッテリーの物理的特性は、充電せずに低い外気温度に車両を長時間駐車したままにすると以下につながるおそれがあります。

- バッテリー性能の減少
- 充電時間の長時間化

バッテリーの手入れに関する注意事項

極端に高い、または低い温度で長時間車両を保管したり、または運搬することを避けてください（コンテナ輸送など）。車両を長時間駐車して、停車したままにする場合は、電源に接続してください。

利用規約

保証書類および整備手帳の例外および制限に関する情報に注意してください。

充電ケーブルおよび充電ケーブルのコントローラーの操作

充電ケーブルのコントローラーを電源ソケットから外して掛けたままにしないでください（▶264 ページ）。さもないと、車両を充電するときに電源ソケットと接触不良となったり、不具合を起こすおそれがあります。

充電ケーブルのコントローラーのケーブルが不適切な負荷を受けないようにするために、以下に従ってください：

- 充電ケーブルのコネクターまたは電源プラグでコントローラーを持ち上げないでください。
- コネクターでコントローラーを運ばないでください。

充電ケーブルおよびコネクターにより発生する熱

"重要な安全上の注意事項"に従ってください（▶260 ページ）。

充電処理中は、充電ケーブルおよびコネクターが熱くなることがあります。

以下の状況で充電ケーブルおよびコネクターが熱くなっても、それは許容制限値内のものです：

- 主電源および充電ケーブルが損傷していない
 - 充電ケーブルおよび充電ケーブルのコントローラーの操作指示に従っている
- 充電ケーブルまたはプラグが非常に熱くなった場合は、主電源を点検してください。

過電圧に対する保護機器

! 主電源のサージ電圧により、車両が損傷するおそれがあります。そのため、車両には主電源のサージ電圧から保護する機器が装備されています。この機器は激しい落雷などにより作動し、建物の電力ヒューズの遮断または電力供給の中断を引き起こします。これらの働きにより、車両を保護します。建物の電力ヒューズが再び作動すると、充電は自動的に再開します。電源供給の中断または建物の電力ヒューズの作動の後で、充電が自動的に再開するのに 10 分かかることがあります。

機器が作動した場合は、建物の保護装置を再度作動させてください。さもないと、充電処理が継続されません。

充電処理に関する全般的な情報

重要な安全上の注意事項に従ってください（▶260 ページ）。

車外から車両を解錠 / 施錠した場合は、充電ソケットフラップも解錠 / 施錠されます。

充電ソケットフラップは、テールライト下の右側のリアバンパー内にあります。

電源ソケット経由で高電圧バッテリーを充電する

電源ソケット用充電ケーブル

重要な安全上の注意事項

! 充電ケーブルのみを使用して高電圧バッテリーを充電してください。充電ケーブルを別の目的で使用しないでください。損傷するおそれがあります。

車両には電源ソケットに接続するための充電ケーブルが装備されています。車両に装備されている充電ケーブルまたは車両用に承認された充電ケーブルのみを使用してください。

i 主電源により、充電手順が異なることがあります。そのため、常にその場での情報に従ってください。

i 短時間での充電（16A での充電）のためには、高速充電ケーブルを充電ボックス / 充電ステーションに接続します。

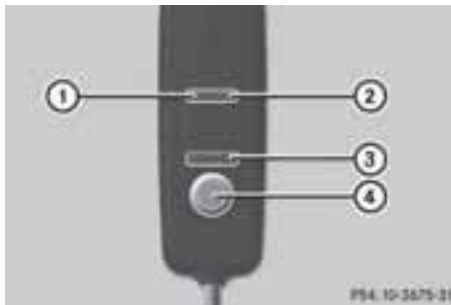
充電ボックスからの充電に関する情報は、(▷267 ページ) にあります。

充電ステーションでの充電に関する情報は、(▷269 ページ) にあります。

充電ケーブルを収納する

充電ケーブルはベルクロファスナーで固定して、車両のトランクに装備されているバッグ内に収納できます。

充電ケーブルの操作



- ① 交流ステータス表示灯
- ② 制御 / 保護システムの表示灯
- ③ 充電電流表示灯
- ④ 充電電流設定スイッチ

充電ケーブルの表示灯 ① および ② が点灯しているときは、以下を意味しています：

表示灯 ①	
緑色に点灯	主電源接続が正しく作動しています。高電圧バッテリーを充電できます。
赤色に点滅	主電源で故障が検知されています。電気信号が通常の数値を記録するとただちに、高電圧バッテリーは再充電されます。
赤色に点灯	不具合があります。充電ケーブルを電源ソケットから取り外し、再度差し込まなければなりません。

表示灯 ②	
緑色に点灯	故障はありません。高電圧バッテリーを充電できます。
赤色に点灯	許容できない電流がコントロールユニットに供給されています。高電圧バッテリーは充電できません。

i 充電処理に関するトラブルについての情報は、(▷270 ページ) をご覧ください。

最大充電電流を設定する

警告

電源ソケットから充電しているときの電流の流れが非常に大きい場合は、外部の主電力が過熱するおそれがあります。火災のおそれがあります

充電する前に、その場所で使用可能な最大許容電荷電流を確認してください。必要な場合は、援助のためにメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

必要な場合は、車両の設定を調整します。

! 電荷電流が非常に大きい場合は、電力ヒューズが遮断されたり、または主電源が過熱するおそれがあります。外部の主電源が設定された電荷電流を扱うために設計されていることを確認します。必要な場合は、設定された電荷電流を下げるか、または別の電源ソケットを使用します。

高電圧バッテリーの充電の際に使用される充電電流の数値の制限を設定できます。これは主電源の過負荷を防ぐ手段として作動します。充電ケーブルのコントローラーを使用して、またはマルチファンクションディスプレイのメニューでこの制限を設定できます。充電ケーブルに充電電流の設定がない場合のみ、マルチファンクションディスプレイのメニューで最大充電電流を設定してください。

車両の初期設定値は、最大充電値に対応しています。

充電ケーブルの初期設定値は最小の設定です。これは、主電源からの使用可能な最小充電電流に相当します。充電ケーブルの数値は増やすことができ、以下に記載されています。

i 最大設定の数値および調整値は国によって異なることがあります。

高電圧バッテリーを充電する前に、対応する電源ソケットの最大許容充電電流を確認します。

▶ 設定を調整する：希望の設定がディスプレイ ③ で選択されるまで、スイッチ ④ を繰り返し押します。

- 2 つの LED が点滅している：最小の設定
- すべての LED が点滅している：最大の設定

充電処理後に充電ケーブルが以下の場合：

- 電源ソケットに接続されたままの場合は、現在選択されている数値が次の充電処理に使用されます。
- 電源ソケットから取り外された場合は、数値は次の充電処理のために最小設定にリセットされます。その後、最大の充電電流の数値に設定する必要があります。

i 充電時に車両が通常より時間を必要としている場合は、充電ケーブルのコントローラーを使用して、またはマルチファンクションディスプレイのメニューで最大充電電流を確認してください。

車両ソケットの表示灯

車両ソケットの表示灯が点灯しているときは、以下を意味しています。

表示灯	
オレンジ色にゆっくりと点滅	充電が開始する前に、車両と電流源との間の接続が確立されています。
緑色にゆっくりと点滅	高電圧バッテリーが充電されます。
赤色に早く点滅	充電中に不具合が発生しています。
オレンジ色に点灯	高電圧バッテリーの充電が一時的に中断されています。
緑色に点灯	高電圧バッテリーが完全に充電されています。

i 表示灯が消灯している場合は、車両をキーで施錠または解錠します。その後、表示灯が充電処理の状況を表示します。

i マルチファンクションディスプレイに高電圧バッテリーの充電状態を表示することができます（"エネルギーフロー表示"の"駐車時の高電圧バッテリーの充電"をご覧ください（▶365 ページ））。

充電ケーブルを接続する



- ① 充電ソケットフラップを開く
- ② 留め具
- ③ 車両ソケットフラップ
- ④ 車両ソケット
- ⑤ 表示灯

▶ DIRECT SELECT レバーを使用して、オートマチックトランスミッションを P にシフトします。

▶ イグニッションをオフにします。

▶ 充電ソケットフラップを矢印 ① の方向に押します。

充電ソケットフラップが開きます。

- ▶ 留め具②を左にスライドします。
車両ソケットフラップ③が開きます。
- ▶ 充電ケーブルのコネクターを停止するまで車両ソケットに差し込みます。
高電圧バッテリーが充電されます。
車両ソケット④の表示灯⑤がゆっくり緑色に点滅します。
- ❶ 充電中または充電ケーブルが接続されているときは、車両を動かさないでください。
- ❶ 温度によっては、充電処理中に冷却ファンおよびバッテリー冷却システムが音とともに作動することがあります。

充電ケーブルを取り外す

マルチファンクションディスプレイの充電レベル表示が100%に達しているときは、バッテリーが完全に充電されています（▶365ページ）。

- ❶ 充電ケーブルの接続が外された後に、車両ソケットの表示灯は消灯する前に短時間点灯したままになります。



バッテリーが完全に充電されているとき：

- ▶ 車両を解錠してください。
車両ソケット④の表示灯⑤が緑色に点灯します。
- ▶ 充電ケーブルコネクターのスイッチ⑥を押して保持し、車両ソケットから充電ケーブルを取り外します。
- ▶ 車両ソケットフラップ③を閉じます。
- ▶ 充電ソケットフラップ①を閉じます。
- ▶ 充電ケーブルを電源ソケットから取り外します。
- ▶ 充電ケーブルを車両に安全に収納します（▶264ページ）。

高電圧バッテリーを充電ボックスから充電する

全体的な注意事項

充電ボックスまたは充電ステーションを使用して車両を充電することを推奨します。

電気自動車の高電圧バッテリーを充電するためにメーカーによりテストおよび承認された充電ケーブルのみを使用してください。

"重要な安全上の注意事項"に従ってください（▶260ページ）。

充電ケーブルを接続する



- ① 充電ソケットフラップを開く
- ② 留め具
- ③ 車両ソケットフラップ
- ④ 車両ソケット
- ⑤ 表示灯

- ▶ DIRECT SELECT レバーを使用して、オートマチックトランスミッションを P にシフトします。
- ▶ イグニッションをオフにします。
- ▶ 充電ソケットフラップを矢印 ① の方向に押します。
充電ソケットフラップが開きます。
- ▶ ファスナー ② を左にスライドします。
車両ソケットフラップ ③ が開きます。

- ▶ 充電ケーブルのコネクターを停止するまで車両ソケット ④ に差し込みます。
高電圧バッテリーが充電されます。

車両ソケット ④ の表示灯 ⑤ がゆっくり緑色に点滅します。

- ① 充電中または充電ケーブルが接続されているときは、車両を動かさしないでください。

- ① 温度によっては、充電処理中に冷却ファンおよびバッテリー冷却システムが音とともに作動することがあります。

充電ケーブルを取り外す

マルチファンクションディスプレイの充電レベル表示が 100% に達しているときは、バッテリーが完全に充電されています（▶365 ページ）。

- ① 充電ケーブルの接続が外された後に、車両ソケットの表示灯は消灯する前に短時間点灯したままになります。



バッテリーが完全に充電されているとき：

- ▶ 車両を解錠してください。
車両ソケット ④ の表示灯 ⑤ が緑色に点灯します。
- ▶ 充電ケーブルコネクターのスイッチ ⑥ を押して保持し、車両ソケットから充電ケーブルを取り外します。

- ▶ 車両ソケットフラップ ③ を閉じます。
- ▶ 充電ソケットフラップ ① を閉じます。
- ▶ ケーブルがあらかじめ取り付けられていない充電ボックス：必要に応じて、充電ボックスから充電ケーブルを取り外し、車両に安全に収納します。

充電ステーションでの高電圧バッテリーの充電

充電ステーションでの車両の充電方法は、充電ボックスでの充電方法と同様です。"充電ボックスで高電圧バッテリーを充電する"の項目をお読みください（▶267 ページ）。

充電処理のトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
充電ソケットフラップが開かない。	<p>充電ソケットフラップが解錠されていない。</p> <p>▶ 車両を解錠してください（▶121 ページ）。</p> <p>キーの電池が放電している。</p> <p>▶ キーを使用して手で車両を解錠します（▶124 ページ）。</p> <p>充電ソケットフラップはロック解除されているが、開口機構が動かない。</p> <p>▶ 車両を施錠してから解錠してください。</p> <p>その後、開口機構がまだ作動しない場合：</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</p>
高電圧バッテリーが充電されていない。	<p>充電処理の初期化中に不具合が起こった。</p> <p>▶ 充電ケーブルが電源ソケットに接続されていることを確認してください。</p> <p>▶ 充電ケーブルコネクタを車両ソケットから取り外し、車両ソケットに再度差し込んでください。</p> <p>▶ トラブルが続く場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。</p>
高電圧バッテリーが、電源ソケットに接続されているときに充電処理中に充電されない。	<p>電源ソケットが故障している。</p> <p>▶ 電源ソケットを点検してください。</p> <p>または</p> <p>▶ 別の電源ソケットを使用してください。</p>
充電ケーブルコネクタを車両ソケットから取り外すことができない。	<p>充電ケーブルコネクタの留め具がロックされている。</p> <p>▶ 充電ケーブルコネクタのスイッチを押して保持します。車両ソケットの留め具のロックが解除されます。</p> <p>▶ 充電ケーブルコネクタを車両ソケットから取り外します。</p> <p>充電ケーブルコネクタの留め具がブロックされている。</p> <p>▶ 充電ケーブルコネクタのスイッチを押して保持します。</p> <p>▶ ブロックを解除するよう試みてください。</p>

駐車

重要な安全上の注意事項

 警告

葉、草または小枝のような可燃性の素材は、排気システムの高温度部品または排気ガスの排気に長時間触れると、発火することがあります。火災の危険性があります。

可燃性の素材が車両の熱い部品に触れないように車両を駐車してください。特に、乾燥した草原、または収穫した穀物畑に駐車しないでください。

 警告

付き添いのない状態で子供を車内に残すと、たとえば以下のようにして車両を動かすように設定できることがあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション P からシフトする
- エンジンを始動する

加えて、車両装備を操作し、挟まれる場合があります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

! 車両が動き出さないように、必ず適切な方法で固定してください。車体または駆動系部品を損傷するおそれがあります。

車両が不意に動き出さないようにするためには、以下でなければなりません。

- パーキングブレーキを効かせなければなりません
- トランスミッションをポジション P にし、キーをエンジンスイッチから抜かなければなりません
- 上り坂または下り坂勾配では、前輪を縁石方向に向けなければなりません
- 上り坂または下り坂勾配では、積載物がない車両は、例えば輪止め、または類似のもので前輪を固定しなければなりません
- 上り坂または下り坂勾配では、積載物がある車両は、例えば輪止め、または類似のもので後輪を固定しなければなりません

エンジンの停止

重要な安全上の注意事項

 警告

エンジンを停止すると、オートマチックトランスミッションはニュートラルポジション N に切り替わります。車両が動き出すおそれがあります。事故の危険性があります。

エンジンを停止した後は、必ずパーキングポジション P に切り替えてください。パーキングブレーキを効かせて、駐車した車両が動き出すのを防いでください。

キーを使用して

- ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせます。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトします。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわして、抜きます。

イモビライザーが作動します。

トランスミッションがポジション **R** または **D** のときにエンジンを停止した場合は、オートマチックトランスミッションは **N** に自動的にシフトします。

その後に、運転席ドアまたは助手席ドアを開くか、エンジンスイッチからキーを抜いた場合は、オートマチックトランスミッションは **P** にシフトします。

エンジンを停止する前にオートマチックトランスミッションを **N** にシフトした場合は、運転席ドアまたは助手席ドアを開いた場合でもオートマチックトランスミッションは **N** のままになります。

キーレスゴースイッチを使用して

- ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトします。

- ▶ キーレスゴースイッチを押します (▷235 ージ)。

エンジンが停止し、メーターパネルのすべての表示灯が消えます。

運転席ドアが閉じているときは、キーの位置 **1** に相当します。運転席ドアが開いているときは、キーの位置が **0**、またはエンジンスイッチからキーを抜いた状態に相当します。

キーレスゴースイッチを使用してエンジンを停止した場合は、オートマチックトランスミッションは **N** に自動的にシフトします。その後いずれかのフロントドアを開いた場合は、オートマチックトランスミッションは **P** にシフトします。

コンベアーのある洗車機の中を走行する場合は、以下のことを行なってください：

- キーレスゴースイッチを使用してイグニッションをオンにして、トランスミッションを **N** にシフトする。
- エンジンスイッチにキーを差し込んでイグニッションをオンにして、トランスミッションを **N** にシフトする。

車両が動いている間にキーレスゴースイッチを約3秒間押し続けることにより、エンジンを停止することができます。この機能は、ECO スタートストップ機能の自動エンジン停止の機能とは独立して作動します。

電気式パーキングブレーキ

全体的な注意事項

警告

付き添いのない状態で子供を車内に残すと、たとえば以下のようにして車両を動かすように設定できることがあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

加えて、車両装備を操作し、挟まれる場合があります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

電気式パーキングブレーキの機能は、バッテリー電圧の影響を受けます。バッテリーの電圧が低い、またはシステムに不具合がある場合は、解除してあるパーキングブレーキを効かせることができない場合があります。

- ▶ このような場合は、水平な場所のみに車両を駐車して、動き出さないように固定してください。
- ▶ オートマチックトランスミッションをポジション **P** にシフトします。


バッテリーの電圧が低い、またはシステムに不具合がある場合は、効かせてあるパーキングブレーキを解除することができないことがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

エンジンが停止しているときに、電気式パーキングブレーキは定期的に機能チェックを行ないます。作動音が発生しますが異常ではありません。

手動での作動 / 解除




- ▶ **効かせる**：ハンドル ① を押します。

電気式パーキングブレーキを効かせているときは、メーターパネルの赤色の表示灯  が点灯します。

電気式パーキングブレーキは、エンジンスイッチからキーを抜いているときも効かせることができます。

- ▶ **解除する**：ハンドル ① を引きます。

メーターパネルの赤色の表示灯  が消灯します。

以下のときにのみ、電気式パーキングブレーキを解除することができます。

- エンジンスイッチのキーが **1** または **2** の位置にあるとき (▷234 ページ)、または
- キーレスゴースイッチを使用してイグニッションをオンにしたとき

自動的な作動

以下の場合、トランスミッションがポジション **P** になり、電気式パーキングブレーキが自動的に効きます：

- エンジンが停止して、さらに
- 運転席ドアが開いていて、運転者がシートベルトを着用していない


電気式パーキングブレーキが自動的に効くことを防ぐためには、ハンドル ① を引いてください。

以下の場合、電気式パーキングブレーキが自動的に効きます：

- ディストロニック・プラスにより車両が停止した、または
- ホールド機能により車両が停止したままになっている
- アクティブパーキングアシストにより車両が停止したままになっている

さらに、以下の条件のうちの少なくとも1つが満たされている必要があります：

- エンジンが停止している
- 運転席ドアが開いていて、シートベルトが着用されていない
- システムに故障がある
- 電力供給が不十分である
- 車両が長時間停車している

メーターパネルの赤色の  表示灯が点灯します。

ECO スタートストップ機能によりエンジンが停止した場合は、電気式パーキングブレーキは自動的に効きません。

自動解除

電気式パーキングブレーキは、以下の条件がすべて満たされたときに自動解除されます：

- エンジンがかかっている。
- トランスミッションがポジション **D** または **R** にある。
- シートベルトを着用している。
- アクセルペダルを踏んだ。

オートマチックトランスミッションがポジション **R** にある場合は、トランクリッドが閉じていなければなりません。

シートベルトが着用されていない場合は、電気式パーキングブレーキを自動的に解除するためには以下の条件が満たされている必要があります：

- 運転席のドアが閉まっている。
- シフトポジション **P** からシフトした、またはその前に 3km/h 以上で走行していた。

意図せずにアクセルペダルを踏まないようにしてください。さもないと、パーキングブレーキが解除され、車両が動き始めます。


緊急ブレーキ操作

電気式パーキングブレーキを使用して、緊急時に車両にブレーキを効かせることもできます。

- ▶ 走行している間に、電気式パーキングブレーキのハンドル ① を押します (▷273 ページ)。

電気式パーキングブレーキのハンドル ① を押し続けている限りは、車両にはブレーキが効いています。電気式パーキングブレーキのハンドル ① が長く押されているほど、制動力は大きくなります。

ブレーキが効いている間は以下のようになります：

- 警告音が鳴ります。
- **パークングブレーキ解除してください** というメッセージが表示されます。
- メーターパネルの赤色の  表示灯が点滅します。

車両にブレーキを効かせて停車したときは、電気式パークングブレーキが作動します。

長期間の車両の駐車

4週間以上車両を駐車したままにする場合は、バッテリーが完全に放電して損傷し、これらが再度起こった際にさらに損傷するおそれがあります。

- ▶ バッテリーの接続を外すか、充電器を接続してください。

i 細流充電器についての情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で見ることができます。

車両を6週間以上使用しないと、不具合が生じるおそれがあります。

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねいただき、アドバイスを受けてください。

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両：高電圧バッテリーに関する " 重要な安全上の注意事項 " に従ってください (▷550 ページ)。

運転のヒント

一般的な運転のヒント

警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できないか、または全く使用できません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

ECO 表示 (AMG 車両を除く)



ECO 表示は、お客様の運転特性がどのくらい経済的であるかの評価を行ないます。ECO 表示は、選択されている設定およびそのときの状況で最も経済的な運転スタイルを達成するための支援を行ないます。燃費は運転スタイルによって著しく影響されることがあります。

ECO 表示は以下の 3 本のバーで構成されています。

- アクセル操作
- I/O 運転
- ブレーキ操作

パーセンテージ数は、3 本のバーの数値の平均値です。3 本のバーおよび平均値は 50% の値を起点としています。高いパーセンテージ数はより経済的な運転スタイルを示しています。

ECO 表示は、実際の燃料消費を示すものではありません。ECO 表示の特定のパーセンテージ数は、特定の燃費を示すものではありません。

運転スタイルに加えて、燃費は以下のような他の多くの要因に影響されます：

- 積載量
- タイヤ空気圧
- 冷間始動
- ルートの選択
- 電気装備の使用

これらの要因は ECO 表示には含まれていません。

運転スタイルの評価には、以下の 3 つのカテゴリーが考慮されます：

- **アクセル操作** (すべての加速操作の評価)
 - バーが満たされている：特に高い速度での適度な加速
 - バーが空欄である：スポーティな加速

- **I/O 運転** (運転操作の常時評価)
 - バーが満たされている：一定の速度、および不必要な加速および減速の回避
 - バーが空欄である：速度に変動がある
- **ブレーキ操作** (すべての減速過程の評価)
 - バーが満たされている：距離を保ちながらの予期走行およびアクセルの早期開放。車両はブレーキを使用することなく惰性走行しています。
 - バーが空欄である：頻繁なブレーキ操作

経済的な運転スタイルは適度なエンジン回転数での走行と関係しています。

アクセル操作および**I/O 運転**のカテゴリーでのより高い値は以下の条件で達成します：

- 推奨ギアシフトに従っている
- 走行モード **E** で車両を走行している

高速道路のような一定速度での長距離走行では、**I/O 運転**のバーのみが変化します。

ECO 表示は、走行開始から完了までの運転特性を要約したものです。そのため、走行開始時点ではバーに活発な変化があります。長い運転時間の間では、これらの変化は小さくなります。より活発な変化のためには、手動でのリセットを行なってください。

ECO 表示に関するさらなる情報は、(▷387 ページ) をご覧ください。

ブレーキ

重要な安全上の注意事項

警告

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

下り坂勾配

長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアに変速してください。荷物を積載している車両を運転するときは、このことに特に留意してください。

これは、クルーズコントロール、可変スピードリミッターまたはディストロニック・プラスを作動させている場合も該当します。

これによりエンジンのブレーキ効果を利用し、車両の速度を維持するために必要なブレーキ操作が少なくなります。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

高い、および低い負荷

警告

走行中にブレーキペダルの上に足を置くと、ブレーキシステムが過熱することがあります。これにより制動距離が増加して、ブレーキシステムが故障する原因になるおそれもあります。事故の危険性があります。

ブレーキペダルをフットレストとして使用しないでください。ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏まないでください。

! ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキパッドが極端に早く摩耗する結果になります。

大きな負担がブレーキにかかった場合は、すぐに車両を駐車しないでください。しばらくの間走行してください。これによりブレーキに送風され、ブレーキがより早く冷却されます。

長時間、ブレーキをほぼ使用せずに走行した場合は、時々ブレーキの効きをテストしてください。これを行なうためには、交通状況に注意を払いながら、高速から強めにブレーキを効かせます。これにより、ブレーキの制動力が向上します。

濡れた路面

激しい雨の中で、ブレーキを効かせずに長時間走行した後に、初めてブレーキを効かせたときは、ブレーキの反応が遅れることがあります。これは、洗車後または深い水の中の走行後にも起こることがあります。

ブレーキペダルをよりしっかりと踏む必要があります。先行車両との十分な距離を保ってください。

濡れた路面の走行後や洗車直後は、周囲の道路状況に注意を払いながら強めにブレーキを踏み込んでください。これによりブレーキディスクを温め、それにより素早く乾燥させ、腐食を防止することができます。

塩化物が散布された路面でのブレーキ性能の制約

塩分処理した道路を走行している場合は、塩分の層がブレーキディスクやパッドにできることがあります。これにより制動距離が著しく増加することがあります。

- 塩分の蓄積を防ぐために、交通状況に注意を払いながら、時々ブレーキを効かせてください。
- 走行の終了時と次の走行を開始するときはブレーキペダルを慎重に踏んでください。
- 先行車両との十分な距離を保ってください。

新しいブレーキディスクおよびブレーキパッド / ライニング

新しい、もしくは交換されたブレーキパッド / ライニングおよびディスクは、数百キロメートルの走行後にのみ最適な制動効果を発揮します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少した制動効果を補ってください。

安全上の理由のため、メルセデス・ベンツでは以下のブレーキディスクおよびブレーキパッド / ライニングのみの装着を推奨します。

- メルセデス・ベンツにより承認されたブレーキディスク
- メルセデス・ベンツにより承認された、または同等の品質基準であるブレーキパッド / ライニング

他のブレーキディスクまたはブレーキパッド / ライニングは車両の安全性を損なうおそれがあります。

すべてのアクスルのブレーキディスクおよびブレーキパッド / ライニングを、常に同時に交換してください。ブレーキディスクを交換するときは、常に新しいブレーキパッド / ライニングを装着してください。

車両には、リムおよびネジ組み付けのホイールアッセンブリーに合った軽量ブレーキディスクが装備されています。

メルセデス・ベンツにより承認されているもの以外のブレーキディスクを使用するとトラック幅が変わることがあるため、使用する場合には承認が必要です。

車輪を交換するときなど、ブレーキディスクを取り扱うときに衝撃を伴う負荷を与えた場合は、走行中の快適さの減少につながることがあります。軽量ブレーキディスクへの、特にブレーキプレートへの衝撃型負荷は避けてください。

AMG 強化ブレーキシステムおよび AMG カーボンセラミックブレーキ

強化ブレーキシステムは AMG 車両にのみ使用できます。

AMG 強化ブレーキシステムは高負荷に耐えるように設計されています。これは、ブレーキ時のノイズにつながることがあります。これは、以下により異なります。

- 走行速度
- 制動力
- 気温や湿度などの外気環境

ブレーキパッド / ライニングまたはブレーキディスクのような個々のブレーキシステム部品の摩耗は、個人の運転スタイルおよび使用状況によって異なります。

この理由のため、すべての状況で有効になるような走行距離（寿命）を明確にすることはできません。積極的な運転スタイルは、高い摩耗につながります。さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

新しい、もしくは交換されたブレーキパッド / ライニングおよびディスクは、数百キロメートルの走行後にのみ最適な制動効果を発揮します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少した制動効果を補ってください。慣ら運転の間は、常にこれに注意し、それに応じて運転やブレーキ操作を合わせてください。

過度に負担があるブレーキ操作は、それに応じてブレーキパッドの高い摩耗につながります。マルチファンクションディスプレイのブレーキ摩耗に関するディスプレイメッセージやブレーキに関するいかなるメッセージにも注意してください。定期的に高速で走行する場合は、ブレーキシステムを定期的に点検し、整備することが特に重要です。

濡れた路面の走行

ハイドロブレーニング現象

一定の深さまで路面に水がたまっている場合は、以下の場合でもハイドロブレーニング現象の危険性があります：

- 低速で走行している
- タイヤの溝が十分にある

その理由のため、激しい雨またはハイドロブレーニング現象が起こりそうな状況では、以下のように走行してください：

- 速度を落としてください
- わだちを避けてください
- 急なステアリングの操作は避けてください
- ブレーキ操作は慎重に行なってください

冠水路の走行

! 先行車や対向車も波を発生させていることに注意してください。車が通ることにより、許容最大水深を超える可能性があります。

これらの注意事項は、どのような状況でも守ってください。そうしないと、エンジン、電気装備およびトランスミッションを損傷するおそれがあります。

冠水路を走行しなければならない場合は、以下を念頭に置いてください：

- 流れのない水溜りでは、水面が車体下端部の最も高い箇所を超えてはいけません
- 歩くペースより速く走行しないでください

寒冷時の走行

 警告

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

 警告

マフラーが遮られ、適切な換気が可能でない場合は、一酸化炭素 (CO) のような有毒ガスが車内に入り込んでくる場合があります。車両が雪にはまった場合などがあてはまります。致命的な中毒の危険性があります。

エンジンをかけたままにする場合は、マフラーや車両周辺に雪がないことを確認してください。

新鮮な空気を十分に取り入れるために、車両の風上側のウインドウを開いてください。

冬季の始まりには、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で車両の冬季対策を行なってください。

滑りやすい路面では、特に慎重に走行してください。急な加速、ステアリング、ブレーキ操作は避けてください。ディストロニック・プラスを使用しないでください。

車両がスリップしそうなとき、または低速走行中に停止できない場合は、以下のようにしてください。

▶ トランスミッションをポジション N に動かします。

▶ ステアリング操作の修正により、車両を制御できるよう試してください。

外気温度表示は凍結警告機器として使用するためには設計されていないため、この目的には合っていません。外気温度の変化は、少し遅れて表示されます。

氷点すぐ上の表示温度は、路面に氷がないことを保証しているものではありません。特に森林地域や橋の上では、路面が凍結していることがあります。

気温が氷点前後のときは、路面状況に特に注意してください。

スノーチェーンでの走行に関するさらなる情報は、(▶570 ページ) をご覧ください。

サマータイヤでの走行に関するさらなる情報は、(▶569 ページ) をご覧ください。

"寒冷時の取り扱い" の項目の注意事項に従ってください (▶569 ページ)。

走行システム

メルセデス・ベンツ・インテリジェントドライブ

メルセデス・ベンツ・インテリジェントドライブは、快適性を高め、危険な状況で運転者を支援する、革新的な運転者支援および安全システムです。一体化されたこれらの優れたシステムにより、メルセデス・ベンツは自動走行に向けた画期的な一段階を得ることができました。

車両乗員および他の道路使用者のため、メルセデス・ベンツ・インテリジェントドライブは、アクティブそしてパッシブセーフティのすべての要素を1つのシステムと想定して統合しています。

走行安全システムに関するさらなる情報は、(▷102 ページ) をご覧ください。

クルーズコントロール

全体的な注意事項

クルーズコントロールは一定の走行速度を維持します。設定速度を超えないようにするために自動的にブレーキを効かせます。長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアに変速してください。積載した車両を運転するときは、このことに特に留意してください。そうすることにより、エンジンのブレーキ作用を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

道路や交通状況が長時間の一定速度の維持に適している場合にのみ、クルーズコントロールを使用してください。30km/h以上の走行速度を記憶させることができます。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、クルーズコントロールは事故の危険性を軽減できず、また物理的限界を超えることもできません。クルーズコントロールは道路、天気、交通事情を考慮することはできません。クルーズコントロールは単なる支援に過ぎません。運転者には、先行車両との距離、車両の速度、適切なブレーキ操作、および車線を維持する責任があります。

以下の場合にはクルーズコントロールを使用しないでください。

- 一定の速度を維持できないような道路および交通状況（例：混雑している交通状況、または曲がりくねっている道路）

- 滑りやすい路面
ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。
- 霧、激しい雨または雪などのために視界が悪いとき

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶させている速度を伝えてください。

クルーズコントロールレバー



- ① 現在の走行速度、またはより高い速度を記憶させる
- ② LIM 表示灯
- ③ 現在の走行速度を記憶させる、または記憶されている速度を呼び出す
- ④ 現在の走行速度、またはより低い速度を記憶させる
- ⑤ クルーズコントロールと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑥ クルーズコントロールの解除

クルーズコントロールレバーでクルーズコントロールおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯は、選択したシステムを表しています。

- **LIM 表示灯が消灯**：クルーズコントロールが選択されています。
- **LIM 表示灯が点灯**：可変スピードリミッターが選択されています。

クルーズコントロールを作動させたときは、記憶させた速度がマルチファンクシオンディスプレイに5秒間表示されます。スピードメーターには、記憶させた速度と最高速度の間のセグメントが点灯します。

クルーズコントロールの選択



- ▶ LIM 表示灯 ① が消灯しているか確認してください。

消灯している場合は、クルーズコントロールが選択されています。

そうでない場合は、クルーズコントロールレバーを矢印 ② の方向に押します。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ① が消灯します。クルーズコントロールが選択されます。

現在の速度の記憶および維持



30km/h 以上で走行している場合は、現在の速度を記憶させることができます。

- ▶ 希望の速度まで車両を加速させます。
- ▶ クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に軽く操作します。
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。

クルーズコントロールが作動します。車両は自動的に速度を維持します。

i 上り坂では、クルーズコントロールは記憶させた速度を維持できないことがあります。勾配が平坦になったときは、記憶させた速度に戻ります。下り坂では、クルーズコントロールは自動的に車両にブレーキを効かせることにより、記憶させた速度を維持します。

最後に記憶させた速度の呼び出し

⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度より低いときは、車両が減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に減速することがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、希望の速度を再設定してください。



- ▶ クルーズコントロールレバーを手前①に軽く引きます。
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。

初めてクルーズコントロールを作動させたときは、現在の速度が記憶されるか、または以前に記憶させた速度に車両速度を制御します。

速度の設定



車両が設定速度まで加速または減速するまでには少し時間がかかることに注意してください。

- ▶ 高い速度には上①に、低い速度には下②にクルーズコントロールレバーを操作します。
- ▶ 希望する速度に到達するまで、クルーズコントロールレバーを押して保持します。

- ▶ クルーズコントロールレバーから手を放します。
新しい速度が記憶されます。

- ▶ **設定速度を 1km/h 単位で調整する：**
手応えがあるところまで、クルーズコントロールレバーを上①または下②に軽く押します。

最後に記憶させた速度が 1km/h 単位で増減します。

- ▶ **設定速度を 10km/h 単位で調整する：**
手応えがあるところを越えるまで、クルーズコントロールレバーを上①または下②に軽く押します。

最後に記憶させた速度が 10km/h 単位で増減します。

- ▶ **i** クルーズコントロールは、アクセルペダルを踏んだ場合でも解除されません。追い越すために加速した場合は、追い越しを終了した後にクルーズコントロールは車両の速度を最後に記憶させた速度に調整します。

クルーズコントロールの解除



クルーズコントロールを解除するためにはいくつかの方法があります。

- ▶ クルーズコントロールレバーを前方③に軽く操作します。

または

- ▶ ブレーキを効かせます。

または

- ▶ クルーズコントロールレバーを矢印②の方向に軽く操作します。

可変スピードリミッターが選択されます。クルーズコントロールレバーのLIM表示灯①が点灯します。

以下の場合にはクルーズコントロールが自動的に解除されます。

- 電気式パーキングブレーキを効かせた
- 30km/h以下で走行した
- ESP®が介入した、またはESP®を解除した
- 走行している間にトランスミッションをポジションNにシフトした

クルーズコントロールが解除された場合は、警告音が鳴ります。マルチファンクションディスプレイに **クルーズコントロール解除** というメッセージが約5秒間表示されます。

i エンジンを停止したときは、記憶されている速度は消去されます。

可変スピードリミッター

全体的な注意事項

設定された速度を超えないように可変スピードリミッターは自動的にブレーキを効かせます。長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアに変速してください。積載した車両を運転するときには、このことに特に留意してください。そうすることにより、エンジンのブレーキ作用を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、可変スピードリミッターは事故の危険性を低減させることはできず、また物理的の法則を乗り越えることもできません。可変スピードリミッターは道路、天候および交通状況を考慮することはできません。可変スピードリミッターは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との距離、車両の速度、適切なブレーキ操作、および車線を維持する責任があります。

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶させている速度を伝えてください。

可変スピードリミッター

全体的な注意事項



- ① 現在の走行速度、またはより高い速度を記憶させる
- ② LIM表示灯
- ③ 現在の走行速度を記憶させる、または記憶されている速度を呼び出す
- ④ 現在の走行速度、またはより低い速度を記憶させる
- ⑤ クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑥ 可変スピードリミッターを解除する

クルーズコントロールレバーでクルーズコントロールまたはディストロニック・プラスおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯は、選択したシステムを表しています。

- **LIM表示灯が消灯**：クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスが選択されています。
- **LIM表示灯が点灯**：可変スピードリミッターが選択されています。

エンジンがかかっている間に、クルーズコントロールレバーを使用して、約30km/h以上のいかなる速度に速度を制限することができます。

可変スピードリミッターの選択



運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶されている制限速度を伝えてください。

- ▶ LIM表示灯①が点灯しているか確認してください。

点灯している場合は、可変スピードリミッターはすでに選択されています。

そうでない場合は、クルーズコントロールレバーを矢印②の方向に操作します。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯①が点灯します。可変スピードリミッターが選択されます。

現在の速度の記憶



エンジンがかかっている間に、クルーズコントロールレバーを使用して、約30km/h以上の速度に制限することができます。

- ▶ クルーズコントロールレバーを上①または下②に軽く操作します。

現在の速度が記憶され、マルチファンクションディスプレイに表示されます。最初の目盛りと記憶させた速度の間のスピードメーターのダイヤルが点灯します。

現在の速度の記憶および最後に記憶させた速度の呼び出し

⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度より低いときは、車両が減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に減速することがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、希望の速度を再設定してください。



- ▶ クルーズコントロールレバーを手前①に軽く引きます。

速度の設定



- ▶ **設定速度を 10km/h 単位で調整する**：手応えがあるところを越えるまで、高い速度には上①に、低い速度には下②に、クルーズコントロールレバーを軽く押します。

または

- ▶ 希望する速度に設定されるまで、手応えがあるところを越えるまでクルーズコントロールレバーを押して保持します。高い速度にはクルーズコントロールレバーを上①に、低い速度には下②に押します。

- ▶ **設定速度を 1km/h 単位で調整する**：手応えがあるところまで、高い速度には上①に、低い速度には下②に、手応えのあるところまでクルーズコントロールレバーを軽く押します。

または

- ▶ 希望する速度に設定されるまで、手応えがあるところまでクルーズコントロールレバーを押して保持します。高い速度にはクルーズコントロールレバーを上①に、低い速度には下②に押します。

可変スピードリミッターを待機状態に切り替える

踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏んだ場合は（キックダウン）、可変スピードリミッターは待機モードに切り替わります。マルチファンクションディスプレイに **可変スピードリミッター制御待機中** というメッセージが表示されます。

この後は、記憶させている速度を超えることができます。可変スピードリミッターは、以下のときに再度作動します：

- キックダウンをせずに、記憶させている速度以下で走行した
- 新たに速度を設定した、または
- 最後に保存された速度を再度呼び出した。

マルチファンクションディスプレイのメッセージ **可変スピードリミッター制御待機中** というメッセージが消えます。

可変スピードリミッターの解除

ブレーキ操作で可変スピードリミッターを解除することはできません。



可変スピードリミッターを解除するためにはいくつかの方法があります。

- ▶ クルーズコントロールレバーを前方③に軽く操作します。

または

- ▶ クルーズコントロールレバーを矢印の方向②に軽く操作します。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯①が消灯します。可変スピードリミッターは解除されます。

クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスが選択されます。

i エンジンを停止したときは、記憶されている速度は消去されます。

スノータイヤスピードリミッター

マルチファンクションディスプレイを使用して、約160km/h（例えばウインタータイヤで走行するとき）から最高速度までの間の値に、常に速度を制限できます（▷405ページ）。

記憶させた速度に到達する少し前に、マルチファンクションディスプレイに速度が表示されます。

可変スピードリミッターを解除した場合でも、スノータイヤスピードリミッターは作動したままになります。

踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏んだ場合でも（キックダウン）、記憶させた制限速度を超えることはできません。

ディストロニック・プラス

全体的な注意事項

ディストロニック・プラスは速度を制御し、前方に検知された車両との距離を自動的に維持する支援を行いません。車両はレーダーセンサーシステムの支援で検知されます。ディストロニック・プラスは設定された速度を超えないように自動的にブレーキを効かせます。

長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアに変速してください。荷物を積載している車両を運転するときは、このことに特に留意してください。そうすることにより、エンジンのブレーキ作用を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

ディストロニック・プラスが衝突の危険があることを検知した場合は、視覚および聴覚的に警告を行いません。運転者の操作なしでは、ディストロニック・プラスは衝突を回避することはできません。断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの距離警告灯が点灯します。安全な場合にも、ただちにブレーキを効かせて先行車両との距離を広げ、危険回避の操作を行なってください。

ディストロニックプラスは 0km/h ~ 200km/h の間の速度で作動します。

急な勾配の道路を走行しているときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください。

重要な安全上の注意事項

警告

ディストロニック・プラスは以下のものには反応しません。

- 歩行者や動物
- 駐停車している車両など、道路上の静止している障害物
- 対向車や横切る車両

この場合、ディストロニック・プラスは警告も介入も行いません。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

警告

ディストロニック・プラスは、他の道路使用者および複雑な交通状況を常に明確に認識できるとは限りません。そのような場合は、ディストロニック・プラスは以下になることがあります。

- 不必要な警告を行ない、車両にブレーキをかける
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる
- 意図せず加速する、またはブレーキを効かせる

事故の危険性があります。

特にディストロニック・プラスが警告した場合は、慎重に走行を続け、ブレーキを効かせる準備をしてください。

警告

ディストロニック・プラスは最大制動力の 50% まで車両にブレーキを効かせます。減速が十分でない場合は、ディストロニック・プラスは視覚的および聴覚的警告で運転者に警告します。事故の危険性があります。

これらの状況では自分でブレーキを効かせ、回避行動を取るよう試みてください。

! ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキが効きます。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください。

- けん引されるとき
- 洗車時

運転スタイルを合わせられない場合は、ディストロニック・プラスは事故の危険性を低減することはできません。また、物理的限界を超えることはできません。ディストロニック・プラスは路面、天候および交通状況を考慮することはできません。ディストロニック・プラスは単なる支援に過ぎません。運転者には、先行車両との距離、車両の速度、適切なブレーキ操作、および車線を維持する責任があります。

以下のときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください。

- 混雑している道路またはカーブの多い道路など、一定の速度を保つことができない道路および交通状況
- 滑りやすい路面。ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります
- 霧、激しい雨または雪などのために視界が悪いとき

ディストロニック・プラスは、オートバイなど前方を走行している幅の狭い車両、または異なる車線を走行している車両を検知しないことがあります。

特に以下のときは、障害物の検知が困難になることがあります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雪または激しい雨が降っている
- 他のレーダー発生源による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射の可能性がある

ディストロニック・プラスが先行車両を検知しなくなった場合は、記憶させた速度まで予期せず加速することがあります。

速度は以下のようになるおそれがあります。

- 変更される車線や滑りやすい道路で非常に高くなりすぎる
- 左車線を走行しているにも関わらず、右車線にいる車両を追い越してしまうほど高くなりすぎる（左側通行の国）

運転者を交代する場合は、次の運転者に保存した速度を伝えてください。

クルーズコントロールレバー



- ① 速度を設定する、または上げる
- ② 指定最短距離を設定する
- ③ LIM 表示灯
- ④ 現在の速度 / 最後に記憶させた速度に設定する
- ⑤ 速度を設定する / 下げる
- ⑥ ディストロニック・プラスと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑦ ディストロニック・プラスを解除する

クルーズコントロールレバーでディストロニック・プラスおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ③ は現在選択されている機能を表示しています。

- LIM 表示灯 ③ が消灯: ディストロニック・プラスが選択されています。
- LIM 表示灯 ③ が点灯: 可変スピードリミッターが選択されています。

ディストロニック・プラスの選択



▶ LIM 表示灯 ① が消灯しているかどうかを確認してください。

消灯している場合は、ディストロニック・プラスがすでに選択されています。そうでない場合は、クルーズコントロールレバーを矢印 ② の方向に押しします。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ① が消灯します。ディストロニック・プラスが選択されます。

ディストロニック・プラスの作動

作動条件

ディストロニック・プラスを作動させるためには、以下の条件を満たさなければなりません。

- エンジンがかかっている。ディストロニック・プラスが使用する準備ができるまで、少なくとも 2 分間走行してなければなりません。

- 電気式パーキングブレーキが解除されている。
- ESP® が設定されているが、介入していない。
- アクティブパーキングアシストが作動していない。
- トランスミッションがポジション **D** である。
- **P** から **D** にシフトするときに運転席ドアが閉じている、または運転者のシートベルトが着用されている。
- 助手席ドアとリアドアが閉じている。
- クルーズコントロールレバーでディストロニック・プラスが選択されている (>289 ページ)。

設定する



▶ クルーズコントロールレバーを軽く手前 ② に引くか、上 ① または下 ③ に操作します。

ディストロニック・プラスが作動します。

▶ 希望の速度になるまでクルーズコントロールレバーを上 ① にまたは下 ③ に繰り返し操作します。

- ▶ アクセルペダルから足を放してください。

希望の記憶させた速度までのみ、先行車両の速度に自車の速度が合わせられます。

- ❶ アクセルペダルから完全に足を放していない場合は、マルチファンクションディスプレイに **ディストロニック・プラス制御待機中** というメッセージが表示されます。このときは、ゆっくり走行している先行車両との設定距離は維持されません。アクセルペダルの位置に応じた速度で走行します。

停止しているときもディストロニック・プラスを作動させることができます。設定できる最低速度は約 30km/h です。

- ▶ クルーズコントロールレバーを手前 ② に引くか、上 ① または下 ③ に操作します。

ディストロニック・プラスが作動します。

現在の速度 / 最後に記憶させた速度で作動させる

⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度と異なるときは、車両が加速または減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に加速したりブレーキが効くことがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、速度を再設定してください。



- ▶ クルーズコントロールレバーを手前 ① に軽く引きます。
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。

ディストロニック・プラスが作動します。初めて作動させたときは、そのときの速度が記憶されます。それ以外の場合は、車両の巡航速度を以前に記憶させた数値に設定します。

ディストロニック・プラスでの運転

発進と走行



- ▶ **ディストロニック・プラスで発進したい場合**：ブレーキペダルから足を放します。
- ▶ クルーズコントロールレバーを手前 ① に軽く引きます。

または

- ▶ 軽くアクセルペダルを踏みます。

車両が発進して、走行速度を先行車両の速度に合わせます。前方に車両を検知していない場合は、車両は設定した速度まで加速します。

① 未確認の障害物に面しているとき、または他の車両と異なるラインを走行するときにも、車両は発進できます。その後に、車両は自動的にブレーキを効かせます。事故の危険性があります。いつでもブレーキを効かせる準備をしてください。

先行車両がない場合は、ディストロニック・プラスはクルーズコントロールと同じように作動します。

先行車両が減速したことをディストロニック・プラスが検知した場合は、車両にブレーキを効かせます。このようにして設定した車間距離が維持されます。

前方でより速く走行している車両をディストロニック・プラスが検知した場合は、走行速度が上がります。ただし、記憶させた速度までしか車両は加速しません。

走行モードの選択

全車両 (AMG 車両を除く)： 走行モード **S** を選択しているときは、ディストロニック・プラスはスポーティな運転スタイルを支援します (▷249 ページ)。先行車両の後方まで、または設定した速度まで非常にダイナミックに加速します。走行モード **E** を選択している場合は、車両はさらに緩やかに加速します。この設定は交通渋滞で推奨されます。

AMG 車両： 走行モード **S** または **M** を選択しているときは、ディストロニック・プラスはスポーティな運転スタイルを支援します (▷249 ページ)。先行車両の後方まで、または設定した速度まで非常にダイナミックに加速します。走行モード **C** を選択しているときは、車両はさらに緩やかに加速します。この設定は交通渋滞で推奨されます。

車線変更

以下のときに追い越し車線に移る場合は、ディストロニック・プラスは運転者を支援します。

- 70km/h 以上で走行している
- 対応する方向指示灯を作動させている
- ディストロニック・プラスが衝突の危険を検知していない

これらの条件を満たした場合は、車両は加速します。車線変更に時間がかかりすぎたり、車両と先行車両との距離が短すぎる場合は、加速は中断されます。

① 車線を変更するとき、ディストロニック・プラスは左の車線 (左ハンドル車両) または右の車線 (右ハンドル車両) をモニターします。

停止

⚠ 警告

車両から離れるとき、ディストロニック・プラスによりブレーキが効いていても以下の場合は車両が動き出すことがあります。

- システムまたは電源供給に異常があるとき
- 乗員または車外の誰かがクルーズコントロールレバーを操作して、ディストロニック・プラスが解除されたとき
- エンジンルームの電気システムや、バッテリーまたはヒューズが改造されたとき
- バッテリーの接続を外したとき
- 同乗者などがアクセルペダルを踏んだとき

事故の危険性があります。

車両から離れるときは、必ずディストロニック・プラスを解除して車両が動き出さないように固定してください。

ディストロニック・プラスの解除についてのさらなる情報は、(▷293 ページ)をご覧ください。

先行車両が停止したことをディストロニック・プラスが検知した場合は、車両が停止するまでブレーキを効かせます。

一度車両が停止すると、停車したままになり、ブレーキペダルを踏む必要はありません。

その後すぐに、電気式パーキングブレーキにより車両が動かなくなり、ブレーキの負担が軽減されます。

設定最短距離によっては、車両は先行車両の後方に十分な距離があるところで停止することがあります。設定最短距離はクルーズコントロールレバーのダイヤルを使用して設定します。

ホールド機能を作動させているときは、以下の場合にトランスミッションは自動的にポジション **P** にシフトします：

- シートベルトが着用されておらず、運転席ドアを開いた
- ECO スタートストップ機能による自動停止以外の方法でエンジンを停止した

車両が停止しているときにディストロニック・プラスが作動状態で以下の場合には、自動的に電気式パーキングブレーキによって車両が動かなくなります。

- システムに異常が発生した
- 電力供給が不十分である

電気式パーキングブレーキが故障した場合は、トランスミッションが自動的にポジション **P** にシフトすることがあります。

速度の設定



- ▶ 設定速度を上げるにはクルーズコントロールレバーを上 ① に、設定速度を下げるには下 ② に操作します。
- ▶ 希望する速度に到達するまで、クルーズコントロールレバーを押して保持します。

- ▶ クルーズコントロールレバーを放します。

新しい速度が記憶されます。ディストロニック・プラスが作動し、新しく記憶させた速度に車両速度を調整します。

- ▶ **設定速度を 1km/h 単位で調整する：** 手応えがあるところまで、クルーズコントロールレバーを上①または下②に軽く押します。

最後に記憶された速度が 1km/h 単位で増減します。

- ▶ **設定速度を 10km/h 単位で調整する：** 手応えがあるところを越えるまで、クルーズコントロールレバーを上①または下②に軽く押します。

最後に記憶された速度が 10km/h 単位で増減します。

- ① 追い越すために加速した場合は、追い越しを終了した後に、ディストロニック・プラスは最後に記憶された速度に車両の速度を調整します。

指定最短距離の設定

時間間隔を 1 秒から 2 秒の間で変えることにより、ディストロニック・プラスの設定最短距離を設定することができます。この機能により、車両速度に応じてディストロニック・プラスが維持する、先行車との最短車間距離を設定することができます。マルチファンクションディスプレイでこの距離を表示することができます (▶295 ページ)。

- ① 法令に要求されているような先行車両との最短距離を維持していることを確認してください。必要であれば、先行車両との距離を調整してください。



- ▶ **長くする：**ダイヤル②を③の方向にまわします。

ディストロニック・プラスは自車と先行車両との距離をより長く維持します。

- ▶ **短くする：**ダイヤル②を①の方向にまわします。

ディストロニック・プラスは自車と先行車両との距離をより短く維持します。

メーターパネルのディストロニック・プラス表示

スピードメーターの表示



ディストロニック・プラスを作動させたときは、三角マーク②が記憶された速度を示します。

ディストロニック・プラスが先行車両を検知した場合は、先行車両の速度①と記憶された速度②の間のセグメントが点灯します。同様に、先行車両が追い越し車線で検知された場合は、セグメントが点灯します。

❶ 設計上の理由により、スピードメーターに表示された速度はディストロニック・プラスで設定された速度と多少異なることがあります。

ディストロニック・プラスが非作動のときの表示



- ① 検知された場合の先行車両
- ② 距離インジケーター：先行車両までの現在の距離
- ③ 先行車両までの設定された最短車間距離（調整可能）
- ④ 自車

マルチファンクションディスプレイのアシストメニュー（▷398 ページ）で、アシスト一覧表示を選択できます。

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、**アシスト一覧** 機能を選択します（▷396 ページ）。

ディストロニック・プラスが作動しているときの表示



- ① ディストロニック・プラス作動表示（文字はクルーズコントロールレバーが動かされた場合のみ表示されます）
- ② 検知された場合の先行車両
- ③ 先行車両までの設定された最短車間距離（調整可能）
- ④ 自車

マルチファンクションディスプレイのアシストメニュー（▷398 ページ）で、アシスト一覧表示を選択できます。

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、**アシスト一覧** 機能を選択します（▷396 ページ）。

ディストロニック・プラスを作動させたときは、記憶させた速度が約 5 秒間表示されます。

ディストロニック・プラスの解除



ディストロニック・プラスを解除するためにはいくつかの方法があります。

- ▶ クルーズコントロールレバーを前方①に軽く操作します。

または

- ▶ 車両が停止していないときにブレーキを効かせます。

または

- ▶ クルーズコントロールレバーを矢印③の方向に軽く操作します。

可変スピードリミッターが選択されます。クルーズコントロールレバーのLIM表示灯②が点灯します。

ディストロニック・プラスを解除したときは、マルチファンクションディスプレイに **ディストロニックプラスオフ** というメッセージが約 5 秒間表示されます。

i エンジン进行を停止するまでは、最後に記憶させた速度が記憶されたままになります。

i アクセルペダルを踏んだ場合でも、ディストロニック・プラスは解除されません。

以下の場合、ディストロニック・プラスが自動的に解除されます。

- 電気式パーキングブレーキを効かせた、または車両が自動的に電気式パーキングブレーキで固定された
- ESP® が介入した、または ESP® を解除した
- トランスミッションが **P**、**R**、または **N** ポジションにある
- 発進するためにクルーズコントロールレバーを運転者の方向に引き、助手席ドアまたはいずれかのリアドアが開いている。
- 車両が横滑りした
- アクティブパーキングアシストを作動させた。

ディストロニック・プラスが解除された場合は、警告音が鳴ります。マルチファンクションディスプレイに **ディストロニックプラスオフ** というメッセージが約 5 秒間表示されます。

ディストロニック・プラスでの運転のヒント

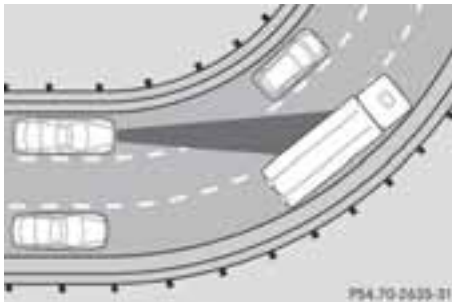
全体的な注意事項

以下の交通状況では特に注意して運転してください。

- カーブの走行 / 進入 / 脱出時
- 車線の中央を走行していない車両
- 車線変更する他の車両
- 幅の狭い車両
- 障害物や停止車両
- 横切る車両

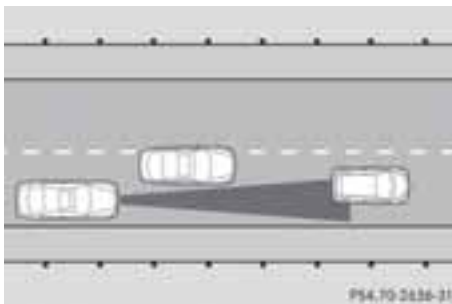
そのような状況では必要であればブレーキを効かせてください。ディストロニック・プラスは解除されます。

カーブの走行 / 進入 / 脱出時



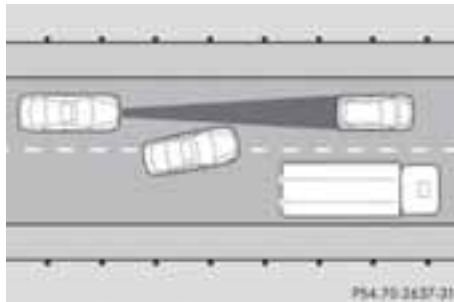
カーブではディストロニック・プラスの車両を検知する能力には限界があります。予期せずまたは遅くブレーキを効かせることがあります。

車線の中央を走行していない車両



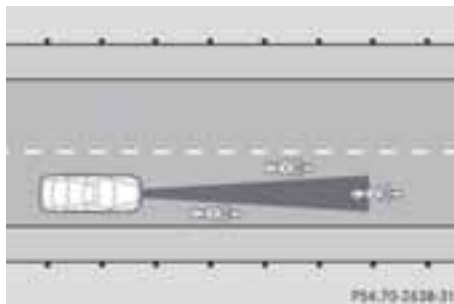
ディストロニック・プラスは車線の中央を走行していない車両を認識することができません。先行車両との距離は非常に短くなる場合があります。

車線変更する他の車両



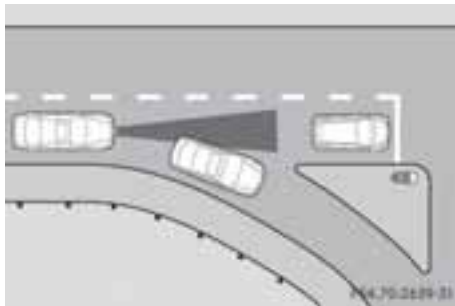
ディストロニック・プラスは割り込んでくる車両を検知しません。この車両との距離は非常に短くなる場合があります。

幅の狭い車両



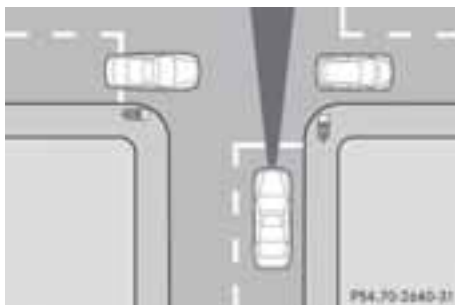
ディストロニック・プラスは道路の端の幅の狭い車両を検知しないことがあります。先行車両との距離が非常に短くなる場合があります。

障害物や停止車両



ディストロニック・プラスは障害物や停止車両に対してブレーキを効かせないことがあります。例えば、検知していた車両がカーブを曲がり、障害物や停止車両が現れたときは、ディストロニック・プラスはこれらに対してブレーキを効かせないことがあります。

横切る車両



ディストロニック・プラスは車線を横切る車両を誤って検知することがあります。交差点の信号でディストロニック・プラスを作動させると、例えば不意に車両が発進することがあります。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラス

※ 日本での装備名称は、「ディストロニック・プラス (ステアリングアシスト付)」です。

全体的な注意事項



ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラスは、0-200km/hの速度域で、緩やかなステアリングの介入により、車両を走行車線の中央に保つ支援をします。

これは、フロントウィンドウ上部のカメラシステム①によって車両の前方エリアをモニターします。

交通渋滞で車両に追従しているときなど0～60km/hの速度域では、ストップ&ゴーパイロットは、車線マークを考慮に入れながら先行車両に目標を合わせます。

60km/h以上の速度では、ステアリングアシストは検知された車線マーク（左および右）に、検知された車線マークがない場合は先行車両にのみ目標を合わせます。

これらの条件を満たしていない場合は、ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットは作動しません。

機能が作動できるようにするためには、ディストロニック・プラスが作動していなければなりません。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラスは事故の危険性を低減することができません。また、物理的限界を超えることはできません。道路、天候および交通状況を考慮することはできません。ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラスは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との距離、車両の速度、適切なブレーキ操作、および車線を維持する責任があります。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラスは、道路および交通状況を検知するものでもなければ、すべての道路使用者を検知するものでもありません。道路の端に向かって走行している車両に追従している場合は、お客様の車両が縁石または他の道路境界線に接触するおそれがあります。車線ラインを逸脱する場合は、お客様の車両のすぐ隣の自転車など、他の道路使用者には特に気をつけてください。

車線上にあるコーンや車線内にはみ出した障害物は検知されません。

車線マークの上を故意に走行した後などの不適切なステアリングの介入は、反対方向に軽くステアリングを操作した場合にいつでも修正することができます。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラスは、車両を車線内に保ち続けることはできません。場合によっては、ステアリングの介入は車両を車線内に戻すのに十分でない場合があります。このような場合は、ご自身で車両のステアリング操作を行ない、車線を外れないようにしてください。

以下の場合、システムにより行なわれる支援が困難になることがあります：

- 道路に十分な照明がなかったり、雪や雨、霧や霧雨などにより、視界が悪い
- 対向交通、太陽または他の車両からの反射光などで眩惑がある（路面が濡れている場合など）
- フロントウインドウが汚れていたり、曇っている、または、カメラ付近がステッカーなどで覆われている
- 工事エリアなどで1車線の車線マークがまったくないか、または複数ある、不明瞭である
- 車線マークが摩耗していたり黒ずんでいる、または汚れや雪などに覆われている
- 先行車両との車間距離が短くて車線マークが検知できない
- 車線の分岐や他との交差、合流などで車線マークが頻繁に変わる
- 道路が狭かったりカーブしている
- 道路に著しく様々な日陰の状況がある

以下の場合、システムが待機状態に切り替わり、ステアリング介入の実行による支援を行なわなくなります：

- 頻繁に車線を変更している
- 方向指示灯を作動させる
- 長時間ステアリングから手を放している、またはステアリング操作をしていない

i 車線変更後にステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットは再び自動的に作動します。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットは以下のときは作動しません。

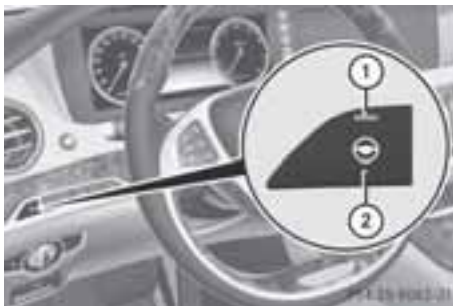
- ・ 非常に急なカーブで
- ・ タイヤの空気圧の減少またはタイヤの不具合が検知され表示された

ディストロニック・プラスの重要な安全上の注意事項にも注意してください(▷288 ページ)。

ステアリング操作の介入は、限られたステアリング操舵力で行なわれます。ステアリングに手を置いたまま、ご自身でステアリング操作をするようにシステムは運転者に要求します。

ステアリング操作をご自身で行なわない場合、または長時間ステアリングから手を放している場合は、システムはまず視覚的な警告で警告します。マルチファンクションディスプレイにステアリングのマークが表示されます。遅くとも 5 秒後にステアリング操作をまだ開始しておらず、ステアリングを握っていない場合は、車両を操作するように気付かせるために警告音も鳴ります。ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットは、待機モードに切り替わります。ディストロニック・プラスは作動したままになります。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットの作動



- ▶ スイッチ ② を押します。

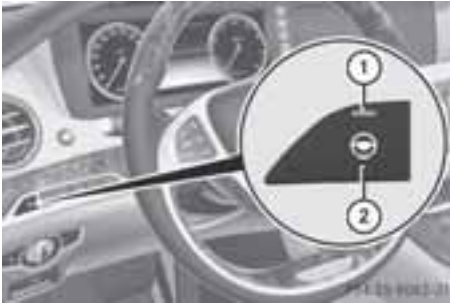
表示灯 ① が点灯します。マルチファンクションディスプレイに **DTR+: ステアリングアシスト** というメッセージが表示されます。ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが作動します。

マルチファンクションディスプレイの情報



ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが設定されているが、ステアリングの介入の準備ができていない場合は、ステアリングのマーク ① が灰色で表示されます。システムがステアリング介入によって支援を行なっている場合は、マーク ① が緑色で表示されます。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットの解除



▶ スイッチ ② を押します。

表示灯 ① が消灯します。マルチファンクションディスプレイに **DTR+: ステアリングアシスト** というメッセージが表示されます。ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが解除されます。

ディストロニック・プラスが解除されている、または使用できないときは、ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットは自動的に解除されます。

ホールド機能

全体的な注意事項

ホールド機能は以下のようなときに運転者を支援します。

- 特に急な坂道で発進するとき
- 急な坂道で車を動かすとき
- 発進待ちをしているとき

運転者がブレーキペダルを踏まなくても、車両が停止した状態を保ちます。

発進するためにアクセルペダルを踏んだときは、ブレーキ効果が解除されホールド機能は解除されます。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

車両を離れるときは、ホールド機能によりブレーキを効かせているにも関わらず、以下のときに発進するおそれがあります。

- システムまたは電圧の供給に不具合がある
- 例えば車両乗員によってアクセルペダルが踏まれることによりホールド機能が解除される
- エンジンルームの電気システムや、バッテリー、またはヒューズが改造される
- バッテリーの接続が外された

事故の危険性があります。

車両を離れる前には常にホールド機能を解除し、発進しないように車両を固定してください。

ホールド機能の解除についてのさらなる情報は、(▷301 ページ) をご覧ください。

❗ ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキが効きます。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

作動条件

以下の条件のすべてが満たされている場合は、ホールド機能を作動できます。

- 車両が停止している。
- エンジンがかかっている、またはエンジンをECOスタートストップ機能によって自動的に停止している。
- 運転席ドアが閉じている、または運転者がシートベルトを着用している。
- 電気式パーキングブレーキが解除されている。
- トランスミッションがポジションD、R、Nである。
- ディストロニック・プラスが解除されている。

ホールド機能を作動させる



- ▶ 作動条件が満たされていることを確認します。
- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに①が表示されるまで、ブレーキペダルを素早くさらに踏みます。

ホールド機能が作動します。ブレーキペダルから足を放すことができます。

i 最初にブレーキペダルを踏んだときにホールド機能が作動しない場合には、少し待った後に再度試してください。

ホールド機能を解除する

ホールド機能は以下のときに自動的に解除されます。

- シフトポジションDまたはRのときにアクセルペダルを踏んだ。
- トランスミッションをポジションPにシフトした。
- マルチファンクションディスプレイからHOLDが消えるまで、ブレーキペダルを再度一定の強さで踏んだ。
- 電気式パーキングブレーキを使用して車両を動かないようにした。
- ディストロニック・プラスを作動させた。

i その後すぐに、電気式パーキングブレーキにより車両が動かなくなり、ブレーキの負担が軽減されます。そして、ホールド機能は解除されます。

ホールド機能を作動させているときは、以下の場合にトランスミッションは自動的にポジションPにシフトします：

- 運転席ドアが開いていて、運転席のシートベルトが着用されていない
- ECOスタートストップ機能による自動停止以外の方法でエンジンを停止した

車両が停止しているときにディストロニック・プラスが作動状態で以下の場合には、自動的に電気式パーキングブレーキによって車両が動かなくなります。

- システムに異常が発生した
- 電力供給が不十分である

電気式パーキングブレーキが故障した場合は、トランスミッションが自動的にポジションPにシフトすることがあります。

マジックボディコントロール

全体的な注意事項

マジックボディコントロールは、ABC（アクティブ・ボディ・コントロール）および路面スキャン、ならびにクロスウィンドアシストで構成されています。

走行安全性を高め、燃料消費をおさえるために、車両は自動的に走行時の車高を調整します。サスペンションモードは、お客様の選択（スポーツまたはコンフォート）、路面の状況および車両の積載量に応じて調整されます。多機能カメラは、車両が乗り越える前に路面の凹凸を検知します。これにより、シャーシの動きが抑制されます。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

車両を下げるときに、車体と車輪の間、または車両の下に手足がある場合は、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を下げるときは、車両の下、またはホイールアーチのすぐ近くに誰もいないことを確認してください。

クロスウィンドアシスト

クロスウィンドアシストは、ABCのスプリングストラットを調整することにより、車輪の荷重を変更することで作動します。直線路を走行しているときのハンドリングの悪化を抑え、カウンターステア中の支援を行ないます。

クロスウィンドアシストは、直進路や緩やかなカーブを走行しているときに、約80 km/h以上の車両速度で作動します。

ABC（アクティブ・ボディ・コントロール）

車高

AMG 車両を除く全車両：設定された車高により、車両はそのときの速度に応じて車高を自動的に調整します。速度が上がると、車両は最大15mmまで下がります。速度が下がると、設定された車高まで車両が上がります。

AMG 車両：選択された車高により、車両はそのときの速度に応じて車高を自動的に調整します。速度が上がると、車両は最大10mmまで標準の高さから下がります。速度が下がると、設定された車高まで車両が上がります。

通常の路面では"標準"設定を、スノーチェーンを装着して走行するときや路面が特に悪いときは"高い"を選択してください。

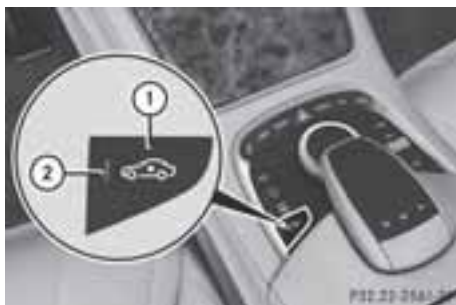
選択した内容は、イグニッション位置を0にした場合でも記憶されます。



高い車高の設定

- ▶ エンジンを始動します。
- ▶ **表示灯 ② が点灯していない場合：**スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が点灯します。車高が高い車高に調整されます。



標準の車高の設定

- ▶ エンジンを始動します。
- ▶ **表示灯②が点灯している場合:** スイッチ①を押します。
表示灯②が消灯します。車高が標準の車高に調整されます。

サスペンション制御

電子制御された ABC サスペンションシステムは常に作動しています。これにより、走行安全性と快適性が向上します。システムは車高および車両の積載量を検知し、それに応じて設定を調整します。特にスポーティな、または快適な制御の間で選択することもできます。

ABC サスペンションシステムは、以下に合わせてそれぞれの車輪を個々に制御します：

- スポーティなものなど、運転者の走行スタイル
- 凸凹などの路面の状況
- スポーツまたはコンフォートという運転者の選択
- 車両の積載量
- 横風の強さ

選択した内容は、イグニッション位置を 0 にした場合でも記憶されます。



スポーツモードでは、固いサスペンション設定により、路面とのより良い接地性が確保されます。ステアリングの反応動作はスポーティになります。例えば自動車専用道路などの平坦な道路でスポーティな運転スタイルをとるときにこのモードを選択します。

スポーツモードのサスペンション制御の選択

- ▶ **表示灯②が点灯していない場合:** スイッチ①を押します。

表示灯②が点灯します。スポーティな運転スタイルに合ったサスペンション設定が選択されます。

AMG 車両を除く全車両: マルチファンクションディスプレイに **Active Body Control SPORT** というメッセージが表示されます。

AMG 車両: マルチファンクションディスプレイに **AMG Ride Control SPORT** というメッセージが表示されます。



コンフォートモードでは、車両の走行特性が特に快適になります。ステアリングの反応動作はバランスが取れたものになります。快適な運転スタイルが好みの場合、このモードを選択します。

標準的なコンフォートモードのサスペンション制御の選択

▶ **表示灯②が点灯していない場合**：スイッチ①を押します。

表示灯②が点灯します。快適な運転スタイルに合ったサスペンション設定が選択されます。

AMG 車両を除く全車両：マルチファンクションディスプレイに **Active Body Control COMFORT** というメッセージが表示されます。

AMG 車両：マルチファンクションディスプレイに **AMG Ride Control COMFORT** というメッセージが表示されます。

路面スキャン



路面スキャン機能は、フロントウィンドウ上部の多機能カメラ①を使用して、車両前方の路面をモニターします。サスペンション制御でコンフォートを選択している場合は、この機能が自動的に作動します。システムは130km/hまでの速度で作動可能です。

この機能によって、車両が乗り越える前に路面の凸凹を検知することができます。その後、スプリングストラットが作動し、その結果凸凹を乗り越えるときにシャーシの動きが著しく減少します。

高い車高またはスポーツモードを選択したときは、システムは解除されます。

以下のときは、システムの作動が損なわれたり、正しく機能しないことがあります。

- 路面が十分に照らされていない
- 雪、雨、霧または霧雨などで視界が悪い
- 太陽や対向交通からなどの眩しい光がある
- フロントウィンドウが汚れていたり、曇っている、または、カメラ付近がステッカーなどで覆われている
- 新しく敷かれたアスファルト、コンクリート板や水たまりのように、路面にテクスチャ（きめ）がない、または反射している

- 先行車両との距離が非常に短い
- 走行区間に非常に小さな半径のカーブがある
- 激しく加速した、または急ブレーキを効かせた

AIR マティックサスペンション

全体的な注意事項

AIR マティックサスペンションは、可変ダンピングを装備した走行快適性を向上させるためのエアサスペンションシステムです。レベルコントロール機能は、サスペンションを最適にして、積載時でも地上高を一定に保ちます。高速で運転するときは、走行安全性を向上させ燃費を低減させるために、自動的に車高が低くなります。手動での車高調整を選択することもできます。AIR マティックサスペンションには、車高の設定、レベルコントロールおよび ADS (アダプティブ・ダンピング・システム) プラスが含まれます。

重要な安全上の注意事項

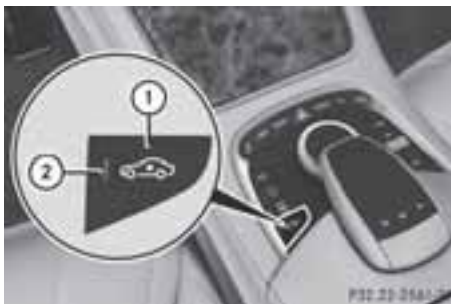
警告

車両を下げるときに、車体と車輪の間、または車両の下に手足がある場合は、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を下げるときは、車両の下、またはホイールアーチのすぐ近くに誰もいないことを確認してください。

車高

高い車高の設定



"標準" と "高い" 車高の間で選択することができます。通常の路面では "標準車高" 設定を、スノーチェーンを装着して走行するときや路面が特に悪いときは "高い車高" を選択してください。イグニッション位置を **0** にした場合でも、選択した内容は記憶されたままになります。

- ▶ エンジンを開始します。

表示灯 ② が点灯していない場合：

- ▶ スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が点灯します。標準の車高と比較して、車高は 30mm 上がります。

マルチファンクションディスプレイに **車高があがります** というメッセージが表示されます。

i 到達した高さに関係なく、メッセージは 10 秒後に消えます。必要な場合は、車高はさらに上がります。

"高い車高" の設定は以下のときに解除されます：

- 約 120km/h 以上の速度で走行した
- 80km/h 以上の速度で約 3 分間走行した

標準の車高の設定

- ▶ エンジンを始動します。

表示灯②が点灯している場合：

- ▶ スイッチ①を押します。

表示灯②が消灯します。車高が標準の車高に調整されます。

サスペンションの設定

全体的な注意事項

ADS (アダプティブ・ダンピング・システム) プラスは、ダンパーおよびスプリングの調整を自動的に制御します。

以下に応じて、減衰力は車輪ごとに個別に調整されます。

- スポーティなものなど、運転者の走行スタイル
- 凸凹などの路面の状況
- スポーツまたはコンフォートなどの運転者による選択

イグニッション位置を0にした場合でも、選択した内容は記憶されたままになります。

i スポーティな、および快適なモードから選択できます。2つのモードの1つが常に作動しています。

スポーツモード



スポーツモードではサスペンション制御がより固くなり、路面追従性が向上します。カーブの多い郊外の道路などでスポーティな運転スタイルをとるときは、このモードを選択してください。

AMG 車両を除く全車両：

- ▶ 表示灯②が点灯していない場合：スイッチ①を押します。

表示灯②が点灯します。"スポーツモード"が選択されます。標準の高さと比較して、車高は10mm下がります。

マルチファンクションディスプレイに **AIRMATIC SPORT** というメッセージが表示されます。

AMG 車両：

- ▶ 表示灯②が点灯していない場合：スイッチ①を押します。

表示灯②が点灯します。スポーツモードでは、走行速度が120km/h以上の場合は、標準の高さと比較して車高は自動的にさらに10mm下がります。

マルチファンクションディスプレイに **AMG Ride Control SPORT** というメッセージが表示されます。

AMG 車両を除く全車両：スポーツモードでは、走行速度が120km/h以上の場合は、車高が自動的にさらに10mm下がります。

コンフォートモード



コンフォートモードでは、車両の走行特性がより快適になります。そのため、快適な運転スタイルを好む場合は、このモードを選択してください。自動車専用道路のまっすぐな道路のような直線道路を速く走行するときもコンフォートモードを選択してください。

▶ **表示灯②が点灯していない場合**：スイッチ①を押します。

表示灯②が点灯します。"コンフォートモード"が選択されます。

AMG 車両を除く全車両：マルチファンクションディスプレイに **AIRMATIC COMFORT** というメッセージが表示されます。

AMG 車両：マルチファンクションディスプレイに **AMG Ride Control COMFORT** というメッセージが表示されます。

コンフォートモードでは、走行速度が120km/h以上の場合、標準の車高と比較して、車高が自動的にさらに10mm下がります。

AMG 車両を除く全車両：コンフォートモードでは、走行速度が160km/h以上の場合、標準の車高と比較して、車高が自動的にさらに20mm下がります。

荷重の補正

アクスルを上げる、または下げるにより、車両は車高の変化を補正することができます。

4MATIC (フルタイム4輪駆動システム)

4MATICは4輪全てが常に駆動しています。不十分な接地力により駆動輪が空転したときはいつでも、ESP®とともに車両の駆動力を向上させます。

運転者が周囲の状況に合わせて慎重に運転しなければ、4MATICは事故被害を軽減することはできません。また、物理的限界を超えて運転を支援することはできません。4MATICは路面、天候および交通状況を考慮することはできません。4MATICはあくまでも運転を支援するシステムです。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時にブレーキを効かせ、車線を維持する責任があります。

不十分なグリップにより駆動輪が空転する場合は以下のようにしてください。

- 発進するときは、アクセルペダルを必要な分だけ踏んでください。
- 走行時はアクセルペダルの踏み込みを少なくしてください。

! 片方のアクスルを持ち上げた状態で車両をけん引しないでください。トランスファーケースを損傷するおそれがあります。このような損傷はメルセデス・ベンツの一般保証では保証されません。全ての車輪が接地しているか、完全に持ち上がっていないかなりません。車輪全てが完全に接地している状態で車両をけん引するときは、取扱説明書に従ってください。

i 冬季に走行するときは、ウィンタータイヤ（M+S タイヤ）や必要であればスノーチェーンを装着すると 4MATIC の効果が最大限に発揮されます。

パークトロンニック

重要な安全上の注意事項

パークトロンニックは超音波センサーにより、駐車を電子的に支援します。フロントバンパーの 6 個のセンサーとリアバンパーの 6 個のセンサーを使用して、車両周辺のエリアをモニターします。パークトロンニックは、車両と物体との距離を視覚的、聴覚的に示します。

パークトロンニックは単なる支援に過ぎません。すぐ周辺に対する注意の代わりになるものではありません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なっている間は、周囲に人や動物、障害物がないことを確認してください。

! 駐車するときは、鉢植えやトレーラーけん引部などセンサーの上下にあるものに十分注意をしてください。パークトロンニックはこれらが車両の至近距離にあるときは検知できません。車両や物を損傷するおそれがあります。

センサーは雪やその他の超音波を吸収しやすいものを検知しないことがあります。

自動洗車機やトラックの圧縮空気ブレーキ、空気ドリルなどが発生する超音波によりパークトロンニックが機能しないことがあります。

不整地などではパークトロンニックが正しく作動しないことがあります。

パークトロンニックは以下のときに自動的に作動します。

- イグニッションをオンにした
- トランスミッションをポジション D、R または N にシフトした

パークトロンニックは 18km/h 以上の速度で解除されます。それより低い速度で再作動します。

センサーの範囲

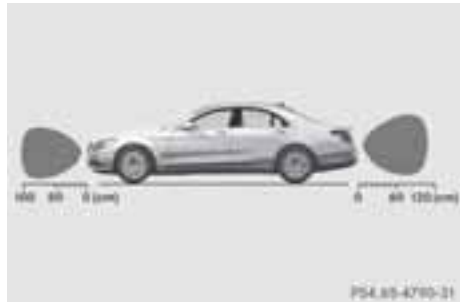
全体的な注意事項

以下のときは、パークトロンニックは障害物を考慮しません。

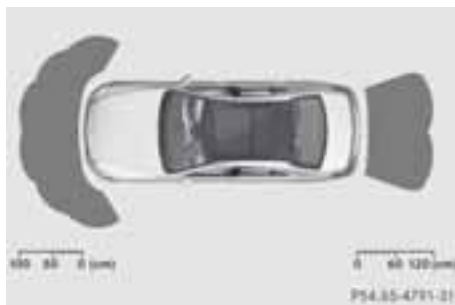
- 人や動物、障害物などが検知範囲の下にある
- 突き出た荷物、車両後部、または積載用スロープなどが検知範囲の上にある



例：左側フロントバンパーのセンサー



PS4.05-4790-31



センサーに汚れ、氷および泥がないようにしてください。適切に機能しないことがあります。センサーに損傷を与えないように注意して、定期的に清掃してください（▶530 ページ）。

フロントセンサー

センター部	約 100cm
コーナー部	約 60cm

リアセンサー

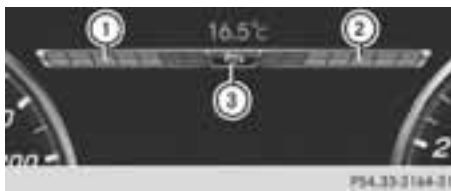
センター部	約 120cm
コーナー部	約 80cm

最短距離

センター部	約 20cm
コーナー部	約 15cm

この範囲内に障害物がある場合は、対応する警告表示が点灯して警告音が鳴ります。距離が最短以下になった場合は、距離が表示されなくなることがあります。

警告表示



- ① 車両左側のセグメント
- ② 車両右側のセグメント
- ③ 作動待機セグメント

警告表示はセンサーと障害物との距離を示します。前方エリアの警告表示はメーターパネルにあります。後方エリアの警告表示は後席のルーフライニング部分にあります。

車両の各側の警告表示は、5 個の黄色の、および 2 個の赤色のセグメントに分けられます。作動待機セグメント③が点灯している場合は、パークトロンニックは作動可能です。

エンジンがかかっているとき、選択されたシフトポジションと車両の進行方向によって、作動する警告表示が決まります。

シフトポジション	警告表示
D	前方エリアが作動します。
R、N または車両が後退しているとき	前方および後方エリアが作動します。
P	どのエリアも作動しません。

車両が障害物に近づくにつれ、障害物からの車両の距離に応じて 1 個またはそれ以上のセグメントが点灯します。

以下のように警告が行なわれます。

- 6 個目のセグメントを超えると、断続的な警告音が約 2 秒間聞こえます。
- 7 個目のセグメントを超えると、警告音が約 2 秒間聞こえます。これは、最短距離に達していることを示しています。

パークトロニックの解除 / 作動



① 表示灯

② パークトロニックの解除 / 作動

表示灯 ① が点灯しているときは、パークトロニックは解除されています。そして、アクティブパーキングアシストも解除されます。

i イグニッション位置を 2 にしたときは、パークトロニックは自動的に作動します。

パークトロニックのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>パークトロニック警告表示の赤色のセグメントだけが点灯している。警告音が約 2 秒間聞こえる。パークトロニックがその後解除され、パークトロニックスイッチの表示灯が点灯する。</p>	<p>パークトロニックが故障して、停止している。</p> <p>▶ 問題が続く場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でパークトロニックを点検してください。</p>
<p>パークトロニック警告表示の赤色セグメントだけが点灯している。パークトロニックがその後解除される。</p>	<p>パークトロニックセンサーが汚れているか、干渉がある。</p> <p>▶ パークトロニックセンサーを清掃してください (▷530 ページ)。</p> <p>▶ イグニッション位置を 2 にしてください。</p> <p>電波や超音波の外部要因が問題の原因になっている。</p> <p>▶ 場所を変えてパークトロニックが作動するか確認してください。</p>

アクティブパーキングアシスト

全体的な注意事項

アクティブパーキングアシストは超音波により駐車を支援するシステムです。車両の両側の道路を測定します。駐車マークは、適切な駐車スペースを示します。駐車している間、または駐車スペースから出るとき、ステアリング操作への介入およびブレーキの適用によって運転者を支援します。パークトロニックを使用することもできます (▷309 ページ)。

重要な安全上の注意事項

アクティブパーキングアシストは単なる支援にすぎません。周囲に対する運転者の注意の代わりになるものではありません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。操作範囲に人や動物、物がないことを確認してください。

パークトロニックが解除されているときは、アクティブパーキングアシストも作動しません。

⚠ 警告

駐車するときや駐車スペースから出るときは、車両がはみ出し、対向車線に入ることがあります。他の道路使用者とぶつかる可能性があります。事故の危険性があります。

他の道路利用者に注意してください。必要な場合は停車して、アクティブパーキングアシストを解除してください。

! 避けられないときは、ゆっくりと鋭角でない角度で縁石などの障害物乗り越えてください。ホイールやタイヤを損傷するおそれがあります。

アクティブパーキングアシストは、以下のような駐車するのに適さないスペースを表示することがあります：

- 駐車または停車が禁止されている
- 私道の手前または建物の出入り口
- 路面が駐車するのに適していない場所

駐車のヒント：

- 狭い道路では、できるだけ駐車スペースの近くを通過して走行してください。
- ゴミが散らかっていたり、草が茂っている駐車スペースは、確認や測定が不正確になることがあります。
- トレーラーけん引部が一部を占有している駐車スペースを識別できなかったり、測定が不正確になることがあります。
- 雪や激しい雨により、正しく計測されていない駐車スペースに誘導されることがあります。

- 駐車操作を行なっている間は、パークトロニック (▷309 ページ) の警告表示に注意してください。
- 運転者はいつでもステアリング操作に介入して修正できます。その場合はアクティブパーキングアシストが解除されます。
- 車両からはみ出している荷物を運んでいるときは、アクティブパーキングアシストを使用しないでください。
- スノーチェーンを装着しているときは、アクティブパーキングアシストを絶対に使用しないでください。
- タイヤの空気圧が常に適正であることを確認してください。これは車両の駐車動作に直接影響を与えます。

アクティブパーキングアシストは以下のような駐車スペースで使用してください：

- 進行方向と平行または直角である
- カーブしていないまっすぐな道にある
- 歩道などでなく、道路と同じ高さにある

駐車スペースの検知

駐車スペースが計測される時、アクティブパーキングアシストの検知範囲より上にある障害物は検知されません。例えば、車両から突き出た荷物や車両後部、積載用スロープなどは、駐車スペースを計測するときに考慮されません。

⚠ 警告

検知範囲上に障害物がある場合：

- 作動中のパーキングアシストのステアリング操作が早すぎる場合があります。
- 車両が障害物の前で停車しないことがあります。

衝突する原因となる可能性があります。

事故の危険性があります。

検知範囲上に障害物があるときは、停止してアクティブパーキングアシストを解除してください。



- ① 左側に検知された駐車スペース
- ② 駐車マーク
- ③ 右側に検知された駐車スペース

前進しているときは、アクティブパーキングアシストが自動的に作動します。約35km/h以下の速度でシステムは作動します。作動している間は、車両両側の駐車スペースを独自に見つけて、測定します。

アクティブパーキングアシストは以下のときにのみ、駐車スペースを検出します：

- 進行方向と平行または直角である
- 進行方向と平行で、1.5m以上の幅がある
- 進行方向と平行で、車両より1.0m以上の長さがある
- 進行方向と直角で、車両より1.0m以上の幅がある

i 進行方向に対して直角にある場合は、アクティブパーキングアシストは駐車スペースの大きさを測定することはできません。車両が駐車スペースに合っているかどうかを、運転者が判断する必要があります。

検知範囲に関してのさらなる情報は、(▷309 ページ)をご覧ください。

アクティブパーキングアシストは、以下の場合には進行方向と直角なスペースでの駐車を支援しません：

- 2つの駐車スペースが直接隣り合って位置している
- 駐車スペースが低い縁石などの低い障害物のすぐ隣にある
- 前進して駐車する

アクティブパーキングアシストは、以下の場合には進行方向と平行または直角なスペースでの駐車を支援しません：

- 駐車スペースが縁石の上にある
- 駐車スペースが、葉または芝生の歩道ブロックなどによって遮られているとシステムが認識した
- 車両が駐車するにはスペースが小さすぎる
- 駐車スペースが木、柱またはトレーラーなどの障害物によって囲まれている

30km/h以下で走行しているときは、メーターパネルにステータスインジケータとして駐車マーク②が表示されます。駐車スペースが検出されたときは、右または左向きの矢印も表示されます。標準では、アクティブパーキングアシストは助手席側の駐車スペースのみを表示します。運転席側の方向指示灯を作動させるとすぐに、運転席側の駐車スペースが表示されます。運転席側に駐車するときは、マルチファンクションステアリングの **[OK]** スイッチを押してアクティブパーキングアシストの使用を確認するまで、これを作動させたままにしなければなりません。システムは、駐車スペースが進行方向に平行か、または直角かどうかを自動で測定します。

駐車スペースは、駐車スペースを過ぎてから約 15m 離れるまで表示されます。

駐車

警告

車両を離れるときに、アクティブパーキングアシストのみで停車していると、以下のときに動き出すおそれがあります。


- システムまたは電源供給に異常があるとき
- エンジンルームの電気装備や、バッテリーまたはヒューズが改造されたとき
- バッテリーの接続を外したとき
- 同乗者などにより、車両のアクセルペダルが踏まれたとき


事故の危険性があります。車両を離れる前に、必ず車両が動き出さないようにしてください。

i パークトロンニックが障害物を検知すると、アクティブパーキングアシストは駐車操作を行なっている間に自動的にブレーキ操作を行ないません。運転者には、適切なブレーキ操作を行なう責任があります。

▶ メーターパネルに希望の駐車スペースを示すマークが表示されたら、停車します。

▶ トランスミッションをポジション **R** にシフトします。

マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト開始** はい: **OK** **いいえ**:  というメッセージが表示されます。

▶ **操作を中止する**: マルチファンクションステアリングの  スイッチを押すか、発進します。

または

▶ **アクティブパーキングアシストを使用して駐車する**: マルチファンクションステアリングの **[OK]** スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト作動中** **アクセルとブレーキを操作** **周囲を確認** というメッセージが表示されます。

▶ マルチファンクションステアリングを放します。

▶ いつでもブレーキを効かせられる準備をして、車両を後退させます。後退するときは、7km/h以下の速度で走行してください。この速度を超えると、アクティブパーキングアシストが解除されます。

車両が駐車スペースの後端に近づいたとき、アクティブパーキングアシストは車両が停止するまでブレーキ操作をします。

狭い駐車スペースではさらに操作が必要となる場合があります。

マルチファンクションディスプレイに**パーキングアシスト作動中 D にシフト周囲を確認** というメッセージが表示されます。

▶ 車両が停止している間に、トランスミッションをポジション **D** にシフトします。

アクティブパーキングアシストはただちに逆方向にステアリング操作を行いません。

マルチファンクションディスプレイに**パーキングアシスト作動中 アクセルとブレーキを操作 周囲を確認** というメッセージが表示されます。

i 発進する前にステアリング操作の完了を待つことにより、最適な結果が得られます。

▶ 前進して、いつでもブレーキを効かせられる準備をします。

アクティブパーキングアシストは車両が停止するまでブレーキ操作を行いません。

マルチファンクションディスプレイに**パーキングアシスト作動中 R にシフト周囲を確認** というメッセージが表示されます。

駐車手順が完了するとすぐに、マルチファンクションディスプレイに**パーキングアシスト終了** というメッセージが表示され、確認音が鳴ります。ここで車両が駐車されます。運転者がブレーキペダルを踏まなくても、車両が停止した状態を保ちます。アクセルペダルを踏むと、ブレーキ効果が解除されます。

アクティブパーキングアシストは、ステアリング介入とブレーキ操作による支援をおこなわなくなります。アクティブパーキングアシストが終了したときは、ご自身で再びステアリング操作とブレーキ操作を行ってください。パークトロックは引き続き使用できます。

駐車の知識：

- 駐車後の駐車スペースでの車両の位置決めは、様々な要因に左右されます。これには、前後に停車している車両の位置や形状、スペースの状態が含まれます。そのため、アクティブパーキングアシストは駐車スペース内の最適な位置よりも奥または手前の位置に誘導することがあります。また縁石をまたいだり、縁石に乗り上げることもあります。必要であれば、アクティブパーキングアシストの機能を解除してください。
- あらかじめシフトポジション **D** を選択することもできます。車両の向きが変わり、駐車スペースの奥の方まで移動しなくなります。トランスミッションの変更を素早く行なうと、駐車操作が中止されます。この位置からは適切な位置に駐車することができなくなります。

駐車スペースからの退出

駐車スペースから出るときに、アクティブパーキングアシストが支援できるように以下を確認してください。


- 駐車スペースの境界がフロントとリアで十分に高くなければならない。例えば、縁石が小さすぎではいけない
- 車両を駐車スペースに入れるときにスタートポジションに対して車両の位置は 45° の角度を超えてはいけないので、駐車スペースの境界は幅が広すぎない


- 操作距離は 1.0m 以上であること

アクティブパーキングアシストは、進行方向と平行に車両を駐車した場合に限り、駐車スペースを出るときも運転者を支援することができます。


i 車両が駐車スペースから出ている間にパークトロンニックが障害物を検知した場合は、アクティブパーキングアシストは自動的にブレーキを効かせます。運転者には、適切なブレーキ操作を行なう責任があります。

- ▶ エンジンを始動してください。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを解除します。
- ▶ 出る方向の方向指示灯を作動させます。
- ▶ トランスミッションをポジション **D** または **R** にシフトします。

マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト開始** はい: **OK** **いいえ**:  というメッセージが表示されます。

- ▶ **操作を中止する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押すか、発進します。

または

- ▶ **アクティブパーキングアシストを使用して駐車スペースから出る**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト作動中** **アクセルとブレーキを操作 周囲を確認** というメッセージが表示されます。

- ▶ マルチファンクションステアリングを放します。

- ▶ いつでもブレーキを効かせられる準備をして発進します。駐車スペースから出るときは、最高速度が約 7km/h を超えないようにしてください。この速度を超えると、アクティブパーキングアシストが解除されます。

- ▶ 車両が停止している間に、必要であれば、またはメッセージに従ってトランスミッションをポジション **D** または **R** にシフトします。

アクティブパーキングアシストはただちに逆方向にステアリング操作を行ないません。マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト作動中** **アクセルとブレーキを操作 周囲を確認** というメッセージが表示されます。

- i** 発進する前にステアリング操作の完了を待つことにより、最適結果が得られます。

作動後に後退する場合は、ステアリングを直進位置に動かします。

- ▶ 必要に応じて数回、パークトロンニックの警告表示による指示に従い、前進および後退します。

駐車スペースから完全に出たら、ステアリングを直進位置に動かします。確認音が聞こえ、マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト終了** というメッセージが表示されます。ご自身でステアリング操作を行ない、交通に合流する必要があります。パークトロンニックは引き続き使用できます。車両が駐車スペースから完全に出る前に、ステアリング操作を引継ぐことができます。これは、すでに駐車スペースから出ることができると思われるときに便利です。

アクティブパーキングアシストの中止

- ▶ マルチファンクションステアリングの動きを止めるか、またはご自身でステアリング操作を行ないます。

アクティブパーキングアシストはすぐに中止されます。マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト中止** というメッセージが表示されます。

または

- ▶ パークトロンニックスイッチを押します (▷311 ページ)。

パークトロンニックが停止し、アクティブパーキングアシストがただちに中止されます。マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト中止** というメッセージが表示されます。

アクティブパーキングアシストは以下のときに自動的に解除されます。

- 電気式パーキングブレーキを効かせた
- シフトポジション **P** が選択された
- アクティブパーキングアシストを使用して駐車することができなくなった
- 7 km/h 以上で走行している
- 車輪が空転して ESP® が作動したか、故障した。メーターパネルの [ESP] 警告灯が点灯します。

警告音が鳴ります。駐車マークが消え、マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト中止** というメッセージが表示されます。

アクティブパーキングアシストが解除されたときは、ご自身で再びステアリング操作とブレーキ操作を行なってください。

システムが故障した場合、車両は停止するまでブレーキを効かせます。走行するには、もう一度アクセルペダルを踏んでください。

パーキングアシストリアビューカメラ

全体的な注意事項



パーキングアシストリアビューカメラ ① は、トランクリッドのハンドルにあります。

パーキングアシストリアビューカメラ ① は、視覚的な駐車および運転操作の支援です。COMAND ディスプレイに車両後方の映像をガイドライン入りで表示します。

車両後方のエリアは、ルームミラーに写るように鏡像で表示されます。

① COMAND ディスプレイのメッセージは、言語設定により異なった文字で表示されます。

重要な安全上の注意事項

パーキングアシストリアビューカメラは単なる支援にすぎません。すぐ周辺に対する運転者の注意の代わりになるものではありません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行っている間は、周囲に人や動物、障害物がないことを確認してください。

以下のような環境下では、パーキングアシストリアビューカメラは機能しなかったり、制限された方法で機能します：

- トランクリッドが開いている場合
- 激しい雨、雪または霧で
- 夜や非常に暗い場所で
- カメラが非常に明るい光に照らされている場合
- 周囲が蛍光灯の電球、または LED の光で照らされている場合（ディスプレイがちらつくことがあります）
- 冬に暖かい車庫に入ったときなど、急激な温度変化が原因でカメラが曇る場合
- カメラのレンズが汚れている、または遮られている場合。清掃に関する注意事項に従ってください（▷531 ページ）。
- 車両の後部が損傷している場合。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラの位置および設定を点検してください。

車両後部に追加したアクセサリ（ナンバープレートホルダー、自転車ラックなど）により、パーキングアシストリアビューカメラの視界および他の機能が制限される可能性があります。

COMAND システムのガイドラインは車両までの距離を示しています。距離は、道路の高さにのみ適用されます。

i パーキングアシストリアビューカメラは、フラップによって雨やほりから保護されています。パーキングアシストリアビューカメラの作動中はこのフラップが開きます。

フラップは以下のときに再度閉じます：

- 操作手順を終えた
- エンジンを停止した
- トランクを開いた

清掃に関する注意事項に従ってください（▷531 ページ）。

技術的な理由のため、パーキングアシストリアビューカメラが停止した後にフラップが短時間開いたままになることがあります。

パーキングアシストリアビューカメラの作動 / 停止

▶ **作動させる**：イグニッション位置が 2 にあることを確認します。

▶ **リバース連動** 機能が COMAND システムで選択されていることを確認します（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

▶ リバースギアに入れます。

パーキングアシストリアビューカメラのフラップが開きます。車両後方のエリアがガイドラインとともに COMAND ディスプレイに表示されます。

操作手順中は、パーキングアシストリアビューカメラの画像を使用することができます。

停止する：トランスミッションを **P** にシフトした場合、または短距離を前進した後に、パーキングアシストリアビューカメラは停止します。

COMAND ディスプレイの表示

パーキングアシストリアビューカメラは、障害物の歪んだ画像を表示したり、それらを正しく、またはまったく表示しないことがあります。

以下のような場所にある障害物は、リアビューカメラで表示されません：

- リアバンパーのすぐ近く
- リアバンパーの下
- トランクハンドルのすぐ上のエリア

! 以下のような路面に接していない障害物は、実際よりも遠くにあるように見えることがあります。

- 駐車車両のバンパー
- トレーラーのトーイングバー
- トレーラーけん引ヒッチのボールヘッドカップリング
- 大型車のリア部
- 傾いた柱

ガイドラインはあくまでも目安として利用してください。障害物に近付くときは、障害物が一番下のガイドラインを越えないように注意してください。



- ① 車両後部から約 4.0m の距離の黄色のガイドライン
- ② ステアリングをまわしていないときの、ドアミラーを含む車幅を示す白色のガイドライン（固定）
- ③ そのときのステアリング角度での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可動）
- ④ そのときのステアリング角度での、タイヤの進路の黄色のレーンマーク（可動）



- ⑤ 車両後部から約 1.0m の距離の黄色のガイドライン
- ⑥ 車両中央軸（補助マーカ）
- ⑦ バンパー
- ⑧ 車両後部から約 0.30m の距離の赤色のガイドライン

ガイドラインは、トランスミッションがポジション **R** にあるときに表示されます。規定の距離は、地面の高さにある障害物にのみ適用されます。



- ① フロントの警告表示
- ② パークトロンニック補助計測の作動準備インジケータ
- ③ リアの警告表示

パークトロンニックが作動しているときは (▷309 ページ)、COMAND ディスプレイに補助計測の作動待機インジケータ ② が表示されます。パークトロンニック警告表示が作動または点灯している場合は、それに応じて警告表示 ① および ③ も COMAND ディスプレイ内で作動または点灯します。

後退駐車機能

ステアリングをまわさないで、まっすぐ後退駐車する



- ① ステアリングをまわしていないときの、ドアミラーを含む車幅の白色のガイドライン (固定)
- ② そのときのステアリング角度での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン (可動)
- ③ 車両後部から約 1.0m の距離の黄色のガイドライン
- ④ 車両後部から約 0.30m の距離の赤色のガイドライン

- ▶ パーキングアシストリアビューカメラが作動していることを確認してください (▷319 ページ)。

レーンおよびガイドラインが表示されます。

- ▶ 白色のガイドライン ① を参考にして、車両が駐車スペースに収まるか確認します。
- ▶ 白色のガイドライン ① を目安に、停止位置まで注意しながら後退します。赤色のガイドライン ④ が駐車スペースの後端にきます。車両は駐車スペースとほぼ平行になります。

ステアリングをまわして直角に後退駐車する



- ① 駐車スペースのマーキング
- ② そのときのステアリング角度での、ドアミラーを含む車幅の黄色のガイドライン（可動）

▶ 駐車スペースを通過して、車両を停止します。

▶ パーキングアシストリアビューカメラが作動していることを確認してください（▷319 ページ）。

レーンおよびガイドラインが表示されます。

▶ 車両が停止している間に、黄色のガイドライン ② が駐車スペースマーク ① に達するまで、駐車スペースの方向にステアリングをまわします。

▶ ステアリングをその位置で保持し、注意しながら後退します。



- ① そのときのステアリング角度での、ドアミラーを含む車幅の黄色のガイドライン（可動）

▶ 駐車スペースのほぼ正面の位置で停車します。

白色のレーンが駐車スペースのマーキングとできるだけ平行になるようにします。



- ① そのときのステアリング角度での、白色のガイドライン
- ② 駐車スペースのマーキング

▶ 車両が停止している間に、ステアリングを中央位置に戻します。



P54.65-4910-31

- ① 車両後部から約 0.30m の距離の赤色のガイドライン
- ② ステアリングをまわさないときの白色のガイドライン
- ③ 駐車スペースの後端

▶ 後端位置に達するまで、注意しながら後退します。

赤色のガイドライン①が駐車スペース③の停止位置にきます。車両は駐車スペースとほぼ平行になります。

広角機能



P54.65-4902-31

- ① 広角表示機能のマーク
- ② パークトロンニック警告表示

パーキングアシストリアビューカメラを使用して広角表示を選択することもできます。

パークトロンニックが作動可能なときは (P309 ページ)、お客様の車両のマーク②が COMAND ディスプレイに表示されます。パークトロンニックインジケーターが作動している場合は、COMAND ディスプレイのインジケーター③がそれぞれ黄色または赤色で点灯します。

障害物検知

パーキングアシストリアビューカメラは、動いていたり静止している障害物を検知することができます。例えば、歩行者または他の車両が検知された場合は、これらの障害物はバーでマークされます。車両が動いているときは、システムは静止している障害物のみを検知し、マークすることができます。車両が静止しているときは、動いている障害物を検知してマークできます。

機能を使用できるようにするためには、COMAND システムで設定されていなければなりません (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

360° カメラシステム (サラウンドビュー)

全体的な注意事項

360° カメラシステムは 4 つのカメラで構成されるカメラシステムです。システムは以下のカメラからの映像を判断します：

- リアカメラ
- フロントカメラ
- ドアミラーの 2 つのサイドカメラ

カメラは車両周辺の状況を映し出します。360° カメラシステムは、駐車時または視界の悪い出口などで運転者を支援します。

360° カメラシステムからの映像を、COMAND ディスプレイに全画面モードまたは 6 種類の分割画面表示で表示することができます。分割画面表示には、車両の上面表示も含まれています。この表示は、装着されているカメラにより提供されたデータから生成されます（バーチャルカメラ）。

6 つの分割画面表示は以下の通りです：

- 車両上面表示とリアカメラからの映像（130° 表示角度）
- 車両上面表示とフロントカメラからの映像（最大ステアリング角度を表示しない 130° 表示角度）
- 車両上面表示とリア拡大表示
- 車両上面表示とフロント拡大表示
- 車両上面表示と後方サイドカメラからの映像（後輪表示）
- 車両上面表示と前方サイドカメラからの映像（前輪表示）

機能が設定されていて、トランスミッションをポジション **D** または **R** から **N** にシフトすると、COMAND ディスプレイのガイドラインが非表示になります。

シフトポジションを **D** と **R** の間で切り替えた場合は、直前に選択されていたフロントまたはリア表示が表示されます。

重要な安全上の注意事項

360° カメラは単なる支援に過ぎず、障害物の歪んだ映像を表示したり、それらを不正確に、またはまったく表示しないことがあります。360° カメラシステムは、注意を払った走行の代わりになるものではありません。

運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なっている間は、周囲に人や動物、障害物がないことを確認してください。

運転者には安全を確保する責任があり、駐車や運転操作を行なうときは、常に周囲の状況に注意しなければなりません。これには、車両の後方、前方および両側が含まれます。さもないと、運転者や他の人に危険がおよぶおそれがあります。

360° カメラシステムは、以下の場合にまったく機能しなくなるか、制限された方法でのみ機能します：

- ドアが開いている場合
- ドアミラーが格納されている場合
- トランクリッドが開いている場合
- 激しい雨、雪または霧で
- 夜や非常に暗い場所で
- カメラに強い光が直接当たっている場合
- 周囲が蛍光灯の電球や LED の光で照らされている場合（ディスプレイがちらつくことがあります）
- 冬に暖かい車庫に入ったときなど、急激な温度変化が原因でカメラが曇った場合
- カメラのレンズが汚れていたり、覆われている場合。清掃に関する注意事項に従ってください（▷531 ページ）。

- カメラ装着部の車両の構成部品が損傷した場合。このようなときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラの位置および設定を点検してください。

このような場合は、360°カメラシステムを使用しないでください。さもないと、車両駐車時に、他の人にけがをさせたり、物を損傷したりするおそれがあります。

COMAND システムのガイドラインは車両までの距離を表示します。距離は道路の高さにのみ適用されます。

前方および後方エリアのカメラは、それぞれフラップにより保護されています。360°カメラシステムが作動しているときは、これらのフラップが開きます。清掃についての注意事項に従ってください（▷531 ページ）。技術的な理由のため、360°カメラシステムが停止した後フラップが短時間開いたままになることがあります。


作動条件

360°カメラシステムの映像は、以下のときに表示されます：

- COMAND システムが作動している（デジタル版取扱説明書をご覧ください）
- 360°カメラ機能が設定されている。

i 約 30km/h 以上の速度で 360°カメラシステムが作動している場合は、警告メッセージが表示されます。

以下の場合は、警告メッセージが消えます。

- 車両の速度が約 30km/h 以下に下がる。その後に 360°カメラシステムが作動します。
-  スイッチでメッセージを確認する

スイッチを使用して 360°カメラシステムの作動および停止を切り替える




▶ **作動させる**：スイッチ ① を押します。シフトポジション **D** または **R** のいずれかが選択されているかによって、以下の画面が表示されます：

- フロントカメラからの映像の全画面表示
- リアカメラからの映像の全画面表示

▶ **停止する**：スイッチ ① を再度押します。

i 全画面表示から分割画面表示に切り替えることもできます。

COMAND システムを使用して 360°カメラシステムを作動させる

▶ センターコンソールの  スイッチを押します。

車両メニューが表示されます。

▶ 360°カメラシステムを選択する：コントローラーをまわして、押します。

シフトポジション **D** または **R** のいずれかが選択されているかによって、以下の画面が表示されます：

- 車両上面表示とフロントカメラからの映像による分割画面表示、または
- 車両上面表示とリアカメラからの映像による分割画面表示

COMAND システムについてのさらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

リバースギアを使用して 360° カメラシステムを作動させる

リバースギアに入れることで、自動的に 360° カメラシステムの映像が表示されます。

- ▶ イグニッション位置が **2** であることを確認します。
- ▶ COMAND システムで **リバース連動** 機能が選択されていることを確認します (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。
- ▶ **360° カメラシステムの映像を表示する** : リバースギアに入れます。

COMAND ディスプレイに分割画面モードで車両後方エリアが表示されます。車両の上面表示およびリアカメラからの映像が表示されます。

分割画面または全画面表示の選択

分割画面表示の切り替え

- ▶ 車両アイコン付きラインに切り替える : コントローラーをスライドします ↑○。
- ▶ 車両アイコンを選択する : コントローラーをまわします。

全画面モードに切り替える

- ▶ コントローラーをまわして押し、**180° ビュー** を選択します。

i 全画面表示は、以下の表示でのみ作動します :

- リアカメラからの映像がある車両上面表示
- フロントカメラからの映像がある車両上面表示

COMAND ディスプレイの表示

重要な安全上の注意事項

カメラシステムは障害物の歪んだ映像を映し出したり、それらを不正確に、またはまったく表示しないことがあります。以下の場所にある障害物は、システムでは表示されません :

- フロントおよびリアバンパーの下
- フロントおよびリアバンパーのすぐ近く
- トランクリッドのハンドルのすぐ上のエリア
- ドアミラーの近接部
- バーチャル車両上面表示での各カメラ間の推移エリア

! 以下のような路面に接していない障害物は、実際よりも遠くにあるように見ることがあります。

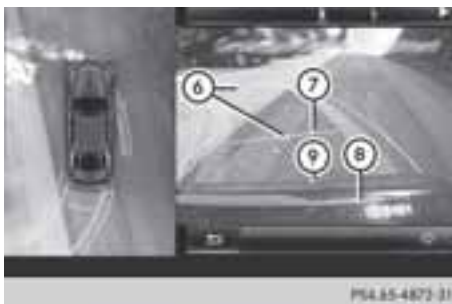
- 駐車車両のバンパー
- トレーラーのトーイングバー
- トレーラーけん引ヒッチのボールヘッドカップリング
- 大型車のリア部
- 傾いた柱

ガイドラインはあくまでも目安として利用してください。障害物に近づくときは、障害物が一番下のガイドラインを越えないように注意してください。

リアカメラからの映像がある車両上面表示



- ① 車両後部から約 4.0m の距離の黄色のガイドライン
- ② 車両上面表示とリアカメラの画像のある分割画面設定のアイコン
- ③ 最大ステアリング角度でのガイドライン
- ④ そのときのステアリング角度での、タイヤの進路の黄色のレーンマーク（可動）
- ⑤ そのときのステアリング角度での、ドアミラーを含む車幅の黄色のガイドライン（可動）



- ⑥ 車両中心軸（補助マーカー）
- ⑦ 車両後部から約 1.0m の距離の黄色のガイドライン
- ⑧ バンパー
- ⑨ 車両後部から約 0.30m の距離の赤色のガイドライン

ガイドラインは、トランスミッションがポジションRにあるときに表示されます。

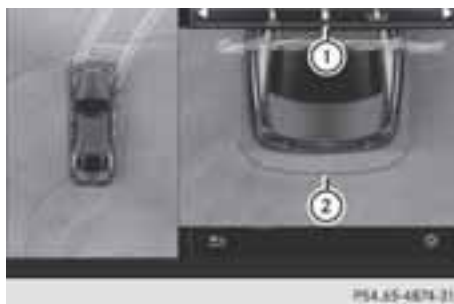
規定の距離は、地面の高さにある障害物にのみ適用されます。

フロントカメラからの映像がある車両上面表示



- ① 車両上面表示とフロントカメラの画像のある分割画面設定のアイコン
- ② 車両前部から約 4.0m の距離の黄色のガイドライン
- ③ そのときのステアリング角度での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可動）
- ④ そのときのステアリング角度での、タイヤの進路の黄色のレーンマーク（可動）
- ⑤ 車両前部から約 0.30m の距離の赤色のガイドライン
- ⑥ 車両前部から約 1.0m の距離の黄色のガイドライン

車両上面表示とリア拡大表示



- ① 車両上面表示とリアカメラ拡大画像のある分割画面設定のアイコン
- ② 車両後部から約 0.30m の距離の赤色のガイドライン

この映像は、後方にある車両との距離を推測する場合に運転者を支援します。

① この設定は、フロント拡大表示として選択することもできます。

サイドカメラからの映像のある上面表示



- ① 車両上面表示と前方サイドカメラの設定アイコン
- ② ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（車両右側）
- ③ ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（車両左側）

① 後方表示のためのサイドカメラ設定を選択することもできます。

広角機能



- ① リアカメラからの映像がある全画面設定アイコン
- ② 車両
- ③ パークトロンニック警告表示


パークトロンニックが作動している場合は（▷309 ページ）、それに応じて COMAND ディスプレイの警告表示 ② も作動するか、または点灯します。

パークトロンニックは以下のように表示されます：

- 分割画面モードの車両上面表示では、車両マーク周囲の赤色または黄色の四角い枠、または
- 全画面モードでは、車両マーク周囲の赤色または黄色の四角い枠で下部右側に

① フロント表示でも全画面表示モードを選択することができます。


運転中、出口から出たり、交差点の視界が制限されているときなどに、この表示を選択します。

① ディスプレイで  マークを選択して、コントローラーで確定した場合は、分割画面が表示されます。

360° カメラシステムの表示を停止する

360° カメラシステム表示は、以下のときに停止します：

- シフトポジション P を選択したとき、または
- 緩やかな速度で走行したとき

360° カメラシステムが表示される以前に作動していた画面が COMAND ディスプレイに表示されます。COMAND コントローラーでディスプレイの  マークを選択することにより、360° カメラシステム表示の分割画面を停止することもできます。

アテンションアシスト

全体的な注意事項

アテンションアシストは高速道路や幹線道路のような道路で、長時間の変化の少ない走行をするときに運転者を支援します。60km/h～200km/hの範囲で作動します。運転者の疲労や集中力欠如の増加の典型的な兆候を検知した場合は、アテンションアシストは休憩を促します。

重要な安全上の注意事項

アテンションアシストは単なる支援にすぎません。疲労や集中力欠如を検知するのが遅すぎたり、まったく検知しないことがあります。十分な休憩を取り、集中力がある運転者の代わりになるものではありません。

以下のときは、アテンションアシストの機能が制限されたり、警告が遅れる、またはまったく行なわれないことがあります。

- 走行時間が約 30 分以下の場合
- 路面が平坦でなかったり、穴があるなど、道路の状態が悪い場合
- 横風が強い場合
- 高いスピードでカーブを曲がっているときや急加速をしているときなど、スポーティな運転を行なっている場合
- 主に 60km/h 以下、または 200km/h 以上の速度で走行している場合
- ディストロニック・プラスのステアリングアシストで走行している場合
- 時刻が正しく設定されていない場合
- 車線を変更したり走行速度を変えるなどの活発な運転状況の場合

走行を継続するときは、以下のときにアテンションアシストはリセットされ、運転者の疲労の評価を開始します。

- エンジンを停止した
- 運転者を交代したり、休憩を取るために、運転者がシートベルトを外して運転席のドアを開いた

アテンションレベルの表示



マルチファンクションディスプレイのアシストメニューに現在の状況の情報を表示させることができます。

- ▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アテンションアシストのアシスト一覧表示を選択します (▷396 ページ)。

以下の情報が表示されます：

- 最後の休憩からの走行時間
- アテンションアシストによって判断されるアテンションレベル、「高い」から「低い」まで 5 段階のバー表示で表示されます。
- アテンションアシストがアテンションレベルを算出できず、警告を発することができない場合は、**泓泓停止** というメッセージが表示されます。60km/h 以下、または 200km/h 以上の速度で走行している場合などは、バー表示が変更されます。


アテンションアシストの設定

- ▶ マルチファンクションディスプレイを使用してアテンションアシストを設定します (▷399 ページ)。

システムは、選択された以下の設定によって、運転者のアテンションレベルを判断します：

標準を選択：アテンションレベルを判断するシステムの感度が標準に設定されます。

高感度を選択：感度がより高く設定されます。それに従ってアテンションアシストにより検知されるアテンションレベルが合わされ、運転者に早く知らされます。


エンジンがかかっているときにアテンションアシストが解除されているときは、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧に  オフ マークが表示されます。

アテンションアシストが解除されているときは、エンジンが停止した後に自動的に再設定されます。選択される感度は、最後に設定した選択に対応します (標準 / 高感度)。

マルチファンクションディスプレイの警告

疲労または集中力欠如の増加が検知された場合は、マルチファンクションディスプレイに **アテンションアシスト 休憩しましょう！** という警告が表示されます。

マルチファンクションディスプレイに表示されるメッセージに加えて、警告音が聞こえます。

- ▶ 必要に応じて、休憩を取ってください。
- ▶ ステアリングの  スイッチを押して、メッセージを確定します。

長時間の運転では、適切な休憩をするために、適切な時間に定期的に休憩を取るようになっています。休憩を取らず、アテンションアシストがなお集中力欠如の増加を検知している場合は、15 分後以降に再度警告されます。これは、アテンションアシストが疲労または集中力低下の増加の兆候を検知した場合にのみ実行されます。

警告がマルチファンクションディスプレイに表示された場合は、COMAND システムでサービスステーションの検索が実行されます。ガソリンスタンドを選択することができ、このガソリンスタンドへのナビゲーションが開始します。この機能は COMAND システムで設定および解除できます。

ナイトビューアシストプラス

全体的な注意事項



通常のヘッドライトの照明に加え、ナイトビューアシストプラスは赤外線を利用して路面を照射します。ナイトビューアシストプラスのカメラ②は赤外線を検知して、マルチファンクションディスプレイにモノクロ画像を表示します。ディスプレイに表示される画像は、ハイビームヘッドライトにより照らされた道路に相当するものです。これにより、進行方向の道路状況や障害物を素早く確認することができます。歩行者検知が作動しているときは、システムによって検知された歩行者がナイトビューアシストプラスの表示に小さな角枠とともに、色付きで視覚的に強調されます。

さらに、赤外線カメラがラジエータートリム①に内蔵されています。カメラは歩行者および動物を検知するために役立ちます。赤外線カメラの清掃に関する注意事項に従ってください（p533 ページ）。

i 赤外線は人の目に見えないため、対向車を眩惑させることはありません。従って、対向車両がいる場合でもナイトビューアシストプラスを作動させることができます。

重要な安全上の注意事項

ナイトビューアシストプラスはあくまでも支援にすぎず、注意を払った運転の代わりになるものではありません。ナイトビューアシストプラスの映像のみに頼らないでください。先行車両との距離や車両の速度、適切なブレーキ操作の責任は運転者にあります。常に路面や天候の状態に合わせて運転してください。

以下のときはシステムが影響を受けたり、作動しないことがあります。

- 雪、雨、霧、霧雨などで視界が悪い場合
- フロントウィンドウが汚れている、曇っている、またはステッカーなどでカメラの周辺が覆われている場合
- ラジエーターグリルの熱検知カメラが汚れている、曇っている、または覆われている場合
- カーブ、頂上または下り坂勾配で
- 高い外気温度で

ナイトビューアシストプラスは、車両のすぐ前方または横の物を表示することはできません。

他の障害物が歩行者および動物と同じようにマークされる、または強調されることがあります。

歩行者および動物検知機能

全体的な注意事項

以下の場合、歩行者または動物検知が困難になったり、または作動しないことがあります。

- 歩行者または動物が、駐車している車両などの他の障害物によって部分的にまたは全体的に隠されている

- 強い光の反射などによって、ナイトビューアシストプラス表示の歩行者または動物の輪郭が完全でない、または切れている
- 歩行者または動物が周囲に溶け込んでいる
- 特殊な衣服または他の物のために、カメラシステムが歩行者を人として認識しなくなる
- 座っている、かがんでいる、または横たわっているなど、歩行者が立っていない
- その大きさや形のために、動物がシステムによって検知されていない

歩行者および動物検知機能は、32℃以上の温度で解除されます。そしてスポットライト機能および自動作動が作動しなくなります。

歩行者検知機能



- ① ナイトビューアシストプラスの映像
- ② 歩行者検知作動の待機マーク
- ③ フレーム
- ④ 検知された歩行者

ナイトビューアシストプラスは、身体の輪郭や人の直立姿勢などの典型的な特徴を使用して歩行者を検知することができます。

歩行者検知機能は以下のときに自動的に作動します。

- ナイトビューアシストプラスが作動しているとき
- 約 10km/h 以上で走行している
- 周囲が暗いとき

歩行者検知が作動している場合は、待機マーク ② が表示されます。検知された人は、フレーム ③ で強調されます。歩行者検知システムが歩行者を検知したときは、フロントウインドウ越しに前方を直接確認してください。ディスプレイ表示だけでは障害物や歩行者までの距離を正確に把握することはできません。

動物検知機能

動物は、以下の状況で検知されます。

- 周囲が暗い
- 市街地の外側である
- 外気温度が 32℃ 以下である

ナイトビューアシストプラスは、典型的な特徴を使用して、シカ、牛または馬のような大きな動物を認識することができます。

システムは以下は検知しません。


- 犬および猫のような小さな動物
- 輪郭が明確に認識できない動物

検知されたときは、動物は色の付いた小さな角枠でマークされます。歩行者検知と対照的に、マルチファンクションディスプレイには独立した待機マークはありません。

ナイトビューアシストプラスの作動 / 停止の切り替え

作動条件

以下のすべての条件が満たされたときのみ、ナイトビューアシストプラスを作動させることができます。

- イグニッションがオンである (▷234 ページ)、またはエンジンがかかっている
- ライトスイッチが **AUTO** または  の位置である
- リバースギアに入っていない

ナイトビューアシストプラスの作動



- ▶ スイッチ ① を押します。

ナイトビューアシストプラスの表示がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

i 車両が約 10km/h 以上の速度で走行していて、暗いところでのみ、赤外線照射ヘッドライトは作動します。これは、停止している間は十分な視界を得られないということ、またナイトビューアシストプラスが作動しているかどうかを確認できないということです。赤外線照射ヘッドライトは、5 km/h 以下の速度で解除されます。ナイトビューの画像は、スイッチを押して解除するまで表示され続けます。

自動作動

ナイトビューアシストプラスメニューを経由して、オプションの **ナイトビューアシストオートスタート** を選択できます。歩行者および動物検知機能は、ナイトビューアシストプラスの画像が表示されていないときでも作動したままになります。暗く、照らされていない環境での 60km/h 以上の速度では、歩行者または動物が検知されるとただちに、マルチファンクションディスプレイにナイトビューアシストプラスの画像が自動的に表示されます。

- ▶ アシストメニューで、ナイトビューアシストプラスの自動作動を選択します (▷398 ページ)。

ナイトビューアシストプラスの解除

- ▶ スイッチ ① を押します。

ナイトビューアシストプラスの表示がマルチファンクションディスプレイから消えます。ナイトビューアシストプラスが解除されます。

ナイトビューアシストプラスのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ナイトビューアシストプラスの画質が低下している。	<p>フロントウインドウの内側が曇っている。</p> <p>▶ カメラカバーを下に倒してください (▷532 ページ)。</p> <p>▶ フロントウインドウの曇りを取ってください (▷217 ページ)。</p>
	<p>フロントウインドウが凍結している。</p> <p>▶ フロントウインドウの氷を取り除いてください (▷217 ページ)。</p>
	<p>ワイパーの汚れがフロントウインドウに付着している。</p> <p>▶ ワイパーブレードを交換してください (▷200 ページ)。</p>
	<p>洗車場で洗車した後に、フロントウインドウに汚れが付着している。</p> <p>▶ フロントウインドウを清掃してください (▷529 ページ)。</p>
	<p>フロントウインドウのカメラのレンズ部分が飛び石により損傷した。</p> <p>▶ フロントウインドウを交換してください。</p>
歩行者および動物検知機能が作動しない。	<p>ラジエターグリルの赤外線カメラが汚れている。</p> <p>▶ 柔らかい布と水を使用して、赤外線カメラを清掃してください。</p>

アクティブブラインドスポットアシスト

全体的な注意事項

アクティブブラインドスポットアシストは、左右の後ろ向き2つのレーダーセンサーで、運転者には見えない車両の側方エリアをモニターします。ドアミラーの警告表示によって、モニターしている範囲で検知された車両に運転者の注意が向けられます。車線変更するために対応する方向指示灯を作動させた場合は、視覚的および聴覚的な衝突警告も発せられます。側面衝突の危険性が検知された場合は、修正ブレーキが衝突の回避を支援することがあります。車線修正ブレーキの適用前に、アクティブブラインドスポットアシストは進行方向および側方の空いているスペースを測定します。そのためには、アクティブブラインドスポットアシストは前向きのレーダーセンサーを使用します。

アクティブブラインドスポットアシストは、約30km/h以上の速度で支援を行いません。

重要な安全上の注意事項

アクティブブラインドスポットアシストは単なる支援にすぎず、注意を払った走行の代わりになるものではありません。

警告

アクティブブラインドスポットアシストは以下のような車両には反応しません。

- 追い越してくる際に、側面に近づき過ぎて死角に入った車両
- 接近と追い越しの速度差が非常に大きいとき

この場合、アクティブブラインドスポットアシストは警告も介入も行いません。

事故の危険性があります。

常に交通状況に十分注意を払い、車両の両側に安全な車間距離を維持してください。

レーダーセンサー

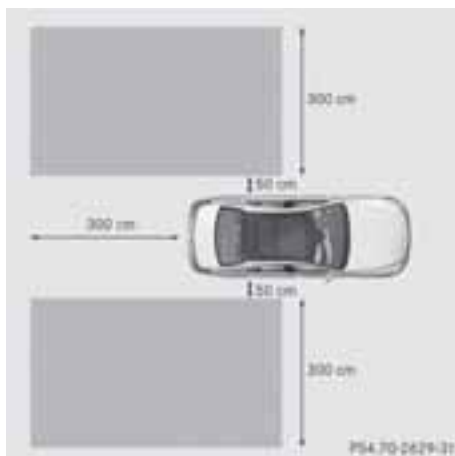
アクティブブラインドスポットアシストのレーダーセンサーは、前後のバンパーおよびラジエタートリムのカバー裏側に内蔵されています。バンパーとラジエタートリムのカバーに、汚れや氷、泥がないことを確認してください。リアセンサーが自転車用ラック、または突き出た荷物などによって覆われないようにしてください。強い衝撃を受けたり、バンパーに損傷を与えたときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にレーダーセンサーの機能を点検してください。さもないと、アクティブブラインドスポットアシストが正しく機能しなくなることがあります。

モニター範囲

⚠ 警告

アクティブブラインドスポットアシストはすべての交通状況と道路使用者を検知するわけではありません。事故の危険性があります。

他の交通や障害物との距離が十分であることを常に確認してください。



アクティブブラインドスポットアシストは、図に示すように車両後方および側方3.0mの範囲をモニターします。

以下のときには、車両の検知が困難になることがあります：

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雨、雪または霧雨などのため視界が悪い

このときは、モニター範囲にある車両は示されません。

アクティブブラインドスポットアシストは、オートバイや自転車のような幅の狭い車両を検知しなかったり、非常に遅れてからのみ検知することがあります。

車線が狭い場合、特に車両が車線の中央を走行していない場合は、お客様の車両の隣車線の次の車線の車両を検知することがあります。これは、お客様の車両に近い方の車線端部に車両が走行している場合などです。

以下は、システムの特性に起因するものです：

- ガードレール、または類似の連続している車線境界物の近くを走行しているときに、誤って警告が発せられることがあります。
- トレーラーなどの特に長い車両と長時間並走しているときに、警告が中断されることがあります。

警告表示



① 警告表示

アクティブブラインドスポットアシストは約30km/h以下の速度では作動しません。このときは、モニター範囲にある車両は示されません。

30km/h以上の速度でアクティブブラインドスポットアシストのモニター範囲内で車両が検知された場合は、対応する側の警告灯①が赤色に点灯します。この警告は、後方から、または側方から車両がアクティブブラインドスポットアシストのモニター範囲に入ってきたときに常に点灯します。車両を追い越すときは、速度差が12km/h以下の場合にのみ警告が発せられます。

リバースギアを選択している場合は、アクティブブラインドスポットアシストは作動しません。

警告灯の明るさは、周囲の明るさに自動的に合わせられます。



アクティブブラインドスポットアシストが設定されているときは、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧の車両脇に、後方に発信されるレーダー波②が灰色で表示されます。30km/h以上の速度で、アシスト一覧のレーダー波②の色は緑色に変わります。

そして、アクティブブラインドスポットアシストが使用可能になります。

視覚的および聴覚的な衝突警告

運転者が車線変更のために方向指示燈を作動させ、側方のモニター範囲で車両が検知された場合は、視覚的および聴覚的な衝突警告が発せられます。その後、警告音が2回聞こえ、赤色の警告灯①が点滅します。方向指示燈をそのままにしている場合は、検知された車両が赤色の警告灯①の点滅により示されます。警告音はそれ以上鳴りません。

車線修正ブレーキの適用

モニター範囲でアクティブブラインドスポットアシストが側面衝突の危険性を検知した場合は、車線修正ブレーキの適用が行なわれます。これは、運転者の衝突回避を支援するために設計されています。

⚠ 警告

車線修正ブレーキの適用は、常に衝突を防ぐわけではありません。事故の危険性があります。

特に、アクティブブラインドスポットアシストが警告を行なった、または車線修正ブレーキの適用を行なった場合は、必ずステアリング操作、ブレーキ操作、加速操作を行なってください。常に両側との安全な車間距離を維持してください



車線修正ブレーキが適用された場合は、ドアミラーの赤色の警告灯が点滅して、警告音が2回鳴ります。加えて、側面衝突の危険性を強調した表示②がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

まれに、システムが適切でないブレーキの適用を行なうことがあります。ステアリングを反対方向に軽く操作するか、または加速した場合は、いつでも車線修正ブレーキの適用が中断されます。

車線修正ブレーキの適用は、30km/h～200km/hの速度範囲で行なわれます。

以下の場合には、走行状況に合った、またはまったく合わない車線修正ブレーキの適用が行なわれます：

- 車両の両側に、車両やガードレールなどの障害物がある
- 側方すぐのところとに車両が接近している
- 高いコーナリング速度のスポーティな走行スタイルをとっている
- 明確にブレーキ操作またはアクセル操作を行なっている
- ESP® または PRE-SAFE® ブレーキのような走行安全システムが介入している
- ESP® を解除している
- タイヤ空気圧の低下やタイヤの不具合が検知されている

アクティブブラインドスポットアシストの作動

- ▶ マルチファンクションディスプレイでアクティブブラインドスポットアシストが設定されていることを確認します (▷399 ページ)。
- ▶ イグニッション位置を **2** にします。

ドアミラーの警告灯 ① が約 1.5 秒赤色に点灯します。マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧の車両の隣に、後方に発信されるレーダー波が灰色で表示されます。

アクティブレーンキーピングアシスト

全体的な注意事項



アクティブレーンキーピングアシストは、フロントウィンドウ上部のカメラシステム ① で車両前方のエリアをモニターします。レーダーセンサーシステムの支援により、車両の前方、後方および側方の他の様々なエリアもモニターされます。アクティブレーンキーピングアシストは道路の車線マークを検知し、意図せずに車線から外れる前に警告を発生します。警告に反応しない場合は、車線修正ブレーキを適用することにより、車両を元の車線に戻すことができます。

マルチファンクションディスプレイの **表示単位速度 / 距離** で **km** を選択している場合は (▷404 ページ)、アクティブレーンキーピングアシストは約 60km/h の速度で作動を開始します。 **miles** 表示が選択されている場合は、支援範囲は約 40mph から始まります。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、アクティブレーンキーピングアシストは事故の危険性を軽減することはできません。また、物理的限界を超えることもできません。アクティブレーンキーピングアシストは道路および天候の状況を考慮することもできません。交通状況を検知しないことがあります。アクティブレーンキーピングアシストは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との距離、車両の速度、適切なブレーキ操作、および車線を維持する責任があります。

アクティブレーンキーピングアシストは車両を車線内に保ち続けることはできません。

警告

アクティブレーンキーピングアシストは必ずしも明確に車線ラインを検知することはできません。

このような場合、アクティブレーンキーピングアシストは以下を行なうことがあります

- 不要な警告を行ない、車両に車線修正ブレーキを効かせる
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる

事故の危険性があります。

特にアクティブレーンキーピングアシストが警告しているときは、必ず交通状況に注意を払い、車両車線内に保つようにしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

以下のときは、システムの作動が損なわれたり、正しく機能しないことがあります：

- 道路に十分な照明がなかったり、雪や雨、霧や霧雨などにより、視界が悪い
- 対向交通、太陽または他の車両からの反射光などで眩惑がある（路面が濡れている場合など）
- フロントウィンドウが汚れていたり、曇っている、または、カメラ付近がステッカーなどで覆われている
- 雪で覆われているなど、フロントまたはリアバンパー、またはラジエーターリムのレーダーセンサーが汚れている
- 工事エリアなどで1車線分の車線マークがまったくないか、または複数ある、不明瞭である
- 車線マークが摩耗していたり黒ずんでいる、または汚れや雪などに覆われている
- 先行車両との車間距離が短くて車線ラインが検知できない
- 車線の分岐や他との交差、合流などで車線マークが頻繁に変わる
- 道路が狭かったりカーブしている
- 道路に著しく様々な日陰の状況がある

隣接する車線で車両が検知されず、破線の車線マークが検知されている場合は、車線修正ブレーキの適用は行なわれません。

ステアリングの警告振動

前輪が車線マークを越えた場合は警告が行なわれます。警告はステアリングを1.5秒以内で振動させることにより行なわれます。

車線修正ブレーキの適用

特定の状況で車両が車線から外れた場合には、車両の片側にブレーキが軽く効きます。これは、車両を元の車線に戻すように支援するためのものです。

⚠ 警告

車線修正ブレーキを適用しても車両が元の車線に戻るとは限りません。事故の危険性があります。

特に、アクティブレーンキーピングアシストが警告する、または車線修正ブレーキが適用される場合、必ずステアリング操作、ブレーキ操作、加速操作を行なってください。



車線修正ブレーキの適用が行なわれた場合は、マルチファンクションディスプレイに①が表示されます。ブレーキの適用により、走行速度も少し低下します。

この機能は、60km/h～200km/hの速度域内で作動します。

実線または破線と認識された車線マークを越えて走行した後に、車線修正ブレーキの適用は行なわれます。これには、その前にステアリングの断続的な振動による警告が出されている必要があります。さらに、両側に車線マークのある車線が検知されていなければなりません。

破線の車線マークが検知されている場合は、隣接する車線で車両が検知された場合にのみ車線修正ブレーキの適用が行なわれます。対向車両、追い越し車両および隣接する車線の車両を検知できます。

i 車両が元の車線に戻った後にのみ、次の車線修正ブレーキの適用が行なわれます。

以下の場合、車線修正ブレーキの適用は行なわれません：

- 明確に、および活発にステアリング操作、ブレーキ操作または加速を行なっている。
 - きついカーブの内側をまたいだ。
 - 方向指示灯を作動させた。
 - ESP[®]、PRE-SAFE[®] ブレーキまたはアクティブブラインドスポットアシストのような走行安全システムが介入した。
 - 高いコーナリング速度、または高い加速度のスポーティな走行を行なっている
 - ESP[®] を解除している。
 - トランスミッションがポジション D でない。
 - タイヤの空気圧の減少またはタイヤの不具合が検知されて表示された
 - 走行している車線で障害物が検知された
- アクティブレーンキーピングアシストは、他の道路使用者または交通状況を検知しないことがあります。以下の場合はいつでも、不適切なブレーキの適用は中断されます：
- ステアリングを反対方向に軽く操作する
 - 方向指示灯を作動させる
 - 明確にブレーキ操作またはアクセル操作を行なっている

以下の場合、車線修正ブレーキの適用は自動的に中断されます：

- ESP®、PRE-SAFE® ブレーキまたはアクティブブラインドスポットアシストのような走行安全システムが介入した。
- 車線マークが検知されなくなった。

アクティブレーンキーピングアシストの作動



- ▶ スイッチ ② を押します。

表示灯 ① が点灯します。マルチファンクションディスプレイに、**レーンキーピングアシストオン** というメッセージが表示されます。すべての条件が満たされている場合は、警告またはステアリングの介入が行なわれることがあります。

約 60km/h 以上の速度で走行していて、車線マークが検知された場合は、アシスト一覧のライン (▷396 ページ)。が緑色で表示されます。このときは、アクティブレーンキーピングアシストが作動可能な状態になっています。

- ▶ **解除する**：スイッチ ② を押します。

表示灯 ① が消灯します。アクティブレーンキーピングアシストが解除されます。マルチファンクションディスプレイに、**レーンキーピングアシストオフ** というメッセージが表示されます。

標準またはアダプティブ設定の選択

- ▶ マルチファンクションディスプレイの **アシスト** メニューで **レーンキーピングアシスト** 機能を選択します (▷400 ページ)。

- ▶ **標準** または **アダプティブ** を選択します。

標準 を選択しているときは、以下の場合には警告の振動は行なわれません：

- 方向指示灯を作動させた。このようなときは、警告が一定時間抑えられます。
- ABS や BAS、ESP® などの走行安全システムが介入した。

アダプティブ を選択しているときは、以下の場合には警告の振動は行なわれません：

- 方向指示灯を作動させた。このようなときは、警告が一定時間抑えられます。
- ABS や BAS、ESP® などの走行安全システムが介入した。
- キックダウンなどの急加速を行なった。
- 急ブレーキを効かせた。
- 障害物を避けるために急に進路変更をしたり、急に車線を変更するなど、活発なステアリング操作を行なった。
- きついカーブの内側をまたいだ。

車線マークを越えた場合は、必要なときにのみ適時警告を行なうために、システムは特定の状況を検知し、それに応じて警告を行ないません。

以下の場合、早めに警告の振動が行なわれます：

- カーブの外側の車線マークに近づいた
- 高速道路など道路の車線の幅が非常に広い
- システムが実線の車線マークを検知した

以下の場合、遅めに警告の振動が行なわれます：

- 道路の車線の幅が狭い。
- カーブの内側をまたいだ。

ハイブリッドシステムの操作（ハイブリッド車両）

留意点

全体的な注意事項

ハイブリッドテクノロジーは、省燃費の内燃エンジンと強力な電気モーターを組み合わせています。ハイブリッドシステムは走行状況毎に最も効率的な作動モードを自動的に選択します。通常の方法で車両を走行します。

燃料を節約するために、ハイブリッドシステムは出力の要求が低いときは走行中にできるだけ頻繁に内燃エンジンを停止します。必要な出力が低いときは、電気モーターが車両に動力を供給します。必要な出力が高いときは、走行中でも内燃エンジンが始動します。車両が停止しているときは、通常は内燃エンジンは停止します。そのため、内燃エンジン車両のようなエンジンのアイドリングは、通常はありません。

発進および加速のためには、電気モーターは高電圧バッテリーに蓄積されている電力を使用して内燃エンジンをサポートします。加えて、電力は部分的な電気走行、電気冷却コンプレッサーの作動および12V車載電気システムをサポートするために使用されます。このようにして、ハイブリッド走行は車両の燃料消費を低減させるための支援を行ないます。

ハイブリッド作動の運転のヒントに従ってください（▷353 ページ）。

回生ブレーキシステム

車両が動いているときにアクセルペダルを放した場合は、惰走による回生が開始します。惰走モードでブレーキを効かせているときは、電気モーターは発電機として作動します。ハイブリッドテクノロジーは車両の運動エネルギーを電気に変換し、高電圧バッテリーに蓄積します。

回生ブレーキシステムの重要な安全上の注意事項に従ってください（▷59 ページ）。

重要な安全上の注意事項

警告

エンジンが自動的に停止しているときに車両から出ると、エンジンは自動的に再始動します。車両が動き始めることがあります。事故やけがの危険性があります。

車両から出たい場合は、必ずイグニッションをオフにし、動き出さないように車両を固定してください。

以下の場合、すべての車両システムは作動したままになります。

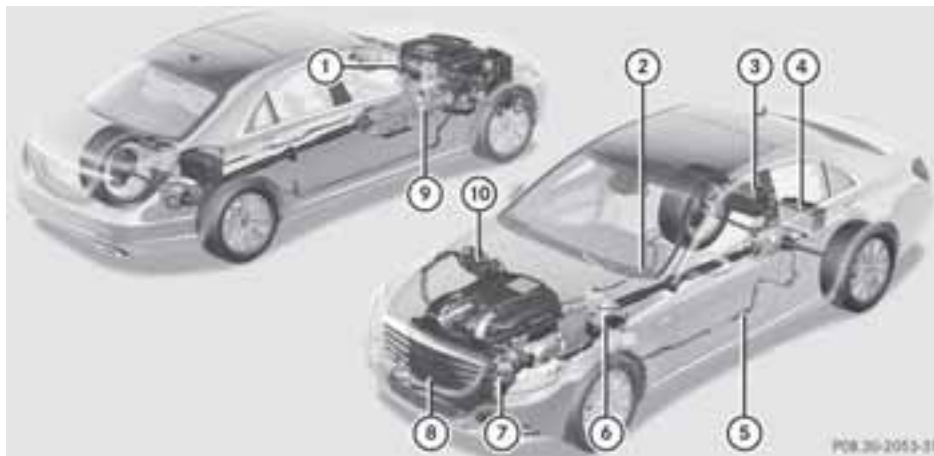
- 車両が停止している、
- 内燃エンジンが停止している、そして
- メーターパネルの READY 表示灯が点灯している。

シフトポジションが **D** または **R** の間にブレーキペダルから足を放した場合は、車両が自動的に発進するおそれがあります。

ECO スタートストップ機能の READY 表示灯の注意事項に従ってください（▶352 ページ）。

電気モーター装備車両は、内燃エンジン装備車両と比較して非常に小さい音しか発生しません。結果として、状況によっては車両が他の道路使用者に聞こえないことがあります。これは例えば、駐車しているときにお客様の車両が他の道路使用者から見えていない状況です。他の道路使用者が予期せぬ行動を行なう可能性を考慮する必要があるため、特に予測運転のスタイルを心がける必要があります。

ハイブリッドシステムの概要（ハイブリッド車両）



- ① 電気式バキュームポンプ
- ② 高電圧電気システムの電気ケーブル
- ③ 高電圧バッテリー
- ④ 12V バッテリー
- ⑤ 高電圧バッテリー冷却システム
- ⑥ 回生ブレーキシステム
- ⑦ 電気式冷却コンプレッサー
- ⑧ パワーエレクトロニクス冷却システム
- ⑨ 電気モーター付きトランスミッション
- ⑩ パワーエレクトロニクス（DC/AC コンバーターまたは DC/DC コンバーター）

ハイブリッドシステムを手動で解除することができます。高電圧切断装置に関するさらなる情報は、(▷57 ページ) をご覧ください。

メーターパネル



P04.33-2054-31

- ① 回生ブレーキシステムの警告灯 (仕様により装備されません) (▷471 ページ)
- ② 電気モーターのパワーディスプレイ
- ③ 高電圧バッテリーの充電レベルディスプレイ (▷346 ページ)

表示および作動

電気モーターのパワーディスプレイ



電気モーターのパワーディスプレイはメーターパネルの右側にあります。高電圧バッテリーの現在の充電レベルが充電レベルディスプレイ⑤にパーセントで表示されます。100%は、高電圧バッテリーの最高許容充電レベルに相当します。

充電レベルディスプレイ⑤の左および右に、以下のもう2つのエリアがあります：

- エリア①～②（E-DRIVE）：

電気での作動中またはブーストモードのときなどに、これにより電気モーターからの電気出力が示されます。

モーターが作動しているときは、表示は下限②にあります。アクセルペダルに力をかけると、表示は②から①まで埋まります。

電気モーターでの走行：表示が上限①に達した場合は、内燃エンジンが始動します。表示が上限①に近づいている場合は、アクセルペダルから足を放すと表示が再度空になります。内燃エンジンは始動しません。これにより、低速では、電気モードでのみ走行するように、電気作動の使用を制御することができます。

内燃エンジンでの走行：表示が上限に達するまで追加トルクを提供することにより、電気モーターは内燃エンジンをサポートします。

- エリア③～④（CHARGE）：

これは、高電圧バッテリーに電気エネルギーとして保存されている回生エネルギーを示しています。

表示が下限④に達したときは、最大回生ブレーキパワーは使い果たされています。機械式ブレーキが作動します。


マルチファンクションディスプレイの操作


マルチファンクションディスプレイおよびCOMANDディスプレイ（▷346ページ）に、ハイブリッドシステムの現在の作動モードを表示することができます。

COMANDディスプレイには、燃料消費および生成された電気のグラフィック表示も呼び出すことができます（▷351ページ）。







メニューおよびサブメニュー

COMAND ディスプレイでのメッセージの選択

- ▶ コントローラーのスイッチ  を押します。
車両メニューが表示されます。
- ▶ **エネルギー** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
エナジーフローが表示されます。
- ▶ **燃費** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
燃料消費および生成された電気エネルギーが表示されます。

- ▶ 表示を終了する：コントローラーの  スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイのエネルギーフローの表示を選択する

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**トリップ** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を使用して、**エネルギーフロー** を選択します。

作動しているハイブリッド構成部品がエネルギーフロー表示で強調されます。

エネルギーフローディスプレイ

概要



- ① 内燃エンジン
- ② 電気モーター
- ③ 高電圧バッテリーの充電状況
- ④ 高電圧バッテリー
- ⑤ エネルギーフロー

i 作動しているハイブリッド構成部品が強調されます。

i エネルギーフローは矢印で示されます。矢印は作動状況によって、矢印の色が異なります。

自動エンジン停止



内燃エンジンおよび電気モーターが停止しています。

エネルギーフローの矢印は表示されません。

イグニッション位置が**2**のときに、高電圧バッテリーの充電状況が表示されます。

車両が停止している間のエンジン作動



車両が停止しているときに内燃エンジンが始動しています。高電圧バッテリーは充電されていません。

エネルギーフローの矢印は表示されません。エンジンが強調されています。

車両が停止している間の充電



内燃エンジンが電気モーターを駆動しています。電気モーターは発電機として作動しています。高電圧バッテリーが充電されます。

エネルギーフローを示す矢印は白色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行



内燃エンジンが車両に動力を供給しています。

エネルギーフローの矢印は白色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行およびブーストモード



アクセルを素早く踏んだ場合は、電気モーターは補助トルクを供給することにより内燃エンジンをサポートします。

エネルギーフローの矢印は赤色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行およびエネルギー回生



内燃エンジンが車両に動力を供給しています。

惰走モードで、またはブレーキ時などに、電気モーターは発電機として作動しています (▷354 ページ)。車両の運動エネルギーが電気エネルギーに変換されています。高電圧バッテリーが充電されています。

エネルギーフローの矢印は緑色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行および高電圧バッテリーの充電



内燃エンジンが車両に動力を供給しています。内燃エンジンは電気モーターも駆動しています。電気モーターは発電機として作動しています。高電圧バッテリーが充電されます。

エネルギーフローの矢印は白色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行および高電圧バッテリーの放電



内燃エンジンが車両に動力を供給しています。エネルギー回生が高くなる可能性がある下り坂勾配に車両が近づいている場合は、高電圧バッテリーの充電状況は意図的に低く維持されたり、または意図的に減少します。

エネルギーフローの矢印は白色で表示されます。

電気作動モード



電気モーターは車両に動力を供給しています。高電圧バッテリーは電気モーターに電気エネルギーを供給しています。

エネルギーフローの矢印は緑色で表示されます。

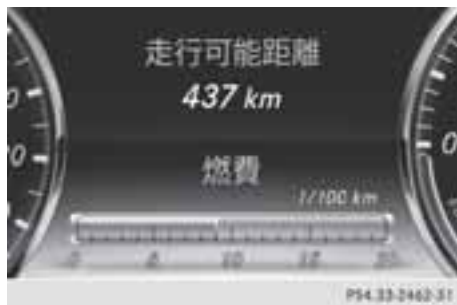
電気作動モードと高電圧バッテリーの充電









惰走モードで、またはブレーキ時などに、電気モーターは発電機として作動しています。車両の運動エネルギーが電気エネルギーに変換されています。高電圧バッテリーが充電されています。

エネルギーフローの矢印は緑色で表示されます。

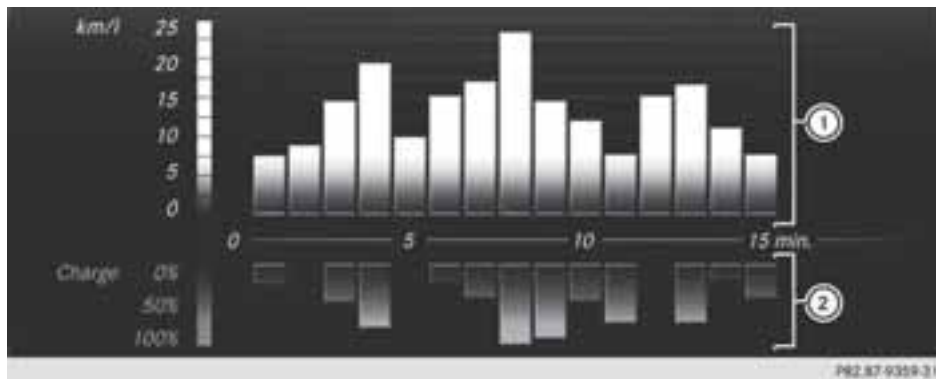
走行可能距離の表示



概算の走行可能距離は現在の運転スタイルに基づいています。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**トリップ** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を押して、概算の走行可能距離を選択します。

燃料消費および生成された電気エネルギーの表示（COMAND ディスプレイ）



- ① 燃料消費
- ② 生成された電気エネルギー

グラフのそれぞれのバーは 1 分間の平均値を示します。

燃料消費インジケータ ① は、**トリップ** メニューにあるトリップコンピューターの **スタート後** のインジケータと異なることがあります。

数値をリセットする：数値はトリップコンピューターの **スタート後** と一緒にリセットされます（▷388 ページ）。

▶ **燃費** を選択する：コントローラーをまわして、押します。

直近の 15 分の燃費 ① および生成された電気エネルギー ② が COMAND ディスプレイに表示されます。

車両の始動

READY 表示灯



- ▶ イグニッションをオンにします。
- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ エンジンの始動についての注意事項に従ってください（▷236 ページ）。
- ▶ 内燃エンジンを始動します（▷237 ページ）。

READY 表示灯 ① が点灯しているときに車両は作動可能です。

無音始動

車両は、内燃エンジンを始動することなく電気モードで走り出します。ドライバーによって要求された動力が電気モーターが現在供給できる使用可能な動力を超えると内燃エンジンは始動します。

無音始動の作動は、外気温および内燃エンジンの作動温度によります。

READY 表示灯 ① が点灯しているときは、車両は作動可能です。

発進

- ▶ ブレーキペダルを踏み、踏んだままにします。
- ▶ トランスミッションをポジションを D または R にシフトします。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに **ブレーキを踏んで P レンジからシフト** というディスプレイメッセージが表示された場合は、ブレーキペダルをさらに強く踏み、希望のシフトポジションを選択します。
- ▶ ブレーキペダルを徐々に放します。
- ▶ 注意しながらアクセルペダルを踏みます。

発進に関するさらなる情報は、（▷238 ページ）をご覧ください。

走行

走行モード選択スイッチ

オートマチック走行モード E および S



- ▶ 走行モード選択スイッチ ① を押して、走行モードを変更します。

マルチファンクションディスプレイに選択した走行モードが表示されます。

走行モード選択スイッチで、異なる走行特性を選択することができます。

E エコノミー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適で経済的な走行 ・ 電気作動モードが可能な限り頻繁に作動します ・ ECO スタートストップ機能が作動します
S スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブーストモードを備えたスポーティな走行スタイル ・ 電気だけの走行はできません ・ ECO スタートストップ機能は作動しません

オートマチック走行モードについてのさらなる情報は、(▷251 ページ) をご覧ください。

マニュアル走行モード M

オートマチック走行モード **E** および **S** に加えて、ステアリングのギアシフトパドルを使用して、マニュアル走行モード **M** に切り替えることができます。

マニュアル走行モード **M** では、ステアリングギアシフトパドルを使用して、一時的に自分自身でギアを変えることができます。トランスミッションはポジション **D** でなければなりません。マニュアル走行モード **M** では、電気のみでの作動はできません。

電気モーターで走行しているときの作動：

- ▶ 左側のステアリングギアシフトパドルを引きます (▷251 ページ)。

内燃エンジンが作動します。マニュアル走行モード **M** が一時的に作動します。マルチファンクションディスプレイに、選択されているギアおよび **M** が表示されます。

走行モード **M** が作動していないときに、右側のステアリングギアシフトパドルを引くと、惰走モードに切り替わります (▷354 ページ)。

内燃エンジンで走行しているときの作動：

- ▶ 左側のステアリングギアシフトパドルを引きます (▷251 ページ)。

マニュアル走行モード **M** が一時的に作動します。マルチファンクションディスプレイに、選択されているギアおよび **M** が表示されます。

マニュアル走行モード **M** では、ECO スタートストップ機能は作動しません。

運転のヒント

一般的な運転のヒント

注意して運転し、前方の車両との適切な距離を確保してください。頻繁で急な加速、ならびに急ブレーキは避けてください。

部分的な電気走行、発進および加速の間は、電気モーターが内燃エンジンをサポートします。

シフトポジション **D** で惰走している、およびブレーキを効かせている間は、電気モーターが発電機として作動します。

ECO スタートストップ機能についてのさらなる情報は、(▷355 ページ) をご覧ください。

運転の追加のヒントについては、(▷275 ページ) をご覧ください。

車両が停止しているとき

車両が停止している場合、ほとんどの場合は内燃エンジンは停止しています。オートエアコンディショナーは作動し続けます。電動パワーステアリングギアによって、快適さを損なうことなくパワーステアリングを使用することができます。

アクセル操作

作動モードによっては、負荷が少ない条件下では発進および走行が以下のように行なわれます：

- すべてが電気推進により
- 内燃エンジンとの組み合わせで

より強く、または最大負荷で加速するときは、ブーストモードが使用されます。アクセルを素早く踏んだときは、追加トルクを与えることで電気モーターは内燃エンジンをサポートします。

惰走モードまたは制動効果

ハイブリッド車両が減速しているときは、作動可能なモードが3つあります。

- 惰走および減速時では、エネルギー回生がすでに行なわれています (▷342 ページ)。電気モーターは発電機として機能し、高電圧バッテリーに回生エネルギーを蓄積します。
- 軽くブレーキを効かせたときは、電気モーターは車両をさらに減速させます。エネルギー回生が増加します (▷342 ページ)。電気モーターは発電機として機能し、高電圧バッテリーに回生エネルギーを蓄積します。

- 大きな制動力が必要な場合は、車両が減速させるためにフットブレーキが使用されます。両方のシステムが同時に作動します。

市街での走行

市街走行では、頻繁な減速および停止の間にエネルギーが回生されます。以下のときなどは、約 35km/h の速度までは電気モーター単独で車両を走行させることができます：

- 信号に近づいている間
- 交通渋滞で

エンジン自動停止のすべての条件が満たされているときにのみ、電気モーターのみで車両を走行させることができます。

エンジン自動停止に関するさらなる情報は (▷355 ページ) をご覧ください。

都市間の道路での走行

都市間の道路を走行しているときは、以下の3つの状況が起こり得ます。

- 急加速（ブーストモード）
- 一定のエネルギー消費
- エネルギー回生

ルートの特徴によっては、多くの回生エネルギーを使用できることがあります。これにより燃料消費と排出ガスを減少させます。

高速道路での走行

高速道路を走行しているときは、不要な出力の減少により、燃料消費と排出ガスの低減に特に良い影響があります。

ステアリング操作および転回

ハイブリッドドライブにより、電気モーターのみを使用してのステアリング操作および転回が可能になります。

ECO スタートストップ機能

全体的な注意事項

車両が動きを停止したときや高い速度で、ECO スタートストップ機能は内燃エンジンを自動的に停止します（▷355 ページ）。

オートエアコンディショナーなどの、すべての車両システムは作動したままになります。

ECO スタートストップ機能は、走行モード **E** でのみ作動します。電気のみでの走行は、走行モード **E** でのみ作動します。走行モード **E** に関するさらなる情報は、（▷352 ページ）をご覧ください。

自動エンジン停止

以下の場合、内燃エンジンは自動的に停止します：

- 運転者がアクセルペダルから足を放し、140km/h の速度を超えていない
- 内燃エンジンが作動温度に達している
- 運転席シートベルトが着用されていて、運転席ドアが閉じている
- 限られた距離で現在の速度を維持するためなどのために、ドライバーがアクセルペダルを軽くのみ踏んでいる
- ボンネットが閉じていて、確実にロックされている
- 高電圧バッテリーが十分に充電されている
- ハイブリッドシステムに故障がない

以下の場合、内燃エンジンは自動的に停止しません：

- エンジンコントロールユニットの自己診断機能が作動したままである
- ハイブリッドシステムに故障がある
- 車両のエアコンディショナーが必要としている
- 高電圧バッテリーの充電が行なわれている（▷348 ページ）
- 排出物自動テストが作動している

エンジン自動始動

自動的に停止した内燃エンジンは、以下の特定の状況で自動的に始動します：

- アクセルペダルによるドライバーからの出力の要求が、電気モーター単独で提供できるものよりも大きい
- 運転者が走行モード **S** または **M** に切り替えた
- 高電圧バッテリーの充電レベルが下限に達した
- 30℃以上の外気温度のときなど、エアコンディショナーの設定が必要としている

惰走モード

惰走モードは 140km/h 以下の速度域で作動します。

内燃エンジンが停止し、ドライブトレインとの接続が外されます。

電気モーター

- 作動している内燃エンジンの惰走モードに対応した、低い推進力を発生します。
- 発電機として作動し、補助電気装備に必要なエネルギーを生成し、高電圧バッテリーを充電します。

拡大惰走モード

惰走モードにより車両の走行可能距離が増加します。

車両が惰走モードのとき：

- ▶ 右側のステアリングギアシフトパドルを引きます。

必要とされる最小量のエネルギーまでエネルギー回生が減少します。


電気モーターの充電ディスプレイにエネルギー回生の減少が表示されます（▷346ページ）。

拡大惰走モードは、以下の場合に再度解除されます：

- 内燃エンジンが始動した
- ブレーキペダルを踏んだ

駐車

- ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせてください。

メーターパネルの赤色の  表示灯が点灯します。

- ▶ DIRECT SELECT レバーを使用して、オートマチックトランスミッションを P にシフトします。
- ▶ イグニッションをオフにします。メーターパネルの緑色または黄色の READY 表示灯が消灯します。

i 駐車および内燃エンジンの停止に関するさらなる情報については、（▷271 ページ）をご覧ください。

ハイブリッド作動のトラブル


内燃エンジン

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
内燃エンジンを始動できない。マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されない。 マルチファンクションディスプレイのREADY表示灯が消灯している。	例えば、自己診断がまだ完了していない、またはハイブリッドシステムが故障している。 ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。 ▶ 内燃エンジンの始動を再度試みてください。 それでも内燃エンジンが始動しない場合 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
発進したいが、ECOスタートストップ機能が内燃エンジンを始動しない。マルチファンクションディスプレイのREADY表示灯が消灯している。	ECOスタートストップ機能が故障している。メーターパネルの警告および表示灯が点灯している。 ▶ トランスミッションをPにシフトします。 ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。 ▶ エンジンを始動します。 ハイブリッドシステムが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

回生ブレーキシステム

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ブレーキペダルの踏み応えが減少し、ブレーキペダルの踏みしるが通常よりも大きくなっている。	△ 事故のおそれがあります 回生ブレーキシステムが故障している。 ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください（▷440 ページ）。 ▶ メーターパネルの表示および警告灯に関する情報に従ってください（▷471 ページ）。

ハイブリッドシステム（ハイブリッド車両）

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ハイブリッドシステムが自動的に解除された。	<p>事故にあった。</p> <p>以下の場合ハイブリッドシステムは解除されたままになります：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数秒後に内燃エンジンが再始動できない。 • メーターパネルの赤色の SRS 警告灯  が点灯している。 <p>▶メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。</p>
ハイブリッドシステムが自動的に解除された。マルチファンクションディスプレイにディスプレイメッセージも表示されている。	<p>電氣的なショートがハイブリッドシステムで発生した、または電気接続が切断された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください (▷440 ページ)。 ▶メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

ハイブリッドシステムの操作（プラグインハイブリッド車両）

留意点

全体的な注意事項

ハイブリッドテクノロジーは、省燃費の内燃エンジンと強力な電気モーターを組み合わせています。ハイブリッド作動モード **HYBRID** では、ハイブリッドシステムはそれぞれの走行状況に最も効果的な操作モードを自動的に選択します。通常の方法で車両を走行します。

燃料を節約するために、ハイブリッド作動モード **HYBRID** では、必要な出力が低いときは、ハイブリッドシステムは走行中にできるだけ頻繁に内燃エンジンを停止します。必要な出力が低いときは、電気モーターが車両に動力を供給します。必要な出力が高いときは、走行中でも内燃エンジンが始動します。車両が停止しているときは、通常は内燃エンジンは停止します。そのため、内燃エンジン車両のようなエンジンのアイドリングは、通常はありません。

発進および加速のためには、電気モーターは高電圧バッテリーに蓄積されている電力を使用して内燃エンジンをサポートします。加えて、電力は部分的な電気走行、電気冷却コンプレッサーの作動および 12V 車載電気システムをサポートするために使用されます。このようにして、ハイブリッド走行は車両の燃料消費を減少させるための支援を行ないます。プラグインハイブリッド作動の運転のヒントに従ってください（▷373 ページ）。

回生ブレーキシステム

車両が動いているときにアクセルペダルを放した場合は、惰走による回生が開始します。惰走モードでブレーキを効かせているときは、電気モーターは発電機として作動します。ハイブリッドテクノロジーは車両の運動エネルギーを電気に変換し、高電圧バッテリーに蓄積します。

回生ブレーキシステムの重要な安全上の注意事項に従ってください（▷59 ページ）。

重要な安全上の注意事項

エンジンが ECO スタートストップ機能により停止し、運転席ドアを開いた場合：

- マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示され、そして
- 警告音が鳴ります

さらなる情報は、（▷439 ページ）をご覧ください。

以下の場合、すべての車両システムは作動したままになります：

- 車両が停止している
- 内燃エンジンが停止している
- メーターパネルの READY 表示灯が点灯している

シフトポジションが D または R の間にブレーキペダルから足を放した場合は、車両が自動的に発進するおそれがあります。

ECO スタートストップ機能の READY 表示灯の注意事項に従ってください（▷374 ページ）。

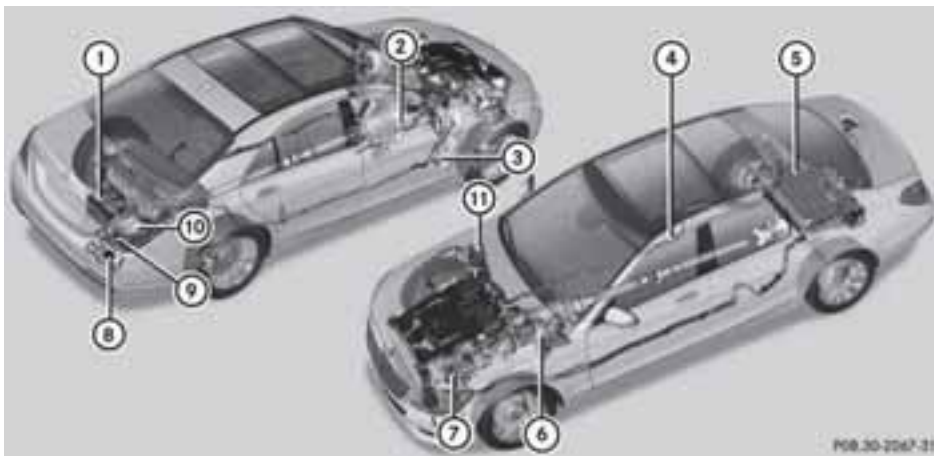
電気モーター装備車両は、内燃エンジン装備車両と比較した場合、非常に小さい音しか発生しません。その結果、特定の状況で他の道路使用者に音が聞こえない可能性があります。

車両装備および国による法規によって、車両接近通報装置が車両に装備されていることがあります。

車両接近通報装置は、0～30km/hの間の速度で特定の音を発します。これにより、特に歩行者や自転車に乗っている人などのほかの道路使用者に車両の音が聞こえるよう支援をします。音は車内でも聞こえます。

音量はエンジン回転数によります。速く加速すれば、音は大きくなります。30km/h以上の速度では、音は停止します。この速度以上では、他の道路使用者に適時間聞こえるため、車両からの自然な音で十分です。

ハイブリッドシステムの概要（プラグインハイブリッド車両）



- ① 12V バッテリー
- ② 電気モーター付きトランスミッション
- ③ 電気ヒーター
- ④ 高電圧電気システムのケーブル
- ⑤ 高電圧バッテリー
- ⑥ 回生ブレーキシステム
- ⑦ 電気式冷却コンプレッサー
- ⑧ 車両ソケット
- ⑨ 充電器
- ⑩ 変圧器
- ⑪ パワーエレクトロニクス

ハイブリッドシステムを手動で解除することができます。高電圧切断装置についてのさらなる情報は、(▷57 ページ) をご覧ください。

メーターパネル



- ① 回生ブレーキシステムの警告灯（▷471 ページ）
- ② 電気モーターのパワーディスプレイ（▷363 ページ）
- ③ 高電圧バッテリーの充電レベルディスプレイ（▷365 ページ）
- ④ 作動モード表示（▷364 ページ）
- ⑤ 電気による走行可能距離

表示および操作

電気モーターのパワーディスプレイ



電気モーターのパワーディスプレイはメーターパネルの右側にあります。

高電圧バッテリーの現在の充電レベルが充電レベルディスプレイ ⑤ にパーセントで表示されます。100%は、高電圧バッテリーの最高許容充電レベルに相当します。

充電レベルディスプレイ ⑤ の左および右に、以下のもう2つのエリアがあります：

- エリア ① ～ ② (E-DRIVE)：

電気作動中またはブーストモードのときなどに、これにより電気モーターからの電気出力が示されます。

モーターが作動しているときは、表示は下限 ② にあります。アクセルペダルに力をかけると、表示は ② から ① まで埋まります。

電気モーターでの走行：表示が上限 ① に達した場合は、内燃エンジンが始動します。表示が上限 ① に近づいている場合は、アクセルペダルから足を放すと表示が再度空になります。内燃エンジンは始動しません。低速では、電気モードでのみ走行するように、電気作動の使用を制御することができます。

内燃エンジンでの走行：表示が上限に達するまで追加トルクを提供することにより、電気モーターは内燃エンジンをサポートします。

ハイブリッドシステムの操作モードを選択することもできます（▷363 ページ）。

- エリア ③ ～ ④ (CHARGE)：

これは、高電圧バッテリーに電気エネルギーとして保存されている回生エネルギーを示しています。

表示が下限 ④ に達したときは、最大回生ブレーキパワーが使い果たされています。機械式ブレーキが作動します。

ハイブリッドシステムの作動モードを選択する



スイッチ ① により、ハイブリッドシステムのさまざまな作動モードを選択できます。

- ▶ スイッチ ① を押して、作動モードを変更します。メーターパネルに選択した作動モードが表示されます（▷362 ページ）。

作動モードを変更できない場合は、マルチファンクションディスプレイに操作モードを変更する前に「ドライブプログラム」を変更してくださいまたは操作モードを変更する前に「マニュアルドライブプログラム M」を解除してくださいというディスプレイメッセージが表示されます。「ディスプレイメッセージ」についてのさらなる情報については、(▷439 ページ)をご覧ください。



- ① 選択した作動モード
- ② 使用できない作動モード
- ③ 使用できる作動モード

HYBRID

- 電気作動モードまたは内燃エンジンでの走行が可能です
- 電気作動モードでの走行モードができるだけ多く自動選択されます
- 高電圧バッテリーは約20%まで充電されます。
- 続けて高電圧バッテリーの充電状況を維持するために、電気出力が減少します。電気作動モード、エネルギー回生またはブーストモードのような車両のすべての機能はそのまま使用できます。

E-MODE

- 電気だけの作動モード
- インテリジェントペダルを使用して割り当てられた電気出力 (▷372 ページ)
- インテリジェントペダルを使用しての内燃エンジンの作動

E-SAVE

- 電気作動モードまたは内燃エンジンでの走行が可能です。
- 電気作動モードでの走行モードができるだけ多く自動選択されます
- 電気エネルギーが後で使用できるように、高電圧バッテリーの現在の充電状況が維持されます。

CHARGE

- 電気作動モードは可能になりません
- 走行中は、内燃エンジンを使用して高電圧バッテリーを充電します

オートマチック走行モード **S** (▷371 ページ) およびマニュアル走行モード **M** (▷372 ページ) では、ハイブリッド作動モード **HYBRID** のみが作動します。

オートマチック走行モード **S** からオートマチック走行モード **E** または **E+** に切り替えた場合は、ハイブリッド作動モード **HYBRID** が選択されたままになります。

マニュアル走行モード **M** が解除された場合は、オートマチックトランスミッションが以下に切り替わります：

- 最後に選択されていたオートマチック走行モード

- 最後に選択されていたハイブリッドシステムの作動モード



マルチファンクションディスプレイの操作

マルチファンクションディスプレイおよびCOMANDディスプレイ（▷365ページ）に、ハイブリッドシステムの現在の作動モードを表示することができます。




COMANDディスプレイには、燃料消費および生成された電気のグラフィック表示も呼び出すことができます（▷370ページ）。




メニューおよびサブメニュー

COMANDディスプレイでのメッセージの選択

- ▶ コントローラーの  スイッチを押します。
車両メニューが表示されます。
- ▶ **エネルギー** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
エネルギーフローが表示されます。
- ▶ **燃費** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
燃料消費および生成された電気エネルギーが表示されます。
- ▶ 表示を終了する：コントローラーの  スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイのエネルギーフローディスプレイを選択する

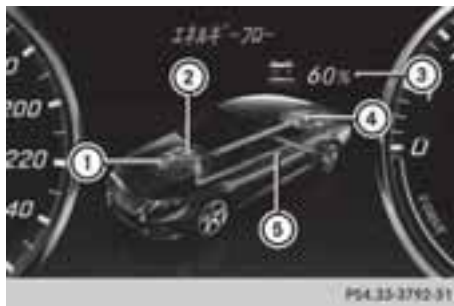
- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**トリップ** メニューを選択します。

- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を使用して、**エネルギー** を選択します。

作動しているハイブリッド構成部品がエネルギーフローディスプレイで強調されます。

エネルギーフローディスプレイ

概要



- ① 内燃エンジン
- ② 電気モーター
- ③ 高電圧バッテリーの充電状況
- ④ 高電圧バッテリー
- ⑤ エネルギーフロー

作動しているハイブリッド構成部品が強調されます。

エネルギーフローは矢印で示されます。作動状況によって、矢印は色が異なります。

エンジン自動停止



内燃エンジンおよび電気モーターが停止しています。

エネルギーフローの矢印が表示されません。

エンジンスイッチのキーが**2**の位置にあるときに、高電圧バッテリーの充電状況が表示されます。

車両が停止している間のエンジン作動



車両が停止しているときに内燃エンジンが始動しています。高電圧バッテリーは充電されていません。

エネルギーフローの矢印が表示されません。エンジンが強調されています。

車両が停止している間の充電



内燃エンジンが電気モーターを駆動しています。電気モーターは発電機として作動しています。高電圧バッテリーが充電されます。

エネルギーフローを示す矢印は白色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行



内燃エンジンが車両に動力を供給しています。

エネルギーフローの矢印は白色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行およびブーストモード



アクセルを素早く踏んだ場合は、電気モーターは補助トルクを供給することにより内燃エンジンをサポートします。

エネルギーフローの矢印は赤色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行およびエネルギー回生



内燃エンジンが電気モーターを駆動し内燃エンジンが車両に動力を供給しています。惰走モードで、またはブレーキ時などに、電気モーターは発電機として作動しています（▷375 ページ）。車両の運動エネルギーが電気エネルギーに変換されています。高電圧バッテリーが充電されます。

エネルギーフローの矢印は緑色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行および高電圧バッテリーの充電



内燃エンジンが電気モーターを駆動し内燃エンジンが車両に動力を供給しています。内燃エンジンは電気モーターも駆動しています。電気モーターは発電機として作動しています。高電圧バッテリーが充電されます。

エネルギーフローの矢印は白色で表示されます。

内燃エンジンを使用しての走行および高電圧バッテリーの放電



内燃エンジンが電気モーターを駆動し内燃エンジンが車両に動力を供給しています。エネルギー回生が高くなる可能性がある下り坂勾配に車両が近づいている場合は、高電圧バッテリーの充電状況は意図的に低く維持されたり、または意図的に減少します。

エネルギーフローの矢印は白色で表示されます。

電気作動モード



内燃エンジンが電気モーターを駆動し電気モーターは車両に動力を供給しています。高電圧バッテリーは電気モーターに電気エネルギーを供給しています。

エネルギーフローの矢印は緑色で表示されます。

電気作動モードと高電圧バッテリーの充電



惰走モードで、またはブレーキ時などに、電気モーターは発電機として作動しています。車両の運動エネルギーが電気エネルギーに変換されています。高電圧バッテリーが充電されます。

エネルギーフローの矢印は緑色で表示されます。

停止時の高電圧バッテリーの充電



内燃エンジンおよび電気モーターが停止しています。







エネルギーフローの矢印が表示されません。下記を経由しての、高電圧バッテリーの充電についてのさらなる情報については、以下をご覧ください：

- 電源ソケット（▷264 ページ）
- 充電ステーション（▷269 ページ）
- 充電ボックス（▷267 ページ）

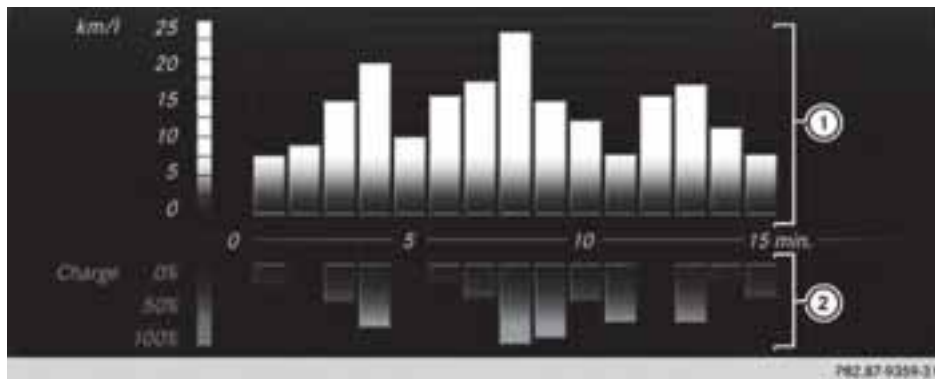
総走行可能距離および電気での走行可能距離の表示



概算の走行可能距離は現在の運転スタイルに基づいています。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**トリップ**°メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を押して概算の総走行可能距離および電気による走行可能距離を選択します。

燃料消費および生成された電気エネルギーの表示（COMAND ディスプレイ）



- ① 燃料消費
- ② 生成された電気エネルギー

グラフのそれぞれのバーは 1 分間の平均値を示します。

燃料消費インジケータ ① は、[トリップ](#) メニューにあるトリップコンピューターの[スタート後](#)のインジケータと異なることがあります。

数値をリセットする：数値はトリップコンピューターの[スタート後](#)と一緒にリセットされます（▷388 ページ）。

- ▶ **燃費**を選択する：コントローラーをまわして、押します。

直近の 15 分の燃費 ① および生成された電気エネルギー ② が COMAND ディスプレイに表示されます。

車両の始動

車両は内燃エンジンなしで電気モードで始動します（無音始動）。ドライバーによって要求された動力が電気モーターが現在供給できる使用可能な動力を超えるると内燃エンジンは始動します。

無音始動の作動は、外気温および内燃エンジンの作動温度によります。無音始動の作動のすべての条件が満たされていない場合は、車両は内燃エンジンとともに始動します。



- ▶ イグニッションをオンにします。
- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ 始動指示に従ってください（▷236 ページ）。
- ▶ 車両を始動してください（▷236 ページ）。

READY 表示灯 ① が点灯しているときは、車両は作動可能です。

発進

- ▶ ブレーキペダルを踏み、踏んだままにします。
- ▶ トランスミッションをポジション **D** または **R** にシフトします。

▶ マルチファンクションディスプレイに「ブレーキを踏んでPレンジからシフト」というディスプレイメッセージが表示された場合は、ブレーキペダルをさらに強く踏み、希望のトランスミッションポジションを選択します。

▶ ブレーキペダルを放します。

▶ 注意しながらアクセルペダルを踏みます。

発進についてのさらなる情報は、（▷236 ページ）をご覧ください。

走行

走行モード選択スイッチ

オートマチック走行モード **E**、**S** および **E+**



▶ 走行モード選択スイッチを繰り返し押し、走行モードを変更します。

マルチファンクションディスプレイに選択した走行モードが表示されます。

走行モード選択スイッチで、異なる走行特性を選択することができます。

E エコノミー	<ul style="list-style-type: none"> • 快適で経済的な走行 • 可能な限り頻繁に、電気作動モードが作動します • ECO スタートストップ機能が作動します
S スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> • ブーストモードを備えたスポーティな走行スタイル • 内燃エンジンが常に作動します
E+ エコノミープラス	<ul style="list-style-type: none"> • 快適で経済的な走行 • 可能な限り頻繁に、電気作動モードが作動します • ECO スタートストップ機能が作動します • アクセルペダルを放すことを示すための、アクセルペダルに感じられる2回の振動（▷373ページ） • アクセルペダルを放した後は、車両の惰走特性は交通状況に合わせられます。

オートマチック走行モードについてのさらなる情報は、（▷251ページ）をご覧ください。

マニュアル走行モード M

オートマチック走行モード **E** および **S** に加えて、ステアリングギアシフトパドルを使用して、マニュアル走行モード **M** に切り替えることができます。

マニュアル走行モード **M** では、ステアリングギアシフトパドルを使用して、短時間自分自身でギアを変えることができます。トランスミッションはポジション **D** でなければなりません。マニュアル走行モード **M** では、内燃エンジンが常に作動しています。

電気モーターで走行しているときの作動：

- ▶ 左または右のステアリングギアパドルシフトを引きます（▷251ページ）。

内燃エンジンが作動します。マニュアル走行モード **M** が一時的に作動します。マルチファンクションディスプレイに選択されているギアおよび **M** が表示されます。

内燃エンジンで走行しているときの作動：

- ▶ 左または右側のステアリングギアシフトパドルを引きます（▷251ページ）。

マニュアル走行モード **M** が一時的に作動します。マルチファンクションディスプレイに選択されているギアおよび **M** が表示されます。

マニュアル走行モード **M** では、ECO スタートストップ機能は作動しません。

アクセルペダル

全体的な注意事項

インテリジェントペダルは、車両の燃料消費および排出物を減少するための支援を行いません。

この目的のために、以下のような2つの異なる機能が作動します：

- ハイブリッド作動モード **E-MODE** での、追加の踏み応え位置（▷363 ページ）
- 走行モード **E+** での、2回の振動（▷372 ページ）

インテリジェントペダルの追加の踏み応え位置

使用可能な最大電気性能は、インテリジェントペダルの明確な踏み応え位置により示されます。

追加の踏み応え位置は、ハイブリッド作動モード **E-MODE** で作動します（▷363 ページ）。

踏み応えがある位置を越えるまでインテリジェントペダルを踏んだ場合は、内燃エンジンが作動します。

インテリジェントペダルの2回の振動

インテリジェントペダルの明確な2回の振動により、アクセルペダルを放すアドバイスが行なわれます。これにより、ハイブリッド作動モード **HYBRID**、**E-MODE** または **E-SAVE** では、内燃エンジンが停止し、パワートレインから切り離されます（惰走モード）。

2回の振動は、走行モード **E+** で作動します（▷372 ページ）。

アクセルペダルを放した後は、車両の惰走特性は交通状況に合わせられます。

先行車両に近づきすぎること防ぐために、必要なときはブレーキを手動で効かせなくてはなりません。

運転のヒント

一般的な運転のヒント

注意して運転し、前方の車両との適切な距離を確保してください。頻繁で急な加速、ならびに急ブレーキは避けてください。

部分的な電気走行、発進および加速の間は、電気モーターが内燃エンジンをサポートします。

トランスミッションポジション **D** で惰走している、およびブレーキを効かせている間は、電気モーターが発電機として作動します。

ECO スタートストップ機能についてのさらなる情報は、（▷374 ページ）をご覧ください。追加の運転のヒントについては、（▷275 ページ）をご覧ください。

車両が停止しているとき

車両が停止している場合、ほとんどの場合は内燃エンジンは停止しています。エアコンディショナーは作動し続けます。電動パワーステアリングギアによって、快適さを損なうことなくパワーステアリングを使用することができます。

アクセル操作

作動モードによっては、負荷が少ない条件下では発進および走行が以下に行なわれます：

- すべてが電気推進により
- 内燃エンジンとの組み合わせで

より強く、または最大負荷で加速するときは、ブーストモードが使用されます。アクセルを素早く踏んだときは、追加トルクを与えることで電気モーターは内燃エンジンをサポートします。

惰走モードまたは制動効果

ハイブリッド車両が減速しているときは、作動可能なモードが3つあります。

- 惰走および減速時は、エネルギー回生がすでに行なわれています（▷359 ページ）。電気モーターは発電機として機能し、高電圧バッテリーに回生エネルギーを蓄積します。
- 緩くブレーキを効かせたときは、電気モーターは車両をさらに減速させます。エネルギー回生が増加します（▷359 ページ）。電気モーターは発電機として機能し、高電圧バッテリーに回生エネルギーを蓄積します。
- 大きな制動力が必要な場合は、車両を減速させるためにフットブレーキが使用されます。両方のシステムが同時に作動します。

市街での走行

市街走行では、頻繁な減速および停止の間にエネルギーが回生されます。

約 130km/h の速度までは、車両は電気モーターのみで作動させることができます。

エンジン自動停止のすべての条件が満たされているときにのみ、電気モーターのみで車両を走行させることができます。

エンジン自動停止についてのさらなる情報については、（▷375 ページ）をご覧ください。

都市間の道路での走行

都市間の道路を走行しているときは、以下の状況が起こり得ます：

- 急加速（ブーストモード）
- 一定のエネルギー消費
- エネルギー回生
- 電気作動モード

ルートの特徴によっては、多くの回生エネルギーを使用できることがあります。これにより燃料消費と排出物を減少させます。

高速道路での走行

高速道路を走行しているときは、不要な出力の減少により、燃料消費と排出物に特に良い影響があります。

以下の場合、内燃エンジンは自動的に停止します：

- 走行モード **E** で、運転者がアクセルペダルから足を放し、130km/h の速度を超えていない。
- 走行モード **E+** で、運転者がアクセルペダルから足を放し、180km/h の速度を超えていない。

エンジン自動停止についてのさらなる情報については、（▷375 ページ）をご覧ください。

ECO スタートストップ機能

全体的な注意事項

車両が動きを停止したときや高い速度では、ECO スタートストップ機能が内燃エンジンを自動的に停止します（▷375 ページ）。

エアコンディショナーなどの、すべての車両システムは作動したままになります。

ECO スタートストップ機能は、走行モード **E** および **E+** でのみ作動します。電気のみでの作動は、走行モード **E** および **E+** でのみ作動します。走行モード **E** および **E+** の追加情報については、（▷372 ページ）をご覧ください。

エンジン自動停止

以下の場合、内燃エンジンが自動的に停止します：

- 走行モード **E** で運転者がアクセルから足を放し、130km/hの速度を超えていない（▷375 ページ）
- 走行モード **E+** で運転者がアクセルから足を放し、180km/hの速度を超えていない（▷375 ページ）
- 内燃エンジンが作動温度に達している
- 運転席シートベルトが着用されていて、運転席ドアが閉じている
- 限られた距離で現在の速度を維持するためなどのために、ドライバーがアクセルペダルを軽くのみ踏んでいる
- ボンネットが閉じていて、確実にロックされている
- 高電圧バッテリーが十分に充電されている
- ハイブリッドシステムに故障がない

以下の場合、内燃エンジンは自動的に停止しません：

- エンジンコントロールユニットの自己診断機能が作動したままである
- ハイブリッドシステムに故障がある
- 車両のエアコンディショナーが必要としている
- 高電圧バッテリーの充電が行なわれている（▷366 ページ）
- 排出物自動テストが作動している

エンジン自動始動

自動的に停止した内燃エンジンは、以下の特定の状況で自動的に始動します：

- アクセルペダルによるドライバーからの出力の要求が、電気モーター単独で提供できるものよりも大きい
- 運転者が走行モード **S** または **M** に切り替えた
- 高電圧バッテリーの充電レベルが下限に達した
- 30℃以上の外気温度のときなど、エアコンディショナーの設定が必要としている

惰走モード

惰走モードでは、内燃エンジンが停止し、ドライブトレインから切り離されます。

電気モーター


- 作動している内燃エンジンの惰走モードに対応した、低い推進力を発生します。
- 発電機として作動し、補助電気装備に必要なエネルギーを生成し、高電圧バッテリーを充電します。

惰走モードは以下の速度域で作動します：

- 走行モード **E** では 130km/h 以下
- 走行モード **E+** では 180km/h 以下

走行モード **E+** では、アクセルペダルを放した後に、車両の惰走特性が交通状況に合わせられます。インテリジェントペダルについてのさらなる情報については、（▷372 ページ）をご覧ください。

駐車

- ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせてください。メーターパネルの赤色の表示灯  が点灯します。
- ▶ DIRECT SELECT レバーを使用して、オートマチックトランスミッションを **P** にシフトします。
- ▶ イグニッションをオフにします。
メーターパネルの READY 表示灯が消灯します。

駐車および内燃エンジンの停止についてのさらなる情報については、(▷271 ページ) をご覧ください。

プラグインハイブリッド作動のトラブル


内燃エンジン

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
内燃エンジンが始動しない。マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されない。 マルチファンクションディスプレイのREADY表示灯が消灯している。	例えば、自己診断がまだ完了していない、またはハイブリッドシステムが故障している。 ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。 ▶ 内燃エンジンの始動を再度試みてください。 内燃エンジンがまだ始動しない場合 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
発進したいが、ECOスタートストップ機能が内燃エンジンを始動しない。マルチファンクションディスプレイのREADY表示灯が消灯している。	ECOスタートストップ機能が故障している。メーターパネルの警告および表示灯が点灯している。 ▶ トランスミッションをPにシフトします。 ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。 ▶ エンジンを始動します。 ハイブリッドシステムが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

回生ブレーキシステム

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ブレーキペダルの踏み応えが減少し、ブレーキペダルの踏みしるが通常よりも大きくなっている。	△ 事故のおそれがあります 回生ブレーキシステムが故障している。 ▶ マルチファンクションディスプレイの追加ディスプレイメッセージに注意してください（▷439 ページ）。 ▶ メーターパネルの表示および警告灯についての情報に従ってください（▷471 ページ）。

ハイブリッドシステム（プラグインハイブリッド車両）

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ハイブリッドシステムが自動的に解除された。	<p>事故にあった。</p> <p>以下の場合ハイブリッドシステムは解除されたままになります：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数秒後に内燃エンジンが再始動できない。 • メーターパネルの赤色の SRS 警告灯  が点灯している。 <p>▶メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。</p>
ハイブリッドシステムが自動的に解除された。マルチファンクションディスプレイにディスプレイメッセージも表示されている。	<p>電氣的なショートがハイブリッドシステムで発生した、または電気接続が切断された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶マルチファンクションディスプレイの追加ディスプレイメッセージに注意してください（▷439 ページ）。 ▶メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

役に立つ情報	380
重要な安全上の注意事項	380
表示および操作	381
メニューおよびサブメニュー	386
ディスプレイメッセージ	408
メーターパネルの警告および表示灯	458

役に立つ情報

1 この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

1 メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

重要な安全上の注意事項

 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

マルチファンクションディスプレイを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

プラグインハイブリッド車両のみ

 警告

メーターパネルに故障や異常がある場合は、安全性関連のシステムに該当する機能制限を認識しないことがあります。車両の操作安全性が損なわれる可能性があります。事故の危険性があります。

そのようなときは、交通状況に注意しながら、ただちに車両を停止し、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

プラグインハイブリッド車両を除く全車両

 警告

メーターパネルに故障や異常がある場合は、安全性に関わる機能を認識することができません。走行安全性が損なわれる可能性があります。事故の危険性があります。

注意して運転してください。すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でご確認ください。

車両の操作安全性が損なわれている場合は、できるだけ早く車両を安全に駐車してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

マルチファンクションディスプレイは、特定のシステムからのメッセージや警告のみを表示します。そのため、車両が安全に作動していることを常に確認ください。

概要については、メーターパネルのイラストをご覧ください (▷46 ページ)。

表示および操作

タコメーター

! エンジンを損傷する原因となりますので、レッドゾーンに入らないよう運転してください。

タコメーターのレッドゾーンは、エンジンの許容回転数を超えた過回転域を示します。

エンジン回転数がレッドゾーンに達すると、エンジン保護のため、燃料供給が停止されます。

冷却水温度表示

 警告

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにし、消防局に連絡してください。

冷却水温度は、タコメーター下部に表示されます (▷46 ページ)。

ハイブリッドおよびプラグインハイブリッド車両：冷却水温度は、マルチファンクションディスプレイの冷却水サブメニューに表示されます (▷397 ページ)。

高い外気温度で上り坂を走行しているときは、冷却水温度が上昇することがあります。

通常の使用条件下で指定の冷却水レベルでは、冷却水温度が 124℃ まで上昇することがあります。

外気温度表示

気温が氷点前後のときは、路面状況に特に注意してください。

外気温度は測定された気温を示しており、道路の温度を記録したものではありませんことに留意してください。

外気温度計はマルチファンクションディスプレイ内にあります (▷383 ページ)。外気温度の変化は、少し遅れて表示されます。

マルチファンクションディスプレイの操作








- ① マルチファンクションディスプレイ
- ② 右側コントロールパネル
- ③ 左側コントロールパネル

- ▶ **マルチファンクションディスプレイを
作動させる**：イグニッション位置を 1
にします。

マルチファンクションステアリングのスイッチを使用して、マルチファンクションディスプレイの表示と設定を操作することができます。

左側コントロールパネル

	• メインメニューの呼び出し
	軽く押す：
	<ul style="list-style-type: none"> • リストのスクロール • メニューまたは機能の選択 • ラジオ / Xメディア メニューで：トラックまたは放送局リストを開く、音楽トラックまたはビデオシーンの選択 • TEL メニューで：電話帳への切り替え、名称または電話番号の選択
	押して保持する：
	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのリストでの高速スクロール • ラジオ / Xメディア メニューで：高速スクロールを使用しての放送局、音楽トラックまたはビデオシーンの選択 • TEL メニューで：電話帳が開いている場合の高速スクロールの開始

 **OK**

- すべてのメニューで：リストで選択された内容を確認します。
- **ラジオ / Xメディア** メニューで：使用可能なラジオソース / メディアのリストを開く、リスト項目の確定
- **TEL** メニューで：電話帳への切り替え、および選択した番号のダイヤル開始

 **音声認識機能の停止**（別冊の取扱説明書をご覧ください）

 **軽く押す：**

- 戻る
- **ラジオ / Xメディア** メニューで：トラックまたは放送局リスト、または使用可能なラジオソース / メディアのリストの選択解除
- ディスプレイメッセージの非表示
- 電話帳 / 発信履歴の終了

 **押して保持する：**

- **トリップ** メニューの基本画面の呼び出し

右側コントロールパネル

 **通話の拒否、または終了**

- 通話の拒否、または終了
- 電話帳 / 発信履歴の終了

 **発信、または受話**

- 発信、または受話
- 発信履歴への切り替え

 **音量の調整**

- 音量の調整

 **音量の調整**

 **ミュート**

- ミュート




音声認識機能の作動（別冊の取扱説明書をご覧ください）

マルチファンクションディスプレイ










- ① 上部ステータスバー
- ② ディスプレイ
- ③ 下部ステータスバー






▶ **ディスプレイパネル②にメニューリストを呼び出す**：ステアリングの  スイッチを押します。

選択したメニューまたはサブメニューおよびディスプレイメッセージが、ディスプレイパネル②に表示されます。

上部ステータスバーに表示される可能性のあるもの：

-  外気温度（▷381 ページ）
-  方向指示灯、左（▷192 ページ）
-  ロービームヘッドライト（▷191 ページ）
-  ハイビームヘッドライト（▷192 ページ）
-  リアフォグランプ（▷191 ページ）
-  車幅灯およびライセンスプレートの照明（▷192 ページ）
-  方向指示灯、右（▷192 ページ）

下部ステータスバーに表示される可能性のあるもの：

-  ECO スタートストップ機能（▷239 ページ）
- READY READY 表示灯（ハイブリッド車両）（▷352 ページ）
- READY READY 表示灯（プラグインハイブリッド車両）（▷371 ページ）
- HYBRID 作動モード表示（プラグインハイブリッド車両）（▷363 ページ）
- 電気による走行可能距離（プラグインハイブリッド車両）
-  ホールド機能（▷301 ページ）
-  アクティブパーキングアシスト（▷312 ページ）
-  アダプティブハイビームアシスト・プラス（▷195 ページ）
-  ステアリングアシストおよびストッパ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラス（▷287 ページ）

ヘッドアップディスプレイ

全体的な注意事項

ヘッドアップディスプレイは、ナビゲーションシステムと運転者支援システムからの情報をダッシュボードの上の運転者の視界内に投影します。

内容を表示するための必要条件は、車両で以下の機能が使用できて、それらが作動していることです：

- クルーズコントロールと可変スピードリミッター
- ディストロニック・プラス
- ナビゲーション

ヘッドアップディスプレイによって、運転者は道路から目を離さずにすべての情報を見ることができます。

重要な安全上の注意事項

ヘッドアップディスプレイは単なる補助に過ぎず、注意を払った走行の代わりになるものではありません。

ヘッドアップディスプレイの視認性は、以下の条件に影響を受けます：

- 運転席のシートポジション
- 表示画像の位置
- 全体的な光の条件
- 偏光レンズ付きサングラス
- 濡れた路面
- ディスプレイカバーの上に置かれている物による日光の遮り

日差しが極端に強いときに、表示部分が薄くなることがあります。これは、ヘッドアップディスプレイをオフにして、再びオンにすると元に戻ります。

① ヘッドアップディスプレイ装備車両には、特殊なフロントウインドウが取り付けられています。修理が必要な場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場フロントウインドウを交換してください。

表示および操作

ヘッドアップディスプレイの作動 / 停止



- ▶ スイッチ ① を押します。

ヘッドアップディスプレイが作動すると、運転者の視界内にディスプレイが表示されます。

AMG 車両：スイッチ ① を押すと、標準ディスプレイから AMG ディスプレイに切り替わり、スイッチ ① を再度押すとヘッドアップディスプレイが停止します。

ヘッドアップディスプレイ



以下のシステムのコンテンツと情報がヘッドアップディスプレイに表示されます：

- ① ナビゲーションのメッセージ
- ② 現在の速度
- ③ 設定したディストロニック・プラス速度 (▷290 ページ)
 選択したクルーズコントロール速度 (▷281 ページ)
 選択した可変スピードリミッター速度 (▷285 ページ)



AMG 車両の AMG ディスプレイの内容および情報


- ① 現在のエンジン回転数
- ② 現在の速度
- ③ シフトアップインジケータ
- ④ 現在選択されているギアと手動でシフト選択が可能なギア

ヘッドアップディスプレイのサブメニューの設定メニューには、以下の設定オプションがあります：

- その他のディスプレイのオン / オフの切り替え (▷401 ページ)
- 位置の設定 (▷402 ページ)
- 照度の調整 (▷402 ページ)

メニューおよびサブメニュー

メニュー概要

ステアリングの  スイッチを押して、メニューのリストを呼び出してメニューを選択します。

マルチファンクションディスプレイの操作 (▷381 ページ)


車両に装着されている装備に応じて、以下のメニューを呼び出すことができます。

- **トリップ** メニュー (▷386 ページ)
- **ナビ** メニュー (ナビゲーション案内) (▷389 ページ)
- **ラジオ** メニュー (▷391 ページ)
- **メディア** メニュー (▷392 ページ)
- **TEL** メニュー (▷394 ページ)
- **アシスト一覧** メニュー (▷396 ページ)
- **メンテナンス** メニュー (▷397 ページ)
- **設定** メニュー (▷397 ページ)
- AMG 車両の **AMG** メニュー (▷406 ページ)

トリップメニュー

基本画面



- ▶ **トリップ** メニューがトリップメーター ① やオドメーター ② とともに表示されるまで、ステアリングの  スイッチを押して保持します。







走行可能距離と現在の燃料消費の表示




AMG 車両：メニューには、概算の走行可能距離 ① のみが表示されます。

プラグインハイブリッド車両：メニューには、現在の燃料消費②のみが表示されます。

ハイブリッド車両：メニューには、概算の走行可能距離①および現在の燃料消費②が表示されます（▷350 ページ）。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**トリップ** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、概算の走行可能距離①、現在の燃料消費②または回生ディスプレイ③を選択します。

走行することのできる概算の走行可能距離①は、そのときの運転スタイルとタンク内の燃料の量に応じて計算されています。燃料タンク内に残っている燃料の量が少ないときは、給油されている車両のマーク  が、走行可能距離①の代わりにディスプレイに表示されます。







回生ディスプレイ③は、惰走モードでエネルギーが運動エネルギーから回生されバッテリーに保存されたかを表示します。回生ディスプレイ③は、装備されているエンジンによって異なり、すべての車両で使用できるわけではありません。

プラグインハイブリッド車両：総走行可能距離および電気による走行可能距離についての情報は、"ハイブリッドシステムの操作（プラグインハイブリッド車両）" にあります（▷359 ページ）。

ECO 表示



ECO 表示は、AMG 車両には装備されません。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**トリップ** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を押して、**ECO 表示** を選択します。

イグニッションが 4 時間以上オフのままの場合は、ECO 表示は自動的にリセットされます。

ECO 表示に関するさらなる情報は、（▷275 ページ）をご覧ください。

トリップコンピューター " スタート後 " または " リセット後 "



- ① 距離
- ② 走行時間
- ③ 平均速度
- ④ 平均燃費

- ▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの または スイッチを押して、トリップメニューを選択します。
- ▶ ステアリングの を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、スタート後 または リセット後 を選択します。

スタート後 サブメニューの数値は走行開始から算出され、リセット後 サブメニューの数値はサブメニューが最後にリセットされたときから算出されます (▷388 ページ)。

スタート後 のトリップコンピューターは、以下のときに自動的にリセットされます。

- イグニッションを 4 時間以上オフにしている
- 999 時間を超えた
- 9,999km を超えた

リセット後 のトリップコンピューターは、数値が 9,999 時間または 99,999km を超えると、自動的にリセットされます。

デジタルスピードメーター



- ▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの または スイッチを押して、トリップメニューを選択します。
- ▶ ステアリングの を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、デジタルスピードメーターを選択します。

数値のリセット



- ▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの または スイッチを押して、トリップメニューを選択します。

- ▶ ステアリングの **[OK]** を押して確定します。
- ▶ **[▼]** または **[▲]** スイッチを押して、リセットしたい機能を選択します。
- ▶ **[OK]** スイッチを押します。
- ▶ **[▼]** スイッチを押して、**はい** を選択し、**[OK]** スイッチを押して確定します。

以下の機能の数値をリセットできます：

- トリップメーター
- トリップコンピューター "スタート後"
- トリップコンピューター "リセット後"
- ECO 表示

"ECO 表示"の数値をリセットした場合は、トリップコンピューターの"スタート後"の数値もリセットされます。トリップコンピューターの"スタート後"の数値をリセットした場合は、"ECO 表示"の数値もリセットされます。

ナビメニュー

ナビゲーション案内の表示

ナビメニューでは、マルチファンクションディスプレイにナビゲーション案内が表示されます。ナビゲーションについてのさらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

- ▶ COMAND システムを起動させます(デジタル版取扱説明書をご覧ください)。
- ▶ ステアリングの **[☰]** を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの **[▼]** または **[▲]** スイッチを押して、**ナビ**メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの **[OK]** を押して確定します。

ルート案内が作動していない



- ① 進行方向
- ② 現在の道路またはは区域

ルート案内が作動している

進路変更の案内がない



- ① 次の目的地までの距離
- ② 到着予想時間
- ③ 次の進路変更までの距離
- ④ 現在の道路またはは区域

推奨車線のある進路変更の案内があるとき



- ① 進路変更の目標
- ② 進路変更までの距離
- ③ 進路変更マーク
- ④ 推奨車線および進路変更中の新しい車線（白色）
- ⑤ 可能車線（淡い灰色）
- ⑥ 推奨されない車線（濃い灰色）

デジタル地図がデータをサポートしている場合は、複数車線の道路では、次の進路変更のための新たな推奨車線が表示されることがあります。進路変更中に、新たな車線が追加表示されることがあります。

推奨車線 ④：この車線では、次の進路変更および、その次のものを完了することができます。

可能車線 ⑤：この車線では、次の進路変更のみを完了することができます。

推奨されない車線 ⑥：この車線に留まる場合は、次の進路変更を完了することはできません。

推奨車線のない進路変更



- ① 進路変更の目標
- ② 進路変更までの距離と視覚的な距離表示
- ③ 進路変更マーク

進路変更が行なわれるときは、進路変更のマーク ③ および距離表示 ② が表示されます。案内のあった進路変更地点に近づくにつれて、表示の上に向かって短くなります。距離表示がゼロになると進路変更が始まります。

推奨車線のある進路変更の案内があるとき



- ① 進路変更の目標
- ② 進路変更までの距離と視覚的な距離表示
- ③ 進路変更マーク
- ④ 推奨車線

ナビゲーションシステムの他のステータスインジケータ



① 追加情報

想定される他の追加情報

- **新ルートまたはルート計算中：**

新しいルートを探索中です。

- **地図にない道路：**

車両はデジタル地図のエリア内にありますが、新設されたばかりの道路、駐車場あるいは私有地などの場所では道路が認識されません。

- **ルートなし：**

選択した目的地まで検索できるルートがありません。

- **⊗：目的地または立ち寄り地点に到着しました。**

ラジオメニュー



- ① 周波数バンド
- ② メモリーポジションのある放送局または周波数
- ③ 仕様により表示されません
- ④ 仕様により表示されません
- ⑤ 仕様により表示されません

放送局 ② は放送局周波数または放送局名とともに表示されます。保存されている場合にのみ、放送局 ② とともにメモリーポジションが表示されます。

▶ COMAND システムを起動させます (デジタル版取扱説明書をご覧ください)。

▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。

▶ ステアリングの または スイッチを押して、メニューのラジオを選択します。

▶ ステアリングの を押して確定します。

マルチファンクションディスプレイに現在選択されている放送局 ② が表示されます。

▶ **放送局リストを開く：** または を軽く押します。

▶ **放送局リストから放送局を選択する：** または を軽く押します。

- ▶ 高速スクロールを使用して放送局リストから放送局を選択する：▼ または ▲ スイッチを押して短時間保持します。
- ▶ 周波数バンドまたは放送局プリセットを選択する：OK を軽く押します。
- ▶ ▼ または ▲ を使用して、周波数バンドまたは放送局プリセットを選択します。
- ▶ OK を押して、選択を確定します。

① COMAND システムに放送局を保存できます（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

- ▶ ステアリングの OK を押して確定します。
- ▶ メディアソースリストを開く / 閉じる：OK を軽く押します。

リストには、例えば以下のメディアソースが表示されます。

- ディスク（CD/DVD）
- メモリーカード（SD/SDHC）
- メディアレジスター
- USB 機器
- Bluetooth® オーディオ機器

デジタル版取扱説明書にある、メディアサポートおよびメディアモードに関する追加情報に注意してください。

メディアメニュー

メディアソースの変更



メディアソースおよび再生モード（オーディオ、ビデオまたはテレビ）をメディアメニューでいつでも変更することができます。

















- ▶ COMAND システムを作動させます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ ステアリングの ☰ を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの ▼ または ▲ スイッチを押して、メニューのメディアを選択します。

オーディオプレーヤーまたはオーディオメディアの操作



- ① 現在の CD 名などのメディアソース
- ② 現在のトラック
- ③ アーティスト名
- ④ アルバム名
- ⑤ フォルダ名

車両に装着されている装備によって、さまざまなオーディオプレーヤーまたはメディアからの音楽ファイルを再生できます。

- ▶ COMAND システムを作動させます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、メニューの *メディア* を選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶ **オーディオプレーヤーまたはデータキャリアを選択する**： を軽く押して、メディアソースのリストを開きます。
- ▶  または  を使用して、対応するオーディオプレーヤーまたはオーディオメディアを選択します。
- ▶  を押して、選択を確定します。
- ▶ **トラックリストを開く**： または  を軽く押します。
- ▶ **トラックリストから次 / 前のトラックを選択する**： または  を軽く押します。
- ▶ **高速スクロールを使用してトラックリストからトラックを選択する**：希望のトラックになるまで  または  を押して保持します。
 または  スイッチを押して保持すると、高速スクロールの速度が上がります。すべてのオーディオ機器またはメディアがこの機能をサポートしているわけではありません。

対応するトラックの情報がオーディオドライブまたはオーディオメディアに保存されている場合は、マルチファンクションディスプレイに以下が表示されることがあります：









- トラック番号
- トラック名表示
- アーティスト
- アルバム

トラック情報はオーディオ AUX モード (外部オーディオモード：接続されている外部のオーディオソース) では表示されません。

DVD ビデオの操作



① 現在のシーン

- ▶ COMAND システムを作動させます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、メニューの *メディア* を選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶ **DVD プレーヤーまたは DVD メディアを選択する**： を軽く押して、メディアソースのリストを開きます。
- ▶  または  を使用して、対応する DVD プレーヤーまたは DVD メディアを選択します。
- ▶  を押して確定します。

- ▶ シーンリストを開く：▼ または ▲ を軽く押します。
- ▶ シーンリストから次または前のシーンを選択する：▼ または ▲ を軽く押します。
- ▶ 高速スクロールを使用してシーンリストからシーンを選択する：希望のシーン①になるまで、▼ または ▲ を押して保持します。
- ▶ OK を押して、選択を確定します。
- ▶ テレビを選択する：OK を軽く押して、メディアソースのリストを開きます。
- ▶ ▼ または ▲ を使用して、テレビを選択します。
- ▶ OK を押して確定します。
- ▶ チャンネルリストを開く：▼ または ▲ を軽く押します。
- ▶ チャンネルリストからチャンネルを選択する：▼ または ▲ を軽く押します。
- ▶ 高速スクロールを使用してチャンネルリストからチャンネルを選択する：▼ または ▲ スイッチを軽く押します。
- ▶ OK を押して、選択を確定します。

テレビの操作



- ① メモリーポジションのあるチャンネルまたは周波数
- ② 映画の名前などの番組名
- ③ チャンネルリストの名前

保存されている場合にのみ、チャンネル①とともにメモリーポジションが表示されます。

- ▶ COMAND システムを作動させます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの ▼ または ▲ スイッチを押して、メニューの **メディア** を選択します。
- ▶ ステアリングの OK を押して確定します。

COMAND システムにテレビチャンネルを保存できます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

TEL メニュー





はじめに

警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全なときのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

電話を使用するときは、必ずそのとき運転している国の法規則に従ってください。


- ▶ 携帯電話をオンにします。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ COMAND システムを作動させます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ COMAND システムへの Bluetooth® 接続を確立してください。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  を押して、TEL メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。

マルチファンクションディスプレイに、以下のメッセージのいずれかが表示されます：

- **電話待ち受け** またはネットワークプロバイダー名：携帯電話がネットワークをみつけ、受信可能な状態です。
- **圏外**：利用できるネットワークがないか、携帯電話がネットワークを探索しています。

通話を受ける



- ▶ ステアリングの  スイッチを押して、着信した電話を受けます。

TEL メニューのときに誰かから着信があった場合は、マルチファンクションディスプレイにディスプレイメッセージが表示されます。










TEL メニューを表示していないときも着信した電話を受けることができます。

通話の拒否または終了



- ▶ ステアリングの  スイッチを押します。

TEL メニューでないときも、通話の拒否または終了ができます。



電話帳から項目にダイヤルする

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  を押して、TEL メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶   または  スイッチを押して、電話帳に切り替えます。
- ▶  または  スイッチを押して、希望の名称を選択します。



または

- ▶ **高速スクロールを開始する：**  または  スイッチを約1秒以上押し続けます。



スイッチを放すか、リストの最後まで行くと、スクロールは停止します。

- ▶ **名称に1つだけ電話番号が保存されているとき：**  または  スイッチを押して、発信を開始します。



または

- ▶ **その名称に2つ以上の番号があるとき：**  または  スイッチを押して、電話番号を表示させます。

- ▶  または  スイッチを押して、発信先の番号を選択します。


- ▶  または  スイッチを押して、発信を開始します。



または


- ▶ **電話帳を終了する：**  または  スイッチを押します。


リダイヤルする

マルチファンクションディスプレイでは、最後に発信した名称と番号がリダイヤルメモリーに保存されています。



- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。

- ▶ ステアリングの  または  を押して、TELメニューを選択します。

- ▶ ステアリングの  を押して確定します。

- ▶  スイッチを押して、リダイヤルメモリーに切り替えます。

- ▶  または  スイッチを押して、希望の名称または番号を選択します。


- ▶  または  スイッチを押して、発信を開始します。



または


- ▶ **リダイヤルメモリーを終了する：**  または  スイッチを押します。

アシスト一覧メニュー




- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、メニューの **アシスト一覧** を選択します。

- ▶ ステアリングの  を押して確定します。

マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧に、ディストロニック・プラスの距離ディスプレイが表示されます。

- ▶  を押して、アテンションアシスト評価を表示させます。

アシスト一覧には、以下の走行システムまたは走行安全システムの状態および/または情報が表示されます：

- ディストロニック・プラス (▷287 ページ)
- PRE-SAFE® ブレーキ (▷113 ページ)
- アクティブブラインドスポットアシスト (▷335 ページ)
- アテンションアシスト (▷329 ページ)
- アクティブレーンキーピングアシスト (▷338 ページ)

メンテナンスメニュー

はじめに



メンテナンス メニューでは、以下を選択することができます。

- メッセージメモリのディスプレイメッセージの呼び出し (▷408 ページ)
- タイヤ空気圧警告システムの再起動 (▷573 ページ)
- 点検整備予定時期の呼び出し (▷524 ページ)
- 冷却水温度の表示 (ハイブリッドまたはプラグインハイブリッド車両) (▷397 ページ)
- マルチファンクションディスプレイを使用してのオイル量の点検 (▷516 ページ) (S600 および S65 AMG モデルのみ)

冷却水温度の表示

冷却水 サブメニューは、ハイブリッドまたはプラグインハイブリッド車両にのみあります。

- ▶ ステアリングの **[OK]** を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの **[▼]** または **[▲]** スイッチを押して、**メンテナンス** メニューを選択します。

- ▶ ステアリングの **[OK]** を押して確定します。

- ▶ **[▼]** または **[▲]** を使用して、サブメニューの **冷却水** を選択します。

- ▶ **[OK]** を押して、選択を確定します。

バー表示で、マルチファンクションディスプレイに冷却水温度が表示されます。

設定メニュー

はじめに



設定 メニューでは、以下のオプションを選択できます：

- アシスト設定の変更 (▷398 ページ)
- ハイブリッド設定の変更 (プラグインハイブリッド車両) (▷400 ページ)
- ヘッドアップディスプレイの設定変更 (▷401 ページ)
- ライト設定の変更 (▷403 ページ)
- メーター設定の変更 (▷404 ページ)
- 車両設定の変更 (▷405 ページ)
- 工場出荷時の設定に戻す (▷406 ページ)

アシストサブメニュー

ESP® の解除 / 設定

ESP® の記載にある " 重要な安全上の注意事項 " に従ってください (▷110 ページ)。

 警告











ESP® を解除すると、ESP® は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。

以下に記載された状況でのみ ESP® を解除してください。


以下の状況では、ESP® を解除したほうが良いことがあります：


- スノーチェーンを使用しているとき
- 深い雪道で
- 砂地または砂利道で


ESP® についてのさらなる情報は、(▷110 ページ) をご覧ください。

- ▶ エンジンを始動します。
- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、設定 メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を使用して、サブメニューの **アシスト** を選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、ESP を選択します。
- ▶  を押して確定します。

現在の選択が表示されます。

- ▶ **設定 / 解除する** :  スイッチを再度押します。











エンジンがかかっているときにメーターパネルの  警告灯が点灯し続けている場合は、ESP® が解除されています。

 警告灯が点灯し続けている場合は、故障のため ESP® は作動しません。


警告灯についての情報に注意してください (▷463 ページ)。

ディスプレイメッセージについての情報に注意してください (▷410 ページ)。

ナイトビューアシストプラスの自動作動

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、設定 メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を使用して、サブメニューの **アシスト** を選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  を使用して、**ナイトビューアシストオートスタート** を選択します。
- ▶  を押して確定します。












現在の選択が表示されます。


- ▶ **設定 / 解除する** :  スイッチを再度押します。

ナイトビューアシストプラスの自動作動がオンの場合は、障害物が検知された場合にマルチファンクションディスプレイにナイトビュー画像が自動的に表示されます。

ナイトビューアシストプラスに関するさらなる情報については、(▷331 ページ) をご覧ください。












PRE-SAFE® ブレーキの設定 / 解除

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を使用して、サブメニューの **アシスト** を選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**PRE-SAFE ブレーキ** を選択します。
- ▶  を押して確定します。
現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する** :  スイッチを再度押します。

PRE-SAFE® ブレーキが解除されているときは、マルチファンクションディスプレイの **アシスト一覧** メニューに  マークが表示されます。

PRE-SAFE® ブレーキについて、詳しくは (▷113 ページ) をご覧ください。





アクティブブラインドスポットアシストの設定 / 解除

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を使用して、サブメニューの **アシスト** を選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ブラインドスポットアシスト** を選択します。
- ▶  を押して確定します。
現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する** :  スイッチを再度押します。

アクティブブラインドスポットアシストが設定されているときは、マルチファンクションディスプレイの **アシスト一覧** メニューの車両横に、車両の周囲に発信されるレーダー波が灰色で表示されます。

アクティブブラインドスポットアシストについてのさらなる情報は、(▷335 ページ) をご覧ください。

アテンションアシストの設定

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。

- ▶ または を使用して、サブメニューの **リスト** を選択します。
- ▶ を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、**アテンションアシスト** を選択します。
- ▶ を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、**初**、**標準** または **高感度** を設定します。
- ▶ スイッチを押して、選択を確定します。

アテンションアシストが解除されているときは、イグニッションがオンのときにマルチファンクションディスプレイの **アシスト一覧** のメニューに OFF マークが表示されます。

アテンションアシストについてのさらなる情報は(▷329 ページ)をご覧ください。

アクティブレーンキーピングアシストの設定 / 解除

- ▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの または スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの を押して確定します。
- ▶ または を使用して、サブメニューの **リスト** を選択します。
- ▶ を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、**レーンキープアシスト** を選択します。
- ▶ を押して確定します。

現在の選択の **標準** または **アダプティブ** が表示されます。

- ▶ **設定を変更する**： を再度押しします。

アクティブレーンキーピングアシストについてのさらなる情報は(▷338 ページ)をご覧ください。

ハイブリッドサブメニュー (プラグインハイブリッド車両)

最大充電電流を設定する

高電圧バッテリーを充電する前に、対応する電源ソケットの最大許容充電電流を確認します。

充電ケーブルに充電電流の設定がない場合は、最大充電電流を設定します。

マルチファンクションディスプレイの最大充電電流の数値が、充電ケーブルの数値と異なることがあります。














- ▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの または スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの を押して確定します。
- ▶ または を使用して、**ハイブリッド** サブメニューを選択します。
- ▶ を押して確定します。
- ▶ または を押して、**最大充電電流** 機能を選択します。
- ▶ 選択されている設定が表示されます。
- ▶ スイッチを押して、設定を保存します。



出発時刻の設定








出発時刻機能で、プレエントリーエアコンディショニングを終了し、高電圧バッテリーをいっぱいまで充電する時間を設定することができます。

さらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

プレエントリーエアコンディショニングは、設定された出発時刻により異なります。プレエントリーエアコンディショニングについてのさらなる情報は（▶226 ページ）をご覧ください。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
 - ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、設定メニューを選択します。
 - ▶ ステアリングの  を押して確定します。
 - ▶  または  を使用して、**ハイブリッド**サブメニューを選択します。
 - ▶  を押して確定します。
 - ▶  または  を押して、**出発時刻**機能を選択します。
選択されている設定が表示されます。
 - ▶  スイッチを押して、設定を保存します。
 - ▶ **出発時刻を設定せずにただちに充電する**： または  を使用して、**未選択**を選択します。
 - ▶  を押して確定します。
- または

- ▶ **出発時刻を設定する**： または  を使用して、希望の保存位置 **A**、**B** または **C** を選択します。

- ▶ ステアリングの  を押して、選択を確定します。
- ▶  または  を押して、時間を設定します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  を押して、分を設定します。
- ▶  を押して確定します。








トランスミッションがポジション **P** にあり、充電ケーブルコネクタが差し込まれている場合は、しばらくするとマルチファンクションディスプレイに完全充電時刻が表示されます。

高電圧バッテリーの充電（プラグインハイブリッド車両）についてのさらなる情報（▶260 ページ）。

ヘッドアップディスプレイサブメニュー

その他のディスプレイのオン / オフの切り替え

マルチファンクションディスプレイで、補助情報の表示のオンおよびオフを切り替えることができます。ヘッドアップディスプレイが作動しているときは（▶385 ページ）、フロントウィンドウに表示されます。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、設定メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ヘッドアップディスプレイ** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。

- ▶ または スイッチを押して、**ディスプレイ** を選択します。
- ▶ を押して確定します。

ナビゲーションのメッセージ表示のオン/オフを切り替える

- ▶ スイッチを押して、設定を保存します。

ナビゲーションメッセージ の表示をオンにしたときは、ヘッドアップディスプレイが作動しているとき、フロントウィンドウにナビゲーションのメッセージが表示されます。

ナビゲーションについてのさらなる情報は、デジタル版取扱説明書をご覧ください。

位置の設定

ヘッドアップディスプレイの位置を調整することができます。異なるシート位置に対応することができます。

- ▶ ヘッドアップディスプレイ (▷401 ページ) をオンにします。
- ▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの または スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、**ヘッドアップディスプレイ** サブメニューを選択します。
- ▶ を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、**ディスプレイ表示位置** 機能を選択します。

- ▶ スイッチを押して、設定を保存します。

- ▶ または スイッチを押して、**レベル 5 (高)** から **レベル-5 (低)** まで位置を設定します。





- ▶ または スイッチを押して、設定を保存します。

メモリー機能を使用して、ヘッドアップディスプレイの位置を一つの設定として記憶し、呼び出すことができます (▷184 ページ)。

照度の調整












ヘッドアップディスプレイの明るさは、周辺明るさの状況に合わせて自動的に調整されます。ヘッドアップディスプレイの明るさを個別に調整することもできます。

- ▶ ヘッドアップディスプレイ (▷401 ページ) をオンにします。
- ▶ ステアリングの を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの または スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、**ヘッドアップディスプレイ** サブメニューを選択します。
- ▶ を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、**ディスプレイ明るさ** 機能を選択します。
- ▶ スイッチを押して、設定を保存します。

- ▶   スイッチを押して、明るさをレベル 5 (明) からレベル -5 (暗) の間で設定します。
- ▶  または  スイッチを押して、設定を保存します。

ライトサブメニュー

インテリジェントライトシステムの設定 / 解除の切り替え

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、設定メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して、確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**インテリジェントライトシステム** 機能を選択します。**インテリジェントライトシステム** 機能が設定されている場合は、マルチファンクションディスプレイのライトの円錐形と  マークが白色で表示されます。
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。

インテリジェントライトシステム が設定されているときは、以下の機能が作動します：












- ハイウェイモード
- アクティブライトシステム
- コーナリングライト
- フォグランプ強化機能

右側走行用のロービームヘッドライトを設定している場合は、マルチファンクションディスプレイに、サブメニューの**ライト**の**インテリジェントライトシステム** 機能の代わりに、**インテリジェントライトシステム：システム作動できません** 右側通行設定では無効のディスプレイメッセージが表示されます。このディスプレイメッセージは、左 / 右側走行の設定がお客様の国の車両の仕様と反対に設定されている場合にのみ表示されます。

インテリジェントライトシステムについてのさらなる情報は (▶194 ページ) をご覧ください。











デイトタイムドライビングライトの設定 / 解除の切り替え

エンジンが停止しているときにのみ、**デイトタイムライト** 機能を設定することができます。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、設定メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**デイトタイムライト** 機能を選択します。**デイトタイムライト** 機能が設定されている場合は、マルチファンクションディスプレイのライトの円錐形と  マークが白色で表示されます。
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。

デフォルト機能が設定されているときは、昼間でもロービームヘッドライトが点灯します。その理由のため、この機能を解除し、ライトスイッチでライトを手動で操作してください。

ロービームヘッドライトの左側 / 右側通行の設定

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、設定メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  を押して、**ヘッドランプロービーム設定** 機能を選択します。
選択されている設定が表示されます：
右側通行用 または **左側通行用**
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。
設定を変更すると、次に停車したときに変更が実行されます。

この機能を使用して、ロービームヘッドライトを左右対称または左右非対称に切り替えることができます。











ロービームヘッドライトを右側通行用に設定しているときは、ハイウェイモードおよびフォグランプ強化機能が解除されます。これらは、左 / 右側走行の設定がお客様の国の車両の仕様と反対に設定されている場合にのみ解除されます。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場では、ロービームヘッドライトを右 / 左側走行用に設定することができます。

メーターパネルのサブメニュー

距離単位の選択

表示単位速度 / 距離：の機能により、マルチファンクションディスプレイの特定のディスプレイのキロメートルまたはマイル表示を選択できます。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**メーター** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して **表示単位速度 / 距離** 機能を選択します。
選択された設定が表示されます：**km** または **miles**
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。

選択された距離表示単位は、以下の項目に適用されます。











- スピードメーター
- **トリップ** メニューのデジタルスピードメーター
- マルチファンクションディスプレイのステータスエリアにある補助スピードメーター

補助スピードメーターの単位は、選択していないほうの距離単位で表示されます。

- オドメーターとトリップメーター
- トリップコンピューター
- 現在の燃費と走行可能距離
- **氷**メニューでのナビゲーション案内
- クルーズコントロール
- 可変スピードリミッター
- ディストロニック・プラス
- アシストプラス画面














補助スピードメーターの設定 / 解除の切り替え

速度表示 機能を使用して、マルチファンクションディスプレイのステータスエリアに速度をデジタルで表示するかどうかを選択します。

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**メーター** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  を使用して、**速度表示 [mph]**: 機能を選択します。
現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する**:  スイッチを再度押します。








車両サブメニュー

スノータイヤスピードリミッターの設定




- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**車両** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**速度制限 (冬タイヤ)** 機能を選択します。
現在の設定が表示されます。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、10km/h単位(240km/h ~ 160km/h)でスノータイヤスピードリミッターを調整します。**17** 設定で、スノータイヤスピードリミッターは解除されます。
- ▶  スイッチを押して、入力を保存します。

スノータイヤスピードリミッターについて、詳しくは (▷287 ページ) をご覧ください。

工場出荷時の設定に戻す

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**初期設定** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。

全ての設定を初期化しますか? というメッセージが表示されます。

- ▶  または  スイッチを押して、**いいえ** または **はい** を選択します。
- ▶  スイッチを押して、選択を確定します。

はい を選択したときは、マルチファンクションディスプレイに確認メッセージが表示されます。

安全上の理由のため、すべての機能がリセットされるわけではありません。スピードリミッターの **制限速度 (冬タイヤ)** 機能は、**車両** サブメニューでのみ設定できます。





ライト サブメニューの **デフォルト** をリセットしたい場合は、イグニッション位置を 1 にしなければなりません。

AMG メニュー (AMG 車両)

AMG ディスプレイ



- ① デジタルスピードメーター
- ② ギアインジケーター
- ③ シフトアップインジケーター
- ④ トランスミッションオイル温度
- ⑤ エンジンオイル温度

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**AMG** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。

シフトアップインジケーター **UP** ③ は、マニュアル走行モードのときにエンジンが過回転域に達したことを示しています。シフトアップインジケーター **UP** ③ は、シフトアップするまで他のメッセージを目立たなくさせます。







エンジンオイル温度が 71℃ 以下の場合、オイル温度表示の ⑤ マークが青色で表示されます。この間は、エンジンの最大出力は使用しないでください。

トランスミッションオイル温度が 50℃ 以下の場合、オイル温度表示の ④ マークが青色で表示されます。この間は、エンジンの最大出力は使用しないでください。

セットアップ



- ① 走行モード (C/S/M)
- ② ESP® モード (ON/OFF)
- ③ サスペンション制御 (SPORT/ COMFORT)

- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、AMG メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶ セットアップが表示されるまで、 または  スイッチを繰り返し押します。

ディスプレイメッセージ

はじめに

全体的な注意事項

ディスプレイメッセージはマルチファンクションディスプレイに表示されます。

取扱説明書では記号マークを伴うディスプレイメッセージを簡略化しているため、マルチファンクションディスプレイのマークと異なる場合があります。

ディスプレイメッセージの指示に従って対応し、この取扱説明書の追加の注意事項に従ってください。

特定のディスプレイメッセージとともに、警告音も聞こえます。

ディスプレイメッセージを非表示にすることもできます。そしてディスプレイメッセージはメッセージメモリーに保存されます。できるだけすみやかに、ディスプレイメッセージの原因を修正してください。

駐停車するときは、以下に関する注意事項をお守りください。

- ホールド機能 (▷301 ページ)
- 駐車 (▷271 ページ)

ディスプレイメッセージを非表示にする

- ▶ ディスプレイメッセージを非表示にするには、ステアリングの **OK** または **←** スイッチを押します。

ディスプレイメッセージが消えます。

マルチファンクションディスプレイには、重要度の高いメッセージが赤色で表示されます。一部の重要度の高いディスプレイメッセージは非表示にはできません。

これらのメッセージは、故障や異常の原因が解決するまでマルチファンクションディスプレイに常時表示されます。

メッセージメモリー

マルチファンクションディスプレイは、特定のディスプレイメッセージを**メッセージメモリー**に保存します。以下のようにしてディスプレイメッセージを呼び出すことができます：

- ▶ ステアリングの **☰** を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの **▼** または **▲** スイッチを押して、**メナツ** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの **OK** を押して確定します。

- ▶ または を押して、メッセージメモリーを選択します。

ディスプレイメッセージがない場合は、マルチファンクションディスプレイに **故障はありません** というメッセージが表示されます。

ディスプレイメッセージがある場合は、保存されているメッセージの数が表示されます。

- ▶ を押して確定します。
- ▶ または スイッチを押して、ディスプレイメッセージをスクロールします。

安全システム

ディスプレイメッセージ



考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



現在 使用できません
取扱説明書を参照

ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）、ESP[®]（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）、BAS（ブレーキアシスト）、PRE-SAFE[®]、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキライト、ステアコントロール、アクティブレーンキーピングアシストおよびアクティブブラインドスポットアシストが一時的に作動しない。

BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、PRE-SAFE[®] ブレーキ、PRE-SAFE[®] プラスおよびCPA プラス（緊急ブレーキ機能）も故障していることがある。

さらに、メーターパネルの  と  警告灯も点灯している。

アテンションアシストは解除されている。

例えば、バッテリーの電圧が不十分なことがある。

警告

ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがあります。

ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP[®] が作動しない場合は、ESP[®] が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

▶ 注意して運転してください。

20 km/h 以上の速度で緩やかにステアリングを動かしながら、適切な直線路で慎重に走行してください。

ディスプレイメッセージが消えた場合は、上記の機能が再度作動可能になります。

ディスプレイメッセージが表示され続ける場合：

▶ 注意して運転してください。

▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ




考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



作動できません 取扱
説明書を参照

故障のため、ABS、ESP[®]、BAS、PRE-SAFE[®]、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキライト、ステアコントロール、アクティブレーンキーピングアシストおよびアクティブブラインドスポットアシストが作動しない。

BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、PRE-SAFE[®] ブレーキ、PRE-SAFE[®] プラスおよびCPA プラス（緊急ブレーキ機能）も故障していることがある。

さらに、メーターパネルの警告灯 、 および  が点灯することがある。

アテンションアシストは解除されている。

警告

ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがあります。

ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP[®] が作動しない場合は、ESP[®] が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



作動できません 取扱
説明書を参照

故障のため、ESP®、BAS、PRE-SAFE®、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキライト、ステアコントロール、アクティブレーンキーピングアシストおよびアクティブブラインドスポットアシストが作動しない。

BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、PRE-SAFE® ブレーキ、PRE-SAFE® プラスおよびCPA プラス（緊急ブレーキ機能）も故障していることがある。

メーターパネルの  警告灯も点灯している。

アテンションアシストが解除されている。

警告

ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。

緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



現在使用できません
取扱説明書を参照

故障のため、ESP®、BAS、PRE-SAFE®、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキライト、ステアコントロール、アクティブレーンキーピングアシストおよびアクティブブラインドスポットアシストが作動しない。

BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、PRE-SAFE® ブレーキ、PRE-SAFE® プラスおよびCPA プラス（緊急ブレーキ機能）も故障していることがある。

メーターパネルの  警告灯も点灯している。

例えば、自己診断がまだ完了していないことがある。

アテンションアシストが解除されている。

警告

ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがあります。

緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

▶ 20km/h 以上の速度で緩やかにステアリングを動かしながら、適切な直線路で慎重に走行してください。

ディスプレイメッセージが消えた場合は、上記の機能が再度作動可能になります。

ディスプレイメッセージが表示され続ける場合：

▶ 注意して運転してください。

▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ


考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



作動できません 取扱
説明書を参照

故障のため、EBD（エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション）、ABS、ESP[®]、BAS、PRE-SAFE[®]、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキライト、ステアコントロール、アクティブレーンキーピングアシストおよびアクティブブラインドスポットアシストが作動しない。

BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、PRE-SAFE[®] ブレーキ、PRE-SAFE[®] プラスおよびCPA プラス（緊急ブレーキ機能）も故障していることがある。

さらに、メーターパネルの警告灯  および  が点灯し、警告音が鳴る。

警告

ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがあります。

ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。


ESP[®] が作動しない場合は、ESP[®] が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。



パーキング ブレーキ 解除し
てください

赤色の  表示灯が点滅し、警告音も鳴った。電気式パーキングブレーキを自動解除する条件が満たされていない（▷ 273 ページ）。

電気式パーキングブレーキを効かせた状態で走行している。

- ▶ 電気式パーキングブレーキを手動で解除してください。

赤色の  表示灯が点滅し、警告音も鳴った。

電気式パーキングブレーキを使用して緊急停止している（▷ 274 ページ）。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



パーキング ブレーキ 取扱説明書参照

黄色の 警告灯が点灯している。

電気式パーキングブレーキが故障している。

効かせる：

- ▶ イグニッションをオフにします。
- ▶ 電気式パーキングブレーキのハンドルを 10 秒以上押し続けてください。
- ▶ トランスミッションを **P** にシフトします。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

黄色の 警告灯と赤色の 表示灯が点灯している。

電気式パーキングブレーキが故障している。

解除する：

- ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。
 - ▶ 電気式パーキングブレーキを手動で解除してください。
- または
- ▶ 電気式パーキングブレーキを自動で解除してください (▷274 ページ)。

それでも電気式パーキングブレーキを解除できない場合：

- ▶ 走行を続けしないでください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

ディスプレイメッセージ **考えられる原因および影響 ▶ 解決方法**

赤色の  表示灯が点滅し、黄色の  警告灯が点灯している。

電気式パーキングブレーキが故障している。

解除する：

- ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを手動で解除してください。

効かせる：



- ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを手動で効かせてください。

赤色の  表示灯が点滅し続ける場合：

- ▶ 走行を続けしないでください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ トランスミッションを **P** にシフトします。
- ▶ 前輪を縁石側に向けます。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

黄色の  警告灯が点灯している。電気式パーキングブレーキを効かせた、または解除した後に、赤色の  表示灯が約 10 秒間点滅した。その後で、消灯するか、または点灯したままである。

電気式パーキングブレーキが故障している。

- ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせてください。

電気式パーキングブレーキを効かせることができない場合：



- ▶ トランスミッションを **P** にシフトします。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

電気式パーキングブレーキを解除できない場合：

- ▶ 電気式パーキングブレーキを自動で解除してください (▷274 ページ)。

それでも電気式パーキングブレーキを解除できない場合：

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

黄色の  警告灯が点灯している。電気式パーキングブレーキを手動で効かせた、または解除した場合に、赤色の  表示灯が点滅した。

電気式パーキングブレーキが故障している。手動で電気式パーキングブレーキを効かせることができない。

- ▶ トランスミッションを **P** にシフトします。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



パーキング ブレーキ 作動で
きません

黄色の 警告灯が点灯している。電気式パーキングブレーキを効かせたか、または解除した後、赤色の 表示灯が約 10 秒間点滅した。その後で、消灯するか、または点灯したままである。

過電圧や電圧不足などが原因で、電気式パーキングブレーキが故障している。

- ▶ バッテリーの充電やエンジンの再始動などにより、過電圧または電圧不足の原因を解決してください。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせるか、または解除してください。

電気式パーキングブレーキを効かせたり、または解除することができないままの場合：

- ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを効かせるか、または解除してください。

それでも電気式パーキングブレーキを解除できない場合：

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。まだ電気式パーキングブレーキを効かせることができない場合：
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

黄色の 警告灯が点灯し、赤色の 表示灯が点滅する。手で電気式パーキングブレーキを効かせることができない。

- ▶ トランスミッションを **P** にシフトします。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。







パーキング ブレーキ イグニ
ッション オフ で 解除でき
ます

赤色の 表示灯が点灯している。

イグニッションがオフの間に、電気式パーキングブレーキを解除しようと試みた。

- ▶ イグニッションをオンにします。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>ブレーキ液レベル 点検してください</p>	<p>ブレーキ液リザーブタンクのブレーキ液が不十分である。さらに、メーターパネルの赤色の  警告灯も点灯し、警告音も鳴った。</p> <p> 警告</p> <p>ブレーキ性能が損なわれることがあります。 事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。状況を問わず、走行を続けしないでください。 ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▶577 ページ)。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。 ▶ ブレーキ液を補給しないでください。これを行なっても問題は解消しません。
 <p>ブレーキパッド磨耗点検してください</p>	<p>ブレーキパッド / ライニングの摩耗が限界に達している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
<p>プレセーフ 作動できません 取扱説明書を参照</p>	<p>PRE-SAFE® の重要な機能が故障している。エアバッグなどの他の乗員安全システムはすべて機能したままである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

衝突防止 アストプラス 現在使用できません 取扱説明書参照

CPA プラス（緊急ブレーキ機能）が一時的に作動しない。

考えられる原因：

- 近くのテレビまたはラジオ放送局、または他の電磁波発生源から発生している電磁波により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない
- システムが作動温度範囲外にある
- バッテリーの電圧が非常に下がっている。

上記の原因が該当しなくなると、ディスプレイメッセージが消えます。

CPA プラス（緊急ブレーキ機能）が再度作動可能になります。

ディスプレイメッセージが消えないとき：

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください（▷577ページ）。
- ▶ エンジンを再始動してください。

衝突防止 アストプラス 作動できません

故障のため、CPA プラス（緊急ブレーキ機能）が一時的に作動しない。アダプティブブレーキアシストも故障していることがある。

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>プレセーフ機能が現在制限されています 取扱説明書を参照</p>	<p>PRE-SAFE® プラスまたは PRE-SAFE® ブレーキが一時的に作動しない状態になっている。考えられる原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大雨や雪により機能が損なわれている • ラジエターグリルとバンパーにあるセンサーが汚れている • 近くのテレビまたはラジオ放送局、または他の電磁波発生源から発生している電磁波により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない • システムが作動温度範囲外にある • バッテリーの電圧が非常に下がっている <p>上記の原因が該当しなくなると、ディスプレイメッセージが消えます。</p> <p>PRE-SAFE® プラスおよび PRE-SAFE® ブレーキが再度作動可能になります。</p> <p>ディスプレイメッセージが消えない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。 ▶ エンジンを再始動してください。
<p>プレセーフ機能が制限されています 取扱説明書を参照</p>	<p>故障のため、PRE-SAFE® プラスまたは PRE-SAFE® ブレーキが一時的に作動しない。BAS プラスも解除されていることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

レーダーセンサーが汚れています
取扱説明書参照

以下の走行システムまたは走行安全システムの1つまたは複数が一時的に作動しない、または機能が制限されている:

- PRE-SAFE® プラス
- PRE-SAFE® ブレーキ
- CPA プラス (緊急ブレーキ機能)
- アクティブブレーンキープアシスト
- アクティブブラインドスポットアシスト
- ステアリングアシスト付ディストロニック・プラス

考えられる原因:

- ラジエターグリルおよび / またはバンパーのセンサーが汚れている
- 大雨または雪により、走行システムおよび / または走行安全システムの機能が損なわれている

上記の原因が該当しなくなると、ディスプレイメッセージが消えます。すべての走行システム / 走行安全システムが再度作動可能になります。

ディスプレイメッセージが消えない場合:

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ 以下の位置にあるセンサーを清掃してください (▷530 ページ):
 - ラジエターグリル
 - フロントバンパー
 - リアバンパー、特にリアバンパーの中央
- ▶ エンジンを再始動してください。

ディスプレイメッセージが消えます。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

後席左 シートベルトの状態を確認してください
取扱説明書参照または後席右 シートベルトの状態を確認してください
取扱説明書参照

後席の右側または左側のアクティブベルトバックルが、あらかじめ決められた位置にない。ベルトストラップがベルトのプレートに挟まっていることがある。

 **警告**

アクティブベルトバックルがあらかじめ決められた位置にない場合は、シートベルトは意図した保護レベルを発揮できません。

けがのおそれがあります。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 挟まりを直してください。
- ▶ シートベルトの着用手順を繰り返します。

後席の右側または左側のアクティブベルトバックルが、あらかじめ決められた位置にない。アクティブベルトバックルが挟まっていることがある。

 **警告**

アクティブベルトバックルがあらかじめ決められた位置にない場合は、シートベルトは意図した保護レベルを発揮できません。

けがのおそれがあります。

- ▶ シートベルトを完全に外してください。
- ▶ シートベルトの着用手順を繰り返します。

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

後席の右側または左側のシートベルトバックルフィーダーが、あらかじめ決められた位置にない。シートベルトがロックされていることがある。

 警告

アクティブベルトバックルがあらかじめ決められた位置にない場合は、シートベルトは意図した保護レベルを発揮できません。

けがのおそれがあります。

- ▶ シートベルトを完全に外してください。
- ▶ シートベルトの着用手順を繰り返します。

後席の右側または左側のアクティブベルトバックルが、あらかじめ決められた位置にない。システムに十分なベルトの緩みがない。

 警告

アクティブベルトバックルがあらかじめ決められた位置にない場合は、シートベルトは意図した保護レベルを発揮できません。

けがのおそれがあります。

- ▶ シートベルトを緩めます。
- ▶ シートベルトの着用手順を繰り返します。







後席の右側または左側のアクティブベルトバックルが、あらかじめ決められた位置にない。規定されている支援措置が行なわれた。まだ故障がある

 警告

アクティブベルトバックルがあらかじめ決められた位置にない場合は、シートベルトは意図した保護レベルを発揮できません。

けがのおそれがあります。

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>SRS システム 故障 工場で点検</p>	<p>乗員保護装置が故障している。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。</p> <p>けがのおそれがあります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。 乗員保護補助装置についてのさらなる情報は、(▷59ページ) をご覧ください。</p>
 <p>フロント左 SRS システム故障 工場で点検またはフロント右 SRS システム故障工場で点検</p>	<p>フロント左側またはフロント右側の乗員保護装置に異常がある。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。</p> <p>けがのおそれがあります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
 <p>リア左 SRS システム故障 工場で点検またはリア右 SRS システム故障 工場で点検</p>	<p>リア左側またはリア右側の乗員保護装置に異常がある。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。</p> <p>けがのおそれがあります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



リア左 SRS システム
故障 工場点検または
リア右 SRS システム
故障 工場点検

警告

アクティブベルトバックルがあらかじめ決められた位置にない場合は、シートベルトは意図した保護のレベルを発揮できません。

けがのおそれがあります。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ ディスプレイメッセージ **後席左 シートベルトの状態を確認してください 取扱説明書参照** または **後席右 シートベルトの状態を確認してください 取扱説明書参照** が表示されたときは、規定されている支援措置を行なってください (▶ 423 ページ)。

ディスプレイメッセージが消えない場合：

- ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。



リア中央 SRS システム
故障 工場点検

警告

リア中央の乗員保護装置に異常がある。メーターパネルの 警告灯も点灯している。

エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。

けがのおそれがあります。

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。



左ウィンドウバッグ
故障 工場点検または
右ウィンドウバッグ
故障 工場点検

警告

左側または右側のウィンドウバッグに故障がある。メーターパネルの 警告灯も点灯している。

左側または右側のウィンドウバッグが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。

けがのおそれがあります。

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

助手席エアバッグ オフ 取扱説明書を参照

以下にも関わらず、走行中に助手席エアバッグが無効になっている：

- 大人の乗員

または

- 助手席にいる、対応する身長の人

シートに余分な力がかかっている場合は、システムが検知する体重が低くなりすぎることがあります。

 **警告**

事故の際に助手席エアバッグが作動しません。

けがのおそれがあります。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 車両を固定して動き出さないようにしてください (▷ 577 ページ)。
- ▶ イグニッションをオフにします。
- ▶ 助手席シートの乗員を車両から降ろしてください。
- ▶ 助手席に乗車していないことを確認し、助手席ドアを閉じてイグニッションをオンにしてください。
- ▶ センターコンソールの助手席エアバッグ表示灯、およびマルチファンクションディスプレイに注意して、以下を確認してください：

シートに乗員がいなくて、イグニッションがオンになっている：

- 助手席エアバッグオフ表示灯および助手席エアバッグオン表示灯は、同時に約 6 秒間点灯しなければなりません。
- そのときは、助手席エアバッグオフ表示灯が点灯し、点灯したままにならなければなりません。表示灯が点灯している場合は、助手席エアバッグ自動解除システムは助手席エアバッグを無効にしています (▷ 73 ページ)。

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

- マルチファンクションディスプレイにディスプレイメッセージ **助手席エアバッグオン取扱説明書を参照** または **助手席エアバッグオフ取扱説明書を参照** が表示されてはいけません。

- ▶ 必要なシステムチェックが完了するまで、60 秒以上待つてください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されていないことを確認してください。

これらの条件が満たされた場合は、再度助手席に乗車することができます。助手席エアバッグオフまたはオン表示灯が点灯したままになるか、または消灯するかどうかは、助手席フロントエアバッグ自動解除システムが乗員をどのように検知したかにより異なります。

条件が満たされていない場合は、システムは正常に作動していません。

- ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

助手席エアバッグ自動解除機能についてのさらなる情報については (▷73 ページ) をご覧ください。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

助手席エアバッグ オン 取扱説明書を参照

以下にも関わらず、走行中に助手席エアバッグが有効になっている：

- システムの重量規定値よりも軽い子供、小柄な大人、荷物が助手席にある

または

- 助手席シートに乗車していない

システムは、シートに余分な重量をかけている物や力を検知することがあります。

 **警告**

エアバッグが不意に作動することがあります。

けがのおそれがあります。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 車両を固定して動き出さないようにしてください (▶ 577 ページ)。
- ▶ イグニッションをオフにします。
- ▶ 助手席ドアを開いてください。
- ▶ 助手席シートから子供とチャイルドセーフティシートを降ろしてください。
- ▶ シートに余分な力をかけている物がないことを確認してください。
さもないと、余分にかかっている力をシステムが検知し、乗員の体重を実際よりも重く判断することがあります。
- ▶ 助手席に乗車していないことを確認し、助手席ドアを閉じてイグニッションをオンにしてください。

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

▶ センターコンソールの助手席エアバッグ表示灯、およびマルチファンクションディスプレイに注意して、以下を確認してください：

シートに乗員がいなくて、イグニッションがオンになっている：

- 助手席エアバッグオフ表示灯および助手席エアバッグオン表示灯は、同時に約 6 秒間点灯しなければなりません。
- そのときは、助手席エアバッグオフ表示灯が点灯し、点灯したままにならなければなりません。表示灯が点灯している場合は、助手席エアバッグ自動解除システムは助手席エアバッグを無効にしています (▷73 ページ)。
- マルチファンクションディスプレイにディスプレイメッセージ [助手席エアバッグオン取扱説明書を参照](#) または [助手席エアバッグオフ取扱説明書を参照](#) が表示されていないはいけません。

▶ 必要なシステムチェックが完了するまで、60 秒以上待ってください。

▶ マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されていないことを確認してください。

これらの条件が満たされた場合は、再度助手席に乗車することができます。助手席エアバッグオフまたはオン表示灯が点灯したままになるか、または消灯するかどうかは、助手席フロントエアバッグ自動解除システムが乗員をどのように検知したかにより異なります。







条件が満たされていない場合は、システムは正常に作動していません。









▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。







助手席エアバッグ自動解除機能についてのさらなる情報は (▷73 ページ) をご覧ください。

ライト

i すべての LED が故障した場合にのみ、対応するライトのディスプレイメッセージが表示されます。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 左コーナリングライト または 右コーナリングライト	左または右側のコーナリングライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左ロービーム または 右ロービーム	左側または右側のロービームヘッドライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左リア ウィンカー または 右リア ウィンカー	リア左側またはリア右側の方向指示灯が故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左フロント ウィンカー または 右フロント ウィンカー	フロント左側またはフロント右側の方向指示灯が故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左ドアミラー ウィンカー または 右ドアミラー ウィンカー	左側または右側のドアミラーの方向指示灯が故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左ブレーキランプ または 右ブレーキランプ	左または右側のブレーキライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 ハイマウント ブレーキランプ	ハイマウントストップランプが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左テールランプ / ブレーキランプ または 右テールランプ / ブレーキランプ	左側または右側のテールライト / ブレーキライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左テールランプ または 右テールランプ	左または右側のテールライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左ハイビーム または 右ハイビーム	左または右側のハイビームヘッドライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 ライセンスランプ	左または右側のライセンスプレートライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 リアフォグランプ	リアフォグランプが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 左フロント パーキングランプ または 右フロント パーキングランプ	フロント左側またはフロント右側のパーキングライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 バックランプ	左側または右側のバックライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>左デイトタイム ドライビングランプ または 右デイトタイム ドライビングランプ</p>	<p>左右どちらかの LED ドライビングライトが故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
 <p>アクティブライトシステム 作動できません</p>	<p>アクティブライトシステムが故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
 <p>インテリジェントライト システム 作動できません</p>	<p>インテリジェントライトシステムが故障している。インテリジェントライトシステムを除き、ライトは正常に作動したままになります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
 <p>故障 取扱説明書を参照</p>	<p>車外ライトが故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
 <p>オートライト 作動できません</p>	<p>ライトセンサーが故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
 <p>ライトを 消してください</p>	<p>車両から離れるときに、ライトが点灯したままである。警告音も鳴った。</p> <p>▶ ライトスイッチを AUTO にまわします。</p>
<p>アダプティブハイビームアシスト プラス 使用できません</p>	<p>アダプティブハイビームアシスト・プラスが故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

アダプティブハイビームアシストプラス 現在使用できません 取扱説明書参照

アダプティブハイビームアシスト・プラスが解除され、一時的に作動できない。

考えられる原因：

- フロントウィンドウのカメラの視界部分が汚れている
- 大雨や雪、霧などにより、視界が妨げられている

▶ フロントウィンドウを清掃してください。

カメラが十分に作動可能であることをシステムが検知した場合は、ディスプレイメッセージ **アダプティブハイビームアシストプラス 使用可能になりました** が表示されます。

アダプティブハイビームアシスト・プラスが再度作動可能になります。

エンジン

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



冷却水を点検してください 取扱説明書を参照

冷却水レベルが低すぎる。

! エンジン冷却システムの冷却水がかなり不足している状態で長距離走行しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

- ▶ 補給時の警告事項に従って、冷却水を補給してください（▷520 ページ）。
- ▶ 通常より頻繁に冷却水を補給する必要がある場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのエンジン冷却システムの点検を受けてください。



ファンモーターが故障している。

- ▶ 125°C以下の冷却水温度では、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。
- ▶ そのときは、山道の走行や発進 / 停止を繰り返す走行など、エンジンへの大きな負荷は避けてください。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



冷却水が減少 停車してエンジンを停止

冷却水が熱すぎる。

警告音も鳴った。

 **警告**

エンジンがオーバーヒートした状態では絶対に走行しないでください。エンジンがオーバーヒートした状態で走行すると、エンジンルームに漏れたフルード類に引火するおそれがあります。

ボンネットを開くことにより、オーバーヒートしたエンジンからの蒸気により重度の火傷を負うおそれがあります。

けがのおそれがあります。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577ページ)。
- ▶ エンジンが冷えるまで待ってください。
- ▶ 凍った泥などにより、ラジエターへの送風が遮られていないことを確認してください。
- ▶ ディスプレイメッセージが消え、冷却水温度が 125℃ 以下になるまではエンジンを再度始動しないでください。さもないと、エンジンが損傷することがあります。
- ▶ 冷却水温度表示に注意してください。
- ▶ 冷却水温度が再び上昇する場合は、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

通常の使用条件下で指定の冷却水レベルでは、冷却水温度が 124℃ まで上昇することがあります。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



取扱説明書参照

バッテリーが充電されていない。

警告音も鳴った。

考えられる原因：

- オルタネーターの故障
- 電力電子部品の故障（ハイブリッドまたはプラグインハイブリッド車両）
- Vベルトの切断
- 電気装備の故障

! 走行しないでください。 エンジンがオーバーヒートするおそれがあります。


- ▶ 道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください（▷577ページ）。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。



停車してください 取扱説明書参照

バッテリーが充電がされておらず、バッテリーの充電レベルが著しく低下している。

警告音も鳴った。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください（▷577ページ）。
- ▶ ディスプレイメッセージ  [取扱説明書参照](#) の指示に従ってください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。



エンジン始動 取扱説明書参照

エンジンが停止し、バッテリーの充電レベルが著しく低下している。

- ▶ リアデフォグラーやルームライトのような、必要のない電気装備を停止してください。
- ▶ 数分間エンジンをかけたままにするか、または長距離を走行してください。

バッテリーが充電されます。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



給油の際 エンジンオイル量を点検してください

エンジンオイルレベルが最低レベルまで低下している。

警告音も鳴った。

! エンジンオイル量が不足している状態で長距離走行をしないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

▶ 次回の給油時までには、オイルレベルを点検してください (▷515 ページ)。

▶ 必要な場合は、エンジンオイルを補給してください (▷518 ページ)。

▶ 通常より頻繁にエンジンオイルを補給する必要がある場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。

承認されたエンジンオイルについての情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。



エンジンオイルを 1 リッター 補充してください

エンジンオイルレベルが最低レベルまで低下している。




! エンジンオイル量が不足している状態で長距離走行をしないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

▶ 次回の給油時までには、オイルレベルを点検してください (▷515 ページ)。

▶ 必要な場合は、エンジンオイルを補給してください (▷518 ページ)。

▶ 通常より頻繁にエンジンオイルを補給する必要がある場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。

承認されたエンジンオイルについての情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンオイル量 減少、停車して エンジンを停止</p>	<p>エンジンオイルレベルが低すぎる。エンジン損傷の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。 ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。 ▶ エンジンオイルレベルを点検してください (▷515 ページ)。 ▶ 必要な場合は、エンジンオイルを補給してください (▷518 ページ)。
 <p>給油してください</p>	<p>燃料レベルが予備範囲に下がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
	<p>燃料タンク内に非常に少しか燃料がない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。

ハイブリッドシステム

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



車両動作中です。車を離れる前にイグニッションをオフにしてください

プラグインハイブリッド車両のみ：

走行する準備ができているときに、車両から出ようとしている。マルチファンクションディスプレイの READY 表示灯が点灯している。警告音も鳴った。

以下に注意してください：電気装備は 12 V バッテリーによって作動しています。長時間、車両の走行準備ができたままになっている場合は、12V バッテリーがほとんどなくなると停止します。その後は、補助バッテリーを使用してのみ車両を始動できます（ジャンプスタート）。

車両から離れる場合：

- ▶ 動き出さないように車両を固定してください（▷577 ページ）。
- ▶ イグニッションをオフにして、キーを取り外します。

車両から離れない場合：

- ▶ エアコンディショナーやシートヒーターのような電気装備を停止します。



操作モードを変更する前にドライブプログラムを変更してくださいまたは操作モードを変更する前にマニュアルドライブプログラム M を解除してください

プラグインハイブリッド車両のみ：

オートマチック走行モード **S** またはマニュアル走行モード **M** のときに、作動モードを変更しようとした。

- ▶ 走行モード **E** または **E+** を選択します（▷371 ページ）。
- ▶ 希望のハイブリッド作動モード **HYBRID**、**E-MODE** または **E-SAVE** を選択します（▷363 ページ）。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

E-MODE のみ使用可能 出力制限中 燃料をすぐに給油

プラグインハイブリッド車両のみ：

燃料タンクが空になって、内燃エンジンが停止した。
警告音も鳴った。

車両には、電気エネルギーのみが供給されます。性能が制限され、車両が通常よりもゆっくり加速することがあります。

▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。

" 総走行可能距離および電気による走行可能距離 " メニューで、車両の概算走行距離を表示することができます (▶ 369 ページ)。



故障

ハイブリッドシステムが故障している。

▶ 最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで、リカバリー専門業者に車両をけん引してもらってください。



故障

ドライブシステムが故障している。

ECO スタートストップ機能が故障していることがあります。

駆動力が制限されている。

▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

走行システム

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



アテンションアシスト 休憩しませんか？

一定の基準に基づいて、アテンションアシストが運転者の疲労や注意力低下を検知した。警告音も鳴った。

▶ 必要な場合は、休憩を取ってください。

長距離運転時には、適切な時期に定期的に休憩を取り、身体を十分に休ませてください。



アテンションアシスト 作動できません

アテンションアシストが作動しない。

▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。



車高が あがります

選択した車高に、車両が調整されている。



車高があがります お待ちください

車両が停止しているときに、車高が下がりすぎている。警告音も鳴った。

▶ 発進しないでください。

ディスプレイメッセージが消えたときは、選択した車高に設定されています。

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



停車してください 車高が低すぎます

車高が非常に低すぎる状態で発進した。

しばらくすると、設定された車高に AIR マティックサスペンションが車両を調整します。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▶577 ページ)。
- ▶ メッセージが消えるまで待ってから発進してください。

AIR マティックサスペンションが故障している。警告音も鳴った。

- ▶ 80 km/h 以上の速度で走行しないでください。
- ▶ ステアリングは少しだけ動かすようにしてください。さもないと、ステアリングを大きく動かしたときに、フロントフェンダーまたはタイヤが損傷するおそれがあります。
- ▶ 擦れる音がしないか確認してください。
- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、安全な場所に車両を移動して停車し、より高い車高を選択してください。

故障によっては、車高が上がる場合があります。

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。



故障

AIR マティックサスペンションの機能が制限されている。

車両のハンドリング特性が影響を受けることがある。

- ▶ 80 km/h 以上の速度で走行しないでください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ABC 故障 停車してください

ABC (アクティブ・ボディ・コントロール) の車高が低すぎる。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- 数秒後に、車高が調整され、ディスプレイメッセージが消えます。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>車両からオイルが漏れている。 ディスプレイメッセージが表示され続けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。状況を問わず、走行を続けしないでください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。 <p>ディスプレイメッセージが表示され続けている。 ABC（アクティブ・ボディ・コントロール）が故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 80 km/h 以上の速度で走行しないでください。 ▶ ステアリングは少しだけ動かすようにしてください。さもないと、ステアリングの動きが非常に大きい場合に、フロントフェンダーまたはタイヤが損傷するおそれがあります。 ▶ 擦れる音がしないか確認してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
ABC 車高があがります お待ちください	<p>車両が停止しているときに、車高が下がりすぎている。警告音も鳴った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 発進しないでください。 <p>ディスプレイメッセージが消えたときは、車高が設定されています。</p>
ABC 故障	<p>ABC（アクティブ・ボディ・コントロール）の機能が制限されている。車両のハンドリング特性が影響を受けることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 80 km/h 以上の速度で走行しないでください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

アクティブ レーン
キープアシスト 現在
使用不可 取扱説明書
参照

アクティブレーンキーピングアシストが解除され、一時的に作動しない。

考えられる原因：

- フロントウィンドウのカメラの視界部分が汚れている
- ラジエターグリルおよび / またはバンパーのセンサーが汚れている
- 大雨や雪、霧などにより、視界が妨げられている
- 長時間車線ラインがない
- 車線ラインが摩耗していたり、黒ずんでいる、または汚れや雪などにより覆われている

上記の原因が該当しなくなると、ディスプレイメッセージが消えます。

アクティブレーンキーピングアシストが再度作動可能になります。

ディスプレイメッセージが消えない場合：

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ フロントウィンドウを清掃してください。

アクティブ レーン
キープアシスト 作動
できません

アクティブレーンキーピングアシストが故障している。

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>アクティブ ブラインドスポット 現在使用できません 取扱説明書参照</p>	<p>アクティブブラインドスポットアシストが一時的に作動しない。</p> <p>考えられる原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大雨や雪により機能が損なわれている ● レーダーセンサーシステムが作動温度範囲外にある ● 近くのテレビまたはラジオ放送局、または他の電磁波発生源から発生している電磁波により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない <p>上記の原因が該当しなくなると、ディスプレイメッセージが消えます。</p> <p>アクティブブラインドスポットアシストが再度作動可能になります。</p> <p>ディスプレイメッセージが消えない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。 ▶ エンジンを再始動してください。
<p>アクティブ ブラインドスポット 作動できません</p>	<p>アクティブブラインドスポットアシストが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
<p>パーキングアシスト 中止</p>	<p>運転席ドアが開いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転席ドアを閉じて、駐車スペースの測定および駐車操作を繰り返してください。 <p>ステアリングの介入が作動している間に、マルチファンクションステアリングに触れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング介入動作中は、マルチファンクションステアリングに触れていないことを確認してください。 <p>車両が横滑りし始め、ESP® が作動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ この後で、アクティブパーキングアシストを再度使用してください (▷312 ページ)。

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

パーキングアシスト 作動できません

- パークトロンニックが故障している、または不具合がある。
- ▶ "パークトロンニックのトラブル" の項目にある指示および役に立つヒントに従ってください (▷312 ページ)。
- ディスプレイメッセージが表示され続ける場合：
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
- アクティブパーキングアシストが作動しない、または故障している。
- ▶ イグニッションをオフにして、エンジンを再始動します。アクティブパーキングアシストが作動しないままの場合 (マルチファンクションディスプレイに **P** マークが表示されない)：
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ナイトビューアシスト 現在使用できません

- ナイトビューアシストプラスが解除され、一時的に作動しない。考えられる原因：
- フロントウインドウのカメラの視界部分が汚れている
 - ラジエターグリルのカメラが汚れている。
 - 大雨や雪、霧などにより、視界が妨げられている
 - 外気温度が高すぎる。
- ▶ フロントウインドウを清掃してください。
- ▶ ラジエターグリルのカメラを清掃してください。
- 極端な外気温度のためにシステムが停止している場合は、温度が下がるとシステムが自動的に再度作動します。
- カメラが完全に機能していることをシステムが検知した場合は、ディスプレイメッセージが消えます。
- ナイトビューアシストプラスは再度作動可能になります。

ナイトビューアシスト 故障

- ナイトビューアシストプラスが故障している。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<div data-bbox="120 188 199 229" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">HOLD</div> <p data-bbox="116 245 165 271">オフ</p>	<p data-bbox="381 188 981 213">ホールド機能が解除されている。車が横滑りしている。</p> <p data-bbox="381 229 564 255">警告音も鳴った。</p> <p data-bbox="381 271 1028 328">▶ この後で、再度ホールド機能を作動させてください (▷302 ページ)。</p>
<p data-bbox="116 357 361 414">ディストロニックプラス オフ</p>	<p data-bbox="381 357 1028 414">ディストロニック・プラスが解除されている (▷296 ページ)。</p> <p data-bbox="381 430 1028 488">運転者によって解除されていない場合は、警告音も鳴ります。</p>
<p data-bbox="116 517 361 612">ディストロニックプラス 再び使用できます</p>	<p data-bbox="381 517 1028 612">一時的に作動できなくなった後、ディストロニック・プラスが再度使用可能になった。ディストロニック・プラスを再度作動させることができます (▷290 ページ)。</p>

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

ディストロニックプラス 現在 使用できません 取扱説明書を参照

ディストロニック・プラスが一時的に作動しない。
ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが一時的に作動しない。

考えられる原因：

- 大雨や雪により機能が損なわれている
- ラジエターグリルとバンパーにあるセンサーが汚れている
- 近くのテレビまたはラジオ放送局、または他の電磁波発生源から発生している電磁波により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない
- システムが作動温度範囲外にある
- バッテリーの電圧が非常に低い

警告音も鳴った。

上記の原因が該当しなくなると、ディスプレイメッセージが消えます。

ディストロニックは再度作動可能になります。

ディスプレイメッセージが消えない場合：

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ エンジンを再始動してください。

ディストロニックプラス 作動できません

ディストロニック・プラスが故障している。

以下も故障していることがあります：

- BAS プラス (飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス)
 - PRE-SAFE® ブレーキ
 - ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット
- 警告音も鳴った。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ディストロニックプラス 制御待機中	<p>アクセルペダルを踏んでいる。ディストロニック・プラスが車両の速度を制御しなくなっている。</p> <p>▶ アクセルペダルから足を放してください。</p>
ディストロニックプラス --- km/h	<p>ディストロニック・プラスの作動条件を満たしていない。</p> <p>▶ ディストロニック・プラスの作動条件を確認してください (▷290 ページ)。</p>
ディストロニックプラス と可変スピードリミッター 作動できません	<p>ディストロニック・プラスと可変スピードリミッターが故障している。警告音も鳴った。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
DTR+: ステアリングアシスト 現在使用できません 取扱説明書参照	<p>ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが一時的に作動しない。考えられる原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • フロントウインドウのカメラの視界部分が汚れている • 大雨や雪、霧などにより、視界が妨げられている • 長時間車線ラインがない • 車線ラインが摩耗していたり、黒ずんでいる、または汚れや雪などにより覆われている <p>上記の原因が該当しなくなると、ディスプレイメッセージが消えます。</p> <p>ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが再度作動可能になります。</p> <p>ディスプレイメッセージが消えない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。 ▶ フロントウインドウを清掃してください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
DTR+: ステアリングアシスト 作動できません	<p>ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが故障している。</p> <p>ただし、ディストロニック・プラス機能は使用可能なままです。</p> <p>警告音も鳴った。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
クルーズコントロールと 可変スピードリミッター 作動できません	<p>可変スピードリミッターとクルーズコントロールが故障している。</p> <p>警告音も鳴った。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
可変スピードリミッター 制限速度 ---km/h	<p>踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏んでいる（キックダウン）間は、可変スピードリミッターを作動させることができない。</p> <p>▶ 状況が許す場合は、30km/h 以上で走行し、速度を記憶させてください。</p>
クルーズコントロール --- km/h	<p>クルーズコントロールの作動条件を満たしていない。</p> <p>例えば、30 km/h 以下の速度を記憶させようとした。</p> <p>▶ 状況が許す場合は、30 km/h 以上で走行し、速度を記憶させてください。</p> <p>▶ クルーズコントロールの作動条件を確認してください（▷282 ページ）。</p>

タイヤ

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

タイヤ空気圧 タイヤを点検 してください

タイヤ空気圧警告システムがタイヤからの急激な空気の漏れを検知した。

警告音も鳴った。

考えられる原因：

- ホイールおよびタイヤの位置を変更した、または新しいホイールおよびタイヤを取り付けた。
- 1本または複数のタイヤ空気圧が正しくない。

 **警告**

空気圧不足のタイヤは、以下のような危険をもたらします：

- 負荷や車両の速度が上昇すると特に、タイヤがバーストすることがあります
- タイヤが過度に、また不均一に摩耗し、それによってタイヤの駆動力が著しく損なわれることがあります
- 走行特性、およびステアリング操作やブレーキ操作が著しく損なわれることがあります

事故の危険性があります。

- ▶ 急ハンドルや急ブレーキを避けて停車してください。そのときは、交通状況に注意してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▶577 ページ)。
- ▶ タイヤを点検し、必要な場合は、パンクしたときの指示に従ってください (▶541 ページ)。
- ▶ タイヤ空気圧を点検し、必要な場合は、タイヤ空気圧を修正してください。
- ▶ 適正なタイヤ空気圧に調整した後に、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください (▶574 ページ)。


空気圧点検後 タイヤ空気圧 警告システム 再始動


タイヤ空気圧警告システムがディスプレイメッセージを発生し、再起動されていない。

- ▶ 4輪すべてを、適正なタイヤ空気圧に設定してください。
- ▶ タイヤ空気圧警告システムを再起動します (▶574 ページ)。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
タイヤ空気圧 警告システム 作動できません	<p>タイヤ空気圧警告システムに異常がある。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>

車両

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジン始動 P または N にシフト	<p>トランスミッションがポジション R または D のときにエンジンを始動しようとした。</p> <p>▶ トランスミッションをポジション P または N にシフトしてください。</p>
バックアップバッテリー 故障	<p>トランスミッションの補助バッテリーが充電されなくなった。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
ブレーキを踏んで P レンジからシフト	<p>ブレーキペダルを踏まずに、トランスミッションのセレクターレバーをポジション D、R、N に動かそうとした。</p> <p>▶ ブレーキペダルを踏んでください。</p>
シフトポジションが P ではないため 車が動く恐れがあります	<p>トランスミッションがポジション R、N、または D のときに運転席ドアを開いた / 完全に閉じていない。</p> <p>警告音も鳴った。</p> <p> 警告</p> <p>車両が動き出すおそれがあります。</p> <p>事故の危険性があります。</p> <p>▶ トランスミッションをポジション P にシフトします。</p> <p>▶ 動き出さないように車両を固定してください (▶577 ページ)。</p> <p>▶ 運転席ドアを完全に閉じてください。</p>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
シフトチェンジせず 工場で点検	<p>故障のため、シフトポジションを変更することができない。 警告音も鳴った。</p> <p>シフトポジション D が選択されている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ トランスミッションをポジション D からシフトしないで、メルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。 <p>シフトポジション R、N、または P が選択されている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
トランスミッション 故障 停車 して下さい	<p>メカニカルトランスミッションの構成部品に不具合が発生した。</p> <p>警告音も鳴った。トランスミッションが自動的にポジション N にシフトした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ トランスミッションをポジション P にシフトします。 ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
停車中のみ P レンジ にシフト できます	<p>車両が動いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ トランスミッションをポジション P にシフトします。
	<p>トランクリッドが開いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ トランクリッドを閉じてください。

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



ボンネットが開いている。警告音も鳴った。

警告

車両が動いているときは、開いたボンネットで視界が遮られることがあります。

事故の危険性があります。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▶577 ページ)。
- ▶ ボンネットを閉じてください。

アクティブフード 故障 取扱説明書を参照

故障のため、またはすでに作動しているため、アクティブボンネット（歩行者保護システム）が作動しない。

- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。



1 つ以上のドアが開いている。警告音も鳴った。

- ▶ すべてのドアを閉じてください。

ドアミラーが見にくい場合は、助手席を移動させるか、ヘッドレストをはずしてください





助手席シートがショーファーモードポジションにあり、助手席ヘッドレストが格納されている。

警告

助手席シートがショーファーモードポジションで、ヘッドレストが格納されている場合は、助手席ドアミラーの視界が損なわれるおそれがある。

事故の危険性があります。

- ▶ 助手席シートのヘッドレストを取り外します (▶167 ページ)。
- または
- ▶ 助手席シートを通常の位置に動かします (▶167 ページ)。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>助手席使用できません 指定サービス工場 で点検を受けてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> 助手席シートをショーファーモードポジションから通常 の位置に動かすことはできない。不具合がある。 助手席シートのヘッドレストが格納され、不具合がある。 ヘッドレストを展開することができない。 <p> 警告</p> <p>ヘッドレストが正しく調整されていない場合は、意図した ように保護機能を発揮できません。</p> <p>事故またはブレーキ時などに、頭部および頸部にけがをす る危険性が高まります。</p> <p>▶ 助手席シートを使用しないでください。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
<p> リアサイドウィンドウのチャイルド ブルーロックを解除し て 助手席のシートを操作</p>	<p>チャイルドブルーロックが作動している間に、後席から 助手席シートを調整しようとした。</p> <p>▶ リアサイドウィンドウのチャイルドブルーロックを解 除します (▷101 ページ)。</p> <p>▶ リアから助手席シートを調整します (▷159 ページ)。</p>
<p> パワーステアリング 故障 取扱説明書を参 照</p>	<p>パワーステアリングのアシストが故障している。 警告音も鳴った。</p> <p> 警告</p> <p>ステアリング操作に大きな力が必要になります。 事故の危険性があります。</p> <p>▶ 必要とされる大きな力を加えることができるかどうかを 確認してください。</p> <p>▶ 安全にステアリング操作ができる場合：注意してメルセ デス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。</p> <p>▶ 安全にステアリング操作ができない場合：走行を続け ないでください。最寄りのメルセデス・ベンツ指定サー ビス工場にご連絡ください。</p>
<p>電話 圏外</p>	<p>車両がネットワークプロバイダーの送受信範囲外にある。</p> <p>▶ マルチファンクションディスプレイに携帯電話のネット ワークプロバイダ名が表示されるまで待ってください。</p>

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



ウォッシャー液を 補充
してください

ウォッシャー液リザーブタンクのウォッシャー液レベルが最低レベルまで下がっている。

▶ ウォッシャー液を補給してください (▷522 ページ)。

キー

ディスプレイメッセージ 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



キーが違います

エンジンスイッチに他の車両のキーを差し込んでいる。

▶ 正しいキーを使用してください。



キーを交換 してくだ
さい

キーを交換する必要がある。

▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。



キーの電池を 交換し
てください

キーの電池が放電している。

▶ 電池を交換してください (▷125 ページ)。





キーを認識 できま
せん (白色のディス
プレイメッセージ)

現在キーが検知されていない。

▶ 車内のキーの位置を変更してください。

それでもキーが検知されない場合：

▶ エンジンスイッチにキーを差し込んで、希望の位置にまわしてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>キーを認識できません (赤色のディスプレイメッセージ)</p>	<p>キーが車内にない。 警告音も鳴った。 エンジンを停止した場合は、車両の集中施錠やエンジン始動ができなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577ページ)。 ▶ キーを探してください。 ▶ ステアリングの [OK] を押し、ディスプレイメッセージを確定します。
	<p>強い電波源からの干渉があるため、エンジンがかかっている間にキーが検知されない。 警告音も鳴った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577ページ)。 ▶ キーをエンジンスイッチに差し込み、キーモードにしてください。
 <p>スタートボタンを外し、キーを入れてください</p>	<p>キーが継続して検知されない。 キー検知機能に一時的に不具合がある、または故障している。警告音も鳴った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジンスイッチにキーを差し込んで、希望の位置にまわしてください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

メーターパネルの警告および表示灯

安全性

シートベルト

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ フロントドアを閉じてエンジンを始動すると、赤色のシートベルト警告灯が点灯する。運転席または助手席の乗員がシートベルトを着用していない。

▶ シートベルトを着用してください (▷66 ページ)。

警告灯が消灯します。

助手席シートの上に荷物を置いている。

▶ 助手席シートに置いてある荷物を、別の安全な場所に収納してください。

警告灯が消灯します。



▷ 赤色のシートベルト警告灯が点滅し、断続的な警告音も鳴った。

運転席または助手席の乗員がシートベルトを着用していない。その状態で、約 25 km/h 以上の速度で走行している。または速度が一時的に約 25 km/h を超えた。

▶ シートベルトを着用してください (▷66 ページ)。

警告灯が消灯し、警告音も鳴り止みます。

助手席シートの上に荷物を置いている。その状態で、約 25km/h 以上の速度で走行している。または速度が一時的に約 25km/h を超えた。

▶ 助手席シートに置いてある荷物を、別の安全な場所に収納してください。

警告灯が消灯し、警告音も鳴り止みます。

安全システム

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

①

▷ エンジンがかかっている間に黄色のブレーキシステム警告灯が点灯する。

 **警告**

ブレーキシステムが故障しているため、ブレーキの作動に影響を与えることがあります。

事故の危険性があります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されているときは、そのメッセージに従ってください。
- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

②

▷ エンジンがかかっている間に赤色のブレーキシステム警告灯が点灯する。警告音も鳴った。

 **警告**

ブレーキの倍力装置が故障しているため、ブレーキの作動に影響を与えることがあります。

事故の危険性があります。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。状況を問わず、走行を続けしないでください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっているときに赤色のブレーキシステム警告灯が点灯する。警告音も鳴った。

ブレーキ液リザーブタンクのブレーキ液が不十分である。

 **警告**

ブレーキ性能が損なわれることがあります。

事故の危険性があります。

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。状況を問わず、走行を続けしないでください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ ブレーキ液を補給しないでください。補給しても問題は解消しません。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっているときに黄色の ABS 警告灯が点灯する。

故障のため、ABS (アンチロック・ブレーキング・システム) が解除されている。そのため、BAS (ブレーキアシスト)、BAS プラス (飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス)、CPA プラス (緊急ブレーキ機能)、ESP® (エレクトロニック・スタビリティ・プログラム)、クロスウインドアシスト、PRE-SAFE®、PRE-SAFE® プラス、PRE-SAFE® ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキライト、ステアコントロール、アクティブレインキーピングアシストおよびアクティブブラインドスポットアシストも解除されている。

アテンションアシストが解除されている。

 **警告**

上記の機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能したままになります。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがあります。

ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。
- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ABS コントロールユニットが故障している場合は、ナビゲーションシステム、オートマチックトランスミッションのような、他のシステムも作動しなくなることがあります。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっている間に黄色の ABS 警告灯が点灯する。警告音も鳴った。

故障のため、EBD が作動しない。そのため、ABS、BAS、BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、CPA プラス（緊急ブレーキ機能）、ESP[®]、PRE-SAFE[®]、PRE-SAFE[®] プラス、PRE-SAFE[®] ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキライト、ステアコントロール、アクティブレーンキーピングアシストおよびアクティブブラインドスポットアシストも作動しない。

アテンションアシストが解除されている。

警告

上記の機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能したままになります。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがあります。

ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP[®] が作動しない場合は、ESP[®] が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。
- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっている間に、赤色のブレーキ警告灯、黄色の ESP® 警告灯および黄色の ABS 警告灯が点灯している。

故障のため、ABS および ESP® が作動しない。そのため、BAS、BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、CPA プラス（緊急ブレーキ機能）、EBD、PRE-SAFE®、PRE-SAFE® プラス、PRE-SAFE® ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキライト、ステアコントロール、アクティブレーンキーピングアシストおよびアクティブブラインドスポットアシストも作動しない。

アテンションアシストが解除されている。

 **警告**

上記の機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能したままになります。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがあります。

ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。
- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

▷ 走行中に黄色の ESP[®] 警告灯が点滅する。

車両が横滑りをする危険性があるか、少なくとも1つの車輪が空転し始めているため、ESP[®] やトラクションコントロールが作動している。

クルーズコントロールやディストロニック・プラスは解除されます。

- ▶ 発進するときは、アクセルペダルを必要以上に踏み込まないでください。
- ▶ 走行中は緩やかに加速してください。
- ▶ 路面と天候の状態に合わせて運転してください。
- ▶ ESP[®] を解除しないでください。

まれに (▷112 ページ)、ESP[®] を解除したほうがいい場合があります。

ESP[®] の重要な安全上の注意事項に従ってください(▷110 ページ)。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっている間に、黄色の ESP[®] 警告灯が点灯している。

故障のため、ESP[®]、BAS、BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、CPA プラス（緊急ブレーキ機能）、PRE-SAFE[®]、PRE-SAFE[®] プラス、PRE-SAFE[®] ブレーキ、ホールド機能、ヒルス タートアシスト、クロスウインドアシスト、アダプティブブレーキ ライト、ステアコントロール、アクティブレーンキーピングアシス トおよびアクティブブラインドスポットアシストが作動しない。

アテンションアシストが解除されている。

 **警告**

上記の機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能したままにな ります。

緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP[®] が作動しない場合は、ESP[®] が車両を安定させることができ ません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッ セージに従ってください。
- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっているときに黄色の ESP® 解除警告灯が点灯する。

ESP® が解除されている。

警告

ESP® が解除されている場合は、ESP® が車両を安定させることができない。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

▶ ESP® を再度設定してください。

まれに (▷112 ページ)、ESP® を解除したほうが良い場合があります。

ESP® の重要な安全上の注意事項に従ってください (▷110 ページ)。

▶ 路面と天候の状態に合わせて運転してください。

ESP® を設定することができない場合：

▶ 注意して運転してください。

▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での ESP® の点検を受けてください。



▷ 電気式パーキングブレーキの赤色の表示灯が点滅または点灯する、および / または電気式パーキングブレーキの黄色の警告灯が点灯する。

▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっているときに赤色の乗員保護装置警告灯が点灯する。

乗員保護装置が故障している。

 **警告**

エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。

けがのおそれがあります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。
- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で乗員保護装置を点検してください。

乗員保護装置についてのさらなる情報は、(▷59 ページ) をご覧ください。

エンジン

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっているときに黄色のエンジン診断警告灯が点灯する。

例えば、以下のシステムが故障していることがある：

- エンジン制御
- 燃料噴射システム
- 排気システム
- イグニッションシステム
- 燃料システム

排出物制限値を超えたため、エンジンがエマージェンシーモードで作動している可能性がある。

▶ すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で、車両の点検を受けてください。



▷ エンジンがかかっているときに黄色の予備燃料警告灯が点灯する。燃料レベルが予備範囲に下がっている。

▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。



▷ エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯し、冷却水温度計がバー表示の始まりにある。

冷却水温度計の温度センサーが故障している。

冷却水温度をモニターすることができなくなっている。冷却水の温度が高すぎる場合は、エンジンが損傷する危険性がある。

- ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。状況を問わず、走行を続けしないでください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。
冷却水レベルが低すぎる。

冷却水レベルが正常なときは、エンジンラジエターへの送風が遮られているか、エンジンラジエターの電動ファンが故障しているおそれがある。

冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されなくなっている。

- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。
- ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。
- ▶ 動き出さないように車両を固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ 車両から降り、エンジンが冷えるまで車から安全な距離を確保してください。
- ▶ 注意事項 (▷520 ページ) に従って、冷却水レベルを点検し、冷却水を補給してください。
- ▶ 頻繁に冷却水を補給する必要がある場合は、エンジン冷却システムの点検を受けてください。
- ▶ 凍った泥などにより、エンジンラジエターへの送風が遮られていることを確認してください。
- ▶ 冷却水温度が 125°C 以下になるまで、エンジンを再始動しないでください。さもないと、エンジンが損傷することがあります。
- ▶ 最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。
- ▶ そのときは、山道の走行や、発進 / 停止を繰り返す走行など、エンジンへの大きな負荷は避けてください。

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。警告音も鳴った。

冷却水温度が約 124℃を超えている。エンジンラジエターへの送風が遮られているか、冷却水レベルが低すぎることもある。

警告

エンジンが十分に冷却されないため、エンジンが損傷するおそれがある。

エンジンがオーバーヒートした状態では絶対に走行しないでください。エンジンがオーバーヒートした状態で走行すると、エンジンルームに漏れたフルード類に引火するおそれがあります。

ボンネットを開くことにより、オーバーヒートしたエンジンからの蒸気により重度の火傷を負うおそれがあります。

けがのおそれがあります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。
- ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。
- ▶ 車両が動き出さないように固定してください (▷577 ページ)。
- ▶ 車両から降り、エンジンが冷えるまで車両から安全な距離を確保してください。
- ▶ 注意事項 (▷520 ページ) に従って、冷却水レベルを点検し、冷却水を補給してください。
- ▶ 頻繁に冷却水を補給する必要がある場合は、エンジン冷却システムの点検を受けてください。
- ▶ 凍った泥などにより、エンジンラジエターへの送風が遮られていないことを確認してください。
- ▶ 125℃以下の冷却水温度では、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。
- ▶ そのときは、山道の走行や、発進 / 停止を繰り返す走行など、エンジンへの大きな負荷は避けてください。

ハイブリッドシステム

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

①

▷ 黄色のRBS（回生ブレーキシステム）警告灯が点灯する。また、場合によっては警告音も鳴った。

 **事故のおそれがあります**

RBSに異常がある。ペダルのストロークが通常よりも大きくなり、ブレーキの性能に影響が生じることがある。自動エンジンストップ機能も解除することがある。

- ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージを遵守してください（▷440 ページ）。
- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

②

▷ 赤色のブレーキ警告灯が点灯する。警告音も鳴った。

 **事故のおそれがあります**

RBSに異常がある。ペダルのストロークが通常よりも大きくなり、ブレーキの性能に影響が生じることがある。

- ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。状況を問わず、走行しないでください。
- ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。

走行システム

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ 車両が動いている間に赤色の車間距離警告灯が点灯する。
選択された速度に対し、先行車との車間距離が近すぎる。
▶ 車間距離を広げてください。



▷ 車両が動いている間に赤色の車間距離警告灯が点灯する。警告音も鳴った。

進行方向にいる車両または静止している障害物に急速に接近している。

▶ ただちにブレーキをかける準備をしてください。

▶ 交通状況に注意して運転してください。ブレーキ操作や危険回避の操作が必要となることがあります。

PRE-SAFE® ブレーキについて詳しくは、(▷113 ページ) をご覧ください。

CPA プラス (緊急ブレーキ機能) の車間距離警告機能について詳しくは (▷107 ページ) をご覧ください。

車両

警告 / 表示灯

▷ シグナルタイプ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



▷ エンジンがかかっている間に赤色のパワーステアリング警告灯が点灯する。

ステアリングのパワーアシストが故障している。

警告音も鳴った。

 **警告**

ステアリング操作に大きな力が必要になる。

事故の危険性があります。

- ▶ 大きな力を加えればステアリングが操作できるか確認してください。
- ▶ **安全にステアリング操作ができるときは**、注意しながら、メルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。
- ▶ **安全にステアリング操作ができないときは**、走行しないでください。最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。

役に立つ情報	476
全体的な注意事項	476
重要な安全上の注意事項	476
著作権の情報	476
機能の制限	476
COMAND システムの操作システム	477

役に立つ情報

1 これらの取扱説明書は印刷時点で利用可能な COMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。記載されているすべての機能が COMAND システムに装備されているわけではないことにご注意ください。このことは、安全に関するシステムや機能についても当てはまります。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場では情報をご覧ください (▷32 ページ)。

全体的な注意事項

本取扱説明書の COMAND システムの項目には、COMAND システムを操作するための基本的な概要が記載されています。

さらなる情報はデジタル版取扱説明書をご覧ください。

重要な安全上の注意事項

警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

COMAND システムを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

COMAND システムは、例えば以下のことを考慮せずに目的地までのルートを検索します：

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐車または停車の規制
- 道路の道幅の狭さ
- その他、道路や交通ルール、規則

COMAND システムは、地図上のデータが実際の状況と違う場合には、適切でない走行案内をすることがあります。例えば、道路が変更されたり、または一方通行の方向が変更になったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則に常に従ってください。システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

わずか 50km/h の速度でも、車両は 1 秒あたり約 14m の距離を進むことを念頭においてください。

著作権の情報

全体的な注意事項

車両やその電子部品で使用されているフリーのオープンソースソフトウェアのライセンスの情報を以下のウェブサイトで見つけることができます：

[http:// www.mercedes-benz.com/opensource](http://www.mercedes-benz.com/opensource)

機能の制限

安全上の理由のため、車両が動いている間はいくつかの機能が制限されたり、利用できません。このことは、例えば、いくつかのメニュー項目が選択できなかったり、このことに関してのメッセージが表示されることで、確認できます。

COMAND システムの操作システム

概要

構成部品



- ① COMAND ディスプレイ
- ② CD/DVD チェンジャー
- ③ コントローラーおよびスイッチ

イラストは、タッチパッドの代わりにテレフォンキーパッド付きの装備を示しています。

COMAND システムは、以下のものから構成されています。

- COMAND ディスプレイ
COMAND ディスプレイは 1440 x 540 ピクセルです。
- CD/DVD チェンジャー
- コントローラー
- ビデオ機能
- スイッチ
- タッチパッド
- スイッチ
- センターコンソール内のポート（2つの USB、AUX）
iPod® は USB ケーブル経由で接続されます。
- 助手席乗員用ヘッドホン（コードレス）

i リモコンが付属している場合は、対応するリモコンを使用して助手席側から COMAND システムを操作することができます。スプリットビュー装備車両では、運転席と助手席で異なる情報を COMAND ディスプレイに表示することができます。助手席には、スプリットビューでディスプレイが表示されます。

機能

- **FM ラジオ /AM ラジオ (交通情報)**

インターネットラジオ (通信機能経由での呼び出しも可能)

- **メディア**

サポートしているメディア: オーディオ CD、MP3CD、DVD ビデオ、2 つの USB、SD カード、iPod®、Bluetooth® オーディオ、ハードドライブの 10GB のメディアレジスター

すべてのメディアを使用したミュージックサーチ

電子番組ガイド (EPG)、放送局切り替え、BML データ受信、字幕、追加情報 (テロップ) および言語選択オプション、放送メール、緊急警告システムのあるテレビおよびラジオ放送局用のデジタルテレビ受信

- **サウンドシステム**

以下の 3 つのサウンドシステムのいずれかが装備されています:

標準的なサウンドシステム

Burmester® サラウンドサウンドシステム

音楽を最大限に楽しむための Burmester ハイエンド 3D サラウンドサウンドシステム

- **ナビゲーションシステム**

キーワード検索を使用しての目的地の入力

都市モデルを再現したリアルな 3D 地図

ドライブインフォメーションおよび Google™ マップのような、乗員のためのナビゲーション機能

VICS/DSRC での渋滞回避探索

ETC 経由での料金収受

- **通信**

Bluetooth インターフェース経由の電話機能

アドレス帳

インターネットブラウザ

Google™ ローカル検索、目的地ダウンロード、天候、Facebook、Google™ ストリートビュー、インターネットラジオ、株価、ニュースなどがある Mercedes-Benz Apps

COMAND システムへのスマートフォン接続用 WiFi インターフェース、および助手席 (スプリットビュー) とリアエンターテインメントシステム用リモコンのオプション

メルセデス・ベンツモバイルウェブサイト

お客様の携帯電話を使用してインターネットにアクセスできるようにするための、タブレット PC またはラップトップ接続用 WiFi ホットスポット機能

- **車両機能**

マッサージプログラム付きマルチコントロールシートバックの設定

エアコンディショナー機能

アンビエントライトの操作: 色と照度レベルの選択

360° カメラシステム

パーキングアシストリアビューカメラ

- **お気に入り機能**

タッチパッドのお気に入りスイッチを使用して、12 個までのお気に入り機能に素早くアクセスします。

- マルチユーザーエンターテインメントシステム

全ての乗員が、COMAND システム経由でエンターテインメントオプションにアクセスできます。

リモコンによる操作とデジタルコードレスヘッドホン

COMAND ディスプレイ



例：オーディオ CD モードの基本画面

- ① 他の画面を表示できる時刻付きステータスバー
- ② 基本画面欄
- ③ エアコンディショナーの作動表示
- ④ 補助画面エリアの内容表示


コントローラーおよびスイッチ


概要




- ① COMAND システムの作動 / 停止の切り替え
- ② 音量の調整または消音
- ③ タッチパッド
- ④ リターンスイッチ
- ⑤ シート調整スイッチ
- ⑥ ナビゲーションスイッチ
- ⑦ ラジオスイッチ
- ⑧ メディアスイッチ
- ⑨ 電話、アドレス帳およびインターネットスイッチ
- ⑩ 車両およびシステム設定スイッチ
- ⑪ コントローラー

リターンスイッチ

 スイッチを使用してメニューを終了したり、現在の操作モードの基本画面を呼び出すことができます。

- ▶ **メニューを終了する**： スイッチを軽く押します。

COMAND システムは、そのときの操作モードの中で、1 つ上のメニュー階層に切り替わります。

- ▶ **基本画面を呼び出す**：2 秒以上  スイッチを押して保持します。




COMAND システムは、そのときの操作モードの基本画面に切り替わります。

コントローラー

センターコンソールのコントローラーにより、以下を行なうことができます：

- ディスプレイのメニュー項目を選択する
- 文字を入力する
- 地図で目的地を選択する
- 入力を保存する

コントローラーでは、以下のことができます：

- まわす
- 左右にスライドする 
- 前後にスライドする 
- 斜めにスライドする 
- 軽く押す、または押して保持する

タッチパッド

COMAND システムにはタッチパッドが装備されています。

コントローラーの代わりに、タッチパッドによって例えばメニュー項目を選択したり、手書き認識を含む文字入力を行なうことができます。

- ▶ **タッチパッドを作動させる**：タッチパッドの表面を押します。

タッチパッド上で指を強く押さないでください。タッチパッド上で鋭利なものを使用しないでください。これにより、タッチパッドの損傷または故障につながる可能性があります。

タッチパッドの概要

! タッチパッド上で鋭利なものを使用しないでください。タッチパッドが損傷するおそれがあります。



- ① タッチ感応面
- ② お気に入りスイッチ
- ③ メディアのクイックアクセスの呼び出し
- ④ リターンスイッチ

タッチパッドを使用して、以下のことができます：

- ディスプレイ上でメニュー項目を選択する (▷482 ページ)。
- 文字を入力する (手書き認識) (▷484 ページ)。
- 作動しているメディアソースを操作する (▷486 ページ)。
- お気に入りを作成する、管理する、および呼び出す。
- ナビゲーションで目的地を入力する。
- 入力を保存する。

タッチパッドの操作についてのさらなる情報は、(▷482 ページ) をご覧ください。タッチパッド上を指で強く押さないでください。故障の原因になります。

タッチパッドの操作

メニュー項目を選択する



- ▶ いずれかの指で、タッチ感応面に触れます。
- ▶ 指を上、下、左または右に動かします。動かす方向に応じて、ディスプレイで選択したものが動きます。

このようにして、リストまたはメニューを閲覧できます。

選択を確定する



- ▶ 押し応えを感じるまで、指でタッチ感応面を押します。メニュー、オプションまたはアプリケーションが開始します。

メディアのクイックアクセスを呼び出す



- ▶ 2本の指を使用して、タッチ感応面の下の部分に触れます。
- ▶ 指を上フリックします。クイックアクセスが表示されます。

メディアのクイックアクセスについてのさらなる情報は、(▷486 ページ) をご覧ください。

メディアのクイックアクセスを非表示にする



- ▶ 2本の指でタッチ感応面に触れます。
- ▶ 指を下に動かします。
クイックアクセスが非表示になります。

車両とサウンド設定の制御を操作する



- ▶ 2本の指を少し離して、タッチ感応面に触れます。
- ▶ 両方の指を時計回りにまわします。
制御の設定が増加します。

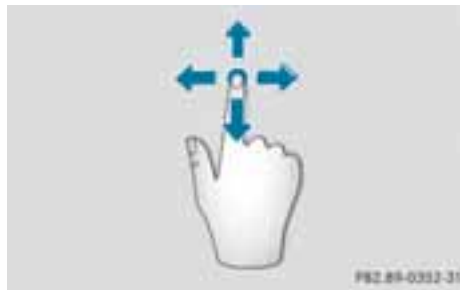
または

- ▶ 両方の指を反時計回りにまわします。
制御の設定が減少します。

地図を動かす



- ▶ 押し応えを感じるまで、指でタッチ感応面を押します。
クロスカーソルが表示されます。



- ▶ いずれかの指でタッチ感応面に触れます。
- ▶ 指をいずれかの方向に動かします。
動かした方向に地図が動きます。

地図を拡大する



- ▶ 2本の指を少し離して、タッチ感応面に触れます。
- ▶ それぞれを遠ざけるように、指を動かします。
地図の縮尺が拡大されます。

地図を縮小する



- ▶ 2本の指を少し離して、タッチ感応面に触れます。
- ▶ それぞれを近づけるように、指を動かします。
地図の縮尺が縮小されます。

手書き認識

手書き認識の概要

テキスト、数字または文字の手書き認識を入力行で使用することができます。



- ① 有効になっている入力行
- ② スペースの入力 (▷485 ページ)
- ③ タッチ感応面のイラスト
- ④ 文字の削除 (▷485 ページ)

入力した文字が様々な意味に解釈できる場合は、その候補が表示されます。文字候補についてのさらなる情報は、(▷485 ページ) をご覧ください。



- ① メニューの終了
- ② 手書き認識に戻る
- ③ 電話帳またはテキストのテンプレートを使用する
- ④ 入力行またはカーソルの位置を変更する
- ⑤ 入力言語を変更する
- ⑥ 文字入力を終了する

- ▶ **メニューを表示する**：タッチパッドを押します。

文字の入力

前提条件：テキスト、数字または文字の入力行が選択されている。

- ▶ いずれかの指で、タッチ感応面に希望の文字を手書きします。

認識された文字が入力行に入力されます。タッチ感応面に次の文字を手書き入力できます。

文字がさまざまな意味に解釈できる場合は、その候補が表示されます。

文字候補についてのさらなる情報は、(▷485 ページ) をご覧ください。

文字候補



- ① 認識された文字
- ② 文字候補

- ▶ 文字候補を選択する：コントローラーをまわします。

自動的に認識された文字の代わりに、選択された文字が入力されます。文字入力を続けることができます。

スペースの入力

前提条件：テキスト、数字または文字の入力行が選択されている。

- ▶ 指でタッチ感応面に触れ、右に動かします。

スペースが入力行に入力されます。

文字を削除する

前提条件：テキスト、数字または文字の入力行が選択されている。

- ▶ 指でタッチ感応面に触れ、左に動かします。

最後に入力した文字が削除されます。

入力行を切り替える



- ▶ タッチパッドを押します。マークが表示されます。
- ▶ **[T]** を選択する：指を左または右に動かして、押します。
- ▶ 希望の入力行を選択する：上または下に動かして、押します。選択した入力行が作動し、文字入力を続けることができます。

入力行内でのカーソルの移動



- ▶ タッチパッドを押します。マークが表示されます。

- ▶ **TI** を選択する：指を左または右に動かし、押します。
- ▶ カーソルを動かす：左または右に動かします。

手書き認識のための入力言語を変更する

前提条件：テキスト、数字または文字の入力行が選択されている。

- ▶ タッチパッドを押します。
マークが表示されます。
- ▶ **👉** を選択する：指を左または右に動かし、押します。
使用可能な入力言語のリストが表示されます。
- ▶ 言語を選択する：上または下に動かし、押します。
手書き認識のための入力言語が変更されます。

リスト内で検索する

例では、電話帳検索が使用されています。最初に入力した文字により、検索する連絡先の先頭文字を決定します。

- ▶ タッチパッド面で文字を手書きします。
選択した先頭文字の最初の連絡先が、電話帳で強調されます。
タッチパッドの手書き認識についてのさらなる情報は、(▷484 ページ)をご覧ください。
- ▶ タッチパッド面に追加文字を1つずつ手書きします。
- ▶ 検索を終了し電話帳に戻る：タッチパッドを押します。

入力機器として、コントローラーとタッチパッドの間で切り替える

前提条件：テキスト、数字または文字の入力行が選択されている。

- ▶ **コントローラーを使用しての文字入力からタッチパッドの手書き認識に切り替える**：いずれかの指でタッチパッドを押します。タッチパッドの手書き認識が作動します。
- ▶ **タッチパッドの手書き認識からコントローラーを使用しての文字入力に切り替える**：コントローラーを押します。コントローラーを使用しての文字入力作動します。

メディアのクイックアクセス

放送局 / 音楽トラックなどの変更



現在作動しているメディアソースに応じて、この機能を使用して次の放送局または音楽トラックなどを選択できます。

- ▶ **メディアのクイックアクセスを呼び出します** (▷482 ページ)。
現在のメディアソースが表示されます。
- ▶ **前または次の放送局 / 音楽トラックなどを選択する**：右または左に動かします。
選択した放送局 / 音楽トラックなどが再生されます。

メディアソースの変更



- ▶ メディアのクイックアクセスを呼び出します (▷482 ページ)。
現在のメディアソースが表示されます。
- ▶ 使用可能なメディアソースを表示する：いずれかの指を下に動かします。
- ▶ メディアソースを選択する：指を左または右に動かし、押します。
選択したメディアソースが再生されます。

役に立つ情報	490
収納エリア	490
機能	498

役に立つ情報

1 この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

1 メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

収納エリア

積載のガイドライン

 警告

内燃エンジンは、一酸化炭素などの有毒な排気ガスを排出します。エンジンをかけた状態（特に車両が走行中）でトランクリッドが開いたままになっていると、排気ガスが車内に入る可能性があります。中毒を起こすおそれがあります。

トランクリッドを開く前に、必ずエンジンを停止してください。トランクリッドを開いたまま走行しないでください。

 警告

荷物や重い荷物が固定されていない、または十分に固定されていないと、滑ったり、投げ出されて乗員にぶつかるおそれがあります。特にブレーキ操作時や急な進路変更時にけがをする可能性があります。

荷物は投げ出されないように、必ず収納してください。走行前に、荷物や積載物などが滑ったりひっくり返ったりしないように固定されていることを確認してください。

 警告

マフラーのテールパイプおよびテールエンドが非常に熱くなることがあります。車両のこれらの部品に触れた場合は、やけどするおそれがあります。けがのおそれがあります。

特にマフラーのテールパイプおよびテールエンド周辺には常に注意してください。これらの構成部品に触れる前には冷ましてください。

荷物の積み方は車両の走行安定性に大きく影響します。荷物を積むときは、以下の点に注意してください。

- 最高許容車両総重量および車両の許容軸重（乗員を含む）を超えないようにしてください。
- 荷物はトランクに入れて運ぶことをお勧めします。
- 重い物はトランク内のできるだけ前方に、そしてできるだけ低く配置してください。
- 荷物がシートのバックレストの上端よりも高くないようにしてください。

- 可能な場合は、できるだけ空いている座席の後方に荷物を置くようにしてください。
- 強度のある耐摩耗性の荷物固定用ストラップなどを使用して、荷物を確実に固定してください。鋭い角のある荷物は、角の部分にカバーをしてください。

i 荷物固定用具は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で購入できます。

収納スペース

重要な安全上の注意事項

警告

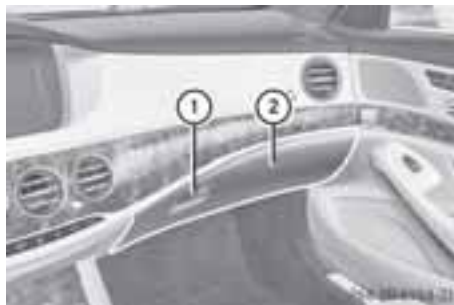
収納物を車内に正しく収納しないと、滑ったり、投げ出されたりして、乗員がけがをするおそれがあります。特にブレーキ操作や急な進路変更時にけがの危険性があります。

- このようなときや類似の状況で収納物が飛び出さないように、常に収納してください
- 収納物は必ず小物入れ、収納ネットまたはラゲッジネットからはみ出さないようにしてください
- ロック可能な小物入れは走行中は閉じてください
- 重い物、固い物、先の尖った物、鋭利な物、壊れやすいもの、大きな物はトランクに収納し、固定してください

積載のガイドライン (▷490 ページ) に注意してください。

前席の小物入れ

グローブボックス



▶ **開く**：ハンドル ① を引き、グローブボックスのカバー ② を開きます。

▶ **閉じる**：ロックされるまで、グローブボックスのカバー ② を閉じます。

グローブボックス内を冷却することができます (▷229 ページ)。

グローブボックスには、コインホルダー、ペンホルダー、3つのカードホルダーがあります。



エマージェンシーキーでグローブボックスを施錠 / 解錠できます。

▶ **施錠する**：エマージェンシーキーをキーシリンダーに差し込んで、施錠位置 ② に時計回りに 90° まわします。

- ▶ **解錠する**：エマージェンシーキーをキーシリンダーに差し込んで、解錠位置①に反時計回りに90°まわします。

サングラスケース



- ▶ **開く**：マーク①を押します。サングラスケースが下に開きます。
- ▶ **閉じる**：マーク①を再度押して、サングラスケースを上方に戻して固定します。

車両が動いている間はサングラスケースが閉じていることを必ず確認してください。

センターコンソール内の小物入れ



- ▶ **開く**：マーク②を軽く押します。
- ▶ **閉じる**：ロックするまで小物入れ①を矢印の方向に押します。



- ▶ **開く**：クローム部分①を持ち、カバーを後方にスライドさせます。
- 閉じる**：クローム部分①を軽く押します。

アームレスト下の小物入れ



- ▶ **開く**：スイッチ①または②を押して、アームレストを左または右に起こします。

車両の装備によって、小物入れ内にはUSBポート、外部入力ジャックまたはメディアインターフェースが装着されています。メディアインターフェースは、iPod®、iPhone®またはMP3プレーヤーなどのポータブルオーディオまたはビデオ機器のための汎用インターフェースです（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

運転席および助手席シート下部の小物入れ

⚠ 警告

小物入れの最大許容積載量を超えると、カバーが収納物を抑えられないおそれがあります。カバーが開いて物が小物入れから投げ出され、乗員にぶつかる可能性があります。特に急ブレーキ時や急な進路変更時に、けがをする危険性があります。

小物入れの最大許容積載量を決して超えないようにしてください。重い荷物はトランクに固定して収納してください。

小物入れの最大許容積載量は1.5kgです。



- ▶ 開く：ハンドル①を引き上げ、カバー②を前方に引き出します。

ドアの小物入れ



ドアの小物入れ②には、折りたたみ傘のような物を収納することができます。

ドア①には、1.0ℓまでの容量のボトルを収納することができます。

後席の小物入れ

リアシートアームレスト内の小物入れ



- ▶ 開く：シートのアームレストを下に倒します。
- ▶ ハンドル①を引き、アームレストを上方に起こします。



メモリー付パワーシート装備車両：

- ▶ **開く**：シートのアームレストを下に倒します。
- ▶ ハンドル①を引き上げ、アームレストを上方に起こします。

後席のセンターコンソール内の小物入れ



左右独立シート装備車両：

- ▶ ハンドル①を引き上げて、アームレストを上方に起こします。

車両の装備によって、小物入れ内にはUSBポート、外部入力ジャックが装着されています。

リアシートバックレスト内の収納ボックス



- ▶ **開く**：リアアームレストを下に倒します。
- ▶ ハンドル①を引き、カバー②を下に倒します。



左右独立シート装備車両：

- ▶ **開く**：リアアームレストを下に倒します。
- ▶ ハンドル①を引き、カバー②を下に倒します。

車両の装備によっては、小物入れの代わりにDVDプレーヤーが装着されています。

ウッドテーブル

⚠ 警告

ウッドテーブルを開いて走行している場合は、特に事故、急ブレーキまたは突然の進路変更のときに車両乗員がぶつかることがあります。けがの危険性があります。

走行前にウッドテーブルを格納してください。



- ▶ **展開する**：リアアームレスト①（▷493ページ）を開きます。
- ▶ 凹部②または③を持ち、ウッドテーブルを前方および上方に引き、外側にまわします。
- ▶ テーブルのパネルを開きます。
- ▶ **格納する**：テーブルのパネルを閉じ、格納式テーブルに戻します。
- ▶ ウッドテーブルを元の位置に戻します。

収納ネット

収納ネットは以下にあります。

- 助手席足元
- 運転席・助手席の背面
- トランクの左右

積載のガイドライン（▷490ページ）および収納用スペースに関する、重要な安全上の注意事項（▷491ページ）に従ってください。

ラゲッジネットフックを使用しての荷物の固定

全体的な注意事項

荷物の固定に関する、以下の点に注意してください。

- ラゲッジネットフックを使用して荷物を固定してください。
- 伸縮性のあるストラップまたはネットを使用して荷物を固定しないでください。これらは軽い荷物の滑り止め防止としてのみ想定されています。
- 荷物のとがった部分や角に固定用具が当たらないようにしてください。
- 保護のため、鋭い角にはパッドを当ててください。

トランク



プラグインハイブリッド車両を除く車両：

トランク内には4つ、または2つ（プラグインハイブリッド車両）のラゲッジネットフックがあります。

トランクフロアボード下の収納スペース

トランクフロアボード下には、タイヤフィットなどのための多目的の収納部があります。



- ▶ **開く**：トランクリッドを開きます。
- ▶ 凹凸部を押さえながら、ハンドル②を下方に押しします。

ハンドル②が浮き上がります。

- ▶ トランクセパレーターに接するまで、ハンドル②を使用して、トランクフロアボード①を持ち上げます。



- ▶ トランクフロアボード裏面のフック③を引き出します。



- ▶ フック③を溝④にかけます。
- ▶ **閉じる**：フック③を溝④から外します。
- ▶ フック③をトランクフロアボード裏面のブラケットに固定します。
- ▶ トランクフロアボードを下に倒します。

ルーフラック

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

ルーフに荷物を積むと、車両の重心位置が上がり、走行特性が変化します。ルーフの最大積載量を越えている場合は、走行特性やステアリング特性、ブレーキ特性が大幅に損なわれるおそれがあります。事故の危険性があります。

運転スタイルを合わせるとともに、ルーフの最大積載量を決して超えないでください。

ルーフの最大積載量に関する情報は "サービスデータ" にあります (▷ 604 ページ)。

! メルセデス・ベンツ車用にテストされ、承認されたルーフラックのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します。これにより、車両の損傷を防ぐ助けになります。

ルーフラックに荷物を積むときは、走行中に車両を損傷しないように確実に固定してください。

車両の装備に応じて、ルーフキャリアを装着しているときにパノラミックスライディングルーフが完全にチルトアップし、トランクリッドが完全に開くことを確認してください。

! カバーやルーフの損傷を防ぐため、カバーを開くために金属製の物やかたい物を使用しないでください。

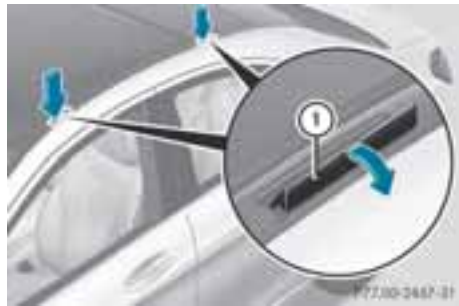
不適切に固定されたルーフラック、またはルーフ上の荷物は、車両から落下することがあります。そのため、ルーフラックメーカーの装着方法に従ってください。

パノラミックスライディングルーフ装備

車両：ルーフラックを装着している場合は、パノラミックスライディングルーフを開くことはできません。車内を換気するためには、パノラミックスライディングルーフをチルトアップすることはできません。

メルセデス・ベンツにより承認されたルーフラックがパノラミックスライディングルーフと接触した場合は、スライディングルーフが少し下がり、後部が上がったままになります。

ルーフラックの取り付け



- ▶ カバー ① を矢印の方向に上方に起こします。
- ▶ カバー ① 内のマウント部にルーフラックを装着します。
- ▶ ルーフラックの装着方法は、製品に添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

機能

カップホルダー

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

収納物を車内に正しく収納しないと、滑ったり、飛び出したりして、乗員がけがをするおそれがあります。特にブレーキ操作や急な進路変更を行ったときは、けがをするおそれがあります。

- このようなときや似たような状況で収納物が飛び出さないように、常に収納する
- 収納物は必ず小物入れ、収納ネットまたはラゲッジネットからはみ出さないようする
- 走行中はロック可能な小物入れを閉じる
- 重い物、固い物、先の尖った物、鋭利な物、壊れやすいもの、大きな物はトランクに収納し、固定する

積載のガイドライン (▷490 ページ) に従ってください。

! カップホルダーのサイズに合ったフタ付きの容器をお使いください。飲み物がこぼれるおそれがあります。

フロントセンターコンソール内のカップホルダー



- ▶ **開く**：小物入れ (▷492 ページ) を開きます。
- ▶ **取り外す**：キャッチ ① を前方にスライドし、カップホルダーを上方に引きます。
- ▶ **挿入する**：CD/DVD チェンジャーのカバーが閉じていることを確認します。
- ▶ カップホルダーを挿入し、キャッチ ① をスライドして戻します。

清掃のためにカップホルダーおよびラバーマットを取り出すことができます。きれいなぬるま湯でのみ、清掃してください。

リアシートのアームレストのカップホルダー

! リアアームレストを倒しているときに、アームレストに腰をかけたり、体重を支えるなど無理な力を加えないでください。アームレストが損傷する原因になります。

! リアシートのアームレストを格納する前にカップホルダーを閉じてください。さもないと、カップホルダーが損傷するおそれがあります。



- ▶ リアシートのアームレストを引き出します。
- ▶ **開く**：カップホルダー①または②の前側を押します。
カップホルダー①または②が自動的に出てきます。
- ▶ **展開する**：カップホルダーに容器を置きます。
カップホルダーが自動的に展開します。
- ▶ **格納する**：容器を取り出します。
カップホルダーが自動的に格納します。
- ▶ **閉じる**：固定されるまで、カップホルダー①または②を後方にスライドさせます。

ラグジュアリーアームレスト装備車両

! リアアームレストを倒しているときに、アームレストに腰をかけたり、体重を支えるなど無理な力を加えないでください。アームレストが損傷する原因になります。

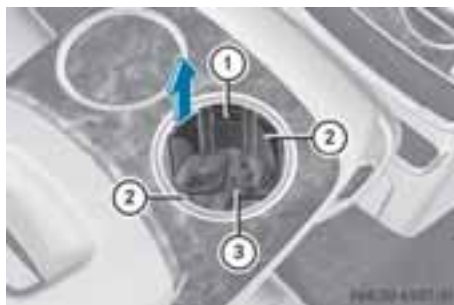


- ▶ リアシートのアームレストを引き出します。
- ▶ **開く**：ロックされるまで、カップホルダー底部②の中央を押し下げます。
- ▶ **閉じる**：クロー징スイッチ①を押します。

カップホルダー底部②が上がります。

清掃のためにカップホルダーインサートを取り外すことができます。きれいなぬるま湯でのみ、清掃してください。

! カップホルダーのインサートを15mm以上引き出さないでください。さもないと、リアシートのアームレストのウッドトリムが損傷するおそれがあります。



- ▶ **インサートを取り外す**：ロックされるまで、カップホルダー底部③の中央を押し下げます。

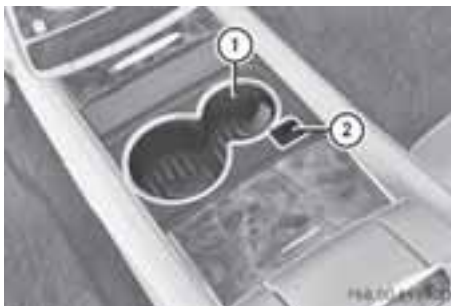
- ▶ 両方のクリップ②を押して、カップホルダーのインサートを上方に約15mm引き出します。
- ▶ スイッチ①を押します。
カップホルダー底部③が上がります。
- ▶ リアシートのアームレストからインサートを完全に取り外します。

! カップホルダーのインサートが凹部に正しく挿入されていることを確認してください。さもないと、リアシートのアームレストのウッドトリムが損傷するおそれがあります。



- ▶ **インサートを取り付ける**：カップホルダーの底部②が上方の位置にあることを確認します。
- ▶ カップホルダーのインサートの位置を合わせ、リアシートのアームレストの凹部に置きます。
- ▶ カップホルダーのインサートを下に押しします。
- ▶ 音がしてカップホルダーのインサートがロックされるまで、カップホルダーのインサートの外側のリング②を押します。

後席の温度制御式カップホルダー



- ① カップホルダー
- ② スイッチ

温度制御式カップホルダーは、冷たい飲み物を冷たく、温かい飲み物を温かく保つために使用できます。

ヒーター機能を使用すると、カップホルダーの金属製インサートが加熱されます。このため、カップホルダーのインサートには触れないでください。

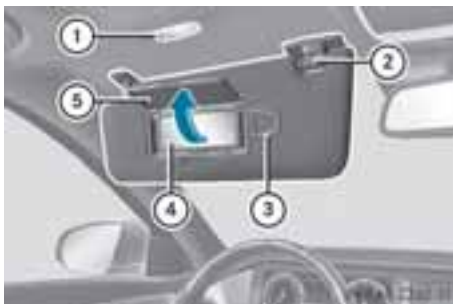
- ▶ イグニッション位置を**2**にします。
- ▶ **クーラー機能を作動させる**：青い表示灯が点灯するまでスイッチ②を押して保持します。
- ▶ **ヒーター機能を作動させる**：赤い表示灯が点灯するまでスイッチ②を押して保持します。
- ▶ **機能を停止する**：表示灯が消えるまでスイッチ②を押して保持します。

清掃のためにラバーマットを取り外すことができます。きれいなぬるま湯でのみ、清掃してください。

カップホルダーの清掃には、固く鋭利な形状の物を使用しないでください。柔らかいスポンジのみを使用して清掃してください。

サンバイザー

概要



- ① ミラー照明
- ② 固定部
- ③ クリップ
- ④ バニティミラー
- ⑤ バニティミラーカバー

サンバイザーのバニティミラー

ミラー照明①は、サンバイザーが固定部②で固定されている状態で、ミラーカバー⑤が開いているときにのみ点灯します。

横方向からの眩しさを防ぐ

- ▶ サンバイザーを下げます。
- ▶ サンバイザーをフック②から外します。
- ▶ サンバイザーを横にまわします。

電動ブラインド（後席左右）



- ① 左フロント
- ② 右フロント
- ③ 右リア
- ④ 左リア

リアサイドウインドウのブラインドはサイドウインドウのスイッチで作動させることができます。

運転席ドアには、すべてのサイドウインドウのスイッチがあります。各ドアにもサイドウインドウのスイッチがあります。

運転席ドアのスイッチ操作が優先されます。

- ▶ **完全に閉じる**：サイドウインドウが閉じているときに、対応するスイッチを引きます。
- ▶ **完全に開く**：対応するスイッチを押します。

i リアドアのスイッチを使用して、反対側のリアサイドウインドウのブラインドを開閉することもできます。

電動ブラインド（リアウインドウ）

重要な安全上の注意事項

警告

電動ブラインドが展開または格納しているときに、身体の一部が電動ブラインドの可動範囲に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

展開または格納動作の間は、身体を電動ブラインドの可動範囲に近づけないようにしてください。挟まれた場合は、スイッチを軽く押してください。開閉動作が少し停止した後に、反対方向に展開または格納します。

! 電動ブラインドがスムーズに動くことを確認してください。スムーズに動かない場合は、ブラインドや周辺の物が損傷するおそれがあります。

-20℃以下の温度では、電動ブラインドは作動しません。

運転席からの展開 / 格納



▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします（▷234 ページ）。

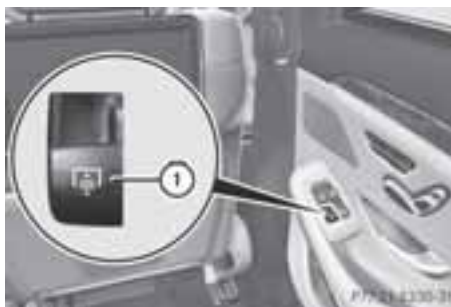
▶ **展開または格納する**：スイッチ **①** を軽く押します。

電動ブラインドが完全に展開するか、または完全に格納します。

▶ **停止する**：スイッチ **①** を再度軽く押します。

電動ブラインドが短時間停止し、反対の方向に作動します。

リアからの展開 / 格納



▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします（▷234 ページ）。

▶ **展開する**：スイッチ **①** を上方に引いて放します。

電動ブラインドが完全に展開します。

▶ **展開を停止する**：スイッチ **①** を下方に軽く押します。

電動ブラインドが少し停止し、再度格納します。

▶ **格納する**：手ごたえがあるところを越えるまで、スイッチ **①** を押して放します。

電動ブラインドが完全に格納します。

▶ **格納を停止する**：スイッチ **①** を上方に引きます。

電動ブラインドが少し停止し、再度展開します。

リアサイドウインドウのチャイルドブ
ルーフロックが設定されているときは (▷
101 ページ)、スイッチ ① は作動しま
せん。電動ブラインドは運転席からのみ
展開および格納できます。

灰皿

前席の灰皿



- ▶ **開く**：マーク ④ を軽く押します。小物入れのカバー ③ が開きます。
- ▶ **インサートを取り外す**：インサート ① の側面をつかみ、前方に押してから上方 ② に引き上げます。
- ▶ **インサートを取り付ける**：ロックされるまで、インサート ① を元の位置に押し込みます。
- ▶ **閉じる**：ロックされるまで、小物入れのカバー ③ を押して閉じます。

後席の灰皿



灰皿は、リアドアの小物入れの中にあります。カップホルダーに置く、または手に持って使用することができます。

- ▶ **灰皿をリアドアの収納部 ① から取り外します。**
- ▶ **開く**：カバー ② を上方に起こします。
- ▶ **閉じる**：カバー ② を下方に押します。

灰皿を使用しない場合は、カバー ② を閉じてリアドアの収納部に置いてください。

ライター

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

ライターのヒーター部や熱くなっているホルダー部に触れると、火傷をするおそれがあります。

以下のときは、可燃性の素材が燃える可能性があります：

- 熱くなっているライターを落としたとき
- 子供などが熱くなっているライターを荷物の上に置いたとき

火災およびけがの危険性があります。

ライターは必ずノブの部分を持ってください。子供がライターに触れないように常に気をつけてください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

常に交通状況に注意してください。道路および交通状況が許されているときにのみ、ライターを使用してください。

前席のライター



- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ **開く**：マーク **③** を軽く押します。小物入れのカバー **②** が開きます。

- ▶ ライター **①** を押し込みます。
ヒーター部が赤く熱せられたときに、ライター **①** は自動的に飛び出てきます。
- ▶ **閉じる**：ロックされるまで、小物入れのカバー **②** を押して閉じます。

後席のライター



リアエンターテインメントシステム非装備車両

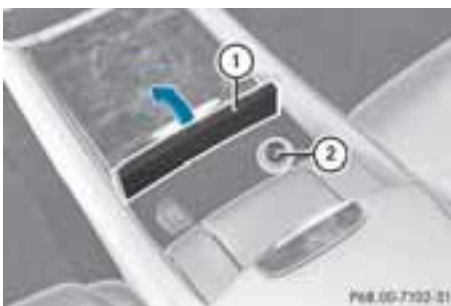
- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ **開く**：カバー **②** の上部を軽く押しします。
小物入れが開きます。
- ▶ ライター **①** を押し込みます。
ヒーター部が赤く熱せられたときに、ライター **①** は自動的に飛び出てきます。
- ▶ **閉じる**：ロックされるまで、カバー **②** を押して閉じます。



リアエンターテインメントシステム装備車両：

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ **開く**：カバー **②** の上部を軽く押します。
小物入れが開きます。
- ▶ ライター **①** を押し込みます。
ヒーター部が赤く熱せられたときに、ライター **①** は自動的に飛び出てきます。
- ▶ **閉じる**：ロックされるまで、カバー **②** を押して閉じます。

左右独立シート装備車両



- ▶ 電源ソケット収納部のカバー **①** を軽く押します。
ソケット収納部が開きます。

- ▶ ライター **②** を押し込みます。
ヒーター部が赤く熱せられたときに、ライター **①** は自動的に飛び出てきます。

12V 電源ソケット

全体的な注意事項

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

電源ソケットは最大電力 180W (15A) のアクセサリに使用できます。アクセサリには、照明または携帯電話用充電器のようなアイテムが含まれます。

エンジンが停止しているときに電源ソケットを長時間使用した場合は、バッテリーが放電することがあります。

緊急カットオフにより、バッテリーの電圧が過度に降下しないようにされます。バッテリーの電圧が過度に低い場合は、電源ソケットへの電力は自動的に停止します。これにより、エンジンを始動するために十分な電力が確保されます。

前席センターコンソール内の 12V 電源ソケット



- ▶ **開く**：マーク **③** を軽く押します。小物入れのカバー **①** が開きます。

- ▶ ソケットのカバー ② を開きます。
- ▶ 閉じる：ロックされるまで、小物入れのカバー ① を押して閉じます。

後席のソケット



リアエンターテインメントシステム非装備車両

- ▶ 開く：カバー ② の上部を軽く押します。
小物入れが開きます。
- ▶ ソケットのカバー ① を開きます。
- ▶ 閉じる：ロックされるまで、カバー ② を押して閉じます。



リアエンターテインメントシステム装備車両

- ▶ 開く：カバー ② の上部を軽く押します。
小物入れが開きます。

- ▶ 電源ソケット ① のカバーを開きます。
- ▶ 閉じる：ロックされるまで、カバー ② を押して閉じます。

左右独立シート装備車両



- ▶ 電源ソケット収納部のカバー ① を軽く押します。
電源ソケット収納部が開きます。
- ▶ 電源ソケットのカバー ② を開きます。

トランク内の電源ソケット



- ▶ 電源ソケットのカバー ① を開きます。

後席のクーリングボックス

重要な安全上の注意事項

警告

クーリングボックスの換気グリルが覆われている場合は、過熱することがあります。火災の危険性があります。換気グリルが覆われていないことを常に確認してください。

クーリングボックスの換気グリルはトランク内にあります。

クーリングボックスの最大積載量は3.5kgです。

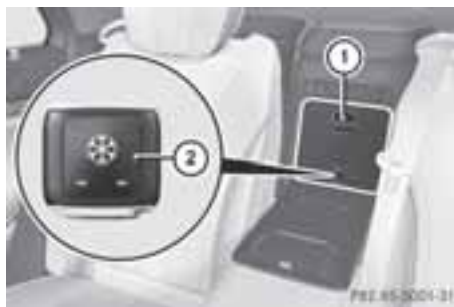
クーリングボックスの上部小物入れにボトルを収納する場合は、ボトルの容量が0.5ℓを超えてはなりません。

クーリングボックスの上部小物入れにはプラスチックのボトルのみを収納してください。

クーリングボックスの使用



- ▶ **リアシートアームレスト装備車両：**リアシートアームレストを下に倒します。
- ▶ ハンドル①を引き、カバー②を下に倒します。



- ▶ **開く：**カバーのハンドル①を引きます。
- ▶ カバーを前に倒します。
- ▶ **冷却レベルを弱に切り替える：**スイッチ②を1度押します。
スイッチの表示灯が1つ点灯します。
- ▶ **冷却レベルを強に切り替える：**スイッチ②を2度押します。
スイッチの表示灯が両方点灯します。
- ▶ **冷却を停止する：**表示灯が消灯するまで、スイッチ②を繰り返し押します。

クーリングボックスの冷却出力は周囲の温度および選択した冷却レベルによって異なります。以下の場合、クーリングボックスは冷却出力を下げたり、または停止します。

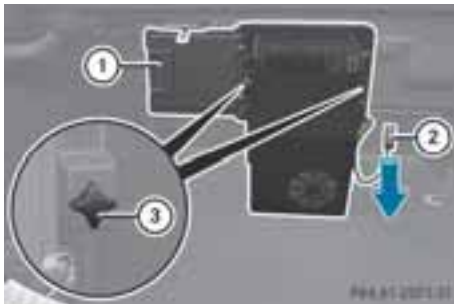
- 多くの電気装備が作動している
- スターターバッテリーが十分に充電されていない

スイッチの表示灯の点滅により、このことが示されます。電圧が十分になるとすぐに、冷却機能は自動的に再度作動します。

クーリングボックスの手入れ

クーリングボックスを長期間使用する必要がない場合は、停止して霜を除去し、清掃してください。その後は、しばらくカバーを開いたままにしてください。

クーリングボックスの取り外しおよび取り付け



メンテナンスのためにクーリングボックスを取り外すことができます。

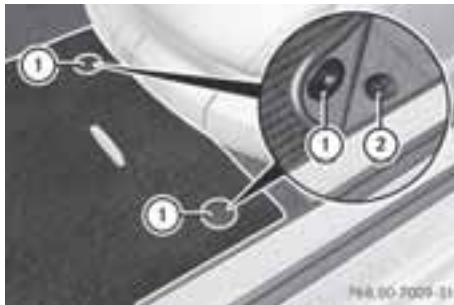
- ▶ **取り外す**：クーリングボックスを停止します。
- ▶ プラグ②を下に引き、外します。
- ▶ 両方のネジ③を緩めます。
- ▶ クーリングボックスを引き出します。
- ▶ フラップ①を閉じます
- ▶ **取り付ける**：マグネットで所定の位置に固定されるまで、フラップ①を横にまわします。
- ▶ クーリングボックスを挿入します。
- ▶ 両方のネジ③を締めます。
- ▶ プラグ②を接続します。

フロアマット

⚠ 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルを妨害することがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。フロアマットは指示にしたがって必ず確実に固定し、ペダル操作の妨げにならないようにペダルとの間に十分な空間があることを確認してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。



- ▶ **運転席および助手席**：対応するシートを後方にスライドします。
- ▶ **後席**：対応する前席を前方にスライドします。
- ▶ 対応するシートを後ろにスライドします。
- ▶ **取り付ける**：フロアマットを足元に敷きます。
- ▶ 前席では、固定される音まで、凹部①を固定部②に押し込みます。

- ▶ **取り外す**：前席では、固定部 ② からフロアマットを引いて外します。
- ▶ フロアマットを取り外します。

赤外線反射フロントウインドウ



赤外線反射ガラスは車内が高温になることを防止します。また、ギガヘルツ帯までの電波が入ることも防止します。

ETC などの無線制御機器を作動させるために、フロントウインドウの①のエリアは電波を通すことができます。これらのエリア内に無線制御機器を取り付けることができます。

これらのエリアは、フロントウインドウの反射光を観察したときに車外から最もよく見える場所です。

後付けした防眩フィルム

ウインドウの内側に防眩フィルムなどを貼付すると、携帯電話やラジオなどの電波に影響をあたえるおそれがあります。導電性フィルムや金属コーティングが施されたフィルムを貼付した場合は、特に電波への影響が懸念されます。防眩フィルムについての詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

役に立つ情報	512
エンジンルーム	512
アシストプラス	523
手入れ	524

役に立つ情報

1 この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

1 メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

エンジンルーム

ボンネット

重要な安全上の注意事項

 警告

ボンネットのロックを解除すると、走行中にボンネットが開くおそれがあり、視界の妨げとなるおそれがあります。事故の危険性があります。

走行中にボンネットのロックを解除しないでください。

 警告

ボンネットを開閉しているときは、ボンネットが急に下がる場合があります。ボンネットの動作範囲では、けがの危険性があります。

ボンネットの動作範囲に誰もいないことを確認して、ボンネットを開閉してください。

 警告

エンジンがオーバーヒートしているときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにして、消防局に連絡してください。

 警告

エンジンルームには可動部品があります。ラジエーターファンなどの特定の構成部品は、イグニッションをオフにした後も動き続けたり、再度突然動くことがあります。けがの危険性があります。

エンジンルームの作業を行わなければならない場合は、以下に従ってください：

- イグニッションをオフにしてください。
- ファンの回転範囲など、可動部品周囲の危険な範囲には決して触れないでください。
- 宝飾品や時計は外してください。
- 衣服や髪の毛などの物は、可動部品から離してください。

⚠ 警告

イグニッションシステムおよび燃料噴射システムは高電圧下で作動しています。高電圧を発生する構成部品に接触すると、感電するおそれがあります。けがの危険性があります。

イグニッションをオンにしたときは、イグニッションシステムまたは燃料噴射システムの構成部品に決して触れないでください。

アクティブボンネット（歩行者保護）

作動原理

! 作動したアクティブボンネットはリセットした後にメルセデス・ベンツ指定サービス工場での修理しなければなりません。その後で、アクティブボンネットは再度作動するようになります。アクティブボンネットによる歩行者保護機能が元に戻ります。

アクティブボンネットは特定の国でのみ作動します。アクティブボンネットは、特定の状況下で歩行者のけがの危険性を軽減させることができます。アクティブボンネットが上がることにより、エンジンなどの固い構成部品との間隔が広がります。

アクティブボンネットが作動すると、ヒンジの後方周辺が約 85mm 上がります。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場まで運転するためには、作動したアクティブボンネットをお客様ご自身でリセットしてください。アクティブボンネットが作動すると、歩行者保護機能が制限されます。

リセット

⚠ 警告

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。



- ▶ ボンネット ① を開きます (▷514 ページ)。
- ▶ ヒンジが音を立てて固定されるまで、ボンネット ① を慎重に持ち上げます (約 45° の位置)。
- ▶ ボンネット ① を閉じます (▷514 ページ)。

ボンネットを開く

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

ボンネットを開いているときに、ワイパーを作動位置のままにしていると、動き出したワイパーリンクージでけがをします。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、必ずワイパーを停止し、イグニッションをオフにしてください。

! ワイパーアームを起こしたままでボンネットを開かないでください。ボンネットとワイパーが接触して、損傷するおそれがあります。



- ▶ フロントワイパーが停止していることを確認します。

- ▶ ボンネットロック解除レバー ① を引きします。

ボンネットのロックが解除されます。



- ▶ 隙間に手を入れ、ボンネット固定ハンドル ② を引き上げながらボンネットを持ち上げます。

ボンネットを約 40cm 持ち上げると、ガス封入式の支柱によりボンネットは自動的に開き、開いたまま保持されます。

ボンネットを閉じる

- ▶ ボンネットを下げ、約 20cm の高さから下ろします。

- ▶ ボンネットが確実に固定されていることを確認します。

ボンネットがわずかに持ち上がる場合は、確実に固定されていません。再度開き、少し力を入れて閉じてください。

エンジンオイル

全体的な注意事項

! エンジンオイルに添加剤を使用しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

! エンジンオイルは使用している間に汚れたり劣化するだけでなく、消費され減少します。定期的にエンジンオイルレベルを点検し、必要に応じて補給または交換してください。

運転スタイルによって、車両は 1,000km 当たり最大 0.8 ℓ のオイルを消費します。新車のときや頻繁にエンジン回転数を上げて走行する場合は、オイル消費量はこれより増加します。

エンジンによっては、オイルレベルゲージは異なる位置に装着されています。

エンジンオイルレベルを点検するときは、以下の点に注意してください。

- 車両を水平な場所に停めます。
- エンジンが通常の作動温度の場合は、約 5 分後にエンジンを停止してください。
- エンジンを短時間のみ始動した場合など、エンジンが通常の作動温度にない場合は、計測を行なう前に約 30 分待ってください。

オイルレベルゲージを使用してオイルレベルを点検する (S600 および S65AMG 以外)

警告

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。








できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。



例

- ▶ エンジンオイルレベルゲージ ① をオイルレベルゲージチューブから引き抜きます。
- ▶ エンジンオイルレベルゲージ ① を拭きます。
- ▶ エンジンオイルレベルゲージ ① をオイルレベルゲージチューブにいっぱいまでゆっくり差し込んで、再度引き抜きます。
レベルが MIN マーク ③ と MAX マーク ② の間にある場合は、オイルレベルは適正です。
- ▶ オイルレベルが MIN マーク ③、またはそれ以下まで下がっている場合は、エンジンオイルを 1.0 ℓ 補充してください。

マルチファンクションディスプレイを使用してのオイル量の点検 (S600 および S65 AMG)

- ▶ エンジンスイッチのキーが **2** の位置にあることを確認します。
- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューのリストを呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**メンテナンス** メニューを選択します。
- ▶ ステアリングの  を押して確定します。
- ▶  または  を使用してサブメニューの**エンジンオイル量** : を選択します。
- ▶  を押して、選択を確定します。

マルチファンクションディスプレイに **エンジンオイルバル 測定中! 正しい測定は 車両水平時のみ可能** というメッセージが表示されます。

測定は数秒かかります。マルチファンクションディスプレイに、以下のメッセージのいずれかが表示されます：

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンオイル量 OK	オイルレベルは正常です。
エンジンオイルを 1 リッター 補充してください	オイル量が低すぎる。 ▶ エンジンオイルを 1.0 ℓ 補給します。
エンジンオイルを 抜いてください	エンジンオイル量が多すぎる ▶ 余分なエンジンオイルは抜き取ってください。
エンジンオイル量 測定するには エンジンが停止している必要があります	イグニッションをオフにした。 ▶ エンジンスイッチのキーを 2 の位置にまわします。
しばらく待ってから エンジンオイル量を測定してください	必要な待機時間が守られていない。 ▶ エンジンが通常の作動温度の場合：約 5 分後に測定を繰り返します。 エンジンが短時間のみ始動した場合など、エンジンが通常の作動温度でない場合：約 30 分後に測定を繰り返します。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンオイル量 エンジン停止時のみ測定できます	<p>エンジンがかかっていて、オイル量の測定ができない。</p> <ul style="list-style-type: none">▶ エンジンを停止します。▶ エンジンが通常の作動温度の場合：測定を行う前に約 5 分間待ちます。 <p>エンジンを短時間のみ始動した場合など、エンジンが通常の作動温度でない場合：測定を行なう前に約 30 分待ちます。</p>

エンジンオイルの追加

警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

警告

エンジンオイルがエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災および火傷の危険性があります。

エンジンオイルが補給口の脇に付着していないことを確認してください。エンジンを冷やし、エンジンを始動する前に、エンジンオイルが付着した構成部品を清掃してください。

環境に関する注意事項

エンジンオイルを補給するときは、こぼさないように注意してください。エンジンオイルが地面や排水溝に流れると、環境に悪影響を与えます。

! 点検整備用に承認されているエンジンオイルおよびオイルフィルターのみを使用してください。サービスプロダクトに関するメルセデス・ベンツの仕様に適合するためにテストされ、承認されたエンジンオイルとオイルフィルターのリストはメルセデス・ベンツ指定サービス工場です。入手できます。

以下により、エンジンまたは排気システムを損傷するおそれがあります。

- 点検整備用に承認されていないエンジンオイルやオイルフィルターの使用
- 点検整備で定められている交換期間を過ぎた後のエンジンオイルやオイルフィルターの交換
- エンジンオイル添加剤の使用

! オイルを過剰に補給しないでください。エンジンオイルを過剰に補給すると、エンジンまたは触媒が損傷する可能性があります。余分なエンジンオイルは抜き取ってください。



例

- ▶ キャップ ① を反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ エンジンオイルを補給します。
オイルレベルがオイルレベルゲージのMIN マーク、またはそれ以下の場合は、エンジンオイルを 1.0 ℓ 補充してください。
- ▶ キャップ ① を補給口に合わせ、時計回りにまわします。キャップが元の場所に確実にロックされていることを確認します。
- ▶ エンジンオイルレベルゲージを使用してオイルレベルを再度点検します (▷ 515 ページ)。

エンジンオイルについてのさらなる情報は (▷ 600 ページ) をご覧ください。

定期的なエンジンオイルの交換

エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルターは定期的に交換することをお勧めします。アシストプラスのメンテナンスインジケーター表示により、標準的な交換時期が定められています。ただし、交換時期は使用状況に左右されます。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

冷却水

冷却水レベルの点検

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

エンジンが温まっている場合は特に、エンジン冷却システムには圧力がかかっています。キャップを開くときは、高温の冷却水が吹き出す可能性があります。火傷の危険性があります。

キャップを開く前に、エンジンを冷ましてください。開くときは、手袋および保護メガネを着用してください。キャップをゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜いてください。



- ▶ 車両を水平な場所に停めます。

車両が水平な場所にあり、エンジンが冷えている場合에만、冷却水レベルを点検してください。

- ▶ イグニッション位置を **2** にします。
- ▶ メーターパネルのエンジン冷却水温度表示を確認します。冷却水温度は70℃以下でなければなりません。
- ▶ イグニッション位置を **0** にします。
- ▶ クリップを外して、冷却水リザーブタンク上のカバーを取り外します。
- ▶ キャップ①を反時計回りにゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。
- ▶ キャップ①をさらに反時計回りにまわして取り外します。

冷えているときに冷却水が補給口内のマーカー③のレベルにある場合は、冷却水リザーブタンク②内に十分な冷却水があります。

水温が温かいときに、冷却水レベルが補給口内のマーカー③から約1.5cm以上の高さであれば、冷却水リザーブタンク②内に十分な冷却水があります。

- ▶ キャップ①を取り付け、時計回りにいっぱいまでまわします。

プラグインハイブリッド車両：ハイブリッドシステムの冷却水リザーブタンクには補充しないでください。

冷却水についてのさらなる情報は（▶602ページ）をご覧ください。

冷却水の補給

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

不凍液がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災および火傷の危険性があります。

不凍液を補給する前にエンジンを冷やしてください。不凍液の濃縮液が補充口の脇に付着していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、不凍液が付着した構成部品を清掃してください。

! 冷却水が塗装面に付着しないように注意してください。塗装面が損傷するおそれがあります。



冷却水リザーブタンク②内の冷却水レベルが低すぎる場合は、水平な場所に停止し、エンジンが冷えているときに冷却水を補給してください。

- ▶ キャップ①を反時計回りにゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。
- ▶ キャップ①をさらに反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ 冷却水をマーカー③まで補給してください。

使用状況 (▷603 ページ) に適した水道水および不凍液 / 腐食剤の混合液を使用します。

- ▶ キャップ①を取り付け、時計回りにいっぱいまでまわします。
- ▶ エンジンを始動し、約 5 分後に再度停止して冷まします。
- ▶ 冷却水レベル (▷519 ページ) を点検し、必要であれば補給します。

定期的な冷却水の交換

冷却水の品質は時間とともに劣化します。整備手帳の指示に従い、定期的に冷却水を交換してください。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

エンジンのオーバーヒート

警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

警告


エンジンがオーバーヒートしているときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにして、消防局に連絡してください。

警告

エンジンが温まっている場合は特に、エンジン冷却システムには圧力がかかっています。キャップを開くときは、高温の冷却水が吹き出す可能性があります。火傷の危険性があります。キャップを開く前に、エンジンを冷ましてください。開くときは、手袋および保護メガネを着用してください。キャップをゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜いてください。

オーバーヒートしたときは：

- メーターパネルに約 120℃以上の冷却水温度が表示されます。
- マルチファンクションディスプレイに冷却水が減少 停車して エンジンを停止 というメッセージが表示されます。
- エンジンがかかっているときに、メーターパネルに赤色の  冷却水警告灯が表示されます。
- エンジンルームから蒸気が発生します。

他のサービスプロダクト

ウインドウウォッシャーシステムの補給

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

ウインドウウォッシャー液が熱いエンジン部品または排気システムに触れた場合、発火するおそれがあります。火災およびけがの危険性があります。

ウインドウウォッシャー液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。



- ▶ **開く**：タブを持ってキャップ①を引き上げます。
- ▶ 補給口の端にキャップ①を置き、その場所に固定します。
- ▶ あらかじめ混合しておいたウォッシャー液を補給します。

- ▶ **閉じる**：固定されるまで、キャップ①を補給口に押し付けます。

ウォッシャー液レベルが推奨最少量である 1 ℓ 以下に下がった場合は、ウォッシャー液を補充するように促すメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます (▶456 ページ)。

フロントウインドウのウォッシャー液 / 不凍液についてのさらなる情報は (▶603 ページ) をご覧ください。

ブレーキ液量

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合は、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

! ブレーキ液リザーブタンクのブレーキ液レベルが MIN マークまたはそれ以下まで低下しているときは、ただちにブレーキシステムの漏れを点検してください。ブレーキパッド / ライニングの厚みも点検してください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。

絶対にブレーキ液を補給しないでください。これを行なっても問題は解消しません。

ブレーキ液レベルの点検は、必ず水平な場所に停車した状態で行ってください。レベルがブレーキ液リザーブタンクの MIN マークと MAX マークの間にある場合は、ブレーキ液レベルは適正です。

アシストプラス

メンテナンスメッセージ

定期点検には以下のものがあります。

- 日常点検 - 点検時に異常を発見した場合は、できるだけ早くメルセデス・ベンツ指定サービス工場で車両の点検を受けてください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。日常点検に関する情報は、別冊の整備手帳をご覧ください。
- 1年ごとの法定点検
- 2年ごとの法定点検

法定点検の次回期日を記したステッカーは、フロントウィンドウに貼付してあります。

i アシストプラスメンテナンスインジケータには、法定点検の期日は考慮されません。

アシストプラスメンテナンスインジケータは、次回の点検期日をお知らせします。点検の種類と点検時期に関する情報は、別冊の整備手帳をご覧ください。

さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

i アシストプラスメンテナンスインジケータは、エンジンオイルレベルに関するいかなる情報も表示しません。エンジンオイルレベルに関する注意事項に従ってください (▷514 ページ)。

マルチファンクションディスプレイに以下のようなメンテナンスメッセージが数秒間表示されます。

- 次のメンテナンス A あと ... 日です
- メンテナンス A 期限が切れます
- メンテナンス ... 日 超過しました

車両の使用条件により、次の点検整備予定期日までの日時または距離が表示されます。

数字や他の文字を伴うことがある文字 A または B は、メンテナンスの種類を表しています。A は小規模なメンテナンス、B は大規模なメンテナンスを示しています。

さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

アシストプラスメンテナンスインジケータは、バッテリーの接続を外している間の期日を考慮していません。

時期に応じた点検整備スケジュールは、以下のように管理してください。

▶ バッテリーの接続を外す前に、マルチファンクションディスプレイに表示されている点検整備予定期日をメモしてください。








または

▶ バッテリーを再度接続した後に、ディスプレイに表示されている点検整備予定期日からバッテリーの接続を外していた期間を引いてください。

点検整備メッセージを非表示にする

▶ ステアリングの **OK** または **↵** スイッチを押します。

点検整備メッセージを表示する

- ▶ イグニッションをオンにします。
- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューの **メンテナンス** を呼び出します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、メニューの **メンテナンス** を選択し、 を押して確定します。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、サブメニューの **メンテナンス** を選択し、 を押して確定します。

マルチファンクションディスプレイに点検整備予定期日が表示されます。

メンテナンスに関する情報

アシストプラスメンテナンスインジケータ画面のリセット

! 不注意でメンテナンスインジケータをリセットしたときでも、この設定はメルセデス・ベンツ指定サービス工場では修整することができます。

整備手帳に記載されているように点検作業を実施してください。さもないと、主要部品や車両の摩耗が進んだり、損傷するおそれがあります。

点検整備作業の実施後、メルセデス・ベンツ指定サービス工場はアシストプラスメンテナンスインジケータ画面のリセットを行いません。点検整備作業などに関するさらなる情報も入手できます。

特別な点検整備

所定の点検整備間隔は、通常の車両の使用を元にしてしています。以下のような過酷な状況、または大きな負荷で車両が使用される場合は、より頻繁に点検整備作業を行なう必要があります。

- 頻繁に停止を繰り返す一般的な市街地走行
- 車両が主に短距離で使用される場合
- 山間地や路面の悪い道路での頻繁な使用
- エンジンを長い時間アイドリングさせることが多い場合

上記または類似の使用条件では、エアフィルター、エンジンオイルおよびオイルフィルターなどをより頻繁に交換してください。高い負荷で車両が使用されている場合は、より頻繁にタイヤを点検する必要があります。さらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

手入れ

全体的な注意事項

環境に関する注意事項

空の容器や使用済みのクリーニングクロスは、環境に配慮した方法で廃棄してください。

! お車の手入れを行なう場合は、次のものは絶対に使用しないでください。

- 乾いた布や目の粗い布、硬めの布など
- 研磨剤を含む洗剤
- 溶剤
- 溶剤を含む洗剤

強く擦らないでください。

指輪やスクレーパーなどのかたい物が、塗装面や保護膜に触れないようにしてください。塗装面や保護膜が損傷するおそれがあります。

! 特にホイールクリーナーでホイールを清掃した後は、清掃したままで車両を長い間駐車しないでください。ホイールクリーナーが、ブレーキディスクやブレーキパッド / ライニングの錆を増加させる原因になるおそれがあります。このため、清掃した後は数分間走行してください。ブレーキディスクやブレーキパッド / ライニングをブレーキ効果により加熱して乾燥させます。その後で駐車してください。

定期的な車の手入れにより、長い期間品質を保つことができます。

メルセデス・ベンツが推奨し、承認した手入れ用品およびクリーナーを使用してください。

洗車と塗装面の清掃

自動洗車機

警告

自動洗車機で洗車した直後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。事故の危険性があります。

車両を洗車した後は、完全にブレーキの性能が元に戻るまでは道路状況に注意して慎重にブレーキ操作を行なってください。

! ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキが効きます。車両の損傷を防ぐため、以下のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

! 自動洗車機で洗車するときは、以下に注意してください：

- サイドウィンドウとスライディングルーフが完全に閉じていることを確認してください。
- ベンチレーション / ヒーターの送風を停止してください (OFF スイッチが押されていること)。
- ワイパースイッチを **0** の位置にしてください。
- 360° カメラシステムまたはリアビューカメラをオフにしてください。

車両を損傷するおそれがあります。

! キーがキーレスゴーの後方検知範囲内にある場合は、例えば以下の状況でトランクが不意に開くことがあります。

- 洗車機を使用したとき
- 高圧式スプレーガンを使用したとき

キーが車両から少なくとも 3m 離れていることを確認してください。

! けん引式の洗車機で洗車するときは、オートマチックトランスミッションがニュートラルポジション **N** にあることを確認してください。車両を損傷するおそれがあります。

- キーでの操作

エンジンスイッチからキーを抜かないでください。エンジンが停止しているか、または非常に低い速度のときは運転席ドアを開かないでください。さもないと、トランスミッションポジションが **D** または **R** のときは、オートマチックトランスミッションが自動的にパーキングポジション **P** に切り替わり、車輪をロックします。

- キーレスゴースイッチでの操作

エンジンを停止しているか、または非常に低い速度のときは運転席ドアを開かないでください。さもないと、トランスミッションポジションが **D** または **R** のときは、オートマチックトランスミッションが自動的にパーキングポジション **P** に切り替わり、車輪をロックします。

以下に従って、オートマチックトランスミッションがニュートラルの位置 **N** になっていることを確認してください。

キーでの操作

- ▶ イグニッションがオンになっていることを確認します。

- ▶ 車両が停止していることを確認してください。
- ▶ ブレーキペダルを踏んだまま保持します。
- ▶ ニュートラル **N** を選択します。
- ▶ ブレーキペダルを放します。
- ▶ 必要であれば、電気式パーキングブレーキを解除します。
- ▶ イグニッションをオフにして、エンジンスイッチにキーを残したままにします。

キーレスゴースイッチでの操作

- ▶ イグニッションがオンになっていることを確認します。
- ▶ 車両が停止していることを確認してください。
- ▶ ブレーキペダルを踏んだまま保持します。
- ▶ パーキングポジション **P** に入れます。
- ▶ ブレーキペダルを放します。
- ▶ エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します (▷236 ページ)。
- ▶ エンジンスイッチにキーを差し込みます。イグニッションをオンにします。
- ▶ ブレーキペダルを踏んだまま保持します。
- ▶ ニュートラル **N** を選択します。
- ▶ ブレーキペダルを放します。
- ▶ 必要であれば、電気式パーキングブレーキを解除します。
- ▶ イグニッションをオフにして、エンジンスイッチにキーを残したままにします。

最初から自動洗車機で洗車することができます。ひどい汚れは、自動洗車機で洗車をする前に洗ってください。自動洗車機を使用した後は、フロントウィンドウやワイパーブレードのワックスを拭いてください。フロントウィンドウの残留物に起因する汚れを防ぎ、ワイパーのノイズを低減します。

手洗い

- ▶ 高温のお湯は使用せず、直射日光の下で洗車しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジを使用して清掃してください。
- ▶ メルセデス・ベンツにより承認されたカーシャンプーなどの中性洗剤を使用してください。
- ▶ 低圧の水流で車両全体に水をかけてください。
- ▶ 外気取り入れ口には直接水をかけないでください。
- ▶ スポンジをこまめにすすぎながら、十分な量の水を使用します。
- ▶ 車両をきれいな水で洗い流した後、セーム皮で全体を拭きます。
- ▶ 塗装面で洗浄液を乾燥させないでください。

冬季に車両を使用したときは、注意しながら道路の塩分堆積物のすべての跡をできるだけ早く除去してください。

高圧式洗浄機器

警告

円形ジェットノズル（粉塵グラインダー）の水流は、タイヤまたはシャーシの部品に外見からは目に見えない損傷を引き起こすおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあります。事故の危険性があります。

車両を清掃するときに円形ジェットノズル付きの高圧式スプレーガンを使用しないでください。損傷したタイヤまたはシャーシの部品はすぐに交換してください。

! 車両と高圧式スプレーガンのノズルの間には、常に最低でも約 30cm 以上の距離を空けてください。適正な距離については、製品のメーカーにご確認ください。

車両を清掃するときは、高圧式スプレーガンのノズルを円を描くように動かしてください。

以下のものには直接向けないでください。

- タイヤ
- ドアの間隙、ルーフの間隙、継ぎ目など
- 電気装備
- バッテリー
- コネクター
- ライト
- シール
- トリム部品
- 換気用の隙間

シールや電気装備が損傷して、水漏れや故障につながります。

! キーがキーレスゴーの後方検知範囲内にある場合は、例えば以下の状況ではトランクが不意に開くことがあります。

- 洗車機を使用したとき
- 高圧式スプレーガンを使用したとき

キーが車両から少なくとも 3m 離れていることを確認してください。

塗装面の清掃

! ボディの表面には、次のものを貼り付けしないでください。

- ステッカー
- フィルム
- マグネット

塗装面が損傷するおそれがあります。

誤って傷を付けたり、誤った手入れにより錆などが発生したときは、補修が困難になる場合もあります。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

- ▶ 可能であれば、不純物は強くこすらないようにしてただちに取り除いてください。
- ▶ 虫の死がい、インセクトリムーバーをしみこませ、その後で手入れを行なった範囲を洗い流してください。
- ▶ 鳥のふんは、水をしみこませ、その後で手入れを行なった範囲を洗い流してください。
- ▶ 冷却水、ブレーキ液、樹液、オイル、燃料、グリスなどは、エーテルやライターオイルを染み込ませた布で軽く拭いて、取り除いてください。
- ▶ タールの汚れは、タール除去剤を使用して取り除いてください。

- ▶ ワックスは、シリコン除去剤を使用して取り除いてください。

マットペイントの手入れと取り扱い

! 車両や軽合金ホイールを研磨しないでください。研磨すると光沢がある仕上がりの原因になります。

! 以下により塗装に艶が出て、マット効果が減少することがあります。

- 不適切な素材での力強い研磨
- 洗車機の頻繁な使用
- 直射日光の下での洗車

! 塗装クリーナーや研磨・艶出し用品、ワックスのような光沢復活剤を使用しないでください。これらの製品は、高い艶がある表面のみに適したものです。これらの製品をマット仕上げ車両に使用すると、表面の著しい損傷（光沢のあるシミ部分）につながります。

塗装面の補修は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

! ホットワックス仕上げによる洗車サービスは絶対に利用しないでください。

車両がクリアマット仕上げの場合は、これらの注意事項に従ってください。適切でない取り扱いにより、塗装に損傷を与えることを防ぐのに役立ちます。

これらの注意事項はクリアマット仕上げの軽合金ホイールにも当てはまります。

車両は、柔らかいスポンジやカーシャンプー、十分な水を使用して手で洗うようにしてください。

インセクトリムーバーおよびカーシャンプーは、メルセデス・ベンツが推奨し、承認した製品のみを使用してください。

車両部品の清掃

車輪の清掃

警告

円形ジェットノズル（粉塵グラインダー）の水流は、タイヤまたはシャーシの部品に外見からは目に見えない損傷を引き起こすおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあります。事故の危険性があります。

車両を清掃するときに円形ジェットノズル付きの高圧式スプレーガンを使用しないでください。損傷したタイヤまたはシャーシの部品はすぐに交換してください。

! ホイールには酸性ホイールクリーナーを絶対に使用しないでください。ホイールボルトやブレーキ部品が損傷するおそれがあります。

! 特にホイールクリーナーでホイールを清掃した後は、清掃したままで車両を長い間駐車しないでください。ホイールクリーナーが、ブレーキディスクやブレーキパッド/ライニングの錆を増加させる原因になるおそれがあります。このため、清掃した後は数分間走行してください。ブレーキディスクやブレーキパッド/ライニングをブレーキ効果により加熱して乾燥させます。その後で駐車してください。

ウインドウの清掃

警告

ワイパーを作動の位置のままにしていると、フロントウインドウまたはワイパーブレードの清掃中に、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

フロントウインドウまたはワイパーブレードを清掃する前に、必ずワイパーを停止し、イグニッションをオフにしてください。

! ウインドウの内側を清掃する場合は、乾いた布や研磨剤、有機溶剤や有機溶剤を含むクリーナーを使用しないでください。アイススクレーパーや指輪などの硬質のものがウインドウの内側に触れないようにしてください。ウインドウを損傷する危険性があります。

! フロントウインドウおよびリアウインドウの排水口を定期的に清掃してください。特定の状況では、葉、花びら、花粉などの堆積物により排水されなくなり、腐食による損傷や電子部品の損傷につながるおそれがあります。

▶ 湿らせた布とメルセデス・ベンツが推奨し、承認したクリーナーでウインドウの内側と外側を清掃してください。

ワイパーブレードの清掃

⚠ 警告

ワイパーを作動の位置のままにしていると、フロントウインドウまたはワイパーブレードの清掃中に、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

フロントウインドウまたはワイパーブレードを清掃する前に、必ずワイパーを停止し、イグニッションをオフにしてください。

! ワイパーブレードを持って引っ張らないでください。ワイパーブレードが損傷するおそれがあります。

! ワイパーブレードを頻繁に清掃したり、強く擦ったりしないでください。グラファイトコーティングが損傷するおそれがあります。ワイパーからノイズが発生する原因になります。

! ワイパーアームを確実に持ってから、元の位置に戻してください。ワイパーアームが不意に当たると、フロントウインドウに傷が付くおそれがあります。

▶ ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。

▶ 湿らせた布を使用して、注意してワイパーブレードを清掃します。

▶ イグニッションをオンにする前に、ワイパーを再度元に戻します。

車外ライトの清掃

! 必ずプラスチック製レンズに適した洗剤やクリーニングクロスのみを使用してください。適切でない洗剤やクリーニングクロスは、車外ライトのプラスチック製レンズを傷つけたり、損傷するおそれがあります。

▶ メルセデス・ベンツ純正シャンプーやクリーニングクロスなど、湿らせたスポンジと中性洗剤を使用して車外ライトのプラスチック製レンズを清掃してください。

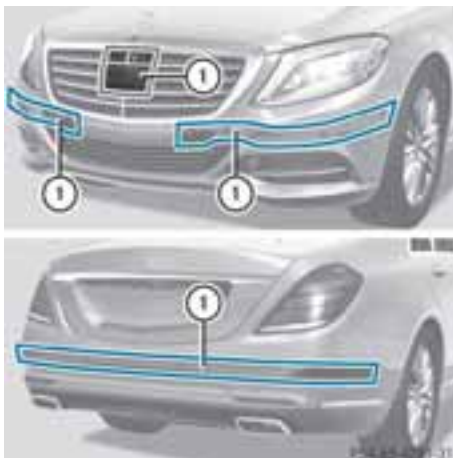
ドアミラー方向指示灯

! 必ずプラスチック製レンズに適した洗剤やクリーニングクロスのみを使用してください。適切でない洗剤やクリーニングクロスは、ドアミラー方向指示灯のプラスチック製レンズを傷つけたり、損傷するおそれがあります。

▶ メルセデス・ベンツ純正シャンプーやクリーニングクロス、またはスポンジなどを使用してドアミラーユニットにあるドアミラー方向指示灯のプラスチック製レンズを清掃してください。

センサーの清掃

! 高圧式スプレーガンを使用してセンサーを清掃するときは、スプレーガンのノズルと車体の距離を約 30cm 以上離してください。適正な距離については、製品のメーカーにご確認ください。



- ▶ 走行システムのセンサー①は、カーシャンプーを混ぜた水で汚れを落とし、柔らかい布で拭き取ってください。

パーキングアシストリアビューカメラの清掃

! 高圧式スプレーガンを使用する場合は、カメラのレンズやパーキングアシストリアビューカメラの周囲を避けてください。



- ▶ 停車していること、およびイグニッション位置が1または2にあることを確認します。
- ▶ **パーキングアシストリアビューカメラのカバーを開く**：COMANDシステムを作動させて、車両メニューを呼び出します。☞スイッチを押します。
- ▶ メニューバーに切り替える：コントローラーをスライドします ↓。
- ▶ **設定**を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **リビューカメラ**を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **カメラのカメラを開ける**を選択する：コントローラーをまわして、押します。パーキングアシストリアビューカメラのカバーが開きます。

- ▶ **パーキングアシストリアビューカメラを清掃する**：清潔な水および柔らかい布を使用して、カメラレンズ①を清掃してください。

360°カメラシステムの清掃

! 高圧式スプレーガンを使用する場合は、カメラのレンズや360°カメラシステムの周囲を避けてください。



- ▶ 停車していること、およびイグニッション位置が2にあることを確認します。
- ▶ **360°カメラシステムのカバーを開く**：COMANDシステムを作動させて、車両メニューを呼び出します。☞スイッチを押します。
- ▶ メニューバーに切り替える：コントローラーをスライドします ↓。
- ▶ **設定**を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **360°カメラ**を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **カメラのカメラを開ける**を選択する：コントローラーをまわして、押します。360°カメラシステムのカバーが開きます。
- ▶ **360°カメラシステムを清掃する**：清潔な水および柔らかい布を使用して、カメラレンズ①を清掃してください。

30km/h以上の速度で走行している場合、またはイグニッション位置が**0**または**1**のときは、360°カメラシステムのカバーが自動的に閉じます。

マフラーの清掃

⚠ 警告

マフラーのテールパイプおよびテールエンドが非常に熱くなることがあります。車両のこれらの部品に触れた場合は、やけどするおそれがあります。けがのおそれがあります。

特にマフラーのテールパイプおよびテールエンド周辺には常に注意してください。これらの構成部品に触れる前には冷ましてください。

! ホイールクリーナーなど、酸性のクリーナーでマフラーを清掃しないでください。

路面の小石や腐食性の環境物質などが混ざった不純物が、マフラーの表面に発生する錆の原因になることがあります。特に、冬季や洗車後などは、定期的に清掃することにより、マフラーの元来の輝きを取り戻すことができます。

▶ メルセデス・ベンツによりテストされ、承認されたケア製品でマフラーを清掃してください。

車内の手入れ

ディスプレイの清掃

! ディスプレイの手入れには、以下のものは絶対に使用しないでください。

- アルコールやシンナー、ガソリン
- 研磨剤を含む洗剤
- 市販の家庭用洗剤

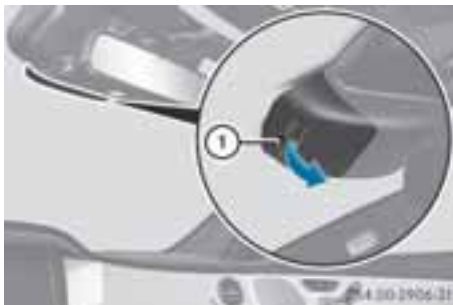
これらを使用すると、ディスプレイ表面のコーティングを傷付けるおそれがあります。ディスプレイ表面を強くこすらないでください。ディスプレイが損傷して修理できなくなるおそれがあります。

- ▶ ディスプレイを清掃する前に、ディスプレイがオフになっていて、冷めていることを確認します。
- ▶ 市販のマイクロファイバークロスとTFT液晶ディスプレイクリーナーを使用して、ディスプレイ表面を清掃します。
- ▶ 乾いたマイクロファイバークロスを使用してディスプレイ表面を拭きます。

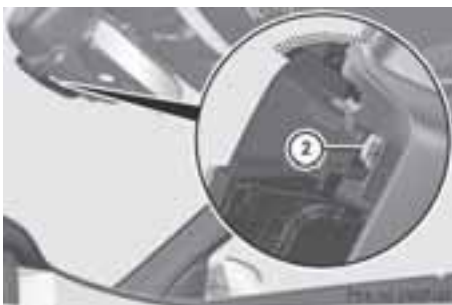
ナイトビューアシストプラスの清掃

フロントウインドウ後方のカメラの清掃

! カメラのレンズを拭かないでください。ナイトビューアシストプラスのカメラ前方のフロントウインドウを清掃するときは、スプレー式のウインドウクリーナーがカメラのレンズに付着しないように注意してください。カメラレンズが汚れている場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。



▶ カバーの凹部①に指を入れて下に開きます。



- ▶ 柔らかい布で、カメラ②前面のフロントウィンドウを清掃します。

ラジエーターリムのカメラの清掃



ウィンドウウォッシャーシステムを作動させることにより、カメラレンズ①は定期的な間隔で清掃されます。

- ▶ 著しく汚れているときは、清潔な水と柔らかい布を使用して、カメラレンズ①を清掃します。

プラスチックトリムの清掃

⚠ 警告

手入れおよび清掃をするときに、溶剤を含む洗剤を使用すると、ダッシュボードの表面がもろくなります。エアバッグが作動するときに、プラスチック部品が破損するおそれがあります。けがの危険性があります。

ダッシュボードの手入れおよび清掃の際には、溶剤を含む洗剤を使用しないでください。

❗ プラスチックの表面には、以下のものを貼り付けしないでください。

- ステッカー
- フィルム
- 芳香ボトルや類似のもの

プラスチックを損傷するおそれがあります。

❗ 化粧品、殺虫剤、日焼け止めなどが樹脂製トリムに付着しないようにしてください。表面の光沢や質感が損なわれるおそれがあります。

▶ 湿らせたマイクロファイバークロスなどの柔らかい布でプラスチックトリムを拭きます。

▶ 汚れがひどいとき：メルセデス・ベンツにより推奨され、承認されたカーケア用品および清掃用品を使用してください。表面が一時的に変色することがあります。表面が再度乾くまでお待ちください。

ステアリングおよびセクターレバーの清掃

- ▶ 湿らせた布、またはメルセデス・ベンツによって推奨され承認された手入れ用品を使用して全体を拭いてください。

ウッドトリムおよびトリムエレメントの清掃

! タール除去剤、ホイールクリーナー、光沢剤、ワックスなどの有機溶剤を絶対に使用しないでください。トリム表面を傷つけるおそれがあります。

- ▶ ウッドトリムやトリム部品は、湿らせたマイクロファイバークロスなどの柔らかい布で拭いてください。
- ▶ 汚れがひどいとき：メルセデス・ベンツにより推奨され、承認されたカーケア用品および清掃用品を使用してください。

シート表皮の清掃

全体的な注意事項

! 純正本革、人工皮革またはDINAMICAの表皮の清掃には、マイクロファイバークロスを使用しないでください。頻繁に使用すると、表皮を損傷するおそれがあります。

シートの外観と快適性をいつまでも保つためには、定期的な手入れが大切です。

本革シート表皮

! 革本来の特性を保つには、以下の日常の手入れに従ってください。

- 純正本革の表皮は、湿らせた布で注意して清掃し、その後に乾いた布で表皮を拭きます。

- 革が濡れないように注意してください。硬化やひび割れにつながります。
- メルセデス・ベンツがテストし、承認したレザーケア用品のみを使用してください。詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

革は天然素材です。表面には次のように自然な特徴があります。

- 凹凸のある組織
- 成長痕および傷跡
- 微妙な色の違い

これらは革の特徴であり、製品の欠陥ではありません。

そのほかの素材のシート表皮

! 清掃するときは、以下のことに注意してください。

- 人工皮革のカバーは、1%の洗剤（洗濯液など）を含む溶液で湿らせた布で清掃します。
- 布のカバーは、1%の洗剤（洗濯液など）を含む溶液で湿らせたマイクロファイバークロスで清掃します。注意深く汚れを落とし、シート全体をまんべんなく拭き取り、拭き跡が残らないようにします。その後、シートを乾燥させます。清掃の効果は、汚れの種類およびどの程度の期間汚れていたかによります。
- DINAMICA カバーは湿らせた布で汚れを拭き取ります。目に見える線が残らないように、シート全体をまんべんなく拭きます。

シートベルトの清掃

警告

シートベルトは漂白や染色によって劣化する可能性があります。その結果、シートベルトが事故のときにちぎれたり、機能しなくなる可能性があります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。シートベルトを漂白したり、染色しないでください。

! シートベルトの手入れには、ケミカル洗剤を使用しないでください。約 80℃以上の温度や直射日光に当てて乾燥させないでください。

- ▶ めるま湯と中性洗剤を使用して清掃します。

ルーフライニングとカーペットの清掃

- ▶ **ルーフライニング**：非常に汚れている場合は、柔らかいブラシ、またはドライシャンプーを使用します。
- ▶ **カーペット**：メルセデス・ベンツによって推奨および承認されてるカーペットや布用のクリーナーを使用します。

役に立つ情報	538
車載品の収納場所	538
バンク	541
バッテリー（車両）	546
ジャンプスタート	553
けん引およびけん引始動	557
ヒューズ	561

役に立つ情報

1 この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

1 メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

車載品の収納場所

非常信号用具

車内には懐中電灯が装備されています。運転席ドアまたは助手席ドアのいずれかの小物入れに収納されています。

1 新品の懐中電灯には電池の自然放電を防ぐため、電池の間に紙片が挟まれています。初めて使用する前に、紙片を取り除いてください。

1 懐中電灯が十分な明るさで点灯することを定期的に点検してください。電池が放電した場合は交換してください。

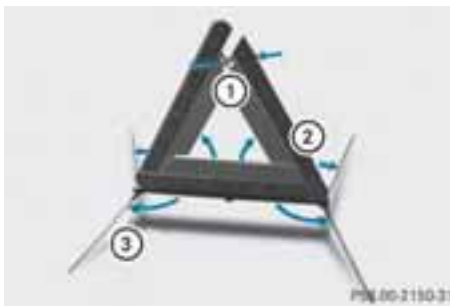
停止表示板

停止表示板の取り外し / 取り付け



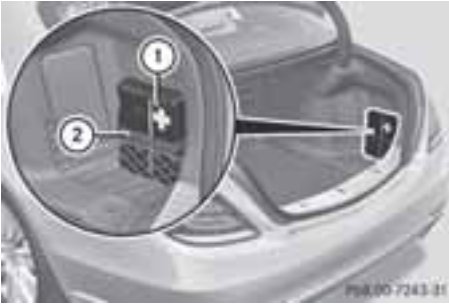
- ▶ **取り外す**：トランクリッドを開きます。
- ▶ 停止表示板ホルダー ① を矢印の方向に押し、開きます。
- ▶ クリップ ③ を持ち上げ、停止表示板 ② を取り外します。
- ▶ **取り付ける**：停止表示板 ② を停止表示板ホルダー ① に戻します。
- ▶ 停止表示板ホルダー ① を閉じ、押し上げて固定します。

停止表示板の組み立て



- ▶ 脚部 ③ を引き出します。
- ▶ 側方の反射板 ② を上方に起こして三角形を作り、押し込み式スタッド ① を使用して、上部で固定します。

救急セット



救急セット①はトランク右側の収納ネットの中にあり、ベルクロファスナー②で固定されています。

- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ ベルクロファスナー②を開きます。
- ▶ 救急セット①を取り出します。

i 最低1年に1度、救急セットの使用期限を点検してください。必要な場合は内容物を交換し、なくなった物は補充してください。

車載工具

全体的な注意事項

けん引フックは、トランクフロア下の収納スペースにあります。

i 国ごとの仕様違いを除き、通常車両には車輪交換用工具は装備されていません。車両に車輪交換用工具が装備されている場合、それらはトランクフロア下の収納スペースにあります。車輪交換用工具の中には、その車両専用のものがあります。車両の車輪交換を行なうために必要となる、承認された車輪交換用工具についての詳細情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

車輪交換に必要な工具は、以下のものなどが含まれます。

- 輪止め
- ジャッキ
- ホイールレンチ
- ラチェットレンチ
- ガイドボルト
- けん引フック

※車種や仕様により、車載工具の内容は異なります。

タイヤフィットキット装備車両

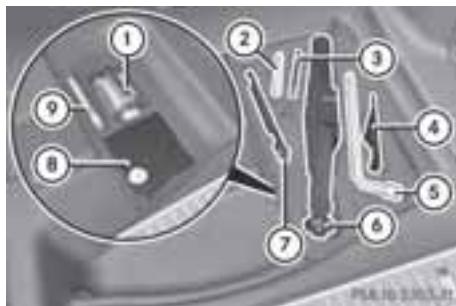


例

- ① タイヤフィット充填ボトル
- ② タイヤ充填コンプレッサー
- ③ けん引フック

- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ トランクフロアボードを持ち上げます (▷496 ページ)。
- ▶ タイヤフィットキットを使用します (▷543 ページ)。

車輪交換用工具キット装備車両



例：装備および国別仕様による違いがあります

- ① タイヤフィット充填ボトル
- ② ガイドボルト
- ③ ジャッキサポート
- ④ 折りたたみ式輪止め
- ⑤ ホイールレンチ
- ⑥ ジャッキ
- ⑦ ラチェット
- ⑧ タイヤ充填コンプレッサー
- ⑨ けん引フック

車輪交換用工具キットは、トランクフロア下の収納スペースのトレイにあります。

- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ トランクフロアボードを上方に持ち上げます (▷496 ページ)。

AMG 車両



例：装備および国別仕様による違いがあります

- ① タイヤフィット充填ボトル
- ② ジャッキ
- ③ ラチェットレンチ
- ④ ガイドボルト
- ⑤ ジャッキサポート
- ⑥ ソケット
- ⑦ ホイールレンチ
- ⑧ けん引フック
- ⑨ 輪止め
- ⑩ タイヤ充填コンプレッサー

車輪交換用工具キットは、トランクフロア下の収納スペースのトレイにあります。

- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ トランクフロアボードを持ち上げます (▷496 ページ)

パンク

車両の準備

車両によって、以下の装備があります。

- MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）（▷569 ページ）
MOExtended タイヤ装備車両では、車両の準備作業は必要ありません。
- タイヤフィットキット（▷543 ページ）
- 応急用スペアタイヤ（一部の国のみ）（▷592 ページ）

車輪の交換 / 装着に関する情報は（▷575 ページ）をご覧ください。

- ▶ 交通の妨げにならず、かたくて滑らない水平な場所に車両を停車します。
 - ▶ 非常点滅灯を作動させます。
 - ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷577 ページ）。
 - ▶ 可能な場合は、前輪を直進位置にしてください。
 - ▶ エンジンを停止します。
 - ▶ 運転席ドアを開きます。
車両の電気システムが **0** の状態になります。これにより、キーを抜いたときと同様になります。
 - ▶ エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します（▷236 ページ）。
- または、キーがエンジンスイッチに差し込まれている場合：
- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
 - ▶ 乗員全員を車両から降ろします。そのときは、乗員が危険にさらされていないことを確認してください。

- ▶ 車輪を交換している間は、危険なエリアの近くに誰もいないことを確認してください。タイヤ交換を直接補助しない人は、フェンスの向こう側に立つなどしてください。
- ▶ 車両から降りてください。そのときは交通状況に注意してください。
- ▶ 運転席ドアを閉じます。
- ▶ 適切な距離を離して停止表示板を置きます（▷538 ページ）。法規に従ってください。

i 自動車専用道路や高速道路では、停止表示板を使用することにより後続車両に警告を発することが法律で義務付けられています。

MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）

全体的な注意事項

MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）により、1本または複数のタイヤの空気圧がすべて損失しても、車両の走行を続けることができます。影響を受けたタイヤには明らかに目に見える損傷があるとは限りません。

タイヤウォールの MOExtended マークで MOExtended タイヤを識別できます。このマークはタイヤサイズ表示、耐荷重性能、スピードインデックスの横に表示されています。

MOExtended タイヤは、作動しているタイヤ空気圧警告システムと一緒にのみ使用することができます。

マルチファンクションディスプレイに空気圧に関する警告メッセージが表示された場合：

- ディスプレイメッセージの指示に従ってください（▷451 ページ）。

- タイヤに損傷があるかを確認してください。
- 運転する際は、以下の注意事項に従ってください。

最長走行可能距離は、車両に部分的に積載しているときは約 80km、車両にいっぱい積載しているときは約 30km です。

積載する荷物に加えて、走行可能な距離は以下によって異なります。

- 速度
- 道路状況
- 外気温度

MOExtended タイヤで走行可能な距離は、厳しい走行状況によって短くなったり、穏やかな運転スタイルによって長くなることがあります。

走行可能距離は、タイヤ空気圧警告システムの警告メッセージが、マルチファンクションディスプレイに表示されたときに起点になります。

最高速度が約 80km/h を超えないようにしてください。

i 1 本または 4 本全てのタイヤを交換するときは、必ず以下のものだけを使用してください。

- 車両に指定されたタイヤサイズ
- "MOExtended" マーク付きタイヤ

タイヤがパンクし、MOExtended タイヤと交換できない場合は、一時的な措置として標準タイヤを使用してください。

必ず適正なサイズと適正な種類（サマータイヤまたはウインタータイヤ）を使用してください。

i MOExtended タイヤ装備車両は、出荷時にタイヤフィットキットを装備していません。ウインタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットキットを追加で装備することを推奨します。タイヤフィットキットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で購入できます。

重要な安全上の注意事項

警告

MOExtended タイヤから空気が抜けた状態で走行すると、コーナリングや急加速、ブレーキ時などに走行特性が低下します。事故の危険性があります。

規定の最高速度を超えないでください。急激なステアリング操作、運転操作、障害物（縁石、穴、オフロード）を超える運転を避けてください。これは特に荷物積載時にあてはまります。

以下の場合、走行を中止してください。

- 大きな異音が聞こえるとき
- 車両に振動が発生しているとき
- 煙やタイヤの焦げる臭いが発生しているとき
- ESP® が作動し続けるとき
- タイヤのサイドウォールに裂け目があるとき

MOExtended タイヤから空気が抜けた状態で走行した後は、さらに使用できるかを確認するためにホイールリムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場にて点検してください。不具合のあるタイヤは新品と交換してください。

タイヤフィットキット

重要な安全上の注意事項

タイヤフィットはタイヤシーラント剤です。

タイヤフィットを使用して、4mm以下のパンク、特にタイヤトレッドにあるものをふさぐことができます。タイヤフィットは、約-20℃までの外気温度で使用できます。

⚠ 警告

以下の状況のときは、タイヤフィットが十分に機能しないため、タイヤを適切に修理することはできません。

- 上記に記した以上のタイヤの裂け目や穴
- ホイールリムが損傷しているとき
- 非常に低い空気圧、またはパンクした状態で走行したとき

事故の危険性があります。

それ以上走行しないでください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

⚠ 警告

タイヤフィットは有害で、炎症を起こす原因となります。皮膚、眼、服に付着させたり、吸い込んだりしないようにしてください。タイヤフィットの臭気を吸い込まないでください。タイヤフィットは子供の手の届かないところに保管してください。負傷するおそれがあります。

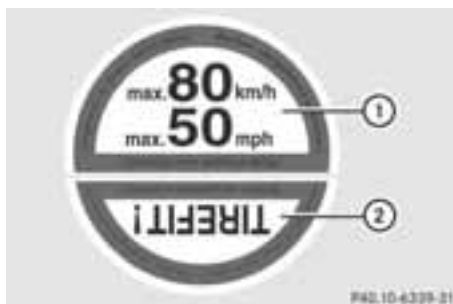
タイヤフィットが付着した場合は、以下の指示に従ってください。

- 水道水でタイヤフィットをただちに皮膚から洗い流してください。
- タイヤフィットが眼に付着した場合は、ただちに水道水で十分に洗い流してください。
- 万一、タイヤフィットを飲み込んだ場合は、ただちに水道水で口を十分すすぎ、水道水を大量に飲ませてください。無理に吐かせないでください。ただちに専門医の診断を受けてください。
- タイヤフィットが付着した衣類は、ただちに着替えてください。
- アレルギー反応が生じた場合は、ただちに専門医の診断を受けてください。

! タイヤ充填コンプレッサーは、一度に約8分以上連続して作動させると、ポンプがオーバーヒートするおそれがあります。

タイヤ充填コンプレッサーが冷えたら、再び作動させることができます。タイヤ充填コンプレッサーのステッカーにあるメーカーの安全上の指示に注意してください。

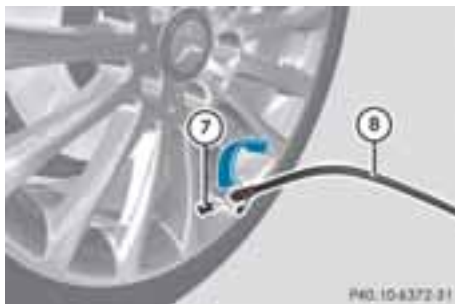
タイヤフィットキットの使用



- ▶ タイヤに刺さったクギやネジなどは取り除かないでください。
- ▶ トランクフロア下の収納スペースからタイヤフィットのボトル、付属のタイヤフィットステッカー、およびタイヤ充填コンプレッサーを取り出します (▷539 ページ)。
- ▶ タイヤフィットステッカーの ① 部分を運転者の視界内に貼付します。
- ▶ タイヤフィットステッカーの ② 部分を不具合のあるタイヤのホイールのバルブ付近に貼ります。
- ▶ パンクしたタイヤのバルブ ⑦ からキャップを取り外します。
- ▶ タイヤフィットのホース ⑧ をパンクしたタイヤのバルブ ⑦ に締め付けます。
- ▶ プラグ ④ を車両の 12V 電源ソケット (▷505 ページ) に差し込みます。
- ▶ イグニッション位置を 1 にします。
- ▶ タイヤ充填コンプレッサーの電源スイッチ ③ を押し、I の位置にします。タイヤ充填コンプレッサーが作動します。タイヤに空気が送り込まれます。



- ▶ ケーブル付き電源プラグ ④ とホース ⑤ をハウジングから取り出します。
- ▶ ホース ⑤ をタイヤフィットのボトル ① のフランジ ⑥ にしっかり取り付けます。
- ▶ タイヤフィットのボトルの頭部を下にして、タイヤ充填コンプレッサーの凹部 ② にはめます。



i 最初に、タイヤにタイヤフィットが送り込まれます。空気圧が一時的に約 500kPa (5bar/73psi) まで上がることがあります。

この間は、タイヤ充填コンプレッサーを停止しないでください。

- ▶ タイヤ充填コンプレッサーを 5 分間作動させます。その後、タイヤは約 180kPa (1.8bar/26psi) 以上の空気圧になっていなければなりません。

5 分後に、空気圧が 180kPa (1.8bar/26psi) に達している場合は、"タイヤ空気圧が十分なとき" をご覧ください。

5 分後に、空気圧が 180kPa (1.8bar/26psi) に達していない場合は、"タイヤ空気圧が不十分なとき" をご覧ください。

i タイヤフィットが漏れ出した場合は、乾燥させてください。フィルム状になり取り除くことができます。

衣類にタイヤフィットが付着した場合は、できるだけ早くクリーニングしてください。

タイヤ空気圧が不十分なとき

5 分後に空気圧が 180kPa (1.8bar/26psi) に達していない場合：

- ▶ タイヤ充填コンプレッサーを停止します。
- ▶ 不具合のあるタイヤのバルブからホースを外します。
- ▶ ごく低速で約 10m 前進または後退します。
- ▶ 再度、タイヤに空気を注入します。
5 分後までには、タイヤ空気圧は 180kPa (1.8bar/26psi) 以上になっていなければなりません。

警告

規定の時間が経過したのに、十分なタイヤ空気圧に達していない場合は、タイヤが著しく損傷しており、タイヤフィットによるタイヤ修理はできません。損傷したタイヤや著しく低下したタイヤ空気圧により、車両のブレーキや走行特性が著しく損なわれることがあります。事故の危険性があります。

それ以上走行を続けないで、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

タイヤ空気圧が十分なとき

警告

タイヤフィットで一時的に修理したタイヤは車両操縦性が損なわれ、高速走行には適していません。事故の危険性があります。

そのため、状況に応じて運転スタイルを合わせ、慎重に走行してください。タイヤフィットで修理したタイヤで走行する場合は、規定の最高速度を超過しないでください。

タイヤフィットで修理されたタイヤの最高速度は 80km/h です。運転者が容易に視認できるメーターパネル内に、タイヤフィットのステッカーの上部を貼付してください。

! 使用後は、ホースから余分なタイヤフィットが漏れ出ることがあります。タイヤフィットが付着すると、シミの原因になります。

そのため、ホースはタイヤフィットが収納されていた袋に収納してください。

環境保護に関する注意事項

使用済みのタイヤフィットのボトルを廃棄処分する場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご依頼ください。

5 分後にタイヤ空気圧が 180kPa (1.8bar/26psi) に到達している場合：

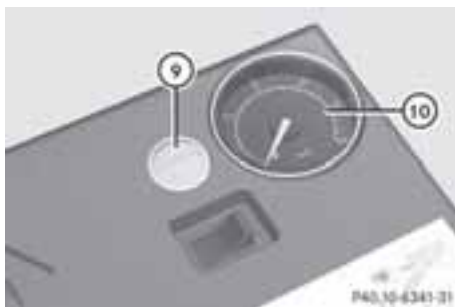
- ▶ タイヤ充填コンプレッサーを停止します。
- ▶ 不具合のあるタイヤのバルブから充填ホースを外します。
- ▶ タイヤフィットのボトル、タイヤ充填コンプレッサーおよび停止表示板を収納します。
- ▶ **ただちに発進します。**
- ▶ 約 10 分間走行した後に停止し、タイヤ充填コンプレッサーでタイヤ空気圧を点検します。
タイヤ空気圧が 130kPa (1.3bar/19psi) 以上でなければなりません。

⚠ 警告

短時間の走行後に規定タイヤ空気圧に達していない場合は、タイヤが著しく損傷しています。この場合は、タイヤフィットでタイヤを修理することができません。タイヤの損傷およびタイヤ空気圧が低すぎることにより、車両のブレーキ特性や操縦性が著しく損なわれるおそれがあります。事故発生の危険性があります。

それ以上走行を続けずに、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

- ▶ タイヤ空気圧がまだ 130kPa (1.3bar / 19psi) 以上の場合は修正します。数値は燃料給油口フラップのタイヤ空気圧ラベルをご覧ください。
- ▶ **タイヤ空気圧を上げる**：タイヤ充填コンプレッサーを作動させます。



- ▶ **タイヤ空気圧を下げる**：空気圧ゲージ ⑩ の横にある空気圧リリーススイッチ ⑨ を押します。
- ▶ タイヤ空気圧が適正になったら、修理したタイヤのバルブから充填ホースを外します。
- ▶ 修理したタイヤのタイヤバルブにバルブキャップを締め付けます。

- ▶ タイヤフィットのボトルをタイヤ充填コンプレッサーから引き出します。充填ホースはタイヤフィットのボトルにとどまったままになります。
- ▶ タイヤフィットのボトル、タイヤ充填コンプレッサーおよび停止表示板を収納します。
- ▶ 最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行し、そこでタイヤを交換してください。
- ▶ できるだけ早くメルセデス・ベンツ指定サービス工場にてタイヤフィットのボトルをお買い求めください。
- ▶ タイヤフィットのボトルは 4 年ごとにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

バッテリー（車両）

12V バッテリー - 重要な安全上の注意事項

バッテリーの取り外し、または取り付けなどの作業は、専門的な知識および専用工具の使用が必要です。そのため、バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 警告

バッテリーに不適切な作業を行なうと、ショートなどにつながり、車両の電子部品を損傷します。これにより、ライトシステム、ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）またはESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）のような安全に関連したシステムの機能の制限につながるおそれがあります。車両の操作安全性が制限されるおそれがあります。例えば、以下のときに車両のコントロールを失うおそれがあります。

- ブレーキ時
- 急なステアリング操作時、および / または車両速度が道路の状態に合っていないとき

事故の危険性があります。

ショート、または似たようなトラブルが発生した場合は、すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。それ以上走行しないでください。バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

i ABS および ESP® に関するさらなる情報は（▷103 ページ）および（▷110 ページ）をご覧ください。

⚠ 警告

身体に静電気が帯電していると、火花が発生してバッテリーから発生する高可燃性のガスに引火することがあります。爆発の危険性があります。バッテリーを取り扱う前に、車体に触れて身体の静電気を放電させてください。

バッテリーを充電している間、およびジャンプスタートを行なっているときは、可燃性の高い混合ガスが発生します。

お客様にも、そしてバッテリーにも静電気が帯電していないことを常に確認してください。静電気の帯電は以下のときなどに発生します。

- 合成繊維製の衣服を着用しているとき
- 衣服とシートの間で摩擦が起こるとき
- カーペットまたは他の合成繊維の上でバッテリーを引きずった、または押したとき
- バッテリーを布で拭いたとき

⚠ 警告

充電中はバッテリーから水素ガスが発生します。バッテリーのショートや火花の発生により、水素ガスに引火するおそれがあります。爆発の危険性があります。

- 接続されたバッテリーのプラス端子が車両部品と接触していないことを確認してください。
- 金属製の工具などをバッテリーの上に置かないでください。
- バッテリーを接続するとき、および接続を外すときは、記載された手順通りに作業を行なうことが重要です。
- ジャンプスタートを行なうときは、同じ極のバッテリー端子を接続していることを確認してください。
- ブースターケーブルを接続するとき、または接続を外すときは、記載された手順に従うことが特に重要です。

- エンジン作動中は、決してバッテリー端子を接続したり、接続を外さないでください。

警告

バッテリー液は腐食性があります。火傷をするおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

環境保護に関する注意事項



バッテリーには汚染物質が含まれています。家庭ごみと一緒に廃棄することは法律で禁止されています。使用済みのバッテリーは個別に回収し、環境に適合するリサイクル方法で処分してください。



バッテリーは環境保護の観点から責任を持って適切に廃棄してください。使用済みのバッテリーはメルセデス・ベンツ指定サービス工場または使用済みバッテリーの収集場までお持ちください。

整備手帳の点検整備時期を確認するか、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。







! バッテリーに関する作業は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。例外的な状況下で、お客様自身でどうしても12Vバッテリーの接続を外す必要がある場合は、以下に従ってください。

- 動き出すことを防ぐために車両を固定します。
- エンジンを停止し、キーを抜きます。キーレスゴーを使用している場合は、メーターパネルのすべての表示灯が消灯していて、イグニッション位置が**0**になっていることを確認します。さもないと、オルタネーターなどの電子部品を損傷するおそれがあります。
- 先にマイナス端子、次にプラス端子を外します。決して端子を逆に接続しないでください。さもないと、車両の電子部品を損傷するおそれがあります。
- バッテリーの接続を外した後は、トランスミッションはポジション**P**の位置でロックされます。動き出さないように車両が固定されます。そのため、車両を動かすことができなくなります。

走行するときは、バッテリーおよびプラス端子のカバーが常に装着されていなければなりません。

バッテリーを取り扱うときは、安全上の注意事項および防護措置を守ってください。

! メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではバッテリーの点検を定期的に受けてください。

	警告
	バッテリーを取り扱うときは、火気や裸火、タバコは禁止です。火花の発生は避けてください。
	<p>電解液またはバッテリー液は腐食性があります。皮膚、眼または衣服への付着を防いでください。</p> <p>手袋やエプロン、マスクなど、適切な保護衣を着用してください。</p> <p>清潔な水で、ただちに電解液またはバッテリー液を洗い流してください。必要な場合は、医師の診察を受けてください。</p>
	保護眼鏡を着用してください。
	子供を近づけないでください。
	取扱説明書の指示に従ってください。

安全上の理由のため、お客様の車両のためにメルセデス・ベンツによりテストされ、承認されたバッテリーのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します。これらのバッテリーには、衝撃に対する高い耐性があり、その結果、事故の際にバッテリーが損傷した場合の乗員への酸による火傷の危険性を低減します。

バッテリーの性能を長期にわたって最大限に発揮させるためには、バッテリーが常に十分に充電されていることが必要です。

車両のバッテリーは他のバッテリーと同様に、車両を使用しないと徐々に放電する可能性があります。そのような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのバッテリーの接続を外してください。メルセデス・ベンツにより推奨された充電器でバッテリーを充電することもできます。さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

車両を長期間使用しないときや、短距離、短時間の走行が多い場合は、通常よりも頻繁にバッテリー液量や充電状態を点検してください。車両を長期間使用しないときの保管方法については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

i 車両を駐車するとき、電気装備を必要としない場合は、キーを抜いてください。車両は非常にわずかな電力のみを使用し、これによりバッテリーが保護されます。

i **ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両**：バッテリー残量が十分な場合は、高電圧バッテリーは12Vバッテリーにエネルギーを供給することもできます。エンジンを停止した状態で長時間電気装備を使用した後など、12Vバッテリーのバッテリー残量が必要としている場合にのみ、このことが起こります。バッテリー電圧は絶えずモニターされているため、エンジンが停止しているときもこのことが行なわれます。これにより、12Vバッテリーのバッテリー残量およびバッテリー電圧は、長時間一定に保たれます。

高電圧バッテリー - 重要な安全上の注意事項

高電圧バッテリーは、ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両にのみ装備されています。

危険

車両の高電圧電気システムは高電圧下にあります。車両の高電圧電気システムの構成部品を改造したり、損傷した構成部品に触れた場合は、感電するおそれがあります。事故の際は、損傷が目に見えなかったとしても車両の高電圧電気システムの構成部品が損傷していることがあります。致命的なけがをするおそれがあります。事故の後、いかなる高電圧構成部品にも触れず、車両の高電圧電子システムの改造を決して行なわないでください。事故の後には車両をけん引し、車両の高電圧電気システムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場にて点検してください。

警告

車両火災の場合は、高電圧バッテリーの内部電圧が限界値を超えることがあります。この場合は、車両のアンダーボディの排気弁から可燃性ガスが漏れます。ガスは発火するおそれがあります。けがの危険性があります。ただちに危険なエリアから離れてください。関連する法規に注意しながら、危険なエリアとの適切な距離を確保してください。

警告

高電圧バッテリーのケースが損傷した場合は、電解液およびガスが漏れ出すことがあります。これらは毒性および腐食性があります。けがの危険性があります。

皮膚、眼または衣服への付着を避けてください。ただちに電解液のはねを水で洗い流し、すぐに治療を受けてください。

! 車両を長期間使用しないことによるバッテリーの完全放電により、高電圧バッテリーが損傷するおそれがあります。車両を長期間使用しない場合は、高電圧バッテリーを充電ステーションに接続してください。

車両を長期間使用しないときの保管方法については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

12V バッテリーの充電

AMG 車両：

! 最大電圧が 14.4V のバッテリー充電器のみを使用してください。

他の全車両：

 警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、喫煙などを避けてください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確保してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

 警告

バッテリー液は腐食性があります。火傷をするおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。

バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

 警告

放電したバッテリーは、気温が氷点下になると凍結するおそれがあります。ジャンプスタートやバッテリーの充電を行なうときは、バッテリーからガスが発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なう前に、凍結したバッテリーを解凍してください。

! 必ず最大充電電圧が約 14.8V のバッテリー充電器を使用してください。

他の全車両：

! バッテリーを充電する場合は、必ずジャンプスタート用端子を使用してください。

ジャンプスタート接続端子はエンジンルーム内にあります（▷556 ページ）。

▶ ボンネットを開きます。

▶ ジャンプスタートで救援車のバッテリーを接続するときと同じ順序で、バッテリー充電器をプラス端子とアース端子に接続してください（▷556 ページ）。

火気を近づけないようにしてください。バッテリーをのぞき込まないでください。

メルセデス・ベンツによりテストおよび承認されたバッテリー充電器を使用しない場合は、車両に装着されたままバッテリーを充電しないでください。メルセデス・ベンツ車両用に特別に適合し、メルセデス・ベンツによりテストおよび承認されたバッテリー充電器ユニットはアクセサリとして入手できます。この充電器は、車両に装着された状態でバッテリーの充電が許可されています。情報および入手については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。バッテリーを充電する前に、バッテリー充電器の取扱説明書をお読みください。

AMG 車両を除く全車両： 低温度でメーターパネルの表示灯 / 警告灯が点灯しない場合は、放電したバッテリーが凍結していることがあります。このような場合は、車両をジャンプスタートすることも、バッテリーを充電することもできないことがあります。解凍したバッテリーの寿命は短くなる場合があります。

特に低温時の始動性能が損なわれることがあります。解凍したバッテリーは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

AMG 車両：低温時に、取り外したバッテリーをバッテリー充電器を使用して充電しないでください。必要な場合は、まずバッテリーをゆっくり温めてください。さもないと、寿命が短くなり、特に低温時には始動特性が損なわれることがあります。

i ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両：バッテリー残量が十分な場合は、高電圧バッテリーは 12V バッテリーにエネルギーを供給することもできます。エンジンを停止した状態で長時間電気装備を使用した後など、12V バッテリーのバッテリー残量が不足している場合にのみ、電力が供給されます。バッテリーの電圧は絶えずモニターされているため、エンジンが停止しているときもこのことが行なわれます。これにより、12V バッテリーのバッテリー残量およびバッテリー電圧は、長時間一定に保たれます。

ジャンプスタート

ジャンプスタートには、エンジンルーム内のプラス端子とアースポイントで構成されているジャンプスタートターミナルのみを使用してください。

AMG 車両を除く全車種：

警告

バッテリー液は腐食性があります。火傷をするおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、喫煙などを避けてください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確保してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

警告

充電中はバッテリーから水素ガスが発生します。バッテリーのショートや火花の発生により、水素ガスに引火するおそれがあります。爆発の危険性があります。

- 接続されたバッテリーのプラス端子が車両部品と接触していないことを確認してください。
- 金属製の工具などをバッテリーの上に置かないでください。
- バッテリーを接続するとき、または接続を外すときは、記載された手順に従うことが重要です。
- ジャンプスタートを行なうときは、同じ極のバッテリー端子を接続していることを確認してください。
- ブースターケーブルを接続するとき、または接続を外すときは、記載された手順に従うことが特に重要です。
- エンジン作動中は、決してバッテリー端子を接続したり、接続を外さないでください。

警告

放電したバッテリーは、気温が氷点下になると凍結するおそれがあります。ジャンプスタートやバッテリーの充電を行なうときは、バッテリーからガスが発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なう前に、凍結したバッテリーを解凍してください。

! エンジン始動操作を長時間繰り返して行なわないでください。未燃焼燃料によって触媒が損傷するおそれがあります。

低温時に、表示灯 / 警告灯が点灯しない場合は、放電したバッテリーが凍結していることがあります。このような場合は、車両をジャンプスタートすることも、またはバッテリーを充電することもできないことがあります。解凍したバッテリーの寿命は短くなる場合があります。特に低温時の始動性能が損なわれることがあります。解凍したバッテリーは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

全車両：

車両の始動のために急速充電器を使用しないでください。車両のバッテリーが放電した場合は、ブースターケーブルを使用して他の車両や他のバッテリーからエンジンをジャンプスタートすることができます。以下の点に注意してください。

- すべての車両でバッテリーに手が届くわけではありません。他の車両のバッテリーに手が届かない場合は、他のバッテリーまたはジャンプスタート用機器を使用して、車両をジャンプスタートしてください。
- エンジンおよび排気システムが冷えているときにのみ、車両のジャンプスタートを行なってください。
- 火気を近づけないようにしてください。
- バッテリー液が凍結しているときは、エンジンを始動しないでください。最初にバッテリーを解凍してください。

AMG 車両を除く全車両：バッテリーが凍結した場合は、エンジンを始動しないでください。最初にバッテリーを解凍してください。

- ジャンプスタートは、定格電圧 12V のバッテリーを使用してのみ行なうことができます。
- 十分な太さ、および絶縁された端子クランプを持つブースターケーブルのみを使用してください。
- バッテリーをのぞき込まないでください。
- バッテリーが完全に放電している場合は、始動を試みる前に、ジャンプスタートのために接続したバッテリーを数分間接続したままにしてください。これにより、放電したバッテリーに若干充電されます。
- 2 台の車両が接触していないことを確認します。

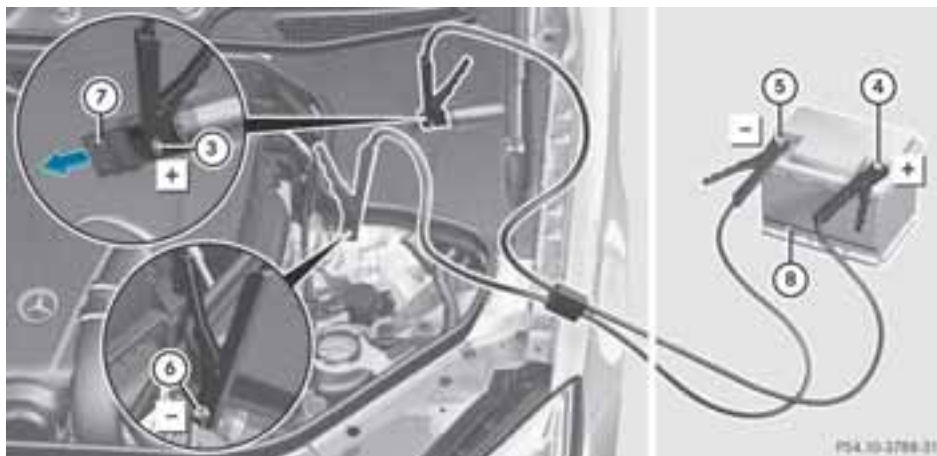
以下を確認してください：

- ブースターケーブルが損傷していない
 - ブースターケーブルをバッテリーに接続している間、端子クランプの絶縁されていない部分が他の金属部品と接触していない
 - エンジンが回転しているとき、ブースターケーブルがVベルトプーリーやファンなどの部品に巻き込まれないようにする
- ▶ 電気式パーキングブレーキを作動させ、車両が動き出さないように固定します。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトしてください。
- ▶ イグニッションがオフになっていることを確認してください。メーターパネル内のすべての表示灯が消灯していなければなりません。キーを使用しているときは、エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわして、抜きます。
- ▶ リアデフォグラー、ライトなどすべての電気装備を停止します。
- ▶ ボンネットを開きます。



例：アースポイントカバー

- ▶ クリップ ① を 1/4 回転まわして、取り外します。
- ▶ カバーを取り外します。



位置番号⑧は、救援車両のバッテリー、またはジャンプスタート用機器を示しています。

- ▶ プラス端子③のカバー⑦を矢印の方向に動かして開きます。
- ▶ ブースターケーブルを使用して、車両のプラス端子③を救援車両のバッテリー⑧のプラス端子④に接続します。常にまず自車のプラス端子③から始めます。
- ▶ 救援車両のエンジンを始動し、アイドリング回転数で作動させます。
- ▶ ブースターケーブルを使用して、救援車両のバッテリー⑧のマイナス端子⑤を自車のバッテリーのアースポイント⑥に接続します。その際は、救援車両のバッテリー⑧から最初に接続します。
- ▶ エンジンを始動します。
- ▶ ブースターケーブルを外す前に、エンジンを数分間作動させてください。
- ▶ 最初にブースターケーブルをアースポイント⑥とマイナス端子⑤から、次にプラスクランプ③とプラス端子④からブースターケーブルを取り外します。いずれの際も、最初に自車の端子から開始してください。
- ▶ ブースターケーブルを取り外した後に、プラス端子③のカバー⑦を閉じます。
- ▶ アースポイントカバーを取り付けます。クリップのすべてのマウントが、カバーのそれぞれの凹部の下に正確に位置していることを確認してください。
- ▶ 固定されるまで、クリップ①をマウントに押し込みます。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのバッテリーの点検を受けてください。

i ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両：車両をジャンプスタートした場合は、約30分間は電気走行を使用することができないことがあります。

i ジャンプスタートは、正常な操作状況とはみなされていません。

i ジャンプスタートのケーブル、およびジャンプスタートについての詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

けん引およびけん引始動

重要な安全上の注意事項

 警告

安全性に関連する機能が以下の場合には制限されるか、または使用できなくなります。

- エンジンが作動しない
- ブレーキシステムまたはパワーステアリングに不具合がある
- 電圧供給または車両の電気システムに不具合がある

車両をけん引する場合は、ステアリング操作、またはブレーキ操作により大きな力が必要になることがあります。事故の危険性があります。

そのような場合は、けん引バーを使用してください。けん引する前に、ステアリングが自由に動くことを確認してください。

 警告

ステアリングロックがかかっている場合は、ステアリングが操作できなくなります。事故の危険性があります。けん引ケーブルまたはけん引バーで車両をけん引するときは、常にイグニッションをオンにしてください。


 警告

他の車両をけん引する、またはけん引始動するとき、その重量がお客様の車両の許容総重量よりも大きい場合：


- けん引フックがちぎれる可能性があります
- トレーラー連結車両が蛇行し、横転するおそれがあります


事故の危険性があります。


他の車両をけん引する、またはけん引始動するとき、その重量はお客様の車両の許容総重量よりも大きくてはいけません。

 CPA プラス、ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキが効きます。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではこれらのシステムを解除してください：

- けん引時
- 洗車時

 パーキングブレーキが解除されていることを確認してください。パーキングブレーキが故障している場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場をおたずねください。

 けん引ロープやけん引バーは、けん引フックにのみ固定してください。車体が損傷するおそれがあります。

 けん引ロープを使用してけん引を行なう場合は、必ず以下の点に注意してください。

- ロープは、両車とも同じ側につないでください。

- けん引ロープの長さは 5m 以内である必要があります。その中間に白い布 (30x30cm) を付けて、けん引中であることが周囲から明確にわかるようにしてください。
- けん引フック以外にはロープをかけないでください。
- 走行中は、けん引する車両のブレーキランプに注意してください。常に車間距離を維持しつつ、ロープをたるませないように走行してください。
- ワイヤロープや金属製のチェーンは使用しないでください。車体に傷がつかうおそれがあります。

! スタックから脱出するためにけん引フックを使用しないでください。車体を損傷するおそれがあります。できれば、クレーンを使用して車両を脱出させてください。

! けん引する時は、ゆっくりとスムーズにけん引してください。車両が損傷するおそれがあります。

! けん引するときは、オートマチックトランスミッションを **N** にシフトし、運転席または助手席のドアを開かないでください。さもないと、オートマチックトランスミッションが **P** にシフトして、トランスミッションを損傷するおそれがあります。

! 車両は最長で約 50km までけん引できます。けん引する際の速度は、約 30km/h を超えないようにしてください。

距離が約 50km を超える場合は、必ず車両全体をリフトアップして、車両運搬車を利用してください。

できるだけけん引は避け、車両を運搬してください。

けん引はできるだけ避け、車両を搬送してください。

車両のトランスミッションが損傷している場合は、車両運搬車またはトレーラーで運搬してください。

車両をけん引するときは、オートマチックトランスミッションはポジション **N** に入っていないとなりません。

オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトできない場合は、運搬車両またはトレーラーで車両を運搬してください。


バッテリーが接続されていて、充電されていないと、以下ようになります。

- エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわすことができない
- 電気式パーキングブレーキを解除できない
- オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトできない

i 車速感応ドアロックを解除してください (▷131 ページ)。さもないと、車両を押したり、またはけん引するときに、閉め出されるおそれがあります。

i 車両をけん引する前に、けん引防止機能を解除してください (▷117 ページ)。

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両：以下の場合には車両をけん引せずに、代わりに運搬しなければなりません。

- マルチファンクションディスプレイが作動していない、または
- マルチファンクションディスプレイに  **故障** というメッセージが表示されている

車両が危険な場所にある場合は、両アクスルを接地させて危険な場所からけん引することができます。この場合は、けん引距離が50m以上にならないように、およびけん引速度が10km/hを超えないようにしてください。距離が比較的長い場合には、車両を積載して運搬してもらってください。

けん引フックの取り付け / 取り外し

けん引フックの取り付け



脱着式けん引フックの取り付け部はバンパー内にあります。それらは、リアおよびフロントのカバー①内部にあります。

- ▶ 車載工具 / 収納トレイからけん引フックを取り出します (▷539 ページ)。
- ▶ カバー①のマークを矢印の方向に内側に押します。
- ▶ カバー①を開口部から取り外します。
- ▶ いっぱいまでけん引フックをまわし、締め付けます。

けん引フックの取り外し

- ▶ けん引フックを緩めて取り外します。
- ▶ カバー①をバンパーに取り付け、固定されるまで押します。
- ▶ けん引フックを車載工具キット / 収納トレイに収納します。

両アクスルを接地させての車両のけん引

車両をけん引するときは、安全に関する以下の指示に従うことが重要です (▷557 ページ)。

運転席または助手席ドアを開いたとき、またはエンジンスイッチからキーを取り外したときは、オートマチックトランスミッションは自動的にポジションPにシフトします。

車両をけん引するときに、オートマチックトランスミッションをポジションNのままにするためには、以下の点に従わなければなりません。

- ▶ キーレスゴースイッチの代わりにキーを使用しなければなりません (▷234 ページ)。
- ▶ 停車していること、そしてエンジンスイッチのキーが0の位置にあることを確認します。
- ▶ エンジンスイッチのキーを2の位置にまわします。
- ▶ ブレーキペダルを踏んだまま保持します。
- ▶ オートマチックトランスミッションをポジションNにシフトします。
- ▶ ブレーキペダルを放します。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを解除します。

- ▶ エンジンスイッチのキーを**2**の位置のままにします。
- ▶ 非常点滅灯を点滅させます (▷193ページ)。

i 非常点滅灯を点滅させてけん引してもらうときは、進路変更を行なうために、通常通りコンビネーションスイッチを操作してください。このときは、希望の方向の方向指示灯のみが点滅します。コンビネーションスイッチを元に戻したときは、非常点滅灯が再度点滅し始めます。

リアアクスルを上げての車両のけん引

4MATIC 非装備車両のみ、リアアクスルを上げてけん引することができます。

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両：リアアクスルを上げての車両のけん引は、運搬専門業者によってのみ行なってください。

! リアアクスルを上げてけん引を行なうときは、必ずイグニッションをオフにしてください。ESP®の介入によりブレーキが損傷するおそれがあります。

! 4MATIC 装備車両は、フロントまたはリアアクスルを上げてけん引しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

4MATIC 装備車両は、両アクスルを地面に接地させてけん引するか、積載して運搬してください。

- ▶ 非常点滅灯を点滅させます (▷193ページ)。
- ▶ 前輪を直進位置にします。
- ▶ 必要な場合は、エンジンスイッチのキーを**0**の位置にまわして、エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 車両を離れるときは、キーを携帯してください。

リアアクスルを上げて車両をけん引するときは、安全指示に従うことが重要です (▷557 ページ)。

車両の運搬

ハイブリッド車両およびプラグインハイブリッド車両：車両の運搬は、リカバリー専門業者によってのみ行なってもらってください。

! 車両を固定するときは、アクスルやステアリング構成部品などにかげずに、ホイールにのみかけてください。車体を損傷するおそれがあります。

運搬目的で車両をトレーラーまたはトランスポーターに引き上げるために、けん引フックを使用することができます。

- ▶ エンジンスイッチのキーを**2**の位置にまわします。
- ▶ オートマチックトランスミッションをポジションを**N**にシフトします。

車両を積載したら、ただちに以下のことを行なってください：

- ▶ 車両が動き出すのを防止するため、電気式パーキングブレーキを作動させます。
- ▶ オートマチックトランスミッションをポジション**P**にシフトします。
- ▶ エンジンスイッチのキーを**0**の位置にまわして、抜きます。
- ▶ 車両を固定します。

4MATIC 装備車両に関する注意事項

! 4MATIC 装備車両は、フロントまたはリアアクスルを上げてけん引しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

4MATIC 装備車両は、両アクスルを地面に接地してけん引する、または積載して運搬するかのいずれかにします。

車両のトランスミッションが損傷したり、フロントまたはリアアクスルが損傷した場合は、運搬車両またはトレーラーで運搬してください。

電気システムに損傷がある場合：バッテリーが故障している場合は、オートマチックトランスミッションはポジション **P** でロックされます。オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトするためには、ジャンプスタート時と同じ方法で車両の電気装備に電力を供給しなければなりません (▷553 ページ)。

運搬車両またはトレーラーで車両を運搬してください。

けん引始動 (エンジンエマージェンシースタート)

! けん引始動は行わないでください。オートマチックトランスミッションを損傷するおそれがあります。

i "ジャンプスタート" に関する情報は (▷553 ページ) をご覧ください。

ヒューズ

重要な安全上の注意事項

警告

切れたヒューズを使用したり、ブリッジしたり、またはより高いアンペア数のヒューズと交換すると、ケーブルに過負荷がかかります。火災の原因になります。事故やけがの危険性があります。

切れたヒューズは、必ず正しいアンペア数の指定された新品のヒューズと交換してください。

切れたヒューズは、色とヒューズ定格を確認した上で、同じ定格のヒューズと交換しなければなりません。ヒューズの定格は、ヒューズ配置表に記載されています。

ヒューズ配置表はトランク内のヒューズボックスにあります (▷564 ページ)。

新しく差し込んだヒューズが切れる場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場の原因究明および修理を行なってください。

! ヒューズは必ずメルセデス・ベンツ車両に適合し、該当する電気装備と同じ規定容量を満たすものを使用してください。適切でないヒューズを使用すると、構成部品や電気装備を損傷するおそれがあります。

車両のヒューズは異常のある回路への接続を切断します。ヒューズが切れた場合は、回路上のすべての構成部品とそれらの機能が作動しなくなります。

ヒューズを交換する前に

- ▶ 車両が動き出さないように固定します (▷577 ページ)。
- ▶ すべての電気装備を停止します。
- ▶ イグニッションがオフになっていることを確認します。

または

- ▶ キーを使用しているときは、エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわして、取り外します (▷234 ページ)。

メーターパネル内のすべての表示灯が消灯しなければなりません。

ヒューズは、以下のヒューズボックス内にあります。

- ダッシュボード運転席側のヒューズボックス
- 助手席足元のヒューズボックス
- エンジンルーム内運転席側のヒューズボックス
- トランク内右側のヒューズボックス

ダッシュボードのヒューズボックス

! ドライバーなどの鋭利な物を使用して、ダッシュボードのカバーを開かないでください。ダッシュボードやカバーを損傷するおそれがあります。

! カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に水が浸入しないように注意してください。

! カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実に固定されていることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が入ると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。

- ▶ 運転席ドアを開きます。



例：右ハンドル車両

- ▶ 運転席ドアを開きます。
- ▶ **開く**：カバー **①** を矢印の方向に外側に引き、取り外します。
- ▶ **閉じる**：カバー **①** をダッシュボードの前部に差し込みます。
- ▶ 固定されるまで、カバー **①** を内側に倒します。

助手席足元のヒューズボックス

! カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に水が浸入しないように注意してください。

! カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実に固定されていることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が入ると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。



例：右ハンドル車両

- ▶ 助手席ドアを開きます。
- ▶ カバー①を下に倒し、取り外します。

エンジンルーム内のヒューズボックス

⚠ 警告

ボンネットを開いているとき、ワイパーを作動位置のままにしていると、ワイパーの可動部品でけがをすることがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、必ずワイパーを停止して、イグニッションをオフにしてください。

! カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に水が浸入しないように注意してください。

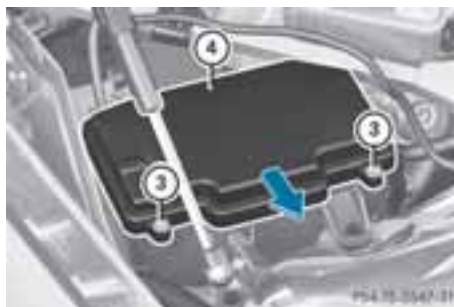
! カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実に固定されていることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が入ると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。

- ▶ ボンネットを開きます。



例：右ハンドル車両

- ▶ **開く**：固定クランプ①を外し、カバー②を取り外します。



例：右ハンドル車両

- ▶ 乾いた布を使用して、ヒューズボックスに付着している水分を取り除きます。
- ▶ ヒューズボックスのネジ③を外します。
- ▶ ヒューズボックスカバー④を前方に取り外します。
- ▶ **閉じる**：シール部がカバー④に正しく位置していることを確認します。
- ▶ カバー④をヒューズボックスの後部で固定部に差し込みます。
- ▶ ヒューズボックスのカバー④を下に倒し、ネジ③を締めます。
- ▶ カバー②を差し込み、固定クランプ①で固定します。
- ▶ ボンネットを閉じます。

トランク内のヒューズボックス

! カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に水が浸入しないように注意してください。

! カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実に固定されていることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が入ると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。



- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ **開く**：平たい物を使用して、カバー①上部の左右を取り外します。
- ▶ カバー①を矢印の方向に下方に開きます。

! ヒューズ配置表はヒューズボックス側方の凹部にあります。対応するヒューズの規格およびヒューズの種類はヒューズ配置表にあります。

役に立つ情報	566
重要な安全上の注意事項	566
使用	567
寒冷時の取り扱い	569
タイヤ空気圧	571
タイヤ交換	575
ホイールとタイヤの組み合わせ	582
応急用スペアタイヤ	592

役に立つ情報

1 この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

1 メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

重要な安全上の注意事項

 警告

誤ったサイズのホイールやタイヤを使用すると、ブレーキまたはサスペンションの部品を損傷することがあります。事故の危険性があります。

純正部品の仕様に適合するホイールやタイヤと必ず交換してください。ホイールを交換する場合は、正しく取り付けのために以下を確認してください：

- 型式
- タイプ

タイヤを交換する場合は、正しく取り付けのために以下を確認してください：

- 型式
- メーカー
- タイプ

 警告

パンクは車両の走行特性やステアリング特性、ブレーキ特性を著しく損なうことがあります。事故の危険性があります。ランフラット特性のないタイヤでは、以下に従ってください。

- パンクしたタイヤで走行しないでください。
- ただちにパンクしたタイヤを応急スペアタイヤまたはスペアタイヤと交換するか、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。

ランフラットタイヤ：

- MOExtended タイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ) に関する情報と警告に関する注意事項に従ってください。

メルセデス・ベンツにより承認されていない、または正しく使用されていないアクセサリは、操作安全性を損なうおそれがあります。

承認されていないアクセサリを購入し、ご使用になる前に、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご確認ください。

- 適合性
- 合法性
- 推奨性

お客様の車両のホイールおよびタイヤのサイズおよび種類に関する情報は、「ホイールとタイヤの組み合わせ」にあります (▷582 ページ)。

車両のタイヤ空気圧に関する情報は、以下にあります：

- 燃料給油口フラップ裏側にあるタイヤ空気圧ラベル (▷572 ページ)

• "タイヤ空気圧"の項目(▷571 ページ)
ブレーキシステムおよびホイールの改造は許可されていません。ホイールスペーサーまたはブレーキダストシールドの使用は許可されていません。これらは車両の一般使用許可を無効にします。

i タイヤとホイールについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

使用

走行に関する情報

車両に重い荷物を積んでいるときは、タイヤ空気圧を点検し、必要な場合は調整してください。

走行中は、振動、騒音、および片方に引かれるなどの普段とは異なるハンドリング特性に注意してください。これは、タイヤやホイールが損傷していることを示していることがあります。タイヤ不具合が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。すみやかに安全な場所に停車して、タイヤとホイールの損傷を点検してください。目に見えないタイヤの損傷も、普段とは異なるハンドリング特性の原因になるおそれがあります。損傷が何も認められない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐホイールとタイヤの点検を受けてください。

車両を駐車するときは、タイヤが縁石や障害物により変形していないことを確認してください。また、縁石や路面の段差などを乗り越える必要がある場合は、速度を落とし、縁石や段差に対してタイヤをできるだけ直角にして乗り越えてください。さもないと、タイヤ、特にサイドウォールが損傷するおそれがあります。

ホイールとタイヤの定期点検

警告

タイヤが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。その結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

タイヤに損傷がないかを定期的に点検を行ない、損傷したタイヤはただちに新品と交換してください。

ホイールとタイヤの定期点検は、少なくとも月に1度、またオフロードや凹凸路の走行後にも行ない、タイヤに損傷がないかを確認してください。損傷したホイールは、タイヤ空気圧低下の原因になるおそれがあります。特に、以下のような損傷にご注意ください。

- タイヤの傷
- 刺し傷などの穴
- タイヤの裂け目
- タイヤの突起
- ホイールの変形や腐食

タイヤ残り溝の深さやタイヤの幅全体にわたるトレッドの状態を定期的に点検してください(▷568 ページ)。必要な場合は、タイヤの内側を点検するために、前輪をいっぱいまでまわしてください。

ほこりや水分の侵入を防ぎバルブを保護するため、すべてのホイールにバルブキャップを必ず装着してください。純正品または承認された製品以外のバルブキャップをバルブに装着しないでください。純正品以外のバルブキャップまたはタイヤ空気圧モニタリングシステムなどのシステムを装着しないでください。

長距離走行の前は特に、定期的にすべてのタイヤの空気圧を点検してください。必要な場合は、タイヤ空気圧を調整してください (▷571 ページ)。

応急用スペアタイヤに関する注意事項に従ってください (▷592 ページ)。

タイヤの耐用年数は、以下を含むさまざまな要因に左右されます。

- 運転スタイル
- タイヤ空気圧
- 総走行距離

タイヤトレッドに関する重要な安全上の注意事項

警告

タイヤのトレッドが不十分であると、タイヤのグリップが低下します。このようなタイヤは水を排出することができなくなり、濡れた路面で、特に走行状況に適していない速度で走行すると、ハイドロプレーニング現象が生じる危険性が高くなります。事故の危険性があります。

タイヤ空気圧が高すぎたり低すぎたりすると、トレッド面の位置によって偏摩耗が生じることがあります。タイヤの定期点検を行なう時は、タイヤの溝の深さだけでなく、タイヤの内側の摩耗状態も点検してください。

タイヤの溝の深さの最小値：

- サマータイヤ：3mm
- ウインタータイヤ：4mm

安全維持のために、タイヤの溝の深さが法律で定められた最小値に達する前に、該当するタイヤを新品と交換してください。

タイヤの選択、装着および交換

警告

記載されているタイヤ耐荷重性能および承認されている最高速度を超過すると、タイヤが損傷したり、タイヤが破裂したりするおそれがあります。事故の危険性があります。このため、車両モデルに使用が承認されているタイヤのタイプとサイズのみを使用してください。車両に必要なタイヤ荷重指数と速度記号を確認してください。

タイヤの認証に関する国の要件に注意してください。これらの要件には特定のタイヤのタイプを車両に使用するように定められていることがあります。さらに、特定の地域およびエリア内の運転での特定のタイヤ種類の使用は、非常に有益になることがあります。タイヤに関するさらなる情報は、専門のタイヤ業者またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にあります。

- 同じ種類で同じ銘柄のタイヤおよびホイールのみを装着してください。

例外：パンクした場合は、異なる種類や銘柄の使用が認められています。"MOExtended (ランフラット特性を持つタイヤ)" (▷569 ページ) の項目に注意してください。

- 適正なサイズのタイヤをホイールに装着してください。
- 新しいタイヤでは、最初の約 100km は控えめな速度で走行してください。この距離を走行後にのみ、最高の性能に達します。

- トレッドの深さがほとんどないタイヤで走行しないでください。さもないと、濡れた路面ではタイヤのグリップが著しく低下します（ハイドロプレーニング現象）。
- 摩耗の程度に関わらず、6年以上経過したタイヤは新品と交換してください。応急用スペアタイヤに関する注意事項に従ってください（▷592 ページ）。

MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）

MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）により、1本または複数のタイヤの空気圧がすべて損失しても、車両の走行を続けることができます。

MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）は、作動しているタイヤ空気圧警告システム、およびメルセデス・ベンツにより特別にテストされたホイールとの組み合わせでのみ使用することができます。

パンクした MOExtended タイヤで走行するときの注意事項は（▷569 ページ）をご覧ください。

i MOExtended タイヤ装備車両は、出荷時にタイヤフィットキットを装備していません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットキットを追加で装備することを推奨します。タイヤフィットキットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で購入できます。

寒冷時の取り扱い

全体的な注意事項

冬の始まりには、メルセデス・ベンツ指定サービス工場での車両の冬季対策を行なってください。

"タイヤ交換"の注意事項を守ってください（▷575 ページ）。

サマータイヤでの走行

約 7°C 以下の温度では、サマータイヤは弾力性を失い、接地性と制動力が低下します。車両のタイヤを M+S タイヤに交換してください。非常に低い温度でのサマータイヤの使用は、亀裂が発生し、復元不可能なタイヤの損傷の原因になるおそれがあります。このようなタイヤの損傷は、保証の対象外になります。

警告

タイヤが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。その結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故発生の危険性があります。

タイヤに損傷がないか定期的に点検を行ない、損傷したタイヤはただちに新品と交換してください。


M+S タイヤ

 警告

ウインタータイヤの溝の深さが約4mm以下になったときは、冬季用のタイヤとして不適切になり、十分な接地性を確保できなくなります。事故につながるおそれがあります。

ウインタータイヤの溝の深さが約4mm以下になったときは、必ず新品と交換してください。

約7℃以下の気温では、ウインタータイヤまたはオールシーズンタイヤを使用してください。いずれにもM+Sのマークがあります。

冬季の道路状況では、M+Sマークに加えて雪の結晶マーク  の記載があるウインタータイヤのみが最も優れたグリップをもたらします。冬季においては、これらのタイヤによってのみ、ABSやESP®のような走行安全装備が適切に機能するようになります。これらのタイヤは、特に雪道走行用に開発されています。

安全な車両操縦性を確保するため、4輪とも同じ銘柄およびトレッドのM+Sタイヤを使用してください。

装着されたM+Sタイヤの指定された最大許容速度を常に守って走行してください。

車両のものよりも低い最大許容速度のM+Sタイヤを装着している場合は、適切な警告ラベルを運転者の視界内に貼付してください。

このような状況では、M+Sタイヤの最大許容速度を超えないように、スノータイヤスピードリミッター (▷287ページ) を使用して車両の最高速度を制限してください。

M+Sタイヤを装着している場合は、以下に注意してください。

- ▶ タイヤ空気圧を点検します (▷571ページ)。
- ▶ タイヤ空気圧警告システムを再起動してください (▷574ページ)。

応急用スペアタイヤでの走行に関する情報は (▷592ページ) をご覧ください。

スノーチェーン

 警告

スノーチェーンが前輪に装着されている場合は、車体またはシャーシの部品に引き込まれることがあります。これにより、車両またはタイヤが損傷するおそれがあります。事故の危険性があります。

危険な状態を避けるためには、

- スノーチェーンを前輪に装着しないでください
- スノーチェーンは必ずペアで後輪に装着してください。

安全上の理由のため、メルセデス・ベンツによりお客様の車両用に特別に承認された、または同等の品質基準のスノーチェーンのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します。

スノーチェーンを装着するときは、以下の点に注意してください。

- スノーチェーンはすべてのホイールとタイヤの組み合わせに装着できるわけではありません。承認されているホイールとタイヤの組み合わせは (▷582ページ) をご覧ください。

- 路面が完全に雪に覆われているときのみ、スノーチェーンを使用してください。雪に覆われていない路面に来たときは、できるだけ早くスノーチェーンを取り外してください。
- 法令でスノーチェーンの使用が制限されている地域があります。スノーチェーンを装着する場合は、該当する規制に従ってください。
- 最大許容速度 50km/h を超えないようにしてください。
- AIR マティックサスペンション (▷306 ページ)、または ABC (アクティブ・ボディ・コントロール) (▷303 ページ) 装備車両では、スノーチェーンを装着して走行する場合は、車高を上げて走行しなければなりません。

スノーチェーンを装着して発進したときは、ESP® (▷110 ページ) を解除することもできます。このようにして、制御しながら車輪を空転させ、駆動力を高めることができます (掘る動作)。

応急用スペアタイヤでの走行に関する情報は (▷592 ページ) をご覧ください。

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧基準値

警告

タイヤ空気圧が不足または過剰な場合、以下の危険があります。

- 負荷が高く車両速度が高い場合は特に、タイヤが破裂するおそれがある。
- タイヤが過度に、また不均一に摩耗し、それによってタイヤの駆動力が損なわれるおそれがある。
- ステアリング操作やブレーキ操作などの車両操縦性が大幅に損なわれるおそれがある。

事故の危険性があります。

規定のタイヤ空気圧に従い、以下のときにはスペアタイヤを含むすべてのタイヤ空気圧を点検してください。

- 走行を開始する前
- 積載量が変わったとき
- 長距離走行を開始する前
- オフロード走行のように使用状況が変わったとき

必要であれば、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

⚠ 警告

不適切なアクセサリをバルブに取り付けると、バルブに大きな負荷がかかって不具合が発生し、タイヤ空気圧が不足する原因となります。設計上、市販のタイヤ空気圧モニタリングシステムを装着すると、バルブが開いたままになり、タイヤ空気圧が不足するおそれもあります。事故の危険性があります。

標準で装着されているバルブキャップまたはメルセデス・ベンツ純正の車両専用バルブキャップのみをバルブに取り付けてください。

⚠ 警告

タイヤ空気圧が何度も低下する場合は、ホイール、バルブまたはタイヤが損傷している可能性があります。タイヤ空気圧が不十分な場合は、タイヤが破裂するおそれがあります。事故発生危険性があります。

- タイヤに異物がないかを点検します。
- ホイールやバルブからの空気漏れがないかを点検します。

損傷を修理できない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

🌀 環境保護に関する注意事項

少なくとも2週間に1度は、タイヤ空気圧の点検を行なってください。

車両の燃料給油口フラップ内側には、さまざまな使用状況でのタイヤ空気圧の表があります。

応急用スペアタイヤを使用する場合は(▷592 ページ)をご覧ください。

燃料給油口内側の表には、さまざまな積載状態でのタイヤ空気圧が記載されています。この表には、さまざまな乗員数および積載量のものが指定されています。実際の座席数と異なることがあります。さらなる情報は、車両の登録書類を確認してください。

タイヤサイズの指定がない場合、タイヤ空気圧情報ラベルに記載されているタイヤ空気圧は、車両用に承認されているすべてのタイヤに適用されます。



タイヤのサイズに応じて空気圧を調整する場合は、以下の空気圧に関する情報は、そのタイヤサイズのみ有効となります。

タイヤ空気圧を点検するには、適切な空気圧ゲージを使用してください。タイヤの外観によりタイヤ空気圧についての信頼性のある判断はできません。

可能であれば、タイヤが冷えているときにのみ、タイヤ空気圧を修正してください。

以下では、タイヤが冷えています：

- タイヤに直射日光が当たらない状態で、最3時間車両を駐車した場合、および
- 車両が1.6km以上走行していない場合

外気温度、走行速度およびタイヤの荷重によって、タイヤの温度およびタイヤ空気圧は 10℃ごとに約 10kPa (0.1 bar/1.5psi) ずつ変化します。温まっているタイヤの空気圧を点検するときは、このことを考慮に入れてください。使用条件に対してタイヤ空気圧があまりにも低すぎる場合にのみ、タイヤ空気圧を調整してください。

著しく高い、または著しく低いタイヤ空気圧で走行すると、以下になります：

- タイヤ寿命が短くなります
- タイヤの損傷が増える原因になります
- ハンドリング特性および走行安全性へ悪影響を与えます (ハイドロプレーニング現象など)。

i 低負荷用のタイヤ空気圧値は、快適な乗り心地を得ることができる最低値です。

ただし、高負荷用の数値を使用することもできます。これらは許容値であり、車両の走行に悪影響を与えることはありません。

タイヤ空気圧情報ラベルに記されている値に関らず、**"210km/h" までの部分積載時** の状況での車両では、安全性を損なうことなく以下のように値を下げるすることができます。

- -20kPa (-0.2bar/-3psi) 全モデル用

タイヤ空気圧警告システム

全体的な注意事項

タイヤ空気圧警告システムは、車両が動いている間に、車輪の回転速度を使用してタイヤ空気圧をモニターします。これにより、システムは、タイヤ空気圧の著しい低下を検知することができます。タイヤ空気圧の低下にともない車輪の回転速度が変化した場合は、マルチファンクションディスプレイに対応する警告メッセージが表示されます。

マルチファンクションディスプレイの **メニュ** に表示されるメッセージ **タイヤ空気圧警告システム OK ボタン** で再始動によってタイヤ空気圧警告を認識することができます。表示されるメッセージに関する情報は、**"タイヤ空気圧警告システムの再起動"** の項目にあります。

重要な安全上の注意事項

タイヤ空気圧警告システムは、適切でないタイヤ空気圧の設定には警告は行ないません。推奨タイヤ空気圧に関する注意事項に従ってください (▷572 ページ)。

タイヤ空気圧警告システムは、定期的なタイヤ空気圧の点検に代わるものではありません。同時に複数のタイヤで均等に空気圧が低下した場合、タイヤ空気圧警告システムでは検知されません。

タイヤ空気圧警告システムは、タイヤに異物が刺さった場合などの急激な空気圧の低下には、警告を行なうことができません。空気圧が突然低下した場合は、ブレーキを慎重に効かせて車両を停止します。急激なステアリング操作は避けてください。

以下では、タイヤ空気圧警告システムの機能が制限されたり、遅れることがあります：


- 車両のタイヤにスノーチェーンを装着している
- 冬季の道路状況で
- 砂地や砂利道を走行している
- 非常にスポーティな運転スタイル（高速コーナリング、急加速など）で走行している
- 重い荷物を積載して走行している（車内、またはルーフ上に）



タイヤ空気圧警告システムの再起動


以下の場合、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。

- タイヤ空気圧を変更した
- ホイールまたはタイヤを変更した
- 新しいホイールまたはタイヤを装着した
- ▶ 再起動の前に、4本すべてのタイヤで、タイヤ空気圧が使用状況に応じて適正に設定されていることを確認してください。推奨タイヤ空気圧は燃料給油口フラップ裏側のラベルに記載されています。


タイヤ空気圧警告システムは、適切なタイヤ空気圧に設定してある場合にのみ、信頼性のある警告を行なうことができます。適切でないタイヤ空気圧に設定されている場合は、これらの適切でない数値がモニターされます。

- ▶ タイヤ空気圧の項目にある注意事項に従ってください（▷571 ページ）。
- ▶ イグニッション位置が **2** にあることを確認します。
- ▶ ステアリングの  を使用して、メニューリストを呼び出します。

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**メンテナンス** メニューを選択します。

- ▶  スイッチを押します。

- ▶  または  スイッチを押して、**タイヤ空気圧** を選択します。

- ▶  スイッチを押します。


マルチファンクションディスプレイに**タイヤ空気圧警告システムオン OK ボタンで再起動** というメッセージが表示されます。

再起動を確定したい場合：

- ▶  スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに**タイヤ空気圧正常ですか？** というメッセージが表示されます。

- ▶  または  スイッチを押して、**はい** を選択します。



- ▶  スイッチを押します。


マルチファンクションディスプレイに**タイヤ空気圧警告システム再起動しました** というメッセージが表示されます。

再起動をキャンセルしたい場合：

- ▶  スイッチを押します。

または

- ▶ **タイヤ空気圧正常ですか？** というメッセージが表示されているときに、 または  スイッチを使用して、**キャンセル** を選択します。

- ▶  スイッチを押します。

タイヤ交換

パンク

タイヤがパンクしたときの対処方法に関する情報は、" 万一のとき " (▷541 ページ) に記載されています。タイヤがパンクしたときに MOExtended タイヤで走行する際の情報は、" 万一のとき " の項目をご覧ください (▷541 ページ)。

車輪の入れ替え

警告

ホイールまたはタイヤのサイズが異なる場合にフロントとリアの車輪を入れ替えると、走行特性が著しく損なわれることがあります。車輪のブレーキまたはサスペンションの部品も損傷することもあります。事故の危険性があります。

ホイールとタイヤが同じサイズの場合にのみ、フロントとリアの車輪を入れ替えてください。

異なるサイズのフロントとリアの車輪を入れ替えると、一般使用許可が無効になることがあります。

" 車輪の取り付け " の項目 (▷576 ページ) にある指示および安全上の注意事項に従ってください。

タイヤは、走行状況によって前輪と後輪で摩耗具合に差が生じ、偏摩耗を起こします。タイヤに明らかな摩耗具合が形成される前に、車輪を入れ替えてください。一般的に、フロントタイヤではショルダー部が、リアタイヤではセンター部がより摩耗する傾向があります。

前後同じサイズの車輪を持つ車両では、タイヤの摩耗具合に応じて 5,000 ~ 10,000km ごとに車輪を入れ替えることができます。回転方向が維持されていることを確認します。

車輪を入れ替えるときは常に、ホイールの接触面とブレーキディスクを十分に清掃してください。タイヤ空気圧を点検し、必要な場合はタイヤ空気圧警告システムを再起動してください (▷574 ページ)。

回転方向

タイヤの回転方向が指定されているタイヤは、例えばハイドロブレーニング現象のおそれがある状況などで補助的な効果を発揮します。このような利点は回転方向に応じてタイヤが装着されている場合に得ることができます。

タイヤのサイドウォールにある矢印は、正しい回転方向を示しています。

車輪の保管

使用していない車輪は、涼しくて乾燥している、なるべく暗い場所に保管してください。車輪にオイルやグリース、ガソリン、軽油などが付着しないように保護してください。

車輪の清掃

警告

円形ジェットノズル（粉塵グライダー）の水流は、タイヤまたはシャーシの部品に外見からは目に見えない損傷を引き起こすおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあります。事故の危険性があります。車両の清掃をするときに円形ジェットノズル付きの高圧式スプレーガンを使用しないでください。損傷したタイヤまたはシャーシの部品はすぐに交換してください。

車輪の取り付け

車両の準備


- ▶ かたく、滑らない水平な地面に車両を停車します。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを手動で効かせてください。
- ▶ 前輪を直進位置にします。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトします。
- ▶ AIR マティックサスペンション（▷306 ページ）、または ABC（アクティブ・ボディ・コントロール）（▷303 ページ）で、標準の車高レベルが選択されていることを確認します。
- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ 運転席ドアを開きます。

車両の電気システムが、**0** の状態になります。これにより、キーを抜いたときと同様になります。

- ▶ エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを外します（▷236 ページ）。

または、キーがエンジンスイッチに差し込まれている場合：

- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 車両装備に含まれている場合は、車両から車輪交換用工具キットを取り出します。
- ▶ 動き出さないように車両を固定します。

 国ごとの仕様の違いによって、車両にはタイヤ交換工具は装備されていません。車輪交換用工具の中には、その車両専用のものも含まれています。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

必要な車輪交換工具としては、例えば以下が含まれることがあります。

- ジャッキ
- 輪止め
- ホイールレンチ
- ガイドボルト

車両が動き出さないように固定する



車両に輪止めが装備されている場合は、車輪交換用工具キットの中にあります (>540 ページ)。

折りたたみ式の輪止めは、車輪交換時などに車が動き出すのを防止するための補助的な固定手段です。

- ▶ 両側のプレートを上方に起こします ①。
- ▶ 下側のプレートを引き出します ②。
- ▶ 下側のプレートの凸部をベースプレートの開口部に差し込みます ③。



- ▶ **水平な場所で**：交換したい車輪の対角線上にある車輪の前後に、輪止めまたは適切な他の物を置きます。



- ▶ **緩い下り坂勾配で**：フロントおよびリアアクスルの車輪の前に、輪止めまたは適切な他の物を置きます。

車両を持ち上げる

警告

車両の適切なジャッキポイントに正しくジャッキを設置しないと、車両をジャッキアップした時にジャッキが倒れるおそれがあります。負傷するおそれがあります。

必ず車両の適切なジャッキポイントにジャッキを設置してください。ジャッキの底面が車両のジャッキポイントの真下に来るように設置してください。

車両を上げるときは以下に従ってください。

- 車両を上げるときは、メルセデス・ベンツによりテストされ、承認された車両専用のジャッキのみを使用してください。ジャッキが正しく使用されていない場合は、車両を上げている間に倒れるおそれがあります。
- ジャッキは、車輪交換の間に短時間車両を上げたままにするためだけに設計されています。車両下部のメンテナンス作業を行なう目的には適していません。

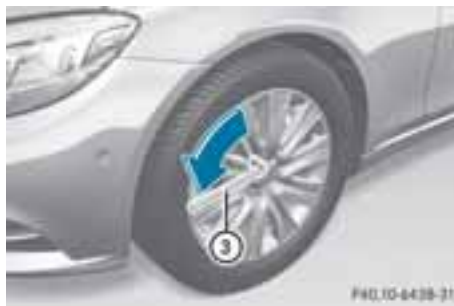
- 上り坂や下り坂斜面での車輪交換は避けてください。
- 車両を上げる前に、パーキングブレーキを効かせて輪止めをして動き出さないようにしてください。車両を上げている間は、パーキングブレーキを解除しないでください。
- ジャッキは、かたく平坦で滑らない地面の上に置いてください。やわらかい地面の上では、大型の平坦な耐荷重マットを使用してください。滑りやすい地面の上では、ラバーマットなどの滑り止めマットを敷いてください。
- ジャッキの下敷きとして、木製のブロックや類似のものを使用しないでください。さもないと、高さが制限されることにより、ジャッキが耐荷重性能を得られない可能性があります。
- タイヤの下面と地面との間の距離が3cmを超えていないことを確認してください。
- 上げた車両の下には、絶対に手または足を入れないでください。
- 車両の下で横にならないでください。
- 車両を上げているときは、エンジンを始動しないでください。
- 車両を上げているときは、ドアまたはトランクリッドを開閉しないでください。
- 車両を上げているときは、車内に人がいないことを確認してください。

AMG ホイールおよびハブキャップ装備車両：ホイールボルトはハブキャップにより覆われています。ホイールボルトを緩める前に、ハブキャップを取り外さなければなりません。異なる2種類のいずれかが装着されています



AMG ホイールおよびプラスチックハブキャップ装備車両：

- ▶ ハブキャップ①が正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ **取り外す：**ハブキャップ①のセンターカバーを反時計回りにまわし、取り外します。
- ▶ **取り付ける：**取り付ける前に、ハブキャップ①を開いた位置にあることを確認してください。そのためには、センターカバーを反時計回りにまわしてください。
- ▶ ハブキャップ①を位置に合わせ、ハブキャップ①が固定される音が聞こえるまで、センターカバーを時計回りにまわします。
- ▶ ハブキャップ①が確実に取り付けられていることを確認してください。



AMG ホイールおよびアルミニウムハブキャップ装備車両：

- ▶ **取り外す：** 車載工具から、ソケット②およびホイールレンチ③を取り出します (▷540 ページ)。
- ▶ ソケット②をハブキャップ①に合わせます。
- ▶ ホイールレンチ③をソケット②に取り付け、ハブキャップ①を反時計回りに緩めます。
- ▶ ハブキャップ①を取り外します。
- ▶ **取り付ける：** 取り付ける前に、ハブキャップ①およびホイール部分に汚れがないかを点検し、必要な場合は清掃します。
- ▶ ハブキャップ①を取り付け位置に合わせ、正しい位置になるまでまわします。
- ▶ ソケット②をハブキャップ①に合わせます。
- ▶ ホイールレンチ③をソケット②に取り付け、ハブキャップ①を締めます。締め付けトルクは **25Nm** でなければなりません。

i ハブキャップが規定の締め付けトルク **25Nm** で締められることに注意してください。ハブキャップはメルセデス・ベンツ指定サービス工場に取り付けることを、メルセデス・ベンツは推奨します。

- ▶ ホイールレンチ③を使用して、交換する車輪のホイールボルトを約1回転緩めます。ボルトは完全に緩めないでください。



ジャッキポイントは、フロントのホイールアーチのすぐ後ろと、リアのホイールアーチのすぐ前にあります (矢印部分)。

- ▶ 車載工具からラチェットレンチを取り出して、**AUF**の文字が見えるようにジャッキの六角ナットに取り付けます。

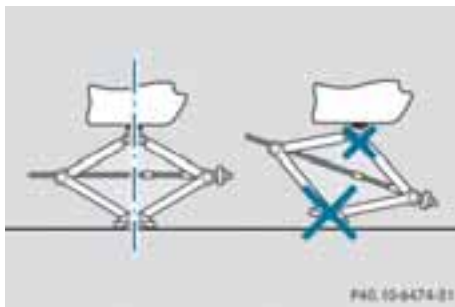
AMG 車両および AMG 装備装着車両：
車体を保護するため、車両にはサイドスカート
のジャッキポイントの横にカバー
が取り付けられています。



- ▶ **AMG 車両および AMG 装備装着車両：**
カバー ④ を上方に起こします。



- ▶ ジャッキ ⑥ をジャッキポイント ⑤ の
位置に合わせます。



- ▶ ジャッキの底面がジャッキポイントの
真下に位置していることを確認してく
ださい。



- ▶ ジャッキ ⑥ がジャッキポイント ⑤ に
完全にはまり、ジャッキの底面が地面
に均一に接するまでラチェットレンチ
⑦ をまわします。
- ▶ ラチェットレンチ ⑦ をまわし、タ
イヤが地面から最大 3cm 離れるまで
ジャッキアップします。

車輪の取り外し

！AMG 車：ホイールの取り外しや取
り付けの際に、ホイールリムがセラミッ
ク製ブレーキディスクに当たると、ブ
レーキディスクが損傷するおそれあり
ます。そのため、注意して進め、もう
一人の人に補助してもらってください。
あるいは、2 本目のガイドボルトを使用し
てください。

！ 砂などの異物が付着しないよう
に注意してください。ホイールボルトを
取り付ける時に、ボルトやハブのネジ山が損
傷するおそれがあります。

車輪の着脱時、および車輪が取り外され
ている間は、ブレーキディスクに外力が
かからないようにしてください。これに
より、ブレーキ作動時の快適性レベルが
損なわれるおそれがあります。



- ▶ 最も上にあるホイールボルトを完全に外します。
- ▶ ホイールボルトのかわりに、ネジ山にガイドボルト①を取り付けます。
- ▶ 残りのホイールボルトを完全に外します。
- ▶ 車輪を取り外します。

新しい車輪の取り付け

⚠ 警告

オイルやグリースが付着したホイールボルトまたは損傷したホイールボルト/ハブのネジ山は、ホイールボルトが緩む原因になります。その結果として、走行中にホイールが緩むおそれがあります。事故の危険性があります。

ホイールボルトには、絶対にオイルやグリースを塗布しないでください。ネジ山が損傷している場合は、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。それ以上は走行を続けしないでください。

⚠ 警告

車両をジャッキアップしている時にホイールボルトを締め付けると、ジャッキが倒れることがあります。けがの危険性があります。

車両が接地している場合のみ、ホイールボルトを締め付けてください。

"タイヤ交換"にある指示や安全上の注意事項に常に注意を払ってください(▷575ページ)。

ホイールおよび車両用に設計されたホイールボルトのみを使用してください。安全上の理由のため、メルセデス・ベンツ車およびそれぞれのホイールのために承認されたホイールボルトのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します。

⚠ AMG車: ホイールの取り外しや取り付けの際に、ホイールリムがセラミック製ブレーキディスクに当たると、ブレーキディスクが損傷するおそれがあります。そのため、注意して進め、もう一人の人に補助してもらってください。あるいは、2本目のガイドボルトを使用してください。



- ▶ ホイールおよびホイールハブの接合面を清掃します。
- ▶ 装着するホイールをガイドボルトにスライドさせて押し込みます。

- ▶ 指の力で締まるまで、ホイールボルトを締め付けます。
- ▶ ガイドボルトを取り外します。
- ▶ 指の力で締まるまで、最後のホイールボルトを締め付けます。

車両を下げる

⚠ 警告

ホイールナットが規定の締め付けトルクで締め付けられていないと、ホイールが緩むおそれがあります。事故の危険性があります。

車輪を交換した後で、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で、締め付けトルクの点検を受けてください。



- ▶ **AB** の文字が見えるように、ジャッキの六角ナットにラチェットレンチを取り付けます。
- ▶ 車両が再度しっかりと接地するまでラチェットレンチをまわします。
- ▶ ジャッキを横に置きます。
- ▶ 示されている対角パターンの順番 (①～⑤) で、ホイールボルトを均一に締めます。締め付けトルクは、**150Nm** でなければなりません。
- ▶ ジャッキをまわして元の状態に戻します。

- ▶ ジャッキや他の車輪交換用工具をトランクに再度収納します。
- ▶ **AMG 車両および AMG スポーツパッケージ装備車両**：サイドスカートにカバーを差し込みます。
- ▶ 新しく取り付けしたタイヤの空気圧を点検し、必要に応じて調整します。
推奨タイヤ空気圧に従ってください (▷571 ページ)。

ホイールとタイヤの組み合わせ

全体的な注意事項

! 安全に走行するため、タイヤとホイールは必ず純正品および承認されている製品を使用してください。

それらのタイヤは、ABS や ESP® などの制御システムに適応しており、以下のマークが付いています。

- MO = Mercedes-Benz Original
- MOE = Mercedes-Benz Original Extended (ランフラット特性を持つタイヤ)
- MO1 = Mercedes-Benz Original (特定の AMG タイヤ)

MOExtended タイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ) は、純正品および承認されたホイールだけに装着できます。

純正品および承認された製品以外のタイヤやホイール、アクセサリを使用しないでください。車両操縦性や騒音、排出ガス、燃料消費などに悪影響を与えるおそれがあります。また、乗車人数や荷物が増えた場合などには、タイヤやホイールが車体やサスペンションに接触するおそれがあり、タイヤや車両の損傷につながるおそれがあります。

純正品および承認された製品以外のタイヤやホイール、アクセサリを装着した場合は、損傷が生じても保証の対象外になります。

タイヤやホイール、およびそれらの指定された組み合わせなどに関する詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

! 再生タイヤは、元の損傷状態を確認することが難しいため、使用をお勧めできません。再生タイヤを装着した場合、安全性の保証はできなくなります。中古タイヤは、過去の使用状況が確認できない場合は装着しないでください。

! 大径ホイール：ホイールサイズが大きくなると、悪路での乗り心地が低下します。走行快適性および安定性が低下し、さらに路面の障害物を乗り越える際にホイールやタイヤが損傷するリスクが高くなります。

下記のタイヤ一覧表にある略号

- BA：前後の車輪
- FA：前輪
- RA：後輪

さまざまな使用条件での推奨タイヤ空気圧の表は、車両の燃料給油口フラップ裏側にあります。タイヤ空気圧に関するさらなる情報は（▷571 ページ）をご覧ください。タイヤ空気圧の点検は定期的に、タイヤが冷えている状態で行ってください。

タイヤとホイールは、以下の点を確認して正しく装着してください。

- 左右には必ず同サイズのタイヤを装着してください。
- サマータイヤ、ウインタータイヤ、MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）など、異なる種類のタイヤを同時に装着しないでください。

例外：パンクした場合は、異なる種類や銘柄の使用が認められています。

MOExtended タイヤ（ランフラット特性を持つタイヤ）（▷569 ページ）の項目の記載に従ってください。

MOExtended タイヤ装備車両には、タイヤフィットを標準装備していません。ウインタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

i すべてのホイール / タイヤの組み合わせが、すべての国で入手できるわけではありません。

タイヤ

S400 HYBRID

サマータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/50 R18 100W ¹	BA : 8.0Jx18 H2 ET41
FA : 245/50 R18 100W ¹	FA : 8.0Jx18 H2 ET41
RA : 275/45 R18 103W ^{1,2}	RA : 9.5Jx18 H2 ET43.5

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/45 R19 102Y XL ¹	FA : 8.5Jx19 H2 ET36
RA : 275/40 R19 101Y ^{1,2}	RA : 9.5Jx19 H2 ET43.5
FA : 245/45 R19 102Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx19 H2 ET38
RA : 275/40 R19 101Y ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx19 H2 ET38

R20

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/40 R20 99Y XL ¹	FA : 8.5Jx20 H2 ET36
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2}	RA : 9.5Jx20 H2 ET43.5
FA : 245/40 R20 99Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx20 H2 ET36
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx20 H2 ET43.5
FA : 245/40 R20 99Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx20 H2 ET38

ウインタータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/50 R18 104V XL M+S  ¹	BA : 8.0Jx18 H2 ET41

1 MOExtended タイヤを使用可能。

2 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。

3 AMG スポーツパッケージ (コード 950) との組み合わせのみ。

R19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/45 R19 102V XL M+S  1	BA : 8.5Jx19 H2 ET36
BA : 245/45 R19 102V XL M+S  1	BA : 8.5Jx19 H2 ET38

S550 PLUG-IN HYBRID

サマータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/50 R18 100W ¹	FA : 8.0Jx18 H2 ET41
RA : 275/45 R18 103W ^{1,2}	RA : 9.5Jx18 H2 ET43.5

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/45 R19 102Y XL ¹	FA : 8.5Jx19 H2 ET36
RA : 275/40 R19 101Y ^{1,2}	RA : 9.5Jx19 H2 ET43.5
FA : 245/45 R19 102Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx19 H2 ET38
RA : 275/40 R19 101Y ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx19 H2 ET38

R20

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/40 R20 99Y XL ¹	FA : 8.5Jx20 H2 ET36
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2}	RA : 9.5Jx20 H2 ET43.5
FA : 245/40 R20 99Y XL ¹	FA : 8.5Jx20 H2 ET36.5
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2}	RA : 9.5Jx20 H2 ET44
FA : 245/40 R20 99Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx20 H2 ET38

1 MOExtended タイヤを使用可能。

2 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。

3 AMG スポーツパッケージ (コード 950) との組み合わせのみ。

ウインタータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/50 R18 104V XL M+S  ¹	BA : 8.0Jx18 H2 ET41

R19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/45 R19 102V XL M+S  ¹	BA : 8.5Jx19 H2 ET36
BA : 245/45 R19 102VXL M+S  ¹	BA : 8.5Jx19 H2 ET38

S550

サマータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/50 R18 100W ¹	BA : 8.0Jx18 H2 ET41
FA : 245/50 R18 100W ¹	FA : 8.0Jx18 H2 ET41
RA : 275/45 R18 103W ^{1,2}	RA : 9.5Jx18 H2 ET43.5

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/45 R19 102Y XL ¹	FA : 8.5Jx19 H2 ET36
RA : 275/40 R19 101Y ^{1,2}	RA : 9.5Jx19 H2 ET43.5
FA : 245/45 R19 102Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx19 H2 ET38
RA : 275/40 R19 101Y ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx19 H2 ET38

1 MOExtended タイヤを使用可能。

2 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。

3 AMG スポーツパッケージ (コード 950) との組み合わせのみ。

R20

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/40 R20 99Y XL ¹	FA : 8.5Jx20 H2 ET36
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2}	RA : 9.5Jx20 H2 ET43.5
FA : 245/40 R20 99Y XL ¹	FA : 8.5Jx20 H2 ET36.5
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2}	RA : 9.5Jx20 H2 ET44
FA : 245/40 R20 99Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx20 H2 ET38

ウインタータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/50 R18 104V XL M+S  ¹	BA : 8.0Jx18 H2 ET41

R19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/45 R19 102V XL M+S  ¹	BA : 8.5Jx19 H2 ET36
BA : 245/45 R19 102V XL M+S  ¹	BA : 8.5Jx19 H2 ET38

S600

サマータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/45 R19 102Y XL ¹	FA : 8.5Jx19 H2 ET36
RA : 275/40 R19 101Y ^{1,2}	RA : 9.5Jx19 H2 ET43.5
FA : 245/45 R19 102Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx19 H2 ET38
RA : 275/40 R19 101Y ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx19 H2 ET38

1 MOExtended タイヤを使用可能。

2 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。


3 AMG スポーツパッケージ (コード 950) との組み合わせのみ。

R20

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 245/40 R20 99Y XL ¹	FA : 8.5Jx20 H2 ET36
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2}	RA : 9.5Jx20 H2 ET43.5
FA : 245/40 R20 99Y XL ¹	FA : 8.5Jx20 H2 ET36.5
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2}	RA : 9.5Jx20 H2 ET44
FA : 245/40 R20 99Y XL ^{1,3}	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 275/35 R20 102Y XL ^{1,2,3}	RA : 9.5Jx20 H2 ET38

ウィンタータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/45 R19 102V XL M+S  ¹	BA : 8.5Jx19 H2 ET36
BA : 245/45 R19 102V XL M+S  ¹	BA : 8.5Jx19 H2 ET38

S63 AMG

サマータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/45 ZR19 (104Y) XL ⁴	FA : 8.5Jx19 H2 ET38
RA : 285/40 ZR19 (107Y) XL ^{2,4}	RA : 9.5Jx19 H2 ET38
FA : 255/45 ZR19 (104Y) XL ⁴	FA : 8.5Jx19 H2 ET39
RA : 285/40 ZR19 (107Y) XL ^{2,4}	RA : 9.5Jx19 H2 ET39

1 MOExtended タイヤを使用可能。

2 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。

3 AMG スポーツパッケージ (コード 950) との組み合わせのみ。

4 セラミックブレーキシステムとの組み合わせを除く。

5 "ホイール/タイヤの組み合わせ"の"全体的な注意事項"にある"大径ホイール"の注意事項に従ってください。

R20







タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/40 ZR20 (101Y) XL ⁵	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 285/35 ZR20 (104Y) XL ^{2,5}	RA : 9.5Jx20 H2 ET38
FA : 255/40 ZR20 (101Y) XL ⁵	FA : 8.5Jx20 H2 ET39
RA : 285/35 ZR20 (104Y) XL ^{2,5}	RA : 9.5Jx20 H2 ET39

ウインタータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/45 R19 104V XL M+S  4	BA : 8.5Jx19 H2 ET38
BA : 255/45 R19 104V XL M+S  4	BA : 8.5Jx19 H2 ET39

R20

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	BA : 8.5Jx20 H2 ET38
BA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	BA : 8.5Jx20 H2 ET39
FA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 285/35 R20 104V XL M+S  2,5	RA : 9.5Jx20 H2 ET38
FA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	FA : 8.5Jx20 H2 ET39
RA : 285/35 R20 104V XL M+S  2,5	RA : 9.5Jx20 H2 ET39

- 1 MOExtended タイヤを使用可能。
- 2 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。
- 3 AMG スポーツパッケージ (コード 950) との組み合わせのみ。
- 4 セラミックブレーキシステムとの組み合わせを除く。
- 5 "ホイール/タイヤの組み合わせ"の"全体的な注意事項"にある"大径ホイール"の注意事項に従ってください。

S63 AMG 4MATIC

サマータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/45 ZR19 (104Y) XL ⁴	FA : 8.5Jx19 H2 ET38
RA : 285/40 ZR19 (107Y) XL ^{2,4}	RA : 9.5Jx19 H2 ET38
FA : 255/45 ZR19 (104Y) XL ⁴	FA : 8.5Jx19 H2 ET39
RA : 285/40 ZR19 (107Y) XL ^{2,4}	RA : 9.5Jx19 H2 ET39

R20

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/40 ZR20 (101Y) XL ⁵	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 285/35 ZR20 (104Y) XL ^{2,5}	RA : 9.5Jx20 H2 ET38
FA : 255/40 ZR20 (101Y) XL ⁵	FA : 8.5Jx20 H2 ET39
RA : 285/35 ZR20 (104Y) XL ^{2,5}	RA : 9.5Jx20 H2 ET39

ウィンタータイヤ





R19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/45 R19 104V XL M+S  4	BA : 8.5Jx19 H2 ET38
BA : 255/45 R19 104V XL M+S  4	BA : 8.5Jx19 H2 ET39

R20

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	BA : 8.5Jx20 H2 ET38
BA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	BA : 8.5Jx20 H2 ET39

- 1 MOExtended タイヤを使用可能。
- 2 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。
- 3 AMG スポーツパッケージ (コード 950) との組み合わせのみ。
- 4 セラミックブレーキシステムとの組み合わせを除く。
- 5 "ホイール/タイヤの組み合わせ"の"全体的な注意事項"にある"大径ホイール"の注意事項に従ってください。

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 285/35 R20 104V XL M+S  2,5	RA : 9.5Jx20 H2 ET38
FA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	FA : 8.5Jx20 H2 ET39
RA : 285/35 R20 104V XL M+S  2,5	RA : 9.5Jx20 H2 ET39

S65 AMG







サマータイヤ

R20

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/40 ZR20 (101Y) XL ⁵	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 285/35 ZR20 (104Y) XL ^{2,5}	RA : 9.5Jx20 H2 ET38
FA : 255/40 ZR20 (101Y) XL ⁵	FA : 8.5Jx20 H2 ET39
RA : 285/35 ZR20 (104Y) XL ^{2,5}	RA : 9.5Jx20 H2 ET39

ウィンタータイヤ

R20

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	BA : 8.5Jx20 H2 ET38
BA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	BA : 8.5Jx20 H2 ET39
FA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	FA : 8.5Jx20 H2 ET38
RA : 285/35 R20 104V XL M+S  2,5	RA : 9.5Jx20 H2 ET38
FA : 255/40 R20 101V XL M+S  5	FA : 8.5Jx20 H2 ET39
RA : 285/35 R20 104V XL M+S  2,5	RA : 9.5Jx20 H2 ET39

- 1 MOExtended タイヤを使用可能。
- 2 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。
- 3 AMG スポーツパッケージ (コード 950) との組み合わせのみ。
- 4 セラミックブレーキシステムとの組み合わせを除く。
- 5 "ホイール/タイヤの組み合わせ"の"全体的な注意事項"にある"大径ホイール"の注意事項に従ってください。

応急用スペアタイヤ

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

スペアタイヤまたは応急用スペアタイヤと、交換した車輪のホイールまたはタイヤのサイズやタイヤの種類は異なることがあります。スペアタイヤ / 応急用スペアタイヤを装着すると、走行特性が著しく損なわれることがあります。事故の危険性があります。

危険な状態を避けるために

- 運転スタイルを合わせ、慎重に運転してください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤを1つ以上装着しないでください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤを1つ以上装着しないでください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤは一時的にのみ使用してください
- ESP® を解除しないでください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤは最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。ホイールとタイヤのサイズがタイヤの種類とともに正しいことに注意してください。

応急用スペアタイヤ、またはサイズの異なるスペアタイヤを使用するときは、80km/hの最高速度を超えないようにしてください。

応急用スペアタイヤには、スノーチェーンを装着しないでください。

全体的な注意事項

特に長距離走行の前には、応急用スペアタイヤを含めて、すべてのタイヤの空気圧を定期的に点検し、必要に応じて空気圧を修正してください（▷571 ページ）。

適用される数値は、タイヤまたはホイールに記載されているか、「サービスデータ」の項目（▷594 ページ）にあります。

応急用スペアタイヤは回転方向とは逆に装着することができます。応急用スペアタイヤに記載されている制限速度に従ってください。

摩耗具合に関わらず、6年以上経過したタイヤは交換してください。これは応急用スペアタイヤにも該当します。

① 応急用スペアタイヤを装着して走行する場合は、タイヤ空気圧警告システムが正常に機能しないことがあります。不具合のある車輪を新しい車輪に交換したときのみ、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。

応急用スペアタイヤの取り外し



コラプシブル応急用スペアタイヤはトランク内の応急用スペアタイヤのバッグ①に固定されています。

- ▶ トランクを開きます。
- ▶ テンショニングストラップ②を外します。

- ▶ テンションストラップ②の固定用スプリングフック③をフックから外します。
- ▶ コラプシブル応急用スペアタイヤとともに、応急用スペアタイヤバッグ①を取り出します。
- ▶ 応急用スペアタイヤのバッグ①を開き、コラプシブル応急用スペアタイヤを取り出します。

"車輪の取り付け" (▷581 ページ) の項目にある説明および安全上の注意事項に従ってください。

コラプシブル応急用スペアタイヤの空気注入

! 車両をジャッキダウンする前に、電動エアポンプでコラプシブル応急用スペアタイヤに空気を入れないと、ホイールリムを損傷するおそれがあります。

! 電動エアポンプは、一度に約 8 分以上連続して作動させると、ポンプがオーバーヒートするおそれがあります。

電動エアポンプが冷えたら、再び作動させることができます。



- ▶ コラプシブル応急用スペアタイヤを記載されているように取り付けます (▷592 ページ)。

コラプシブル応急用スペアタイヤは必ず空気を送り込む前に取り付けてください。

- ▶ プラグ④をケースから引き出します。
- ▶ エアホースをケースから取り出します。
- ▶ エアホースの黄色のホースコネクタをケースのガイドに差し込み、ホースコネクタが固定されるまで固定具に押し込みます。
- ▶ コラプシブル応急用スペアタイヤのバルブキャップを取り外します。
- ▶ エアホースのユニオンナット①をバルブに締め付けます。
- ▶ 電動エアポンプの電源スイッチ⑤が **OFF** の位置になっていることを確認します。
- ▶ プラグ④を車内のライターソケットまたは 12V 電源ソケット に差し込みます。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **1** の位置にまわします (▷234 ページ)。
- ▶ タイヤ充填コンプレッサーのオン / オフスイッチ⑤を **ON** に押しします。

タイヤ充填コンプレッサーが作動し始めます。応急用スペアタイヤに空気が送り込まれます。タイヤ空気圧は、空気圧ゲージ③に表示されます。

- ▶ 指定空気圧になるまで、応急用スペアタイヤに空気を入れます。

指定空気圧は、応急用スペアタイヤの黄色のラベルに記載されています。

- ▶ 指定タイヤ空気圧に達したときに、タイヤ充填コンプレッサーのオン / オフスイッチ⑤を **OFF** に押しします。タイヤ充填コンプレッサーが停止します。

- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にします。
- ▶ タイヤ空気圧が指定の圧力より高い場合は、正しいタイヤ空気圧に達するまで、空気圧調整スイッチ **②** を押します。
- ▶ エアホースのユニオンナット **①** を応急スペアタイヤのバルブから外します。
- ▶ コラプシブル応急用スペアタイヤのバルブキャップを元通りに取り付けます。
- ▶ タイヤ充填コンプレッサーからホースを取り外すためには、ホースコネクターのロッカースイッチを下に押し、ホースを引き出します。
- ▶ 電源プラグ **④** およびエアホースをコンプレッサーハウジングの下部に収納します。
- ▶ 電動エアポンプを車内に収納します。



エアホースの取り外し

サービスデータ

コラプシブル応急用スペアタイヤ	
タイヤ	軽合金ホイール
T 185/55 D20 100 P	6 B x 20 H2 ET 36
タイヤ空気圧 : 350kPa (3.5bar/51psi)	

役に立つ情報	596
車両の電子制御部品	596
ビークルプレート	596
サービスプロダクトと容量	597
車両データ	604

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください (▷32 ページ)。

車両の電子制御部品

エンジン電子制御部品の改造

! コントロールユニット、センサー、作動構成部品、コネクタケーブルなど、電子制御部品およびその関連部品に関わる点検整備や修理などの作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。車両の構成部品が通常より早く摩耗したり、保証を適用できないことがあります。

! 性能を高めるためのエンジン制御は、ドライブシステムの摩耗、亀裂または損傷につながります。

無線機 (RF 送信機) の後付け

RF 送信機の装着について疑問がある場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

ビークルプレート

ビークルプレート



例：右ハンドル車両

- ▶ 運転席ドアを開きます。
ビークルプレート ① が確認できます。



例：ビークルプレート

② 車台番号

- i** 車両のビークルプレートに示されたデータは、データの一例です。このデータは車両ごとに異なりますので、ここに示されたデータとは異なることがあります。お客様の車両に該当するデータは、車両のビークルプレートにあります。

車台番号



- ▶ フロント右側のドアを開きます。
- ▶ カバー①を下に倒し、取り外します。車台番号が確認できます。

車台番号はビークルプレートでも確認できます。

エンジン番号

エンジン番号はクランクケースに刻印されています。詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

サービスプロダクトと容量

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

サービスプロダクトは健康に有害で危険です。けがの危険性があります。サービスプロダクトの使用、保管および廃棄については、それぞれ元の容器のラベルの指示を遵守してください。サービスプロダクトは必ず元の容器に密閉して保管してください。サービスプロダクトは必ず子供の手の届かないところに保管してください。

♻ 環境に関する注意事項

燃料および油脂は、環境汚染を配慮した方法で廃棄してください。

サービスプロダクトには以下のものが含まれます。

- 燃料
- 潤滑剤（エンジンオイル、トランスミッションオイルなど）
- 冷却水
- ブレーキ液
- ウインドウウォッシャー液
- エアコンディショナーの冷媒

メルセデス・ベンツにより承認されたサービスプロダクトは、容器の以下のマークにより識別できます。

- MB-Freigabe (MB-Freigabe 229.51 など)
- MB Approval (MB Approval 229.51 など)

他のマークや推奨は、MB シート番号 (MB 229.5 など) に準拠した品質レベルまたは仕様を示しています。これらは、メルセデス・ベンツによる承認は必要としません。

その他の識別コード (例) :

- 0W-30
- 5W-30
- 5W-40

さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

燃料

重要な安全上の注意事項

警告

燃料は可燃性の高いものです。燃料を不適切に扱った場合は、火災および爆発の危険性があります。

火気、裸火、火花の発生および喫煙は避けてください。給油の前にはエンジンを停止してください。

警告

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲み込まないでください。また、目や衣服に付着させないでください。気化した燃料を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹸および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。無理に吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

燃料タンク容量

国別の仕様により、燃料タンク容量および予備燃料容量が異なる場合があります。

モデル	全容量
S400 HYBRID	70.0 ℓ
S550 PLUG-IN HYBRID	
他の全モデル	80.0 ℓ
モデル	うち予備燃料
S65 AMG	約 12.0 ℓ
他のすべての AMG 車両	約 10.0 ℓ
他の全モデル	約 8.0 ℓ

ガソリン

燃料のグレード

! ガソリンエンジン車両に給油するために軽油を使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、イグニッションをオンにしないでください。さもないと、燃料が燃料システムに入っておそれがあります。少量の誤った燃料でも、燃料システムやエンジンの損傷につながるおそれがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料系統部品から完全に抜き取ってください。

! 無鉛プレミアムガソリンのみを使用して給油してください。エンジンの出力が低下したり、エンジンが損傷する原因になります。

! 必ず指定の燃料を使用してください。その他の燃料で車両を使用すると、エンジンの不具合の原因になります。

! 以下のような燃料を使用しないでください。

- E85 (エタノール配合率 85% のガソリン)
- E100 (エタノール 100%)
- M15 (メタノール配合率 15% のガソリン)
- M30 (メタノール配合率 30% のガソリン)
- M85 (メタノール配合率 85% のガソリン)
- M100 (メタノール 100%)
- 金属を含む添加剤を含有したガソリン
- 軽油

このような燃料を車両に推奨されている燃料と混合しないでください。

添加剤を使用しないでください。さもないと、エンジンが損傷することがあります。ただし、スラッジの生成を抑制・除去する効果のある添加剤を除きます。ガソリンにはメルセデス・ベンツで推奨された添加剤のみを混合してください。"添加剤"をご覧ください。さらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

通常、燃料のグレードに関する情報は給油ポンプに表示されています。給油ポンプにラベルがない場合は、ガソリンスタンドのスタッフにおたずねください。

i E10 燃料には最大 10% のバイオエタノールが含まれています。お客様の車両は E10 燃料の使用に適しています。E10 燃料を使用してお客様の車両に給油することができます。

推奨燃料が入手できない場合は、一時的な手段として無鉛レギュラーガソリンを使用することができます。これにより、エンジン性能が低下したり、燃料消費量が増加することがあります。フルスロットルでの走行および急加速は避けてください。

給油に関する情報は (▷256 ページ) をご覧ください。

AMG 車両

! 燃料を給油するときは、無鉛プレミアムガソリンを使用してください。

指定以外の燃料を給油すると、エンジンの出力が低下したり、エンジンが損傷するおそれがあります。

! 緊急時で指定燃料が入手できないときに限り、無鉛レギュラーガソリンも使用できます。

その結果燃料消費量が著しく増大し、エンジン出力は著しく低下します。アクセルをいっぱい踏み込んで運転することは避けてください。

添加剤

! 燃料添加剤を加えてエンジンを作動させると、エンジン故障につながるおそれがあります。燃料に燃料添加剤を混ぜないでください。これには、生成堆積物除去および防止のための添加剤は含まれません。ガソリンにはメルセデス・ベンツにより承認された添加物のみを混合してください。製品の容器に記載された使用上の注意をお守りください。推奨添加剤に関するさらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

メルセデス・ベンツは、添加剤が含まれている燃料ブランドの使用を推奨します。

燃料の中には、品質の劣るものがあります。このような燃料を使用すると、残留物が噴射システムに堆積するおそれがあります。そのような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談の上、純正の洗浄添加剤をガソリンに注入してください。容器にある注意事項および規定の配合率に従ってください。

燃料消費に関する情報



環境に関する注意事項

CO₂（二酸化炭素）の排出は、地球温暖化の主な原因となります。車両のCO₂排出量は、燃料消費と直接関係があり、以下の条件によって変化します。

- エンジンの燃焼効率
- 走行スタイル
- 環境の影響や道路状況、交通の流れのような、技術的ではない他の要因

緩やかな運転を心がけ、定期的な点検整備を行なうことにより、CO₂排出量を最小限に抑えることができます。

以下のような状況では、燃料消費量が増加します。

- 非常に低い外気温で
- 市街地で
- 短距離の走行で
- 山間路で

エンジンオイル

全体的な注意事項

エンジンオイルを取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください（▷597ページ）。

エンジンオイルの品質は、エンジンの性能や使用寿命に大きな影響を与えます。広範囲にわたるテストの末、メルセデス・ベンツでは最新の技術基準に適合するエンジンオイルのみを承認しています。

そのため、メルセデス・ベンツ車のエンジンには、メルセデス・ベンツが承認したエンジンオイルのみを使用してください。

テストされ、承認されたエンジンオイルについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。エンジンオイルの交換はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことを、メルセデス・ベンツは推奨します。メルセデス・ベンツの承認は、オイル容器の "MB Approval" の記載および MB Approval 229.51 などの対応する記号によりオイル容器に示されます。

テストされ、承認されたエンジンオイルについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。エンジンオイルの交換はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことを、メルセデス・ベンツは推奨します。

AMG 車両には SAE 0W-40 または SAE 5W-40 のエンジンオイルのみを使用してください。

容量

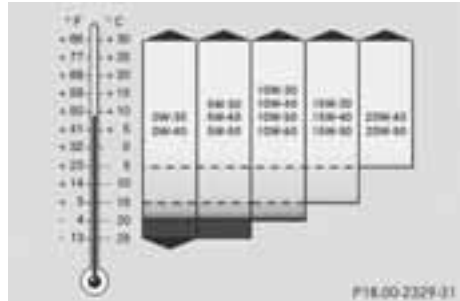
以下の数値は、オイルフィルターを含むオイル交換時のものです。

モデル	交換容量
S400 HYBRID	6.5 ℓ
S550 PLUG-IN HYBRID	
S550	8.0 ℓ
S600	10.5 ℓ
S63 AMG	8.5 ℓ
S63 AMG 4MATIC	
S65 AMG	10.5 ℓ

添加剤

! エンジンオイルに添加剤を使用しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

エンジンオイルの粘度



粘度は、液体の流動性を示します。エンジンオイルの粘度が高いほどゆっくりと流れ、粘度が低いほど速く流れます。

エンジンオイルの選択は、対応する外気温度を基準にして、SAE グレード（粘度）に応じたものにしてください。表では、使用すべき SAE グレードを示しています。低温の環境では、劣化や煤、添加剤などにより使用時のエンジンオイルの特性が著しく損なわれます。そのため、適切な SAE グレードの承認されたエンジンオイルを使用して、定期的にオイル交換を行なうことを強く推奨します。

ブレーキ液

 警告

ブレーキ液は使用している間に大気中の湿気を吸収して劣化します。ブレーキ液の沸点を下げます。ブレーキ液の沸点が低すぎる場合、ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ液が沸騰して気泡が発生します。ブレーキ液が劣化しベーパーロックが起こると、ブレーキの性能が損なわれます。事故の危険性があります。

ブレーキ液は、定期的にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。

ブレーキ液を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください (▷597ページ)。

ブレーキ液の交換時期は、整備手帳で確認してください。

承認されたブレーキ液に関する情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場入手できます。

i ブレーキ液はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で定期的に交換して下さい。

冷却水

重要な安全上の注意事項

 警告

不凍液がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災および火傷の危険性があります。

不凍液を補給する前にエンジンを冷やしてください。不凍液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、不凍液が付着した構成部品を清掃してください。

! 冷却水は、必ず弊社指定の不凍液を混合したものを補給してください。エンジンを損傷するおそれがあります。

冷却水についての詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

! 必ず適切な冷却水を使用してください。不適切な冷却水を使用すると、エンジン冷却システムの腐食やオーバーヒートを防ぐことができなくなります。

i 冷却水はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で定期的に交換し、交換を整備手帳で確認してください。

冷却水は水と不凍液 / 防錆剤の混合液です。以下の役割があります。

- 防錆保護
- 凍結防止
- 沸点の上昇

不凍液 / 防錆剤が適切な濃度の場合、作動中の冷却水の沸点は約 130°C になります。

エンジン冷却システム内の不凍 / 防錆剤の濃度は、

- 50%以上にしてください。これにより、約 -37℃までエンジン冷却システムを凍結から保護します。
- 55% (-45℃までの凍結防止保護) を超えないようにしてください。さもないと、熱が効果的に発散されません。

i 車両の納車時には、適切な凍結防止および防錆保護を行なうことができる濃度の冷却水が充填されています。

i 冷却水は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場での定期整備ごとに点検が行なわれます。

ウインドウウォッシャーシステム

重要な安全上の注意事項

警告

ウインドウウォッシャー液の濃縮液は高い可燃性です。熱いエンジン部品または排気システムに触れた場合、発火するおそれがあります。火災および火傷の危険性があります。

ウインドウウォッシャー液の濃縮液が補充口の脇に付着していないことを確認してください。

! 蒸留水や脱イオン水をウォッシャー液リザーブタンクに入れないでください。レベルセンサーを損傷するおそれがあります。

! 夏季用または冬季用の純正ウォッシャー液を混合して使用してください。純正品以外のウォッシャー液を使用すると、噴射ノズルが詰まるおそれがあります。

気温が 0℃以上のとき：

- ▶ 水と夏用ウォッシャー液の混合液をウォッシャー液リザーブタンクに補充します。

水の量 100 に対して夏用ウォッシャー液の量 1 を混合します。

気温が 0℃以下のとき：

- ▶ 水と冬用ウォッシャー液の混合液をウォッシャー液リザーブタンクに補充します。

正しい混合値については、不凍液リザーブタンクの情報をご覧ください。

i 1年を通して、夏用または冬用のウォッシャー濃縮液をウォッシャー液に追加してください。

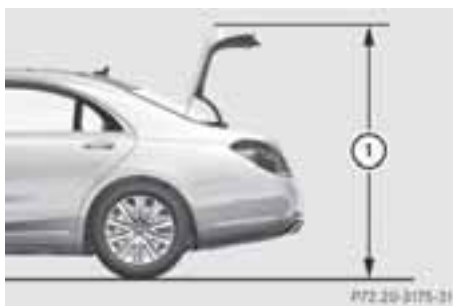
車両データ

全体的な注意事項

記載の車両データについては、以下の点にご注意ください。

- 記載されている車高は、以下の条件に応じて異なります。
 - タイヤ
 - 積載量
 - サスペンションの状態
 - オプション装備
- オプション装備により最大積載量は減少します。

寸法および重量



P72-20-3175-31

モデル	① 開いたときの 高さ
S550 PLUG-IN HYBRID	1800mm
S600	1806mm
AMG 車両	1808mm
他の全モデル	1803mm

ルーフとトランクの最大積載量

未記載の数値は、発行時点で確認できなかったものです。

モデル	ルーフの 最大積載量
全モデル	100kg

モデル	トランクの 最大積載量
S65 AMG	
他の全モデル	100kg

バッテリー

モデル	バッテリー電圧
全モデル	12V

モデル	バッテリー容量
AMG 車両	78Ah
他の全モデル	95Ah

 お車をご使用になる前に必ずお読みください

デジタル版取扱説明書の訂正事項

デジタル版取扱説明書の訂正事項

以下では、デジタル版取扱説明書に該当する訂正事項を記載しています。

安全性

乗員の安全性

乗員保護装置警告灯

記載内容



訂正内容

警告

乗員保護装置が故障している場合は、車両の減速度が大きい事故の際に、乗員保護装置の構成部品が不意に作動したり、またはまったく作動しないことがあります。これは、たとえばシートベルトテンショナーあるいはエアバッグに影響を与えることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

警告

乗員保護装置が故障している場合は、乗員保護装置の構成部品が不意に作動したり、または車両の減速度が大きい事故の際にまったく作動しないことがあります。これは、たとえばシートベルトテンショナーあるいはエアバッグに影響を与えることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

COMAND システム

リアエンターテインメント

リアエンターテインメントシステムの概要

スマートフォン経由での操作

記載内容

スマートフォンを使用してリアエンターテインメントシステムを操作することもできます。

この機能を使用できるようにするためには、Google™ プレイ（アンドロイド）または App® ストア（iOS）からアプリケーションをダウンロードして、お客様のスマートフォンにこれをインストールする必要があります。

COMAND システムでのスマートフォンの接続および使用に関するさらなる情報は、Google™ プレイ（アンドロイド）または App® ストア（iOS）のアプリケーションの説明にあります。



訂正内容

① 日本では、左記アプリのダウンロードサイトにはアクセスできません。

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車や Daimler AG についての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

<http://www.mercedes-benz.co.jp>

編集オフィス

©Daimler AG: Daimler AG の書面による許可なく、本書のすべてまたは一部を複製、翻訳または複製することはできません。

車両メーカー

Daimler AG

Mercedesstrasse 137

70327 Stuttgart

Germany

"ESP®" は Daimler AG の登録商標です。

※この取扱説明書の内容は、2014 年 11 月現在のものです。

総輸入元

メルセデス・ベンツ日本株式会社

〒106-8506 東京都港区六本木一丁目9番9号 六本木ファーストビル

MBJCSD 33100-111403000 B
6515 2545 20 AEJ2014-Xa, 11/14